

Panasonic®

LUMIX

S1ⅡE

取扱説明書 詳細ガイド

デジタルカメラ
DC-S1M2ES

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(19～25ページ)を必ずお読みください。
- パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします。詳しくは、919ページをご覧ください。

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/>

本機の性能向上や機能追加のため、ファームウェアアップデートを実施しました。

- 詳細については、「[ファームウェアアップデート](#)」のページをお読みください。

パナソニック株式会社

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町 1 丁目 10 番 12 号

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2025

DVQP3354ZC
F0425TN2115

取扱説明書について

本書は、カメラのすべての機能や操作方法を詳しく説明している「取扱説明書 詳細ガイド」です。

- 本書で説明する製品の外観と仕様は、実際とは異なる場合があります。
- 本書の画像やイラストは、機能や効果を説明するためのイメージです。

❖ 本書で使用する記号について

黒いアイコンは使用可能な条件、グレーのアイコンは使用不可能な条件を表します。

例:

写真／動画／S&Qモード

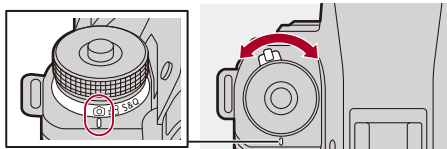


撮影モード

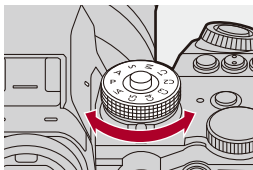


写真／動画／S&Qモードは、写真／動画/S&Q切り換えスイッチで切り換わります。

- 本書では、[📷]モード/[📹]モード/[S&Q]モードと表記します。

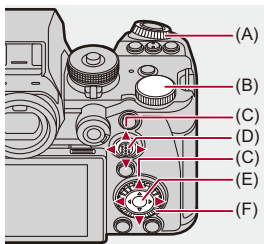


撮影モードは、モードダイヤルで切り換わります。



操作記号

本書では、カメラの操作部を以下の記号を使って説明しています。



(A) :

前ダイヤル

(B) :

後ダイヤル

(C) :

カーソルボタンの上下左右

または

ジョイスティックの上下左右

(D) :

ジョイスティックの中央押し

(E) :

[MENU/SET] ボタン

(F) :

コントロールダイヤル

• その他、カメラの画面に表示されるアイコンなどを説明に使用しています。

• 本書では、メニュー項目を選ぶ手順を次のように説明しています。

例) 写真メニュー(画質)の[JPEG/HEIF 写真画質]を[STD.]に設定する

➡ ➡ ➡ [JPEG/HEIF 写真画質] ➡ [STD.]を選ぶ

お知らせの分類記号

本書では、お知らせを以下の記号を使って分類して、記載しています。



:機能を使う前にご確認くださいこと



:上手に使うためのヒントや撮影のポイント



:仕様に関するお知らせや補足事項



:関連する機能や情報

- 本書では交換レンズ(S-R24105)を用いて説明しています。

目次



「安全上のご注意」を必ずお読みください(19～25ページ)

取扱説明書について	2

安全上のご注意(必ずお守りください)	19

はじめに	26

ご使用の前に.....	27
同梱品.....	30
使用できるレンズ.....	34
使用できるメモリーカード.....	35
各部の名前.....	38
カメラ.....	38
同梱レンズ.....	46
ファインダー／モニターの表示.....	47

準備	49

ショルダーストラップの取り付け.....	50
バッテリーの充電.....	52
チャージャーを使った充電.....	53
バッテリーの挿入.....	55
カメラにバッテリーを入れて充電する.....	57
電力を供給しながらカメラを使う(給電／充電).....	60
充電／給電についてのお知らせ.....	61
エコモード.....	63
カード(別売)の挿入.....	65

レンズの取り付け	68
レンズフードの取り付け	71
モニターの向きと角度の調整	73
時計の設定（初めて電源を入れるとき）	76

基本操作 79

カメラの構え方	80
写真/動画/S&Q切り換えスイッチ	82
撮影モードの選択	83
カメラの設定操作	85
モニター／ファインダーの表示設定	91
ファインダーの設定	91
モニターとファインダーの切り換え	92
情報表示の切り換え	95
クイックメニュー	98
コントロールパネル	100
メニューの操作方法	103
設定リセット	108
文字の入力	109
インテリジェントオートモード	110
タッチ撮影	117
タッチAF／タッチシャッター	117
タッチAE	119

写真の撮影 121

写真を撮る	122
画像横縦比	125
画像サイズ	127

記録ファイル形式(写真)	129
JPEG/HEIF切換	132
JPEG/HEIF 写真画質	134

動画の撮影 135

動画を撮る	136
システム周波数	146
記録ファイル形式(動画)	148
動画画質	150
RAW 動画記録	169
プロキシ記録	171
動画撮影範囲	176

フォーカス／ズーム 178

フォーカスモードの選択	179
AFを使う	181
AF ポイントスコープ	185
AF カスタム設定(写真)	187
フォーカスリミッター	189
AF 補助光	191
フォーカス枠の移動速度	192
AF 微調整	193
AFモードの選択	196
自動認識	199
追尾	203
フルエリア	205
ゾーン(横・縦)／ゾーン	208
1点+補助／1点	210
ピンポイント	212

AFエリアの操作.....	214
AFエリアの移動.....	214
AFエリアのサイズ変更.....	217
AFエリアのリセット.....	218
タッチした位置にピントと明るさを合わせる ([AF+AE])	219
タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作.....	220
縦/横位置フォーカス切換.....	222
MFで撮る.....	223
ピーキング.....	228
ズームを使って撮る.....	229
クロップズーム(写真).....	230
ハイブリッドズーム(写真).....	234
クロップズーム(動画).....	237
ハイブリッドズーム(動画).....	240

ドライブ／シャッター／手ブレ補正

243

ドライブモードの選択.....	244
連写する.....	246
ハイレゾモード.....	255
インターバル撮影.....	260
コマ撮りアニメ撮影.....	266
インターバル／コマ撮りアニメの動画.....	269
セルフタイマー撮影.....	271
ブラケット撮影.....	274
ライブビューコンポジット撮影.....	281
サイレントモード.....	285
シャッター方式.....	287
長秒ノイズ除去.....	291
シンクロスキャン(写真).....	292

下限シャッター速度	294
シャッターディレイ	295
手ブレ補正	296
手ブレ補正の設定	298

測光／露出／ISO感度 305

測光モード	306
プログラムAEモード	308
プログラムシフト	310
絞り優先AEモード	312
シャッター優先AEモード	315
マニュアル露出モード	318
設定可能なシャッタースピード(秒)	320
B(バルブ)	322
レビューモード	323
露出補正	325
iダイナミックレンジ	328
多重露出	329
ピントや露出の固定(AF／AEロック)	331
ISO感度	333
Dual Native ISO 設定	337
ISO感度設定(写真)	339

ホワイトバランス／画質 340

ホワイトバランス(WB)	341
ホワイトバランスの調整	347
フォトスタイル	349
フィルター設定	362
フィルターなし同時記録	366

リアルタイムLUT	367
LUTライブラリ	368
LUTファイルのベースフォトスタイル	372
HLG撮影(HEIF形式)	374
レンズ補正	376
周辺光量補正	376
カラーシェーディング補正	377
回折補正	381

フラッシュ 382

外部フラッシュを使う	383
ホットシューカバーの取り外し	383
フラッシュの設定	385
フラッシュモード	386
発光モード、マニュアル発光量設定	389
フラッシュ光量調整	391
フラッシュシンクロ	392
露出補正連動	393
ワイヤレスフラッシュ撮影	394

動画の設定 400

動画撮影に適した表示	401
写真・動画/S&Q独立設定	402
AFを使う(動画)	403
動画時のAF動作	403
動画時のAFS動作	404
AFカスタム設定(動画)	405
動画ライブビュー拡大表示	406
動画の明るさ、色合い	408
輝度レベル設定	408

マスターペDESTAL	410
白飛びを抑えて撮影する(二一)	411
ISO感度設定(動画)	413
音声の設定	414
録音レベル表示	415
音声入力ミュート	415
録音ゲイン切換	416
録音レベル設定	417
録音音質	418
録音レベルリミッター	419
風音キャンセラー	420
オーディオ情報表示	421
外部マイク(別売)	422
收音範囲の設定(別売:DMW-MS2)	424
風雑音の低減	424
XLRマイクロホンアダプター(別売)	425
4chオーディオ記録	428
ヘッドホン	430
音声モニタチャンネル	431
タイムコード	433
タイムコードを設定する	433
外部機器とタイムコードを同期する	435
タイムコード同期の準備	435
外部機器のタイムコードに本機を同期させる(TC IN)	438
主なアシスト機能	440
動画撮影時のフリッカー軽減	441
SS/ゲイン操作	442
シャッター速度リミッター	444
WFM/ベクトルスコープ表示	446
スポット輝度メーター	449
ゼブラパターン表示	450

フォルスカラー	452
フレーム表示	455
カラーバー／テストトーン	457

特殊な動画撮影 459

スロー & クイック動画	460
ハイフレームレート動画	467
フォーカストランジション	468
ライブクロップ	472
Log撮影する	477
Logビューアシスト	481
HLG動画	482
HLGビューアシスト	484
アナモフィック撮影	485
アナモフィック デスクイーズ表示	487
シンクロスキャン(動画)	489
ループ記録(動画)	491
動画分割記録	493
特殊な動画を撮影できる動画画質一覧	494

HDMI出力(動画) 508

HDMI機器と接続する	509
HDMI出力の画質	510
HDMI出力する映像	510
ダウンコンバート設定	512
HDMI出力の設定	517
カメラの情報表示をHDMI出力する	517
外部レコーダーに制御情報を出力する	518
音声をHDMI出力する	518

HDMI出力時の動画ライブビュー拡大表示	519
動画RAWデータ出力.....	520
動画RAWデータをHDMI出力する	522
動画RAWデータ出力時のお知らせ	526

外付けSSD(市販)を使う **527**

使用できる外付けSSD	528
外付けSSDを接続する	529
外付けSSDのフォーマット	532
外付けSSDについてのお知らせ	533

画像の再生／編集 **535**

写真の再生	536
動画の再生	538
動画のリピート再生.....	542
写真の切り出し	544
動画分割	545
表示方法の切り換え	547
拡大表示.....	547
サムネイル表示	549
カレンダー表示	551
グループ画像.....	552
画像の消去	554
RAW現像	556
HEIF→JPEG変換	564
動画修復	565
再生メニュー	568
再生メニューでの画像の選び方	568
再生メニュー(表示方法)	570

再生メニュー(画像の加工)	573
再生メニュー(情報の付与・削除)	574
再生メニュー(画像の編集)	575
再生メニュー(その他)	578

カメラのカスタマイズ

579

Fnボタン	580
Fnボタンへの機能の登録	583
Fnボタンを使う	594
ダイヤル動作切換	595
ダイヤルへの機能の登録	595
ダイヤルの動作を一時的に変更する	597
クイックメニューのカスタマイズ	598
クイックメニューへの登録	598
カスタムモード	605
カスタムモードへの登録	605
カスタムモードを使う	608
設定内容の呼び出し	610
カスタムメニュー	611
カスタムメニュー(画質)	612
カスタムメニュー(フォーカス/リリース)	617
カスタムメニュー(操作)	623
カスタムメニュー(モニター/表示(写真))	630
カスタムメニュー(モニター/表示(動画))	640
カスタムメニュー(IN/OUT)	644
カスタムメニュー(レンズ/その他)	646
セットアップメニュー	650
セットアップメニュー(カード/ファイル)	651
セットアップメニュー(モニター/表示)	657
セットアップメニュー(IN/OUT)	660
セットアップメニュー(設定)	667

セットアップメニュー(その他)	670
マイメニュー	674
マイメニューへの登録	674
マイメニューの編集	675

メニュー一覧 676

写真メニュー	677
動画メニュー	680
カスタムメニュー	683
セットアップメニュー	687
マイメニュー	689
再生メニュー	690

Wi-Fi / Bluetooth 692

「LUMIX Lab」と接続する	694
「LUMIX Lab」のインストール	695
スマートフォンとの接続(Bluetooth接続)	696
「LUMIX Lab」を使う	699
LUTライブラリ操作	699
リモート撮影	701
シャッターリモコン	703
カメラ内の画像を簡単にスマートフォンに送る	705
画像・動画転送	707
自動画像転送	709
位置情報記録	712
Wi-Fi接続	713
新規接続	713
[Wi-Fi]を登録したFnボタン	717
有線LAN/Wi-Fiメニュー	718

Frame.io Camera to Cloud 721

Frame.io との接続	722
Frame.io に画像を送る	727
アップロード設定	728

「LUMIX Flow」と連携する 730

「LUMIX Flow」と接続する	731
「LUMIX Flow」のインストール	732
スマートフォンとの接続(Bluetooth 接続)	733
スマートフォンとの接続(USB 接続)	737
「LUMIX Flow」を使う	738

ストリーミング機能 739

スマートフォンを操作して配信する	740
カメラを操作して配信する	743
ストリーミングの設定	748
ストリーミング機能使用時のお知らせ	753
USB テザリング接続時のお知らせ	754

他機器との接続 755

接続する	756
テレビで見る	758
パソコンに画像を取り込む	762
パソコンに画像をコピーする	763
ソフトウェアのインストール	766
パソコン用の Web カメラとして使用する	767
レコーダーにダビングする	770
テザー撮影	771

ソフトウェアのインストール	772
パソコンからカメラを操作する	773
有線LAN接続で「LUMIX Tether」を使う	774
複数台のカメラのリモート操作	776

資料

779

別売品のご紹介	780
別売品を使う	782
バッテリーグリップ(別売)	782
シャッターリモコン(別売)	784
トライポッドグリップ(別売)	785
DCカプラー(別売)	786
モニター／ファインダーの表示	787
撮影画面	787
再生画面	803
メッセージ表示	808
Q&A 故障かな?と思ったら	811
電源、バッテリー	812
撮影	814
動画	818
再生	818
モニター／ファインダー	819
フラッシュ	819
Wi-Fi機能	820
テレビ、パソコン	822
その他	823
使用上のお願い	824
無線機能(Wi-Fi／Bluetooth)使用上のお願い	834
バッテリーの撮影可能枚数、撮影可能時間	837
記録メディアの写真撮影枚数、動画記録時間	840

動画連続記録時間.....	856
初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧.....	858
各撮影モードで設定できる機能一覧.....	885
仕様.....	893
商標、ライセンス.....	911
保証とアフターサービス(よくお読みください).....	915

安全上のご注意(必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

危険



バッテリーパック*は、誤った使いかたをしない

(* 以降は、「バッテリー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものを使わない
- 分解や加工(はんだづけなど)、加圧、加熱(電子レンジやオープンなどで)しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない
- 極端に気圧が低い場所で充電・使用しない
- 端子部(⊕・⊖)に金属を接触させない
- 落下や衝撃を与えない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。



バッテリーチャージャー*は、本機専用のバッテリーにのみ使用する

(* 以降は、「チャージャー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。



バッテリーの充電は、本体または専用のチャージャーを使用し、指定された方法で行う

指定以外の方法で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

警告



ACアダプターは、誤った使いかたをしない
感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流 100 V～240 V以外)で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。



可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない
火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない



外部フラッシュの発光部やAF補助光を至近距離で人に向け
ない

運転者に向かって使用すると、事故の誘発につながります。
視覚障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

	ショルダーストラップ、メモリーカード、ホットシューカバ ー、バッテリーグリップ接点カバーを乳幼児の手の届く ところに置かない ショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそ れがあります。 小さな部品を誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。 • 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。
	電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない 本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけ ど*の原因になります。 • 長時間で使用する場合は、三脚などをお使いください。 * 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受 けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾 向があります。
	ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力 が大きく損なわれる原因になります。
 分解禁止	分解、改造をしない 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
 接触禁止	雷が鳴ったら、触れない 感電の原因になります。 • 本体やチャージャー、ACアダプターには、金属部があります。

	異常・故障時には直ちに使用を中止する ----- 異常があったときには、バッテリーを外す • 煙が出たり、異常なおいや音がする • 映像や音声が出ないことがある • 内部に水や異物が入った • 電源プラグが異常に熱い • 本体やチャージャー、ACアダプターが破損した そのまま使うと火災・感電の原因になります。 • ACアダプターを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。 • 電源プラグがすぐ抜けるよう、ACアダプターは容易に手が届く位置にある電源コンセントに接続してください。 • 電源を切り、販売店にご相談ください。
	電源プラグは、正しく扱う 感電や、ショートによる火災の原因になります。 • 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります) • 根元まで確実に差し込む
	ショルダーストラップは肩に掛けて使う けがや事故の原因になります。 • 首に掛けての使用はしない
	病院内や航空機内など、使用が禁止／制限されている場所では、電源を切る／無線機能を無効にするなどの指示に従う 本機からの電磁波などが、機器類に影響を及ぼすことがあります。
	自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くや、医療用電気機器のある場所では電源を切る 本機からの電波が機器類に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

注意

	外部フラッシュの発光部を人体やものでふさがない、ごみなどの異物が付いたまま使わない やけどや発光熱による発煙の原因となることがあります。
	次のような場所に放置しない 火災や感電の原因になることがあります。 • 異常に温度が高くなるところ (特に真夏の車内やボンネットの上など) • 油煙や湯気の当たるところ • 湿気やほこりの多いところ
	布で覆うなど、本機、ACアダプターの放熱を妨げない 内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。
	レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない 集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。
	低温下で長時間、直接触れて使用しない 寒冷地(スキー場などの0℃以下の環境)で本機の金属部に長時間、直接触れていると皮膚に傷害を起こす原因になることがあります。 • 長時間で使用の場合は、手袋などをお使いください。
	メモリーカード取り出し時に、カードの高温に関する注意がモニターやファインダーなどに表示されたら、カードに触らない メモリーカードが高温になっているため、やけどの原因となったり、取り出すときに落下させて破損するおそれがあります。



次のときは、電源プラグを抜く・バッテリーを取り出す
通電状態、またはバッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化
やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

はじめに

本章では、ご使用前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

- ご使用の前に: 27
- 同梱品: 30
- 使用できるレンズ: 34
- 使用できるメモリーカード: 35
- 各部の名前: 38

ご使用の前に

❖ カメラ／レンズのファームウェアについて

本機の性能向上や機能追加のため、ファームウェアアップデートを提供する場合があります。お買い上げのカメラ／レンズのファームウェアが最新のバージョンになっているかご確認ください。最新のファームウェアバージョンでのご使用をお勧めします。

- カメラ／レンズのファームウェアのバージョンは、カメラにレンズを取り付けて、セットアップメニュー(その他)の[バージョン表示]でご確認ください。
[バージョン表示]で、ファームウェアアップデートの実行もできます。(→ [バージョン表示: 672](#))
- ファームウェアの最新情報やダウンロード、アップデート方法については、下記サポートサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/download/index4.html>

❖ カメラの取り扱いについて

カメラを使用するときは、落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えたりしないようお気をつけください。カメラおよびレンズの故障や破損の原因になります。

モニターに砂やほこり、液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

- タッチ操作が誤認識される場合があります。

低温(−10℃～0℃)で使用する場合

- 推奨使用温度が−10℃までに対応した当社製レンズを取り付けてお使いください。

カメラのマウント内に手を入れないでください。

センサー部は精密機器のため、故障や破損の原因になります。

電源OFF中にカメラを振ると、センサーが動いたり、「カタカタ」音がしたりします。ボディ内手ブレ補正機構によるもので、故障ではありません。

❖ 防じん防滴について

本機の防じん防滴構造は、ほこりや水滴の侵入を完全に防ぐものではありません。防じん防滴性能を満足させるため、以下の注意事項をお守りください。

- 防じん防滴対応の当社製レンズを取り付けてください。
- カメラの扉部や接点カバーなどは、しっかりと閉じてください。
- レンズやキャップを取り外したとき、扉を開けたときは、砂やほこり、水滴が内部に侵入しないようにしてください。
- 液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

❖ 露付き(レンズやファインダー、モニターが曇るとき)

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやファインダー、モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になるためお気をつけください。
- 露付きが起こった場合は、電源を切り、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、自然に曇りが取れます。

❖ 必ず事前に試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に記録されていることを確かめてください。

❖ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で記録されなかった場合、内容の補償についてはご容赦ください。

❖ 著作権にお気をつけください

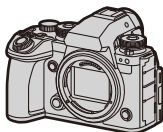
あなたが撮影、録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断で使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合があるためお気をつけください。

❖ 使用上のお願いも、併せてお読みください(→使用上のお願い : 824)

同梱品

デジタルカメラボディ

(本書ではカメラと表記します)



付属品をご確認ください。(品番は2025年5月現在)

バッテリーパック

DMW-BLK22

(本書ではバッテリーと表記します)

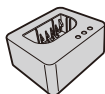
- 充電してからお使いください。



バッテリーチャージャー*1

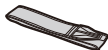
DVLC1005Z

(本書ではチャージャーと表記します)



ショルダーストラップ

DVPW1040Z



ボディキャップ*2

1HE1MC891Z



ホットシューカバー*2

4HR1MC5229Z



バッテリーグリップ接点カバー*2

SKF0145K



*1 バッテリーチャージャーには、ACアダプター、電源コードおよびUSB接続ケーブル付きの別売品(DMW-BTC15)があります。

*2 お買い上げ時はカメラに装着されています。

DC-S1M2ESM(レンズキット商品)に同梱

35 mm フルサイズ用交換レンズ

S-R24105 (LUMIX S 24-105mm F4 MACRO O.I.S.)



- 防じん防滴対応

レンズフード

1ZE4SR24105Z



レンズキャップ*3

1GE1Z276Z



レンズリアキャップ*3

RGE1Z276Z



*3 お買い上げ時はレンズに装着されています。

- メモリーカードは別売です。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。

詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト

<https://ec-plus.panasonic.jp/>



使用できるレンズ

本機のレンズマウントはライカカメラ社 L-Mount 規格に準拠しています。同規格の 35 mm フルサイズ用交換レンズおよび APS-C サイズ用交換レンズを使用できます。

- 本書では、説明に使用する交換レンズを以下のように表記しています。
 - 35 mm フルサイズ用交換レンズ:**フルサイズ用レンズ**
 - APS-C サイズ用交換レンズ:**APS-C 用レンズ**
- レンズの種類を区別しないときは、**レンズ**と表記します。
- 本機に対応するレンズの情報は、**カタログ／ホームページをご覧ください。**
<https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html>



- APS-C 用レンズで撮影するときの画角は、35 mm フィルムカメラの焦点距離に換算すると、1.5 倍の焦点距離の画角に相当します。(50 mm レンズを使用した場合は、75 mm レンズ相当の画角になります)
- APS-C 用レンズを使用したときは、撮影範囲が狭くなるため以下の機能が使用できません。
 - ハイレゾモード
- L-Mount 規格に準拠していない市販のアクセサリを装着すると、本機の故障や動作不具合などにつながる場合があります。
 - 本原因で故障や不具合などが発生した場合、保証の対象外となります。

使用できるメモリーカード

本機は、CFexpressカードおよびSDメモリーカードを使用できます。
使用できるメモリーカードは下記のとおりです。(2025年5月現在)

- 本書では、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードの総称を**SDカード**と表記します。
- CFexpressカードとSDカードを区別しないときは、**カード**と表記します。
- 動作確認済みメモリーカードについての情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html>

カードスロット1:CFexpressカード

CFexpressカード(CFexpress Ver.2.0 TypeB)(64 GB～2 TB)

カードスロット2:SDメモリーカード

SDメモリーカード／SDHCメモリーカード／SDXCメモリーカード(最大512 GB)

- 本機はUHS-I／UHS-II UHS Speed Class 3規格およびUHS-II Video Speed Class 90規格のSDカードに対応しています。



❖ 本機で利用できるSDカード

以下の機能を使う場合は、対応したSDスピードクラス、UHSスピードクラス、Videoスピードクラスのカードを使用してください。

- スピードクラスとは、連続的な書き込みのために必要な最低速度を保証するための規格です。

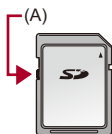
動画撮影

動画画質のビットレート	スピードクラス	表示の例
72 Mbps以下	Class 10	CLASS10 10
	UHS Speed Class 1 以上	U1
	Video Speed Class 10 以上	V10
200 Mbps以下	UHS Speed Class 3	U3
	Video Speed Class 30 以上	V30
400 Mbps以下	Video Speed Class 60 以上	V60
600 Mbps以下	Video Speed Class 90	V90

- 以下の動画はSDカードに記録できません。CFexpressカードを使用してください。
 - ビットレートが800 Mbps以上の[MOV]の動画
 - 解像度がFHD以外の[Apple ProRes]の動画
 - 映像圧縮方式がALL-Intraの動画画質のスロー&クイック動画



- SDカードの書き込み禁止スイッチ (A) を「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去を禁止できます。

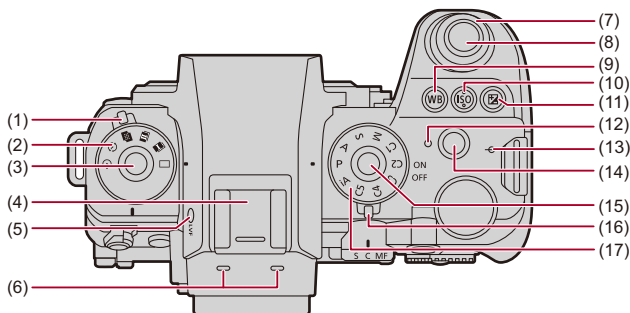


- 電磁波、静電気、カメラやカードの故障により、カードに記録されたデータが破損することがあります。大切なデータはバックアップを取ることをお勧めします。

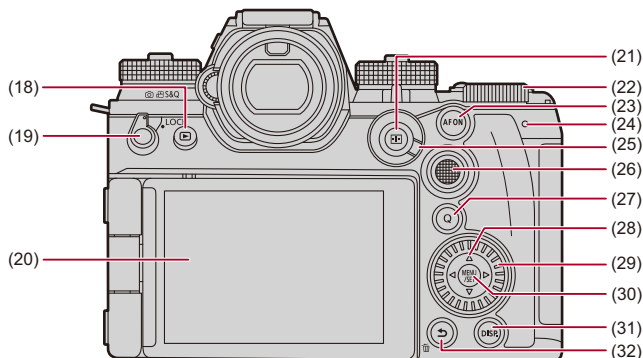
各部の名前

- カメラ: 38
- 同梱レンズ: 46
- ファインダー／モニターの表示: 47

カメラ

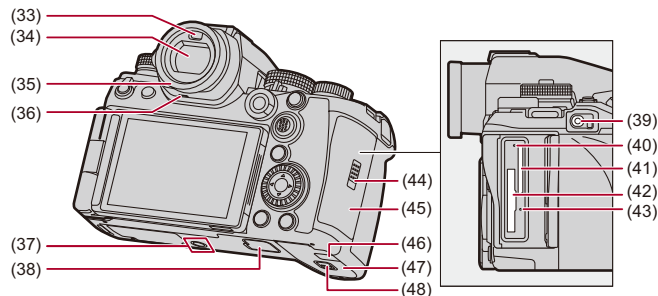


- (1) 写真/動画/S&Q切り換えスイッチ(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82)
- (2) ドライブモードダイヤル(→ドライブモードの選択: 244)
- (3) ドライブモードダイヤルロックボタン(→ドライブモードの選択: 244)
- (4) ホットシュー(ホットシューカバー)(→ホットシューカバーの取り外し: 383)
- (5) [LVF]ボタン(→モニターとファインダーの切り換え: 92)
- (6) ステレオマイク(→音声の設定: 414)
 - マイクを指で塞がないでください。音声記録されにくくなります。
- (7) 前ダイヤル(→前ダイヤル/後ダイヤル: 86)
- (8) シャッターボタン(→写真を撮る: 122)
- (9) [WB](ホワイトバランス)ボタン(→ホワイトバランス(WB): 341)
- (10) [ISO](ISO感度)ボタン(→ISO感度: 333)
- (11) [(露出補正)ボタン(→露出補正: 325)
- (12) 充電ランプ(→充電ランプの表示: 58)/
NETWORK接続ランプ(→Wi-Fi/Bluetooth機能の動作確認: 693)
- (13) [(撮影距離基準マーク)(→MFアシスト画面での操作: 225)
- (14) 動画記録ボタン(→動画を撮る: 136)
- (15) モードダイヤルロックボタン(→撮影モードの選択: 83)
- (16) 電源スイッチ(→時計の設定(初めて電源を入れるとき): 76)
- (17) モードダイヤル(→撮影モードの選択: 83)



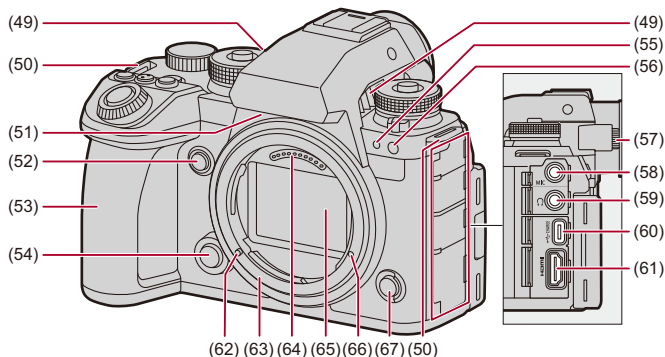
- (18) [▶](再生)ボタン(→ [画像の再生／編集: 535](#))
- (19) 操作ロックレバー(→ [操作ロックレバー: 90](#))
- (20) モニター(→ [ファインダー／モニターの表示: 47](#)、[モニター／ファインダーの表示: 787](#))／
タッチパネル(→ [タッチパネル: 89](#))
- (21) [AF-ON](AFモード)ボタン(→ [AFモードの選択: 196](#))
- (22) 後ダイヤル(→ [前ダイヤル／後ダイヤル: 86](#))
- (23) [AF ON]ボタン(→ [\[AF ON\]ボタン: 183](#))
- (24) リアタリールンプ(→ [動画を撮る: 136](#))／
リアカードアクセスランプ(→ [カードアクセス中の表示: 66](#))
- (25) フォーカスモードレバー(→ [フォーカスモードの選択: 179](#)、[AFを使う: 181](#)、[MFで撮る: 223](#))
- (26) ジョイスティック(→ [ジョイスティック: 88](#))／
Fnボタン(Fn12～Fn16)(→ [Fnボタン: 580](#))

- (27) [Q](クイックメニュー)ボタン(→ [クイックメニュー: 98](#))
- (28) カーソルボタン(→ [カーソルボタン: 87](#)) /
Fnボタン(Fn8～Fn11)(→ [Fnボタン: 580](#))
- (29) コントロールダイヤル(→ [コントロールダイヤル: 86](#))
- (30) [MENU/SET]ボタン(→ [\[MENU/SET\]ボタン: 87](#)、メニューの操作方法: [103](#))
- (31) [DISP.]ボタン(→ [情報表示の切り換え: 95](#))
- (32) [(戻る)ボタン(→ [メニューの操作方法: 103](#)) /
[画像の消去: 554) /
Fnボタン(Fn1)(→ [Fnボタン: 580](#))



- (33) アイセンサー(→モニターとファインダーの切り換え: 92)
- (34) ファインダー(→ファインダー／モニターの表示: 47、モニターとファインダーの切り換え: 92、モニター／ファインダーの表示: 787)
- (35) アイカップ(→ファインダーのお手入れについて: 827)
- (36) スピーカー(→電子音: 660)
- (37) 三脚取り付け部(→三脚: 832)
- ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、しっかり固定できない場合や、カメラを傷つける場合があります。
- (38) バッテリーグリップ接点(バッテリーグリップ接点カバー)(→バッテリーグリップ(別売): 782)
- (39) [REMOTE]端子(→シャッターリモコン(別売): 784)
- (40) カードアクセスランプ2(→カードアクセス中の表示: 66)
- (41) カードスロット2(→カード(別売)の挿入: 65)
- (42) カードスロット1(→カード(別売)の挿入: 65)
- (43) カードアクセスランプ1(→カードアクセス中の表示: 66)

- (44) カード扉ロックレバー(→ [カード\(別売\)の挿入: 65](#))
- (45) カード扉(→ [カード\(別売\)の挿入: 65](#))
- (46) DCカプラー扉(→ [DCカプラー\(別売\): 786](#))
- (47) バッテリー扉(→ [バッテリーの挿入: 55](#))
- (48) バッテリー扉開閉レバー(→ [バッテリーの挿入: 55](#))



(49) 排気口(→ [ファン動作モード: 645](#))

- 冷却用ファンの排気口です。
- 新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで本機の排気口を塞がないでください。

(50) ショルダーストラップ取り付け部(→ [ショルダーストラップの取り付け: 50](#))

(51) 吸気口(→ [ファン動作モード: 645](#))

- 冷却用ファンの吸気口です。
- 新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで本機の吸気口を塞がないでください。

(52) AFポイントスコープボタン([)モード時)(→ [AFポイントスコープ: 185](#))／
動画ライブビュー拡大表示ボタン([)／[S&Q]モード時)(→ [動画ライブビュー拡大表示: 406](#))／

Fnボタン(Fn2)(→ [Fnボタン: 580](#))

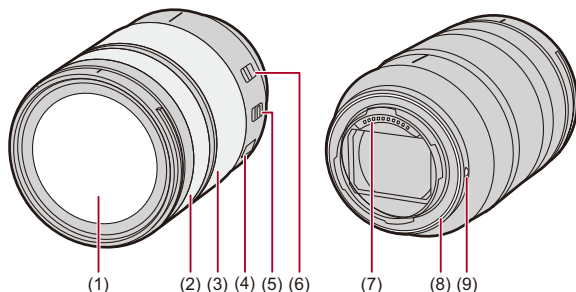
(53) グリップ

(54) レンズ取り外しボタン(→ [レンズの取り外し: 69](#))

- (55) フロントタリーランプ(→ [動画を撮る: 136](#))
- (56) セルフタイマーランプ(→ [セルフタイマー撮影: 271](#)) /
AF補助光ランプ(→ [AF補助光: 191](#))
- (57) 視度調整ダイヤル(→ [ファインダーの視度の調整: 91](#))
- (58) [MIC]端子(→ [外部マイク\(別売\): 422](#))
- (59) ヘッドホン端子(→ [ヘッドホン: 430](#))
- (60) USB端子(→ [カメラにバッテリーを入れて充電する: 57](#)、外付けSSDを接続する:
[529](#)、[Frame.io](#)との接続: [722](#)、[「LUMIX Flow」](#)と接続する: [731](#)、ストリーミング機能:
[739](#)、USB端子: [757](#)、パソコン用のWebカメラとして使用する: [767](#)、有線LAN
接続で[「LUMIX Tether」](#)を使う: [774](#))
- (61) HDMI端子(→ [HDMI機器と接続する: 509](#)、動画RAWデータ出力: [520](#)、HDMI端子:
[756](#))
- (62) レンズロックピン(レンズ取り付けマーク)(→ [レンズの取り付け: 68](#))
- (63) マウント
- (64) 接点
- (65) センサー
- (66) 機能拡張用ねじ穴
- (67) サブ動画記録ボタン(→ [動画を撮る: 136](#))

同梱レンズ

S-R24105



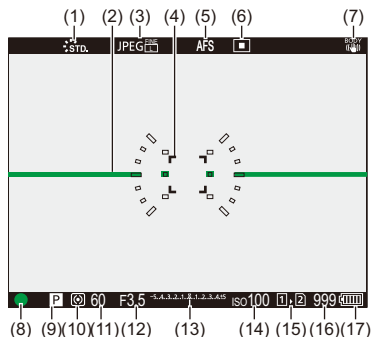
- (1) レンズ面
- (2) フォーカスリング(→[MFで撮る: 223](#))
- (3) ズームリング(→[ズームを使って撮る: 229](#))
- (4) O.I.S.スイッチ(→[手ブレ補正: 296](#))
- (5) AF／MFスイッチ(→[AFを使う: 181](#)、[MFで撮る: 223](#))
 - AFとMFを切り換えます。レンズ側か、カメラ側のどちらかが[MF]になっていれば、MF動作になります。
- (6) ズームロックスイッチ
 - 焦点距離を 24 mm にして、スイッチを[LOCK]側にすると、ズームリングがロックされます。
- (7) 接点
- (8) レンズマウントラバー
- (9) レンズ取り付けマーク(→[レンズの取り付け: 68](#))

ファインダー／モニターの表示

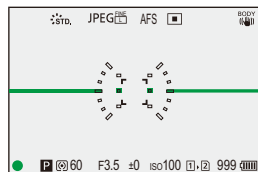
お買い上げ時、ファインダー／モニターには以下のアイコンが表示されます。

- ここに記載している以外のアイコンについて(➔ [モニター／ファインダーの表示: 787](#))

ファインダー



モニター



- (1) フォトスタイル(→ [フォトスタイル: 349](#))
- (2) 水準器(→ [水準器表示: 638](#))
- (3) 記録ファイル形式(写真)(→ [記録ファイル形式\(写真\): 129](#)) /
JPEG/HEIF写真画質(→ [JPEG/HEIF写真画質: 134](#))
画像サイズ(→ [画像サイズ: 127](#))
- (4) AFエリア(→ [AFエリアの操作: 214](#))
- (5) フォーカスモード(→ [フォーカスモードの選択: 179](#)、[AFを使う: 181](#)、[MFで撮る: 223](#))
- (6) AFモード(→ [AFモードの選択: 196](#))
- (7) 手ブレ補正(→ [手ブレ補正: 296](#))
- (8) フォーカス(緑点灯)(→ [写真を撮る: 122](#)、[AFを使う: 181](#)) /
記録動作表示(赤点灯)(→ [動画を撮る: 136](#)、[ハイレゾモード: 255](#))
- (9) 写真/動画/S&Qモード(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#)) /
撮影モード(→ [撮影モードの選択: 83](#))
- (10) 測光モード(→ [測光モード: 306](#))
- (11) シャッタースピード(→ [写真を撮る: 122](#)、[シャッター優先AEモード: 315](#))
- (12) 絞り値(→ [写真を撮る: 122](#)、[絞り優先AEモード: 312](#))
- (13) 露出補正值(→ [露出補正: 325](#)) /
マニュアル露出アシスト(→ [マニュアル露出アシスト: 319](#))
- (14) ISO感度(→ [ISO感度: 333](#))
- (15) カードスロット(→ [カード\(別売\)の挿入: 65](#)) /
ダブルスロット機能(→ [ダブルスロット機能: 652](#))
- (16) 写真撮影枚数(→ [記録メディアの写真撮影枚数、動画記録時間: 840](#)) /
連続撮影可能枚数(→ [連続撮影可能枚数: 252](#))
- (17) バッテリー残量(→ [電源に関する表示: 61](#))



• [Fn] ボタンを押すと、水準器の表示／非表示を切り換えることができます。

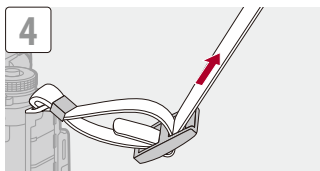
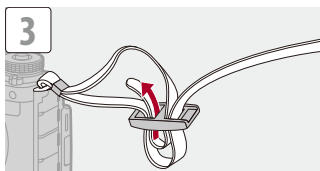
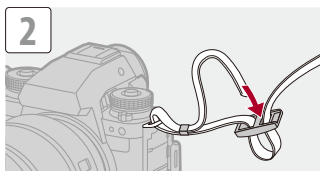
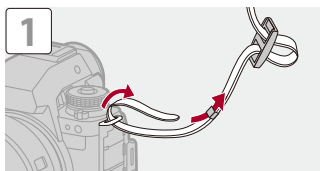
準備

撮影前に、本章を読んでカメラを準備してください。

- ショルダーストラップの取り付け: 50
- バッテリーの充電: 52
- カード(別売)の挿入: 65
- レンズの取り付け: 68
- モニターの向きと角度の調整: 73
- 時計の設定(初めて電源を入れるとき): 76

ショルダーストラップの取り付け

落下防止のため、以下の手順でショルダーストラップを取り付けてください。





- ショルダーストラップを引いて、抜けないことを確認してください。
- 反対側も、同じ手順で取り付けてください。

バッテリーの充電

- [チャージャーを使った充電: 53](#)
- [バッテリーの挿入: 55](#)
- [カメラにバッテリーを入れて充電する: 57](#)
- [電力を供給しながらカメラを使う \(給電／充電\): 60](#)
- [充電／給電についてのお知らせ: 61](#)
- [エコモード: 63](#)

バッテリーは付属のチャージャー、またはカメラ本体を使って充電できます。カメラの電源をオンにして、電源コンセントから電力を供給 (給電) することもできます。

別売のバッテリーチャージャー (DMW-BTC15) も使用できます。

- 本機で使うことができるバッテリーはDMW-BLK22です。(2025年5月現在)

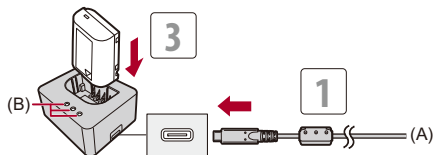


- お買い上げ時、バッテリーは充電されていないため、充電してからお使いください。

チャージャーを使った充電



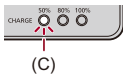
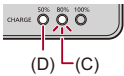
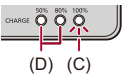
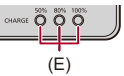
- 充電には当社製のACアダプター(別売:DMW-AC11)の使用を推奨します。
- 本機は市販のACアダプターやUSB接続ケーブルで充電できます。
 - ※ 市販品のACアダプターの推奨仕様
 - PD(Power Delivery)対応
 - DC 9 V / 3 A (27 W)出力対応
 - USB Type-C 端子
 - ※ 充電には27 W出力以上のUSB接続ケーブルをお使いください。
- 充電には5 V / 500 mA以上のACアダプターも使用できます。ただし、推奨のACアダプターより充電時間が長くなる場合があります。
- 市販されているすべての機器との動作を保証するものではありません。



(A) ACアダプターへ

- 1 チャージャーとACアダプターをUSB接続ケーブルでつなぐ
 - 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
- 2 ACアダプターを電源コンセントに差し込む
- 3 バッテリーを差し込む
 - 充電ランプ([CHARGE]) (B)が点滅し、充電が始まります。

❖ 充電ランプの表示

充電状態	0 %～49 %	50 %～79 %	80 %～99 %	100 %
充電ランプ	 (C)	 (D) (C)	 (D) (C)	 (E)

(C) 点滅

(D) 点灯

(E) 消灯

- チャージャーを電源に接続していないときにバッテリーを差し込むと、充電ランプが一定時間点灯してバッテリー残量を確認できます。

充電時間: 約175分

- 別売のACアダプター(DMW-AC11)、または別売のバッテリーチャージャー(DMW-BTC15)の付属品を使用。
- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長期間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。



- チャージャーは屋内で使用してください。

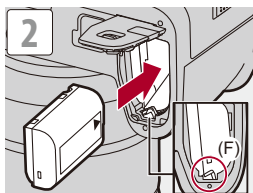
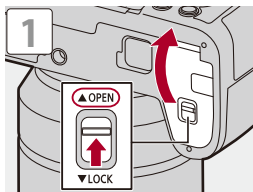


- 充電完了後は、電源との接続を解除して、バッテリーを取り外してください。
- [50%]のランプが速く点滅するときは、充電できていません。
 - バッテリーや周囲の温度が高すぎる、または低すぎます。周囲の温度が10℃～30℃のところで再度充電してください。
 - チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。電源との接続を解除してから、汚れを乾いた布でふき取ってください。

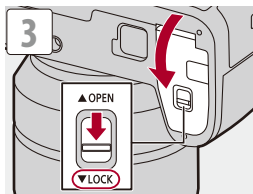
バッテリーの挿入



- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認してください。

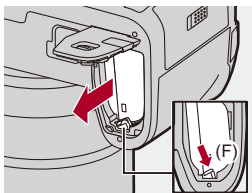


- バッテリーに(F)のレバーがかかっていることを確認してください。



❖ バッテリーの取り出し

- 1 電源スイッチを[OFF]にする
- 2 バッテリー扉を開く
- 3 (F)のレバーを矢印の方向に押して、バッテリーを取り出す
 - カードアクセスランプの消灯を確認してからバッテリーを取り出してください。(→ [カードアクセス中の表示: 66](#))

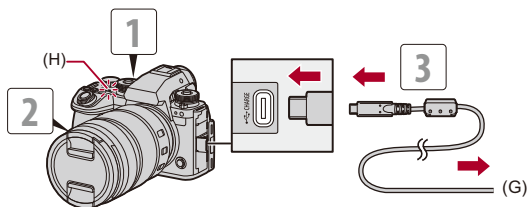


- バッテリー扉の内側(クッション)に異物が付着していないことを確認してください。
- 使用後は、バッテリーを取り出してください。(カメラ内に挿入したまま長期間放置すると、バッテリーは消耗します)
- 使用後や充電中、充電直後のバッテリーは、温くなります。また使用中はカメラも温くなりますが、異常ではありません。
- バッテリーを取り出すときに、バッテリーが飛び出すためお気をつけください。

カメラにバッテリーを入れて充電する



- 充電には当社製のACアダプター(別売:DMW-AC11)、またはバッテリーチャージャー(別売:DMW-BTC15)の付属品の使用を推奨します。
- 本機は市販のACアダプターやUSB接続ケーブルで充電できます。
 - ※ 市販品のACアダプターの推奨仕様
 - PD(Power Delivery)対応
 - DC 9 V / 3 A (27 W)出力対応
 - USB Type-C 端子
 - ※ 充電には27 W出力以上のUSB 接続ケーブルをお使いください。
- 充電には5 V / 500 mA以上のACアダプターも使用できます。ただし、推奨のACアダプターより充電時間が長くなる場合があります。
- 市販されているすべての機器との動作を保証するものではありません。



(G) ACアダプターへ

- 1 電源スイッチを[OFF]にする
- 2 カメラにバッテリーを入れる

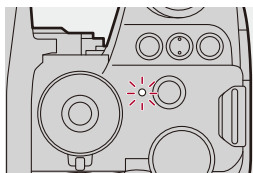
3 カメラのUSB端子とACアダプターをUSB接続ケーブルでつなぐ

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)

4 ACアダプターを電源コンセントに差し込む

- 充電ランプ(H)が赤色点灯し、充電が始まります。

❖ 充電ランプの表示



充電ランプ(赤色)

点灯: 充電中

消灯: 充電完了

点滅: 充電エラー

充電時間: 約170分

- カメラ本体と別売のACアダプター(DMW-AC11)、または別売のバッテリーチャージャー(DMW-BTC15)の付属品を使用。
- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長期間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。



- USB機器(パソコンなど)とカメラをUSB接続ケーブルでつないでも充電できません。この場合、充電時間が長くなる場合があります。
- バッテリーグリップ(別売:DMW-BG2)に挿入したバッテリーは充電できません。



- 充電完了後は、電源との接続を解除してください。
- 充電ランプが赤く点滅するときは、充電できていません。
 - バッテリーや周囲の温度が高すぎる、または低すぎます。周囲の温度が10℃～30℃のところで再度充電してください。
 - バッテリーの端子部が汚れています。バッテリーを取り出して汚れを乾いた布でふき取ってください。
- 電源スイッチを[OFF]にして電源を切った状態でも、電力を消費しています。長期間使用しないときは、節電のため、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

電力を供給しながらカメラを使う(給電／充電)

本機と別売のACアダプター(DMW-AC11)、および別売のバッテリーチャージャー(DMW-BTC15)の付属品は、USB PD(USB Power Delivery)に対応しているため、電力を供給(給電)しながら充電できます。

USB 接続ケーブル、AC アダプター、電源コードとカメラを接続し、電源をオンにしてください。

- カメラにバッテリーを挿入してください。
- 本機は市販のACアダプターやUSB接続ケーブルで給電できます。

※ 市販品のACアダプターの推奨仕様

- PD(Power Delivery)対応
- DC 9 V / 3 A (27 W)出力対応
- USB Type-C端子

※ 給電には27 W出力以上のUSB接続ケーブルをお使いください。

- 市販されているすべての機器との動作を保証するものではありません。
- 給電時は、画面にが表示されます。
- 電源オン中の充電は、電源オフ中よりも充電時間が長くなります。



- USB PD非対応の機器(パソコンなど)と接続してカメラの電源をオンにした場合は、給電だけが行われます。
- 電源プラグを抜き差しする場合は、先にカメラの電源を切ってください。
- 使用状況によっては、バッテリー残量が減る場合があります。残量がなくなると、電源が切れます。
- 接続する機器の給電能力によっては、給電できない場合があります。
- 高温表示について(→ [高温表示について: 145](#))

充電／給電についてのお知らせ

❖ 電源に関する表示

モニター表示



モニター表示(バッテリーグリップ装着時)



(I) USB 接続ケーブルから電源供給中

(J) バッテリー残量(カメラ側)

(K) バッテリー残量(バッテリーグリップ側)

	80 %以上
	60 %～79 %
	40 %～59 %
	20 %～39 %
	19 %以下
 赤色点滅	残量不足(電源表示ランプも点滅します) • バッテリーを充電または交換してください。
	残量なしまたは電池未装着 • バッテリーを充電または交換してください。
表示なし /	DC カプラー装着

• 表示される残量は目安です。周囲の環境や使用条件によって異なります。

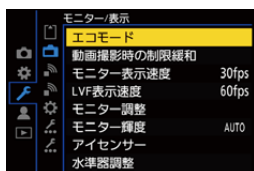


- パナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めします。純正品以外のバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。
 - 純正品以外のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、弊社では、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
 - 電源プラグの接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。
 - USB延長ケーブルや、USB変換アダプターは使用しないでください。
 - バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。
 - 停電時など電源コンセントに異常が発生した場合は、充電が正常に終了しないことがあります。電源プラグを接続し直してください。
 - キーボードやプリンターのUSB端子やUSBハブには接続しないでください。
 - 接続したパソコンが休止状態になると、充電／給電が中止されることがあります。
 - 充電が完了してもバッテリー残量表示がにならない場合は、バッテリーが劣化している可能性があります。
- 該当バッテリーのご使用はお控えください。

エコモード

一定時間何も操作をしないと、カメラをスリープ(省電力)状態にしたり、ファインダー／モニターを消灯したりする機能です。バッテリーの消費を抑えます。

MENU/SET → **[]** → **[]** → **[エコモード]を選ぶ**



スリープモード	スリープするまでの時間を設定します。 • [スリープモード]を[OFF]に設定すると、本機の消費電力が増加する可能性があります。	
スリープモード(Wi-Fi)	Wi-Fi切断後、15分でスリープするように設定します。 • [スリープモード(Wi-Fi)]を[OFF]に設定すると、本機の消費電力が増加する可能性があります。	
LVF/モニター自動OFF	ファインダー／モニターを消灯する時間を設定します。(電源は切りません)	
省電力ファインダー撮影	スリープするまでの時間	スリープするまでの時間を設定します。
	動作する条件	スリープが働く画面を設定します。 [コントロールパネルのみ] : コントロールパネル(→ コントロールパネル: 100)を表示しているときだけスリープします。 [撮影待機中] : 撮影待機中はどの画面のときでもスリープします。

動画時のAF動作	[]モード時のAFの動作を設定します。 [撮影中のみ]: 動画撮影中のみAFが連続動作します。バッテリーの消費を抑えられます。 [常時]: 動画撮影前からAFが連続動作します。

- [スリープモード]、[スリープモード(Wi-Fi)]、[省電力ファインダー撮影]から復帰する場合は、以下のいずれかの操作をしてください。
 - シャッターボタンを半押しする
 - 電源スイッチを[OFF]にしてから、もう一度[ON]にする
- [LVF/モニター自動OFF]から復帰するには、いずれかのボタンを押してください。



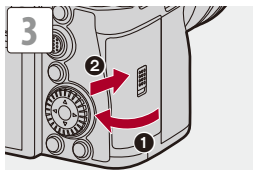
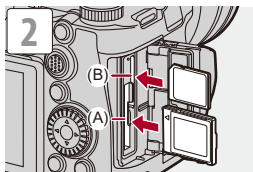
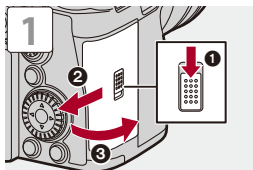
- 以下の場合、[エコモード]が働きません。
 - パソコン接続中
 - 動画撮影／動画再生中
 - インターバル撮影中
 - コマ撮りアニメ撮影時([自動撮影]設定時)
 - [多重露出]撮影時
 - [ライブビューコンボジット撮影]時
 - [フォーカストラッキング]撮影時
 - スライドショー中
 - HDMI出力して撮影中

カード(別売)の挿入



- 使用する前に本機でカードをフォーマットしてください。(→ [フォーマット: 651](#))

本機はダブルスロット機能に対応しています。カードを2枚使用すると、リレー記録やバックアップ記録、振り分け記録ができます。



- (A) カードスロット1:CFexpressカード
- (B) カードスロット2:SDカード

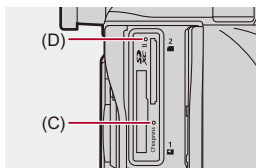
• カードの向きを図に合わせ、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。



- カードスロット1、カードスロット2への記録方法を設定できます：
(→ [ダブルスロット機能: 652](#))
- 画像を保存するフォルダーとファイル名を設定できます：
(→ [フォルダー/ファイル設定: 654](#))

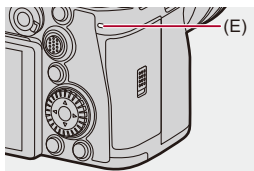
❖ カードアクセス中の表示

カードアクセス中は、カードアクセスランプが点灯します。



- (C) カードスロット1のカードアクセスランプ
- (D) カードスロット2のカードアクセスランプ

• カードアクセス中は、リアカードアクセスランプも点灯します。



- (E) リアカードアクセスランプ

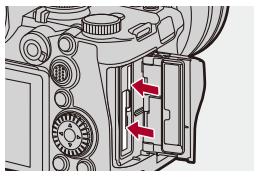


- カメラ使用後はカードが熱くなっていることがあります。
- アクセス中は、以下の操作をしないでください。カメラが正常に動作しなくなったり、カードや撮影データが壊れたりするおそれがあります。
 - 電源を切る
 - バッテリーやカード、電源プラグを抜く
 - カメラに振動や衝撃、静電気を与える



- リアカードアクセスランプの点灯／消灯を設定できます。リアカードアクセスランプの明るさを変更することもできます：
(→ [タリーランプ設定: 645](#))

❖ カードの取り出し



- 1 カード扉を開く
- 2 「カチッ」と音がするまでカードを押して、まっすぐ引き抜く
 - カードアクセスランプの消灯を確認してから、カードを取り出してください。

レンズの取り付け

• レンズフードの取り付け: 71

本機は、ライカカメラ社 L-Mount 規格レンズを取り付けることができます。
使用できるレンズについて (→ [使用できるレンズ: 34](#))

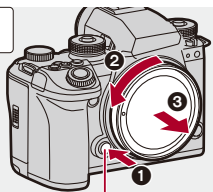


- 電源スイッチが [OFF] になっていることを確認してください。
- レンズの交換は、ごみやほこりの少ない場所で行ってください。ごみやほこりが付着した場合 (→ [撮像素子のごみの付着について: 826](#))
- レンズの交換は、レンズキャップを取り付けた状態で行ってください。

1

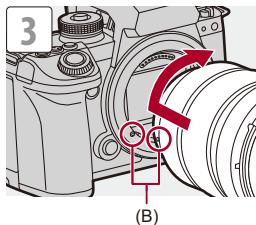


2



(A)

- ボディキャップを外すときは、レンズ取り外しボタン (A) を押しながら回してください。

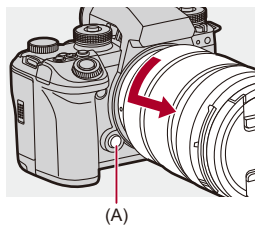


(B) レンズ取り付けマーク

- 「カチッ」と音がするまでレンズを回して取り付けてください。

❖ レンズの取り外し

- レンズ取り外しボタン(A)を押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して外してください。





- 本機との通信機能がないレンズを取り付けた場合は、電源を入れたときにレンズ情報の確認メッセージが表示されます。[はい]を選ぶとレンズの焦点距離などを登録できます。登録済みのレンズ情報から選択することもできます。(→ [レンズ情報: 303](#))
- 確認メッセージを非表示にできます：
(→ [レンズ情報確認表示: 649](#))
- レンズはまっすぐに差し込んでください。斜めに差し込んで取り付けようとすると、カメラのレンズ取り付け部を傷つけるおそれがあります。
- レンズを取り外したあとは、ボディキャップとレンズリアキャップを必ず取り付けてください。



- 電源OFF時に、シャッターを閉じるように設定できます。レンズ交換時にごみやほこりが撮像素子に付着することを抑えます：
(→ [電源OFF時のシャッター動作: 671](#))

レンズフードの取り付け

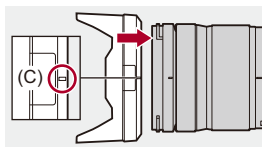
強い逆光下の撮影で、レンズ内部で光の乱反射が生じて光が写り込んだり、コントラストが低下したりすることを軽減します。余分な光を遮り、より美しく撮ることができます。

花型のレンズフードを取り付ける場合

- 図のように、指を添えてレンズフードを持ってください
- レンズフードをゆがませるような持ち方はしないでください。

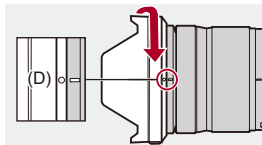


1 レンズフードの指標(C)(□)とレンズ先端の指標を合わせる



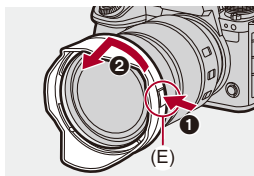
2 レンズフードを矢印の方向に回し、レンズフードの指標(D)(○)と、レンズ先端の指標を合わせる

- 「カチッ」と音がするまで回して取り付けてください。



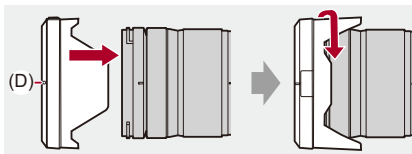
❖ レンズフードの取り外し

レンズフードのボタン(E)を押しながら、矢印の方向に回して取り外す



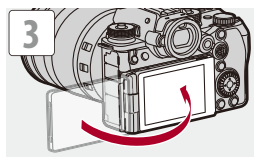
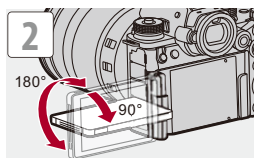
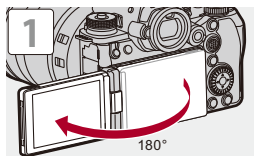
- 持ち運ぶときに、レンズフードを逆向きに取り付けることができます。

- 1 レンズフードの指標(D)(○)と、レンズ先端の指標を合わせる
- 2 レンズフードを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回して取り付ける



モニターの向きと角度の調整

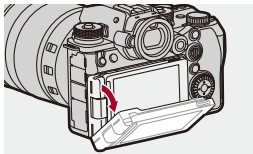
本機のモニターは、フリーアングルとチルトを組み合わせ、向きと角度を自由に調整できます。お買い上げ時はモニターが収納状態になっています。モニター面を表にしてからご使用ください。



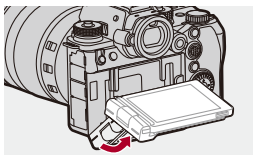
❖ チルト

撮影状況に合わせてモニターの角度を調整できます。ハイアングル、ローアングルでの撮影に便利です。

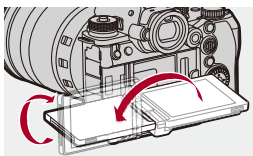
● ハイアングル撮影



● ローアングル撮影



❖ チルトした状態でモニターを開く





- 調整できる角度は目安です。
- モニターやチルト可動部に指を挟まないようにお気をつけください。
- モニターに無理な力を加えないでください。傷や故障の原因になります。
- カメラを使用しないときは、モニター面を内側にして閉じてください。



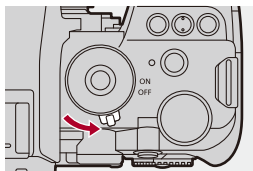
- 撮影時、モニターの向きや角度によって、画面が反転する／しないを設定できます：
(→ [LVF/モニター表示設定: 634](#))
- モニターの画面を反転表示させる設定をFnボタンに登録できます：
(→ [モニター反転表示切替: 590](#))

時計の設定 (初めて電源を入れるとき)

初めて電源を入れたときは、タイムゾーンと時計を設定する画面が表示されます。

正しい日時の情報を記録するために、ご使用の前に必ず設定してください。

1 電源スイッチを[ON]にする



2 [タイムゾーンを設定してください]と表示されたら、 または を押す

3 タイムゾーンを設定する

- ◀▶ でタイムゾーンを選び、 または  を押します。
- サマータイム [] (夏時間) を採用している場合は、▲を押してください。
(時計が1時間進みます) 元に戻すには、もう一度▲を押してください。



(A)

(A) GMT(グリニッジ標準時)との時差

4 [時計を設定してください]と表示されたら、 または を押す

5 時計を設定する

◀▶: 項目(年・月・日・時・分・秒)の選択

▲▼: 数値の選択



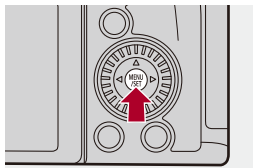
表示順・時刻表示形式を設定する場合

- ◀▶ で [表示形式] を選び、 または  を押すと、表示順(B)・時刻表示形式(C)の設定画面が表示されます。



6 決定する

-  または  を押します。



7 [時計を設定しました]と表示されたら、 または を押す



- 時計の設定をしないでカメラを使うと、2025年1月1日 0:00:00に設定されます。
- バッテリーなしでも約3か月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーをカメラに約24時間入れたままにしてください)



- [タイムゾーン]、[時計設定]はメニューから変更できます：
(→ [タイムゾーン: 670](#)、[時計設定: 670](#))

基本操作

カメラの基本的な操作方法や、すぐに撮影してみたいときに便利なインテリジェントオートモードについて説明しています。

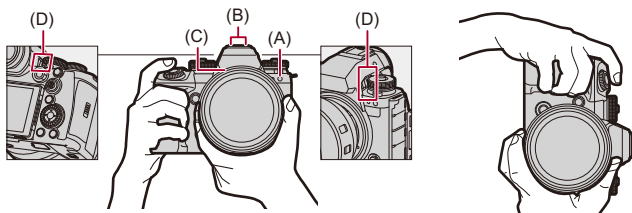
- カメラの構え方: 80
- 写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82
- 撮影モードの選択: 83
- カメラの設定操作: 85
- モニター/ファインダーの表示設定: 91
- クイックメニュー: 98
- コントロールパネル: 100
- メニューの操作方法: 103
- 文字の入力: 109
- インテリジェントオートモード: 110
- タッチ撮影: 117

カメラの構え方

手ブレを抑えるため、カメラが動かないように構えて撮影します。

両手でカメラを持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

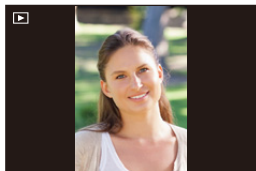
- 右手でカメラのグリップを包むようにしっかりと持ってください。
- 左手でレンズを下から支えてください。
- AF補助光ランプ(A)およびマイク(B)を指などで塞がないでください。
- 冷却用ファンの吸気口(C)および排気口(D)を手などで塞がないでください。



❖ 縦位置検出機能

縦に構えて撮影したことを検出する機能です。

初期設定では、写真を自動で縦向きにして再生します。



- [縦位置自動回転]を[OFF]にすると、写真を回転せずに再生します。(→ [縦位置自動回転: 571](#))



- カメラを大きく上や下に向けると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。

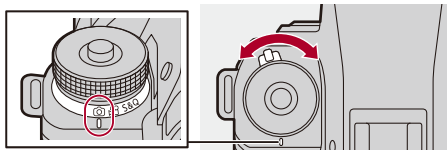


- 動画撮影時にカメラの縦位置情報を記録する／しないを設定できます：
(→ [動画の縦位置情報: 649](#))

写真/動画/S&Q切り換えスイッチ

撮影の目的に合わせて、写真/動画/S&Q切り換えスイッチを切り換えてください。

写真/動画/S&Q切り換えスイッチを切り換える



(写真モード)

写真撮影時に合わせます。(→ [写真を撮る: 122](#))

(動画モード)

動画撮影時に合わせます。(→ [動画を撮る: 136](#))

S&Q(スロー&クイックモード)

スロー&クイック動画撮影時に合わせます。(→ [スロー&クイック動画: 460](#))



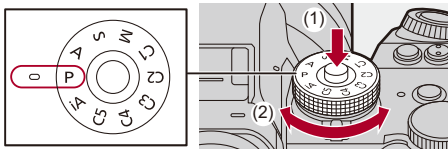
- 写真メニューは[]モード時にだけ、動画メニューは[] / [S&Q]モード時にだけ表示されます。写真メニューや動画メニューを表示したい場合は、各モードに合わせてください。

撮影モードの選択

1 モードダイヤルロックボタンを押して(1)、ロックを解除する

- モードダイヤルロックボタンが下がっているときはロックされています。押すごとにロック／ロックの解除が切り換わります。

2 モードダイヤルを回して(2)、撮影モードを合わせる



iA
インテリジェントオートモード(→ [インテリジェントオートモード: 110](#))

P
プログラムAEモード(→ [プログラムAEモード: 308](#))

A
絞り優先AEモード(→ [絞り優先AEモード: 312](#))

S
シャッター優先AEモード(→ [シャッター優先AEモード: 315](#))

M
マニュアル露出モード(→ [マニュアル露出モード: 318](#))

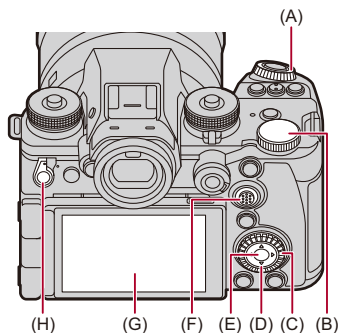
C1 / C2 / C3 / C4 / C5
カスタムモード(→ [カスタムモード: 605](#))



- モードダイヤルを[P]／[A]／[S]／[M]に合わせたときの写真または動画／S&Qの露出設定を、任意の露出モードに固定できます：
(→ [P/A/S/M時の露出設定: 616](#))

カメラの設定操作

カメラの設定を変更するときは、以下の操作部を使って操作します。
誤操作を防ぐために、操作ロックレバーで操作を無効にできます。



(A) 前ダイヤル (☀) (→ [前ダイヤル／後ダイヤル: 86](#))

(B) 後ダイヤル (☂) (→ [前ダイヤル／後ダイヤル: 86](#))

(C) コントロールダイヤル (⚙) (→ [コントロールダイヤル: 86](#))

(D) カーソルボタン (▲▼◀▶) (→ [カーソルボタン: 87](#))

(E) [MENU/SET] ボタン (Ⓜ) (→ [\[MENU/SET\] ボタン: 87](#))

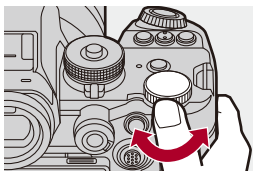
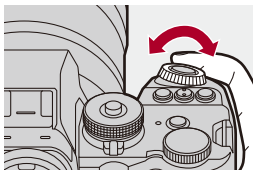
(F) ジョイスティック (▲▼◀▶ / 🌀) (→ [ジョイスティック: 88](#))

(G) タッチパネル (→ [タッチパネル: 89](#))

(H) 操作ロックレバー (→ [操作ロックレバー: 90](#))

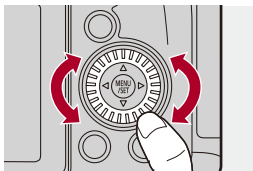
❖ 前ダイヤル／後ダイヤル

回す: 項目や数値を選択します。



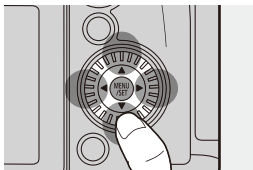
❖ コントロールダイヤル

回す: 項目や数値を選択します。



❖ カーソルボタン

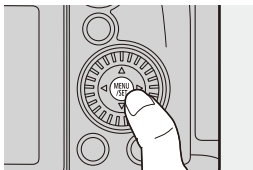
押す：項目や数値を選択します。



❖ [MENU/SET]ボタン

押す：設定内容を決定します。

- 撮影時と再生時は、メニューを表示します。



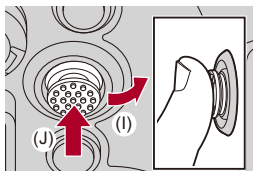
❖ ジョイスティック

ジョイスティックは、上下左右斜めに傾ける8方向操作と、中央部分を押し込む操作ができます。

(I) **傾ける**：項目、数値の選択や、位置の移動をします。

- ジョイスティックの中央に指の腹を当てて傾けると、操作しやすくなります。側面から押すと正しく動作しない場合があります。

(J) **押す**：設定内容を決定します。



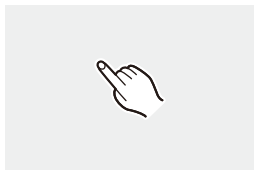
- 操作部の動作を無効にできます：
(→ [ロックレバー設定: 624](#))

❖ タッチパネル

画面に表示されるアイコンやスライドバー、メニューなどを指で触れて操作できます。

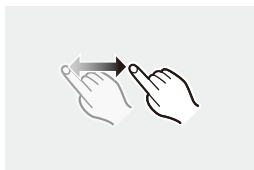
タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。



ドラッグする

タッチパネルに触れたまま指を動かす動作です。



ピンチする(広げる・縮める)

タッチパネルを2本の指で触れたまま、広げる(ピンチアウト)動作と縮める(ピンチイン)動作です。



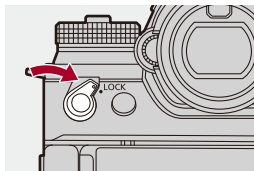


- 市販のモニター保護シートを使う場合は、その注意書きに従ってください。
(モニター保護シートの種類によっては、視認性や操作性を損なう場合があります)



- タッチ操作を無効にできます：
(→ [タッチ設定:623](#))

❖ 操作ロックレバー



操作ロックレバーを[LOCK]に合わせると、カスタムメニュー(操作)の[ロックレバー設定]で設定した操作部を無効にできます。(→ [ロックレバー設定:624](#))

モニター／ファインダーの表示設定

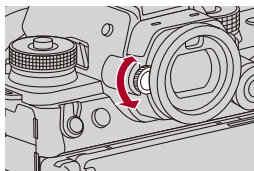
- ファインダーの設定: 91
- モニターとファインダーの切り換え: 92
- 情報表示の切り換え: 95

ファインダーの設定

❖ ファインダーの視度の調整

ファインダーをのぞきながら、視度調整ダイヤルを回す

- ファインダー内の文字がはっきり見えるまで調整してください。

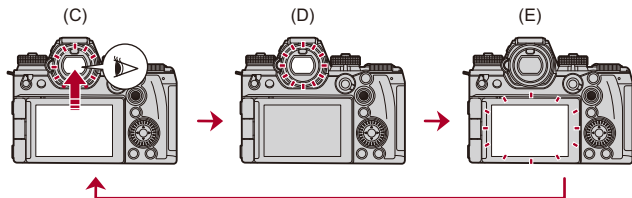
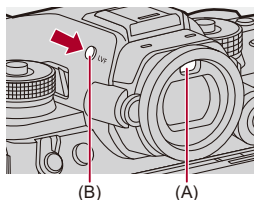


モニターとファインダーの切り換え

初期設定では、ファインダー／モニター自動切換が設定されています。ファインダーをのぞくとアイセンサー(A)が働き、モニター表示からファインダー表示に切り換わります。

[LVF] ボタン(B)で、ファインダー表示またはモニター表示に切り換えることができます。

[LVF] ボタンを押す



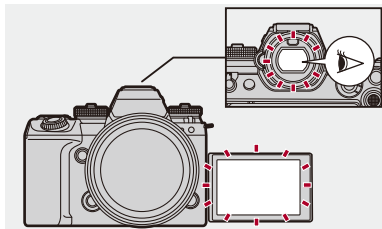
(C) ファインダー／モニター自動切換

(D) ファインダー表示

(E) モニター表示

❖ モニターとファインダーの同時表示

ファインダー／モニター自動切換 (C) 時、モニターをレンズ方向に向けると、ファインダーをのぞいたときでも撮影画面がモニターに表示されます。





- モニターをチルトした状態では、アイセンサーは動きません。
- 眼鏡の形状やカメラの構え方、接眼部付近への強い光により、アイセンサーが正しく働かない場合があります。
- 動画再生中やスライドショー中は、ファインダー／モニター自動切換が動きません。
- [プロキシ記録]を使用中は、以下の機能を使用すると、モニターとファインダーの同時表示はできません。
 - HDMI出力
 - スマートフォンとのWi-Fi接続
 - テザー撮影

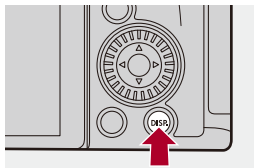


- ファインダーをのぞいたときにピントを合わせます：
(→ [アイセンサーAF: 621](#))
- アイセンサーの感度を変更できます：
(→ [アイセンサー: 659](#))
- モニターのライブビュー表示速度を設定できます：
(→ [モニター表示速度: 658](#))
- 写真撮影時におけるファインダーのライブビュー表示速度を設定できます：
(→ [LVF表示速度: 658](#))
- モニター／ファインダーの明るさ、色合い、および赤みや青みなどの色味を調整できます：
(→ [モニター調整／LVF調整: 658](#))
- モニター／ファインダーの輝度を調整できます：
(→ [モニター輝度／LVF輝度: 659](#))

情報表示の切り換え

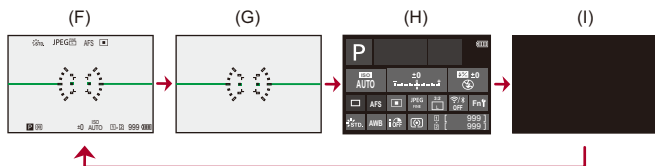
[DISP.]ボタンを押す

- 情報表示が切り換わります。



❖ 撮影画面

モニター



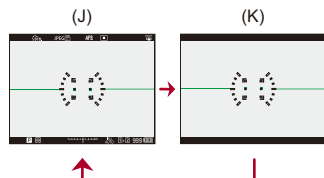
(F) 情報あり

(G) 情報なし

(H) コントロールパネル

(I) 消灯

ファインダー



(J) 情報あり

(K) 情報なし

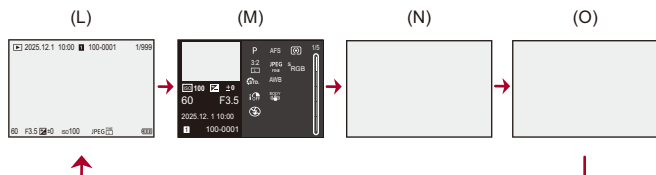


- [↔] ボタンを押すと、水準器の表示／非表示を切り換えることができます。[水準器表示](→ [水準器表示: 638](#))でも設定できます。



- コントロールパネルの操作(→ [コントロールパネル: 100](#))
- コントロールパネル、消灯画面を非表示にできます:
(→ [撮影画面の遷移\(モニター\): 639](#))
- ライブビューと情報表示が重ならないように表示を変更できます:
(→ [LVF/モニター表示設定: 634](#))
- ライブビューの境界線を表示できます:
(→ [ライブビュー境界線表示: 639](#))

❖ 再生画面



(L) 情報あり

(M) 詳細情報表示

• ▲▼を押すと、表示内容が切り換わります。(→ [詳細情報表示: 806](#))

(N) 情報なし

(O) ハイライト表示なし

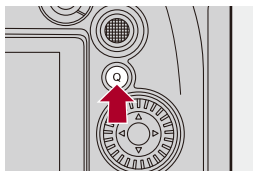
• カスタムメニュー(モニター/表示(写真))の[ハイライト表示]を[ON]にすると表示される、ハイライト表示のない画面です。この画面以外では、白飛びの起こっている部分が点滅表示されます。(→ [ハイライト表示: 636](#))

クイックメニュー

撮影でよく使う機能を、メニュー画面を呼び出すことなく素早く設定できるメニューです。クイックメニューの表示方法や、表示する項目の変更もできます。

1 クイックメニューを表示する

- [Q] ボタンを押します。



2 メニュー項目を選ぶ

- ▲▼◀▶ を押します。
- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも選択できます。
- 設定アイコンを回しても選択できます。
- メニュー項目をタッチしても選択できます。



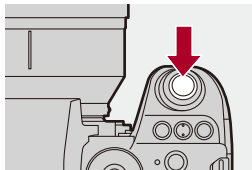
3 設定項目を選ぶ

-  または  を回します。
- 設定項目をタッチしても選択できます。



4 クイックメニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。
- [Q] ボタンを押しても終了できます。



- 撮影モードやカメラの設定によっては、設定できない項目があります。



- クイックメニューのカスタマイズができます：
(→ [クイックメニューのカスタマイズ:598](#))

コントロールパネル

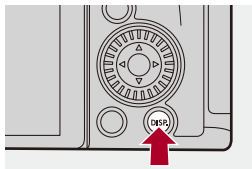
現在の撮影設定をモニターで確認できる画面です。画面をタッチして、設定を変更することもできます。

[]モード(動画モード)／[S&Q]モード(スロー & クイックモード)では、動画専用の表示に変わります。

- 画面表示について(→ [コントロールパネル\(写真モード\): 796](#)、[コントロールパネル\(動画モード／S&Qモード\): 799](#))

1 コントロールパネルを表示する

- [DISP.]ボタンを数回押します。



2 項目をタッチする

例) AFモードの変更



3 設定を変更する

- 設定項目をタッチします。
- 設定の変更操作については、各項目の説明ページをお読みください。

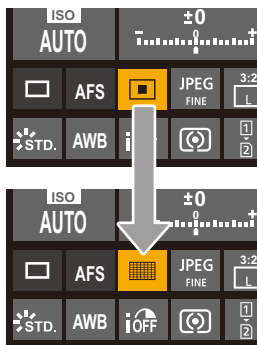


4 [決定]をタッチする

❖ ダイヤルを使った直接変更

手順**2**～**4**は以下の操作でも変更できます。

- 1 ▲▼◀▶のいずれかを押し、項目を選択可能な状態にする
 - 選択中の項目が黄色で表示されます。
- 2 ▲▼◀▶を押し、項目を選ぶ
 - ☀ または ⚙ を回しても選択できます。
- 3 ☀ を回して、設定を変更する



- 撮影モードやカメラの設定によっては、設定できない項目があります。

メニューの操作方法

● 設定リセット: 108

本機では、さまざまな機能の設定や、カメラのカスタマイズをメニューから行います。

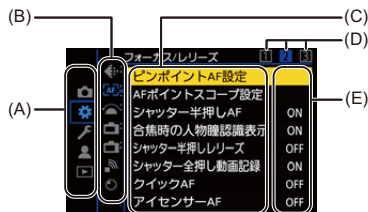
メニューの操作はカーソル、ジョイスティック、ダイヤル、タッチのどれでも可能です。

メニューの構成と操作部

メニュー画面を◀▶で移動することで、メニューを操作できます。

また、メインタブ、サブタブ、ページタブ、メニュー項目は、下図で示した操作部を使うと、メニューの各階層に移動しなくても操作できます。

- アイコンやメニュー項目、設定項目をタッチしても操作できます。



(A) メインタブ* ([Q] ボタン)

(B) サブタブ (☀)

(C) メニュー項目 (☀)

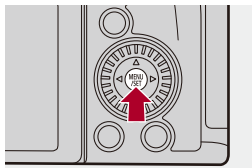
(D) ページタブ (☀)

(E) 設定項目

* 写真メニューは[📷]モード時にだけ、動画メニューは[📹]／[S&Q]モード時にだけ表示されます。写真メニューや動画メニューを表示したい場合は、各モードに合わせてください。(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

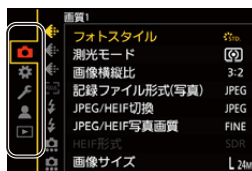
1 メニューを表示する

- **MENU/SET** を押します。



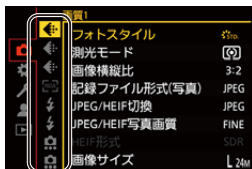
2 メインタブを選ぶ

- ▲▼ でメインタブを選び、▶ を押します。
-  を回してメインタブを選び、**MENU/SET** または  を押しても同じ操作ができます。



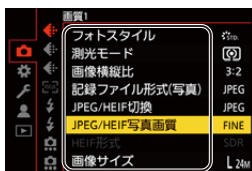
3 サブタブを選ぶ

- ▲▼でサブタブを選び、▶を押します。
- 設定アイコンを回してサブタブを選び、MENU/SET または 方向キーを押しても同じ操作ができます。
- ページタブがある場合は、ページタブ(D)が順に切り換わったあとに、次のサブタブに切り換わります。



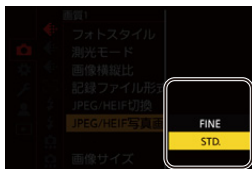
4 メニュー項目を選ぶ

- ▲▼でメニュー項目を選び、▶を押します。
- 設定アイコンを回してメニュー項目を選び、MENU/SET または 方向キーを押しても同じ操作ができます。



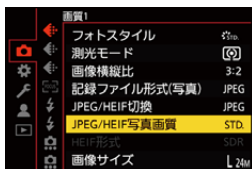
5 設定項目を選び決定する

- ▲▼ で設定項目を選び、**MENU/SET** または  を押します。
-  を回して設定項目を選び、**MENU/SET** または  を押しても同じ操作ができます。



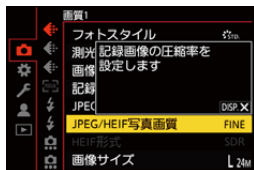
6 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。
-  ボタンを数回押しても終了できます。



❖ メニュー項目や設定内容の説明を表示する

メニュー項目や設定項目を選択中に [DISP.] ボタンを押すと、メニューの説明が画面に表示されます。

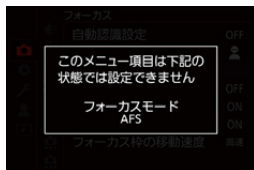


❖ グレーで表示されるメニュー項目

設定できないメニュー項目はグレーで表示されます。

グレーのメニュー項目を選択中に  または  を押すと、設定できない理由が表示されます。

- メニュー項目によっては、設定できない理由は表示されません。

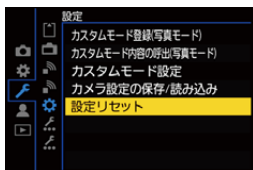


設定リセット

以下のそれぞれの設定を、初期設定に戻します。

- 撮影設定
- ネットワーク設定 ([ストリーミング設定]、[有線LAN/Wi-Fi]、[Bluetooth] の設定内容)
- セットアップ／カスタム設定 ([ストリーミング設定]、[有線LAN/Wi-Fi]、[Bluetooth] 以外)

 ➔  ➔  ➔ **[設定リセット] を選ぶ**



- セットアップ／カスタム設定をリセットすると、再生メニューもリセットされます。
- セットアップ／カスタム設定をリセットすると、[LUTライブラリ] は初期設定に戻ります。登録したLUTは削除されます。
- 写真メニュー（その他(写真)）／動画メニュー（その他(動画)）の[手ブレ補正]の[レンズ情報]は、セットアップ／カスタム設定をリセットすると初期設定に戻ります。
- フォルダー番号、時計はリセットされません。



- 初期設定とリセット対象の一覧 (➔ [初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧: 858](#))

文字の入力

文字入力画面が表示されたら、以下のように操作してください。

1 文字を入力する

- ▲▼◀▶ で文字を選び、入力する文字が表示されるまで  または  を押します。(繰り返す)
- 続けて同じ文字を入力したい場合は、 または  を右側に回して入力位置を移動してください。
- 項目を選んで  または  を押すと、以下の操作ができます。
 - [切換]:  (ひらがな)、 (カタカナ)、 /  (アルファベット)、 (数字)、 (記号) に文字を切り換え
 - []: 空白を入力
 - [消去]: 文字を消去
 - [<]: 入力位置を左に移動
 - [>]: 入力位置を右に移動
- パスワードを入力するときは、入力した文字数 / 入力できる文字数 (A) が表示されます。



2 入力を終了する

- [決定] を選び、 または  を押します。

インテリジェントオートモード

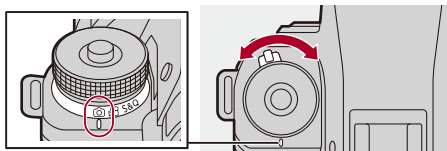


[iA]モード(インテリジェントオートモード)は、カメラにおまかせで撮影できるモードです。

被写体や撮影状況に合わせてカメラがシーンを判別し、自動で最適な撮影設定をします。

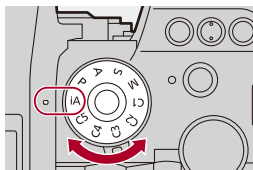
1 [📷],[👤]または[S&Q]モードにする

- 写真/動画/S&Q切り換えスイッチを合わせます。(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))



2 撮影モードを[iA]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 83](#))



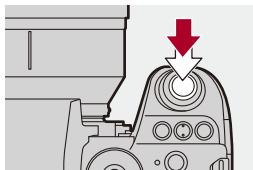
3 被写体に向けてカメラを構える

- カメラがシーンを判別すると、撮影モードのアイコンが変化します。(自動シーン判別)



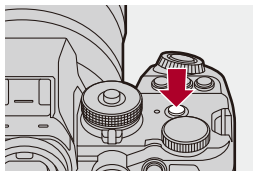
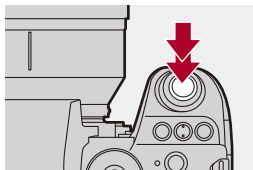
4 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しします。
- ピントが合うとフォーカスアイコンが点灯します。(ピントが合わないときは点滅します)
- AFモードの[AF-ON]が動き、人物に合わせてAFエリアが表示されます。



5 撮影する

- 写真を撮影するには、シャッターボタンを全押しします。
 - 動画を撮影するには、動画記録ボタンを押します。
- [] / [S&Q]モード時は、シャッターボタンを全押ししても動画を撮影できます。



- 逆光時に被写体が暗く写らないように、逆光補正が自動で働きます。

❖ 自動シーン判別の種類

		写真撮影時	動画撮影時
	i人物 ^{*1}	✓	✓
	i風景	✓	✓
	iマクロ	✓	✓
	i夜景 & 人物 ^{*2}	✓	
	i夜景	✓	
	i料理	✓	
	i夕焼け	✓	
	iローライト		✓
	iA ^{*3}	✓	✓

*1 写真メニュー(フォーカス)の[自動認識の対象]([認識する被写体])を[人物]にしているときに判別されます。

*2 外部フラッシュ使用時に判別されます。

*3 写真メニュー(フォーカス)の[自動認識の対象]([認識する被写体])を[人物]以外にしているときに判別されます。

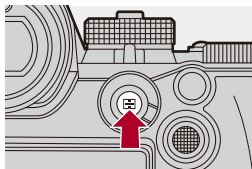


- どのシーンにも当てはまらない場合は[iA](標準的な設定)で撮影します。
- 撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。
- 設定どおりにすべての被写体を認識できるわけではありません。
- [自動認識の対象]([認識する被写体])が[動物]のとき、動物以外の被写体に対して動物認識する場合があります。

❖ AFモード

AFモードを切り換える

- [AF-ON] ボタンを押すごとに、AFモードが切り換わります。
- 画面をタッチする、またはジョイスティックを長押しして切り換えることもできます。
- [自動認識設定]は[ON]に固定されます。
- [自動認識の対象]は、[iA]モード以外の撮影モードでの設定を引き継ぎます。(→ [自動認識: 199](#))



フルエリア

対象となる被写体を認識してピントを合わせます。



- 白色のAFエリアをタッチする、またはジョイスティックの▲▼◀▶で、ピントを合わせる被写体を切り換えることができます。

追尾

フォーカスモードを[AFC]にしているとき、AFエリアが被写体の動きを追いかけて、ピントを合わせ続けます。



被写体にAFエリアを合わせ、シャッターボタンを半押ししたままにする

- シャッターボタンを半押しまたは全押ししている間、被写体を追尾します。



- AFモードについて(➡ [自動認識: 199](#)、[追尾: 203](#))

❖ フラッシュ

フラッシュ撮影時は、撮影状況に適したフラッシュモードに切り換わります。

スローシンクロ([S],[S])のときは、シャッタースピードが遅くなるため、手ブレにお気をつけください。



- 外部フラッシュについて (→ [外部フラッシュを使う: 383](#))

タッチ撮影

- [タッチAF／タッチシャッター: 117](#)
- [タッチAE: 119](#)

タッチAF／タッチシャッター



タッチした位置にピントを合わせたり、シャッターを切ったりします。



- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー（操作）の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ [タッチ設定: 623](#))

1 **[<]をタッチする**

2 **アイコンをタッチする**

- タッチするたびに、アイコンが切り換わります。



☞ **AF (タッチAF)**

タッチした位置にピントを合わせます。

☞ **AE (タッチシャッター)**

タッチした位置にピントを合わせて撮影します。

☞ **× (OFF)**

3 (OFF以外に設定した場合)被写体をタッチする



- タッチシャッターに失敗したときは、AFエリアが赤色になったあと消えます。



- AFエリアの操作方法について(→ [AFエリアの操作: 214](#))
- タッチ位置に、ピントと明るさを合わせることもできます:
(→ [タッチした位置にピントと明るさを合わせる \(\[AF+AE\]\): 219](#))

タッチ AE



S&Q

iA

P

A

S

M

タッチした位置に明るさを合わせます。

人物の顔が暗く写るときに、顔に合わせて画面を明るくできます。



- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー(操作)の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ [タッチ設定: 623](#))

1 をタッチする

2 をタッチする

- タッチ AE の設定画面が表示されます。



3 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- 明るさを合わせる位置を中央に戻すには、[リセット]をタッチしてください。



4 [決定]をタッチする

❖ タッチAEの解除方法

[]をタッチする



- 以下の機能を使用中は、タッチAEは使用できません。
- [ライブクロップ]



- タッチ位置に、ピントと明るさを合わせることもできます(このとき、タッチAEは使用できません):
(→ [タッチした位置にピントと明るさを合わせる \(\[AF+AE\]\): 219](#))

写真の撮影

写真を撮影するための基本的な操作と設定です。

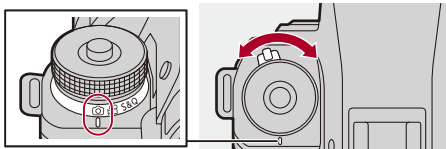
- [写真を撮る: 122](#)
- [画像横縦比: 125](#)
- [画像サイズ: 127](#)
- [記録ファイル形式\(写真\): 129](#)
- [JPEG/HEIF切換: 132](#)
- [JPEG/HEIF写真画質: 134](#)

写真を撮る



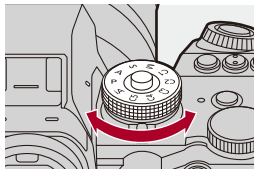
1 [📷]モードにする

- 写真/動画/S&Q切り換えスイッチを合わせます。(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))



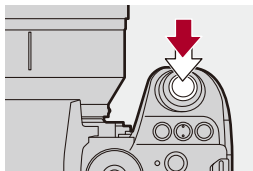
2 撮影モードを選ぶ([iA] / [P] / [A] / [S] / [M])

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 83](#))

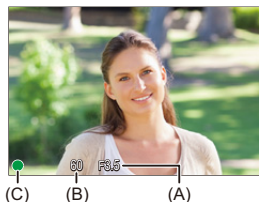


3 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押し(軽く押す)します。

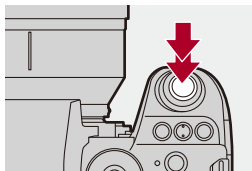


- 絞り値(A)とシャッタースピード(B)が表示されます。(適正な露出が得られないときは、赤く点滅します)
- ピントが合うとフォーカスアイコン(C)が点灯します。(ピントが合わないときは点滅します)
- [AF ON] ボタンを押しても同じ操作ができます。



4 撮影する

- シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)します。



- カスタムメニュー(モニター/表示(写真))の[オートレビュー]を設定すると、撮影した写真を自動で表示できます。写真を表示する時間もお好みで変更できます。(→ [オートレビュー: 630](#))



- 初期設定では、ピントが合うまで撮影できません。
カスタムメニュー(フォーカス/リリース)の[フォーカス/リリース優先]を[バランス]または[リリース]にすると、ピントが合っていないでも撮影できます。
(→ [フォーカス/リリース優先: 617](#))

画像横縦比



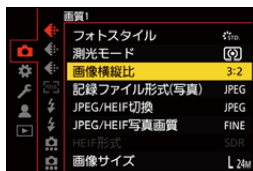
画像の横縦比(アスペクト比)を選択できます。

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [画像横縦比]を設定する

- → [📷] → [] → [画像横縦比]



4:3

4:3 モニターの横縦比

3:2

一般のフィルムカメラの横縦比

16:9

16:9 テレビの横縦比

1:1

正方形横縦比

65:24

65:24 パノラマ撮影の横縦比

2:1

2:1 パノラマ撮影の横縦比



• 以下の機能を使用中は、[65:24]と[2:1]は使用できません。

- [iA]モード
- 連写
- インターバル撮影
- コマ撮りアニメ
- ハイレゾモード
- [フィルター設定]
- [多重露出]
- [ライブビューコンボジット撮影]

• APS-C用レンズ使用時は、[65:24]と[2:1]は使用できません。



• 撮影画面にトリミング(クロップ)用のフレームを表示できます：
(→ [フレーム表示: 455](#))

画像サイズ



写真の画像サイズを設定します。[画像横縦比]や使用するレンズによって、画像サイズは変わります。

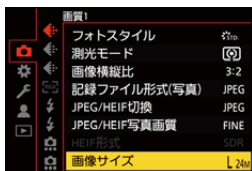
APS-C用レンズを使用しているときは、撮影範囲がAPS-C用に切り換わり、画角が狭くなります。

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [画像サイズ]を設定する

- **MENU/SET** → [**📷**] → [**🔍**] → [画像サイズ]



画像横縦比	画像サイズ			
	フルサイズ用レンズ使用時		APS-C用レンズ使用時	
4:3	L(21.5M)	5328×4000	L(9.5M)	3536×2656
	M(10.5M)	3792×2848	M(5M)	2560×1920
	S(5.5M)	2688×2016	S(2.5M)	1840×1376
	XS(2M)	1712×1280	XS(2M)	1712×1280
3:2	L(24M)	6000×4000	L(10.5M)	3984×2656
	M(12M)	4272×2848	M(5.5M)	2880×1920
	S(6M)	3024×2016	S(3M)	2064×1376
	XS(2.5M)	1920×1280	XS(2.5M)	1920×1280
16:9	L(20M)	6000×3368	L(9M)	3984×2240
	M(10M)	4272×2400	M(4.5M)	2880×1624
	S(5M)	3024×1704	S(2.5M)	2064×1160
	XS(2M)	1920×1080	XS(2M)	1920×1080
1:1	L(16M)	4000×4000	L(7M)	2656×2656
	M(8M)	2848×2848	M(3.5M)	1920×1920
	S(4M)	2016×2016	S(2M)	1376×1376
	XS(1.5M)	1280×1280	XS(1.5M)	1280×1280
65:24	L(13M)	6000×2208		
2:1	L(18M)	6000×3000		

- [ハイブリッドズーム(写真)]設定時は、画像サイズに[Hy]が表示されます。
- [クロップズーム(写真)]設定時は、画像サイズに[Cr]が表示されます。



- 以下の機能を使用中は、[画像サイズ]は設定できません。
 - [記録ファイル形式(写真)]の[RAW]
 - ハイレゾモード
 - [多重露出]

記録ファイル形式(写真)



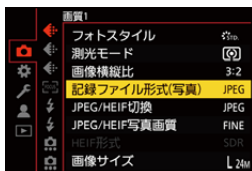
撮影する写真の記録ファイル形式を設定します。

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [記録ファイル形式(写真)]を設定する

- **MENU/SET** → [**📷**] → [**⚙️**] → [記録ファイル形式(写真)]



JPEG

JPEG画像を記録します。

- [JPEG/HEIF切換]が[JPEG]のときに設定できます。(→ [JPEG/HEIF切換: 132](#))

HEIF

HEIF画像を記録します。

- [JPEG/HEIF切換]が[HEIF]のときに設定できます。(→ [JPEG/HEIF切換: 132](#))

RAW+JPEG

RAW画像とJPEG画像を同時に記録します。

- [JPEG/HEIF切換]が[JPEG]のときに設定できます。(→ [JPEG/HEIF切換: 132](#))

RAW+HEIF

RAW画像とHEIF画像を同時に記録します。

- [JPEG/HEIF切換]が[HEIF]のときに設定できます。(→ [JPEG/HEIF切換: 132](#))

RAW

RAW画像を記録します。



RAWについて

RAW形式とは、カメラで画像が処理されていないそのままのデータ形式です。RAW画像の再生・編集には本機または専用のソフトウェアが必要です。

- カメラでRAW画像を現像できます。(→ [RAW現像: 556](#))
- パソコンでRAWファイルの現像、編集をする場合は、ソフトウェア(アドワー「SILKYPIX Developer Studio」)をお使いください。(→ [SILKYPIX Developer Studio SE: 766](#))
- 本機で撮影したRAW画像の色深度は以下になります。
 - 単写、連写([H+]^{*1} / [H]^{*1} / [L] / [M]): 14 bit
 - 連写([SH] / [SH PRE] / [H+]^{*2} / [H]^{*2}): 12 bit

*1 [H+/H連写時の動作]: [画質優先]

*2 [H+/H連写時の動作]: [速度優先]



- RAW画像は常に画像横縦比 [3:2] の [L] サイズで記録されます。
- [RAW+JPEG]、[RAW+HEIF] の画像を本機で消去すると、RAW画像と JPEG/HEIF 画像が同時に消去されます。
- 以下の機能を使用中は、[記録ファイル形式(写真)] は設定できません。
 - ハイレゾモード
 - [多重露出]



- 1回だけRAW画像と JPEG/HEIF 画像を同時に撮影する機能をFnボタンに登録できます:
(→ [ワンショット RAW+JPEG / ワンショット RAW+HEIF: 585](#))
- 色空間を [sRGB] または [AdobeRGB] から選択できます:
(→ [色空間: 615](#))

JPEG/HEIF 切換



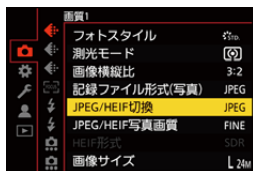
写真を記録するときのファイル形式(JPEGまたはHEIF)を設定します。

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [JPEG/HEIF 切換]を設定する

- → [📷] → [🔧] → [JPEG/HEIF 切換]



JPEG

JPEG 画像を記録します。

HEIF

HEIF 画像を記録します。

- JPEG に比べて圧縮効率が高い保存形式ですが、撮影した写真の再生や印刷に対応した環境は限られます。
-



HEIF について

HEIF は、JPEG に比べて圧縮効率が高い保存形式で、高画質のまま小さいファイル容量で記録できます。ただし、お使いのパソコンやソフトウェアによっては、HEIF ファイルの表示や編集、印刷ができない場合があります。

HEIF 画像を再生するには、HEIF に対応した環境が必要です。



- HEIF 画像は拡張子が「.HIF」のファイルとして保存されます。お使いのパソコンやソフトウェアによっては、読み込めない場合があります。その場合は、ファイルの拡張子を「.HEIC」に変更してください。



- HLG (ハイブリッドログガンマ) 方式の HEIF 画像を撮影できます：
(→ [HLG 撮影 \(HEIF 形式\): 374](#))

JPEG/HEIF 写真画質



JPEG 画像または HEIF 画像を保存するときの圧縮率を設定します。

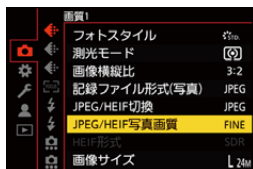
- [記録ファイル形式(写真)]が [JPEG]/[HEIF]/[RAW+JPEG]/[RAW+HEIF] のときに設定できます。(→ [記録ファイル形式\(写真\): 129](#))

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q 切り換えスイッチ: 82](#))

2 [JPEG/HEIF 写真画質]を設定する

- [MENU/SET] → [📷] → [🔍] → [JPEG/HEIF 写真画質]



FINE

画質を優先した JPEG 画像または HEIF 画像です。

STD.

標準画質の JPEG 画像または HEIF 画像です。画素数を変えずに記録枚数を増やす場合に便利です。

動画の撮影

動画を撮影するための基本的な操作と設定です。

- 動画撮影についてさらに詳しく知るには、以下の章もお読みください。

- 動画の設定: 400
- 特殊な動画撮影: 459
- HDMI出力(動画): 508

- 動画を撮る: 136
- システム周波数: 146
- 記録ファイル形式(動画): 148
- 動画画質: 150
- RAW動画記録: 169
- プロキシ記録: 171
- 動画撮影範囲: 176

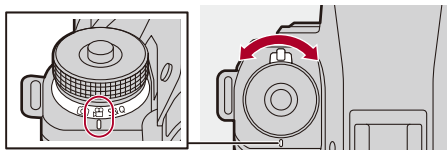
動画を撮る



本機は、さまざまな解像度の動画撮影が可能です。また、システム周波数の切り換えや、MP4／MOV／Apple ProResの3種類の記録ファイル形式に対応しています。

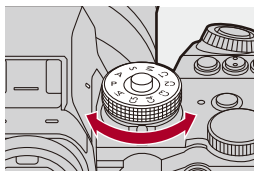
1 [⏏]または[S&Q]モードにする

- 写真/動画/S&Q切り換えスイッチを合わせます。(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))
- [⏏]モード時でも動画撮影はできますが、タッチ操作での露出や音声の設定ができないなどの制限があります。(→ [写真モードでの動画撮影の制限: 143](#))



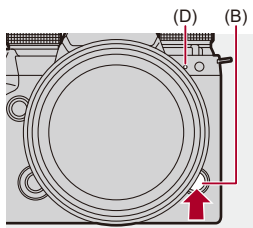
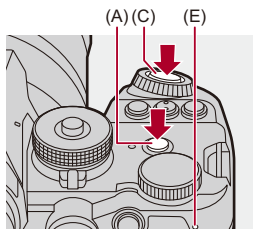
2 撮影モードを選ぶ([iA]／[P]／[A]／[S]／[M])

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 83](#))

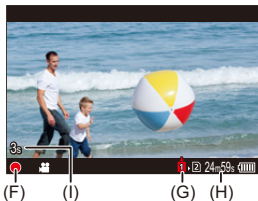


3 撮影を開始する

- 動画記録ボタン(A)を押します。
- サブ動画記録ボタン(B)でも同じ操作ができます。
- [⌂] / [S&Q]モード時は、シャッターボタン(C)を全押ししても同じ操作ができます。
- 動画記録ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- 動画の記録中は、フロントタリーランプ(D)およびリアタリーランプ(E)が点灯します。



- 動画の記録中は、記録動作表示(F)とカードアクセス表示(G)が赤く点灯します。



(H) 動画記録時間(h:時間、m:分、s:秒)

(I) 記録経過時間(h:時間、m:分、s:秒)

4 撮影を終了する

- もう一度、動画記録ボタン(A)を押します。
- サブ動画記録ボタン(B)でも同じ操作ができます。
- [⌘]/[S&Q]モード時は、シャッターボタン(C)を全押ししても同じ操作ができます。



- AFで動画撮影中にピントが合いにくいときは、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。

❖ 動画撮影中の操作

[⌘]/[S&Q]モード時は、露出や音声の設定をタッチ操作で変更でき、操作音の記録を防ぐことができます。



- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー(操作)の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ [タッチ設定: 623](#))

1  または  をタッチする

2 アイコンをタッチする

F 絞り値

SS シャッタースピード

 露出補正

ISO/GAIN ISO感度/ゲイン(dB)

 dB 録音レベル設定

(→ [録音レベル設定: 417](#))

-  モード時に設定できます。

 スロー & クイック設定

(→ [スロー & クイック動画: 460](#))

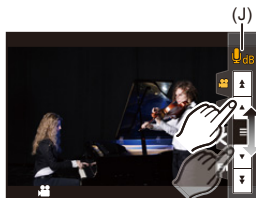
- [S&Q]モード時に設定できます。(撮影中は設定を変更できません)

3 スライダーをドラッグして設定する

 /  : ゆっくり設定を変える

 /  : 速く設定を変える

- アイコン(J)をタッチすると手順2の画面に戻ります。



❖ 動画撮影中の露出制御

絞り値、シャッタースピード、ISO感度、Dual Native ISO 設定は、以下の設定で動画撮影されます。

撮影モード	絞り値、シャッタースピード、ISO感度、Dual Native ISO 設定	
iA	シーンに合わせてカメラが自動で設定します。(→ 自動シーン判別の種類: 113)	
P / A / S / M	 / [S&Q] モード	カスタムメニュー(画質)の[動画/S&Qの露出設定]([P/A/S/M時の露出設定])によって切り換わります。初期設定は[モードダイヤル]に設定されています。(→ 動画/S&Qの露出設定: 616) [モードダイヤル]: モードダイヤルに合わせて、[P] / [A] / [S] / [M]モードを切り換えます。 [P] / [A] / [S] / [M]: モードダイヤルにかかわらず、設定したモードで撮影します。
	 モード	カスタムメニュー(画質)の[写真モードの動画露出自動制御]によって切り換わります。初期設定は[ON]に設定されています。(→ 写真モードの動画露出自動制御: 616) [ON]: カメラが自動で設定した値で撮影します。 [OFF]: 手動で設定した値で撮影します。

❖ ファイル分割

連続記録時間、またはファイルサイズが以下の条件を超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。

- (A) SDHCメモリーカード使用時
- (B) SDXCメモリーカード使用時
- (C) 外付けSSD使用時
- (D) CFexpressカード使用時

記録ファイル形式(動画)	解像度	ビットレート	記録メディア	ファイル分割		
				連続記録時間	ファイルサイズ	
MP4	FHD	すべて	(A)	30分	4 GB	
			(B)			
			(C)			
			(D)			
	FHD以外		(A)	30分	4 GB	
			(B)	3時間4分	96 GB	
			(C)			
			(D)			
MOV	すべて	600 Mbps以下	(A)	30分	4 GB	
			(B)	3時間4分	192 GB	
			(C)			
			(D)			
		800 Mbps以上	(A)			
			(B)			
			(C)	3時間4分	640 GB	
			(D)			

Apple ProRes	FHD	すべて	(A)	30分	4 GB	
			(B)	3 時間 4 分	192 GB	
			(C)			
			(D)			
	FHD以外		(A)			
			(B)			
			(C)	3 時間 4 分	640 GB*	
			(D)			

* 動画画質が[Apple ProRes RAW HQ]または[Apple ProRes RAW]のときは、記録を停止します。

❖ 写真モードでの動画撮影の制限

[📷]モードで動画を撮影した場合、以下の制限があります。

- シャッターボタンでの撮影開始／終了はできません。
- タッチ操作での露出や音声の設定はできません。
- [記録ファイル形式(動画)]や[動画画質]などの動画メニューは設定できません。あらかじめ[📷]モードにして設定してください。
- [記録ファイル形式(動画)]が[MOV]または[Apple ProRes]のときは、以下の動画画質では撮影できません。
 - 解像度が6K／5.9K／5.8Kの[動画画質]
 - 記録フレームレートが100.00p以上の[動画画質]
 - [Apple ProRes RAW HQ]または[Apple ProRes RAW]の[動画画質]

* [📷]モード時に、上記の条件の動画画質を設定していた場合、[📷]モードでは自動的に以下のように動画画質を切り換えます。

- [記録ファイル形式(動画)]:[MOV]のとき
 - [4K/30p/420/10-L]([システム周波数]:[59.94Hz(NTSC)])
 - [4K/25p/420/10-L]([システム周波数]:[50.00Hz(PAL)])
 - [4K/24p/420/10-L]([システム周波数]:[24.00Hz(CINEMA)])
- [記録ファイル形式(動画)]:[Apple ProRes]のとき
 - [FHD/30p/422]([システム周波数]:[59.94Hz(NTSC)])
 - [FHD/25p/422]([システム周波数]:[50.00Hz(PAL)])
 - [FHD/24p/422]([システム周波数]:[24.00Hz(CINEMA)])



- 動画撮影中にバッテリーやカードの残量が少なくなると、タリーランプが長い間隔で点滅します。バッテリーやカードの残量がなくなると、動画撮影を停止し、タリーランプが短い間隔で点滅します。
- 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- レンズの動作音(AFや手ブレ補正)が動画に記録される場合があります。
- 撮影終了時の動画記録ボタンやサブ動画記録ボタンの操作音が気になる場合は、以下をお試しください。
 - 3秒ほど長めに撮影し、再生メニュー(画像の編集)の[動画分割]で動画の終わりの部分を分割する
 - シャッターリモコン(別売:DMW-RS2)を使って撮影する
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく表示されることがありますが、異常ではありません。
- 対応機器で再生しても、画質や音質が悪くなる、撮影情報が正しく表示されない、再生できないといった現象が起こることがあります。このような場合は本機で再生してください。
- 以下の機能を使用中は、動画撮影はできません。
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ

高温表示について

- カメラの温度が上がると、画面に[△]が点滅表示されます。そのままカメラを使用し続けると、画面に使用不可のメッセージが表示され、撮影やHDMI出力など、一部の機能が停止します。カメラの温度が下がって、使用可能のメッセージが表示されるまでお待ちください。使用可能のメッセージが表示されたら、電源を入れ直してください。
- 動画撮影などを連続して使用しているときは、カードの温度が上昇しやすくなります。カードの温度が上がると、画面に[△]が点滅表示されます。そのまま撮影を続けると、画面にメッセージが表示され、撮影などの一部の機能が停止します。温度が下がってメッセージが消えるまでお待ちください。



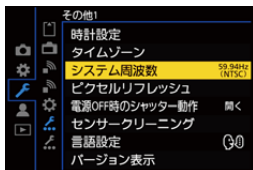
- 動画撮影時に、カメラが自動で撮影を停止する温度を設定できます：
(→ [動画撮影時の制限緩和: 657](#))
- タリーランプの点灯/消灯を設定できます。タリーランプの明るさを変更することもできます：
(→ [タリーランプ設定: 645](#))
- 撮影画面に動画記録中であることを示す赤色の枠を表示できます：
(→ [動画記録中の赤枠表示: 643](#))
- シャッターボタンを使用した記録開始/終了操作を無効にできます：
(→ [シャッター全押し動画記録: 621](#))
- カメラの温度上昇による撮影停止までの記録時間について：
(→ [動画連続記録時間: 856](#))

システム周波数



本機で撮影、再生する動画のシステム周波数を切り換えます。
初期設定では、お買い上げの地域のテレビ放送方式に合ったシステム周波数が設定されています。

→ → → [システム周波数] を選ぶ



59.94Hz(NTSC)

放送方式がNTSCの地域向けのシステム周波数

50.00Hz(PAL)

放送方式がPALの地域向けのシステム周波数

24.00Hz(CINEMA)

映画制作用のシステム周波数



- 設定変更後は、カメラの電源を入れ直してください。
- お住まいの地域の放送方式と異なるシステム周波数で記録すると、テレビで動画を正常に再生できない場合があります。放送方式に詳しくない方や、映画用の動画制作をしない方は、お買い上げ時の設定で使用することをお勧めします。
- 設定を変更したあとは、別のカードに入れ替え、本機でフォーマットすることをお勧めします。
 - [システム周波数]の設定は、撮影時と再生時で同じ設定にしてください。

記録ファイル形式(動画)



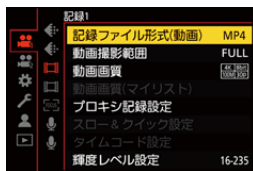
撮影する動画の記録ファイル形式を設定します。

1 [動画]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [記録ファイル形式(動画)]を設定する

- → → → [記録ファイル形式(動画)]



MP4

パソコンでの再生に適したデータ形式です。

MOV

映像編集に適したデータ形式です。

Apple ProRes

Apple ProRes コーデックで記録します。映像編集に適したデータ形式です。



- 以下の動画はSDカードに記録できません。CFexpressカードを使用してください。
 - ビットレートが800 Mbps以上の[MOV]の動画
 - 解像度がFHD以外の[Apple ProRes]の動画
 - 映像圧縮方式がALL-Intraの動画画質のスロー&クイック動画

動画画質



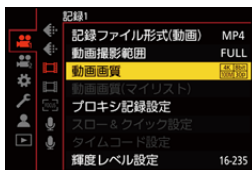
撮影する動画の画質を設定します。選択できる画質は、撮影モード、[システム周波数]、[記録ファイル形式(動画)]の設定によって異なります。
[動画画質]の設定によって、選択できる[動画撮影範囲]の設定項目が異なります。

[動画画質]の設定には、条件に合う項目だけを表示する[絞り込み](→ [絞り込み: 166](#))や、よく使う動画画質を登録する[マイリスト登録](→ [マイリスト登録: 167](#))も利用できます。

1 [📷]または[S&Q]モードにする (→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [動画画質]を設定する

-  ⇒ [👤] ⇒ [🎬] ⇒ [動画画質]



- ビットレートが72 Mbps以上の動画を撮影するには、対応したスピードクラスのSDカードが必要です。
- ビットレートが800 Mbps以上の動画はSDカードに記録できません。CFexpressカードをお使いください。
- 解像度がFHD以外の[Apple ProRes]の動画はSDカードに記録できません。CFexpressカードをお使いください。
- 使用できるカードについて(→ [本機で使用できるSDカード: 36](#))

❖ 記録ファイル形式(動画):[MP4]

- YUV、ビット数、映像圧縮
 - [10bit]の動画画質: 4:2:0、10 bit、Long GOP
 - [8bit]の動画画質: 4:2:0、8 bit、Long GOP
- 音声フォーマット: AAC(2ch)

(A) 記録フレームレート

(B) ビットレート(Mbps)

(C) ビデオ圧縮方式(**HEVC**: H.265/HEVC、**AVC**: H.264/MPEG-4 AVC)

システム周波数: [59.94Hz(NTSC)]

動画画質	動画撮影範囲			解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
	FULL	APS-C	PIXEL PIXEL					
4K/10bit/100M/60p		✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	100	HEVC
4K/10bit/72M/30p	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	72	HEVC
4K/8bit/100M/30p	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	100	AVC
4K/10bit/72M/24p	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	72	HEVC
4K/8bit/100M/24p	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	100	AVC
FHD/8bit/28M/60p	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	28	AVC
FHD/8bit/20M/30p	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	20	AVC
FHD/8bit/24M/24p	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	24	AVC

システム周波数: [50.00Hz(PAL)]

動画画質	動画撮影範囲			解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
	FULL	APS-C	PIXEL PIXEL					
4K/10bit/100M/50p		✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	100	HEVC
4K/10bit/72M/25p	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	72	HEVC
4K/8bit/100M/25p	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	100	AVC
FHD/8bit/28M/50p	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	28	AVC
FHD/8bit/20M/25p	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	20	AVC

❖ 記録ファイル形式(動画):[MOV]

- YUV、ビット数、映像圧縮
 - [422/10-I]の動画画質: 4:2:2、10 bit、ALL-Intra
 - [422/10-L]の動画画質: 4:2:2、10 bit、Long GOP
 - [420/10-L]の動画画質: 4:2:0、10 bit、Long GOP
 - [420/8-L]の動画画質: 4:2:0、8 bit、Long GOP
- 音声フォーマット: LPCM(2ch/4ch)

XLRマイクロホンアダプター(別売: DMW-XLR2)接続時、[4chオーディオ記録]を[XLR]または[XLR+カメラ]にすると、4チャンネルの音声を記録できます。

📷: [📷]モード時にだけ設定および撮影ができます。

(A) 記録フレームレート

(B) ビットレート(Mbps)

(C) ビデオ圧縮方式(**HEVC**: H.265/HEVC、**AVC**: H.264/MPEG-4 AVC)

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]									
動画画質		動画撮影範囲			解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
		FULL	APS-C	PIXEL PIXEL					
6K/30p/420/10-L	✓	✓			5952×3968	3:2	29.97p	200	HEVC
6K/24p/420/10-L	✓	✓			5952×3968	3:2	23.98p	200	HEVC
6K/30p/420/10-L	✓	✓			5952×3136	17:9	29.97p	200	HEVC
6K/24p/420/10-L	✓	✓			5952×3136	17:9	23.98p	200	HEVC
6K/60p/420/10-L	✓	✓			5952×2512	2.4:1	59.94p	300	HEVC
6K/48p/420/10-L	✓	✓			5952×2512	2.4:1	47.95p	300	HEVC
6K/30p/420/10-L	✓	✓			5952×2512	2.4:1	29.97p	200	HEVC
6K/24p/420/10-L	✓	✓			5952×2512	2.4:1	23.98p	200	HEVC
5.9K/30p/420/10-L	✓	✓			5888×3312	16:9	29.97p	200	HEVC
5.9K/24p/420/10-L	✓	✓			5888×3312	16:9	23.98p	200	HEVC
3.3K/48p/422/10-I(H)*			✓	✓	3328×2496	4:3	47.95p	800	AVC
3.3K/48p/422/10-I(L)*			✓	✓	3328×2496	4:3	47.95p	600	AVC
3.3K/48p/422/10-L			✓	✓	3328×2496	4:3	47.95p	200	AVC
3.3K/48p/420/10-L			✓	✓	3328×2496	4:3	47.95p	200	HEVC
3.3K/30p/422/10-I			✓	✓	3328×2496	4:3	29.97p	400	AVC
3.3K/30p/422/10-L			✓	✓	3328×2496	4:3	29.97p	150	AVC

3.3K/30p/420/10-L			✓	✓	3328×2496	4:3	29.97p	150	HEVC
3.3K/24p/422/10-I			✓	✓	3328×2496	4:3	23.98p	400	AVC
3.3K/24p/422/10-L			✓	✓	3328×2496	4:3	23.98p	150	AVC
3.3K/24p/420/10-L			✓	✓	3328×2496	4:3	23.98p	150	HEVC
C4K/60p/422/10-I(H)*			✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	800	AVC
C4K/60p/422/10-I(L)*			✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	600	AVC
C4K/60p/422/10-L			✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	200	AVC
C4K/60p/420/10-L			✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	200	HEVC
C4K/60p/420/8-L			✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	150	AVC
C4K/48p/422/10-I(H)*			✓	✓	4096×2160	17:9	47.95p	800	AVC
C4K/48p/422/10-I(L)*			✓	✓	4096×2160	17:9	47.95p	600	AVC
C4K/48p/422/10-L			✓	✓	4096×2160	17:9	47.95p	200	AVC
C4K/48p/420/10-L			✓	✓	4096×2160	17:9	47.95p	200	HEVC
C4K/30p/422/10-I	✓	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	29.97p	400	AVC
C4K/30p/422/10-L	✓	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	29.97p	150	AVC
C4K/30p/420/10-L	✓	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	29.97p	150	HEVC
C4K/30p/420/8-L	✓	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	29.97p	100	AVC
C4K/24p/422/10-I	✓	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	23.98p	400	AVC
C4K/24p/422/10-L	✓	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	23.98p	150	AVC
C4K/24p/420/10-L	✓	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	23.98p	150	HEVC
C4K/24p/420/8-L	✓	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	23.98p	100	AVC
Cs4K/60p/422/10-I(H)*	✓	✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	59.94p	800	AVC
Cs4K/60p/422/10-I(L)*	✓	✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	59.94p	600	AVC
Cs4K/60p/422/10-L	✓	✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	59.94p	200	AVC
Cs4K/60p/420/10-L	✓	✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	59.94p	200	HEVC
Cs4K/60p/420/8-L	✓	✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	59.94p	150	AVC
Cs4K/48p/422/10-I(H)*	✓	✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	47.95p	800	AVC
Cs4K/48p/422/10-I(L)*	✓	✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	47.95p	600	AVC
Cs4K/48p/422/10-L	✓	✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	47.95p	200	AVC
Cs4K/48p/420/10-L	✓	✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	47.95p	200	HEVC
Cs4K/30p/422/10-I	✓	✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	29.97p	400	AVC
Cs4K/30p/422/10-L	✓	✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	29.97p	150	AVC

Cs4K/30p/420/10-L		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	29.97p	150	HEVC
Cs4K/30p/420/8-L		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	29.97p	100	AVC
Cs4K/24p/422/10-I		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	23.98p	400	AVC
Cs4K/24p/422/10-L		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	23.98p	150	AVC
Cs4K/24p/420/10-L		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	23.98p	150	HEVC
Cs4K/24p/420/8-L		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	23.98p	100	AVC
4K/60p/422/10-I(H)*			✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	800	AVC
4K/60p/422/10-I(L)*			✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	600	AVC
4K/60p/422/10-L			✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	200	AVC
4K/60p/420/10-L			✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	200	HEVC
4K/60p/420/8-L			✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	150	AVC
4K/48p/422/10-I(H)*			✓	✓	3840×2160	16:9	47.95p	800	AVC
4K/48p/422/10-I(L)*			✓	✓	3840×2160	16:9	47.95p	600	AVC
4K/48p/422/10-L			✓	✓	3840×2160	16:9	47.95p	200	AVC
4K/48p/420/10-L			✓	✓	3840×2160	16:9	47.95p	200	HEVC
4K/30p/422/10-I		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	400	AVC
4K/30p/422/10-L		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	150	AVC
4K/30p/420/10-L		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	150	HEVC
4K/30p/420/8-L		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	100	AVC
4K/24p/422/10-I		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	400	AVC
4K/24p/422/10-L		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	150	AVC
4K/24p/420/10-L		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	150	HEVC
4K/24p/420/8-L		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	100	AVC
FHD/120p/422/10-I	✓	✓	✓		1920×1080	16:9	119.88p	400	AVC
FHD/120p/422/10-L	✓	✓	✓		1920×1080	16:9	119.88p	150	AVC
FHD/120p/420/10-L	✓	✓	✓		1920×1080	16:9	119.88p	150	HEVC
FHD/60p/422/10-I		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	200	AVC
FHD/60p/422/10-L		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	100	AVC
FHD/60p/420/10-L		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	100	HEVC
FHD/60p/420/8-L		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	50	AVC
FHD/48p/422/10-I		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	47.95p	200	AVC
FHD/48p/422/10-L		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	47.95p	100	AVC

FHD/48p/420/10-L		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	47.95p	100	HEVC
FHD/30p/422/10-I		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	200	AVC
FHD/30p/422/10-L		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	100	AVC
FHD/30p/420/10-L		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	100	HEVC
FHD/30p/420/8-L		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	25	AVC
FHD/24p/422/10-I		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	200	AVC
FHD/24p/422/10-L		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	100	AVC
FHD/24p/420/10-L		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	100	HEVC
FHD/24p/420/8-L		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	25	AVC

システム周波数: [50.00Hz(PAL)]									
動画画質		動画撮影範囲			解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
		FULL	APS-C	PIXEL PIXEL					
6K/25p/420/10-L	✓	✓			5952×3968	3:2	25.00p	200	HEVC
6K/25p/420/10-L	✓	✓			5952×3136	17:9	25.00p	200	HEVC
6K/50p/420/10-L	✓	✓			5952×2512	2.4:1	50.00p	300	HEVC
6K/25p/420/10-L	✓	✓			5952×2512	2.4:1	25.00p	200	HEVC
5.9K/25p/420/10-L	✓	✓			5888×3312	16:9	25.00p	200	HEVC
3.3K/50p/422/10-I(H)*			✓	✓	3328×2496	4:3	50.00p	800	AVC
3.3K/50p/422/10-I(L)*			✓	✓	3328×2496	4:3	50.00p	600	AVC
3.3K/50p/422/10-L			✓	✓	3328×2496	4:3	50.00p	200	AVC
3.3K/50p/420/10-L			✓	✓	3328×2496	4:3	50.00p	200	HEVC
3.3K/25p/422/10-I			✓	✓	3328×2496	4:3	25.00p	400	AVC
3.3K/25p/422/10-L			✓	✓	3328×2496	4:3	25.00p	150	AVC
3.3K/25p/420/10-L			✓	✓	3328×2496	4:3	25.00p	150	HEVC
C4K/50p/422/10-I(H)*			✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	800	AVC
C4K/50p/422/10-I(L)*			✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	600	AVC
C4K/50p/422/10-L			✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	200	AVC
C4K/50p/420/10-L			✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	200	HEVC
C4K/50p/420/8-L			✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	150	AVC
C4K/25p/422/10-I		✓	✓	✓	4096×2160	17:9	25.00p	400	AVC
C4K/25p/422/10-L		✓	✓	✓	4096×2160	17:9	25.00p	150	AVC
C4K/25p/420/10-L		✓	✓	✓	4096×2160	17:9	25.00p	150	HEVC
C4K/25p/420/8-L		✓	✓	✓	4096×2160	17:9	25.00p	100	AVC
Cs4K/50p/422/10-I(H)*		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	50.00p	800	AVC
Cs4K/50p/422/10-I(L)*		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	50.00p	600	AVC
Cs4K/50p/422/10-L		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	50.00p	200	AVC
Cs4K/50p/420/10-L		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	50.00p	200	HEVC
Cs4K/50p/420/8-L		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	50.00p	150	AVC
Cs4K/25p/422/10-I		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	25.00p	400	AVC
Cs4K/25p/422/10-L		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	25.00p	150	AVC

Cs4K/25p/420/10-L		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	25.00p	150	HEVC
Cs4K/25p/420/8-L		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	25.00p	100	AVC
4K/50p/422/10-I(H) ⁺			✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	800	AVC
4K/50p/422/10-I(L) ⁺			✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	600	AVC
4K/50p/422/10-L			✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	200	AVC
4K/50p/420/10-L			✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	200	HEVC
4K/50p/420/8-L			✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	150	AVC
4K/25p/422/10-I		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	400	AVC
4K/25p/422/10-L		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	150	AVC
4K/25p/420/10-L		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	150	HEVC
4K/25p/420/8-L		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	100	AVC
FHD/100p/422/10-I	✓	✓	✓		1920×1080	16:9	100.00p	400	AVC
FHD/100p/422/10-L	✓	✓	✓		1920×1080	16:9	100.00p	150	AVC
FHD/100p/420/10-L	✓	✓	✓		1920×1080	16:9	100.00p	150	HEVC
FHD/50p/422/10-I		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	200	AVC
FHD/50p/422/10-L		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	100	AVC
FHD/50p/420/10-L		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	100	HEVC
FHD/50p/420/8-L		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	50	AVC
FHD/25p/422/10-I		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	200	AVC
FHD/25p/422/10-L		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	100	AVC
FHD/25p/420/10-L		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	100	HEVC
FHD/25p/420/8-L		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	25	AVC

システム周波数:[24.00Hz(CINEMA)]									
動画画質		動画撮影範囲			解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
		FULL	APS-C	PIXEL PIXEL					
6K/24p/420/10-L	✓	✓			5952×3968	3:2	24.00p	200	HEVC
6K/24p/420/10-L	✓	✓			5952×3136	17:9	24.00p	200	HEVC
6K/48p/420/10-L	✓	✓			5952×2512	2.4:1	48.00p	300	HEVC
6K/24p/420/10-L	✓	✓			5952×2512	2.4:1	24.00p	200	HEVC
5.9K/24p/420/10-L	✓	✓			5888×3312	16:9	24.00p	200	HEVC
3.3K/48p/422/10-I(H)*			✓	✓	3328×2496	4:3	48.00p	800	AVC
3.3K/48p/422/10-I(L)*			✓	✓	3328×2496	4:3	48.00p	600	AVC
3.3K/48p/422/10-L			✓	✓	3328×2496	4:3	48.00p	200	AVC
3.3K/48p/420/10-L			✓	✓	3328×2496	4:3	48.00p	200	HEVC
3.3K/24p/422/10-I			✓	✓	3328×2496	4:3	24.00p	400	AVC
3.3K/24p/422/10-L			✓	✓	3328×2496	4:3	24.00p	150	AVC
3.3K/24p/420/10-L			✓	✓	3328×2496	4:3	24.00p	150	HEVC
C4K/48p/422/10-I(H)*			✓	✓	4096×2160	17:9	48.00p	800	AVC
C4K/48p/422/10-I(L)*			✓	✓	4096×2160	17:9	48.00p	600	AVC
C4K/48p/422/10-L			✓	✓	4096×2160	17:9	48.00p	200	AVC
C4K/48p/420/10-L			✓	✓	4096×2160	17:9	48.00p	200	HEVC
C4K/24p/422/10-I		✓	✓	✓	4096×2160	17:9	24.00p	400	AVC
C4K/24p/422/10-L		✓	✓	✓	4096×2160	17:9	24.00p	150	AVC
C4K/24p/420/10-L		✓	✓	✓	4096×2160	17:9	24.00p	150	HEVC
C4K/24p/420/8-L		✓	✓	✓	4096×2160	17:9	24.00p	100	AVC
Cs4K/48p/422/10-I(H)*		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	48.00p	800	AVC
Cs4K/48p/422/10-I(L)*		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	48.00p	600	AVC
Cs4K/48p/422/10-L		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	48.00p	200	AVC
Cs4K/48p/420/10-L		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	48.00p	200	HEVC
Cs4K/24p/422/10-I		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	24.00p	400	AVC
Cs4K/24p/422/10-L		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	24.00p	150	AVC
Cs4K/24p/420/10-L		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	24.00p	150	HEVC
Cs4K/24p/420/8-L		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	24.00p	100	AVC
4K/48p/422/10-I(H)*			✓	✓	3840×2160	16:9	48.00p	800	AVC

4K/48p/422/10-I(L)*			✓	✓	3840×2160	16:9	48.00p	600	AVC
4K/48p/422/10-L			✓	✓	3840×2160	16:9	48.00p	200	AVC
4K/48p/420/10-L			✓	✓	3840×2160	16:9	48.00p	200	HEVC
4K/24p/422/10-I		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	24.00p	400	AVC
4K/24p/422/10-L		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	24.00p	150	AVC
4K/24p/420/10-L		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	24.00p	150	HEVC
4K/24p/420/8-L		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	24.00p	100	AVC
FHD/48p/422/10-I		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	48.00p	200	AVC
FHD/48p/422/10-L		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	48.00p	100	AVC
FHD/48p/420/10-L		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	48.00p	100	HEVC
FHD/24p/422/10-I		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	24.00p	200	AVC
FHD/24p/422/10-L		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	24.00p	100	AVC
FHD/24p/420/10-L		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	24.00p	100	HEVC
FHD/24p/420/8-L		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	24.00p	25	AVC

* [動画画質]の[(H)]はビットレートが800 Mbps、[(L)]は600 Mbpsを示します。
[(H)]の動画はSDカードに記録できません。

❖ 記録ファイル形式(動画) : [Apple ProRes]

• 音声フォーマット: LPCM(2ch / 4ch)

XLRマイクロホンアダプター(別売: DMW-XLR2)接続時、[4ch オーディオ記録]を[XLR]または[XLR+カメラ]にすると、4チャンネルの音声を記録できます。

📷: [📷]モード時にだけ設定および撮影ができます。

(A) 記録フレームレート

(B) ビットレート

(C) ビデオ圧縮方式 (**RAW HQ**: Apple ProRes RAW HQ、**RAW**: Apple ProRes RAW、**422 HQ**: Apple ProRes 422 HQ、**422**: Apple ProRes 422)

システム周波数: [59.94Hz(NTSC)]

動画画質		動画撮影範囲			解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
		FULL	APS-C	PIXEL PIXEL					
5.8K/30p/RAW HQ	✓			✓	5776×3056	17:9	29.97p	4.2 Gbps	RAW HQ
5.8K/30p/RAW	✓			✓	5776×3056	17:9	29.97p	2.8 Gbps	RAW
5.8K/30p/422 HQ	✓	✓			5776×3056	17:9	29.97p	1.9 Gbps	422 HQ
5.8K/30p/422	✓	✓			5776×3056	17:9	29.97p	1.3 Gbps	422
5.8K/24p/RAW HQ	✓			✓	5776×3056	17:9	23.98p	3.4 Gbps	RAW HQ
5.8K/24p/RAW	✓			✓	5776×3056	17:9	23.98p	2.3 Gbps	RAW
5.8K/24p/422 HQ	✓	✓			5776×3056	17:9	23.98p	1.6 Gbps	422 HQ
5.8K/24p/422	✓	✓			5776×3056	17:9	23.98p	1.0 Gbps	422
3.3K/30p/422 HQ			✓	✓	3328×2496	4:3	29.97p	913 Mbps	422 HQ
3.3K/30p/422			✓	✓	3328×2496	4:3	29.97p	609 Mbps	422
3.3K/24p/422 HQ			✓	✓	3328×2496	4:3	23.98p	730 Mbps	422 HQ
3.3K/24p/422			✓	✓	3328×2496	4:3	23.98p	487 Mbps	422
C4K/60p/RAW HQ	✓			✓	4096×2160	17:9	59.94p	4.2 Gbps	RAW HQ
C4K/60p/RAW	✓			✓	4096×2160	17:9	59.94p	2.8 Gbps	RAW
C4K/60p/422 HQ			✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	1.9 Gbps	422 HQ
C4K/60p/422			✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	1.3 Gbps	422
C4K/30p/RAW HQ	✓			✓	4096×2160	17:9	29.97p	2.1 Gbps	RAW HQ
C4K/30p/RAW	✓			✓	4096×2160	17:9	29.97p	1.4 Gbps	RAW
C4K/30p/422 HQ		✓	✓	✓	4096×2160	17:9	29.97p	972 Mbps	422 HQ
C4K/30p/422		✓	✓	✓	4096×2160	17:9	29.97p	648 Mbps	422

C4K/24p/RAW HQ	✓			✓	4096×2160	17:9	23.98p	1.7 Gbps	RAW HQ
C4K/24p/RAW	✓			✓	4096×2160	17:9	23.98p	1.1 Gbps	RAW
C4K/24p/422 HQ		✓	✓	✓	4096×2160	17:9	23.98p	778 Mbps	422 HQ
C4K/24p/422		✓	✓	✓	4096×2160	17:9	23.98p	519 Mbps	422
Cs4K/60p/422 HQ		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	59.94p	1.6 Gbps	422 HQ
Cs4K/60p/422		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	59.94p	1.0 Gbps	422
Cs4K/30p/422 HQ		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	29.97p	778 Mbps	422 HQ
Cs4K/30p/422		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	29.97p	519 Mbps	422
Cs4K/24p/422 HQ		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	23.98p	622 Mbps	422 HQ
Cs4K/24p/422		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	23.98p	415 Mbps	422
4K/60p/422 HQ			✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	1.8 Gbps	422 HQ
4K/60p/422			✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	1.2 Gbps	422
4K/30p/422 HQ		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	911 Mbps	422 HQ
4K/30p/422		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	608 Mbps	422
4K/24p/422 HQ		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	729 Mbps	422 HQ
4K/24p/422		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	486 Mbps	422
FHD/60p/422 HQ		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	454 Mbps	422 HQ
FHD/60p/422		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	302 Mbps	422
FHD/30p/422 HQ		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	227 Mbps	422 HQ
FHD/30p/422		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	151 Mbps	422
FHD/24p/422 HQ		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	181 Mbps	422 HQ
FHD/24p/422		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	121 Mbps	422

システム周波数: [50.00Hz(PAL)]									
動画画質		動画撮影範囲			解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
		FULL	APS-C	PIXEL PIXEL					
5.8K/25p/RAW HQ	✓			✓	5776×3056	17:9	25.00p	3.5 Gbps	RAW HQ
5.8K/25p/RAW	✓			✓	5776×3056	17:9	25.00p	2.4 Gbps	RAW
5.8K/25p/422 HQ	✓	✓			5776×3056	17:9	25.00p	1.6 Gbps	422 HQ
5.8K/25p/422	✓	✓			5776×3056	17:9	25.00p	1.1 Gbps	422
3.3K/50p/422 HQ			✓	✓	3328×2496	4:3	50.00p	1.5 Gbps	422 HQ
3.3K/50p/422			✓	✓	3328×2496	4:3	50.00p	1.0 Gbps	422
3.3K/25p/422 HQ			✓	✓	3328×2496	4:3	25.00p	761 Mbps	422 HQ
3.3K/25p/422			✓	✓	3328×2496	4:3	25.00p	508 Mbps	422
C4K/50p/RAW HQ	✓			✓	4096×2160	17:9	50.00p	3.5 Gbps	RAW HQ
C4K/50p/RAW	✓			✓	4096×2160	17:9	50.00p	2.4 Gbps	RAW
C4K/50p/422 HQ			✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	1.6 Gbps	422 HQ
C4K/50p/422			✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	1.1 Gbps	422
C4K/25p/RAW HQ	✓			✓	4096×2160	17:9	25.00p	1.8 Gbps	RAW HQ
C4K/25p/RAW	✓			✓	4096×2160	17:9	25.00p	1.2 Gbps	RAW
C4K/25p/422 HQ		✓	✓	✓	4096×2160	17:9	25.00p	811 Mbps	422 HQ
C4K/25p/422		✓	✓	✓	4096×2160	17:9	25.00p	541 Mbps	422
Cs4K/50p/422 HQ		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	50.00p	1.3 Gbps	422 HQ
Cs4K/50p/422		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	50.00p	865 Mbps	422
Cs4K/25p/422 HQ		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	25.00p	649 Mbps	422 HQ
Cs4K/25p/422		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	25.00p	433 Mbps	422
4K/50p/422 HQ			✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	1.5 Gbps	422 HQ
4K/50p/422			✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	1.0 Gbps	422
4K/25p/422 HQ		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	760 Mbps	422 HQ
4K/25p/422		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	507 Mbps	422
FHD/50p/422 HQ		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	378 Mbps	422 HQ
FHD/50p/422		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	252 Mbps	422
FHD/25p/422 HQ		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	189 Mbps	422 HQ
FHD/25p/422		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	126 Mbps	422

システム周波数:[24.00Hz(CINEMA)]									
動画画質		動画撮影範囲			解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
		FULL	APS-C	PIXEL PIXEL					
5.8K/24p/RAW HQ	✓			✓	5776×3056	17:9	24.00p	3.4 Gbps	RAW HQ
5.8K/24p/RAW	✓			✓	5776×3056	17:9	24.00p	2.3 Gbps	RAW
5.8K/24p/422 HQ	✓	✓			5776×3056	17:9	24.00p	1.6 Gbps	422 HQ
5.8K/24p/422	✓	✓			5776×3056	17:9	24.00p	1.0 Gbps	422
3.3K/24p/422 HQ			✓	✓	3328×2496	4:3	24.00p	731 Mbps	422 HQ
3.3K/24p/422			✓	✓	3328×2496	4:3	24.00p	487 Mbps	422
C4K/24p/RAW HQ	✓			✓	4096×2160	17:9	24.00p	1.7 Gbps	RAW HQ
C4K/24p/RAW	✓			✓	4096×2160	17:9	24.00p	1.1 Gbps	RAW
C4K/24p/422 HQ		✓	✓	✓	4096×2160	17:9	24.00p	779 Mbps	422 HQ
C4K/24p/422		✓	✓	✓	4096×2160	17:9	24.00p	519 Mbps	422
Cs4K/24p/422 HQ		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	24.00p	623 Mbps	422 HQ
Cs4K/24p/422		✓	✓	✓	4096×1728	2.4:1	24.00p	415 Mbps	422
4K/24p/422 HQ		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	24.00p	730 Mbps	422 HQ
4K/24p/422		✓	✓	✓	3840×2160	16:9	24.00p	487 Mbps	422
FHD/24p/422 HQ		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	24.00p	182 Mbps	422 HQ
FHD/24p/422		✓	✓	✓	1920×1080	16:9	24.00p	121 Mbps	422

• 本書では、動画の解像度に応じて以下のように表記します。

- 6K(5952×3968)の動画:**6K動画(3:2)**
- 6K(5952×3136)の動画:**6K動画(17:9)**
- 6K(5952×2512)の動画:**6K動画(2.4:1)**
- 5.9K(5888×3312)の動画:**5.9K動画**
- 5.8K(5776×3056)の動画:**5.8K動画**
- 3.3K(3328×2496)の動画:**3.3K動画**
- C4K(4096×2160)の動画:**C4K動画**
- Cs4K(4096×1728)の動画:**Cs4K動画**
- 4K(3840×2160)の動画:**4K動画**
- フルハイビジョン(1920×1080)の動画:**FHD動画**



- 本機はVBR記録方式を採用しています。撮影する被写体によりビットレートが自動で変わるため、動きの激しい被写体を記録した場合、動画記録時間は短くなります。
- ALL-Intraの動画や4:2:2、10 bitの動画、[記録ファイル形式(動画)]が[Apple ProRes]の動画は、映像制作用のパソコン編集を前提とした動画です。

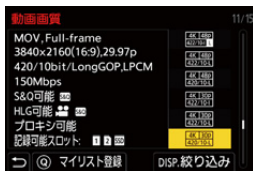


- [システム周波数]、[記録ファイル形式(動画)]、[動画撮影範囲]、[動画画質]の設定の組み合わせをマイリストに登録できます。(➔ [マイリスト登録: 167](#))

❖ 絞り込み

[記録ファイル形式(動画)]を[MOV]または[Apple ProRes]に設定したときは、フレームレート、画素数(解像度)、圧縮形式(YUV、ビット数、映像圧縮)などを指定して、条件に合う動画画質だけを表示できます。

- 1 [動画画質]の設定画面で[DISP.]ボタンを押す



- 2 ▲▼で項目を選び、 または を押す
 - 設定: [フレームレート]／[画素数]／[圧縮形式]／[ハイブリッドログガンマ]／[プロキシ記録]
- 3 ▲▼で絞り込む条件を選び、 または を押す
- 4 [DISP.]ボタンを押して決定する
 - [動画画質]の設定画面に戻ります。

絞り込みの解除方法

手順3で、[すべて]を選ぶ

- 以下の操作をした場合も、絞り込みが解除されます。
 - [記録ファイル形式(動画)]の変更
 - [システム周波数]の変更
 - [動画画質(マイリスト)]から動画画質を選択



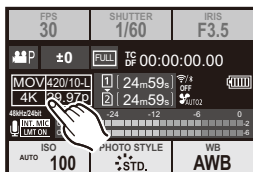
- 絞り込みを使って動画画質を変更すると、現在の絞り込み条件を記憶します。

コントロールパネルから設定する

[] / [S&Q] モード時、コントロールパネルから動画画質のマイリストを表示できません。

動画画質の項目をタッチする

- マイリストに登録済みの場合は、[動画画質(マイリスト)]の設定画面が表示されます。未登録の場合は、[動画画質]の設定画面が表示されます。
- [DISP] ボタンを押すごとに、[動画画質(マイリスト)]と[動画画質]が切り換わりします。
- 次に設定画面を表示するときは、最後に使用した画面が表示されます。



- 登録できる動画画質は12種類までです。

RAW 動画記録



高ビットレートのRAW動画(ProRes RAW HQ／ProRes RAW形式)をカメラ内で記録します。(SDカードには記録できません)

1 [動画]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [記録ファイル形式(動画)]を[Apple ProRes]に設定する

- [MENU/SET] → [動画] → [記録ファイル形式(動画)] → [Apple ProRes]

3 RAW動画を記録できる動画画質に設定する

- [MENU/SET] → [動画] → [動画画質]
- [Apple ProRes RAW HQ]または[Apple ProRes RAW]の動画画質を選び、[MENU/SET] または [OK] を押します。





• RAW動画について

RAW動画とは、カメラで画像が処理されていないそのままのデータ形式です。本機以外でRAW動画を再生・編集するには、対応したソフトウェアが必要です。



- [iA]モードではRAW動画の記録はできません。
- 動画RAW記録時は、以下のように動作します。
 - ISO感度は640～51200の範囲で設定できます。[拡張ISO感度]設定時は320～51200の範囲で設定できます。
 - ホワイトバランスの[AWB]や[AWBc]、[AWBw]、[ - [フォトスタイル]は[V-Log]に固定され、画質調整できません。
 - AFモードの[ - [Logビューアシスト]で使用するLUTは[Vlog_709]に固定されます。
- RAW動画記録時は、以下の機能は使用できません。
 - [マスターペダスタル]
 - [iダイナミックレンジ]
 - [周辺光量補正]
 - [回折補正]
 - [フィルター設定]
 - [輝度レベル設定]
 - [手ブレ補正]の[電子手ブレ補正(動画)]
 - [ループ記録(動画)]
 - [動画分割記録]
 - [ライブクロップ]
 - [色空間]
 - [カラーバー]
 - [ダブルスロット機能]

プロキシ記録



動画撮影時に、低ビットレートのプロキシ動画を同時に記録できます。容量が小さいため、クラウドなどへのデータ送信に適しています。また、編集時にはパソコンの負荷を軽減できます。

1 [映像]モードにする

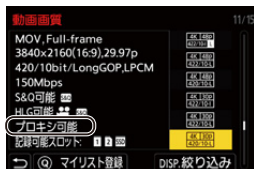
(→ 写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82)

2 [記録ファイル形式(動画)]を[MOV]または[Apple ProRes]に設定する

- [MENU/SET] → [映像] → [記録ファイル形式(動画)]

3 プロキシ動画を撮影できる動画画質を選ぶ

- [MENU/SET] → [映像] → [記録ファイル形式(動画)] → [動画画質]
- プロキシ動画を撮影できる項目には、[プロキシ可能]と表示されます。



4 プロキシ記録を設定する

-  →  →  → [プロキシ記録設定] → [プロキシ記録] → [ON]



- [動画画質]で設定したオリジナル動画をカードスロット1に記録し、プロキシ動画をカードスロット2に記録します。
- オリジナル動画には、プロキシ動画にはが、再生時に表示されます。



- プロキシ動画の記録先を変更することはできません。
- いずれかの記録先にカードが入っていないときは[プロキシ記録]は使用できません。
- [USB-SSD]が[ON]のときは外付けSSDにオリジナル動画が記録されます。プロキシ動画はカードスロット2に記録されます。プロキシ動画を再生するには、[USB-SSD]を[OFF]にしてください。
- HDMI RAWデータ出力中は、プロキシ動画だけをカードスロット2に記録します。オリジナル動画は記録されません。(→[HDMI RAWデータ出力中のプロキシ記録: 523](#))
- 撮影開始後、カードの容量不足などでオリジナル動画の撮影が停止すると、[プロキシ記録]も停止します。先にプロキシ動画の撮影が停止した場合は、オリジナル動画の撮影を継続します。
- HDMI RAWデータ出力中に、カードの容量不足などでプロキシ動画の撮影が停止した場合、HDMI RAWデータ出力を一時的に停止します。
- 以下の記録メディアの組み合わせでは、[プロキシ記録]は使用できません。
 - SD / SDHC メモリーカードと、CFexpressカード
 - SD / SDHC メモリーカードと、外付けSSD
- 以下の機能を使用中は、[プロキシ記録]は使用できません。
 - [記録ファイル形式(動画)]の[MP4]
 - 解像度がC4Kを超える[動画画質]*
 - 横縦比が[4:3]または[3:2]の[動画画質]*
 - ハイフレームレート動画用の[動画画質]
 - [ストリーミング]
- * HDMI RAWデータ出力時を除く
- プロキシ動画記録中は、以下の機能は使用できません。
 - Fnボタンの[フォトスタイル]、[LUT適用]、[リアルタイムLUT]

❖ プロキシ画質を設定する

 ➔  ➔  ➔ [プロキシ記録設定] ➔ [プロキシ画質] を選ぶ

(A) ビデオ圧縮方式 (HEVC:H.265/HEVC、AVC:H.264/MPEG-4 AVC)

プロキシ画質	解像度	YUV、ビット数	ビットレート (Mbps)					(A)
			60p	50p	30p	25p	24p	
H	2048×1080	4:2:0 10bit	18	18	13	13	13	HEVC
	2048×864		14	14	11	11	11	
	1920×1440*		21	21	16	16	16	
	1920×1280*		19	19	14	14	14	
	1920×1080		16	16	12	12	12	
M	2048×1080	4:2:0 10bit	10	10	7	7	7	HEVC
	2048×864		8	8	6	6	6	
	1920×1440*		12	12	8	8	8	
	1920×1280*		11	11	7	7	7	
	1920×1080		9	9	6	6	6	
L	1280×720	4:2:0 8bit	6	6	4	4	4	AVC

* HDMI RAW データ出力時に設定されます。

- ビットレート (Mbps) は映像だけの数値です。記録する音声によって変動します。
- フレームレートと横縦比はオリジナル動画と同じです。
- オリジナル動画の横縦比が [16:9] 以外の場合、プロキシ画質の [L] は使えません。
- 音声は LPCM、48 kHz/16 bit に固定されます。チャンネル数はオリジナル動画と同じです。

❖ プロキシ動画の保存先

プロキシ動画は、カードスロット2の [xxx_PRXY] フォルダに保存されます。

- プロキシ動画のファイル名はオリジナル動画と同じです。

❖ プロキシ動画にLUTファイルを設定する

[フォトスタイル] が [リアルタイムLUT] またはマイフォトスタイルのときに設定できます。

 →  →  → [プロキシ記録設定] → [リアルタイムLUT (プロキシ)] を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]

- [フォトスタイル] の [リアルタイムLUT] またはマイフォトスタイルで LUT を適用しているときは [ON] に固定されます。
- HDMI RAW データ出力中は [OFF] に固定されます。



- 以下の機能を使用中は、プロキシ動画だけに LUT を適用することはできません。
 - [クロップズーム(動画)]
 - [ハイブリッドズーム(動画)]
 - [ライブクロップ]

動画撮影範囲

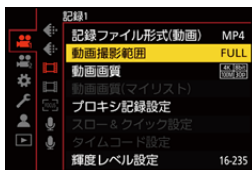


動画撮影時の撮影範囲を設定します。撮影範囲によって画角も変わります。撮影範囲を狭くすると、画質を劣化させることなく望遠効果を高めることができます。

- 1 [動画]または[S&Q]モードにする
(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

- 2 [動画撮影範囲]を設定する

- [MENU/SET] → [動画] → [動画撮影範囲] → [動画撮影範囲]



FULL

フルサイズ用レンズのイメージサークルに応じた範囲で撮影します。

APS-C

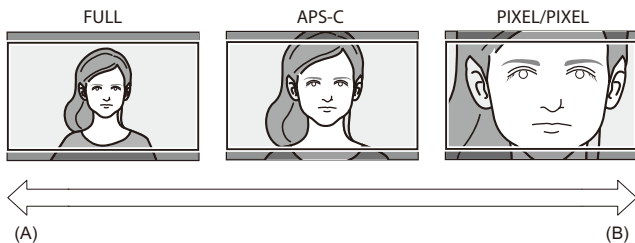
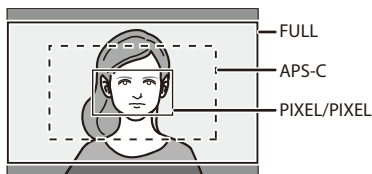
APS-C用レンズのイメージサークルに応じた範囲で撮影します。

PIXEL/PIXEL

センサーの1ピクセルを動画の1ピクセルにして記録します。[動画画質](→ [動画画質: 150](#))の解像度に応じた範囲で撮影します。

- [動画画質]の設定によって、選択できる[動画撮影範囲]の設定項目が異なります。
(→ [動画画質: 150](#))
- 以下の場合は、[FULL]に設定できません。
 - APS-C用レンズ使用時

撮影範囲(例:FHD動画)



(A) 画角: 広い／望遠効果: なし

(B) 画角: 狭い／望遠効果: あり

フォーカス／ズーム

撮影状況や被写体に適したフォーカスモードとAFモードを選ぶと、より快適なピント合わせができます。

- 本機は、位相差AFとコントラストAFに対応しています。

- [フォーカスモードの選択: 179](#)
- [AFを使う: 181](#)
- [AFモードの選択: 196](#)
- [AFエリアの操作: 214](#)
- [MFで撮る: 223](#)
- [ズームを使って撮る: 229](#)

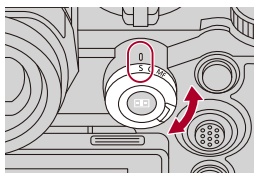
フォーカスモードの選択



被写体の動きに合わせて、ピント合わせの方法(フォーカスモード)を選択できます。

[AFC]ではAF追尾動作の特性をカスタマイズすることもできます。(→[AFカスタム設定\(写真\): 187](#))

フォーカスモードレバーを合わせる



S(AFS)

[]モード:

- シャッターボタンを押していないとき:ピントは動きません。
- シャッターボタンを半押ししたとき:1回だけピントを合わせます。

[] / [S&Q]モードまたは動画撮影中:

- シャッターボタンを押していないとき:被写体の動きに合わせて常にピントを合わせます。
- シャッターボタンを半押ししたとき:1回だけピントを合わせます。

[]モードと同じAFSの動作に設定することもできます。(→[動画時のAFS動作: 404](#))

C(AFC)

[]モード:

- シャッターボタンを押していないとき:ピントは動きません。
- シャッターボタンを半押ししたとき:被写体の動きに合わせて常にピントを合わせます。

[]／[S&Q]モードまたは動画撮影中:

- シャッターボタンを押していないとき:被写体の動きに合わせて常にピントを合わせます。

動画撮影中だけピントを合わせる設定にすることもできます。(→ [動画時のAF動作: 403](#))

- シャッターボタンを半押ししたとき:1回だけピントを合わせます。

MF

手でピントを合わせます。ピントを固定したい場合や、AFを働かせたくない場合に使います。(→ [MFで撮る: 223](#))



- 以下の場合にシャッターボタンを半押しすると、[AFC]は[AFS]と同じ動作をします。
 - 低照度時
- 以下の機能を使用中は、[AFC]は[AFS]に切り換わります。
 - ハイレゾモード
 - [画像横縦比]の[65:24]、[2:1]

AFを使う

- [AFポイントスコープ: 185](#)
- [AFカスタム設定\(写真\): 187](#)
- [フォーカスリミッター: 189](#)
- [AF補助光: 191](#)
- [フォーカス枠の移動速度: 192](#)
- [AF微調整: 193](#)



AF(オートフォーカス)とは自動ピント合わせのことです。被写体や撮影状況に合わせてフォーカスモードとAFモードを選択してください。

1 フォーカスモードを[AFS]または[AFC]にする

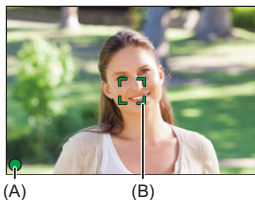
- フォーカスモードレバーを合わせます。(→ [フォーカスモードの選択: 179](#))

2 AFモードを選ぶ

- [ または  で決定します。(→ [AFモードの選択: 196](#))
- [iA]モードでは、[] と [] が切り換わります。(→ [AFモード: 114](#))

3 シャッターボタンを半押しする

- AFが働きます。



	ピント	
	合っている	合っていない
フォーカスアイコン(A)	点灯	点滅
AFエリア(B)	緑	赤
合焦音	ピピッ	ー

低照度AF

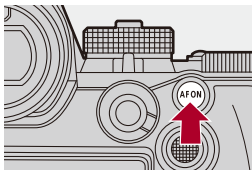
- 暗い環境では低照度AFが自動で働き、フォーカスアイコンが[^{LOW}●]と表示されます。
- 通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。

星空AF

- 低照度AFと判定したあとに夜空の星を検知した場合は、星空AFが働きます。ピントが合うとフォーカスアイコンが[^{STAR}●]と表示され、ピントが合った場所にAFエリアが表示されます。
- 画面の端では、星空AFの検知ができません。

❖ [AF ON]ボタン

[AF ON]ボタンを押してもAFが働きます。





• **AFでピントが合いにくい被写体や撮影環境**

- 動きの速い被写体
- 非常に明るい被写体
- 濃淡のない被写体
- ガラス越しにある被写体
- 光るものの近くにある被写体
- 非常に暗い場所にある被写体
- 遠くと近くの被写体を同時に撮るとき



- [AFC]で撮影中に以下の操作をすると、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
 - W端からT端にズームする
 - 被写体を遠くから近くに急に変える
- ピントを合わせたあとにズーム操作をした場合は、ピントに誤差が生じることがあります。ピントを合わせ直してください。



- AFの作動範囲を制限できます：
(→ [フォーカスリミッター: 189](#))
- カメラのブレが小さくなると自動でピントを合わせる設定ができます：
(→ [クイックAF: 621](#))
- シャッターボタン半押し時にAFが働かないように設定を変更できます：
(→ [シャッター半押しAF: 620](#))
- 合焦音の音量や音色を変更できます：
(→ [電子音: 660](#))
- 近くの被写体を優先してAFが働くようにする機能をFnボタンに登録できます。
誤ってピントが背景に合ってしまうときに便利な機能です：
(→ [AF-ON: 近側: 586](#))
- 遠くの被写体を優先してAFが働くようにする機能をFnボタンに登録できます。
柵やネット越しに撮影するときに便利な機能です：
(→ [AF-ON: 遠側: 586](#))

AF ポイントスコープ



AFモードが[], [], []のときに、ピント位置を拡大表示します。(それ以外のAFモードでは、画面中央が拡大表示されます)

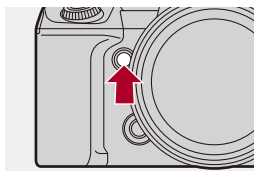
ピントを確認したり、望遠鏡のように被写体を観察したりできます。

- [AFポイントスコープ]を登録したFnボタンを押しても同じ操作ができます。(→Fnボタン:580)

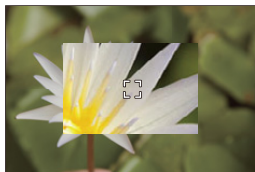
1 []モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:82)

2 AFポイントスコープボタンを押したままにする



- 押している間、ピント位置が拡大表示されます。



- 拡大表示中にシャッターボタンを半押しすると、中央の小さなAFエリアでピントを合わせ直します。
- 拡大表示中に  または  を回して、拡大倍率を調整できます。
-  を使うとより細かく調整できます。



- 拡大表示中は、[AFC]は[AFS]に切り換わります。
- 以下の機能を使用中は、AFポイントスコープは動きません。
 - 動画撮影、SH連写
- HDMI出力やWi-Fi接続など、カメラ内の処理に負荷がかかる機能を同時に使用している場合、ライブビューのフレームレートが落ちます。
- 高温表示について(→ [高温表示について: 145](#))



- 拡大画面の表示方法を変更できます:
(→ [AFポイントスコープ設定: 620](#))

AF カスタム設定(写真)



[AFC]で写真を撮影するときのAF動作の特性を、被写体や撮影状況に合わせて選択できます。

各特性は、さらに詳細なカスタマイズができます。

1 [📷]モードにする

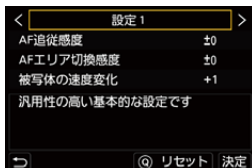
(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 フォーカスモードを[AFC]にする

- フォーカスモードレバーを合わせます。(→ [フォーカスモードの選択: 179](#))

3 [AFカスタム設定(写真)]を設定する

- → → → [AFカスタム設定(写真)]



設定1

汎用性の高い基本的な設定

設定2

被写体が一定方向に等速で進むシーンに適した設定

設定3

被写体が前後左右に動き、障害物が入りやすいシーンに適した設定

設定4

被写体の速度変化が大きいシーンに適した設定

❖ AFカスタム設定の調整

- 1 ◀▶ でAFカスタム設定の種類を選ぶ
- 2 ▲▼ で項目を選び、◀▶ で調整する
 - [DISP] ボタンを押すと、項目の説明が画面に表示されます。
 - 初期設定に戻すには、[Q] ボタンを押してください。
- 3  または  を押す

AF 追従感度	被写体の動きに追従する感度を設定します。	
	+	被写体との距離が大きく変わったときに、すぐにピントを合わせ直します。異なる被写体に次々にピントを合わせることができます。
AF エリア切換 感度	-	被写体との距離が大きく変わったときに、ピントの合わせ直しを少し待ちます。カメラの前を障害物が横切った場合でも、意図しないピントの合わせ直しを防ぐことができます。
	+	被写体がAFエリアから外れたとき、すぐにAFエリアを切り換え、ピントを合わせ続けます。
	-	AFエリアを緩やかに切り換えます。被写体の僅かな動きやカメラの前の障害物からの影響を受けにくくします。
被写体の速度 変化	被写体の動きの速度変化に対して、追従する方式を設定します。 • 設定値を大きくするほど、急な被写体の動きでも、ピントを合わせようとします。ただし、僅かな動きの影響を受けやすく、ピントが不安定になることがあります。	
	0	速度変化の少ない被写体に適しています。
	+1	被写体の速度が変化する被写体に適しています。
	+2	

フォーカスリミッター



S&Q

iA P A S M

AFの作動範囲を制限できます。

AFの作動範囲を制限すると、AFの合焦スピードが速くなります。

1 フォーカスモードを[AFS]または[AFC]にする

- フォーカスモードレバーを合わせます。(→ [フォーカスモードの選択: 179](#))

2 [フォーカスリミッター]を設定する

- → / → → [フォーカスリミッター]

ON

下記の設定を有効にします。

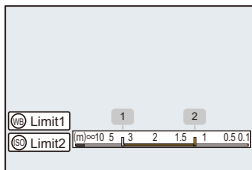
OFF

下記の設定を無効にします。

設定

- 1 MF(→MFで撮る: 223)と同じ操作でピントを確認し、[WB]または[ISO]を押してAFの作動範囲を設定する

- [Limit1]／[Limit2]をタッチしても設定できます。
- [Limit1]／[Limit2]はどちらからでも設定できます。



- 2  または  を押して決定する
- [DISP.]ボタンを押すと、作動範囲を初期設定に戻します。



- フォーカスリングのあるLマウントレンズを使用しているときに設定できます。
- レンズのフォーカススイッチで作動範囲を制限しているときは設定できません。
- レンズを交換すると設定値はリセットされます。
- [フォーカスリミッター]作動中は[AfS]／[AfC]が画面に表示されます。
- 以下の機能を使用中は、[フォーカスリミッター]は働きません。
- [AF+MF]

AF補助光



S&Q

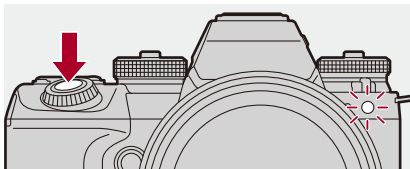
iA P A S M

暗い場所で撮影するときにシャッターボタンを半押しすると、AF補助光を点灯してピントを合わせやすくします。



→ [カメラ] / [AF] → [FOCUS] → [AF補助光] を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]



- 補助光の有効距離は、使用するレンズによって異なります。
 - 交換レンズ(S-R24105)使用、W端時: 約1.0 m～約3.0 m
- レンズフードは外してください。
- 径の大きなレンズをお使いの場合は、AF補助光が大きく遮られ、ピントが合いにくい場合があります。

フォーカス枠の移動速度



S&Q

iA P A S M

AFエリア／MFアシストを移動させるときの速度を設定します。



⇒ [カメラ]／[人] ⇒ [FOCUS] ⇒ [フォーカス枠の移動速度]を選ぶ

設定: [高速]／[標準]

AF 微調整



S&Q

iA P A S M

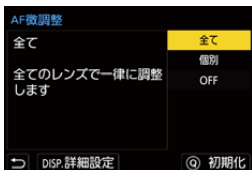
位相差AFでピントを合わせるときのピント位置を微調整します。



- 通常はピント位置を調整する必要はありません。必要な場合だけ調整してください。正常なレンズを調整すると、ピントが合わなくなる場合があります。



→ [設定] → [AF] → [AF 微調整] を選ぶ



全て

すべてのレンズで一律に調整します。[個別]で登録していないレンズ装着時などに使用します。

個別

レンズごとに調整し、調整値をカメラに登録します。登録済みのレンズを装着し、[個別]に設定すると調整値が呼び出されます。

- ズームレンズをお使いの場合、W端とT端のピント位置をそれぞれ調整できます。
- すでに登録済みのレンズの場合は、調整値を上書きします。

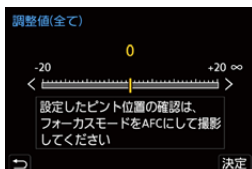
OFF

❖ 調整値の登録

- 1 [全て]または[個別]を選び、[DISP.]ボタンを押す
- 2 ([個別]選択時)レンズを登録する
 - [DISP.]ボタンを押し、[はい]を選んで登録します。
 - すでに登録済みのレンズの場合は、手順3の画面に進みます。
- 3 ([個別]選択時)[調整値(W端)]または[調整値(T端)]を選ぶ
 - ▲▼で選択し、 または  を押します。
 - 単焦点レンズをお使いの場合は、[調整値]が表示されます。



- 4 ピント位置を調整する
 - ◀▶でピント位置を調整し、 または  を押します。
 - 、 または  を回しても調整できます。
 - [+]側に調整するとピント位置を奥側に合わせます。[-]側に調整するとピント位置を手前側に合わせます。



- 5 撮影し、ピント位置が合うまで手順4を繰り返す
 - 設定したピント位置は、[フォーカス/リリース優先]の[AFC]を[フォーカス]に設定し、フォーカスモードを[AFC]にして撮影した画像で確認してください。
(→ [フォーカス/リリース優先: 617](#))



- 実際に撮影する環境での調整をお勧めします。
- 調整するときは三脚の使用をお勧めします。



- [個別]に登録できるレンズは最大40本です。上限を超えると、登録済みのレンズ情報を上書きして登録できます。
- [個別]調整時にテレコンバーターを使用している場合は、「レンズ+テレコンバーター」の組み合わせで登録されます。
- [全て]ではW端とT端のピント位置をそれぞれ調整することはできません。
- [個別]に登録する登録番号とレンズ名は自動で入力され、変更はできません。

❖ 初期化

登録したレンズ情報と調整値を初期化します。

- 1 [全て]または[個別]を選び、[Q]ボタンを押す
- 2 [はい]を選び、初期化を実行する



- [全て]／[個別]の選択にかかわらず、[AF微調整]に登録したすべてのレンズ情報と調整値を初期化します。

AFモードの選択

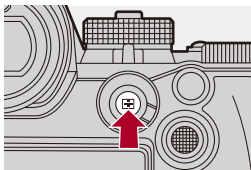
- 自動認識: 199
- 追尾: 203
- フルエリア: 205
- ゾーン(横・縦)／ゾーン: 208
- 1点+補助／1点: 210
- ピンポイント: 212



被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。ピンポイント以外のAFモードでは、被写体を認識して、自動でピントを合わせることもできます。

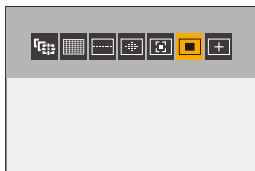
1 [AF-ON]ボタンを押す

- AFモードの選択画面が表示されます。



2 AFモードを選ぶ

- ◀▶ で項目を選び、 または  を押します。
- [] ボタンを押しても選択できます。



 追尾

(→ [追尾: 203](#))

 フルエリア

(→ [フルエリア: 205](#))

 ゾーン(横・縦)

(→ [ゾーン\(横・縦\): 208](#))

 ゾーン

(→ [ゾーン: 209](#))

 1点+補助

(→ [1点+補助: 210](#))

 1点

(→ [1点: 210](#))

 ピンポイント

(→ [ピンポイント: 212](#))



- 以下の機能を使用中は、は使用できません。
 - インターバル撮影
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [連写設定]の[H+]
- フォーカスモードを[AFC]に設定しているときは、は使用できません。
- 以下の機能を使用中は、に固定されます。
 - [ライブクロップ]
- 以下の機能を使用中は、に固定されます。
 - [画像横縦比]の[65:24]、[2:1]



- AFモードの選択画面に表示するAFモードの項目を設定できます：
(→ [AFモード表示の制限: 619](#))

自動認識

自動認識を有効にすると、対象となる被写体を自動で認識してピントを合わせます。



- 設定どおりにすべての被写体を認識できるわけではありません。
- [自動認識の対象]([認識する被写体])が[動物]のとき、動物以外の被写体に対して動物認識する場合があります。

1 [自動認識設定]を[ON]にする

- → / → → [自動認識設定] → [ON]
- AFモードの選択画面で▲を押して、自動認識の[ON]／[OFF]を切り換えることもできます。

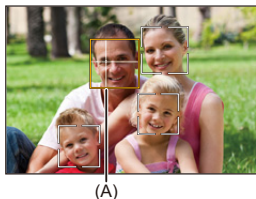
2 [自動認識の対象]を選ぶ

- → / → → [自動認識の対象]
- [認識する被写体]と[認識モード(人物)]／[被写体の部位]を選択します。
- AFモード選択画面で[DISP.]ボタンを押して選択することもできます。

認識する被写体	人物	人物を認識します。 [認識モード(人物)]を[瞳・顔・体]、[瞳・顔]または[アーバンスポーツ]から選択できます。 AFモードアイコンに[人]／[目]／[人]が表示されます。
	動物	動物を認識します。 [被写体の部位]を[体]または[瞳・体]から選択できます。 - 認識できる動物は、鳥、イヌ科(オオカミなどを含む)、ネコ科(ライオンなどを含む)です。 - AFモードアイコンに[鳥]／[猫]が表示されます。
	車	車(主にモータースポーツ)を認識します。 [被写体の部位]を[全体]または[主要部優先]から選択できます。 AFモードアイコンに[車]／[車]が表示されます。
	バイク・自転車	バイク(主にモータースポーツ)と自転車(主に競技用)を認識します。 [被写体の部位]を[全体]または[ヘルメット優先]から選択できます。 AFモードアイコンに[バイク]／[バイク]が表示されます。
	列車	鉄道車両を認識します。 [被写体の部位]を[先頭車両]または[主要部優先]から選択できます。 AFモードアイコンに[列車]／[列車]が表示されます。
	飛行機	飛行機、ヘリコプターを認識します。 [被写体の部位]を[機体]または[機首優先]から選択できます。 AFモードアイコンに[飛行機]／[飛行機]が表示されます。
認識モード(人物)	([認識する被写体]が[人物]のとき) ピントを合わせる部位や人物を選択します。 [アーバンスポーツ]選択時は、ブレイキンなどのストリートダンスやアーバンスポーツ(BMX／スケートボード／パルクール／フリースタイルフットボール)のシーンで、複雑な動きをするアスリートに特化して認識します。	
被写体の部位	([認識する被写体]が[人物]以外のとき) ピントを合わせる部位を選択します。 [認識する被写体]の設定によって、選択できる部位が異なります。	

❖ [■]のとき

対象となる被写体を認識すると、AFエリアが表示されます。複数の被写体を認識した場合は、AFエリアも複数表示され、その中からピントを合わせる被写体を選択できます。



黄色

ピントを合わせる対象のAFエリアです。カメラが自動で選びます。

- 人物の瞳を認識すると、AFエリア内に十字線を表示します。(A)

動物の瞳の場合は、十字線は表示されません。

ピントを合わせる瞳を指定できます。(→ [ピントを合わせる被写体の指定: 205](#))

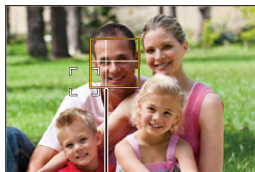
白色

複数の被写体を認識すると表示されます。

❖ [AF-ON]、[AF-ON]、[AF-ON]、[AF-ON]、[AF-ON]のとき

対象となる被写体がAFエリア内に一部でも入ると自動認識してピントを合わせます。

- AFエリア内で瞳を認識すると瞳認識(B)が働きます。ピントを合わせる瞳の切り換えはできません。



(B)



- 自動認識設定は[+]を除くすべてのAFモードに適用されます。
- 人物の瞳を認識した場合、カメラに近い側の瞳にピントを合わせます。
露出は顔に合わせます。([測光モード]を[☉]に設定時)
- 自動認識の対象によって、AFモードの[]で一度に認識できる被写体の数が異なります。
[人物]([瞳・顔・体]、[瞳・顔]):最大15(体の認識は最大3)
[人物]([アーバンスポーツ]):最大3
[動物]([体]、[車]、[バイク・自転車]、[列車]、[飛行機]):最大3
[動物]([瞳・体]):最大1
- カメラの設定によっては、自動認識が使用できない場合があります。



- 自動認識が働いたときに、自動露出の測光範囲が瞳・顔を優先しないようにできます:
(→ [マルチ測光時の顔優先: 614](#))
- 合焦時に人物の瞳の十字線を非表示にできます:
(→ [合焦時の人物瞳認識表示: 620](#))

追尾

フォーカスモードを[AFC]にしているとき、AFエリアが被写体の動きを追いかけて、ピントを合わせ続けます。

追尾を開始する

- AFエリアに被写体を入れて、シャッターボタンを半押しします。シャッターボタンを半押しまたは全押ししている間、被写体を追尾します。
- 追尾に失敗したときは、AFエリアが赤色で点滅します。
- [AFS]のときは、AFエリアの位置でピントを合わせます。追尾は働きません。



- AFエリアの操作方法(→[AFエリアの操作: 214](#))



- [AF-ON] / [S&Q]モード時および動画撮影中は、シャッターボタンを離しても追尾を維持します。追尾を解除するには、 または を押す、または [AF OFF] をタッチしてください。



- 自動認識が働いているときは認識した被写体を追尾します。
- 自動認識が[ON]で対象となる被写体がないときにシャッターボタンを半押しすると、追尾待機の状態になります。その状態でAFエリア内に対象となる被写体が入ると追尾を開始します。
- [測光モード]を[]にすると、露出も合わせ続けます。
- カメラの設定によっては、[]が使用できない場合があります。
- 以下の機能を使用中は、追尾は使用できません。
 - [プロキシ記録]と[Frame.io接続]の設定が[ON]のときに、HDMI出力中
 - 6K (2.4:1)の[動画画質]に設定して、HDMI出力中

フルエリア

カメラが最適なAFエリアを選んでピントを合わせます。

複数のAFエリアが選ばれるときは、選ばれたすべてのAFエリアでピントが合います。

フォーカスモードを[AFC]にしているときは、フルエリアのエリア内に被写体を入れて撮影すると、被写体にピントを合わせ続けることができます。

❖ ピントを合わせる被写体の指定

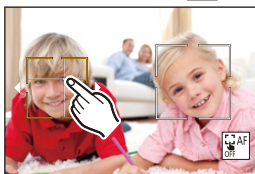
自動認識を[ON]にしているときは、複数の被写体が認識されます。

ピントを合わせたい被写体に白色のAFエリアが表示されているときに、黄色のAFエリアに変えることができます。

● タッチ操作

白色のAFエリアが表示されている被写体をタッチする

- AFエリアが黄色に変わります。
- 指定を解除するには、[]をタッチしてください。



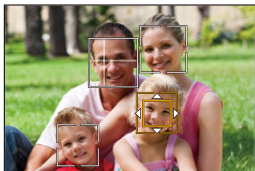
● ジョイスティック操作

ジョイスティックを▲▼◀▶に傾ける

- ▲▼◀▶に傾けるごとに、ピントを合わせる被写体が切り換わります。
- 指定を解除するには、を押してください。

● ボタン操作

- 1 AFモードの選択画面で▼を押す
- 2 ▲▼◀▶でAFエリアを移動する



- 3 白色のAFエリアが黄色になったら、を押す
• 指定を解除するには、を押してください。



- [自動認識の対象]が[動物]([瞳・体])のときは、認識できる被写体の数は最大1になります。(認識されていない被写体に白色のAFエリアは表示されません)
別の被写体にピントを合わせたいときは、タッチ操作やジョイスティック操作で認識されていない被写体に切り換えてください。

❖ 任意の位置にAFエリアを設定する

[]のAFエリアを任意の位置に設定できます。

● タッチ操作

撮影画面の任意の位置をタッチして、[決定]をタッチする

- []をタッチすると、[]に戻ります。

● ジョイスティック操作

ジョイスティックを長押しする

- 画面中央に[]のAFエリアが設定されます。
- もう一度ジョイスティックを長押しするか、を押すと[]に戻ります。

● ボタン操作

- 1 AFモードの選択画面で▼を押す
- 2 ▲▼◀▶でAFエリアを移動し、を押して決定する
 - もう一度を押すと[]に戻ります。



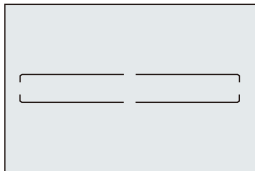
- 設定したAFエリアは、移動したり大きさを変更したりできます。(→[AFエリアの操作: 214](#))

ゾーン(横・縦) / ゾーン

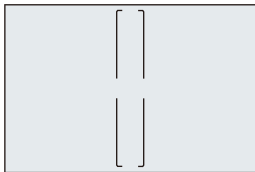
ゾーン(横・縦)

フルエリアのうち、縦方向と横方向のゾーンでピント合わせができます。

横方向



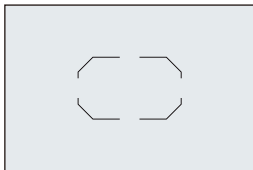
縦方向



- 横方向と縦方向を切り換えるには、AFエリア設定画面で▲▼◀▶を押してください。
- AFエリアの操作方法(→[AFエリアの操作: 214](#))

ゾーン

フルエリアのうち、中央の楕円形ゾーンでピント合わせができます。



- AFエリアの操作方法(→[AFエリアの操作: 214](#))



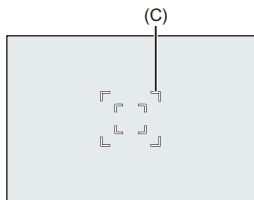
- 以下の場合、はに切り換わります：
 - 動画撮影中
 - モード時
 - [S&Q]モード時

1点+補助 / 1点

1点+補助

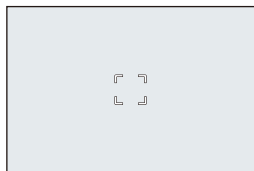
1点のAFエリア内で重点的にピントを合わせます。1点のAFエリアから被写体が外れた場合も、補助AFエリア(C)内でピントを合わせます。

- [] では追従が難しい、動きのある被写体を撮影するときに有効です。

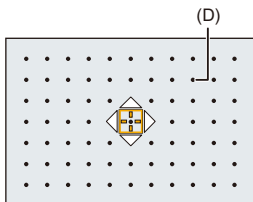


1点

ピント位置を指定します。



1点のAFエリアを最小まで縮小すると、撮影画面にドット(D)が表示されます。ドットが表示されている位置にAFエリアを設定できます。



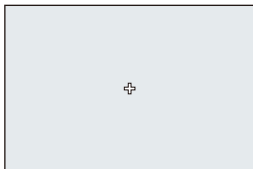
- AFエリアの操作方法(→[AFエリアの操作: 214](#))



- 以下の機能を使用中は、1点のAFエリアを最小まで縮小できません。
 - 動画撮影中
 - [📷]モード時
 - [S&Q]モード時
 - [ハイブリッドズーム(写真)]
 - [クロップズーム(写真)]

ピンポイント

小さな点で繊細なピント合わせができます。シャッターボタンを半押しすると、ピントを確認するために画面が拡大表示されます。



- AFエリアを設定すると、拡大画面が表示されます。
- AFエリアの操作方法(→[AFエリアの操作: 214](#))



- フォーカスモードを[AFC]に設定しているときは、は使用できません。
- では、自動認識は働きません。



- 以下の機能を使用中は、がに切り換わります。
 - 動画撮影中
 - モード時
 - [S&Q]モード時

拡大画面での操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	タッチ	[+]の移動 • ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
	ピンチアウト／ピンチイン	画面を細かく拡大／縮小
	—	画面を拡大／縮小
		拡大表示の切り換え(画面の一部／画面全体) 
[DISP.]	[リセット]	拡大表示をやめる

- 約3倍～6倍に拡大できます。
- []をタッチして写真を撮影できます。



- 拡大画面の表示方法を変更できます：
(→ [ピンポイントAF設定: 619](#))

AFエリアの操作

- AFエリアの移動: 214
- AFエリアのサイズ変更: 217
- AFエリアのリセット: 218
- タッチした位置にピントと明るさを合わせる ([AF+AE]): 219
- タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作: 220
- 縦/横位置フォーカス切換: 222



AFエリアの移動

❖ タッチ操作

初期設定では、画面をタッチすると、タッチした位置にピントを合わせます。(→ [タッチ設定: 623](#))

撮影画面をタッチする

- AFエリアの設定画面が表示されます。
[決定]をタッチするか、シャッターボタンを半押しすると、AFエリアが設定されます。



- タッチした位置にピントと明るさを合わせることができます。(→ [タッチした位置にピントと明るさを合わせる \(\[AF+AE\]\): 219](#))
- タッチした位置にピントを合わせてシャッターを切ることができます。(→ [タッチAF / タッチシャッター: 117](#))

❖ ジョイスティック操作

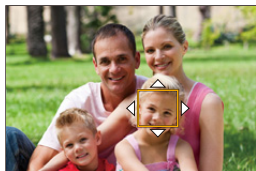
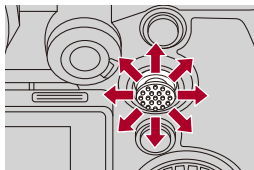
初期設定ではジョイスティックでAFエリアの操作ができます。(→ [ジョイスティック設定:629](#))

撮影画面でジョイスティックを傾ける

- AFエリアの設定画面が表示されます。

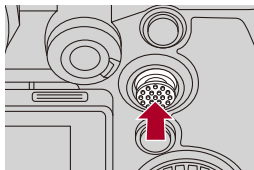


を押すか、シャッターボタンを半押しすると、AFエリアが設定されます。



- を押し、AFエリアの位置を初期設定の位置と設定した位置で交互に切り換えます。

[+]では、拡大画面を表示します。



❖ ボタン操作

- 1 AFモードの選択画面で▼を押す
 - AFエリアの設定画面が表示されます。
- 2 ▲▼◀▶でAFエリアを移動する
 - を押すか、シャッターボタンを半押しすると、AFエリアが設定されます。



- [測光モード]が[]のときは、測光ターゲットもAFエリアに合わせて移動します。



- AFエリアのループ移動を設定できます：
(→ [フォーカス枠のループ移動: 621](#))
- AFエリア／MFアシストの移動画面を表示する機能をFnボタンに登録できます：
(→ [フォーカスエリア選択: 586](#))

AFエリアのサイズ変更

❖ タッチ操作

AFエリアの設定画面で、AFエリアをピンチアウト／ピンチインする

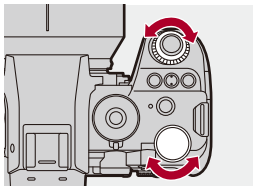
- [決定]をタッチするか、シャッターボタンを半押しして決定します。



❖ ダイヤル操作

☀️、🌀 または ⚙️ を回す

-  を押すか、シャッターボタンを半押しして決定します。



- [.....]、[+] では、AFエリアの大きさは変更できません。

AFエリアのリセット

❖ タッチ操作

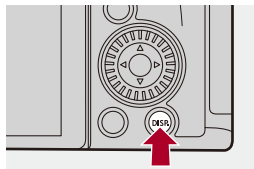
AFエリアの設定画面で[リセット]をタッチする

- 1回目はAFエリアの位置を中央に戻します。2回目はAFエリアの大きさを初期設定に戻します。

❖ ボタン操作

AFエリアの設定画面で[DISP.]ボタンを押す

- 1回目はAFエリアの位置を中央に戻します。2回目はAFエリアの大きさを初期設定に戻します。



タッチした位置にピントと明るさを合わせる([AF+AE])

1 [タッチAF]を設定する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [タッチ設定] ⇒ [タッチAF] ⇒ [AF+AE]

2 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- タッチした場所に  と同じ働きのAFエリアが表示されます。AFエリアの中央には明るさを合わせる点が配置されます。
- AFエリアの操作方法(⇒[AFエリアの操作: 214](#))



3 [決定]をタッチする

- 撮影画面で  (, ) 設定時は  をタッチすると、[AF+AE]の設定が解除されます。

タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作

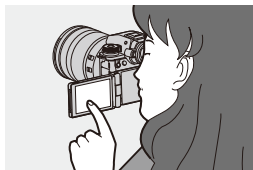
ファインダー表示中にモニターをタッチして、AFエリアの移動と大きさの変更ができます。

1 [タッチパッドAF]を設定する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [タッチ設定] ⇒ [タッチパッドAF] ⇒ [絶対位置]／[相対位置1]～[相対位置7]

2 AFエリアを移動する

- ファインダー表示中にモニターをタッチします。
- AFエリアの操作方法(⇒[AFエリアの操作: 214](#))



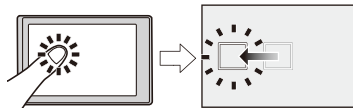
3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。

❖ 設定項目(タッチパッドAF)

絶対位置

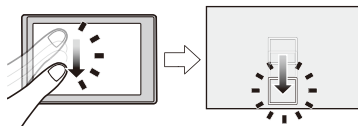
タッチパッドをタッチした位置に、ファインダーのAFエリアが移動します。



相対位置1 (全域)／相対位置2 (右半分)／相対位置3 (右上)／相対位置4 (右下)／相対位置5 (左半分)／相対位置6 (左上)／相対位置7 (左下)

タッチパッドをドラッグした移動量に応じて、ファインダーのAFエリアが移動します。

ドラッグ操作を検知する範囲を選択します。



OFF

縦／横位置フォーカス切換

カメラを縦位置で構えたときと、横位置で構えたときのAFエリアの位置を別々に記憶します。縦位置は左右の2種類を記憶します。



MENU/SET ➡ **[設定]** ➡ **[AF]** ➡ **[縦／横位置フォーカス切換]**を選ぶ

ON

縦位置と横位置を別々に記憶します。

OFF

縦位置と横位置を同じ設定にします。



- MF時は、MFアシストの位置を記憶します。

MFで撮る

- ピーキング: 228



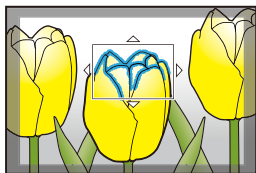
MF(マニュアルフォーカス)とは手動ピント合わせのことです。ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、AFを働かせたくない場合に使います。

1 フォーカスモードを[MF]にする

- フォーカスモードレバーを合わせます。(→ [フォーカスモードの選択: 179](#))

2 ピント位置を選ぶ

- ジョイスティックを傾けてピント位置を選びます。
- ピント位置を中央に戻すには、[DISP.] ボタンを押してください。

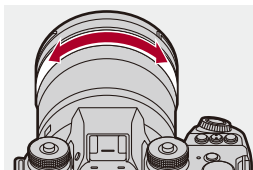


3 決定する

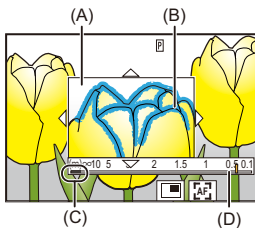
-  を押します。
- MFアシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。

4 ピントを合わせる

- フォーカスリングを回します。



- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。(ピーキング)
- 撮影距離の目安が表示されます。(MFガイド)



- (A) MFアシスト(拡大画面)
(B) ピーキング
(C) ∞ (無限)を示す目安
(D) MFガイド

5 MFアシスト画面を終了する

- シャッターボタンを半押しします。
-  を押しても同じ操作ができます。

6 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。

❖ MFアシスト画面での操作

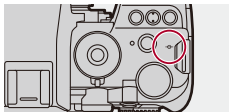
ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	ドラッグ	拡大表示位置の移動 ● ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
	ピンチアウト／ピンチイン	画面を細かく拡大／縮小
	—	画面を拡大／縮小
		拡大表示の切り換え (画面の一部 ^{*1} ／画面全体 ^{*2}) 
[DISP.]	[リセット]	1回目：MFアシストの位置を中央に戻す 2回目：MFアシストの拡大倍率を初期設定に戻す
[AF ON]		AFが働きます。

*1 約3倍～6倍に拡大できます。

*2 約3倍～20倍に拡大できます。(動画撮影中、[撮影時HDMI出力]の[ライブビュー拡大表示]を[OFF]に設定してHDMI出力中、および/[S&Q]モード時は最大6倍)



- 撮影画面でフォーカスリングを回しても、MFアシスト画面を表示できます。
フォーカスリングを回して拡大表示した場合は、操作をやめて一定時間が経過すると、アシスト画面を終了します。
- [] ボタンを押しても、MFアシスト画面を表示できます。
- MF時に[AF ON]ボタンを押すと、AFが働きます。
- MFアシスト画面は動画撮影中にも表示できます。
- 撮影距離基準マークは、撮像面の位置を示しています。撮影距離を実測するときの基準になります。



- [ハイブリッドズーム(写真)]または[クロップズーム(写真)]が[ON]のとき、MFアシストの拡大倍率は約3倍～6倍になります。(ただし、動画撮影中は3倍に固定されます)
- [ハイブリッドズーム(動画)]または[クロップズーム(動画)]が[ON]のとき、MFアシストの拡大倍率は3倍に固定されます。
- 以下の機能を使用中は、MFアシストは表示されません。
 - SH連写中
- 以下の機能を使用して動画撮影中は、MFアシスト画面を表示できません。
 - 記録フレームレートが60.00pを超えるハイレームレート動画用の[動画画質]
 - [ライブクロップ]



- ピーキングの感度や表示方法を変更できます：
(→ [ピーキング: 228](#))
- MFアシストの位置を縦位置と横位置で別々に記憶できます：
(→ [縦/横位置フォーカス切換: 222](#))
- 拡大画面の表示方法を変更できます：
(→ [MFアシスト: 618](#))
- MFガイドの表示単位を変更できます：
(→ [MFガイド: 619](#))
- フォーカスリングの操作を無効にできます：
(→ [フォーカスリングロック: 619](#))
- MFアシストのループ移動を設定できます：
(→ [フォーカス枠のループ移動: 621](#))
- 電源を切ったときのピント位置を記憶します：
(→ [レンズ位置メモリー: 646](#))
- ピントの移動量を設定できます：
(→ [フォーカスリング制御: 648](#))
- AFエリア／MFアシストの移動画面を表示する機能をFnボタンに登録できます：
(→ [フォーカスエリア選択: 586](#))

ピーキング

MF動作中に、ピントが合っている部分(画面上で輪郭がはっきりした部分)に色を付けて表示します。

 →  /  →  → **[ピーキング]**を選ぶ

ON	ピーキング表示を行います。	
OFF	—	
設定	ピーキング感度	マイナス方向に設定すると、色を付けて表示される範囲が狭くなるため、より厳密なピント合わせができます。
	表示色	ピントが合っている部分に表示する色を設定できます。
	AFS時の表示	[ON]に設定すると、フォーカスモードの[AFS]でシャッターボタンを半押ししたときにも、ピーキング表示ができます。
	MF時の表示	[ライブビュー時の表示] : 撮影画面でピーキング表示します。 [ライブビュー拡大時の表示] : MFアシスト画面、動画ライブビュー拡大表示画面でピーキング表示します。 [シャッター操作時の表示] : [OFF]にすると、シャッターを押したときにピーキングを非表示にします。



- タッチタブを表示すると(→ [タッチ設定: 623](#))、の**[PEAK]**をタッチして[ON]/[OFF]を切り換えることができます。
- [ライブビューブースト]使用中は、[ピーキング]は働きません。

ズームを使って撮る

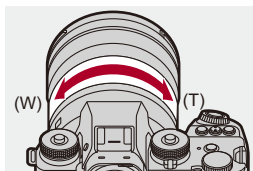
- クロップズーム(写真): 230
- ハイブリッドズーム(写真): 234
- クロップズーム(動画): 237
- ハイブリッドズーム(動画): 240

レンズの光学ズームを使って、望遠または広角にズーミングします。

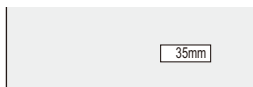
ズームリングを回す

(T)側: 望遠

(W)側: 広角



- 焦点距離が撮影画面に表示されます。



- 焦点距離を非表示にできます:
(→ [焦点距離: 636](#))

クロップズーム(写真)



画像の中央部を切り出して、画質を劣化させずに望遠効果を高めます。
単焦点レンズでも使用できます。

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [クロップズーム(写真)]を設定する

- → [📷] → [📏] → [クロップズーム(写真)]

ON	クロップズームを有効にします。
OFF	—

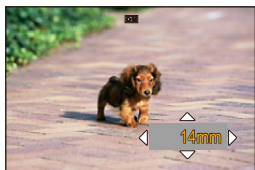
設定	焦点距離表示 設定	焦点距離の表示方法を設定します。 [合成焦点距離]: 光学ズームの焦点距離×クロップ倍率の計算結果 (例: 180 mm) [焦点距離×倍率]: 光学ズームの焦点距離とクロップ倍率 (例: 60 mm × 2.0)
	下限画像サイズ	[画像サイズ] が小さいほど高倍率でズームできます。 [M]: 最大 1.4 倍 [S]: 最大 2.0 倍 [XS]: 最大約 3.1 倍
	記録画像サイズの固定	[ON]: 常に [下限画像サイズ] で設定した [画像サイズ] で記録します。 [OFF]: ズーム位置によって [画像サイズ] が変化します。
	ズーム速度(写真)	ズーム操作時のズーム速度を設定します。 設定: [H]、[M]、[L]、[SL]

❖ [クロップズーム(写真)]を使う

1 [クロップズーム(写真)]を[ON]にする

- **MENU/SET** ⇒ [**📷**] ⇒ [**🔍**] ⇒ [クロップズーム(写真)] ⇒ [ON]
- [クロップズーム(写真)]を[ON]に設定している間は、**▲▼◀▶**を押すとズーム操作が有効になります。(▲▼◀▶に[FNボタン設定]の[ズーム操作]が割り当てられます)

2 ズーム操作を行う



拡大／縮小

- **▲▼**を押す、または **📶** / **📶** を回します。
- [タッチタブ]を[ON]に設定している場合は、タッチズームを使って拡大／縮小できます。
- [ズーム操作(T側)]または[ズーム操作(W側)]を割り当てたFnボタンを押しても拡大／縮小できます。
- Fnボタンでズーム操作を開始した場合、**📶** / **📶** では拡大／縮小できません。

ステップズーム

クロップ倍率([下限画像サイズ])を切り換えます。

1.0倍[L]／1.4倍[M]／2.0倍[S]／約3.1倍[XS](フルサイズ用レンズ使用時)

- **◀▶**を押します。
 - [クロップズーム(ステップ)]を割り当てたFnボタンを押しても切り換えられます。
-

3 決定する

-  または  を押します。
- タッチズーム、Fnボタンの[ズーム操作(T側)]、[ズーム操作(W側)]、[クロップズーム(ステップ)]は、撮影画面でも使用できます。



- RAW画像はクロップされずに記録されます。



- [焦点距離表示設定]の設定は、以下のメニュー間で連動します。
 - [クロップズーム(写真)]
 - [クロップズーム(動画)]
- [下限画像サイズ]、[記録画像サイズの固定]の設定は、以下のメニュー間で連動します。
 - [ハイブリッドズーム(写真)]
 - [クロップズーム(写真)]
- 以下の機能を使用中は、[クロップズーム(写真)]は使用できません。
 - [記録ファイル形式(写真)]の[RAW]
 - ハイレゾモード
 - [多重露出]

ハイブリッドズーム(写真)



S&Q

iA P A S M

光学ズームと[クロップズーム]を組み合わせ、ズームリングの操作だけでより高倍率のズームができます。

[下限画像サイズ]が小さいほど、高倍率のズームができます。

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [ハイブリッドズーム(写真)]を設定する

- → [📷] → [🔍] → [ハイブリッドズーム(写真)]

ON	ハイブリッドズームを有効にします。
OFF	—

設定	焦点距離表示設定	焦点距離の表示方法を設定します。 [合成焦点距離]: 光学ズームの焦点距離×クロップ倍率の計算結果(例: 180 mm) [焦点距離×倍率]: 光学ズームの焦点距離とクロップ倍率(例: 60 mm × 2.0)
	広角端のクロップズーム(写真)	[ON]: 光学ズームの全域で、一定のズーム率でクロップズームが働きます。 [OFF]: 広角端付近では光学ズームだけを使い、[画像サイズ]が[L]の写真を撮影できます。
	下限画像サイズ	[画像サイズ]が小さいほど高倍率でズームできます。 [M]: 最大1.4 倍 [S]: 最大2.0 倍 [XS]: 最大約3.1 倍
	記録画像サイズの固定	[ON]: 常に[下限画像サイズ]で設定した[画像サイズ]で記録します。 [OFF]: ズーム位置によって[画像サイズ]が変化します。



- RAW画像はクロップされずに記録されます。



- [焦点距離表示設定]の設定は、以下のメニュー間で連動します。
 - [ハイブリッドズーム(写真)]
 - [ハイブリッドズーム(動画)]
- [下限画像サイズ]、[記録画像サイズの固定]の設定は、以下のメニュー間で連動します。
 - [ハイブリッドズーム(写真)]
 - [クロップズーム(写真)]
- 単焦点レンズでは[ハイブリッドズーム(写真)]は使えません。
- 以下の機能を使用中は、[ハイブリッドズーム(写真)]は使用できません。
 - [記録ファイル形式(写真)]の[RAW]
 - ハイレゾモード
 - [クロップズーム(写真)]
 - [多重露出]
- 当社製交換レンズ(Sシリーズ)以外のズームレンズを使用すると、ズーム動作がスムーズでない場合があります。

クロップズーム(動画)



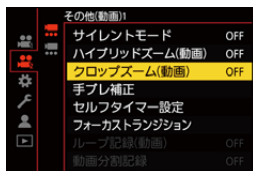
画像の中央部を切り出して、画質を劣化させずに望遠効果を高めます。
単焦点レンズでも使用できます。

1 [動画]または[S&Q]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:82)

2 [クロップズーム(動画)]を設定する

- → [動画] → [クロップズーム(動画)]



ON	クロップズームを有効にします。	
OFF	—	
設定	焦点距離表示 設定	焦点距離の表示方法を設定します。 【合成焦点距離】 : 光学ズームの焦点距離×クロップ倍率の計算結果(例: 180 mm) 【焦点距離×倍率】 : 光学ズームの焦点距離とクロップ倍率(例: 60 mm × 2.0)
	ズーム速度(動画)	【撮影待機中】 : 撮影待機中のズーム速度を設定します。 【撮影中】 : 撮影中のズーム速度を設定します。 設定: [H]、[M]、[L]、[SL]

❖ [クロップズーム(動画)]を使う

1 [クロップズーム(動画)]を[ON]にする

-  ⇒  ⇒  ⇒ [クロップズーム(動画)] ⇒ [ON]
- [クロップズーム(動画)]を[ON]に設定している間は、▲▼◀▶を押すとズーム操作が有効になります。(▲▼◀▶に[FN ボタン設定]の[ズーム操作]が割り当てられます)

2 ズーム操作を行う



拡大/縮小

- ▲▼を押す、または  /  を回します。
- [タッチタブ]を[ON]に設定している場合は、タッチズームを使って拡大/縮小できます。
- [ズーム操作(T側)]または[ズーム操作(W側)]を割り当てたFnボタンを押しても拡大/縮小できます。
- Fnボタンでズーム操作を開始した場合、 /  では拡大/縮小できません。

ステップズーム

クロップ倍率([動画撮影範囲])を切り換えます。

FULL / APS-C / PIXEL/PIXEL

- ◀▶を押します。
 - [クロップズーム(ステップ)]を割り当てたFnボタンを押しても切り換えられます。
-

3 決定する

-  または  を押します。
- タッチズーム、Fnボタンの[ズーム操作(T側)]、[ズーム操作(W側)]、[クロップズーム(ステップ)]は、撮影画面でも使用できます。

❖ [動画画質]とクロップ倍率

[動画画質]	最大クロップ倍率	
	フルサイズ用レンズ 使用時	APS-C用レンズ使用 時
6K動画、5.9K動画、5.8K動画、3.3K 動画	—	—
C4K動画/Cs4K動画/4K動画(60p/ 50p/48p)	—	—
C4K動画/Cs4K動画(30p/25p/24p)	約1.5倍	—
4K動画(30p/25p/24p)	約1.6倍	—
FHD動画(120p/100p/60p/50p/ 48p)	—	—
FHD動画(30p/25p/24p)	約3.1倍	約2.1倍



- [焦点距離表示設定]の設定は、以下のメニュー間で連動します。
 - [クロップズーム(写真)]
 - [クロップズーム(動画)]
- 以下の機能を使用中は、[クロップズーム(動画)]は使用できません。
 - [スロー & クイック設定]のフレームレートが30 fpsを超える[S&Q]動画
 - ライブクロップ
- レンズによっては最大クロップ倍率までズームできない場合があります。
- [クロップズーム(動画)]を[ON]に設定したときは、消費電力が上がり、バッテリーの消費が早くなります。また、カメラの温度上昇が早くなります。

ハイブリッドズーム(動画)

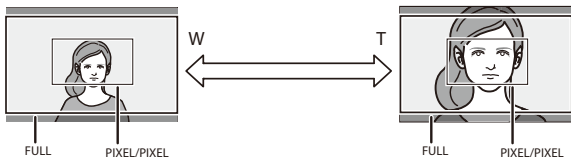


S&Q

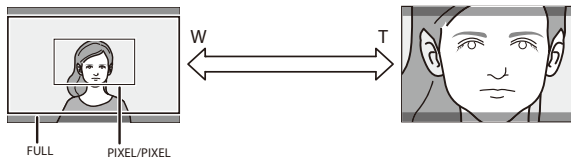
iA P A S M

光学ズームと[クロップズーム]を組み合わせ、ズームリングの操作だけでより高倍率のズームができます。

光学ズームのみ



ハイブリッドズーム(光学ズーム+クロップズーム)

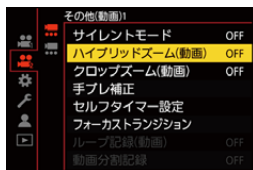


1 [⦿]または[S&Q]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:82)

2 [ハイブリッドズーム(動画)]を設定する

-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [ハイブリッドズーム(動画)]を選ぶ



ON	ハイブリッドズームを有効にします。	
OFF	—	
設定	焦点距離表示 設定	焦点距離の表示方法を設定します。 [合成焦点距離]: 光学ズームの焦点距離×クロップ倍率の計算結果(例: 180 mm) [焦点距離×倍率]: 光学ズームの焦点距離とクロップ倍率(例: 60 mm × 2.0)
	広角端のク ロップズーム (動画)	[ON]: 光学ズームの全域で、一定のズーム率でクロップズームが働きます。 [OFF]: 広角端付近では光学ズームだけを使い、ズーム時のカクつきを抑えます。

❖ [動画画質]とクロップ倍率

[動画画質]	最大クロップ倍率	
	フルサイズ用レンズ 使用時	APS-C用レンズ使用 時
6K動画、5.9K動画、5.8K動画、3.3K 動画	—	—
C4K動画/Cs4K動画/4K動画(60p/ 50p/48p)	—	—
C4K動画/Cs4K動画(30p/25p/24p)	約1.5倍	—
4K動画(30p/25p/24p)	約1.6倍	—
FHD動画(120p/100p/60p/50p/ 48p)	—	—
FHD動画(30p/25p/24p)	約3.1倍	約2.1倍



- [焦点距離表示設定]の設定は、以下のメニュー間で連動します。
 - [ハイブリッドズーム(写真)]
 - [ハイブリッドズーム(動画)]
- 単焦点レンズでは[ハイブリッドズーム(動画)]は使えません。
- 以下の機能を使用中は、[ハイブリッドズーム(動画)]は使用できません。
 - [スロー & クイック設定]のフレームレートが30 fpsを超える[S&Q]動画
 - ライブクロップ
 - [クロップズーム(動画)]
- 当社製交換レンズ(Sシリーズ)以外のズームレンズを使用すると、ズーム動作がスムーズでない場合があります。
- レンズによっては最大クロップ倍率までズームできない場合があります。
- [ハイブリッドズーム(動画)]を[ON]に設定したときは、消費電力が上がり、バッテリーの消費が早くなります。また、カメラの温度上昇が早くなります。

ドライブ／シャッター／手ブレ補正

本章では、ドライブモードで撮影できる機能や、手ブレ補正機能について説明しています。

- [ドライブモードの選択: 244](#)
- [連写する: 246](#)
- [ハイレゾモード: 255](#)
- [インターバル撮影: 260](#)
- [コマ撮りアニメ撮影: 266](#)
- [インターバル／コマ撮りアニメの動画: 269](#)
- [セルフタイマー撮影: 271](#)
- [ブラケット撮影: 274](#)
- [ライブビューコンボジット撮影: 281](#)
- [サイレントモード: 285](#)
- [シャッター方式: 287](#)
- [手ブレ補正: 296](#)

ドライブモードの選択



撮影状況に合わせて、ドライブモードを単写、連写などに切り換えることができます。

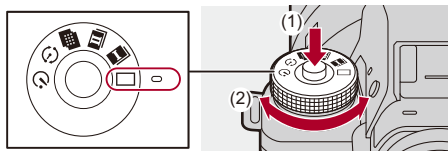
1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 ドライブモードダイヤルロックボタンを押して(1)、ロックを解除する

- ドライブモードダイヤルロックボタンが下がっているときはロックされています。押すごとにロック／ロックの解除が切り換わります。

3 ドライブモードダイヤルを回して(2)、ドライブモードを合わせる



単写

シャッターを押すごとに1枚ずつ撮影します。

/ 連写(→ [連写する: 246](#))

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

ハイレゾモード(→ [ハイレゾモード: 255](#))

複数回撮影した画像から、解像度を高めた写真を合成します。

 インターバル／コマ撮り撮影(⇒ [インターバル撮影: 260](#)、[コマ撮りアニメ撮影: 266](#))

インターバル撮影、またはコマ撮りアニメを撮影します。

 セルフタイマー(⇒ [セルフタイマー撮影: 271](#))

シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。



- ドライブモードごとの詳細設定画面をFnボタンで呼び出すことができます：

[] ⇒ [] ⇒ [Fn ボタン設定] ⇒ [写真モード時設定] ⇒ [ドライブモード設定]

連写する



シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

高画質で連写ができる[H+]、[H]、[M]、[L]と、電子シャッターで超高速連写するSH連写から、撮影状況に合わせて連写設定を選択できます。

1 [📷]モードにする

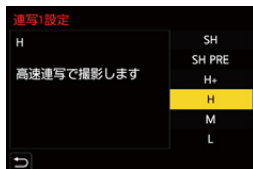
(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 ドライブモードを[**I**](連写1)または[**II**](連写2)にする

- ドライブモードダイヤルを合わせます。(→ [ドライブモードの選択: 244](#))
- [**I**]と[**II**]のそれぞれに連写設定ができます。

3 連写速度を選ぶ

- **MENU/SET** → [**📷**] → [**🔍**] → [連写設定] → [連写1設定]／[連写2設定]
- 初期設定では[**I**]に[H]が、[**II**]に[SH]が設定されています。



[SH]

電子シャッターで超高速連写をします。

[SH PRE]

超高速でプリ連写します。(➔ [SH プリ連写: 248](#))

[H+]

[H]より高速で連写します。

- フォーカスモードを[AFC]に設定しているときは、連写速度を優先します。

[H]

高速で連写します。

- フォーカスモードを[AFC]に設定しているときは、追従性を優先します。

[M]

中速で連写します。

[L]

低速で連写します。

4 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

5 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連写します。

❖ H+/H連写時の動作

連写速度が[H+]／[H]のときに、連写時の動作を設定できます。



➔ [📷] ➔ [🔍] ➔ [連写設定] ➔ [H+/H連写時の動作]

[画質優先]

画質を優先し、RAW 画像の色深度を 14 bit で撮影します。

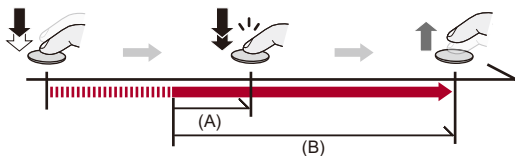
[速度優先]

速度を優先し、RAW 画像の色深度を 12 bit で撮影します。

❖ SHプリ連写

シャッターボタンを半押ししてから全押しするまでの間も、設定した時間分画像を記録します。

[SH連写プリ記録時間]で、シャッター全押し前に記録する時間を設定できます。



(A) SH連写プリ記録時間

(B) 記録される範囲



⇒ [カメラ] ⇒ [設定] ⇒ [連写設定] ⇒ [SH連写プリ記録時間]

[1.5秒]

シャッターボタンを全押しする1.5秒前から記録します。

[1.0秒]

シャッターボタンを全押しする1秒前から記録します。

[0.5秒]

シャッターボタンを全押しする0.5秒前から記録します。

- [SH連写プリ記録時間]の設定は[連写1設定]と[連写2設定]のどちらにも適用されます。
- SHプリ連写中は、撮影画面に[PRE]と表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたまま約1分経過すると、全押し前のコマを保存できなくなります。シャッターボタンを半押しし直してください。

❖ 連写速度

	メカシャッター	電子先幕	電子シャッター	連写中のライブビュー
[SH]／ [SH PRE]	—		30 コマ/秒 (AFS、AFC、MF)	なし
[H+](高速)	[画質優先]時： 7 コマ/秒 (AFC) [速度優先]時： 10 コマ/秒 (AFC)		[画質優先]時： 7 コマ/秒 (AFC) [速度優先]時： 10 コマ/秒 (AFC)	なし
[H](高速)	[画質優先]時： 7 コマ/秒 (AFS、MF) 6 コマ/秒 (AFC) [速度優先]時： 10 コマ/秒 (AFS、MF) 8 コマ/秒 (AFC)		[画質優先]時： 7 コマ/秒 (AFS、MF) 6 コマ/秒 (AFC) [速度優先]時： 10 コマ/秒 (AFS、MF) 8 コマ/秒 (AFC)	なし (AFS、MF) あり (AFC)
[M](中速)	5 コマ/秒 (AFS、AFC、MF)			あり
[L](低速)	2 コマ/秒 (AFS、AFC、MF)			あり

- [画像サイズ]やフォーカスモードなど、撮影時の設定によって、連写速度は低下する場合があります。

❖ 最大撮影可能コマ数

	記録ファイル形式(写真)				
	[JPEG]	[RAW+JPEG]	[RAW]	[HEIF]	[RAW+HEIF]
[SH]／ [SH PRE]	180コマ ^{*1}			170コマ ^{*1}	
[H+](高速)	300コマ 以上 ^{*2,3}	200コマ以上 ^{*2,3}	180コマ 以上 ^{*2,3}	160コマ以上 ^{*2,3}	
[H](高速)					
[M](中速)					
[L](低速)					

- 当社測定条件による撮影時。

撮影条件によっては最大撮影可能コマ数が少なくなる場合があります。

- *1 最大撮影コマ数まで撮影すると、撮影が停止します。

SHプリ連写時は、プリ連写で記録される枚数を含みます。

- *2 途中から連写速度が遅くなりますが、カードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。

- *3 Nextorage製 UHS-II UHS Speed Class 3対応SDXCメモリーカード使用時

❖ プリ連写でシャッターボタン全押し前と全押し後に保存できるコマ数

SH連写プリ記録時間	記録ファイル形式(写真)	全押し前	全押し後
1.5秒	[JPEG] [RAW+JPEG] [RAW]	45コマ	135コマ
	[HEIF] [RAW+HEIF]	45コマ	125コマ
1.0秒	[JPEG] [RAW+JPEG] [RAW]	30コマ	150コマ
	[HEIF] [RAW+HEIF]	30コマ	140コマ
0.5秒	[JPEG] [RAW+JPEG] [RAW]	15コマ	165コマ
	[HEIF] [RAW+HEIF]	15コマ	155コマ

❖ 連続撮影可能枚数

シャッターボタンを半押しすると、連続撮影可能枚数が撮影画面に表示されます。

例) 20枚のとき: [r20]



- 撮影を始めると連続撮影可能枚数は減少します。
 - [H+]／[H]／[M]／[L]連写のとき: [r0]と表示されると、連写速度が低下します。
 - SH連写のとき: [r0]と表示されると、連写が停止します。
また、撮影後に連続撮影可能枚数が最大に戻るまで[r]の表示を継続します。

❖ 連写時のピント

フォーカスモード	フォーカス/リリース優先 (⇒フォーカス/リリース優先: 617)	[SH]／ [SH PRE]／ [H]	[M]／[L]	[H+]
AFS	フォーカス	1コマ目のピントに固定		—
	バランス			
	リリース			
AFC	フォーカス	予測ピント	常時ピント	常時ピント
	バランス	予測ピント		
	リリース			
MF	—	マニュアルで設定したフォーカス		—

- [AFC]で被写体が暗い場合は、ピントは1コマ目に固定されます。
- 予測ピント時は、連写速度を優先し、可能な範囲でピントを予測します。
- 常時ピント時は、連写速度が遅くなることがあります。

❖ 連写時の露出

フォーカスモード	[SH] / [SH PRE] / [H]	[M] / [L]	[H+]
AFS	1コマ目の露出に固定	1コマごとに露出を調整	—
AFC	1コマごとに露出を調整		1コマ目の露出に固定
MF	1コマ目の露出に固定		—



- 連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、最大撮影可能コマ数が減少します。連写時は、高速タイプのカードのご使用をお勧めします。
- 以下の機能を使用中は、連写は働きません。
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [多重露出]

[H+]について

- フォーカスモードを[AFS]または[MF]に設定しているときは、[H+]は使用できません。
- [H+]に設定すると、AFモードの[]は選べません。
- AFモードが[]のときに[H+]に設定すると、AFモードは[]になります。

SH連写について

- [シャッター方式]は[電子シャッター]に固定されます。
- SH連写中は、設定できるシャッタースピードに制限があります。
 - [SH]／[SH PRE]: 下限 1/30まで
- 連写撮影中、絞りは固定されます。
- 撮影した画像は、1つの連写グループとして記録されます。(→ [グループ画像: 552](#))

SHプリ連写について

- 以下の場合、シャッターボタン全押し前のコマは保存されません。
 - タッチシャッター撮影時
 - カスタムメニュー(フォーカス/レリーズ)の[シャッター半押しレリーズ]を[ON]に設定時
- 周囲の温度が高かったり、連続でプリ連写撮影を行ったりした場合は、温度上昇から本機を保護するため、半押ししてもプリ連写が使用できないことがあります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- カードの空き容量が少ない場合、半押ししてもプリ連写が使用できないことがあります。

ハイレゾモード



複数回撮影した画像から、解像度を高めた写真を合成します。動きのない被写体の撮影に適しています。[手持ち撮影]をオンにすると、三脚を使わなくても解像度を高めた写真を撮影できます。

合成後の写真は、RAWまたはJPEG形式で保存できます。

- HEIF形式では保存できません。



- [手持ち撮影]を[OFF]にして撮影するときは、カメラのブレを抑えるために、三脚を使用してください。

1 [📷]モードにする

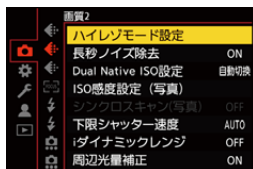
(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 ドライブモードを[📷] (ハイレゾ)にする

- ドライブモードダイヤルを合わせます。(→ [ドライブモードの選択: 244](#))

3 撮影の設定をする

- → [📷] → [🔍] → [ハイレゾモード設定]



手持ち撮影

三脚を使わずに撮影できます。手ブレ補正機能をオンにしてください。

- [OFF]のときは、手ブレ補正機能は使用できません。

写真画質

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

[連動]／[FINE]／[RAW+FINE]／[RAW]

- [連動]に設定しているときは、写真メニュー(画質)の[記録ファイル形式(写真)]と同じ設定で撮影します。(ただし、[HEIF]は[JPEG]に、[RAW+HEIF]は[RAW+JPEG]に変わります)
- [JPEG/HEIF写真画質]は[FINE]に固定されます。

画像サイズ

合成後の画像サイズを設定します。

画像横縦比:[4:3]のとき

XL(85M): 10656×8000

LL(42.5M): 7552×5664

画像横縦比:[3:2]のとき

XL(96M): 12000×8000

LL(48M): 8496×5664

画像横縦比:[16:9]のとき

XL(81M): 12000×6736

LL(40.5M): 8496×4784

画像横縦比:[1:1]のとき

XL(64M): 8000×8000

LL(32M): 5664×5664

- RAW画像は常に画像横縦比[3:2] (12000×8000)で記録されます。
-

通常撮影同時記録

[ON]にすると、合成前の写真を同時に撮影できます。1枚目の写真を[画像サイズ]の[L]で保存します。

シャッターディレイ

シャッターボタンを押してから、シャッターが切れるまでの時間を設定します。

[30秒]／[15秒]／[8秒]／[4秒]／[2秒]／[1秒]／[1/2秒]／[1/4秒]／[1/8秒]／[OFF]

被写体ブレの処理

被写体が動いた場合の補正方法を設定します。

[MODE1]: ハイレゾモードの効果を優先するため、被写体ブレが残像のように見えます。

[MODE2]: 被写体ブレの残像を抑えますが、補正した範囲ではハイレゾモードの効果は得られません。

- [手持ち撮影]が[ON]のときは、[MODE2]に固定されます。
-

4 構図を決めて、カメラを固定する

- ブレを検知すると、ハイレゾモードアイコン(A)が点滅します。
- [手持ち撮影]を[ON]にすると、アイコンが[]に変わります。



5 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。
- 初期設定では[シャッターディレイ]が働くため、シャッターボタンを押してからシャッターが切れるまでに間が空きます。
- 撮影中は画面が黒くなります。
- 記録動作表示(赤)(B)が点滅します。点滅中は、カメラを動かさないください。
- 撮影後の合成処理が終わると続けて撮影できます。





- ハイレゾモードでは、以下の設定で撮影されます。
 - シャッター方式:[電子シャッター]([長秒ノイズ除去]を[OFF]に設定時)／[電子シャッター+NR]([長秒ノイズ除去]を[ON]に設定時)
 - 最小絞り値:F16
 - シャッタースピード:8秒～1/8000秒
 - ISO感度:上限3200
 - フォーカスモード:[AFS]／[MF]
- 手持ち撮影中は、カメラがブレないようにしっかりと構えてください。ブレが大きいと撮影に失敗する場合があります。
- 手持ち撮影では、画像の合成に時間がかかることがあります。
- 極端に明るい場所、または蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、色合いや明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。
- 本機以外では、ハイレゾモードで撮影した画像を再生できない場合があります。
- APS-C用レンズ使用時は、ハイレゾモード撮影できません。
- 以下の機能を使用中は、ハイレゾモードは使用できません。
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [多重露出]

インターバル撮影



設定した撮影間隔で自動的に撮影します。時間経過を追って動植物などの被写体を撮影するのに適しています。撮影した写真は1つのグループ画像として保存され、グループ画像を動画にすることもできます。(→ [グループ画像: 552](#))



- 時計が正しく設定されているか確認してください。(→ [時計の設定 \(初めて電源を入れるとき\): 76](#))
- 撮影間隔が長いときは、カスタムメニュー(レンズ/その他)の[レンズ位置メモリー]を[ON]に設定することをお勧めします。

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 ドライブモードを[🔄]にする

- ドライブモードダイヤルを合わせます。(→ [ドライブモードの選択: 244](#))

3 [撮影方法]を[インターバル撮影]に設定する

- **MENU/SET** ⇒ **[カメラ]** ⇒ **[設定]** ⇒ [インターバル／コマ撮り撮影] ⇒ [撮影方法] ⇒ [インターバル撮影]



4 撮影の設定をする

撮影方法

インターバル撮影とコマ撮りアニメを切り換えます。

撮影間隔設定

[ON]: 次の撮影までの間隔を設定できます。

[OFF]: 撮影間隔を空けずに連続で撮影します。

開始時刻

[即時開始]: シャッターボタンを全押しすると、撮影が始まります。

[2秒後開始]: シャッターボタンを全押ししてから2秒後に撮影が始まります。

[開始時刻設定]: 設定した時刻から、撮影が始まります。

撮影枚数／撮影間隔

撮影枚数と撮影間隔を設定します。

撮影枚数と撮影間隔を自動で計算して設定できます。(→ [インターバル撮影の設定アシスト: 263](#))

- [撮影間隔設定]が[OFF]のときは、[撮影間隔]が使用できません。

露出平滑化

連続するコマで大きく明るさが変化しないように、自動で露出を調整します。

撮影開始時のフォルダー作成

[新規フォルダー作成]:[ON]にすると、インターバル撮影を開始するごとにフォルダーを新規作成します。

[ファイル番号リセット]:[ON]にすると、フォルダーを新規作成するごとにファイル番号をリセットします。

5 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

6 撮影を開始する

- シャッターボタンを全押しします。
- [開始時刻設定]を設定したときは、開始時刻までスリープ状態になります。
- 撮影待機中に一定時間何も操作しないと、スリープ状態になります。
- 撮影は自動で終了します。

7 動画を作成する

(→ [インターバル／コマ撮りアニメの動画: 269](#))

- 撮影終了後、続けて動画を作成するには、確認画面で[はい]を選んでください。

[いいえ]を選んだときは、再生メニュー(画像の加工)の[インターバル動画作成]で、動画を作成できます。(→ [インターバル動画作成: 573](#))

❖ インターバル撮影の設定アシスト

[撮影枚数]／[撮影間隔]の設定画面で[DISP.]ボタンを押すと、作成する動画のフレームレートや時間、撮影所要時間から、[撮影枚数]と[撮影間隔]を自動で計算して設定できます。

- 1 ▲▼で項目を選び、 または  を押す



作成動画フレームレート

作成する動画のフレームレートを設定します。1 fps～99 fpsの範囲で設定できます。

作成動画時間

作成する動画の再生時間を設定します。00m01s～99m59sの範囲で設定できます。

インターバル撮影時間

インターバル撮影の所要時間を設定します。00h00m01s～99h59m59sの範囲で設定できます。

- 2 [DISP.]ボタンを押して決定する

- [はい]を選ぶと設定を反映します。



- [撮影枚数]は1枚～9999枚の範囲で設定できます。
- [撮影間隔]は00m01s～99m59sの範囲で設定されます。割り切れないときは、小数点以下を切り捨てます。
- 撮影できない設定の場合は、[撮影枚数]または[撮影間隔]が赤字で表示されます。
- [撮影間隔設定]が[OFF]のときは、インターバル撮影設定の自動計算はできません。

❖ インターバル撮影中の動作

スリープ状態でシャッターボタンを半押しすると、電源が入ります。

- インターバル撮影中に[Q]ボタンを押すと、以下の操作ができます。

継続

撮影に戻ります。(撮影中のみ)

一時停止

撮影を中断します。(撮影中のみ)

再開

撮影を再開します。(一時停止中のみ)

- シャッターボタンを押しても再開できます。

終了

インターバル撮影を終了します。



- 複数のカードに記録すると、1つの動画にできません。
- 標準露出を優先するため、設定どおりの撮影間隔や撮影枚数で撮影されない場合があります。また、画面に表示される終了予定時刻どおりに終わらない場合があります。
- 以下の場合、インターバル撮影は一時停止します。
 - バッテリー残量がなくなったとき
 - 電源スイッチを[OFF]にしたとき電源スイッチを[OFF]にして、バッテリーやカードを交換できます。電源スイッチを[ON]にして、シャッターボタンを全押しすると、撮影が再開されます。(ただし、カードを交換したあとに撮影した画像は、別のグループ画像として保存されます)
- [M]モードでISO感度を[AUTO]以外に設定しているときは、[露出平滑化]は使用できません。
- 以下の機能を使用中は、[インターバル撮影]は使用できません。
 - [ライブビューコンポジション撮影]
 - [多重露出]

コマ撮りアニメ撮影



iA P A S M

被写体を少しずつ動かしながら写真を撮影します。撮影した写真は1つのグループ画像として保存され、ストップモーション動画を作成できます。
(→ [グループ画像: 552](#))

1 [Ⓢ]モードにする

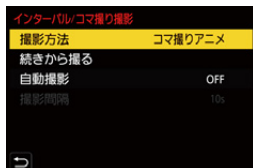
(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 ドライブモードを[🔄]にする

- ドライブモードダイヤルを合わせます。(→ [ドライブモードの選択: 244](#))

3 [撮影方法]を[コマ撮りアニメ]に設定する

- **MENU/SET** → [📷] → [🔍] → [インターバル/コマ撮り撮影] → [撮影方法] → [コマ撮りアニメ]



4 撮影の設定をする

撮影方法

インターバル撮影とコマ撮りアニメを切り換えます。

続きから撮る

撮影済みのコマ撮り画像に、続けて撮影できます。

- 画像を選択したあと、手順 **6** へ進んでください。

自動撮影

[ON]: 設定した撮影間隔で自動的に写真を撮影します。

[OFF]: 1コマずつ手動で写真を撮影します。

撮影間隔

[自動撮影]の撮影間隔を設定します。

5 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

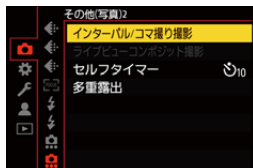
6 撮影を開始する

- シャッターボタンを全押しします。
- 被写体を少しずつ動かしながら、撮影を繰り返してください。
- 撮影画面には2つ前までの撮影画像が表示されます。動かす量の参考にしてください。
- 撮影中に[▶]ボタンを押すと、コマ撮りした画像を再生できます。不要な画像は[🗑]ボタンを押して消去してください。撮影画面に戻るには、もう一度[▶]ボタンを押してください。



7 撮影を終了する

- **MENU/SET** を押し、写真メニューから[インターバル／コマ撮り撮影]を選んで終了します。



8 動画を作成する

(→ [インターバル／コマ撮りアニメの動画: 269](#))

- 撮影終了後、続けて動画を作成するには、確認画面で[はい]を選んでください。
- [いいえ]を選んだときは、再生メニュー(画像の加工)の[コマ撮りアニメ作成]で、動画を作成できます。(→ [コマ撮りアニメ作成: 573](#))



- 最大 9999 コマまで撮影できます。
- 撮影中に電源を切ると、電源を入れたときに撮影再開のメッセージが表示されます。[はい]を選ぶと続きから撮影できます。
- 標準露出を優先するため、フラッシュ撮影したときなどは、設定どおりの撮影間隔で自動撮影されない場合があります。
- 1枚だけ撮影された画像を[続きから撮る]で選ぶことはできません。
- 以下の機能を使用中は、[コマ撮りアニメ]は使用できません。
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [多重露出]
 - [Frame.io 接続]

インターバル／コマ撮りアニメの動画

インターバル撮影、コマ撮り撮影後に、続けて動画を作成できます。

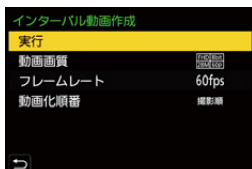
- 撮影については、以下をお読みください。
 - [インターバル撮影: 260](#)
 - [コマ撮りアニメ撮影: 266](#)
- 動画の作成は、再生メニューの[インターバル動画作成](→ [インターバル動画作成: 573](#))、[コマ撮りアニメ作成](→ [コマ撮りアニメ作成: 573](#))からでも可能です。

1 撮影後に表示される確認画面で、[はい]を選ぶ

2 動画の作成方法を設定する

3 [実行]を選ぶ

- [MP4]の記録ファイル形式で動画が作成されます。



実行

動画を作成します。

動画画質

動画の画質を設定します。

フレームレート

1秒当たりのコマ数を設定します。

数字が大きいほど滑らかな動画になります。

動画化順番

【撮影順】:撮影した順番で画像をつなげます。

【逆順】:撮影した順番とは逆の順番で画像をつなげます。



- [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定すると、動画は作成できません。
- 記録時間が30分を超える動画は作成できません。
- 以下の場合は、ファイルサイズが4 GBを超える動画は作成できません。
 - SDHCメモリーカードを使用し、4Kの[動画画質]に設定
 - FHDの[動画画質]に設定
- 以下の機能を使用中は、[インターバル動画作成]／[コマ撮りアニメ作成]は使用できません。
 - [自動画像転送](転送する画像が存在するとき)
 - [Frame.ioに画像を送る](アップロードキューに画像が存在するとき)

セルフタイマー撮影



1 ドライブモードを[∞]にする

- ドライブモードダイヤルを合わせます。(→ [ドライブモードの選択: 244](#))

2 セルフタイマーの時間を設定する

(→ [セルフタイマーの時間を設定する: 273](#))

- 動画撮影時は、動画メニュー(その他(動画))の[セルフタイマー設定]で[動画時のセルフタイマー]を[ON]に設定してください。

3 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

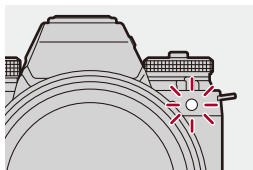
4 構図を決め、ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しします。
- ピントと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。



5 撮影する

- シャッターボタン、動画記録ボタンまたはサブ動画記録ボタンを押します。
- セルフタイマーランプが点滅後、撮影または動画記録を開始します。



❖ セルフタイマーの時間を設定する

写真:  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [セルフタイマー]を選ぶ

動画:  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [セルフタイマー設定] ⇒ [セルフタイマー]を選ぶ*

* 動画メニュー(その他(動画))の[セルフタイマー設定]で[動画時のセルフタイマー]を[ON]にすると設定できます。

	10秒後に撮影します。	
	10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。(動画撮影時は  と同じ動作になります)	
	2秒後に撮影します。 • シャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。	
 ₂ ～  ₁₀ (カスタム)	[カスタムの時間]で選んだ時間経過後に撮影します。	
設定	カスタムの時間	撮影までの時間を設定します。 [10秒]／[9秒]／[8秒]／[7秒]／[6秒]／[5秒]／[4秒]／[3秒]／[2秒]
	カウントダウン表示	セルフタイマーがカスタムするとき、撮影画面にカウントダウンを表示します。



- セルフタイマー撮影をするときは、三脚の使用をお勧めします。



- 写真メニュー(その他)の[セルフタイマー]と、[セルフタイマー設定](動画メニュー(その他))の[セルフタイマー]は連動しています。
- 以下の機能を使用中は、は使用できません。
 - [フィルター設定]の[フィルターなし同時記録]
 - [ブラケット]
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [多重露出]

ブラケット撮影



シャッターボタンを押すと、露出、絞り、フォーカス、またはホワイトバランス（調整値または色温度）の設定値を自動で変えて複数枚の画像を撮影できます。



- 絞りブラケットは以下の場合に選択できます。
 - [A]モード
 - [M]モード(ISO感度を[AUTO]に設定したとき)
- ホワイトバランス(色温度)ブラケットは、ホワイトバランスを[], [], [], []に設定したときに選択できます。

1 []モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:82)

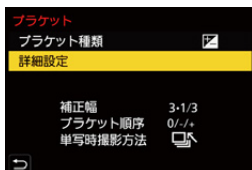
2 [ブラケット種類]を設定する

- → [] → [] → [ブラケット] → [ブラケット種類]



3 [詳細設定]を設定する

- [詳細設定]については、各ブラケットのページをお読みください。



4 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

5 ピントを合わせて撮影する

❖ 設定項目(ブラケット種類)

露出ブラケット

シャッターボタンを押すと、露出を変えながら撮影します。(→ [詳細設定\(露出ブラケット\): 278](#))

絞りブラケット

シャッターボタンを押すと、絞り値を変えながら撮影します。(→ [詳細設定\(絞りブラケット\): 278](#))

FOCUS フォーカスブラケット

シャッターボタンを押すと、ピント位置を変えながら撮影します。(→ [詳細設定\(フォーカスブラケット\): 279](#))

WB ホワイトバランスブラケット

1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスの調整値を変えた画像を自動で3枚撮影します。(→ [詳細設定\(ホワイトバランスブラケット\): 280](#))

WB ホワイトバランス(色温度)ブラケット

1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスの色温度を変えた画像を自動で3枚撮影します。(→ [詳細設定\(ホワイトバランス\(色温度\)ブラケット\): 280](#))

OFF

❖ ブラケットの解除方法

手順2で[OFF]に設定する



- [画像横縦比]を[65:24]／[2:1]に設定しているときは、露出ブラケットだけが使用できます。
- 以下の機能を使用中は、ホワイトバランスブラケット、ホワイトバランス(色温度)ブラケットは使用できません。
 - [iA]モード
 - 連写
 - [記録ファイル形式(写真)]の[RAW+JPEG]、[RAW+HEIF]、[RAW]
 - [フィルター設定]
- 以下の機能を使用中は、ブラケット撮影は使用できません。
 - SH連写
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ([自動撮影]設定時)
 - ハイレゾモード
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [多重露出]

❖ 詳細設定(露出ブラケット)

補正幅

撮影枚数と露出補正幅を設定します。

[3・1/3](3枚撮影・1/3 EV幅)～**[7・1]**(7枚撮影・1 EV幅)

ブラケット順序

画像の撮影順を設定します。

単写時撮影方法

[□]: シャッターボタンを押すごとに1枚撮影。

[]: 1回シャッターボタンを押すと設定枚数すべてを撮影。

- 設定枚数分がすべて撮影されるまで[BKT]アイコンが点滅します。



- 露出補正をしてから露出ブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。

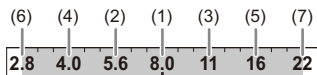
❖ 詳細設定(絞りブラケット)

撮影枚数

[3]／[5]: 開始時の絞り値を基準に、前後の絞り値で設定枚数を撮影。

[ALL]: すべての絞り値で撮影。

開始位置をF8.0に設定しているときの例



(1) 1枚目、(2) 2枚目、(3) 3枚目…(7) 7枚目

❖ 詳細設定(フォーカスブラケット)

補正幅

ピント合わせの幅を設定します。

- ピント位置をずらす距離は、開始時のピント位置に近い場合は短く、遠い場合は長くなります。

撮影枚数

撮影枚数を設定します。

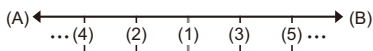
- 連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押している間、連写されます。

ブラケット順序

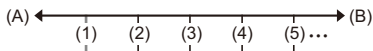
[0/-/+]: 開始時のピント位置を基準に、前後にピント位置をずらして撮影します。

[0/+]: 開始時のピント位置を基準に、遠距離側へピント位置をずらして撮影します。

[ブラケット順序]: [0/-/+] 設定時の例



[ブラケット順序]: [0/+] 設定時の例



(A) フォーカス: 近い

(B) フォーカス: 遠い

(1) 1 枚目、(2) 2 枚目... (5) 5 枚目...



- [フォーカスリミッター]を設定しているときは、設定したAFの作動範囲内で撮影します。
- フォーカスブラケット撮影した写真は、1つのグループ画像として表示されます。(→ [グループ画像: 552](#))

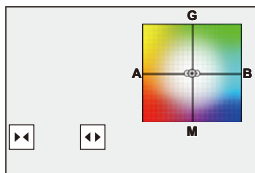
❖ 詳細設定(ホワイトバランスブラケット)

☀️、🌧️ または ⚙️ を回して補正幅を設定し、 または  を押す

右回し:横方向([A]～[B])

左回し:縦方向([G]～[M])

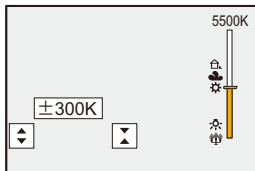
•  /  /  /  をタッチしても補正幅を設定できます。



❖ 詳細設定(ホワイトバランス(色温度)ブラケット)

☀️、🌧️ または ⚙️ を回して補正幅を設定し、 または  を押す

•  /  をタッチしても補正幅を設定できます。



ライブビューコンポジット撮影



複数回撮影した画像の、明るく変化した部分だけを合成します。設定した露光時間(シャッタースピード)で撮影することにより合成した画像が表示され、仕上がりを確認しながら撮影できます。

全体の明るさを抑えて撮影できるため、明るい夜景を背景にして、星や花火の光跡を撮影するときに便利です。



- カメラのブレを抑えるために、三脚を使用してください。

1 [📷]モードにする

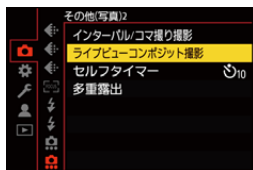
(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 83](#))

3 [ライブビューコンポジット撮影]を設定する

- **MENU/SET** → [📷] → [🔍] → [ライブビューコンポジット撮影]



4 ライブビューコンポジット撮影を開始する

- [開始]を選び、 または  を押します。

5 構図を決めて、カメラを固定する

6 シャッタースピードとISO感度を設定する

-  を回してシャッタースピードを設定します。
- [ISO]ボタンを押し、、 または  を回してISO感度を設定します。
- シャッタースピードは、60秒～1/1.6秒の範囲で設定できます。使用するフォトスタイルによって、ISO感度を設定できる範囲は異なります。
- ISO感度は、100～3200([拡張ISO感度]設定時: 50～3200)の範囲で設定できます。

7 ノイズリダクション用の画像を取得する

- シャッターボタンを全押しします。

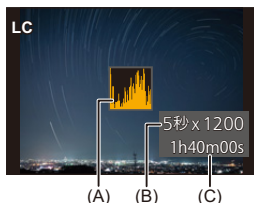
8 撮影を開始する

- シャッターボタンを全押しします。
- 手順6の設定に従って撮影し、ノイズリダクション処理をした画像を1コマごとに合成します。

(A) ヒストグラム表示

(B) シャッタースピード×合成した枚数

(C) 経過時間



9 撮影を終了する

- シャッターボタンを全押しします。
- 1回のライブビューコンポジット撮影につき、最大3時間まで撮影できます。
(3時間を超えると、自動的に撮影を終了します)

10 [ライブビューコンポジット撮影]を終了する

- [Q]ボタンを押します。

❖ 設定項目(ライブビューコンポジット撮影)

開始

ライブビューコンポジット撮影を開始します。

シャッターディレイ

シャッターボタンを押してから、シャッターが切れるまでの時間を設定します。

[8秒]／[4秒]／[2秒]／[1秒]／[OFF]



- [長秒ノイズ除去]は[ON]に固定されます。
- フラッシュ撮影時は、1コマ目だけ発光します。
- ノイズリダクション用の画像を取得したあとは、一部のメニューが表示されません。
- 以下の操作をすると、ノイズリダクション用の画像が破棄されます。再度手順**7**の操作をしてください。
 - シャッタースピード／ISO感度を変更する
 - 再生モードに切り換える
- シャッターボタンを全押しして撮影を終了するときは、最後の画像が合成されない場合があります。
- ライブビューコンボジット撮影中は、HDMI接続した外部機器に音声は出力されません。
- 以下の機能を使用中は、[ライブビューコンボジット撮影]は使用できません。
 - [シャッター方式]の[電子シャッター]、[電子シャッター＋NR]
 - ハイレゾモード
 - [フィルター設定]
 - [サイレントモード]

サイレントモード



カメラの操作音と発光を、一括で禁止します。

スピーカーからの音声は消音に、フラッシュやAF補助光は発光禁止に設定されます。

- 以下の設定が固定されます。
 - [フラッシュモード]: [🔇] (発光禁止)
 - [AF補助光]: [OFF]
 - [シャッター方式]: [電子シャッター]
 - [タリールンプ設定]: [OFF]
 - [リアカードアクセスランプ]: [OFF]
 - [電子音量]: [🔇] (OFF)
 - [合焦音量]: [🔇] (OFF)
 - [電子シャッター音音量]: [🔇] (OFF)
 - [電源OFF時のシャッター動作]: [開く]

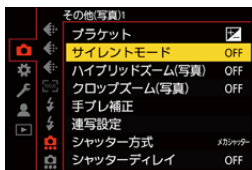
写真の場合:

- 1 [📷]モードにする
(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))
- 2 [サイレントモード]を設定する
• [MENU/SET] → [📷] → [🔇] → [サイレントモード]

動画の場合:

- 1 [📹]モードにする
(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))
- 2 [サイレントモード]を設定する
• [MENU/SET] → [📹] → [🔇] → [サイレントモード]

設定: [ON]／[OFF]



- [ON]に設定していても、以下の機能は点灯／点滅します。
 - 充電ランプ／NETWORK接続ランプ
 - カード扉内のカードアクセスランプ
 - セルフタイマーランプ
- 以下の機能を使用中は、[サイレントモード]は使用できません。
 - [ライブビューコンボジット撮影]
- 本機能のご利用については、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

シャッター方式

- 長秒ノイズ除去: 291
- シンクロスキャン(写真): 292
- 下限シャッター速度: 294
- シャッターディレイ: 295



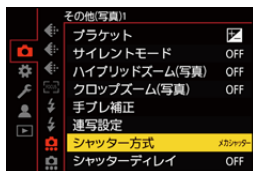
写真撮影時のシャッター方式を選びます。

1 [📷]モードにする

(→ 写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82)

2 [シャッター方式]を設定する

- → [📷] → [🔍] → [シャッター方式]



自動切換

撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式を自動で切り換えます。

メカシャッター

メカシャッター方式で撮影します。

電子先幕

電子先幕方式で撮影します。

電子シャッター

電子シャッター方式で撮影します。

電子シャッター＋NR

電子シャッター方式で撮影します。遅いシャッタースピードで撮影したときは、撮影後にシャッターを閉じて長秒ノイズ除去を行います。

	メカシャッター方式	電子先幕方式	電子シャッター方式
仕組み	露光の開始と終了をメカシャッターで行う方式	電子的に露光を開始し、メカシャッターで終了する方式	露光の開始と終了を電子的に行う方式
フラッシュ	✓	✓	—
シャッター スピード	B(バルブ、最大約30分間) ^{*1} 、60秒～1/8000秒	B(バルブ、最大約30分間) ^{*1} 、60秒～1/2000秒	B(バルブ、最大約60秒間) ^{*1} 、60秒～1/8000秒
シャッター 音	メカシャッター音	メカシャッター音	電子シャッター音 ^{*2}

*1 [M]モード時に設定できます。

*2 セットアップメニュー(IN/OUT)の[電子音]の[電子シャッター音音量]と[電子シャッター音音色]で、電子シャッター音の設定ができます。(→ [電子音: 660](#))

- 電子先幕方式は、メカシャッター方式に比べ、シャッターによる振動が少ないため、シャッターブレを抑えることができます。
- 電子シャッター方式は、シャッターによる振動のない撮影ができます。



- シャッターブレを抑えるため、シャッターボタンを押した数秒後にシャッターを切る設定ができます：

(→ [シャッターディレイ:295](#))



- 画面に[,E]が表示されている場合は、電子シャッター方式で撮影されます。
- 電子シャッターで動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。
- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、電子シャッターで撮影すると、横しまが記録されることがあります。このようなときは、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。
- APS-C用レンズ使用時は、電子先幕が使用できません。

長秒ノイズ除去



S&Q

iA P A S M

遅いシャッタースピードで撮影したときに発生するノイズを、カメラが自動で取り除きます。

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [長秒ノイズ除去]を設定する

- → [📷] → [🔊] → [長秒ノイズ除去]

設定: [ON]／[OFF]



- ノイズ除去中は撮影できません。
- 以下の機能を使用中は、[長秒ノイズ除去]は動きません。
 - 動画撮影、SH連写
 - 電子シャッター([電子シャッター+NR]使用時を除く)、[サイレントモード]

シンクロスキャン(写真)



シャッタースピードを微調整することで、光源のちらつきや横しまを軽減します。

シンクロスキャンで設定したシャッタースピードは、通常撮影したシャッタースピードとは別に保存されます。シンクロスキャンの設定画面で、現在の通常撮影時のシャッタースピードを呼び出して調整できます。

1 [📷]モードにする

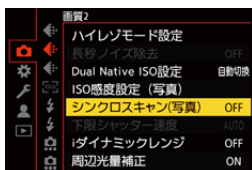
(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 撮影モードを[S]または[M]にする

• モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 83](#))

3 [シンクロスキャン(写真)]を設定する

• → [📷] → [] → [シンクロスキャン(写真)] → [ON]



4 シャッタースピードを設定する

- 、 または を回して数値を選び、 または を押します。
- シャッタースピードは1/48.0秒～1/8192.0秒の範囲で設定できます。
- ▲▼を押すと、1/4TV刻みでシャッタースピードが変化します。◀▶を押すと、細かく調整できます。
- [DISP.]ボタンを押すと、現在の通常撮影時のシャッタースピードを呼び出すことができます。
- 画面を見ながら、ちらつきや横しまが目立たないように、シャッタースピードを合わせてください。



- 撮影画面の表示と撮影結果が異なる場合があります。事前に試し撮りを行うことをお勧めします。
- [シンクロスキャン(写真)]の設定値で動画を撮影するには、[写真モードの動画露出自動制御]を[OFF]に設定してください。
- 以下の機能を使用中は[シンクロスキャン(写真)]は使用できません。
－ メカシャッター

下限シャッター速度



ISO感度[AUTO]時のシャッタースピードの下限を設定します。

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [下限シャッター速度]を設定する

- → [📷] → [🔧] → [下限シャッター速度]

AUTO

シャッタースピードの下限をカメラが自動で設定します。

1/8000～1/1



- 適正な露出が得られない撮影状況では、シャッタースピードが設定値より遅くなることがあります。

シャッターディレイ



S&Q

iA P A S M

手ブレやシャッターブレを抑えるため、シャッターボタンを押したあと、設定時間経過後にシャッターが切れます。

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [シャッターディレイ]を設定する

- → [📷] → [🔍] → [シャッターディレイ]

設定: [8秒]／[4秒]／[2秒]／[1秒]／[OFF]



- 以下の機能を使用中は、[シャッターディレイ]は使用できません。
 - 動画撮影、SH連写
 - ハイレゾモード
 - [ライブビューコンポジット撮影]

手ブレ補正

- 手ブレ補正の設定: 298



本機は、ボディ内手ブレ補正、レンズ内手ブレ補正が使用できます。2つの手ブレ補正を効果的に組み合わせたDual I.S.2方式に対応しています。さらに動画撮影時には、電子式を組み合わせた5軸ハイブリッド手ブレ補正が使用できます。

レンズと手ブレ補正の組み合わせ(2025年5月現在)

装着するレンズによって、使用できる手ブレ補正は異なります。

装着するレンズ	使用できる手ブレ補正	アイコンの例
手ブレ補正機能のある当社製レンズ	ボディ+レンズ (Dual I.S.2)	DUAL2 ()
手ブレ補正機能のある他社製レンズ	ボディまたはレンズ	BODY / LENS ( / ()
手ブレ補正機能がないレンズ	ボディ	BODY ()
本機との通信機能がないレンズ	ボディ	BODY ()

- 5軸ハイブリッド手ブレ補正(➡[電子手ブレ補正\(動画\): 301](#))は、どのレンズでも使用できます。

❖ 手ブレ補正を使う

- O.I.S.スイッチのあるレンズを使用するときは、レンズ側でスイッチを[ON]にしてください。
- 本機との通信機能がないレンズを使用する場合は、カメラの電源を入れたときに、レンズ情報の確認メッセージが表示されます。
手ブレ補正機能を正しく動作させるには、レンズに合わせて焦点距離を設定する必要があります。メッセージに従って焦点距離を設定してください。メニューでも設定できます。(→ [レンズ情報: 303](#))



- シャッターボタンを半押しすると、撮影画面に手ブレ警告アイコン[]が表示される場合があります。表示されたときは、三脚やセルフタイマー、シャッターリモコン(別売:DMW-RS2)を使用することをお勧めします。
- 三脚を使用するときは、手ブレ補正機能をオフにすることをお勧めします。



- 手ブレ補正が働いているときに、振動や動作音がすることがありますが故障ではありません。



- 本機との通信機能がないレンズを使用する場合、電源を入れたときに表示されるレンズ情報の確認メッセージを非表示にできます:
(→ [レンズ情報確認表示: 649](#))
- 基準点を表示して、手ブレ状態を確認できます:
(→ [手ブレ状態スコープ: 638](#))

手ブレ補正の設定

撮影状況に合わせて、手ブレ補正の動作を設定します。

写真:  →  →  → **[手ブレ補正]**を選ぶ

動画:  →  →  → **[手ブレ補正]**を選ぶ

動作設定

撮影手法(通常、流し撮り)に合わせて、補正する動き(ブレ)を設定します。(→ [動作設定: 300](#))

ボディ/レンズ選択

[ (ボディのみ)]: ボディ内手ブレ補正で縦回転、横回転、上下並進、左右並進、光軸回転のブレを補正します。

[ (レンズ+ボディ(回転))]: レンズ内手ブレ補正で縦回転、横回転のブレを補正し、ボディ内手ブレ補正で光軸回転のブレを補正します。

・手ブレ補正機能のある他社製レンズを使用しているときに設定できます。

動作開始設定

[常時]: 常に手ブレ補正が働きます。

[半押し]: シャッターボタンを半押しすると、手ブレ補正が働きます。

電子手ブレ補正(動画)

動画撮影中の縦回転、横回転、上下並進、左右並進、光軸回転の5つのブレと、広角レンズ使用時に発生しやすい周辺のゆがみを、レンズ、ボディ、電子式を組み合わせで補正します。(5軸ハイブリッド手ブレ補正)(→ [電子手ブレ補正\(動画\): 301](#))

手ブレ補正ブースト(動画)

動画撮影中の手ブレ補正効果を高めます。固定したアングルで撮りたい場合に、安定した構図を保つことができます。(→ [手ブレ補正ブースト\(動画\): 302](#))

アナモフィック(動画)

アナモフィック撮影に適した手ブレ補正に切り換えることができます。(→ [アナモフィック\(動画\): 303](#))

レンズ情報

本機との通信機能がないレンズを使用しているときに、レンズの情報を登録します。
(→ [レンズ情報: 303](#))



- 以下の機能を使用中は、[動作開始設定]は[常時]に固定されます。
 - [ボディ/レンズ選択]の[
 - [📷]モード
 - [S&Q]モード
 - 動画撮影
- 以下の機能を使用中は、[電子手ブレ補正(動画)]は使用できません。
 - [S&Q]モード
 - [ライブクロップ]
- 以下の機能を使用中は、[電子手ブレ補正(動画)]の[クロップレス]は使用できません。
 - [アナモフィック(動画)]の[OFF]以外

❖ 動作設定

撮影手法(通常、流し撮り)に合わせて、補正する動き(ブレ)を設定します。

通常

上下、左右、回転の動きに対する手ブレを補正します。通常の撮影に適しています。

流し撮り(オート)

流し撮りの方向を自動で検出し、検出軸に応じて、上下、または、左右の動きに対する手ブレを補正します。流し撮りに適しています。

流し撮り(左右)

上下の動きに対する手ブレを補正します。左右方向に流し撮りするときに適しています。

流し撮り(上下)

左右の動きに対する手ブレを補正します。上下方向に流し撮りするときに適しています。

OFF

手ブレ補正機能をOFFにします。

- 使用するレンズや[ボディ/レンズ選択]の設定により、使用できる動作設定は異なります。
- 手ブレ補正機能のある他社製レンズを使用し、[ボディ/レンズ選択]を[]に設定しているときは、[流し撮り(オート)]は表示されません。流し撮りの方向に合わせて[流し撮り(左右)]または[流し撮り(上下)]に設定してください。
- O.I.S.スイッチのあるレンズを使用しているときは、カメラの動作設定で[OFF]に設定できません。レンズ側でスイッチを[OFF]にしてください。
- 以下の機能を使用中は、[動作設定]は[](通常)に切り換わります。
 - [P]モード
 - [S&Q]モード
 - 動画撮影

❖ 電子手ブレ補正(動画)

動画撮影中の縦回転、横回転、上下並進、左右並進、光軸回転の5つのブレと、広角レンズ使用時に発生しやすい周辺のゆがみを、レンズ、ボディ、電子式を組み合わせで補正します。(5軸ハイブリッド手ブレ補正)

強

大きなブレ、周辺のゆがみを電子的に補正します。

[標準]より画角が狭くなります。

- 動画撮影中、画面に[

標準

ブレ、周辺のゆがみを電子的に補正します。

画角が狭くなります。

- 動画撮影中、画面に[

クロップレス

周辺のゆがみだけを電子的に補正します。

- 動画撮影中、画面に[- 当社製交換レンズ(Sシリーズ)を使用しているときに設定できます。

OFF

電子手ブレ補正(動画)をOFFにします。



- [強]/[標準]に設定している場合、使用するレンズ、焦点距離、記録する動画モードなどの撮影条件により、補正効果は変化します。
- [クロップレス]に設定している場合、使用するレンズ、焦点距離、記録する動画モードなどの撮影条件により、周辺光量落ちが発生することや、補正効果が十分に発揮できないことがあります。
- [電子手ブレ補正(動画)]を使用すると、解像感が低下する場合があります。

❖ 手ブレ補正ブースト(動画)

動画撮影中の手ブレ補正効果を高めます。固定したアングルで撮りたい場合に、安定した構図を保つことができます。

設定: [ON]／[OFF]

- [手ブレ補正ブースト(動画)]が働いているときは、撮影画面に[^{HIGH}]/[^{STD}]/[^{C.Less}]のように設定状態が表示されます。
- 撮影中に構図を変える場合は、設定を[OFF]にしてからカメラを動かしてください。
撮影中に[OFF]に切り換えるには、Fnボタンをお使いください。(→ [Fn ボタン: 580](#))
- 焦点距離が大きくなるほど、補正効果は弱くなります。



- [ボディ/レンズ選択]を[^{LENS}]]に設定しているときは、[手ブレ補正ブースト(動画)]は使用できません。

❖ アナモフィック(動画)

アナモフィック撮影に適した手ブレ補正に切り換えることができます。

設定:

$[\text{A}^{2.0}] (2.0\times) / [\text{A}^{1.8}] (1.8\times) / [\text{A}^{1.5}] (1.5\times) / [\text{A}^{1.33}] (1.33\times) / [\text{A}^{1.30}] (1.30\times) / [\text{OFF}]$

- 使用しているアナモフィックレンズの倍率に合わせて、設定してください。
- [アナモフィック(動画)]が働いているときは、 $[\text{A}^{2.0}]$ や $[\text{A}^{2.0}]$ のように、設定した倍率が撮影画面の手ブレ補正アイコンに表示されます。



- [手ブレ補正ブースト(動画)]設定時は、[手ブレ補正ブースト(動画)]が優先されます。
- 以下の機能を使用中は、[アナモフィック(動画)]は[OFF]に固定されます。
- [ボディ/レンズ選択]の $[\text{LENS}]$
- レンズの手ブレ補正機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、レンズの手ブレ補正機能をオフにしてください。

❖ レンズ情報

本機との通信機能がないレンズの情報を登録します。

登録したレンズ情報に応じて、ボディ内手ブレ補正が動作します。

▲▼で使用するレンズ情報を選び、 または  を押す

- 初期設定では、焦点距離24 mmから135 mmの6本のレンズ情報が登録されています。レンズ情報は12本まで登録できます。

レンズ情報の登録、変更、消去

- 1 ▲▼でレンズ情報を選び、[DISP.]ボタンを押す
 - 未登録のレンズ情報を選択した場合は、 または  を押して手順3に進んでください。
- 2 ▲▼で[編集]、[並べ換え]または[消去]を選び、 または  を押す
 - [並べ換え]を選ぶと、レンズ情報の表示順を変更できます。
 - [消去]を選ぶと、レンズ情報が消去されます。
 - 使用中のレンズ情報は消去できません。
- 3 レンズ情報を入力する
 - 登録済みのレンズ情報の場合は、レンズ情報が変更されます。
- 4 (未登録のレンズ情報選択時)[DISP.]ボタンを押して、レンズ情報を登録する

焦点距離

焦点距離を入力します。

-  を回すと、ライブビュー映像を拡大表示できます。

手ブレ補正範囲

手ブレ補正によってケラレが発生しないように、手ブレ補正の補正範囲を設定します。

[70%] / [80%] / [90%] / [100%]

-  を回して補正範囲を選び、 または  を押して決定します。
- ▲▼◀▶で四隅を選択すると、ボディ内手ブレ補正が働き、ケラレの有無が確認できます。ケラレが発生したときは、小さい範囲に設定し直してください。

レンズ名

レンズ名を登録します。

- 文字の入力方法(➡ [文字の入力: 109](#))
 - 入力できる文字数は最大30文字です。
-

測光／露出／ISO感度

本章では、露出を決定するための撮影モードやISO感度について説明しています。

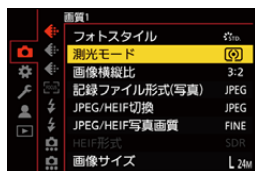
- 測光モード: 306
- プログラムAEモード: 308
- 絞り優先AEモード: 312
- シャッター優先AEモード: 315
- マニュアル露出モード: 318
- プレビューモード: 323
- 露出補正: 325
- 多重露出: 329
- ピントや露出の固定(AF／AEロック): 331
- ISO感度: 333

測光モード



明るさを測る方式を切り換えることができます。

→ / → → [測光モード]を選ぶ



(マルチ測光)

画面全体の明るさの配分を評価して、露出が最適になるように測光する方式です。

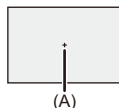
(中央重点)

画面中央部に重点を置いて測光する方式です。

(スポット)

スポット測光ターゲット(A)周辺の極めて狭い部分を測光する方式です。

- AFエリアを移動すると、スポット測光ターゲットも合わせて移動します。



(ハイライト重点)

白飛びしないように、画面のハイライト部分に重点を置いて測光する方式です。舞台撮影などに適しています。



- 標準露出の基準値を調整できます：
(→ [基準露出レベル調節: 613](#))
- 1回だけ測光モードを[(→ [ワンショット スポット測光: 585](#))

プログラムAEモード

- プログラムシフト: 310



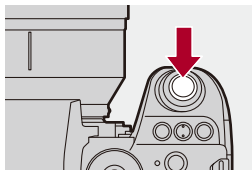
[P]モード(プログラムAEモード)では、被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動で設定します。同じ露出のままでシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えるプログラムシフトもできます。

1 撮影モードを[P]にする

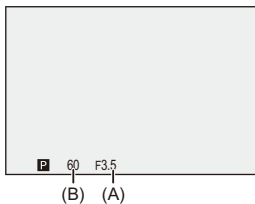
- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 83](#))

2 シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面に絞り値とシャッタースピードの数値が表示されます。



- 適正な露出が得られないときは、絞り値(A)とシャッタースピード(B)の数値が赤色で点滅します。



3 撮影する

プログラムシフト

カメラが自動で設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。

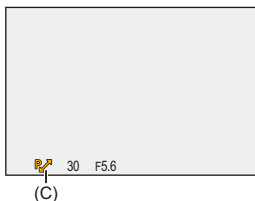
より背景をぼかす(絞り値を小さくする)、動きを表現する(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

1 シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面に絞り値とシャッタースピードの数値が表示されます。(約10秒間)

2 数値が表示されている間に、 または を回す

- 撮影画面にプログラムシフトアイコン(C)が表示されます。



3 撮影する

プログラムシフトの解除方法

- 電源スイッチを[OFF]にする
- プログラムシフトアイコンが消えるまで、 または  を回す



- 以下の機能を使用中は、プログラムシフトは使用できません。
 - フラッシュ



- ダイヤルの動作をカスタマイズできます：
(→ [ダイヤル設定: 627](#))
- 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます：
(→ [露出メーター: 636](#))

絞り優先AEモード



[A]モード(絞り優先AEモード)では、絞り値を設定して撮影できます。
シャッタースピードはカメラが自動で設定します。



絞り値が小さい

背景をぼかしやすくなります。



絞り値が大きい

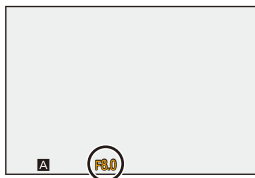
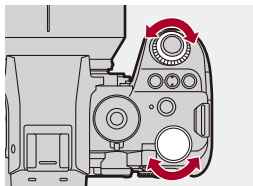
背景までピントが合った状態にします。

1 撮影モードを[A]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 83](#))

2 絞り値を設定する

-  または  を回します。



3 撮影する

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正な露出が得られない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。

❖ 被写界深度の性質

絞り値	小さい	大きい
レンズの焦点距離	望遠	広角
被写体までの距離	近い	遠い
被写界深度 (ピントの合っている範囲)	浅い(狭い) 例: 背景をぼかして撮りたいとき	深い(広い) 例: 背景までピントを合わせて撮りたいとき



- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。(→ [プレビューモード: 323](#))

[A]モードで常に絞り効果のプレビューを働かせ、被写界深度を確認しながら撮影できます:

(→ [常時プレビュー: 630](#))

- 撮影画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- 絞りリングのあるレンズを使用しているときは、絞りリングの位置を[A]以外にすると、レンズの絞り値に設定されます。



- ダイヤルの動作をカスタマイズできます:
(→ [ダイヤル設定: 627](#))
- 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます:
(→ [露出メーター: 636](#))

シャッター優先AEモード



[S]モード(シャッター優先AEモード)では、シャッタースピードを設定して撮影できます。

絞り値はカメラが自動で設定します。



シャッタースピードが遅い

動きを表現しやすくなります。



シャッタースピードが速い

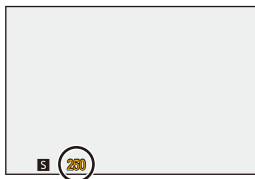
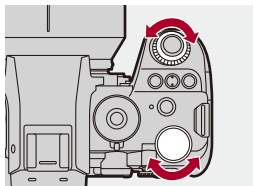
動きを止めやすくなります。

1 撮影モードを[S]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 83](#))

2 シャッタースピードを設定する

-  または  を回します。



3 撮影する

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正な露出が得られない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。



- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。(→ [プレビューモード: 323](#))
- 撮影画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- フラッシュ撮影時は、1/250秒より速いシャッタースピードには設定できません。(→ [フラッシュモード別のシャッタースピード: 388](#))



- ダイアルの動作をカスタマイズできます：
(→ [ダイヤル設定: 627](#))
- 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます：
(→ [露出メーター: 636](#))

マニュアル露出モード

- 設定可能なシャッタースピード(秒): 320
- B(バルブ): 322



[M]モード(マニュアル露出モード)では、絞り値とシャッタースピードを手動で設定して撮影します。

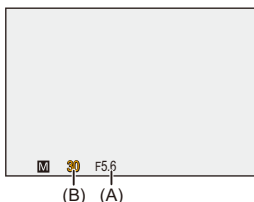
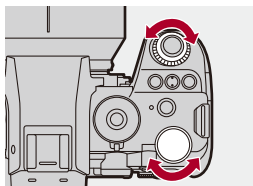
初期設定では、ISO感度が[AUTO]に設定されています。そのため、絞り値とシャッタースピードに応じてISO感度が設定されます。ISO感度[AUTO]設定時は露出補正も使用できます。

1 撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 83](#))

2 絞り値とシャッタースピードを設定する

-  を回して絞り値(A)を、 を回してシャッタースピード(B)を設定します。



3 撮影する

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正な露出が得られない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。

❖ マニュアル露出アシスト

ISO感度を[AUTO]以外に設定したときに、マニュアル露出アシスト(例：)が撮影画面に表示されます。

現在の露出値と、カメラが測光した標準露出(±0)との差を確認できます。

- マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。

設定可能なシャッタースピード(秒)

- **メカシャッター:**

B(バルブ、最大約30分間)、60～1/8000

- **電子先幕:**

B(バルブ、最大約30分間)、60～1/2000

- **電子シャッター:**

B(バルブ、最大約60秒間)、60～1/8000



- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。(→ [プレビューモード: 323](#))

[M]モードで常に絞り効果、シャッタースピード効果のプレビューを働かせ、被写界深度や被写体の動きを確認しながら撮影できます：

(→ [常時プレビュー: 630](#))

- 撮影画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- 絞りリングのあるレンズを使用しているときは、絞りリングの位置を[A]以外にすると、レンズの絞り値に設定されます。
- フラッシュ撮影時は、1/250秒より速いシャッタースピードには設定できません。(→ [フラッシュモード別のシャッタースピード: 388](#))



- ダイヤルの動作をカスタマイズできます：
(→ [ダイヤル設定: 627](#))
- 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます：
(→ [露出メーター: 636](#))

B(バルブ)

シャッタースピードをB(バルブ)に設定すると、シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開いた状態になります。(最大約30分間)シャッターボタンを離すと、シャッターが閉じます。
花火や夜景、星空の撮影で、長時間シャッターを開いておきたいときに使います。



- バルブ撮影中は、三脚やシャッターリモコン(別売:DMW-RS2)の使用をお勧めします。
- バルブ撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、写真メニュー(画質)の[長秒ノイズ除去](→[長秒ノイズ除去: 291](#))を[ON]にして撮影することをお勧めします。



- 以下の機能を使用中は、バルブは使用できません。
 - SH連写
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ([自動撮影]設定時)
 - ハイレゾモード
 - [ブラケット]
 - [ライブビューコンポジット撮影]

プレビューモード



実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、絞り効果を撮影画面で確認できます。

また、絞り効果に加えてシャッタースピード効果も同時に確認できます。

1 [Ⓢ]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 Fnボタンに[プレビュー]を登録する

(→ [Fnボタン: 580](#))

3 絞り効果を確認する

- 手順2で設定したFnボタンを押します。

- ボタンを押すごとに、効果の確認画面が切り換わります。

絞り効果: OFF

シャッタースピード効果: OFF



絞り効果: ON

シャッタースピード効果: OFF



絞り効果: ON

シャッタースピード効果: ON



- プレビューモード中でも撮影できます。
- シャッタースピード効果を確認できる範囲は、8秒～1/8000秒です。
- [常時プレビュー]の設定によっては、表示されない確認画面があります。



- [A]／[M]モード時の撮影画面で、常に絞り効果を確認できます：
(→ [常時プレビュー: 630](#))
- ボタンを押している間だけ絞り効果を確認できる機能をFnボタンに登録できます：
(→ [プレビュー\(絞りのみ\): 589](#))

露出補正

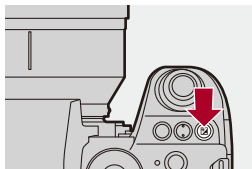
- iダイナミックレンジ: 328



カメラが決めた標準露出では明るすぎたり暗すぎたりする場合に露出補正できます。

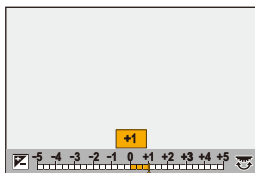
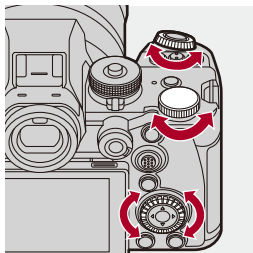
露出補正できる範囲は、1/3 EVステップ、 ± 5 EVです。動画撮影では ± 3 EVの範囲になります。

1 [] ボタンを押す



2 露出を補正する

- 、 または  を回します。



3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。



- [M]モードでは、ISO感度を[AUTO]に設定すると露出補正できます。
- 露出補正值が ± 3 EVの範囲を超える場合、撮影画面の明るさはそれ以上変化しません。シャッターボタンを半押し、またはAEロックすると、撮影画面に反映されます。
- 設定した露出補正值は、電源を切っても記憶しています。



- 標準露出の基準値を調整できます：
(→ [基準露出レベル調節: 613](#))
- 電源を切ると露出補正值をリセットするように設定できます：
(→ [露出補正リセット: 615](#))
- [] ボタンの動作を変更できます：
(→ [WB/ISO/露出補正ボタン: 626](#))
- 露出補正画面で露出ブラケットの設定とフラッシュ発光量の調整ができます：
(→ [露出補正画面の操作: 627](#))
- 絞り値やシャッタースピードを標準露出に合わせる機能をFnボタンに登録できます：
(→ [ワンブッシュAE: 585](#))

iダイナミックレンジ



S&Q

iA P A S M

背景と被写体の明暗差が大きい場合に、コントラストや露出を補正します。



⇒ [カメラ]／[人] ⇒ [設定] ⇒ [iダイナミックレンジ]を選ぶ

設定: [AUTO]／[強]／[中]／[弱]／[OFF]



- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 以下の機能を使用中は、[iダイナミックレンジ]は使用できません。
 - [フォトスタイル]の[709ライク]、[V-Log]、[リアルタイムLUT]、[2100ライク (HLG)]、[2100ライク (HLG) フルレンジ]
 - [フィルター設定]
 - [ライブビューコンポジット撮影]

多重露出



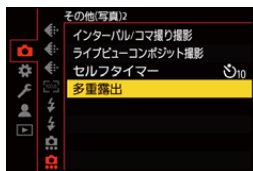
1枚の画像に最大4回の露光をした効果を得ることができます。

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:82](#))

2 [多重露出]を設定する

- → [📷] → [🔍] → [多重露出]



開始

多重露出の露出を開始します。

自動ゲイン補正

撮影枚数に応じて自動で明るさを調整します。

再生画像と多重

撮影済みのRAW画像に多重露出ができます。[開始]を選択後に、重ねる画像の選択画面が表示されます。

- [開始]を選択後、シャッターボタンを全押しすると、多重露出を開始します。
- 撮影することにプレビューが表示され、以下の操作ができます。
 - [次の撮影] (シャッターボタンを半押ししても同じ操作ができます)
 - [撮り直し]
 - [完了]: 写真を記録し、多重露出の撮影を終了します。



- 写真を記録すると、多重露出の撮影は自動で終了します。
- 記録前に多重露出の撮影を終了するには、撮影画面で [Q] ボタンを押してください。



- 多重露出で撮影した画像の撮影情報は、最後に撮影した画像の情報になります。
- [再生画像と多重] を設定できるのは、本機で撮影したRAW画像だけです。
- 以下の機能を使用して撮影したRAW画像には、[再生画像と多重] は設定できません。
 - [画像横縦比] の [65:24]、[2:1]
 - ハイレゾモード
- 以下の機能を使用中は、[多重露出] は使用できません。
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ
 - ハイレゾモード
 - [フィルター設定]
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - HDMI出力
- APS-C用レンズ使用時は、[多重露出] は使用できません。

ピントや露出の固定(AF／AEロック)



撮影前にピントや露出を固定し、そのまま構図を変えて撮影します。
画面の端にピントを合わせたいときや逆光時に便利です。

1 Fnボタンに[AE LOCK]、[AF LOCK]または[AF/AE LOCK] を登録する

(→Fnボタン: 580)

- [Fn4]～[Fn8]には登録できません。

AE LOCK

露出を固定します。

AF LOCK

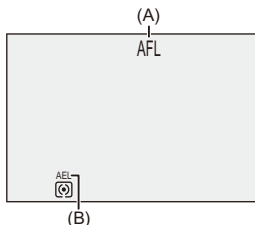
ピントを固定します。

AF/AE LOCK

ピントと露出を固定します。

2 ピントや露出を固定する

- Fnボタンを押したままにします。
- ピントがロックされると、AFロックアイコン(A)が表示されます。
- 露出がロックされると、AEロックアイコン(B)が表示されます。



3 Fnボタンを押したまま、構図を決めて撮影する

- シャッターボタンを全押しします。



- AEロック中でも、プログラムシフトを設定できます。



- Fnボタンを押し続けなくても、ロックを維持するようにできます：
(→ [AF/AEロック維持: 617](#))
- AFロック中に手動でピントを微調整できます：
(→ [AF+MF: 618](#))

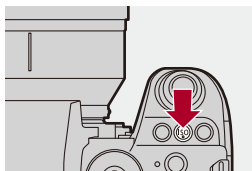
ISO感度

- Dual Native ISO 設定: 337
- ISO感度設定 (写真): 339



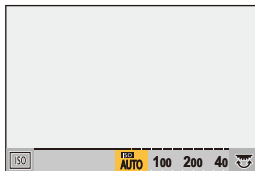
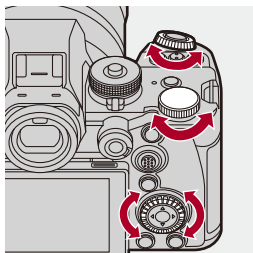
光に対する感度 (ISO 感度) を設定できます。

1 [ISO] ボタンを押す



2 ISO感度を選ぶ

- 、 または  を回します。
- [ISO] ボタンを押しても選択できます。



3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。



ISO感度の性質

ISO感度を上げると、暗い場所でもシャッタースピードを速くして、手ブレや被写体ブレを防ぐことができます。ただし、ISO感度が高いほど、撮影した画像のノイズも多くなります。

❖ 設定項目(ISO感度)

AUTO

明るさに応じて、自動でISO感度を調整します。

- 写真撮影時: 最大 6400^{*1}
 - 動画撮影時: 最大 12800^{*2}
-

100～51200

それぞれのISO感度に固定します。

- 写真／動画メニュー(画質)の[[Dual Native ISO設定](#)]の設定により、使用できるISO感度の範囲が変わります。(→ [Dual Native ISO設定: 337](#))
 - カスタムメニュー(画質)の[[拡張ISO感度](#)](→ [拡張ISO感度: 613](#))を[ON]にすると、下限値 50 から上限値 204800 までISO感度を拡張できます。
-

*1 初期設定。[ISO感度設定(写真)]によって上限を変更できます。

*2 初期設定。[ISO感度設定(動画)]によって上限を変更できます。

- 以下の機能を使用中は、設定できるISO感度に制限があります。
 - ハイレゾモード: 上限 3200 まで
 - [フィルター設定]: 上限 6400 まで
 - [多重露出]: 下限 100、上限 6400 まで
 - [フォトスタイル]の[シネライク A2]、[シネライク D2]、[シネライク V2]: 下限 200 ([[拡張ISO感度](#)]設定時: 100) まで
 - [フォトスタイル]の[709ライク]: 下限 100 まで
 - [フォトスタイル]の[V-Log]: 下限 640 ([[拡張ISO感度](#)]設定時: 320)、上限 51200 まで
 - [フォトスタイル]の[スタンダード(HLG)]、[モノクローム(HLG)]、[2100ライク(HLG)]、[2100ライク(HLG) フルレンジ]: 下限 400 まで
 - [ライブビューコンポジット撮影]: 下限 100 ([[拡張ISO感度](#)]設定時: 50)、上限 3200 まで
- [フォトスタイル]を[リアルタイムLUT]に設定しているときは、適用するLUTファイルのベースフォトスタイルによって、使用できるISO感度の範囲が変わります。



- ISOオートの上限と下限を設定できます：
(→ [ISO感度設定\(写真\): 339](#), [ISO感度設定\(動画\): 413](#))
- ISO感度の設定値の刻みを変更できます：
(→ [ISO感度ステップ: 613](#))
- 設定できるISO感度の範囲を拡張できます：
(→ [拡張ISO感度: 613](#))
- ISOオート時のシャッタースピードの下限を設定できます：
(→ [下限シャッター速度: 294](#))
- [ISO] ボタンの動作を変更できます：
(→ [WB/ISO/露出補正ボタン: 626](#))
- ISO感度の設定画面でISOオートの上限を設定できます：
(→ [ISO感度画面の操作: 626](#))
- 動画撮影時の感度の単位を dB に切り換えることができます：
(→ [SS/ゲイン操作: 442](#))

Dual Native ISO設定



ベース感度を自動切換するか、固定するかを設定します。

→ / → → **[Dual Native ISO設定]**を選ぶ

自動切換

明るさに応じて、自動でベース感度を切り換えます。

- 以下の範囲でISO感度を設定できます。
 - 通常: AUTO、100 ～ 51200
 - [拡張ISO感度]設定時: AUTO、50 ～ 204800

低感度

ベース感度を低感度用に設定します。

- 以下の範囲でISO感度を設定できます。
 - 通常: AUTO、100 ～ 800
 - [拡張ISO感度]設定時: AUTO、50 ～ 800

高感度

ベース感度を高感度用に設定します。

- 以下の範囲でISO感度を設定できます。
 - 通常: AUTO、640 ～ 51200
 - [拡張ISO感度]設定時: AUTO、320 ～ 204800



- 以下の機能を使用中は、[自動切換]に固定されます：
 - [iA]モード
 - ハイレゾモード([フォトスタイル]を[V-Log]、[リアルタイムLUT](ベースフォトスタイルが[V-Log]))に設定時)
 - [ライブビューコンポジット撮影]([フォトスタイル]を[V-Log]、[リアルタイムLUT](ベースフォトスタイルが[V-Log]))に設定時)

ISO感度設定(写真)



S&Q

iA P A S M

ISO感度[AUTO]時のISO感度の下限と上限を設定します。

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [ISO感度設定(写真)]を設定する

- → [📷] → [🔍] → [ISO感度設定(写真)]

ISOオート下限設定

ISO感度[AUTO]時のISO感度の下限を設定します。

- 100 ～ 25600の範囲で設定できます。

ISOオート上限設定

ISO感度[AUTO]時のISO感度の上限を設定します。

- AUTO、200 ～ 51200の範囲で設定できます。



- 以下の機能を使用中は、[ISO感度設定(写真)]は使用できません。
– [ライブビューコンポジット撮影]

ホワイトバランス／画質

本章では、ホワイトバランスやフォトスタイルなど、イメージどおりの画像を撮影するための機能について説明しています。

- [ホワイトバランス\(WB\): 341](#)
- [フォトスタイル: 349](#)
- [フィルター設定: 362](#)
- [リアルタイムLUT: 367](#)
- [LUTライブラリ: 368](#)
- [HLG撮影\(HEIF形式\): 374](#)
- [レンズ補正: 376](#)

ホワイトバランス(WB)

- [ホワイトバランスの調整: 347](#)

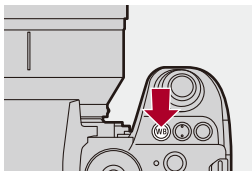


ホワイトバランス(WB)は、被写体を照らす光の色の影響を補正する機能です。白いものを白く、見た目に近い色に補正します。

通常はオート([AI-AWB]*、[AWB]、[AWBc]または[AWBw])で適切なホワイトバランスが得られます。画像の色合いが思ったとおりにならないときや、色合いを変化させて雰囲気表現したいときに設定してください。

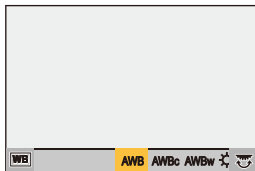
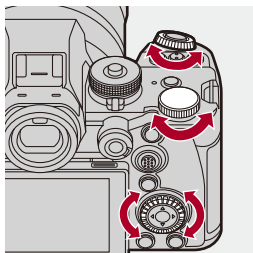
* [AI-AWB]はRAW現像時に設定できます。(→ [RAW現像: 556](#))

1 [WB]ボタンを押す



2 ホワイトバランスを選ぶ

- 、 または  を回します。
- [WB] ボタンを押しても選択できます。



3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。

❖ 設定項目(ホワイトバランス)

AI-AWB

オート(白熱灯と太陽光など複数の光源が存在するシーンで、エリアごとに自動判別し、適した色合いに調整します)

• [AI-AWB]はRAW現像時に設定できます。(→ [RAW現像: 556](#))

AWB

オート

AWBc

オート(白熱電球下で赤みを抑えます)

AWBw

オート(白熱電球下で赤みを残します)



晴天



曇天



晴天の日の陰



白熱灯



フラッシュ

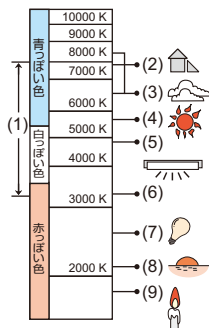


セットモード1～4(→ [ホワイトセット登録: 346](#))



色温度1～4(→ [色温度設定: 346](#))

* 動画撮影では[AWB]と同じ動作をします。



- (1) [AWB]が働く範囲
- (2) 日陰
- (3) 曇り空
- (4) 太陽光
- (5) 白色蛍光灯
- (6) ハロゲン電球
- (7) 白熱電球
- (8) 日の出・日の入り前
- (9) ろうそく



- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なります。[AWB]、[AWBc]、[AWBw]、[



- [フィルター設定]使用中は、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。



- オートホワイトバランスを一時的にロックできます：
(→ [AWB ロック設定: 614](#))
- [WB] ボタンの動作を変更できます：
(→ [WB/ISO/露出補正ボタン: 626](#))

❖ ホワイトセット登録

撮影場所の光源下で白いものを撮影して、白く写るようにホワイトバランスを調整します。

- 1 [WB] ボタンを押し、～のいずれかを選ぶ
- 2 ▲を押す
- 3 画面中央の枠内に白いものを映し、 または  を押す
 - ホワイトバランスが設定され、撮影画面に戻ります。

❖ 色温度設定

ホワイトバランスの色温度を数値で設定します。

- 1 [WB] ボタンを押し、～のいずれかを選ぶ
- 2 ▲を押す
 - 色温度の設定画面が表示されます。
- 3 ▲▼で色温度を選び、 または  を押す
 - 、 または  を回すと、ホワイトバランス(色温度)ブラケットの設定ができます。(→ [詳細設定\(ホワイトバランス\(色温度\)ブラケット\): 280](#))



- 2500K～10000Kまで設定できます。
- ／[S&Q] モード時、撮影画面にケルビン値が表示されます。

ホワイトバランスの調整

ホワイトバランスを設定しても思い通りの色合いにならないときに、色合いを調整できます。

1 [WB]ボタンを押す

2 ホワイトバランスを選び、▼を押す

- 調整画面が表示されます。

3 色合いを調整する

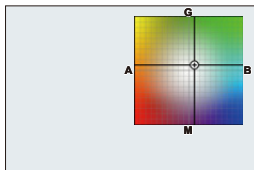
◀:[A](アンバー:オレンジ系)

▲:[G](グリーン:緑系)

▶:[B](ブルー:青系)

▼:[M](マゼンタ:赤系)

- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも調整できます。
- グラフをタッチしても調整できます。
- 調整していない状態に戻すには、[DISP]ボタンを押してください。
- ☀️、☂️ または ⚙️ を回すと、ホワイトバランスブラケットの設定ができます。(→ [詳細設定\(ホワイトバランスブラケット\): 280](#))



4 決定する

- シャッターボタンを半押しします。



- ホワイトバランスを調整すると、撮影画面のアイコンが調整した色に変わります。**G**方向に調整すると[+]が、**M**方向に調整すると[-]が表示されます。

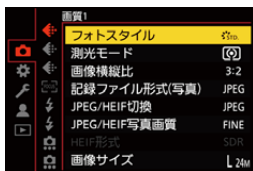
フォトスタイル



被写体や表現方法に合わせて、画像の仕上がり設定を選択できます。フォトスタイルごとに画質調整ができます。

カメラに読み込んだLUTファイルを適用した写真や動画を撮影することもできます。

MENU / SET → **[カメラ]** / **[人]** → **[設定]** → **[フォトスタイル]** を選ぶ



STD. スタンダード

標準的な設定

STD. ^{HLG} スタンダード (HLG)

標準的な設定

・[HEIF形式]を[HDR(HLG)]に設定しているときに選択できます。

VIVID ヴィヴィッド

彩度とコントラストが高めの鮮やかな設定

NAT ナチュラル

コントラストが低めの柔らかな設定

CLAS L. クラシックネオ

ノスタルジックで優しい色合いのフィルム風の設定

FLAT フラット

彩度とコントラストが低めの誇張を抑えた設定

LAND 風景

青空や緑を鮮やかにし、風景撮影に適した設定

PORT 人物

健康的できれいな肌色にし、人物撮影に適した設定

MONO モノクローム

色味を抜いた単色の設定

^{HLG} MONO モノクローム (HLG)

色味を抜いた単色の設定

・[HEIF形式]を[HDR(HLG)]に設定しているときに選択できます。

L MONO L.モノクローム

階調が豊かで黒の引き締まったモノクロ設定

L MONO D L.モノクローム D

ハイライトとシャドウを強調したダイナミックな印象のモノクロ設定

L MONO S L.モノクローム S

ポートレートに適した柔らかな印象のモノクロ設定

^{LEICA} MONO LEICAモノクローム

LEICAのモノクロームを踏襲した、深い黒と白のコントラストが特徴のモノクロ設定

CINEA2 シネライク A2

ダイナミックレンジとコントラストのバランスを重視したガンマカーブとニュートラルな色調で映画感覚に仕上げる設定

CINED2 シネライク D2

ダイナミックレンジを優先したガンマカーブで映画感覚に仕上げる設定

CINEV2 シネライク V2

コントラストを重視したガンマカーブで映画感覚に仕上げる設定

709L 709ライク

Rec.709相当のガンマカーブで、高輝度部分を圧縮(二一)して白飛びを抑える設定
(→ [白飛びを抑えて撮影する\(二一\): 411](#))

- Rec.709とは「ITU-R Recommendation BT.709」の略称で、ハイビジョン放送の規格です。

V-Log V-Log

ポストプロダクション処理を前提としたガンマカーブの設定(→ [Log撮影する: 477](#))

- ポストプロダクション処理により、階調の豊かな映像に上げることができます。

LUT リアルタイムLUT

[LUTライブラリ]に登録したLUTファイルを適用できます。(→ [LUTライブラリ: 368](#))

- 初期設定では[Sample LUT1]が適用されています。
- 適用するLUTファイルによって、ベースとなるフォトスタイルは自動で設定されます。(LUTファイルにベースフォトスタイル情報がないときは、[V-Log]を選択できます)
- ベースとなるフォトスタイルを変更したいときは、マイフォトスタイルを使用してください。
- 撮影画面で[リアルタイムLUT]に登録したFnボタンを押してもフォトスタイルを[リアルタイムLUT]に変更できます。(→ [リアルタイムLUT: 367](#))

適用するLUTファイルを選ぶ

- 1 ▲▼で[LUT]を選び、ボタンを押す
- 2 、またはで適用するLUTファイルを選び、またはを押す
- 3 シャッターボタンまたは動画記録ボタンを押して撮影する

^{HLG}₂₁₀₀ 2100ライク(HLG)*¹

HLG方式の動画を撮影するための設定(→[HLG動画: 482](#))

- [輝度レベル設定]は[64-940]に固定されます。

^{HLG F}₂₁₀₀ 2100ライク(HLG) フルレンジ*^{1,2}

HLG方式の動画を撮影するための設定(→[HLG動画: 482](#))

- [輝度レベル設定]は[0-1023]に固定されます。

^{MY} MY PHOTO STYLE 1*²～MY PHOTO STYLE 10*²

フォトスタイルを好みに合わせて画質調整し、マイフォトスタイルとして登録できます。(→ [設定をマイフォトスタイルに登録する: 361](#))

- 初期設定では[MY PHOTO STYLE 4]までが表示されています。

LUTファイルを適用する

画質調整で、[LUTライブラリ]に登録したLUTファイルを2つまで適用できます。

(→ [LUTライブラリ: 368](#))

- LUTファイルを2つ適用する場合、[LUT1]を適用した画像に対して[LUT2]が適用されます。
- フォトスタイルは適用するLUTファイル(LUTファイルを2つ適用する場合は[LUT1])のベースフォトスタイルになります。
画像編集ソフトで作成したLUTファイルを適用するときは、作成時にベースとしたフォトスタイルと同じ[フォトスタイル]を選んでください。異なる[フォトスタイル]を選ぶと、画像を正しく表示／記録できない場合があります。
- 画質調整で[LUT1]または[LUT2]を適用しているときは、 ^{MY}は ^{LUT}に変わります。

*1 ／[S&Q]モードで10 bitの[動画画質]に設定しているときだけ選択できます。
(→ [動画画質: 150](#))

*2 [フォトスタイル設定]の[フォトスタイル表示の制限]で、メニューに表示する項目を設定できます。(→ [フォトスタイル設定: 612](#))



- [iA]モード時は、他の撮影モードと動作が異なります。
 - [スタンダード]、[モノクローム]に設定できます。
 - 撮影モードを切り換えたり、電源を切ったりすると、[スタンダード]にリセットされます。
 - 画質調整できません。
- [フォトスタイル]を以下に設定したときは、使用できるISO感度の範囲が変化します。(→ [設定項目\(ISO感度\): 335](#))
 - [シネライク A2]、[シネライク D2]、[シネライク V2]、[709ライク]、[V-Log]、[リアルタイムLUT] (ベースフォトスタイルが[V-Log])、[スタンダード(HLG)]、[モノクローム(HLG)]、[2100ライク(HLG)]、[2100ライク(HLG) フルレンジ][Dual Native ISO 設定]の[低感度]や[高感度]で使用できるISO感度の範囲も変化します。

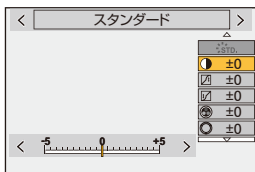
ISO感度が変わる場合は、必要に応じて露出を設定し直してください。
- [709ライク]ではニーモードを設定できます。(→ [白飛びを抑えて撮影する\(二\): 411](#))
- [リアルタイムLUT]の画質調整で[LUT]を[OFF]にすると、[フォトスタイル]はベースとなるフォトスタイルと同じ動作になります。
- [フィルター設定]使用中は、[フォトスタイル]は使用できません。



- フォトスタイルの詳細な設定ができます：
(→ [マイフォトスタイル設定: 612](#))

❖ 画質調整

- 1 ◀▶ でフォトスタイルの種類を選ぶ
- 2 ▲▼ で設定項目を選び、◀▶ で調整する
 - 調整した項目に[*]が表示されます。



- 3  または  を押す
 - 画質調整すると、撮影画面のフォトスタイルアイコンに[*]が表示されます。

設定項目(画質調整)

コントラスト

画像の明暗差を調整します。

ハイライト

明部の明るさを調整します。

シャドウ

暗部の明るさを調整します。

彩度

色の鮮やかさを調整します。

色調

青み、黄色みを調整します。

色相

赤を基準とした場合、紫／マゼンタ方向または黄色／緑方向に色相を回転させ、全体の色合いを調整します。

フィルター効果

黄:コントラストを強調します。(効果:弱)青空をくっきりと撮影できます。

オレンジ:コントラストを強調します。(効果:中)青空を色濃く撮影できます。

赤:コントラストを強調します。(効果:強)青空をさらに色濃く撮影できます。

緑:人物の肌や唇を落ち着いた色にします。緑の葉を明るくし、強調します。

OFF

粒状

弱／中／強:粒状感の強弱を設定します。

OFF

色ノイズ

ON:粒状感に色味を追加します。

OFF

シャープネス

画像の輪郭を調整します。

ノイズリダクション

ノイズリダクションの効果を調整します。

- 効果を強めた場合、解像感が僅かに低下する場合があります。
-

DUAL Dual Native ISO 設定*3

Dual Native ISOを設定します。(→ [Dual Native ISO 設定: 337](#))

ISO ISO 感度*3

ISO 感度を設定します。(→ [ISO 感度: 333](#))

WB ホワイトバランス*3

ホワイトバランスを設定します。(→ [ホワイトバランス\(WB\): 341](#))

- [WB] 選択中に[] ボタンを押すと、ホワイトバランスの設定画面が表示されます。もう一度[] ボタンを押すと、元の画面に戻ります。
-

LUT **LUT1** **LUT2** **LUT**

プリセットまたは[LUTライブラリ]に登録したLUTファイルを適用します。(→ [LUT ライブラリ: 368](#))

- 1 [フォトスタイル]の[リアルタイムLUT]または[MY PHOTO STYLE 1]～[MY PHOTO STYLE 10]のいずれかを選ぶ
 - 2 ▲▼で[LUT]を選び、[] ボタンを押す
 - 3  で適用するLUTファイルを選び、 または  を押す
-

LUT **LUT1** **LUT2** **LUT** **LUT濃度**

LUTファイルの効果を調整します。

*3 [MY PHOTO STYLE 1]～[MY PHOTO STYLE 10]選択中に、以下を設定すると使用できます。

[] → [] → [フォトスタイル設定] → [マイフォトスタイル設定] → [調整項目の追加] → [ISO感度]／[ホワイトバランス] → [ON]

• フォトスタイルの種類により、画質を調整できる項目は変わります。

	STD. HLG VIVID NAT CLAS N FLAT LAND PORT CINEA2 CINED2 CINEV2	MONO HLG MONO L.MONO L.MONO D L.MONO S LEICA MONO	709L HLG 2100 HLG F 2100	V-Log	LUT
	✓	✓			✓ ^{*4}
	✓	✓			✓ ^{*4}
	✓	✓			✓ ^{*4}
(彩度)	✓		✓	✓ ^{*5}	✓
(色調)		✓			✓ ^{*4}
	✓		✓		✓ ^{*4}
		✓			
	✓	✓	✓	✓ ^{*5}	✓
	✓ ^{*6}		✓ ^{*6}	✓ ^{*5, 6}	✓ ^{*4, 6}
S	✓	✓	✓	✓	✓
NR	✓	✓	✓	✓	✓
LUT / LUT LUT1 / LUT1 LUT2 / LUT2	✓ ^{*7}	✓ ^{*7}	✓ ^{*7}	✓ ^{*7}	✓

- *4 ベースのフォトスタイルによっては、調整できない場合があります。
- *5 マイフォトスタイルでLUTファイルを適用したときに設定できます。
- *6 [粒状]が[弱]／[中]／[強]のいずれかの場合に設定できます。
- *7 [フォトスタイル]がマイフォトスタイルの場合にLUTファイルを2つまで設定できます。



- [粒状]と[色ノイズ]の効果は、[Ⓢ]モードでの撮影画面では確認できません。
- 動画を撮影する場合、[粒状]の効果を確認するため、事前に試し撮りを行うことをお勧めします。
- 撮影した動画をテレビで見る場合、テレビ側のフレーム補間処理の設定によっては、[粒状]が波打つように見えることがあります。その場合はフレーム補間処理の設定をオフにしてください。
- RAW画像には[LUT]を適用できません。[記録ファイル形式(写真)]を[RAW]にして撮影した場合は、ライブビューと再生画面のサムネイル表示にだけLUTファイルを適用します。
- 以下の機能を使用中は、[粒状]は使用できません。
 - [Ⓢ]モードで動画撮影
 - [S&Q]モード
 - [プロキシ記録]
 - [ストリーミング]
 - ハイレゾモード
 - 解像度がC4Kを超える[動画画質]
- [動画画質]と設定の組み合わせによっては、[粒状]が使用できない場合があります。

❖ LUTファイルを適用して撮影したときのレンジ属性

フォトスタイルにLUTファイルを適用して撮影した動画のレンジ属性は以下のようになります。

(A) MP4

(B) MOV

(C) Apple ProRes 422HQ/422

[リアルタイムLUT]の ベースフォトスタイル/ マイフォトスタイル	適用する LUTファイ ル	[記録ファイル 形式(動画)]			[輝度レベル設定]	レンジ 属性
		(A)	(B)	(C)		
[V-Log]	[Vlog_709]	✓	✓		[16-255] ([64-1023]) 固定	⇒ ビデオ レンジ
				✓	[64-940] 固定	⇒ ビデオ レンジ
	[Vlog_709] 以外	✓	✓		[0-255] ([0-1023]) 固定	⇒ フルレ ンジ
				✓	[64-940] 固定	⇒ ビデオ レンジ
[2100 ライク(HLG)]	すべて	✓	✓	✓	[64-940] 固定	⇒ ビデオ レンジ
[2100 ライク(HLG) フル レンジ]	すべて	✓	✓		[0-1023] 固定	⇒ フルレ ンジ
上記以外	すべて				[0-255] ([0-1023])	⇒ フルレ ンジ
		✓	✓		[16-235] ([64-940]) / [16-255] ([64-1023])	⇒ ビデオ レンジ
				✓	[64-940] 固定	⇒ ビデオ レンジ



- 画像編集ソフトで動画を編集する場合は、フルレンジ用のLUTファイルの使用をお勧めします。
- 撮影した動画ファイルから画像編集ソフトを使ってLUTファイルを生成するときは、[輝度レベル設定]を[0-255]([0-1023])または[16-235]([64-940])に設定して撮影した動画ファイルの使用をお勧めします。
- 写真を撮影するときは、フルレンジ用のLUTファイルを使用してください。ビデオレンジ用のLUTファイルを適用して撮影すると、画像を正しく表示／記録できないことがあります。
- 適用したLUTファイルのレンジ属性と動画ファイルのレンジ属性が異なると、画像編集ソフトで画像が正しく生成されないことがあります。
画像編集ソフトに動画ファイルを読み込むときは、動画ファイルごとに正しいレンジ設定を選んでください。
- 本機でLUTファイルを適用して撮影した画像と、画像編集ソフトでLUTファイルを適用した結果は、完全には一致しません。

❖ 設定をマイフォトスタイルに登録する



- 1 ◀▶ でフォトスタイルの種類を選ぶ
- 2 画質を調整する
 - マイフォトスタイルでは、画質調整のいちばん上にフォトスタイルの種類が表示されます。ベースとなるフォトスタイルを選択してください。
- 3 [DISP.]ボタンを押す
- 4 ([MY PHOTO STYLE 1]～[MY PHOTO STYLE 10]選択時)
▲▼で[現在の設定を登録]を選び、 または を押す
- 5 ▲▼で登録先の番号を選び、 または を押す
 - 確認画面が表示されます。
確認画面で[DISP.]ボタンを押すと、マイフォトスタイルの名前を変更できます。
入力できる文字数は最大22文字です。全角文字は2文字の扱いになります。
文字の入力方法(→ [文字の入力: 109](#))



- [スタンダード(HLG)], [モノクローム(HLG)]は、マイフォトスタイルに登録できません。

❖ マイフォトスタイルの登録内容の変更

- 1 [MY PHOTO STYLE 1]～[MY PHOTO STYLE 10]のいずれかを選ぶ
- 2 [DISP.]ボタンを押し、項目を設定する

登録された設定の呼出

現在の設定を登録

名称変更

デフォルトに戻す

フィルター設定

- [フィルターなし同時記録: 366](#)



画像に効果(フィルター)を加えて撮影できます。

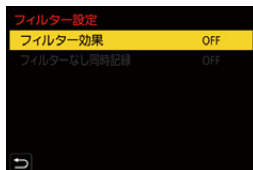
フィルターごとに効果を調整できます。また、効果のない写真も同時に撮影できます。

1 [📷]または[📹]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

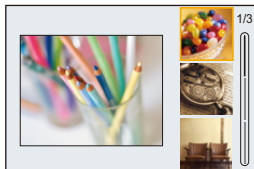
2 [フィルター効果]を設定する

- → [📷]/[📹] → [🔍] → [フィルター設定] → [フィルター効果] → [設定]



3 フィルターを選ぶ

- ▲▼で選択し、**MENU/SET** または  を押します。
- 作例写真をタッチしても選択できます。
- [DISP.]ボタンを押すと、通常表示、ガイド表示の順に画面が切り換わります。
ガイド表示では、各フィルターの説明が表示されます。



❖ フィルター効果の調整

フィルター効果の調整ができます。

- 1 フィルターを選ぶ
- 2 撮影画面で[WB]ボタンを押す
- 3 ,  または  を回して設定する
 - 撮影画面に戻るには、もう一度[WB]ボタンを押してください。
 - フィルター効果を調整すると、撮影画面のフィルターアイコンに[*]が表示されます。



フィルター	調整できる項目
ポップ	鮮やかさ
レトロ	色合い
オールドデイズ	コントラスト
ハイキー	色合い
ローキー	色合い
セピア	コントラスト
クロスプロセス	色合い
ブリーチバイパス	コントラスト

❖ タッチ操作でフィルターを設定する



- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー(操作)の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ [タッチ設定: 623](#))

- 1 [👉]をタッチする
- 2 設定する項目をタッチする
 [👉]: フィルターの入／切
 [POP]: フィルター
 [👉]: フィルター効果の調整





- ホワイトバランスは[AWB]に、フラッシュは[Ⓔ](発光禁止)に固定されます。
- ISO感度の上限は6400になります。
- フィルターによっては撮影画面がコマ落としのように表示されます。
- 以下の機能を使用中は、[フィルター効果]は使用できません。
 - ハイレゾモード
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [多重露出]
 - [ライブクロップ]



- Fnボタンで[フィルター効果]の設定画面を表示しているときに[DISP]ボタンを押すと、フィルター選択画面が表示されます。

フィルターなし同時記録



フィルター効果を加えていない写真を同時に撮影できます。

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [フィルターなし同時記録]を設定する

- → [📷] → [🔧] → [フィルター設定] → [フィルターなし同時記録]

設定: [ON]／[OFF]



- 以下の機能を使用中は、[フィルターなし同時記録]は使用できません。
 - 連写
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ
 - [記録ファイル形式(写真)]の[RAW+JPEG]、[RAW+HEIF]、[RAW]
 - [ブラケット]

リアルタイムLUT



フォトスタイルを[リアルタイムLUT]に設定し、LUTファイルを適用します。

1 Fnボタンに[リアルタイムLUT]を登録する

(→Fnボタン: 580)

2 LUTファイルの選択画面を表示する

- 手順1で設定したFnボタンを押します。
- お買い上げ後、初めて設定するときなど、「LUMIX Lab」のダウンロードサイトへのQRコードが表示される場合があります。

3 LUTを選ぶ



- ◀▶ で選択し、 を押します。
- 、 または  を回しても選択できます。
- [DISP.]ボタンを押すと、LUTファイルがリスト表示されます。
- [LUTライブラリ]に登録したLUTファイルを適用できます。(→[LUTライブラリ: 368](#))
- 初期設定では[Sample LUT1]が適用されています。
- LUTファイルを適用していないときは、撮影画面に  が表示されます。
- リアルタイムLUTを解除するには [Q] ボタンを押してください。

LUTライブラリ

- [LUTファイルのベースフォトスタイル: 372](#)



フォトスタイルやLUTビューアシストで使用するLUTファイルをカメラに登録します。

スマートフォン用アプリ「Panasonic LUMIX Lab」を使用すると、スマートフォン内のLUTファイルをカメラの[LUTライブラリ]に登録できます。

(→ [LUTライブラリ操作: 699](#))

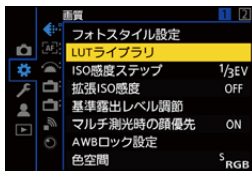


- 使用できるLUTファイル:
 - 「VARICAM 3DLUT REFERENCE MANUAL Rev.1.0」に準拠した「.vlt」形式
 - 「.cube」形式
- 「.cube」形式のLUTファイルは、2ポイント～33ポイントの3D LUTに対応しています。
- カメラにはフルレンジ用のLUTファイルを読み込むことをお勧めします。レンジ属性が異なる場合、画像が正しく表示／記録されない場合があります。
- ファイル名に使用できる文字数は、カードのファイルシステムによって異なります。(ファイル名は半角英数字をお使いください)
FAT32(SDメモリーカード／SDHCメモリーカード):8文字まで(拡張子を除く)
exFAT(CFexpressカード／SDXCメモリーカード):255文字まで(拡張子を含む)
- LUTファイルは、カードのルートディレクトリー(パソコンでカードを開いたときのフォルダー)に、拡張子を「.vlt」または「.cube」にして保存してください。
- SDRで撮影する場合はSDR用のLUTファイルを使用し、HLGで撮影する場合はHLG用のLUTファイルを使用してください。

1 LUTファイルを保存したカードをカメラに入れる

2 [LUTライブラリ]を選ぶ

-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [LUTライブラリ]



3 登録先を選ぶ

- ▲▼で選択し、 または  を押します。
- 登録済みの項目を選択すると、LUTファイルを上書きして登録します。



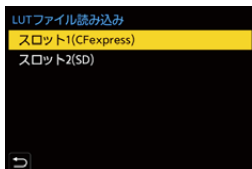
4 [読み込み]を選ぶ

-  または  を押します。
- [並べ換え]を選ぶと、LUTファイルの表示順を変更できます。
- [消去]を選ぶと、登録済みのLUTファイルを消去します。
- [名称変更]を選ぶと、LUTファイルの登録名を変更できます。



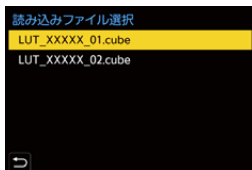
5 [スロット1(CFexpress)]または[スロット2(SD)]を選ぶ

-  または  を押します。



6 読み込むLUTファイルを選ぶ

- ▲▼で選択し、 または  を押します。





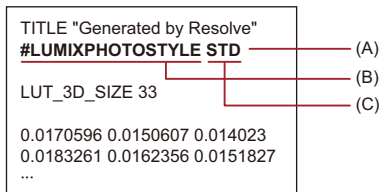
- 初期設定では、[Vlog_709]と3つのサンプルLUTが登録されています。
- LUTファイルは、39ファイルまで登録できます。
- [Vlog_709]は、[並べ換え]、[消去]および[名称変更]はできません。
- サンプルLUTの[並べ換え]および[消去]はできますが、[設定リセット]を行うと初期設定に戻ります。
- 作成時にフォトスタイル情報(ベースフォトスタイル)を設定したLUTファイル(「.cube」形式のみ)には、ベースフォトスタイルのアイコンが表示されます。

LUTファイルのベースフォトスタイル

リアルタイムLUTでは、LUTファイルに設定されたフォトスタイル情報（ベースフォトスタイル）を判別してフォトスタイルを決定します。自作したLUTファイル（「.cube」形式のみ）には、ベースフォトスタイルの情報を付与できます。LUTファイルをテキストエディターで開き、タイトル行の下にフォトスタイル情報を挿入してください。

- テキストエディターに文字コードの選択機能がある場合はUTF-8を選んでください。

例) LUTファイル（「.cube」形式）



```
TITLE "Generated by Resolve"
#LUMIXPHOTOSTYLE STD
LUT_3D_SIZE 33
0.0170596 0.0150607 0.014023
0.0183261 0.0162356 0.0151827
...
```

The diagram shows a text box containing the LUT file header. Three red lines with labels (A), (B), and (C) point to specific parts of the header: (A) points to the line '#LUMIXPHOTOSTYLE STD', (B) points to the line 'LUT_3D_SIZE 33', and (C) points to the line '0.0170596 0.0150607 0.014023'.

- (A) フォトスタイル情報
(B) 識別タグ
(C) フォトスタイルタグ

- 識別タグとフォトスタイルタグの間には半角スペースが必要です。
- フォトスタイル情報がない、または正しく設定されていない場合のベースフォトスタイルは[V-Log]になります。

フォトスタイル情報一覧

- #LUMIXPHOTOSTYLE STD: スタANDARD
- #LUMIXPHOTOSTYLE STDHLG: スタANDARD (HLG)
- #LUMIXPHOTOSTYLE VIVD: ヴィヴィッド
- #LUMIXPHOTOSTYLE NAT: ナチュラル
- #LUMIXPHOTOSTYLE LCLASN: L.クラシックネオ
- #LUMIXPHOTOSTYLE FLAT: フラット
- #LUMIXPHOTOSTYLE LAND: 風景
- #LUMIXPHOTOSTYLE PORT: 人物
- #LUMIXPHOTOSTYLE MONO: モノクローム
- #LUMIXPHOTOSTYLE MONOHLG: モノクローム (HLG)
- #LUMIXPHOTOSTYLE LMONO: L.モノクローム
- #LUMIXPHOTOSTYLE LMONOD: L.モノクロームD
- #LUMIXPHOTOSTYLE LMONOS: L.モノクロームS
- #LUMIXPHOTOSTYLE LEICAMONO: LEICAモノクローム
- #LUMIXPHOTOSTYLE CNEA2: シネライク A2
- #LUMIXPHOTOSTYLE CNED2: シネライク D2
- #LUMIXPHOTOSTYLE CNEV2: シネライク V2
- #LUMIXPHOTOSTYLE 709L: 709ライク
- #LUMIXPHOTOSTYLE 2100HLG: 2100ライク (HLG)
- #LUMIXPHOTOSTYLE 2100HLGF: 2100ライク (HLG) フルレンジ
- #LUMIXPHOTOSTYLE VLOG: V-Log

HLG撮影(HEIF形式)



HLG方式のダイナミックレンジの広いHEIF画像を撮影します。

- 「HLG(ハイブリッドログガンマ)」とは、HDRに関する国際標準規格(ITU-R BT.2100)の方式です。
- [記録ファイル形式(写真)]が[HEIF]または[RAW+HEIF]のときに設定できます。
(→ [記録ファイル形式\(写真\): 129](#))
- [JPEG/HEIF切換]が[HEIF]のときに設定できます。(→ [JPEG/HEIF切換: 132](#))

HLG方式のHEIF画像

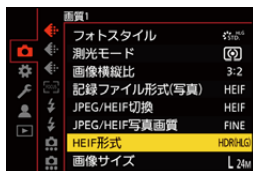
- 圧縮方式: HEVC
- カラーサンプリング: 4:2:0
- ビット数: 10 bit

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [HEIF形式]を[HDR(HLG)]に設定する

-  →  →  → [HEIF形式]



HDR(HLG)

ダイナミックレンジの広い画像をハイブリッドログガンマ方式(BT2100)で記録します。

SDR

SDR形式で記録します。



- [HDR(HLG)]設定時の[フォトスタイル]は[スタンダード(HLG)]／[モノクローム(HLG)]／[リアルタイムLUT]だけ選択できます。

レンズ補正

- 周辺光量補正: 376
- カラーシェーディング補正: 377
- 回折補正: 381

周辺光量補正



レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正した画像を撮影できます。

- 1 [📷]または[🎥]モードにする
(→ 写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82)
- 2 [周辺光量補正]を設定する
 - → [📷] / [🎥] → [🔍] → [周辺光量補正]設定: [ON] / [OFF]



- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 高いISO感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。

カラーシェーディング補正



S&Q

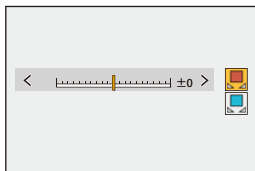
iA P A S M

レンズの特性による画面周辺の着色(カラーシェーディング)を補正します。

❖ Lマウントレンズをご使用の場合

カラーシェーディングは自動で補正されますが、手動で微調整することもできます。

- 1 [カラーシェーディング補正]を選ぶ
 - ⇒ [] / [] ⇒ [] ⇒ [カラーシェーディング補正]
- 2 赤み／青みを調整する
 - ▲▼で[赤み]／[青み]を選び、◀▶で調整します。
 - 、 または を回しても調整できます。



- 3 または を押して決定する
 - 調整値は記憶されません。
 - プリセット登録はできません。

❖ Lマウント以外のレンズをご使用の場合

Lマウント以外のレンズのカラーシェーディングを補正し、補正設定を登録できます。

[カラーシェーディング補正]を選ぶ

-  ⇒ [カメラ] / [人] ⇒ [補正] ⇒ [カラーシェーディング補正]

MANUAL

装着しているレンズのカラーシェーディングを補正します。

- 1 ▲▼で[MANUAL]を選び、 または  を押す
- 2 [DISP.]ボタンを押して、カラーシェーディング補正を実行する
 - 白やグレーなど色味の変化のない被写体を画面いっぱいに映した状態で実行してください。
 - さらに調整が必要な場合は、▼を押して手動で微調整してください。
- 3  または  を押して決定する
 - 補正值／調整値は記憶されません。記憶するには、調整画面で[DISP.]ボタンを押してプリセット登録してください。

PRESET

装着しているレンズのカラーシェーディングを補正し、プリセット登録します。(→ [プリセットの登録: 379](#))

登録済みのプリセットを呼び出すこともできます。

OFF

カラーシェーディング補正を適用しません。

調整

赤み／青みを微調整します。

- 調整値は記憶されません。
- [PRESET]に登録済みの補正值を調整した場合は、[PRESET]に[*]が表示されます。



- [カラーシェーディング補正]が働いているときは、撮影画面に[C.Shd.]が表示されます。
- [PRESET]に登録済みの補正値を調整すると、[C.Shd.]に[*]が表示されます。
- 以下の操作をすると、プリセット登録していない補正値／調整値は解除されます。
 - 電源スイッチの操作
 - レンズの交換

プリセットの登録

補正設定を12セットまで登録できます。

- 1 [カラーシェーディング補正]の[PRESET]を選ぶ
 - ⇒ [カメラ] / [人物] ⇒ [設定] ⇒ [カラーシェーディング補正] ⇒ [PRESET]
- 2 [設定1]～[設定12]の任意の項目を選び、 または を押す
- 3 [補正/調整]を選び、 または を押す
- 4 白やグレーなど色味の変化のない被写体を画面いっぱいに映した状態で[DISP.]ボタンを押す
 - カラーシェーディング補正が実行されます。 または を押してください。
 - さらに調整が必要な場合は、▼を押して手動で微調整してください。
- 5 [焦点距離]/[絞り値]を選び、 または を押す
 - ◀▶で項目を選び、▲▼で数値を入力します。
- 6 [メモ]を選び、 または を押す
 - レンズ名など任意の情報を入力できます。
入力できる文字数は最大26文字です。全角文字は2文字の扱いになります。
 - 文字の入力方法(⇒ [文字の入力: 109](#))
- 7 [DISP.]ボタンを押して、補正設定を登録する

プリセットの変更、消去

- 1 [カラーシェーディング補正]の[PRESET]を選ぶ
 -  ⇒  /  ⇒  ⇒ [カラーシェーディング補正] ⇒ [PRESET]
- 2 ▲▼で登録済みのプリセットを選び、[DISP.]ボタンを押す
- 3 ▲▼で[編集]、[並べ換え]または[消去]を選び、 または  を押す
 - [編集]を選ぶと、登録済みのプリセットの内容を変更できます。(→ [プリセットの登録: 379](#))
 - [並べ換え]を選ぶと、プリセットの表示順を変更できます。
 - [消去]を選ぶと、プリセットが消去されます。使用中のプリセットは消去できません。



- [編集]から[補正/調整]を実行すると、補正值／調整値をリセットし、カラーシェーディング補正をもう一度やり直します。
- [PRESET]に登録した情報は、セットアップ／カスタム設定をリセットすると初期設定に戻ります。

回折補正



S&Q

iA

P

A

S

M

絞りを絞ったときの回折現象のボケを補正し、画像の解像感を高めます。



⇒ [カメラ] / [ビデオ] ⇒ [設定] ⇒ [回折補正]を選ぶ

設定: [AUTO] / [OFF]



- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 高いISO感度では、ノイズが目立つ場合があります。

フラッシュ

ホットシューに外部フラッシュを装着すると、フラッシュ撮影が可能になります。また、ワイヤレスフラッシュ撮影に対応した外部フラッシュを本機に装着すると、離れた位置にある外部フラッシュをワイヤレスで制御することもできます。

- 外部フラッシュの取扱説明書もお読みください。
- 動作確認済みの外部フラッシュについては、下記サポートサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html>

- 外部フラッシュを使う: 383
- フラッシュの設定: 385
- ワイヤレスフラッシュ撮影: 394

外部フラッシュを使う

- [ホットシューカバーの取り外し: 383](#)

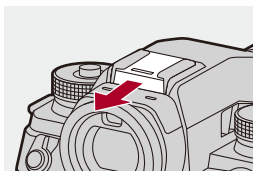


ホットシューカバーの取り外し

外部フラッシュを取り付ける前に、ホットシューカバーを取り外してください。

外部フラッシュの取り付け方について詳しくは、外部フラッシュの取扱説明書をお読みください。

ホットシューカバーを矢印の方向に引いて取り外す



❖ フラッシュ撮影時のお知らせ



- ケラレを防止するために、レンズフードを取り外してください。
- 以下の機能を使用中は、フラッシュ撮影できません。
 - 電子シャッター、[サイレントモード]
 - ハイレゾモード
 - [フィルター設定]
 - SH連写
- フラッシュに物を近づけないでください。熱や光で変形、変色することがあります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかることがあります。フラッシュ充電中はフラッシュが発光せずに撮影されます。
- 外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュだけを持って持ち運ばないでください。脱落のおそれがあります。
- 外部フラッシュを使用する場合、極性が逆のもの、またはカメラとの通信機能のあるものは使用しないでください。カメラを故障させる原因になる場合や、正常に動作しない場合があります。
- 詳しくは、外部フラッシュの取扱説明書をお読みください。

フラッシュの設定

- [フラッシュモード: 386](#)
- [発光モード、マニュアル発光量設定: 389](#)
- [フラッシュ光量調整: 391](#)
- [フラッシュシンクロ: 392](#)
- [露出補正連動: 393](#)



カメラからフラッシュの発光を制御するためのフラッシュ機能を設定できます。

フラッシュモード

フラッシュの発光方法を設定します。

1 [Ⓢ]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [フラッシュモード]を設定する

•  →  →  → [フラッシュモード]

 (強制発光) /  (赤目軽減強制発光)

フラッシュが強制的に発光します。逆光下や蛍光灯などの照明下での撮影に適しています。

 S (スローシンクロ) /  S (赤目軽減スローシンクロ)

フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景も明るく写します。

- シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をお勧めします。

 (発光禁止)

フラッシュは発光しません。



- フラッシュは2回発光します。特に[], [] 設定時は、発光間隔が長くなります。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。
- 以下を設定しているときは、[], [] は使用できません。
 - [発光モード]: [マニュアル]
 - [フラッシュシンクロ]: [後幕]
 - [ワイヤレスモード]: [ON]
- 外部フラッシュ側の設定によっては、一部のフラッシュモードが使用できないことがあります。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくいことがあります。

❖ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。

(✓: 設定可、—: 設定不可)

撮影モード					
P / A	✓	✓	✓	✓	✓
S / M	✓	✓	—	—	✓



- [iA]モード時は、[iA]または[]に設定できます。[iA]では、撮影状況に適したフラッシュモードに切り換わります。

❖ フラッシュモード別のシャッタースピード

/ : 1/60秒^{*1}～1/250秒^{*2}

/ : 1秒～1/200秒

*1 [S]モード時は60秒、[M]モード時はB(バルブ)になります。

*2 [P] / [A]モード時は1/200秒までの設定になります。

- シャッタースピードを1/250秒に設定したときは、ガイドナンバーが低下する場合があります。

発光モード、マニュアル発光量設定

フラッシュの発光量を自動で設定するか、手動で設定するかを選びます。



- 一部の外部フラッシュ装着時に、設定した内容が有効になります。
上記以外は、フラッシュ側で設定してください。

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 発光モードを設定する

- → [📷] → [⚡] → [発光モード]

TTL

フラッシュの発光量をカメラが自動で設定します。

マニュアル

フラッシュの発光量を手動で設定します。

- [TTL]では発光量が大きくなりがちな暗いシーンでも、意図どおりの撮影ができます。
- 撮影画面のフラッシュアイコンに発光量([1/1]など)が表示されます。

3 ([マニュアル]設定時)[マニュアル発光量設定]を選び、

または を押す

4 ◀▶ で発光量を設定し、 または を押す

- [1/1](フル発光)～[1/128]の範囲で、1/3 段ごとに設定できます。



フラッシュ光量調整

TTLの発光モードでフラッシュ撮影するときに、フラッシュの発光量を調整できます。

1 [Q]モードにする

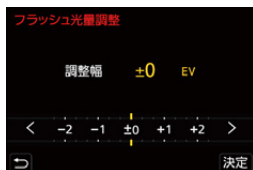
(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [フラッシュ光量調整]を選ぶ

-  →  →  → [フラッシュ光量調整]

3 ◀▶で発光量を調整し、 または を押す

- -3 EV～+3 EVの範囲で、1/3 EVごとに調整できます。



- 撮影画面にが表示されます。
- ワイヤレスフラッシュ撮影時のフラッシュ光量調整について(→ [フラッシュ光量調整: 398](#))
- 以下を設定しているときは、[フラッシュ光量調整]は使用できません。
 - [発光モード]: [マニュアル]
 - [ワイヤレスモード]: [ON]

フラッシュシンクロ

夜間、動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影すると、光の軌跡が被写体の前方に写ります。[フラッシュシンクロ]を[後幕]に設定すると、シャッターが閉じる直前にフラッシュを発光させることで、光の軌跡が被写体の後方に写り、躍動感のある写真を撮影できます。

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [フラッシュシンクロ]を設定する

-  →  →  → [フラッシュシンクロ]

先幕

一般的なフラッシュ撮影の方法です。



後幕

被写体の後方に光源が写り、躍動感が出ます。





- [後幕]設定時は、撮影画面のフラッシュアイコンに[2nd]が表示されます。
- 以下の機能を使用中は、[先幕]に固定されます。
 - [ワイヤレスモード]
 - [ライブビューコンポジット撮影]
- シャッタースピードが速いときは、効果が十分に得られないことがあります。

露出補正連動

露出補正量(→[露出補正: 325](#))に連動してフラッシュの発光量を自動で調整します。

1 [📷]モードにする

(→[写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [露出補正連動]を設定する

-  →  →  → [露出補正連動]

設定: [ON] / [OFF]

ワイヤレスフラッシュ撮影



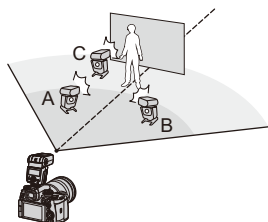
外部フラッシュを使って、ワイヤレスフラッシュ撮影ができます。3つの発光グループとカメラのホットシューに装着したフラッシュの発光を別々に制御できます。

❖ ワイヤレスフラッシュの設置

ワイヤレスフラッシュのワイヤレス受光部をカメラに向けて設置してください。

設置例

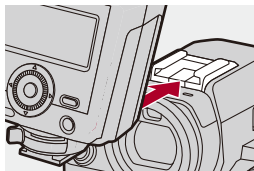
発光グループA、Bでできる被写体の背景の影を消すためにCを設置した場合



- 設置範囲は周辺の環境により異なります。
- ワイヤレスフラッシュの設置台数は、1グループ最大3台をお勧めします。
- 被写体が近すぎると、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。[ワイヤレス通信光量]を[弱]に設定したり、ディフューザーなどで減光したりすると、影響を緩和できます。(→ [ワイヤレス通信光量: 399](#))

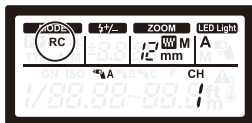
1 カメラに外部フラッシュを取り付ける

(→ [ホットシューカバーの取り外し: 383](#))



2 ワイヤレスフラッシュの設定を[RC]モードにして配置する

• ワイヤレスフラッシュのチャンネルとグループを設定してください。

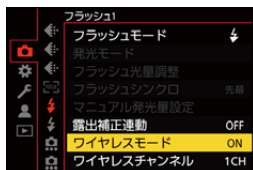


3 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

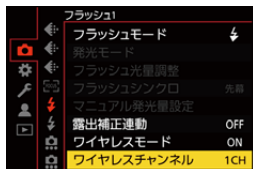
4 カメラのワイヤレスフラッシュ機能を有効にする

- **MENU/SET** ⇒ **[カメラアイコン]** ⇒ **[ワイヤレスフラッシュアイコン]** ⇒ **[ワイヤレスモード]** ⇒ **[ON]**



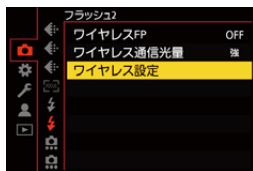
5 [ワイヤレスチャンネル]を設定する

- ワイヤレスフラッシュ側と同じチャンネルを選びます。



6 [ワイヤレス設定]を設定する

- 発光モードと発光量を設定します。



- [ワイヤレスモード]設定時は、撮影画面のフラッシュアイコンに[WL]が表示されます。

❖ 設定項目(ワイヤレス設定)

- テスト発光するには、[DISP] ボタンを押してください。



外部フラッシュ*	発光モード	[TTL]: カメラが自動で発光量を設定します。 [AUTO]: 外部フラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。 [マニュアル]: 外部フラッシュの発光量を手動で設定します。 [OFF]: 外部フラッシュは通信発光だけ行います。
	フラッシュ光量調整	[発光モード]を[TTL]に設定した場合に、外部フラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル発光量設定	[発光モード]を[マニュアル]に設定した場合に、外部フラッシュの発光量を設定します。 • [1/1](フル発光)～[1/128]まで、1/3段ごとに設定できます。

Aグループ／Bグループ／Cグループ	発光モード	[TTL]:カメラが自動で発光量を設定します。 [AUTO]*:ワイヤレスフラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。 [マニュアル]:ワイヤレスフラッシュの発光量を手動で設定します。 [OFF]:設定したグループのワイヤレスフラッシュは発光しません。
	フラッシュ光量調整	[発光モード]を[TTL]に設定した場合に、ワイヤレスフラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル発光量設定	[発光モード]を[マニュアル]に設定した場合に、ワイヤレスフラッシュの発光量を設定します。 • [1/1](フル発光)～[1/128]まで、1/3段ごとに設定できます。

* [ワイヤレスFP]を設定したときは選択できません。

❖ ワイヤレスFP

ワイヤレス撮影時に、外部フラッシュがFP発光(フラッシュが高速で発光を繰り返すこと)し、速いシャッタースピードでもフラッシュ撮影が可能になります。

 ⇒  ⇒  ⇒ [ワイヤレスFP]を選ぶ

設定: [ON]／[OFF]

❖ ワイヤレス通信光量

通信発光の強さを設定します。

 ⇒  ⇒  ⇒ [ワイヤレス通信光量]を選ぶ

設定: [強]／[中]／[弱]

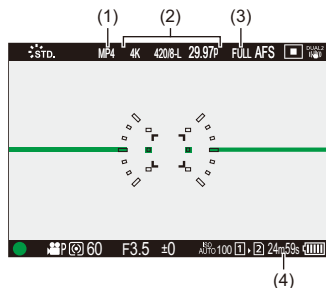
動画の設定

動画を撮影するときの設定について説明しています。

- [動画撮影に適した表示: 401](#)
- [写真・動画/S&Q独立設定: 402](#)
- [AFを使う\(動画\): 403](#)
- [動画の明るさ、色合い: 408](#)
- [音声の設定: 414](#)
- [外部マイク\(別売\): 422](#)
- [XLRマイクロホンアダプター\(別売\): 425](#)
- [ヘッドホン: 430](#)
- [タイムコード: 433](#)
- [外部機器とタイムコードを同期する: 435](#)
- [主なアシスト機能: 440](#)

動画撮影に適した表示

[] / [S&Q] モード時は、撮影画面の以下の部分が、動画撮影に適した表示に切り換わります。



- (1) 記録ファイル形式(動画) (→ [記録ファイル形式\(動画\): 148](#))
 - (2) 動画画質 (→ [動画画質: 150](#)) / スロー & クイック設定 (→ [スロー & クイック動画: 460](#))
 - (3) 動画撮影範囲 (→ [動画撮影範囲: 176](#))
 - (4) 動画記録時間 (→ [動画記録時間\(h:時間、m:分、s:秒\): 842](#))
- お買い上げ時の表示例です。ここに記載している以外のアイコンについて (→ [モニター／ファインダーの表示: 787](#))

写真・動画/S&Q独立設定



初期設定では、[]モード時と[]／[S&Q]モード時とで露出やホワイトバランスなどの設定は別々になります。写真撮影時と動画撮影時の設定を独立させるか共通にするかを選択できます。

→ [] → [] → [写真・動画/S&Q独立設定]を選ぶ

絞り値/SS/ISO/露出補正／ホワイトバランス／フォトスタイル／測光モード／AFモード：

[独立]： []モードと[]／[S&Q]モードの撮影設定を分けます。

[共通]： []モードと[]／[S&Q]モードの撮影設定が連動します。



- [iA]モードはカメラが自動で最適な撮影設定をするため、本機能の設定にかかわらず、独立した撮影設定になります。
- [独立]から[共通]に変更した場合、[]モードの設定内容が適用されます。([]／[S&Q]モードの設定内容は消去されます)

AFを使う(動画)

- 動画時のAF動作: 403
- 動画時のAFS動作: 404
- AFカスタム設定(動画): 405
- 動画ライブビュー拡大表示: 406

動画時のAF動作



動画撮影中のAFでのピントの合わせ方を選びます。

→ → → [エコモード] → [動画時のAF動作]を選ぶ

撮影中のみ

撮影中だけ自動でピントを合わせ続けます。バッテリーの消費を抑えられます。

常時

撮影待機中と撮影中にピントを合わせ続けます。



- [iA]モードでは、[動画時のAF動作]の設定にかかわらず、撮影待機中に自動でピントを合わせます。
- 動画撮影中にズーム操作をすると、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- / [S&Q]モード時にHDMI出力すると、[撮影中のみ]は[常時]に切り換わりします。

動画時のAFS動作



[] / [S&Q]モード時に、フォーカスモードレバーを[AFS]に合わせている場合の動作を設定できます。

➡ [] ➡ [] ➡ [動画時のAFS動作]を選ぶ

AFS

写真のAFSと同じ動作をします。AFは連続動作しません。

AFC

AFが連続動作します。

AF カスタム設定(動画)



[AFC]で動画を撮影するときのピントの合わせ方を細かく調整できます。

1 [AF]または[S&Q]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [AFカスタム設定(動画)]を設定する

- → → → [AFカスタム設定(動画)]

ON	下記の設定を有効にします。	
OFF	下記の設定を無効にします。	
設定	AF駆動速度	[+] 側 : 速いスピードでピントを合わせます。 [-] 側 : 緩やかなスピードでピントを合わせます。
	AF追従感度	[+] 側 : 被写体との距離が大きく変わったときに、すぐにピントを合わせ直します。 [-] 側 : 被写体との距離が大きく変わったときに、ピントの合わせ直しを少し待ちます。

- [DISP.] ボタンを押すと、項目の説明が画面に表示されます。

動画ライブビュー拡大表示



AFモードが[], [], []のとき、またはMFで撮影中に、ピント位置を拡大表示します。(AFモードが[], []のときは、画面中央が拡大表示されます)

動画撮影中にもピント位置を拡大して確認できます。

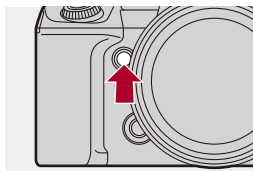
- [動画ライブビュー拡大表示]を登録したFnボタンを押しても同じ操作ができます。
(→[Fnボタン:580](#))

1 []または[S&Q]モードにする

(→[写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:82](#))

2 動画ライブビュー拡大表示ボタンを押して、ピント位置を拡大表示する

- 拡大表示画面の操作は、MFアシスト画面の操作と同じです。(→[MFアシスト画面での操作:225](#))





- 以下の機能を使用すると、拡大表示の倍率は3倍に固定されます。
 - [ハイブリッドズーム(動画)]
 - [クロップズーム(動画)]
- 使用するレンズによって、動画ライブビュー拡大表示画面が表示されない場合があります。
- 以下の機能を使用して動画撮影中は、動画ライブビュー拡大表示画面を表示できません。
 - 記録フレームレートが60.00pを超えるハイフレームレート動画用の[動画画質]
 - [ライブクロップ]



- 拡大表示画面の表示方法を変更できます：
(→ [動画ライブビュー拡大表示設定: 622](#))
- HDMI接続した外部機器に拡大表示を出力するか設定できます：
(→ [HDMI出力時の動画ライブビュー拡大表示: 519](#))

動画の明るさ、色合い

- 輝度レベル設定: 408
- マスターペダスタル: 410
- 白飛びを抑えて撮影する(二): 411
- ISO感度設定(動画): 413

輝度レベル設定



動画記録の用途に合わせて輝度の範囲を設定できます。

動画の基準である [16-235] や [16-255]、写真と同様に輝度の全域を使用する [0-255] を設定できます。

1 [動画]または[S&Q]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [輝度レベル設定]を設定する

- → [動画] → [輝度レベル設定]

[0-255]([0-1023])

フルレンジで動画を記録するための設定です。

[16-235]([64-940])

ビデオレンジで動画を記録するための設定です。

[16-255]([64-1023])

ビデオレンジで動画を記録するための設定です。

- 使用するモニター、動画再生ソフト、動画編集ソフトによっては、正しい階調で表示されない場合があります。



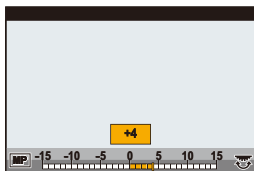
- 10 bit の[動画画質]に設定しているときは、設定項目が[0-1023]、[64-940]、[64-1023]に切り換わります。
- [記録ファイル形式(動画)]を[Apple ProRes]の422 HQ、422に設定しているときは、[64-940]に固定されます。
- [記録ファイル形式(動画)]を[MP4]、[MOV]に設定し、[フォトスタイル]を[V-Log]、[リアルタイムLUT](ベースフォトスタイルが[V-Log])に設定しているときは、[0-255]([0-1023])に固定されます。ただし、[フォトスタイル]を[リアルタイムLUT](ベースフォトスタイルが[V-Log])に設定、またはマイフォトスタイルでフォトスタイルを[V-Log]に設定しても、[Vlog_709]のLUTファイルを適用したときは、[16-255]([64-1023])に固定されます。
- [フォトスタイル]を[2100ライク(HLG)]、[リアルタイムLUT](ベースフォトスタイルが[2100ライク(HLG)])に設定しているときは、[64-940]に固定されます。
- [フォトスタイル]を[2100ライク(HLG) フルレンジ]、[リアルタイムLUT](ベースフォトスタイルが[2100ライク(HLG) フルレンジ])に設定しているときは、[0-1023]に固定されます。

マスターペDESTAL



映像の基準となる黒を調整します。

- 1 []または[S&Q]モードにする
(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))
- 2 [マスターペDESTAL]を選ぶ
 - [MENU/SET] → [] → [] → [マスターペDESTAL]
- 3 マスターペDESTALを調整する
 - []、[] または [] を回します。
 - -15～+15の範囲で設定できます。



- 以下の機能を使用中は、[マスターペDESTAL]は使用できません。
 - [フォトスタイル]の[V-Log]、[リアルタイムLUT] (ベースフォトスタイルが[V-Log])

白飛びを抑えて撮影する(二)



[フォトスタイル]を[709ライク]に設定すると、ニーを調整して白飛びを抑えた撮影ができます。

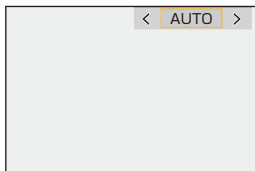
1 [フォトスタイル]を[709ライク]に設定する

- ⇒ [カメラ] / [ビデオ] ⇒ [設定] ⇒ [フォトスタイル] ⇒ [709ライク]

2 [Q]ボタンを押す

3 ニー設定を選ぶ

- ◀▶ で設定項目を選びます。



AUTO

自動で高輝度部分の圧縮レベルを調整します。

MANUAL

圧縮を開始する輝度(ニーマスターポイント)と圧縮の強さ(ニーマスタースロープ)を任意に設定します。

▲▼で項目を選び、**◀▶**で調整する

[POINT]:ニーマスターポイント

[SLOPE]:ニーマスタースロープ

-  を回すとニーマスターポイントを、 を回すとニーマスタースロープを調整できます。
- 以下の範囲で設定できます。
 - ニーマスターポイント:80.0～107.0
 - ニーマスタースロープ:0～99

OFF

4 決定する

-  または  を押します。

ISO 感度設定(動画)



ISO 感度[AUTO]時のISO 感度の下限と上限を設定します。

- 1 [📷]または[S&Q]モードにする
(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))
- 2 [ISO 感度設定(動画)]を設定する
• → [👤] → [🔧] → [ISO 感度設定(動画)]

❖ 設定項目(ISO 感度設定(動画))

ISO オート下限設定

ISO 感度[AUTO]時のISO 感度の下限を設定します。

- 100 ～ 25600 の範囲で設定できます。

ISO オート上限設定

ISO 感度[AUTO]時のISO 感度の上限を設定します。

- AUTO、200 ～ 51200 の範囲で設定できます。
-



• 使用するフォトスタイルによって、ISO 感度を設定できる範囲は異なります。

音声の設定

- 録音レベル表示: 415
- 音声入力ミュート: 415
- 録音ゲイン切換: 416
- 録音レベル設定: 417
- 録音音質: 418
- 録音レベルリミッター: 419
- 風音キャンセラー: 420
- オーディオ情報表示: 421



録音レベル表示

録音レベルを撮影画面に表示します。

1 [🔊]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:82](#))

2 [録音レベル表示]を設定する

-  → [👤] → [🔊] → [録音レベル表示]を選ぶ

ON	録音レベルを撮影画面に表示します。	
OFF	—	
設定	録音レベルの表示サイズを設定します。	
	表示サイズ	[大]／[小]



- [録音レベルリミッター]が[OFF]のとき、[録音レベル表示]は[ON]に固定されます。

音声入力ミュート

音声入力をミュートにします。

1 [🔊]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:82](#))

2 [音声入力ミュート]を設定する

-  → [👤] → [🔊] → [音声入力ミュート]

設定: [ON]／[OFF]



- 撮影画面に[🔊]が表示されます。

録音ゲイン切換

音声入力のゲインを切り換えます。

1 [⦿]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [録音ゲイン切換]を設定する

-  →  →  → [録音ゲイン切換]

標準

標準の入力ゲイン設定です。(0 dB)

低

音量が大きい環境で、音声入力を抑えて記録します。(−12 dB)



- [4chオーディオ記録]を[OFF]以外に設定しているときは、CH3／CH4の録音ゲインを調整できます。(→ [4chオーディオ記録: 428](#))
- [マイク端子]を[LINE]にして、外部音声機器を接続しているときは、[録音ゲイン切換]は使用できません。

録音レベル設定

録音レベルを手動で調整します。

1 [🔊]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [録音レベル設定]を設定する

-  →  →  → [録音レベル設定]
- ◀▶ で録音レベルを調整し、 または  を押す。

設定: [MUTE] / [-18 dB] ~ [+12 dB]



- 1 dB ごとに調整できます。
- 動画記録中にも設定できます。
- 表示されるdB値は目安です。
- [MUTE]に設定すると、撮影画面にが表示されます。
- [4chオーディオ記録]を[OFF]以外に設定しているときは、CH3 / CH4の録音レベルを調整できます。(→ [4chオーディオ記録: 428](#))

録音音質

[記録ファイル形式(動画)]が[MOV]または[Apple ProRes]のときの動画の音質を設定します。

XLRマイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR2)を接続すると、32bit フロート録音ができます。

1 [🔊]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:82)

2 [録音音質]を設定する

●  → [👤] → [🎤] → [録音音質]

96kHz/32bit

96kHz/32bitのフロート形式で音声を記録します。

- XLRマイクロホンアダプターを接続し、[4chオーディオ記録]が[OFF]のときに設定できます。

48kHz/32bit

48kHz/32bitのフロート形式で音声を記録します。

- XLRマイクロホンアダプターを接続し、[4chオーディオ記録]が[XLR]または[OFF]のときに設定できます。

96kHz/24bit

96kHz/24bitのリニア形式で音声を記録します。

- XLRマイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR2)や、ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)、ステレオマイクロホン(別売:VW-VMS10)接続時に設定できます。(→XLRマイクロホンアダプター(別売):425、外部マイク(別売):422)

48kHz/24bit

48kHz/24bitのリニア形式で音声を記録します。



- [4chオーディオ記録]が[XLR]のときは、[96kHz/32bit]または[96kHz/24bit]に設定できません。
- [4chオーディオ記録]が[XLR+カメラ]のときは、[96kHz/32bit]または[48kHz/32bit]に設定できません。
- 以下の場合は、[48kHz/16bit]に固定されます。
 - [記録ファイル形式(動画)]を[MP4]に設定時
- フロート形式とリニア形式の切り換えを行うと、記録音量が変化することがあります。

録音レベルリミッター

録音レベルを自動で調整し、音声のゆがみ(音割れ)を抑えます。

1 [🔊]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [録音レベルリミッター]を設定する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [録音レベルリミッター]

設定: [ON] / [OFF]

風音キャンセラー

音質を保ちながら、内蔵マイクに当たる風音ノイズを低減します。

1 [🔊]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [風音キャンセラー]を設定する

●  → [👤] → [🔊] → [風音キャンセラー]

強

強風を検出すると、低音を抑えてより効果的に風音を低減します。

標準

音質を損なうことなく、風音だけを抽出して低減します。

OFF

機能をオフにします。



- 撮影状況によっては十分な効果が得られない場合があります。
- [風音キャンセラー]は、内蔵マイクにだけ働きます。外部マイク接続時は[風音低減]が表示されます。(→ [風雑音の低減: 424](#))

オーディオ情報表示

音声の設定や記録状況をまとめて確認できる画面です。画面をタッチして、設定を変更することもできます。

- オーディオ情報表示画面の操作は、コントロールパネルの操作と同じです。(→ [コントロールパネル: 100](#))

1 Fnボタンに[オーディオ情報表示]を登録する

(→ [Fnボタン: 580](#))

2 オーディオ情報を表示する

- 手順**1**で設定したFnボタンを押します。
- コントロールパネル(動画モード／S&Qモード)の音声表示エリアをタッチしても表示できます。
- 画面表示について(→ [オーディオ情報表示: 802](#))

外部マイク(別売)

- 収音範囲の設定(別売:DMW-MS2): 424
- 風雑音の低減: 424



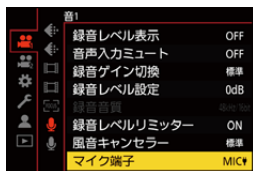
ステレオガンマイクrohon(別売:DMW-MS2)やステレオマイクrohon(別売:VW-VMS10)を使用すると、内蔵マイクよりも高音質なハイレゾ音声を記録できます。

1 [マイク]モードにする

(→ 写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82)

2 接続する機器に合わせて[マイク端子]を設定する

- → → → [マイク端子]



MIC⇩マイク入力(Plug-in Power)

カメラの[MIC]端子から電源供給が必要な外部マイクを接続するとき

MIC マイク入力

カメラの[MIC]端子から電源供給が不要な外部マイクを接続するとき

LINE ライン入力

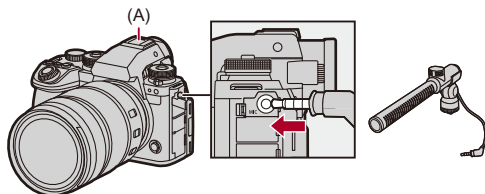
ライン出力する外部音声機器を接続するとき

- ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)装着時は、[MIC Ψ]に固定されます。
- [MIC Ψ]設定時に、電源供給が不要な外部マイクを接続すると、接続した外部マイクが故障する場合があります。接続前にご確認ください。

3 電源スイッチを[OFF]にする

4 カメラに外部マイクをつなぎ、カメラの電源を入れる

- 外部マイクをカメラのホットシュー(A)に取り付ける場合は、ホットシューカバーを取り外してください。(→ [ホットシューカバーの取り外し:383](#))



5 [録音音質]で記録する音声の音質を設定する

(→ [録音音質:418](#))



- ステレオマイクロホンケーブルは3 m未満のものをご使用ください。
- 外部マイク接続中は、画面に[EXT]が表示されます。
- 外部マイクを接続すると、[録音レベル表示]が自動で[ON]になり、画面に録音レベルが表示されます。
- 外部マイク装着時は、外部マイクを持って持ち運ばないでください。脱落のおそれがあります。
- ACアダプター使用時にノイズが記録される場合は、バッテリーをご使用ください。
- 詳しくは、外部マイクの取扱説明書をお読みください。

收音範囲の設定(別売:DMW-MS2)

ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)使用時、マイクの收音範囲を設定できます。

1 [⦿]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:82)

2 [専用マイク設定]を設定する

-  → [] → [] → [専用マイク設定]

ステレオ

広い範囲の音を收音します。

ガン

周囲の雑音を拾いにくくし、一定方向の音を收音します。

風雑音の低減

外部マイク接続時の風雑音を低減します。

1 [⦿]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:82)

2 [風音低減]を設定する

-  → [] → [] → [風音低減]

設定: [強] / [中] / [弱] / [OFF]



• [風音低減]を設定すると、通常と音質が変わる場合があります。

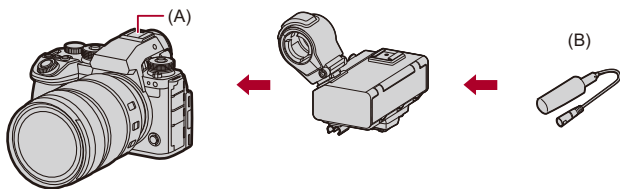
XLRマイクロホンアダプター(別売)

- 4chオーディオ記録: 428



iA P A S M

XLRマイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR2)を装着すると、市販のXLRマイクなどを使用して高音質な32bitフLOAT録音や4チャンネルの音声記録ができます。(→ [録音音質: 418](#)、[4chオーディオ記録: 428](#))



(A) ホットシュー

(B) 市販のXLRマイクなど

準備:

- カメラの電源を切り、ホットシューカバーを取り外す(→ [ホットシューカバーの取り外し: 383](#))

1 ホットシューにXLRマイクロホンアダプターを取り付け、カメラの電源を入れる

- []モードにする(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:82](#))
-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [XLRマイクアダプター設定]
- XLRマイクロホンアダプターを装着すると、[XLRマイクアダプター設定]が自動で[ON]になります。

ON

XLRマイクロホンアダプターに接続した機器の音声を記録します。

OFF

カメラの内蔵マイクの音声を記録します。

2 [録音音質]で記録する音声の音質を設定する (→ [録音音質:418](#))



別売のXLRマイクロホンアダプターDMW-XLR1について

DMW-XLR1(別売)もお使いいただけますが、以下の制約があります。

- 以下の機能は使用できません。
 - [4chオーディオ記録]の[XLR]
 - [録音音質]の[96kHz/32bit]、[48kHz/32bit]
- DMW-XLR2(別売)をお使いいただくことをお勧めします。



- XLRマイクロホンアダプター装着時は、画面に[XLR]が表示されます。
- [XLRマイクアダプター設定]を[ON]に設定し、[4chオーディオ記録]が[OFF]のとき、以下の設定が固定されます。
 - [録音レベルリミッター]:[OFF]
 - [風音キャンセラー]:[OFF]
 - [音声モニタリング]:[記録音]
- [XLRマイクアダプター設定]を[ON]に設定し、[4chオーディオ記録]が[OFF]のとき、[録音ゲイン切換]や[録音レベル設定]は使用できません。
- XLRマイクロホンアダプター装着時は、[録音レベル表示]が自動で[ON]になり、画面に録音レベルが表示されます。
- XLRマイクロホンアダプター装着時は、XLRマイクロホンアダプターを持って持ち運ばないでください。脱落のおそれがあります。
- ACアダプター使用時にノイズが記録される場合は、バッテリーをご使用ください。
- カメラの電源を入れた直後に動画撮影を開始すると、冒頭に無音区間ができる場合があります。
- 詳しくは、XLRマイクロホンアダプターの取扱説明書をお読みください。

4ch オーディオ記録

市販のXLRマイクなどを接続したXLRマイクロホンアダプター(別売: DMW-XLR2)を使って、4チャンネルの音声を記録できます。
内蔵マイクの代わりにステレオガンマイクロホン(別売: DMW-MS2)やステレオマイクロホン(別売: VW-VMS10)を使用すると、96kHz/24bitのハイレゾ音声での4チャンネル記録も可能です。(→ [外部マイク\(別売\): 422](#))

1 [🔊]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [4ch オーディオ記録]を設定する

-  → [👤] → [🔊] → [4ch オーディオ記録]

XLR

XLRマイクロホンアダプターに接続した機器の音声をCH1 / CH2 / CH3 / CH4に記録します。

XLR+カメラ

XLRマイクロホンアダプターに接続した機器の音声をCH1 / CH2に記録します。

CH3 / CH4にはカメラの内蔵マイクまたはカメラに接続した外部マイクの音声を記録します。

OFF

XLRマイクロホンアダプターに接続した機器の音声をCH1 / CH2に記録します。



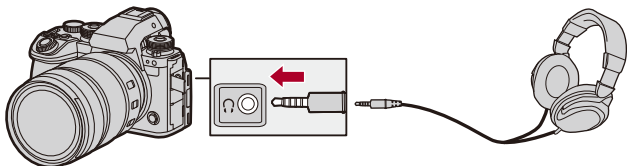
- [4chオーディオ記録]を[OFF]以外に設定しているときは、画面に[4ch]と表示されます。
- [4chオーディオ記録]を[OFF]以外に設定しているとき、HDMI接続した外部機器には4チャンネルの音声を出力します。
- [記録ファイル形式(動画)]が[MP4]のときは設定できません。
- [XLRマイクアダプター設定]が[OFF]のときは設定できません。

ヘッドホン

- 音声モニタチャンネル: 431



カメラに市販のヘッドホンを接続して、動画の音声をモニターしながら撮影できます。



- ヘッドホンケーブルは3 m未満のものをご使用ください。
- ヘッドホン接続中は、電子音や合焦音、電子シャッター音は鳴りません。

❖ 音声の出力方法の切り換え

- 1 [🎧]モードにする(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))
- 2 [音声モニタリング]を選ぶ
 - ⇒ [👤] ⇒ [🎤] ⇒ [音声モニタリング]

リアルタイム

遅延のない音声。動画に記録される音声とは異なる場合があります。

記録音

動画に記録される音声。実際の音より遅れて出力される場合があります。



- 以下の場合は、[記録音]に固定されます。
 - XLR マイクロホンアダプター（別売：DMW-XLR2）使用時（[4chオーディオ記録]を[OFF]に設定時）

❖ ヘッドホンの音量の調整

ヘッドホン接続中に  を回す

: 音量を下げる

: 音量を上げる

メニューで調整する場合:

- 1 [ヘッドホン音量]を選ぶ
 -  ⇒  ⇒  ⇒ [ヘッドホン音量]
- 2 ▲▼でヘッドホン音量を調整し、 または  を押す
 - 0～LEVEL15の範囲で調整できます。

音声モニタチャンネル

撮影時、ヘッドホンに出力する音声のチャンネルを設定できます。

再生時の音声チャンネル設定について(→ [音声モニタチャンネル\(再生時\):661](#))

1 [🔊]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:82](#))

2 [音声モニタチャンネル]を設定する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [音声モニタチャンネル]

[CH1/CH2]

CH1 (L) / CH2 (R) を出力します。

[CH3/CH4]

CH3 (L) / CH4 (R) を出力します。

[CH1+CH2/CH3+CH4]

CH1+CH2 (L) / CH3+CH4 (R) を出力します。

[CH1]

CH1 を出力します。

[CH2]

CH2 を出力します。

[CH3]

CH3 を出力します。

[CH4]

CH4 を出力します。

[CH1+CH2]

CH1 と CH2 をミックスして出力します。

[CH3+CH4]

CH3 と CH4 をミックスして出力します。

[CH1+CH2+CH3+CH4]

CH1、CH2、CH3、CH4 をミックスして出力します。



- 動画記録中にも設定できます。

タイムコード

- [タイムコードを設定する: 433](#)



[記録ファイル形式(動画)]を[MOV]または[Apple ProRes]に設定したときは、動画撮影時にタイムコードが自動で記録されます。[MP4]では、タイムコードは記録されません。

タイムコードを設定する

タイムコードの記録や表示、出力を設定します。

- 1 [📹]または[S&Q]モードにする
(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))
- 2 [記録ファイル形式(動画)]を[MOV]または[Apple ProRes]に設定する
 - [MENU/SET] → [👤] → [📹] → [記録ファイル形式(動画)] → [MOV] / [Apple ProRes]
- 3 [タイムコード設定]を選ぶ
 - [MENU/SET] → [👤] → [📹] → [タイムコード設定]

タイムコード表示

撮影画面／再生画面にタイムコードを表示します。

カウントアップ方式

[レックラン]: 動画記録中だけタイムコードをカウントします。

[フリーラン]: 動画記録停止中や電源OFF中もタイムコードをカウントします。

- 以下の機能を使用中は、[カウントアップ方式]は[レックラン]に固定されます。
 - [S&Q]モード

タイムコード値設定

[リセット]: 00:00:00:00(時:分:秒:フレーム)に設定します。

[手動入力]: 時:分:秒:フレームを手動で入力します。

[現時刻]: 時:分:秒を現在の時刻に設定し、フレームを00に設定します。

タイムコードモード

[DF]: ドロップフレーム。記録時間とタイムコードの誤差を補正して記録します。

- 秒とフレームの間が"."で表示されます。

例) 00:00:00.00

[NDF]: ノンドロップフレーム。ドロップフレームせずにタイムコードを記録します。

- 秒とフレームの間が":"で表示されます。

例) 00:00:00:00

- 以下の機能を使用中は、[タイムコードモード]は[NDF]に固定されます。
 - [システム周波数]の[50.00Hz(PAL)]、[24.00Hz(CINEMA)]
 - 47.95p、23.98pの[動画画質]

HDMIタイムコード出力

 / [S&Q]モードで撮影中に、HDMI出力する映像にタイムコードの情報を付け加えて出力します。

- 再生中も、写真/動画/S&Q切り換えスイッチを / [S&Q]に合わせるとタイムコードをHDMI出力できます。セットアップメニュー(IN/OUT)の[HDMI接続設定]の[出力解像度(再生時)]を[AUTO]に設定してください。(→ [出力解像度\(再生時\): 665](#))
- 接続する機器によっては機器の画面が黒くなる場合があります。

外部タイムコード設定

タイムコードの出力に対応した外部機器とBluetooth接続し、タイムコードを同期します。(→ [外部機器とタイムコードを同期する: 435](#))

[Bluetooth]: 外部機器とBluetooth接続します。

外部機器とタイムコードを同期する

- タイムコード同期の準備: 435
- 外部機器のタイムコードに本機を同期させる (TC IN): 438

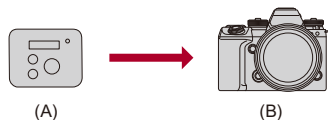


タイムコードの出力に対応した外部機器と本機を Bluetooth 接続することで、タイムコードの初期値を同期します。

- ATOMOS 製の UltraSync BLUE に対応しています。

UltraSync BLUE の対応ファームウェアバージョンは、下記サイトでご確認ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html>



(A) TC 出力

(B) TC 入力

タイムコード同期の準備

[] モードで [カウントアップ方式] を [フリーラン] にしたときに、外部機器とタイムコードの初期値を同期できます。

1 [] モードにする

(→ [写真/動画/S&Q 切り換えスイッチ: 82](#))

2 [カウントアップ方式] を [フリーラン] に設定する

- → [] → [] → [タイムコード設定] → [カウントアップ方式] → [フリーラン]

3 カメラをBluetoothのペアリング待機状態にする

-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [タイムコード設定] ⇒ [外部タイムコード設定] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [ON]
- カメラがペアリングの待機状態になります。
- ペアリング済みの外部機器がある場合は、接続待機状態になります。新規で外部機器とペアリングしたい場合は、以下の手順でペアリング待機状態にしてください。
 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [ペアリング] ⇒ [ATOMOS Wireless TC 登録]

4 外部機器でカメラとペアリングする



- ペアリング設定した外部機器はペアリング済み機器として登録されます。
- 複数の外部機器とペアリング設定していても、一度に接続できる外部機器は1つです。
- ペアリングに時間がかかるときは、外部機器とカメラ両方のペアリング設定を解除してから、もう一度設定すると正しく認識される場合があります。
- Bluetooth接続中は、撮影画面に[]が表示されます。Bluetooth機能が有効になっていても、外部機器と接続されていないときは、[]が半透明で表示されます。
- Bluetooth機器は合わせて16台まで登録できます。16台を超えて登録すると、古い登録情報から順に消去されます。
- 以下の機能を使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
 - [Frame.io 接続]

❖ Bluetooth接続の終了

Bluetooth接続を終了するには、カメラのBluetooth機能をオフにしてください。

 ➡ [] ➡ [] ➡ [Bluetooth] ➡ [Bluetooth機能] ➡ [OFF]を選ぶ



- 接続を解除してもペアリング設定は解除されません。

❖ ペアリングの解除

- 1 カメラのペアリング設定を解除する

•  ➡ [] ➡ [] ➡ [Bluetooth] ➡ [ペアリング] ➡ [解除]

- 2 ペアリングを解除する外部機器を選ぶ



- 外部機器側のペアリング設定も解除してください。
- セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットすると、登録済み機器の情報が消去されます。

外部機器のタイムコードに本機を同期させる(TC IN)

外部機器のタイムコード信号(LTC 信号)に合わせて、本機のタイムコードの初期値を同期させます。



- 事前に[システム周波数](→ [システム周波数: 146](#))、[動画画質](→ [動画画質: 150](#))、[タイムコードモード](→ [タイムコードモード: 434](#))を外部機器に合わせてください。

1 タイムコード同期の準備をする

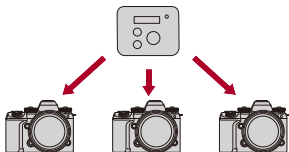
(→ [タイムコード同期の準備: 435](#))

2 外部機器でタイムコード信号を出力する

- 外部機器のタイムコードに同期すると、本機がスレーブ状態になり、画面に表示されるタイムコードの[TC]が[**TC**]に切り換わります。



- 複数の本機を同期させると、タイムコードと露光タイミングを同期し、カメラ間の露光開始タイミングを合わせることができます。



❖ スレープ状態の維持／解除／復帰

Bluetooth接続を終了しても、本機のスレープ状態は維持されます。

- 以下の操作をすると、スレープ状態が解除されます。
 - 電源スイッチの操作
 - [📷]／[S&Q]モードの切り換え
 - [システム周波数]の変更
 - [タイムコード設定]の以下の設定項目の変更
[カウントアップ方式]、[タイムコード値設定]、[タイムコードモード]
 - 記録フレームレートが119.88p／59.94p／29.97pの[動画画質]とそれ以外の[動画画質]の間での変更
- スレープ状態に復帰するには、以下のように設定した状態で、Bluetooth接続で外部機器と接続し直してください。
接続するだけでタイムコード信号(LTC信号)の入力ができます。
 - [🔊]モード
 - [タイムコード設定]の[カウントアップ方式]:[フリーラン]



- 本機と外部機器のシステム周波数が異なる場合でも、タイムコードの初期値が同期することがあります。カウントアップするごとにタイムコードがずれるため、お気をつけください。

主なアシスト機能

- 動画撮影時のフリッカー軽減: 441
- SS/ゲイン操作: 442
- シャッター速度リミッター: 444
- WFM/ ベクトルスコープ表示: 446
- スポット輝度メーター: 449
- ゼブラパターン表示: 450
- フォルスカラー: 452
- フレーム表示: 455
- カラーバー/テストトーン: 457



- カスタムメニュー(モニター/表示(動画))には、センターマーカーやセーフティーゾーンマーカーなどの表示アシスト機能があります。
(→ カスタムメニュー(モニター/表示(動画))): 640)

動画撮影時のフリッカー軽減



[]モードで動画撮影する場合に、動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定できます。

- [写真モードの動画露出自動制御]が[ON]のときに設定できます。(→ [写真モードの動画露出自動制御: 616](#))

1 []モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [動画撮影時のフリッカー軽減]を設定する

- → [] → [] → [動画撮影時のフリッカー軽減]

1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120

OFF

SS/ゲイン操作



シャッタースピードやゲイン(感度)の設定値の単位を切り換えます。

- 1 **[]または[S&Q]モードにする**
(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))
- 2 **[SS/ゲイン操作]を設定する**
 -  → [] → [] → [SS/ゲイン操作]

秒/ISO

シャッタースピードを秒、ゲインをISOの単位で設定します。

角度/ISO

シャッタースピードを角度、ゲインをISOの単位で設定します。

- 11°～358°の範囲で角度を設定できます。([シンクロスキャン(動画)]を[OFF]に設定時)

秒/dB

シャッタースピードを秒、ゲインをdBの単位で設定します。

- 0 dBは以下のISO感度に相当します。
 - [Dual Native ゲイン設定]を[自動切換]、[低感度]に設定時: 100
 - [Dual Native ゲイン設定]を[高感度]に設定時: 640



- 使用するフォトスタイルによって、ゲインを設定できる範囲は異なります。
- [SS/ゲイン操作]を[秒/dB]に設定したときは、以下のようにメニュー名が切り換わります。
 - [Dual Native ISO設定] ➡ [Dual Native ゲイン設定]
 - [ISO感度設定(動画)] ➡ [ゲイン設定]
 - [ISOオート下限設定] ➡ [オートゲイン下限設定]
 - [ISOオート上限設定] ➡ [オートゲイン上限設定]
 - [拡張ISO感度] ➡ [拡張ゲイン設定]
 - [ISO感度画面の操作] ➡ [ゲイン設定画面の操作]

❖ ゲイン(感度)の設定範囲

[SS/ゲイン操作]を[秒/dB]に設定時、ゲイン(感度)は以下の範囲で設定できます。

Dual Native ゲイン設定	拡張ゲイン設定	ゲイン(感度)の設定範囲
自動切換	OFF	AUTO、0 dB ~ 54 dB
	ON	AUTO、-6 dB ~ 66 dB
低感度	OFF	AUTO、0 dB ~ 18 dB
	ON	AUTO、-6 dB ~ 18 dB
高感度	OFF	AUTO、0 dB ~ 38 dB
	ON	AUTO、-6 dB ~ 50 dB

シャッター速度リミッター



S&Q

iA P A S M

動画の記録フレームレートによってシャッタースピードの下限を変更できます。[ON]に設定すると、シャッタースピードがフレームレートを下回らないように制限します。シャッタースピードをフレームレートより長くしたい場合は[OFF]に設定してください。

1 [映画]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [シャッター速度リミッター]を設定する

- → → → [シャッター速度リミッター]

ON

シャッタースピードがフレームレートを下回らないように制限します。

OFF

シャッタースピードがフレームレートを下回らない制限をかけません。

❖ シャッタースピードの下限

動画の記録 フレーム レート	シャッター速度リミッター			
	ON		OFF	
	AFS／AFC	MF	AFS／AFC	MF
23.98p／ 24.00p／ 25.00p	1/25秒			1/2秒*
29.97p	1/30秒			
47.95p	1/50秒		1/25秒([iA]／[S]／[M]) 1/50秒([P]／[A])	
48.00p				
50.00p				
59.94p	1/60秒		1/30秒([iA]／[S]／[M]) 1/60秒([P]／[A])	
100.00p	1/100秒			
119.88p	1/125秒			

* [📷]モード時:

[M]モード([動画/S&Qの露出設定]を[M]に設定、または[モードダイヤル]に設定してモードダイヤルが[M])のときに設定可能(➡ [動画/S&Qの露出設定: 616](#))

[📷]モード時:

[写真モードの動画露出自動制御]を[OFF]に設定(➡ [写真モードの動画露出自動制御: 616](#))

WFM/ ベクトルスコープ表示



撮影画面にウェーブフォーム、ベクトルスコープを表示します。ウェーブフォームは、表示サイズを変更できます。

1 [WFM/ ベクトルスコープ表示]を設定する

- → → → [WFM/ ベクトルスコープ表示]

WAVE

ウェーブフォームを表示します。

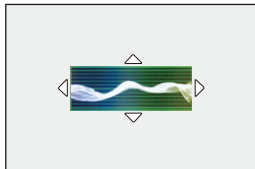
VECTOR

ベクトルスコープを表示します。

OFF

2 表示する位置を選ぶ

- ▲▼◀▶ で選択し、 または を押します。
- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
- タッチ操作でも移動できます。
- を回すと、ウェーブフォームの大きさを変更できます。
- 位置を中央に戻すには [DISP.] ボタンを押してください。ウェーブフォームの場合は、もう一度 [DISP.] ボタンを押すと大きさを初期設定に戻すことができます。



❖ 画面の表示

ウェーブフォーム

- 本機のウェーブフォームでは、輝度値を以下として表示します。

0 % (IRE*) = 輝度値 16 (8 bit) / 64 (10 bit)

100 % (IRE*) = 輝度値 235 (8 bit) / 940 (10 bit)

* IRE : Institute of Radio Engineers



(A) 109 % (IRE) (点線)

(B) 100 % (IRE)

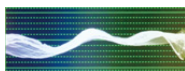
(C) 50 % (IRE)

(D) 0 % (IRE)

(E) -4 % (IRE) (点線)

(F) 0 % ~ 100 % の間は、10 % ごとに点線を表示

表示例：



ベクトルスコープ



- (G) R(レッド)
(H) YL(イエロー)
(I) G(グリーン)
(J) MG(マゼンタ)
(K) B(ブルー)
(L) CY(シアン)

表示例:



- Fn ボタンに機能を登録すると、動画撮影中に表示／非表示を切り換えることができます。(→ [Fn ボタン: 580](#))
- 撮影画面上でドラッグしても位置を移動できます。
- ウェーブフォームとベクトルスコープは、HDMI 出力されません。

スポット輝度メーター



S&Q

iA P A S M

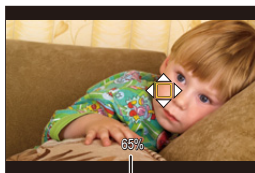
被写体の任意の位置を指定し、狭い範囲の輝度を測定します。

1 [スポット輝度メーター]を設定する

- → → → [スポット輝度メーター] → [ON]

2 輝度を測る位置を選ぶ

- で選択し、 または を押します。
- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
- 撮影画面上で枠をドラッグしても位置を移動できます。
- 位置を中央に戻すには[DISP.]ボタンを押してください。



(M)

(M) 輝度値

❖ 測定範囲

-7 % ~ 109 % (IRE) の範囲を測定できます。

- [フォトスタイル] が [V-Log] のとき、または [リアルタイム LUT] (ベースフォトスタイルが [V-Log]) で LUT ファイルを適用していないときは、Stop の単位で測定します。
(18 % グレーの出力レベルを 0 Stop で換算します)

ゼブラパターン表示



S&Q

iA P A S M

基準値より明るい部分をしま模様で表示します。

また、基準と幅を設定して、指定した範囲の明るさの部分のしま模様で表示することもできます。



ゼブラ1



ゼブラ2



ゼブラ1+2



→ [設定] → [表示] → [ゼブラパターン表示] を選ぶ

ゼブラ1	基準値より明るい部分をゼブラ1のしま模様で表示します。	
ゼブラ2	基準値より明るい部分をゼブラ2のしま模様で表示します。	
ゼブラ1+2	[ゼブラ1]、[ゼブラ2]の両方を表示します。	
OFF	—	
設定	基準の明るさを設定します。	
	ゼブラ1	[50%]～[105%]／[基準/幅]
	ゼブラ2	[50%]～[105%]／[基準/幅]

❖ [設定]で[基準/幅]を選択したとき

[基準]で設定した明るさを中心に、[幅]で設定した範囲の明るさの部分をしま模様で表示します。

- [基準]は0 %～109 % (IRE)の範囲で設定できます。
- [幅]は±1 %～±10 % (IRE)の範囲で設定できます。
- [フォトスタイル]が[V-Log]のとき、または[リアルタイムLUT](ベースフォトスタイルが[V-Log])でLUTファイルを適用していないときは、Stopの単位で設定します。
(18 % グレーの出力レベルを0 Stopで換算します)



- [基準/幅]設定時は、[ゼブラ1+2]は選択できません。

フォルスカラー



輝度レベルに応じて色分けして表示します。映像全体の露出を確認するときに便利です。

 ➔  ➔  ➔ **[フォルスカラー]を選ぶ**

開始

フォルスカラーが適用された撮影画面になります。

- 撮影した映像は、フォルスカラー非適用の映像として記録されます。

フォルスカラーインデックス

フォルスカラーのインデックスを表示します。

❖ 表示パターン

- (A) [フォトスタイル]を[V-Log]、[リアルタイムLUT](ベースフォトスタイルが[V-Log])に設定時([LUT]非適用)
- (B) [フォトスタイル]を(A)以外に設定時([LUT]非適用)
- (C) [フォトスタイル]で[LUT]を適用しているとき、または[フィルター設定]が[ON]のとき

	(A)	(B)	(C)
赤色	1/3 stop below clipping	White clipping	
黄色	2/3 stop below clipping	Just below white clipping/white shoulder	
桃色	1 stop over 18% middle gray	One stop over medium gray	—
緑色	18% middle gray	18% neutral gray	—
青色	Edge of shadow detail	Just above black clipping/black slope	
紫色	Noise floor	Black clipping	



- [フォトスタイル]で[LUT]を適用している場合に、フォルスカラーインデックス上で表示される色でも、適用しているLUTファイルによっては輝度の信号が入力されずに着色しないことがあります。
- [フォルスカラー]の撮影画面では、以下の機能は表示されなくなります。
 - フォーカス枠
 - [水準器表示]
 - スポット測光ターゲット
 - タッチAE
 - [スポット輝度メーター]
 - [ヒストグラム表示]
 - [WFM/ベクトルスコープ表示]
 - [手ブレ状態スコープ]
 - [ライブクロップ]
 - [オーディオ情報表示]
 - [タイムコード表示]
- 以下の機能を使用中は、[フォルスカラー]は使用できません。
 - [多重露出]

フレーム表示



S&Q

iA P A S M

設定した横縦比のフレームを撮影画面に表示します。
後工程でトリミング(クロップ)するときの画角をイメージしながら撮影できます。



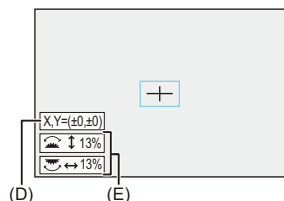
⇒ [設定] ⇒ [フレーム表示] ⇒ [フレーム表示]を選ぶ

ON	撮影画面に枠を表示します。	
OFF	—	
設定	フレーム横縦比	枠の横縦比を設定します。 [2.39:1] / [2.35:1] / [2.00:1] / [1.85:1] / [16:9] / [4:3] / [5:4] / [1:1] / [4:5] / [9:16] / [カスタム]
	フレーム色	枠の色を設定します。
	フレームマスク	枠の外側の不透明度を設定します。 [100%] / [75%] / [50%] / [25%] / [OFF]

❖ [設定]の[フレーム横縦比]で[カスタム]を選択したとき

フレームの横縦比を自由に設定できます。

- ▲▼◀▶ で中心の位置を移動します。
- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
- 撮影画面上で枠をドラッグしても位置を移動できます。
- [🏔]で枠の高さ、[🏞]で枠の幅を設定します。
- フレームをピンチアウト／ピンチインしても大きさを変更できます。



(D) 中心の座標(画面中央を0とする)

(E) 枠の高さと幅

- 横縦比は1%～100%の範囲で設定できます。
- [DISP] ボタンを押すと、1回目はフレームの位置を中央に戻します。2回目はフレームの大きさを初期設定に戻します。

カラーバー／テストトーン



S&Q

iA P A S M

撮影画面にカラーバーを表示します。カラーバー表示中は、テストトーンが出力されます。



⇒ [設定] ⇒ [] ⇒ [カラーバー]を選ぶ

設定: [SMPTE]／[EBU]／[ARIB]

- 表示を終了するには、を押してください。



SMPTE



EBU



ARIB

❖ テストトーンの調整

テストトーンのレベルは、4段階(−12 dB、−18 dB、−20 dB、MUTE)から選択できます。

、 または  を回してテストトーンのレベルを選択する



- カラーバーの表示中に動画の記録を開始すると、カラーバーとテストトーンが動画に記録されます。
- 本機のモニター／ファインダーに表示される明るさや色合いは、外部モニターと異なる場合があります。

特殊な動画撮影

本章では、スローモーション／クイックモーション動画やLog撮影など、応用的な動画撮影について説明しています。

- [スロー & クイック動画: 460](#)
- [ハイフレームレート動画: 467](#)
- [フォーカストランジション: 468](#)
- [ライブクロップ: 472](#)
- [Log撮影する: 477](#)
- [HLG動画: 482](#)
- [アナモフィック撮影: 485](#)
- [シンクロスキャン\(動画\): 489](#)
- [ループ記録\(動画\): 491](#)
- [動画分割記録: 493](#)
- [特殊な動画を撮影できる動画画質一覧: 494](#)

スロー & クイック動画



[S&Q]モードでは、記録フレームレートと異なるフレームレートで撮影し、MOV形式のスローモーション動画、クイックモーション動画を作成できます。

スローモーション動画(オーバークランク撮影)

フレーム数を[動画画質]の記録フレームレートより多く設定してください。

例) 29.97pの[動画画質]に設定しているときに60 fpsで撮影すると、1/2倍速になります。

クイックモーション動画(アンダークラック撮影)

フレーム数を[動画画質]の記録フレームレートより少なく設定してください。

例) 29.97pの[動画画質]に設定しているときに15 fpsで撮影すると、2倍速になります。



- 映像圧縮方式がALL-Intraの動画画質のスロー&クイック動画は、SDカードに記録できません。CFexpressカードを使用してください。
- スローモーション動画は、記録するデータ量が増えるため、カードの書き込み速度が足りない場合、記録が停止することがあります。

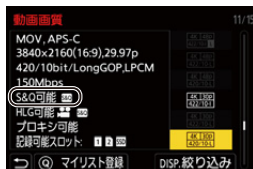
1 [S&Q]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

- [記録ファイル形式(動画)]が[MOV]になります。

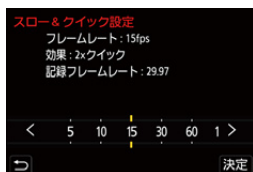
2 スロー&クイック動画を撮影できる動画画質を選ぶ

-  →  →  → [動画画質]
- スロー&クイック動画を撮影できる項目には、[S&Q可能]と表示されます。
- スロー&クイック動画を撮影できる動画画質 (→ [特殊な動画を撮影できる動画画質一覧: 494](#))



3 フレームレートを設定する

-  →  →  → [スロー & クイック設定]
- 、 または  を回して数値を選び、 または  を押します。



❖ フレームレートの組み合わせと再生速度

フレーム レート	システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]				
	C4K/29.97p Cs4K/29.97p 4K/29.97p	C4K/23.98p Cs4K/23.98p 4K/23.98p	FHD/59.94p	FHD/29.97p	FHD/23.98p
1 fps	30xクイック	24xクイック	60xクイック	30xクイック	24xクイック
2 fps	15xクイック	12xクイック	30xクイック	15xクイック	12xクイック
5 fps	6xクイック	4.8xクイック	12xクイック	6xクイック	4.8xクイック
10 fps	3xクイック	2.4xクイック	6xクイック	3xクイック	2.4xクイック
15 fps	2xクイック	1.6xクイック	4xクイック	2xクイック	1.6xクイック
30 fps	効果なし(1x)	1.25xスロー	2xクイック	効果なし(1x)	1.25xスロー
60 fps	2xスロー	2.5xスロー	効果なし(1x)	2xスロー	2.5xスロー
100 fps			1.67xスロー	3.33xスロー	4.17xスロー
120 fps			2xスロー	4xスロー	5xスロー
150 fps			2.5xスロー	5xスロー	6.25xスロー
180 fps			3xスロー	6xスロー	7.5xスロー

フレーム レート	システム周波数:[50.00Hz(PAL)]		
	C4K/25.00p Cs4K/25.00p 4K/25.00p	FHD/50.00p	FHD/25.00p
1 fps	25×クイック	50×クイック	25×クイック
2 fps	12.5×クイック	25×クイック	12.5×クイック
5 fps	5×クイック	10×クイック	5×クイック
10 fps	2.5×クイック	5×クイック	2.5×クイック
15 fps	1.67×クイック	3.33×クイック	1.67×クイック
30 fps	1.2×スロー	1.67×クイック	1.2×スロー
60 fps	2.4×スロー	1.2×スロー	2.4×スロー
100 fps		2×スロー	4×スロー
120 fps		2.4×スロー	4.8×スロー
150 fps		3×スロー	6×スロー
180 fps		3.6×スロー	7.2×スロー

フレーム レート	システム周波数:[24.00Hz(CINEMA)]	
	C4K/24.00p Cs4K/24.00p 4K/24.00p	FHD/24.00p
1 fps	24×クイック	24×クイック
2 fps	12×クイック	12×クイック
5 fps	4.8×クイック	4.8×クイック
10 fps	2.4×クイック	2.4×クイック
15 fps	1.6×クイック	1.6×クイック
30 fps	1.25×スロー	1.25×スロー
60 fps	2.5×スロー	2.5×スロー
100 fps		4.17×スロー
120 fps		5×スロー
150 fps		6.25×スロー
180 fps		7.5×スロー

❖ スロー&クイック動画撮影時のシャッタースピード

スロー&クイック動画撮影時は、[スロー & クイック設定]のフレームレートによってシャッタースピードの下限が変わります。

フレームレート	シャッタースピードの下限	
	AFS / AFC	MF
1 fps	1/30 秒	1 秒
2 fps		1/2 秒
5 fps		1/5 秒
10 fps		1/10 秒
15 fps		1/15 秒
30 fps		1/30 秒
60 fps	1/60 秒	1/60 秒
100 fps	1/100 秒	1/100 秒
120 fps	1/125 秒	1/125 秒
150 fps		1/160 秒
180 fps		1/200 秒



- スロー & クイック撮影中は、音声は記録されません。
- 解像度がC4K／4Kの[動画画質]に設定しているときは、[動画撮影範囲]は[APS-C]に固定されます。
- [動画撮影範囲]の[PIXEL/PIXEL]は選択できません。
- フレームレートを150 fps以上に設定すると、MFに切り換わります。(撮影開始前だけ、[AF ON] ボタンを押すと自動でピントを合わせます)
- [動画画質]や[スロー & クイック設定]のフレームレートの設定によっては、以下のクロップ倍率で撮影されます。
 - FHD動画: 約1.22倍(151 fps以上)

ハイフレームレート動画



高フレームレートのMOV動画をカードに記録できます。

対応したソフトウェアでフレームレートを変換することで、スローモーション動画に上げることができます。スロー & クイックモードではできない、音声記録が可能です。

1 [動画]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [記録ファイル形式(動画)]を[MOV]に設定する

- → [動画] → [記録ファイル形式(動画)] → [MOV]

3 ハイフレームレート動画用の動画画質を選ぶ

- → [動画] → [動画画質]
- [動画画質]をフレームレートで絞り込むと、条件に合ったフレームレートの動画画質だけを表示できます。(→ [絞り込み: 166](#))
- ハイフレームレート動画用の動画画質(→ [特殊な動画を撮影できる動画画質一覧: 494](#))



- ハイフレームレート動画撮影時は、動画の記録フレームレートによってシャッター速度の下限が変わります。[シャッター速度リミッター]でシャッター速度の下限を設定できます。(→ [シャッター速度リミッター: 444](#))
- HDMI出力時は、解像度とフレームレートをダウンコンバートして出力する場合があります。(→ [ダウンコンバート設定: 512](#))

フォーカストランジション



iA P A S M

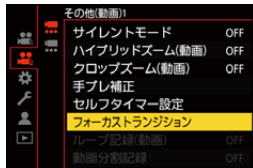
フォーカス位置を、現在の位置から事前に登録した位置に滑らかに移動します。

1 [動画]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

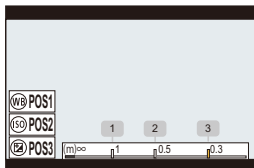
2 [フォーカストランジション]を選ぶ

- → → → [フォーカストランジション]
- [フォーカス位置を設定してください]のメッセージが表示されたら、 または を押してください。



3 フォーカス位置の設定をする

- MF(→MFで撮る:223)と同じ操作でピントを確認し、[WB]、[ISO]、
[]を押してフォーカス位置を設定してください。
- [POS1]～[POS3]をタッチしても設定できます。



4 フォーカス位置を登録する

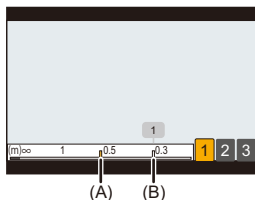
-  または  を押してフォーカス位置を登録します。

5 撮影を開始する

- 動画記録ボタンを押します。
- 撮影前に[DISP.]ボタンを押すと、詳細設定画面が表示されます。(→設定項目
(フォーカストランジション):470)
- [フォーカストランジションレック]を設定したときは、撮影開始と同時に、
フォーカストランジションを開始します。

6 フォーカストランジションを開始する

- ◀▶で[1]、[2]または[3]を選び、 または  を押します。
- [フォーカストランジションウエイト]を設定したときは、設定した時間が経過したあと、フォーカストランジションを開始します。



- (A) 現在のフォーカス位置
(B) 登録したフォーカス位置

7 フォーカストランジションを終了する

- [Q] ボタンを押します。

8 撮影を終了する

- もう一度、動画記録ボタンを押します。

❖ 設定項目(フォーカストランジション)

フォーカス位置設定

フォーカス位置を登録します。

フォーカストランジション速度

フォーカス位置を移動する速さを設定します。

- 移動速度:[SH] (速い)～[SL] (遅い)
-

フォーカストランジションレック

撮影開始と同時にフォーカストランジションを開始します。

- [フォーカス位置設定]で登録した位置を選んでください。
-

フォーカストランジションウエイト

フォーカストランジションを開始するまでの時間を設定します。

- [↩] ボタンを押すと、撮影画面が表示されます。



- フォーカス位置の設定後は、被写体との距離が変化しないようにしてください。
- フォーカス位置が移動する速さは、使用するレンズによって異なります。
- レンズの最短撮影距離付近、または無限遠付近では、フォーカス位置が移動する速さが低下します。
- [フォーカストランジション]使用中は、登録したフォーカス位置以外にピントを合わせられません。
- 以下の操作をすると、フォーカス位置の登録が解除されます。
 - 電源スイッチの操作
 - ズーム操作
 - フォーカスモードの切り換え
 - 撮影モードの切り換え
 - レンズの交換
- 以下の機能を使用中は、[フォーカストランジション]は使用できません。
 - [ライブクロップ]
- フォーカスモードの[AFC]に対応していない交換レンズを装着しているときは、[フォーカストランジション]は使用できません。

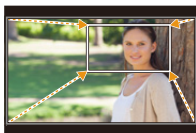
ライブクロップ



ライブビューで表示される画像の範囲から一部を切り出すことで、カメラを固定したままパンやズームの動作を加えた4K／FHD動画を記録できます。



パン



ズームイン



• カメラのブレを抑えるために、三脚を使用してください。

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 ライブクロップを撮影できる動画画質を選ぶ

-  → [] → [] → [動画画質]
- ライブクロップを撮影できる動画画質(→ [特殊な動画を撮影できる動画画質一覧: 494](#))

3 パンやズームの効果を設定する

-  → [] → [] → [ライブクロップ] → [設定]

動作時間

2～40秒の間で設定します。

イーズ設定

効果を選択します。

[リニア]: 等速で移動します。

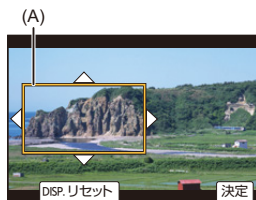
[イーズイン]: 徐々に加速します。

[イーズアウト]: 徐々に減速します。

[イーズインアウト]: 加速したあと減速します。

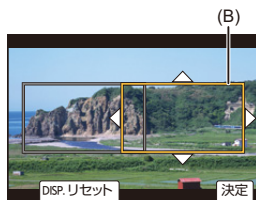
4 切り出し枠を設定する

-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [ライブクロップ] ⇒ [設定] ⇒ [切り出し枠設定]
- 切り出しを開始する範囲を選び、 または  を押します。



(A) 切り出し開始枠

- 切り出しを終了する範囲を選び、 または  を押します。



(B) 切り出し終了枠

- 開始枠、終了枠の位置／大きさを設定し直すには、◀を押してください。
- []を押すと、設定した効果を確認できます。

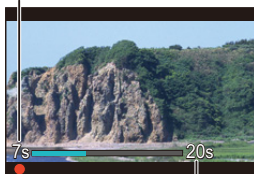
5 ライブクロップ撮影を有効にする

-  ⇒  ⇒  ⇒ [ライブクロップ] ⇒ [ON]
- ライブクロップを撮影できない動画画質を選んでいる場合は、撮影できる動画画質に切り換わります。

6 ライブクロップ撮影を開始する

- 動画記録ボタンを押します。
- 設定した動作時間が経過すると、自動的に撮影が終了します。途中で撮影を止めるには、再度動画記録ボタンを押してください。

(C)



(D)

(C) 記録経過時間

(D) 設定した動作時間

❖ 切り出し枠の設定操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	枠の移動
 / 	ピンチアウト／ ピンチイン	枠を細かく拡大／縮小
	—	枠を拡大／縮小
[DISP.]	[リセット]	開始枠: 枠の位置と大きさを初期設定に戻す 終了枠: 枠の位置と大きさの設定を解除する
 / 	[決定]	枠の位置と大きさの決定



- AFモードは[]に切り換わります。
- 切り出す範囲内で明るさの測定とピント合わせを行います。ピント位置を固定する場合は、フォーカスモードを[MF]に設定してください。
- [測光モード]は[](マルチ測光)に固定されます。
- APS-C用レンズ使用時は、4Kの[動画画質]は設定できません。

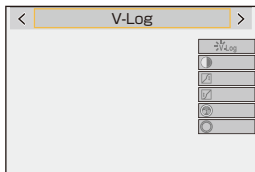
Log撮影する

- Logビューアシスト:481



[フォトスタイル]を[V-Log]に設定すると、Log撮影ができます。ポストプロダクション処理により、階調の豊かな映像に上げることができます。

 ➔  /  ➔  ➔ [フォトスタイル] ➔ [V-Log]を選ぶ



- LUT(ルックアップテーブル)を使ってポストプロダクション処理ができます。
[V-Log]用のLUTファイルは、下記サポートサイトからダウンロードできます。
<https://panasonic.jp/support/dsc/download/index3.html>

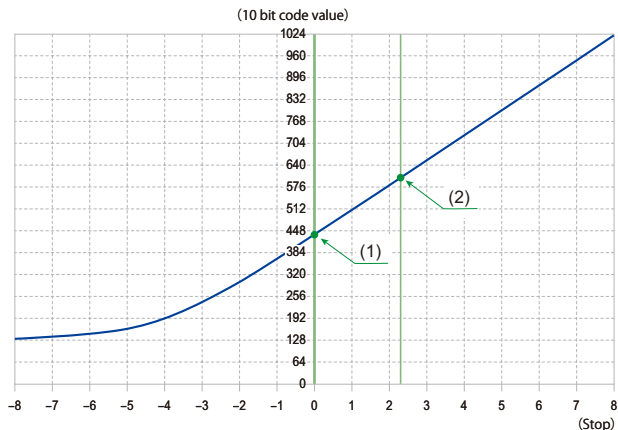
❖ [V-Log]設定時のISO感度

使用できるISO感度の下限は640([拡張ISO感度]設定時:320)、上限は51200までになります。

- [Dual Native ISO設定]の[低感度]や[高感度]で使用できるISO感度の範囲も変化します。
- ISO感度が変化する場合は、必要に応じて露出を設定し直してください。

❖ [V-Log]設定時の露出

[V-Log]のカーブ特性は、「V-Log/V-Gamut REFERENCE MANUAL Rev.1.0」に準拠しています。[V-Log]に設定した場合は、反射率18%のグレーを撮像したときの標準露出が、IREで42%になります。



[フォトスタイル]を[V-Log]に設定時				
反射率(%)	IRE(%)	Stop	10 bit code value	12 bit code value
0	7.3	—	128	512
(1) 18	42	0.0	433	1732
(2) 90	61	2.3	602	2408

- Stopの単位で輝度を表示する場合、本機はIRE 42%を0 Stopに換算します。



- Stopの単位で輝度を確認できます：

(→ スポット輝度メーター: 449、ゼブラパターン表示: 450)

Logビューアシスト

[フォトスタイル]を[V-Log]に設定すると、撮影画面やHDMI出力された映像は暗く表示されます。[Logビューアシスト]を使用すると、LUTファイルを適用した映像をモニター／ファインダーに表示したり、HDMI出力したりできます。



⇒ [設定] ⇒ [カメラ] ⇒ [Logビューアシスト]を選ぶ

LUT選択(V-Log)

プリセットまたは[LUTライブラリ]に登録したLUTファイルから適用するLUTファイルを選びます。(⇒ [LUTライブラリ: 368](#))

LUTビューアシスト(モニター)

LUTファイルを適用した映像を本機のモニター／ファインダーに表示します。

LUTビューアシスト(HDMI)

LUTファイルを適用した映像をHDMI出力します。



- LUTファイルを適用しているときは、撮影画面に[LUT]が表示されます。
- [フォトスタイル]が[V-Log]のとき、ベースフォトスタイルが[V-Log]以外のLUTファイルは適用できません。
- [フォトスタイル]の画質調整で[LUT]を適用しているときは、[LUTビューアシスト(モニター)]／[LUTビューアシスト(HDMI)]は動きません。

HLG動画

● HLGビューアシスト: 484



HLG方式のダイナミックレンジの広い動画を撮影します。白飛びしやすいまぶしい光や黒つぶれしやすい暗部を、肉眼で見たようなこまやかで豊かな色彩で記録できます。

撮影した動画は、HLG方式に対応した機器(テレビなど)にHDMI出力したり、対応した機器で直接再生したりすることで観賞できます。

- 「HLG(ハイブリッドログガンマ)」とは、HDRに関する国際標準規格(ITU-R BT.2100)の方式です。

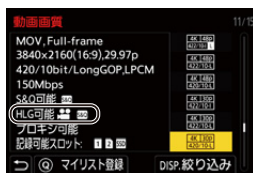
1 []または[S&Q]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 HLG動画を撮影できる動画画質を選ぶ

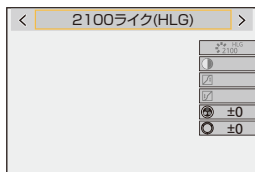
- → [] → [] → [動画画質]

- HLG動画を撮影できる項目には、[HLG可能]と表示されます。
- HLG動画を撮影できる動画画質(→ [特殊な動画を撮影できる動画画質一覧: 494](#))



3 [フォトスタイル]を[2100ライク(HLG)]または[2100ライク(HLG) フルレンジ]に設定する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [フォトスタイル] ⇒ [2100ライク(HLG)]
／[2100ライク(HLG) フルレンジ]



- 本機のモニター／ファインダーは、HLG方式の表示に対応していません。カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[HLGビューアシスト]の[モニター]で、確認用に変換した映像を、本機のモニター／ファインダーに表示できます。
(→ [HLGビューアシスト: 484](#))



- HLG方式に非対応の機器では、HLG画像は暗く表示されます。カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[HLGビューアシスト]の[HDMI]で、確認用に表示する映像の変換方法を設定できます。(→ [HLGビューアシスト: 484](#))

❖ [2100ライク(HLG)]／[2100ライク(HLG) フルレンジ]設定時のISO感度

使用できるISO感度の下限は400になります。

- [Dual Native ISO設定]の[低感度]や[高感度]で使用できるISO感度の範囲も変化します。
- ISO感度が変化する場合、必要に応じて露出を設定し直してください。

HLGビューアシスト

HLG動画を撮影、再生するときに、色域と明るさを変換した映像を本機のモニター／ファインダーに表示したり、HDMI出力したりします。

 ➡  ➡  ➡ **[HLGビューアシスト]** ➡ **[モニター]**／
[HDMI]を選ぶ

AUTO*

HDR(HLG方式)非対応の機器に接続したときだけ、[MODE2]の設定でHDMI出力する映像を変換します。

MODE1

空などの明るさを重視して変換します。

- 撮影画面に [MODE1] が表示されます。

MODE2

主要な被写体の明るさを重視して変換します。

- 撮影画面に [MODE2] が表示されます。

OFF

色域と明るさを変換せずに表示します。

- HLG方式に非対応の機器では、HLG画像は暗く表示されます。

* [HDMI] 選択中にだけ設定できます。

アナモフィック撮影

- [アナモフィック デスクイーズ表示: 487](#)



多様な映像フォーマット(動画画質)から、アナモフィック撮影に応じた動画画質を選んで撮影できます。

アナモフィック撮影時に、デスクイーズした映像の表示や、デスクイーズ編集後にクロップする画角の表示ができます。アナモフィック撮影に適した手ブレ補正に切り換えることもできます。

- アナモフィック撮影に適した手ブレ補正について(→ [アナモフィック\(動画\): 303](#))

1 [人]または[S&Q]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [記録ファイル形式(動画)]を設定する

- → [人] → [記録ファイル形式(動画)]

3 アナモフィック撮影に応じた動画画質を選ぶ

- → [人] → [記録ファイル形式(動画)] → [動画画質]

- 以下の動画画質は[人]モード時に設定できます:
 - 解像度がC4Kを超える[動画画質]
 - 記録フレームレートが60.00pを超えるハイフレームレート動画用の[動画画質]
- [記録ファイル形式(動画)]を[MOV]または[Apple ProRes]に設定したときは、[動画画質]を画素数で絞り込むと、条件に合った解像度と横縦比の動画画質だけを表示できます。
(→ [絞り込み: 166](#))



- 本機は、アナモフィック撮影で記録した動画のデスクトップ編集に対応していません。対応したソフトウェアをお使いください。

アナモフィック デスクイーズ表示

アナモフィックレンズの倍率に合わせてデスクイーズした映像を本機に表示します。[フレーム表示]を使って、デスクイーズ編集後にクロップする画角の枠を重ねて表示することもできます。

1 [アナモフィック デスクイーズ表示]を設定する

- [MENU/SET] → [設定] → [カメラ] → [アナモフィック デスクイーズ表示]

[2.0x](2.0x)

[1.8x](1.8x)

[1.5x](1.5x)

[1.33x](1.33x)

[1.30x](1.30x)

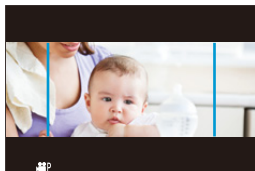
[OFF]

- 使用しているアナモフィックレンズの倍率に合わせて設定してください。



2 [フレーム表示]を設定する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [フレーム表示](⇒ [フレーム表示:455](#))



- HDMI出力する映像はデスクイーズされません。
- 以下の機能を使用中は、[アナモフィック デスクイーズ表示]は使用できません。
 - [プロキシ記録]

シンクロスキャン(動画)



シャッタースピードを微調整することで、映像のちらつきや横しみを軽減します。

シンクロスキャンで設定したシャッタースピードは、通常撮影したシャッタースピードとは別に保存されます。シンクロスキャンの設定画面で、現在の通常撮影時のシャッタースピードを呼び出して調整できます。

1 [動画]または[S&Q]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 露出モードを[S]または[M]に設定する

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 83](#))
- [P/A/S/M時の露出設定]の[動画/S&Qの露出設定]で設定することもできます。(→ [動画/S&Qの露出設定: 616](#))

3 [シンクロスキャン(動画)]を設定する

- → [動画] → [シンクロスキャン(動画)] → [ON]

4 シャッタースピードを設定する

- 、 または  を回して数値を選び、 または  を押します。
- シャッタースピードは1秒～1/8192.0秒の範囲で設定できます。(シャッタースピードの下限は、記録する動画のフレームレートによって変わります)
- ▲▼を押すと、1/4TV刻みでシャッタースピードが変化します。◀▶を押すと、細かく調整できます。
- [DISP] ボタンを押すと、現在の通常撮影時のシャッタースピードを呼び出すことができます。
- 画面を見ながら、ちらつきや横しまが目立たないように、シャッタースピードを合わせてください。



- 撮影画面の表示と撮影結果が異なる場合があります。事前に試し撮りを行うことをお勧めします。

ループ記録(動画)



動画を短い時間で分割しながら、カード容量いっぱいになるまで記録します。カード容量がいっぱいになったら、古いデータを消去しながら記録を続けます。カード容量を超えるような長時間の撮影時に便利です。



- 記録と削除を同時に行うため、撮影する動画画質のビットレートの2倍に相当する書き込み速度のカードが必要です。カード側の書き込み速度が足りない場合、記録が停止されることがあります。

1 [動画]モードにする

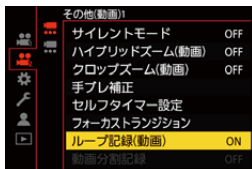
(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [記録ファイル形式(動画)]を[MOV]に設定する

- → → → [記録ファイル形式(動画)] → [MOV]

3 [ループ記録(動画)]を設定する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [ループ記録(動画)] ⇒ [ON]
- 撮影画面にが表示されます。
- カードの容量いっぱいまで記録するとループ記録を開始し、動画記録時間が非表示になります。



- 撮影中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- カードの空き容量が不足する場合、ループ記録を開始できません。
- 記録時間が12時間を超えた場合は、記録開始時点から順にデータを消去しながら記録を続けます。
- 以下の機能を使用中は、[ループ記録(動画)]は使用できません。
 - ビットレートが400 Mbps以上の[動画画質]
 - [プロキシ記録]
 - [ライブクロップ]

動画分割記録



予期しない電源供給の停止による動画の消失を避けるため、撮影した動画を設定した時間ごとに分割しながら記録します。

- 分割した動画は1つのグループ画像として保存されます。(→ [グループ画像: 552](#))

1 [⏏]または[S&Q]モードにする

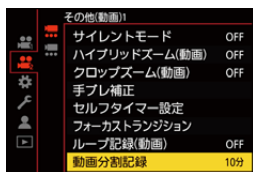
(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [記録ファイル形式(動画)]を[MOV]または[Apple ProRes]に設定する

- → [⏏] → [📹] → [記録ファイル形式(動画)] → [MOV] / [Apple ProRes]

3 [動画分割記録]を設定する

- → [⏏] → [⏏] → [動画分割記録] → [10分] / [5分] / [3分] / [1分]



- 以下の機能を使用中は、[動画分割記録]は使用できません。
- [ループ記録(動画)]

特殊な動画を撮影できる動画画質一覧

S&Q : スロー & クイック動画を撮影できる動画画質

HFR : ハイフレームレート動画用の動画画質

Live Crop : [ライブクロップ]を使用できる動画画質

HLG : HLG動画を撮影できる動画画質

❖ 記録ファイル形式(動画) : [MP4]

システム周波数 : 59.94Hz(NTSC)

動画画質	S&Q	HFR	Live Crop	HLG
4K/10bit/100M/60p			✓	✓
4K/10bit/72M/30p			✓	✓
4K/8bit/100M/30p			✓	
4K/10bit/72M/24p				✓
4K/8bit/100M/24p				
FHD/8bit/28M/60p			✓	
FHD/8bit/20M/30p			✓	
FHD/8bit/24M/24p				

システム周波数: 50.00Hz(PAL)

動画画質	S&Q	HFR	Live Crop	HLG
4K/10bit/100M/50p			✓	✓
4K/10bit/72M/25p			✓	✓
4K/8bit/100M/25p			✓	
FHD/8bit/28M/50p			✓	
FHD/8bit/20M/25p			✓	

❖ 記録ファイル形式(動画):[MOV]

システム周波数:59.94Hz(NTSC)

動画画質	S&Q	HFR	Live Crop	HLG
6K/30p/420/10-L (3:2)				✓
6K/24p/420/10-L (3:2)				✓
6K/30p/420/10-L (17:9)				✓
6K/24p/420/10-L (17:9)				✓
6K/60p/420/10-L				✓
6K/48p/420/10-L		✓		✓
6K/30p/420/10-L				✓
6K/24p/420/10-L				✓
5.9K/30p/420/10-L				✓
5.9K/24p/420/10-L				✓
3.3K/48p/422/10-I(H)		✓		✓
3.3K/48p/422/10-I(L)		✓		✓
3.3K/48p/422/10-L		✓		✓
3.3K/48p/420/10-L		✓		✓
3.3K/30p/422/10-I				✓
3.3K/30p/422/10-L				✓
3.3K/30p/420/10-L				✓
3.3K/24p/422/10-I				✓
3.3K/24p/422/10-L				✓
3.3K/24p/420/10-L				✓
C4K/60p/422/10-I(H)				✓
C4K/60p/422/10-I(L)				✓
C4K/60p/422/10-L				✓
C4K/60p/420/10-L				✓
C4K/60p/420/8-L				
C4K/48p/422/10-I(H)		✓		✓

C4K/48p/422/10-I(L)		✓		✓
C4K/48p/422/10-L		✓		✓
C4K/48p/420/10-L		✓		✓
C4K/30p/422/10-I	✓			✓
C4K/30p/422/10-L				✓
C4K/30p/420/10-L	✓			✓
C4K/30p/420/8-L				
C4K/24p/422/10-I	✓			✓
C4K/24p/422/10-L				✓
C4K/24p/420/10-L	✓			✓
C4K/24p/420/8-L				
Cs4K/60p/422/10-I(H)				✓
Cs4K/60p/422/10-I(L)				✓
Cs4K/60p/422/10-L				✓
Cs4K/60p/420/10-L				✓
Cs4K/60p/420/8-L				
Cs4K/48p/422/10-I(H)		✓		✓
Cs4K/48p/422/10-I(L)		✓		✓
Cs4K/48p/422/10-L		✓		✓
Cs4K/48p/420/10-L		✓		✓
Cs4K/30p/422/10-I	✓			✓
Cs4K/30p/422/10-L				✓
Cs4K/30p/420/10-L	✓			✓
Cs4K/30p/420/8-L				
Cs4K/24p/422/10-I	✓			✓
Cs4K/24p/422/10-L				✓
Cs4K/24p/420/10-L	✓			✓
Cs4K/24p/420/8-L				
4K/60p/422/10-I(H)				✓
4K/60p/422/10-I(L)				✓

4K/60p/422/10-L			✓	✓
4K/60p/420/10-L			✓	✓
4K/60p/420/8-L			✓	
4K/48p/422/10-I(H)		✓		✓
4K/48p/422/10-I(L)		✓		✓
4K/48p/422/10-L		✓		✓
4K/48p/420/10-L		✓		✓
4K/30p/422/10-I	✓			✓
4K/30p/422/10-L			✓	✓
4K/30p/420/10-L	✓		✓	✓
4K/30p/420/8-L			✓	
4K/24p/422/10-I	✓			✓
4K/24p/422/10-L			✓	✓
4K/24p/420/10-L	✓		✓	✓
4K/24p/420/8-L			✓	
FHD/120p/422/10-I		✓		✓
FHD/120p/422/10-L		✓		✓
FHD/120p/420/10-L		✓		✓
FHD/60p/422/10-I	✓			✓
FHD/60p/422/10-L			✓	✓
FHD/60p/420/10-L	✓		✓	✓
FHD/60p/420/8-L			✓	
FHD/48p/422/10-I		✓		✓
FHD/48p/422/10-L		✓		✓
FHD/48p/420/10-L		✓		✓
FHD/30p/422/10-I	✓			✓
FHD/30p/422/10-L			✓	✓
FHD/30p/420/10-L	✓		✓	✓
FHD/30p/420/8-L			✓	
FHD/24p/422/10-I	✓			✓

FHD/24p/422/10-L			✓	✓
FHD/24p/420/10-L	✓		✓	✓
FHD/24p/420/8-L			✓	

システム周波数: 50.00Hz(PAL)

動画画質	S&Q	HFR	Live Crop	HLG
6K/25p/420/10-L (3:2)				✓
6K/25p/420/10-L (17:9)				✓
6K/50p/420/10-L				✓
6K/25p/420/10-L				✓
5.9K/25p/420/10-L				✓
3.3K/50p/422/10-I(H)				✓
3.3K/50p/422/10-I(L)				✓
3.3K/50p/422/10-L				✓
3.3K/50p/420/10-L				✓
3.3K/25p/422/10-I				✓
3.3K/25p/422/10-L				✓
3.3K/25p/420/10-L				✓
C4K/50p/422/10-I(H)				✓
C4K/50p/422/10-I(L)				✓
C4K/50p/422/10-L				✓
C4K/50p/420/10-L				✓
C4K/50p/420/8-L				
C4K/25p/422/10-I	✓			✓
C4K/25p/422/10-L				✓
C4K/25p/420/10-L	✓			✓
C4K/25p/420/8-L				
Cs4K/50p/422/10-I(H)				✓
Cs4K/50p/422/10-I(L)				✓
Cs4K/50p/422/10-L				✓
Cs4K/50p/420/10-L				✓
Cs4K/50p/420/8-L				
Cs4K/25p/422/10-I	✓			✓
Cs4K/25p/422/10-L				✓

Cs4K/25p/420/10-L	✓			✓
Cs4K/25p/420/8-L				
4K/50p/422/10-I(H)				✓
4K/50p/422/10-I(L)				✓
4K/50p/422/10-L			✓	✓
4K/50p/420/10-L			✓	✓
4K/50p/420/8-L			✓	
4K/25p/422/10-I	✓			✓
4K/25p/422/10-L			✓	✓
4K/25p/420/10-L	✓		✓	✓
4K/25p/420/8-L			✓	
FHD/100p/422/10-I		✓		✓
FHD/100p/422/10-L		✓		✓
FHD/100p/420/10-L		✓		✓
FHD/50p/422/10-I	✓			✓
FHD/50p/422/10-L			✓	✓
FHD/50p/420/10-L	✓		✓	✓
FHD/50p/420/8-L			✓	
FHD/25p/422/10-I	✓			✓
FHD/25p/422/10-L			✓	✓
FHD/25p/420/10-L	✓		✓	✓
FHD/25p/420/8-L			✓	

システム周波数: 24.00Hz(CINEMA)

動画画質	S&Q	HFR	Live Crop	HLG
6K/24p/420/10-L (3:2)				✓
6K/24p/420/10-L (17:9)				✓
6K/48p/420/10-L		✓		✓
6K/24p/420/10-L (2.4:1)				✓
5.9K/24p/420/10-L				✓
3.3K/48p/422/10-I(H)		✓		✓
3.3K/48p/422/10-I(L)		✓		✓
3.3K/48p/422/10-L		✓		✓
3.3K/48p/420/10-L		✓		✓
3.3K/24p/422/10-I				✓
3.3K/24p/422/10-L				✓
3.3K/24p/420/10-L				✓
C4K/48p/422/10-I(H)		✓		✓
C4K/48p/422/10-I(L)		✓		✓
C4K/48p/422/10-L		✓		✓
C4K/48p/420/10-L		✓		✓
C4K/24p/422/10-I	✓			✓
C4K/24p/422/10-L				✓
C4K/24p/420/10-L	✓			✓
C4K/24p/420/8-L				
Cs4K/48p/422/10-I(H)		✓		✓
Cs4K/48p/422/10-I(L)		✓		✓
Cs4K/48p/422/10-L		✓		✓
Cs4K/48p/420/10-L		✓		✓
Cs4K/24p/422/10-I	✓			✓
Cs4K/24p/422/10-L				✓
Cs4K/24p/420/10-L	✓			✓
Cs4K/24p/420/8-L				

4K/48p/422/10-I(H)		✓		✓
4K/48p/422/10-I(L)		✓		✓
4K/48p/422/10-L		✓		✓
4K/48p/420/10-L		✓		✓
4K/24p/422/10-I	✓			✓
4K/24p/422/10-L			✓	✓
4K/24p/420/10-L	✓		✓	✓
4K/24p/420/8-L			✓	
FHD/48p/422/10-I		✓		✓
FHD/48p/422/10-L		✓		✓
FHD/48p/420/10-L		✓		✓
FHD/24p/422/10-I	✓			✓
FHD/24p/422/10-L			✓	✓
FHD/24p/420/10-L	✓		✓	✓
FHD/24p/420/8-L			✓	

❖ 記録ファイル形式(動画):[Apple ProRes]

システム周波数:59.94Hz(NTSC)

動画画質	S&Q	HFR	Live Crop	HLG
5.8K/30p/RAW HQ				
5.8K/30p/RAW				
5.8K/30p/422 HQ				✓
5.8K/30p/422				✓
5.8K/24p/RAW HQ				
5.8K/24p/RAW				
5.8K/24p/422 HQ				✓
5.8K/24p/422				✓
3.3K/30p/422 HQ				✓
3.3K/30p/422				✓
3.3K/24p/422 HQ				✓
3.3K/24p/422				✓
C4K/60p/RAW HQ				
C4K/60p/RAW				
C4K/60p/422 HQ				✓
C4K/60p/422				✓
C4K/30p/RAW HQ				
C4K/30p/RAW				
C4K/30p/422 HQ				✓
C4K/30p/422				✓
C4K/24p/RAW HQ				
C4K/24p/RAW				
C4K/24p/422 HQ				✓
C4K/24p/422				✓
Cs4K/60p/422 HQ				✓
Cs4K/60p/422				✓

Cs4K/30p/422 HQ				✓
Cs4K/30p/422				✓
Cs4K/24p/422 HQ				✓
Cs4K/24p/422				✓
4K/60p/422 HQ				✓
4K/60p/422				✓
4K/30p/422 HQ				✓
4K/30p/422				✓
4K/24p/422 HQ				✓
4K/24p/422				✓
FHD/60p/422 HQ				✓
FHD/60p/422				✓
FHD/30p/422 HQ				✓
FHD/30p/422				✓
FHD/24p/422 HQ				✓
FHD/24p/422				✓

システム周波数: 50.00Hz(PAL)

動画画質	S&Q	HFR	Live Crop	HLG
5.8K/25p/RAW HQ				
5.8K/25p/RAW				
5.8K/25p/422 HQ				✓
5.8K/25p/422				✓
3.3K/50p/422 HQ				✓
3.3K/50p/422				✓
3.3K/25p/422 HQ				✓
3.3K/25p/422				✓
C4K/50p/RAW HQ				
C4K/50p/RAW				
C4K/50p/422 HQ				✓
C4K/50p/422				✓
C4K/25p/RAW HQ				
C4K/25p/RAW				
C4K/25p/422 HQ				✓
C4K/25p/422				✓
Cs4K/50p/422 HQ				✓
Cs4K/50p/422				✓
Cs4K/25p/422 HQ				✓
Cs4K/25p/422				✓
4K/50p/422 HQ				✓
4K/50p/422				✓
4K/25p/422 HQ				✓
4K/25p/422				✓
FHD/50p/422 HQ				✓
FHD/50p/422				✓
FHD/25p/422 HQ				✓
FHD/25p/422				✓

システム周波数: 24.00Hz(CINEMA)

動画画質	S&Q	HFR	Live Crop	HLG
5.8K/24p/RAW HQ				
5.8K/24p/RAW				
5.8K/24p/422 HQ				✓
5.8K/24p/422				✓
3.3K/24p/422 HQ				✓
3.3K/24p/422				✓
C4K/24p/RAW HQ				
C4K/24p/RAW				
C4K/24p/422 HQ				✓
C4K/24p/422				✓
Cs4K/24p/422 HQ				✓
Cs4K/24p/422				✓
4K/24p/422 HQ				✓
4K/24p/422				✓
FHD/24p/422 HQ				✓
FHD/24p/422				✓

HDMI出力(動画)

HDMIケーブルで接続した外部モニターや外部レコーダーに、カメラの映像を出力しながら撮影できます。

- HDMI出力制御は撮影時と再生時で異なります。再生時のHDMI出力の設定について
(→ [HDMI接続設定: 665](#))

- [HDMI機器と接続する: 509](#)
- [HDMI出力の画質: 510](#)
- [HDMI出力の設定: 517](#)
- [動画RAWデータ出力: 520](#)

HDMI機器と接続する

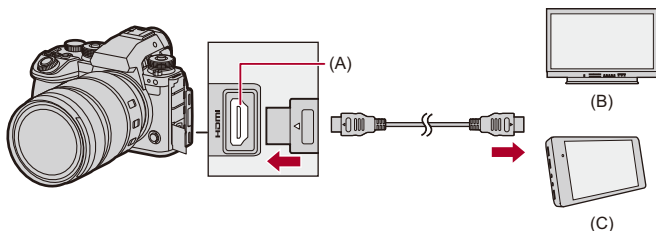


- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
- 誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

準備:

- カメラと外部モニター／外部レコーダーの電源を切る

市販のHDMIケーブルでカメラと外部モニターや外部レコーダーをつなぐ



(A) HDMI端子(Type A)

(B) 外部モニター

(C) 外部レコーダー

- ウルトラハイスピードHDMI ケーブル(Type AーType Aプラグ、3 m未満)をお使いください。

HDMI出力の画質

- [HDMI出力する映像: 510](#)
- [ダウンコンバート設定: 512](#)



HDMI出力する映像

横縦比、解像度、およびフレームレートは、動画メニュー(記録)の[動画画質]の設定に合わせて出力します。解像度とフレームレートは、用途に合わせてダウンコンバートして出力できます。

YUVおよびビット数は、下記のようにYUVを4:2:2にして出力します。接続する機器が出力方式に対応していない場合は、接続する機器に合わせて出力します。

カード記録	HDMI出力
4:2:2 10 bit	4:2:2 10 bit
4:2:0 10 bit	4:2:2 10 bit
4:2:0 8 bit	4:2:2 8 bit

解像度、フレームレート

- 以下のメニューの組み合わせに応じた解像度とフレームレートで出力します。
 - 動画メニュー(記録)の[動画画質]
 - カスタムメニュー(IN/OUT)の[撮影時HDMI出力]の[ダウンコンバート]
- 解像度4Kを超える動画は、C4K／4K解像度で出力します。
- ハイフレームレート動画用の[動画画質]に設定しているときは、解像度とフレームレートをダウンコンバートして出力する場合があります。
- 詳しくは(➔[HDMI出力時の画質: 513](#))



- 3:2と4:3の[動画画質]に設定しているときは、映像に帯を付けて16:9の横縦比で出力します。
- 2.4:1の[動画画質]に設定しているときは、映像に帯を付けて17:9の横縦比で出力します。
- [動画画質]を[C4K/60p/RAW HQ]/[C4K/60p/RAW]/[C4K/50p/RAW HQ]/[C4K/50p/RAW]に設定し、[プロキシ記録]の設定を[ON]にした場合、FHDの解像度でHDMI出力されます。
- [プロキシ記録]を使用中は、以下の機能を使用すると、HDMI出力が停止します。
 - スマートフォンとのWi-Fi接続
 - テザー撮影
- [フォトスタイル]で[粒状]を[OFF]以外に設定し、[フォルスカラー]を表示している場合、アイコンや枠などは非表示の状態でHDMI出力されます。

❖ HDMI出力についてのお知らせ

- 出力方法が切り換わる時、切り換わるまでに時間がかかる場合があります。
- 撮影中、HDMI出力画像が遅れて表示されることがあります。
- HDMI出力中は、電子音や合焦音、電子シャッター音は鳴りません。
- 本機をテレビに接続して映像や音声を確認するとき、テレビのスピーカーから出る音声を本機のマイクが拾い、異常音(ハウリング)が発生することがあります。その場合は本機をテレビから離すか、テレビの音量を下げてください。
- 一部の設定画面はHDMI出力されません。
- 高温表示について(⇒ [高温表示について: 145](#))

ダウンコンバート設定

HDMI出力する解像度のダウンコンバート設定をします。

 ➡  ➡  ➡ **[撮影時HDMI出力]** ➡ **[ダウンコンバート]**
を選ぶ

AUTO

接続する機器に合わせてダウンコンバートして出力します。

C4K/4K

解像度をC4K/4Kにダウンコンバートして出力します。

1080p

解像度をFHD(1080)にダウンコンバートし、プログレッシブ方式で出力します。

1080i

解像度をFHD(1080)にダウンコンバートし、インターレース方式で出力します。

OFF

[動画画質]の解像度、記録フレームレートで出力します。



- [システム周波数]の設定により、選択できる項目が異なります。
- 解像度4K以上のハイフレームレート動画用の[動画画質]に設定しているときは、解像度とフレームレートをダウンコンバートして出力する場合があります。
- ダウンコンバートしている場合、通常よりAFでのピント合わせに時間がかかったり、連続したピント合わせの追従性が低下したりすることがあります。

❖ HDMI出力時の画質

[動画画質]と[ダウンコンバート]設定の組み合わせに応じた解像度とフレームレートで出力します。

- [ダウンコンバート]を[AUTO]に設定しているときは、接続する機器に合わせて出力します。[AUTO]設定時に出力される最大解像度とフレームレートは、[OFF]を選択しているときと同じになります。
- 以下の表で「—」となっている組み合わせを設定しているときは、HDMI出力しません。

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]

[ダウンコンバート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート		
	6K/29.97p(3:2) 5.9K/29.97p(16:9) 3.3K/29.97p(4:3) 4K/29.97p(16:9)	6K/23.98p(3:2) 5.9K/23.98p(16:9) 3.3K/47.95p(4:3) 3.3K/23.98p(4:3) 4K/47.95p(16:9) 4K/23.98p(16:9)	4K/59.94p(16:9)
C4K/4K	4K/29.97p	4K/23.98p*	4K/59.94p*
1080p	1080/29.97p	1080/23.98p	1080/59.94p
1080i	1080/59.94i	—	1080/59.94i
OFF	4K/29.97p	4K/23.98p*	4K/59.94p*

[ダウンコンバート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート		
	6K/59.94p(2.4:1) C4K/59.94p(17:9) Cs4K/59.94p(2.4:1)	6K/47.95p(2.4:1) 6K/23.98p(17:9) 6K/23.98p(2.4:1) 5.8K/23.98p(17:9) C4K/47.95p(17:9) C4K/23.98p(17:9) Cs4K/47.95p(2.4:1) Cs4K/23.98p(2.4:1)	6K/29.97p(17:9) 6K/29.97p(2.4:1) 5.8K/29.97p(17:9) C4K/29.97p(17:9) Cs4K/29.97p(2.4:1)
C4K/4K	C4K/59.94p*	C4K/23.98p*	C4K/29.97p
1080p	1080/59.94p	1080/23.98p	1080/29.97p
1080i	1080/59.94i	—	1080/59.94i
OFF	C4K/59.94p*	C4K/23.98p*	C4K/29.97p

[ダウンコン パート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート			
	1080/119.88p(16:9)	1080/59.94p(16:9)	1080/47.95p(16:9) 1080/23.98p(16:9)	1080/29.97p(16:9)
C4K/4K	—	—	—	—
1080p	1080/119.88p	1080/59.94p	1080/23.98p	1080/29.97p
1080i	1080/59.94i	1080/59.94i	—	1080/59.94i
OFF	1080/119.88p	1080/59.94p	1080/23.98p	1080/29.97p

- * Wi-Fi接続およびUSB接続(PC(Tether)/LUMIX Flow)と同時に、C4K/Cs4K/4K動画(47.95p～59.94p)でHDMI出力する場合、FHD(1080)で出力します。
(解像度がC4K/Cs4K/4Kの[S&Q]動画の場合も、[スロー & クイック設定]のフレームレートを1 fps～60 fpsにしたときは、FHD(1080)で出力します)

システム周波数:[50.00Hz(PAL)]

[ダウンコン パート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート			
	6K/25.00p(3:2) 5.9K/25.00p(16:9) 3.3K/25.00p(4:3) 4K/25.00p(16:9)	3.3K/50.00p(4:3) 4K/50.00p(16:9)	6K/50.00p(2.4:1) C4K/50.00p(17:9) Cs4K/50.00p(2.4:1)	6K/25.00p(17:9) 6K/25.00p(2.4:1) 5.8K/25.00p(17:9) C4K/25.00p(17:9) Cs4K/25.00p(2.4:1)
C4K/4K	4K/25.00p	4K/50.00p*	C4K/50.00p*	C4K/25.00p
1080p	1080/25.00p	1080/50.00p	1080/50.00p	1080/25.00p
1080i	1080/50.00i	1080/50.00i	1080/50.00i	1080/50.00i
OFF	4K/25.00p	4K/50.00p*	C4K/50.00p*	C4K/25.00p

[ダウンコン パート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート		
	1080/100.00p(16:9)	1080/50.00p(16:9)	1080/25.00p(16:9)
C4K/4K	—	—	—
1080p	1080/100.00p	1080/50.00p	1080/25.00p
1080i	1080/50.00i	1080/50.00i	1080/50.00i
OFF	1080/100.00p	1080/50.00p	1080/25.00p

- * Wi-Fi接続およびUSB接続(PC(Tether)/LUMIX Flow)と同時に、C4K/Cs4K/4K動画(47.95p～59.94p)でHDMI出力する場合、FHD(1080)で出力します。
(解像度がC4K/Cs4K/4Kの[S&Q]動画の場合も、[スロー & クイック設定]のフレームレートを1 fps～60 fpsにしたときは、FHD(1080)で出力します)

システム周波数:[24.00Hz(CINEMA)]

[ダウンコン パート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート		
	6K/24.00p(3:2) 5.9K/24.00p(16:9) 3.3K/48.00p(4:3) 3.3K/24.00p(4:3) 4K/48.00p(16:9) 4K/24.00p(16:9)	6K/48.00p(2.4:1) 6K/24.00p(17:9) 6K/24.00p(2.4:1) 5.8K/24.00p(17:9) C4K/48.00p(17:9) C4K/24.00p(17:9) Cs4K/48.00p(2.4:1) Cs4K/24.00p(2.4:1)	1080/48.00p(16:9) 1080/24.00p(16:9)
C4K/4K	4K/24.00p*	C4K/24.00p*	—
1080p	1080/24.00p	1080/24.00p	1080/24.00p
OFF	4K/24.00p*	C4K/24.00p*	1080/24.00p

* Wi-Fi接続およびUSB接続(PC(Tether)/LUMIX Flow)と同時に、C4K/Cs4K/4K動画(47.95p～59.94p)でHDMI出力する場合、FHD(1080)で出力します。
(解像度がC4K/Cs4K/4Kの[S&Q]動画の場合も、[スロー & クイック設定]のフレームレートを1 fps～60 fpsにしたときは、FHD(1080)で出力します)

HDMI出力の設定

- カメラの情報表示をHDMI出力する: 517
- 外部レコーダーに制御情報を出力する: 518
- 音声をHDMI出力する: 518
- HDMI出力時の動画ライブビュー拡大表示: 519



カメラの情報表示をHDMI出力する

HDMI接続した外部機器に、カメラの情報表示を出力します。

 →  →  → [撮影時HDMI出力] → [情報表示]を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]



- [情報表示]を[ON]に設定してHDMI接続中は、以下の制限がかかります。
 - [タッチタブ]は使用できません。

外部レコーダーに制御情報を出力する

HDMI 接続した外部レコーダーに、記録開始、停止の制御情報を出力します。

 ➔  ➔  ➔ **[撮影時HDMI出力]** ➔ **[HDMI記録制御]** を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]

-  / [S&Q] モードで、[HDMIタイムコード出力]が[ON]の場合に設定できます。
(➔ [HDMIタイムコード出力: 434](#))
- 動画が記録できない状態(本機にカードが入っていない場合など)でも、動画記録ボタンやシャッターボタンを押すことで、制御情報を出力できます。
- 対応した外部機器だけ制御できます。

音声をHDMI 出力する

HDMI 接続した外部機器に、音声を出力します。

 ➔  ➔  ➔ **[撮影時HDMI出力]** ➔ **[HDMI音声出力]** を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]

HDMI出力時の動画ライブビュー拡大表示

[MFアシスト]または[動画ライブビュー拡大表示]の拡大画面を、HDMI接続した外部機器に出力します。

 ➔  ➔  ➔ [撮影時HDMI出力] ➔ [ライブビュー拡大表示]を選ぶ

MODE1

動画撮影待機中だけライブビュー拡大表示を出力します。

- [ダウンコンバート]で設定した解像度、フレームレートで出力します。

MODE2

動画撮影待機中と動画撮影中にライブビュー拡大表示を出力します。

- HDMI出力される動画の解像度、フレームレートはFHD/60p以下になります。
- [ダウンコンバート]を[C4K/4K]または[OFF]に設定しているときは、[MODE2]は使用できません。

OFF

ライブビュー拡大表示を出力しません。

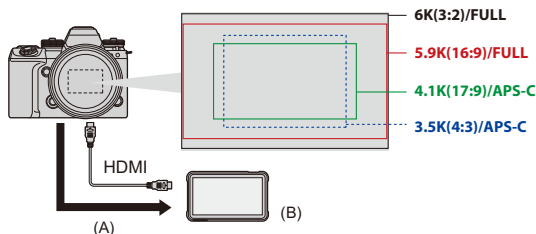
- 本機のモニター／ファインダーで拡大表示をしているときは、カメラの情報表示はHDMI出力されません。
-

動画RAWデータ出力

- 動画RAWデータをHDMI出力する: 522
- 動画RAWデータ出力時のお知らせ: 526



動画RAWデータを、対応した外部レコーダーにHDMI出力できます。



(A) 動画RAW

(B) 外部レコーダー

- 本機の動画RAWデータの記録は、以下の外部レコーダーで動作確認済みです。(2025年5月現在)
 - ATOMOS製:「NINJA V」/「NINJA V+」/「NINJA」/「NINJA ULTRA」/「SHOGUN」/「SHOGUN ULTRA」/「SHOGUN CONNECT」
 - Blackmagic Design製:「Blackmagic Video Assist 5" 12G HDR」/「Blackmagic Video Assist 7" 12G HDR」
- 外部レコーダーの対応ファームウェアバージョンは、下記サイトでご確認ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html>
- 外部レコーダーの詳細については、ATOMOS / Blackmagic Designの各社にお問い合わせください。
- 対応する外部レコーダーが持つ、すべての性能を保証するものではありません。

- 外部レコーダーで記録した動画RAWデータの編集には、対応したソフトウェアが必要です。対応するソフトウェアはV-Log/V-Gamut変換だけをサポートしています。
- ATOMOS製レコーダーで記録した動画RAWデータを編集する際に、V-Log/V-Gamutと色合いを合わせるには、下記サポートサイトからLUT(ルックアップテーブル)をダウンロードし、ソフトウェアに読み込んでください。
- LUTファイルのダウンロードや、最新のサポート情報は下記サイトでご確認ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/>



- 動画RAWデータのHDMI出力中は、プロキシ動画だけ記録できます。
- [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定したときは、動画RAWデータをHDMI出力できません。

動画RAWデータをHDMI出力する

出力する映像の画質は[動画画質]で設定します。

準備:

- 1 カメラと外部レコーダーの電源を切る
- 2 市販のHDMIケーブルでカメラと外部レコーダーをつなぐ
 - ウルトラハイスピードHDMIケーブル(Type A–Type Aプラグ、3 m未満)をお使いください。
- 3 カメラと外部レコーダーの電源を入れる

1 []モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

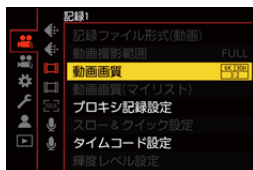
2 [HDMI RAWデータ出力]を設定する

- **MENU/SET** ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [HDMI RAWデータ出力] ⇒ [ON]
- 撮影画面に[HDMI RAW]が表示されます。



3 動画画質を選ぶ

-  →  →  → [動画画質]



4 外部レコーダーでHDMI入力を設定する

- 接続が完了すると、外部レコーダーの画面に映像が表示されます。



HDMI RAW データ出力中のプロキシ記録

HDMI RAW データ出力中にプロキシ記録をするには、カメラで外部レコーダーの記録を制御して外部レコーダーに記録する必要があります。

- 1 [HDMI記録制御]を[ON]に設定する (→ [HDMIタイムコード出力／HDMI記録制御: 525](#))
- 2 [プロキシ記録]を[ON]に設定する (→ [プロキシ記録: 171](#))
- 3 カメラの動画記録ボタンやシャッターボタンで、外部レコーダーの記録を開始する

HDMI出力の動作が通常時と異なります。

- カスタムメニュー(IN/OUT)の[撮影時HDMI出力]
 - [情報表示]は使用できません。HDMI接続した外部レコーダーに、カメラの情報表示を出力できません。
 - [ダウンコンバート]は使用できません。[動画画質]の設定に応じた解像度とフレームレートで出力します。

❖ 動画画質([HDMI RAWデータ出力]設定時)

動画画質	システム周波数	動画撮影範囲	解像度	フレームレート
6K/30p/3:2	59.94Hz(NTSC)	FULL	6000×4000	29.97p
6K/24p/3:2		FULL	6000×4000	23.98p
5.9K/30p/16:9		FULL	5888×3312	29.97p
5.9K/24p/16:9		FULL	5888×3312	23.98p
4.1K/60p/17:9		APS-C	4128×2176	59.94p
4.1K/30p/17:9		APS-C	4128×2176	29.97p
4.1K/24p/17:9		APS-C	4128×2176	23.98p
3.5K/30p/4:3		APS-C	3536×2656	29.97p
3.5K/24p/4:3		APS-C	3536×2656	23.98p
6K/25p/3:2	50.00Hz(PAL)	FULL	6000×4000	25.00p
5.9K/25p/16:9		FULL	5888×3312	25.00p
4.1K/50p/17:9		APS-C	4128×2176	50.00p
4.1K/25p/17:9		APS-C	4128×2176	25.00p
3.5K/50p/4:3		APS-C	3536×2656	50.00p
3.5K/25p/4:3		APS-C	3536×2656	25.00p

- ビット数: 12 bit
- 音声フォーマット: LPCM(2ch／4ch)
 - XLRマイクロホンアダプター(別売: DMW-XLR2)接続時、[4chオーディオ記録]を[XLR]または[XLR+カメラ]にすると、4チャンネルの音声を記録できます。
- [動画撮影範囲]は、[動画画質]の設定に応じた範囲に固定されます。
- XLRマイクロホンアダプター(別売: DMW-XLR2)や、ステレオガンマイクロホン(別売: DMW-MS2)、ステレオマイクロホン(別売: VW-VMS10)接続時、[録音音質]を[96kHz/24bit]に設定できます。

❖ 動画RAWデータ出力時のモニター／ファインダー表示

カメラのモニター／ファインダーには、確認用に、V-Log撮影時に相当する映像を表示します。[Logビューアシスト]は、プリセットの[Vlog_709]を適用した[LUTビューアシスト(モニター)]が使用できます。

- モニター表示用のLUTは変更できません。
- [LUTビューアシスト(モニター)]を使用したときは、画面に[709]が表示されます。画面の[LUTビューアシスト(HDMI)]の項目には、[RAW]が表示されます。
- [スポット輝度メーター]、[ゼブラパターン表示]の[基準/幅]は、Stopの単位で設定します。(18%グレーの出力レベルを0 Stopで換算します)

表示する映像のお知らせ

- カメラが表示する映像は、出力される動画RAWデータには影響しません。
- 外部レコーダーには、外部レコーダーの仕様に応じた映像が表示されます。そのため、カメラと外部レコーダーで表示される映像が異なる場合があります。
- カメラのモニター／ファインダーは、動画RAWデータの画角で映像を表示します。外部レコーダーで記録するデータの画角と異なる場合があります。

❖ HDMIタイムコード出力／HDMI記録制御

カメラのタイムコードを付加して、外部レコーダーにHDMI出力できます。カメラの動画記録ボタンやシャッターボタンで、外部レコーダーの記録開始、停止を制御することもできます。

1 [HDMIタイムコード出力]を[ON]に設定する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [タイムコード設定] ⇒ [HDMIタイムコード出力] ⇒ [ON]

2 [HDMI記録制御]を[ON]に設定する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [撮影時HDMI出力] ⇒ [HDMI記録制御] ⇒ [ON]
- [HDMI記録制御]は、モードで、[HDMIタイムコード出力]が[ON]の場合に設定できます。

動画RAWデータ出力時のお知らせ

動画RAWデータ出力時は、以下のように動作します。

- 使用できるISO感度の下限は640([拡張ISO感度]設定時:320)、上限は51200までになります。[Dual Native ISO設定]の[低感度]や[高感度]で使用できるISO感度の範囲も変化します。
- ホワイトバランスの[AWB]や[AWBc]、[AWBw]、[- [フォトスタイル]は[V-Log]に固定され、画質調整できません。
- AFモードの[+] / [- MFアシスト、動画ライブビュー拡大表示を使った拡大表示はできません。
- 以下の機能は使用できません。
 - [マスターペダスタル]
 - [iダイナミックレンジ]
 - [周辺光量補正]
 - [回折補正]
 - [フィルター設定]
 - [記録ファイル形式(動画)]
 - [動画画質]の[絞り込み]、[マイリスト登録]
 - [動画画質(マイリスト)]
 - [輝度レベル設定]
 - [手ブレ補正]の[電子手ブレ補正(動画)]
 - [ループ記録(動画)]
 - [動画分割記録]
 - [カラーバー]
 - [ストーリーミング]

外付けSSD(市販)を使う

本機のUSB端子に市販の外付けSSDを接続し、写真や動画を記録・再生できます。

外付けSSDにだけ記録できる動画画質もあります。

- [使用できる外付けSSD: 528](#)
- [外付けSSDを接続する: 529](#)
- [外付けSSDのフォーマット: 532](#)
- [外付けSSDについてのお知らせ: 533](#)

使用できる外付けSSD

本機で使用できる外付けSSDは下記のとおりです。(2025年5月現在)

USB Type-C[®]に対応した外付けSSD(最大2TBまで)

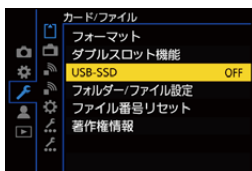
- 本機はUSB 10Gbpsに対応しています。
- 当社にて動作確認済みの外付けSSDのご使用をお勧めします。
すべての製品の動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 外付けSSDの最新情報は、下記サポートサイトで確認ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html>
- 動作確認済み外付けSSDが持つ、すべての性能を保証するものではありません。
- 事前に試し撮りをし、正常に動作することをご確認ください。
- 外付けSSDの取扱説明書もお読みください。

外付けSSDを接続する

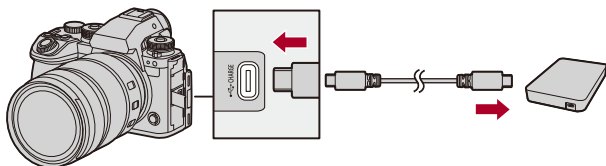
外付けSSDの接続・取り外しの際は、必ず以下の手順をお守りください。
手順どおりに行わないと、外付けSSDを認識しなかったり、外付けSSDや
撮影データが壊れたりするおそれがあります。

1 [USB-SSD]を[ON]にする

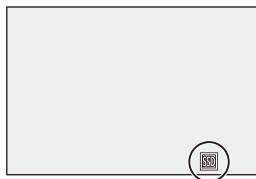
-  ⇒  ⇒  ⇒ [USB-SSD] ⇒ [ON]



2 USB接続ケーブルでカメラと外付けSSDをつなぐ



- 外付けSSDに付属のUSB接続ケーブルをご使用ください。
- 本機が外付けSSDを認識すると、画面にUSB-SSDのアイコンが表示されます。



❖ 外付けSSDの取り外し

- 1 [USB-SSD]を[OFF]にする
 -  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [USB-SSD] ⇒ [OFF]
- 2 画面のUSB-SSDのアイコンがカードのアイコンに変わったことを確認し、USB接続ケーブルをカメラから抜く



- 外付けSSDの認識に時間がかかる場合があります。
- [USB-SSD]が[ON]に設定されているときは、カードが挿入されていても、カードは使用できません。カードを使用するには、[USB-SSD]を[OFF]にしてください。
- 外付けSSDに書き込み中は、画面に[]が表示されます。
- 画面にUSB-SSDのアイコンが表示されている間は、以下の操作をしないでください。

カメラが正常に動作しなくなったり、外付けSSDや撮影データが壊れたりするおそれがあります。

- USB接続ケーブルを抜く
- バッテリーや電源プラグを抜く
- カメラや外付けSSDに振動や衝撃、静電気を与える

外付けSSDのフォーマット

使用する前に本機で外付けSSDをフォーマットしてください。

 ➡  ➡  ➡ **[フォーマット]**



- フォーマットすると、外付けSSDに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。必要なデータのバックアップを取ってからフォーマットしてください。
- フォーマット中は電源を切ったり、他の操作をしたりしないでください。
- フォーマット中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。

外付けSSDについてのお知らせ

- [USB-SSD]を[ON]に設定したときは、以下の機能は使用できません。
 - カードへの記録、カードに記録された写真・動画の再生
 - [ダブルスロット機能]
 - [ストリーミング]([接続方法]の[USB テザリング]／[有線LAN])
 - [USB]
 - [バージョン表示]の[ファームウェアアップデート]
 - [画像コピー]
- 外付けSSD使用中に、撮影した写真をスマートフォンに自動転送するには、[USB-SSD]を[ON]にしたあとに[Bluetooth]の[自動画像転送]を[ON]に設定してください。(→ [自動画像転送: 709](#))
- 外付けSSD接続時、カメラから電力を供給するため、バッテリーの消費が早くなります。予備のバッテリーを用意するか、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC11)とDCカブラー(別売:DMW-DCC18)のご使用をお勧めします。
- 外付けSSDを使用しないときは、[USB-SSD]を[OFF]にしてください。
[ON]にしているときは、本機のバッテリーから接続機器に給電されるため、バッテリーの消費が早くなります。

- 接続する外付けSSDによっては、電力不足のため、画面に使用不可のメッセージが表示され、動作しない場合があります。
 - 当社にて動作確認済みの外付けSSDのご使用をお勧めします。
 - 事前に試し撮りをし、正常に動作することをご確認ください。
- 外付けSSDに長時間記録しているときなど、カメラの温度が上がると、画面に[△]が点滅表示されます。そのままカメラを使用し続けると、画面に使用不可のメッセージが表示され、撮影やHDMI出力など、一部の機能が停止します。カメラの温度が下がって、使用可能のメッセージが表示されるまでお待ちください。使用可能のメッセージが表示されたら、電源を入れ直してください。
- 外付けSSDが、パスワードなどによってロックされていると、本機からのアクセスができません。ご使用前に外付けSSDの設定を確認してください。
- USB延長ケーブルや、USB変換アダプター、USBハブは使用しないでください。

画像の再生／編集

本章では、写真や動画の再生、消去方法を説明します。RAW形式で撮影した写真の現像や、再生できない動画ファイルの修復もできます。

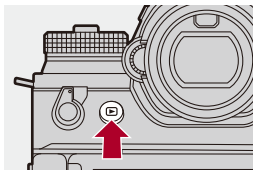
• 本機以外で撮影された画像は、本機で正しく再生、編集できない場合があります。

- [写真の再生: 536](#)
- [動画の再生: 538](#)
- [表示方法の切り換え: 547](#)
- [グループ画像: 552](#)
- [画像の消去: 554](#)
- [RAW現像: 556](#)
- [HEIF→JPEG変換: 564](#)
- [動画修復: 565](#)
- [再生メニュー: 568](#)

写真の再生

1 再生画面を表示する

- [▶] ボタンを押します。



2 写真を選ぶ

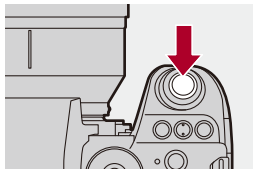
- ◀▶ で写真を選びます。
- ◀▶ を押したままにすると、画像を連続して送ることができます。
- ☀ または ⚙ を回しても選ぶことができます。
- 画面を水平にドラッグしても画像を送ることができます。



(A) カードスロット

3 再生を終了する

- シャッターボタンを半押しします。
- [▶] ボタンを押しても再生を終了できます。



❖ 表示するカードの切り換え

再生時に [] ボタンを押すと、表示するカードを切り換えることができます。

- [スロット切換] を登録した Fn ボタンを押しても同じ操作ができます。(→ [Fn ボタン: 580](#))

- 1 [] ボタンを押す
- 2 ▲▼ で [スロット1(CFexpress)] または [スロット2(SD)] を選び、 または  を押す



- 本機は一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) によって制定された統一規格 DCF (Design rule for Camera File system) および、Exif (Exchangeable Image File Format) に準拠しています。DCF 規格に準拠していないファイルは再生できません。Exif とは、撮影情報などの付帯情報を追加できる写真用のファイルフォーマットです。



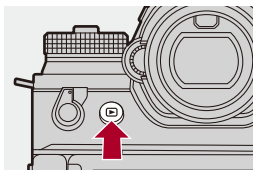
- 撮影画面／再生画面の切り換えを Fn ボタンに登録できます：
(→ [撮影／再生切換: 589](#)、[撮影／再生切換: 592](#))

動画の再生

- [動画のリピート再生: 542](#)
- [写真の切り出し: 544](#)
- [動画分割: 545](#)

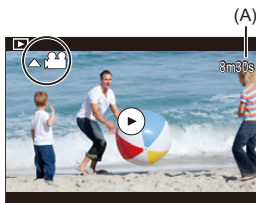
1 再生画面を表示する

- [▶] ボタンを押します。



2 動画を選ぶ

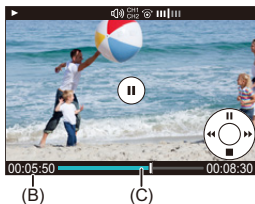
- 画像の選び方について(→ [写真の再生: 536](#))
- 動画には動画アイコン[👤]が表示されます。
- 画面に動画の記録時間が表示されます。
例) 8分30秒のとき: 8m30s
- hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。



(A) 動画の記録時間

3 動画を再生する

- ▲ を押します。
- 画面中央の[▶]をタッチしても再生できます。



(B) 再生経過時間

(C) 再生バー

4 再生を終了する

- ▼ を押します。

❖ 動画再生中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶／⏸	再生／一時停止
▼	—	停止
◀	—	早戻し再生 • もう一度 ◀ を押すと、早戻し速度が速くなります。 コマ戻し(一時停止中)
▶	—	早送り再生 • もう一度 ▶ を押すと、早送り速度が速くなります。 コマ送り(一時停止中)
—		表示するコマの選択
 / 		写真の切り出し(一時停止中)(→ 写真の切り出し: 544)
	—	音量を下げる
		音量を上げる



- 本機で再生できる動画のファイル形式はMP4、MOVおよびApple ProResです。
- RAW動画は早送り再生／早戻し再生(コマ送り／コマ戻し)できません。
- 現在の設定と異なる[システム周波数]で記録した動画は再生できません。
- カード側の読み出し速度が遅いと、再生が一時停止したり、滑らかに再生できなかったりする場合があります。



- 再生できない動画ファイルを修復できる場合があります。
(→ [動画修復: 565](#))
- 動画の再生終了後の動作を設定できます:
(→ [動画再生後の動作: 572](#))
- 撮影画面／再生画面の切り換えをFnボタンに登録できます:
(→ [撮影/再生切換: 589](#)、[撮影/再生切換: 592](#))

動画のリPEAT再生

動画の一部の区間を繰り返し再生できます。

1 リPEAT区間設定画面を表示する

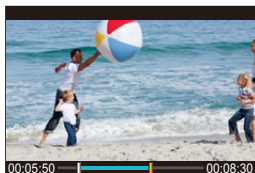
- 一時停止中に[Q]ボタンを押します。
- 一時停止中に[リPEAT再生]をタッチしても、リPEAT区間設定画面が表示されます。

2 リPEAT区間開始位置を設定する

- ◀▶で開始位置を選び、**MENU/SET** または  を押します。
- ☀️、☂️ または  を回しても選択できます。
- 再生バーをタッチしても開始位置を選択できます。

3 リPEAT区間終了位置を設定する

- 2と同じ手順で設定します。
- 開始位置と終了位置が近すぎる場合は設定できません。



4 再生を開始する

- リPEAT再生中の操作は「動画再生中の操作」と同じです。(→ [動画再生中の操作: 540](#))
- ▼を押して再生を停止するか、一時停止中に[Q]ボタンを押すと、リPEAT再生を終了します。



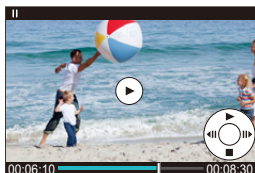
- 記録時間が短い場合はリピート再生できません。
- リピート区間の設定位置は、動画の一時停止位置からずれが生じることがあります。

写真の切り出し

動画の1フレームをJPEG画像として切り出して保存します。

1 写真を切り出す位置で再生を一時停止する

- ▲ を押します。
- 細かい位置調整には、◀▶ (コマ戻し、コマ送り)をお使いください。



2 写真を保存する

- MENU/SET または ⌂ を押します。
- [保存]をタッチしても写真を保存できます。



- 動画から作成された写真は、写真画質[FINE]で保存されます。画像サイズは[動画画質]の解像度に応じたサイズで保存されます。
- 動画から作成された写真は、通常より画質が粗くなる場合があります。
- 動画から作成された写真には、詳細情報表示画面に[📷]が表示されます。
- 以下の機能を使用中は、写真の切り出しはできません。
 - [自動画像転送](転送する画像が存在するとき)
 - [Frame.ioに画像を送る](アップロードキューに画像が存在するとき)

動画分割

撮影した動画を2つに分割します。



- 分割した画像は元に戻すことができません。十分に確認してから分割の操作をしてください。
- 分割処理中にカードやバッテリーをカメラから取り出さないでください。画像が消失するおそれがあります。

1 [動画分割]を選ぶ

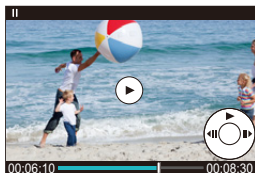
-  →  →  → [動画分割]

2 画像を選び、再生する

- ◀▶ で画像を選び、 または  を押します。

3 分割する位置で再生を一時停止する

- ▲ を押します。
- 細かい位置調整には、◀▶ (コマ戻し、コマ送り)をお使いください。



4 動画を分割する

- [MENU/SET] または [分割] を押します。
- [分割] をタッチしても動画を分割できます。



- [記録ファイル形式(動画)]が[Apple ProRes]で撮影された動画は分割できません。
- 動画の最初や最後の部分では分割できない場合があります。
- 撮影時間が短い場合は分割できません。
- [動画分割記録]を使用して撮影した画像には、[動画分割]は使用できません。
- 以下の機能を使用中は、[動画分割]は使用できません。
 - [自動画像転送](転送する画像が存在するとき)
 - [Frame.ioに画像を送る](アップロードキューに画像が存在するとき)

表示方法の切り換え

- [拡大表示: 547](#)
- [サムネイル表示: 549](#)
- [カレンダー表示: 551](#)

撮影画像を拡大表示したり、複数の画像を同時に表示するサムネイル表示（マルチ再生）に切り換えたりできます。撮影日を選んで表示するカレンダー表示に切り換えることもできます。

拡大表示

再生画像を拡大表示（再生ズーム）できます。

再生画面を拡大する

-  を右側に回します。
- 2倍 ⇨ 4倍 ⇨ 8倍 ⇨ 16倍の順で拡大表示します。
-  を左側に回すと、1つ前の表示に戻ります。
- 記録画素数の小さな画像は16倍で拡大表示できない場合があります。



❖ 拡大表示中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	—	画面を拡大／縮小
—	ピンチアウト／ ピンチイン	画面を細かく拡大／縮小
	ドラッグ	拡大表示位置の移動 ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
	—	拡大倍率、拡大位置を保持したまま画像を送る



- AFでピントの合った位置を表示できます。その位置から拡大表示できます：
(→ [AF位置から拡大:571](#))

サムネイル表示

1 サムネイル表示に切り換える

-  を左側に回します。
- 12画面 ⇨ 30画面の順に表示が切り換わります。
- 30画面表示中に  を左側に回すと、カレンダー表示に切り換わります。
(⇒ [カレンダー表示: 551](#))
-  を右側に回すと、1つ前の表示に戻ります。
- アイコンをタッチして表示を切り換えることもできます。

[]: 1 画面

[]: 12 画面

[]: 30 画面

[ CAL]: カレンダー (⇒ [カレンダー表示: 551](#))



(A) カードスロット

2 画像を選ぶ

-     で画像を選び、 または  を押します。



- サムネイル表示中に[]ボタンを押すと、表示するカードを切り換えることができます。
- サムネイル表示を上下にドラッグすると、画面をスクロールできます。

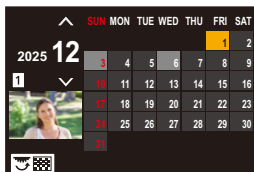


- []と表示される画像は再生できません。

カレンダー表示

1 カレンダー表示に切り換える

-  を左側に回します。
- サムネイル表示(12画面) ⇨ サムネイル表示(30画面) ⇨ カレンダー表示の順に表示が切り換わります。
-  を右側に回すと、1つ前の表示に戻ります。



2 撮影日を選ぶ

- ▲▼◀▶ で日付を選び、 または  を押します。

3 画像を選ぶ

- ▲▼◀▶ で画像を選び、 または  を押します。
-  を左側に回すと、カレンダー表示に戻ります。

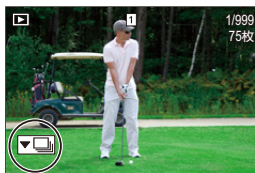


- カレンダー表示中は、表示するカードを切り換えることができません。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。

グループ画像

インターバル撮影やコマ撮り撮影で撮影した画像は、本機ではグループ画像として扱われ、グループ単位で消去や編集ができます。(例えば、グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます)
また、グループ内の画像ごとに消去や編集もできます。

❖ 本機でグループ画像として扱われる画像



SH連写で撮影したグループ画像



フォーカスブラケット撮影したグループ画像



インターバル撮影したグループ画像



コマ撮り撮影したグループ画像



[動画分割記録]で撮影したグループ画像

❖ グループ内の画像を1枚ずつ再生／編集する

グループ内の画像に対して、サムネイル表示、画像の消去など通常の再生時と同じ操作ができます。

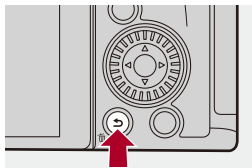
- 1 再生状態でグループ画像を選ぶ(➡ [写真の再生: 536](#))
- 2 ▼を押してグループ内の画像を表示する
 - グループ画像のアイコンをタッチしても同じ操作ができます。
- 3 ◀▶で画像を選ぶ
 - 通常の再生画面に戻るには、もう一度▼を押す、または[▶]をタッチしてください。

画像の消去



- 消去した画像は元に戻すことができません。十分に確認してから消去してください。
- 選択しているカードスロットの画像だけ消去できます。
- グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます。

1 再生状態で[⏏]を押す



2 ▲▼で消去方法を選び、 または を押す

1枚消去

選択中の画像を消去します。

複数消去

複数枚の画像を選んで消去します。

- 1 ▲▼◀▶で消去する画像を選び、 または  を押す
 - 選択した画像にが表示されます。
 - もう一度 または  を押すと、選択が解除されます。
 - 画像は100枚まで選択できます。
- 2 [DISP]ボタンを押して選択した画像を消去する



- 画像を消去するカードを切り換えるには、 ボタンを押してカードスロットを選択してください。



- 消去枚数により、時間がかかることがあります。
- 以下の機能を使用中は、画像の消去はできません。
 - [自動画像転送](転送する画像が存在するとき)
 - [Frame.ioに画像を送る](アップロードキューに画像が存在するとき)



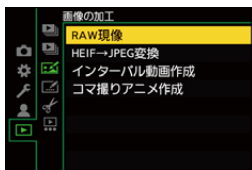
- 消去時の確認画面で、[はい]／[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定できます：
 - (→ [消去確認画面: 578](#))
- カード内のすべての画像を消去できます。
 - (→ [全画像消去: 578](#))

RAW現像

RAW形式で撮影した写真をカメラで現像し、JPEG形式またはHEIF形式で保存します。

1 [RAW現像]を選ぶ

- **MENU/SET** → **[▶]** → **[🔍]** → [RAW現像]

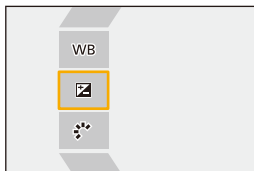


2 RAW画像を選ぶ

- **◀▶** で画像を選び、**MENU/SET** または **🔄** を押します。
- グループ画像を選んだ場合は、**▼** を押してから、グループ内の画像を選択してください。
もう一度 **▼** を押すと、通常の見出し画面に戻ります。
- 表示される画像には、撮影時の設定が反映されています。

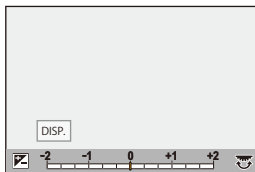
3 設定項目を選ぶ

- **▲▼** で項目を選び、**MENU/SET** または **🔄** を押します。



4 設定を変更する

- 、 または  を回します。
- 画面をピンチアウト／ピンチインすると、拡大／縮小できます。

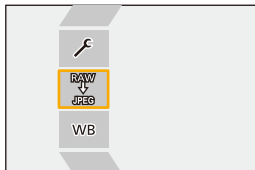


5 設定内容を決定する

-  または  を押します。
- 手順3の画面に戻ります。続けて他の項目を設定するときは、手順3から5を繰り返してください。

6 画像を保存する

-  で[RAW現像実行]を選び、 または  を押します。



❖ 設定項目(RAW現像)

RAW現像実行

画像を保存します。

WB ホワイトバランス(→ [ホワイトバランス\(WB\): 341](#))

ホワイトバランスを選んで調整できます。[]の付いた項目を選ぶと撮影時と同じ設定で現像できます。

- [ホワイトバランス]の選択画面で▼を押すと、ホワイトバランスの調整画面が表示されます。(→ [ホワイトバランスの調整: 347](#))
 - []～[]を選択中に▲を押すと、色温度の設定画面が表示されます。(→ [色温度設定: 346](#))
 - [AI-AWB]はRAW現像時に設定できます。
-

明るさ補正

明るさの補正ができます。

- [明るさ補正]の効果は、撮影時の露出補正と異なります。
-

フォトスタイル(→ [フォトスタイル: 349](#))

フォトスタイルを選択できます。

- [709ライク]を選択中に[Q]ボタンを押すと、二設定画面が表示されます。(→ [白飛びを抑えて撮影する\(二\): 411](#))
 - [V-Log]で撮影した画像は、フォトスタイルを選択できません。[V-Log]以外で撮影した画像では、[V-Log]を選択できません。
 - [シネライク A2]、[シネライク D2]、[シネライク V2]で撮影した画像は、[シネライク A2]、[シネライク D2]、[シネライク V2]以外のフォトスタイルを選択できません。[シネライク A2]、[シネライク D2]、[シネライク V2]以外のフォトスタイルで撮影した画像では、[シネライク A2]、[シネライク D2]、[シネライク V2]を選択できません。
 - [リアルタイム LUT]は選択できません。[リアルタイム LUT]で撮影した画像は、ベースとなるフォトスタイルによって選択できるフォトスタイルが変わります。
 - [スタンダード(HLG)]、[モノクローム(HLG)]は、[HEIF形式]を[HDR(HLG)]に設定して撮影したRAW画像の現像で、[JPEG/HEIF 切替]を[HEIF]に設定しているときに選択できます。
-

iダイナミックレンジ

iダイナミックレンジの設定を選択できます。

コントラスト

コントラストを調整できます。

ハイライト

明るい部分の明るさを調整できます。

シャドウ

暗い部分の明るさを調整できます。

彩度／色調

彩度または色調を調整できます。

色相

色相を調整できます。

フィルター効果

フィルター効果を選択できます。

粒状

粒状感の設定を選択できます。

色ノイズ

粒状感に色味を追加します。

NR ノイズリダクション

ノイズを軽減する設定ができます。

シャープネス

解像感を調整できます。

LUT1 LUT2 LUT

[LUTライブラリ]に登録されているLUTファイルを選択できます。(→ [LUTライブラリ:368](#))

LUT1 LUT2 LUT濃度

LUTファイルの効果を調整します。

詳細設定

[調整前に戻す]:撮影時の設定に戻すことができます。

[JPEG/HEIF切換]:保存する画像をJPEG形式またはHEIF形式のどちらで保存するか設定します。

[色空間]:色空間を[sRGB]または[AdobeRGB]から選択できます。(→ [色空間:615](#))

- [JPEG/HEIF切換]が[JPEG]のときに設定できます。

[画像サイズ]:保存時の画像サイズを選択できます。

[HLGビューアシスト(HDMI)]:色域と明るさを変換した映像をHDMI出力します。
(→ [HLGビューアシスト:484](#))

- [HEIF形式]を[HDR(HLG)]に設定して撮影したRAW画像の現像で、[JPEG/HEIF切換]を[HEIF]に設定しているときに選択できます。

[保存先スロット]:RAW現像した画像を保存するカードスロットを選択できます。

[AUTO]を選択すると、現像するRAW形式の画像と同じカードスロットに保存します。

• 選択した[フォトスタイル]により、調整できる項目は変わります。

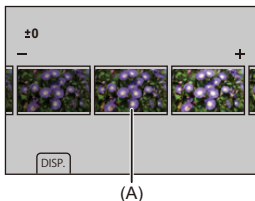
	STD. HLG VIVID NAT L.Clas N FLAT LAND PORT CNEA2 CNE2 CNEV2	MONO HLG MONO L.MONO L.MONO D L.MONO S LEICA MONO	709L	V-Log
WB	✓	✓	✓	✓
	✓	✓	✓	✓
	✓	✓	✓	
	✓ ^{*1}	✓ ^{*1}		
	✓	✓		
	✓	✓		
	✓	✓		
 (彩度)	✓		✓	✓ ^{*2}
 (色調)		✓		
	✓		✓	
		✓		
	✓	✓	✓	✓ ^{*2}
	✓ ^{*3}		✓ ^{*3}	✓ ^{*2, 3}
NR	✓	✓	✓	✓
	✓	✓	✓	✓
LUT1 /	✓	✓	✓	✓

- *1 [スタンダード(HLG)],[モノクローム(HLG)]では設定できません。
- *2 [LUT1]または[LUT2]でLUTファイルを適用した場合に設定できます。
- *3 [粒状]が[弱]／[中]／[強]のいずれかの場合に設定できます。

❖ 比較画面を表示する

設定値を反映した画像を並べて表示することで、効果を確認しながら設定を変更できます。

- 1 手順4の画面で、[DISP.]ボタンを押す
 - 現在の設定の画像(A)が中央に表示されます。
 - 現在の設定の画像をタッチすると拡大表示します。[↶]をタッチすると元の表示に戻ります。
 - [ノイズリダクション],[シャープネス]選択中は、比較画面の表示ができません。



- 2 、 または を回して設定を変更する
- 3 または を押して決定する



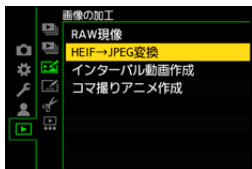
- 比較画面の表示に時間がかかる場合があります。
- 本機で撮影したRAW画像は常に [3:2] の [L] サイズで記録されます。(ただし、ハイレゾモードで撮影したRAW画像は [3:2] の [XL] サイズで記録されます)
- 多重露出で撮影した写真は、[ホワイトバランス]の項目が撮影時の設定に固定されます。
- 本機能では撮影時の画像横縦比や[ハイブリッドズーム(写真)]/[クロップズーム(写真)]の画角で現像されます。
- [ハイブリッドズーム(写真)]/[クロップズーム(写真)]を使用して撮影したRAW画像は、現像時に選択できる[画像サイズ]が異なる場合があります。
- 本機能では、[JPEG/HEIF 写真画質]は[FINE]で現像されます。
- 本機能と、ソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio」のRAW現像の結果は、完全には一致しません。
- 以下の機能を使用中は、RAW現像はできません。
 - HDMI出力
 - [自動画像転送](転送する画像が存在するとき)
 - [Frame.ioに画像を送る](アップロードキューに画像が存在するとき)

HEIF→JPEG変換

HEIF画像として保存した写真をJPEG画像に変換します。

1 [HEIF→JPEG変換]を選ぶ

-  →  →  → [HEIF→JPEG変換]



2 HEIF画像を選ぶ

- ◀▶で画像を選び、 または  を押します。
- グループ画像を選んだ場合は、▼を押してから、グループ内の画像を選択してください。
もう一度▼を押すと、通常の見出し画面に戻ります。

3 画像を保存する

- ◀▶で[はい]を選び、 または  を押します。



- 本機でHEIF画像をJPEG画像に変換した場合、カラーサンプリングは以下になります。

HEIF (4:2:0 10 bit)→JPEG (4:2:2 8 bit)

動画修復

動画記録が正常に完了しなかった場合に、再生できない動画ファイル(拡張子「.mdt」)が生成されることがあります。

本機能を使って、「.mdt」のファイルを再生可能な動画ファイルに修復できます。

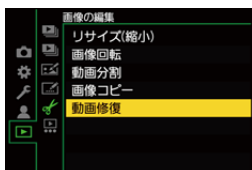
- 「.mdt」ファイルが生成される原因には以下のようなものがあります。
 - 動画記録中に電源が切れる(バッテリーを取り出す、電源コードが抜ける、ACアダプター使用中の停電、など)
 - 動画記録中にカードを取り出す
 - 動画記録後、カードへの書き込み中にカードを取り出す
 - 動画記録中／カード書き込み中に予期せぬフリーズが発生した場合



- 修復できる動画は、[記録ファイル形式(動画)]が[MOV]または[Apple ProRes]で撮影した動画です。
[MP4]で撮影した動画は修復できません。
- 修復には時間がかかるため、給電しながら操作してください。(→ [電力を供給しながらカメラを使う\(給電／充電\): 60](#))

1 [動画修復]を選ぶ

- ⇒ ⇒ ⇒ [動画修復]

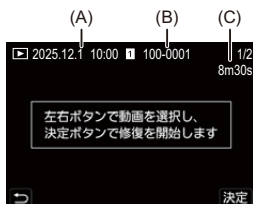


2 [スロット1(CFexpress)]または[スロット2(SD)]を選ぶ

- ▲▼で選択し、 または  を押します。
- 修復可能な動画ファイルが絞り込まれます。

3 修復する動画ファイルを選ぶ

- ◀▶でファイルを選び、 または  を押します。
- 撮影日時(A)、フォルダー・ファイル番号(B)、動画記録時間(C)を参考に動画ファイルを選んでください。



4 確認画面で[はい]を選ぶ

- 動画修復が始まります。修復には時間がかかります。
- 修復された動画ファイルは、修復前のファイルと同じフォルダーに保存されます。

❖ 動画修復を中止する

動画修復を中止してもファイルは消去されないため、後でやり直すことができます。

- 1 動画修復中画面で  または  を押す
- 2 確認画面で[はい]を選ぶ



- 記録時間が短い動画は修復できない場合があります。
- データの状態によっては、動画を修復できない場合があります。
- カードの空き容量が著しく不足している場合は、動画修復を開始できません。
- 修復中は電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。カードや撮影データが壊れるおそれがあります。
- 修復中は他の操作をしないでください。
- 本機以外で撮影した動画は修復できません。
- 以下の機能を使用中は、[動画修復]は使用できません。
 - [自動画像転送](転送する画像が存在するとき)

再生メニュー

- [再生メニューでの画像の選び方: 568](#)
- [再生メニュー\(表示方法\): 570](#)
- [再生メニュー\(画像の加工\): 573](#)
- [再生メニュー\(情報の付与・削除\): 574](#)
- [再生メニュー\(画像の編集\): 575](#)
- [再生メニュー\(その他\): 578](#)

再生メニューでの画像の選び方

画像を選ぶ画面が表示されたときは、以下の手順で選択してください。

- カードスロットごとに表示されます。
- 一度に選択できるのは、1枚のカード内の画像だけです。

❖ [1枚設定]選択中

- 1  で画像を選ぶ
- 2  または  を押す
 - 画面右下に[設定 / 解除]と表示される場合、もう一度  または  を押すと設定が解除されます。

❖ [複数設定]選択中

[] ボタンを押すと、表示するカードが切り換わります。

- 1 ▲▼◀▶ で画像を選び、 または  を押す(繰り返す)
 - 設定を解除するには、もう一度  または  を押してください。



- 2 [DISP.]ボタンを押して実行する

[プロテクト]を選んだとき

- ▲▼◀▶ で画像を選び、 または  で設定する(繰り返す)
- 設定を解除するには、もう一度  または  を押してください。



再生メニュー(表示方法)

▶: 初期設定

再生モード

▶通常再生／写真のみ／動画のみ／レーティング

再生する画像の種類を絞り込みます。

- [レーティング]を設定したときは、表示させたいレーティングのレベルにチェックマークを入れ、[DISP.]ボタンを押してください。

スライドショー

全画像／写真のみ／動画のみ／レーティング

画像の種類を選び、一定間隔で順番に再生します。

- [レーティング]を設定したときは、表示させたいレーティングのレベルにチェックマークを入れ、[DISP.]ボタンを押してください。

開始: スライドショー再生を開始します。

再生間隔: 画像を再生する間隔を選びます。

リピート: リピート再生を設定します。

スライドショー中の操作

▲: 再生／一時停止 ([▶] / [⏸]) をタッチしても同じ操作ができます)

◀: 前の画像へ

▶: 次の画像へ

▼: スライドショーを終了する

⦿: 音量の調整

- [動画のみ]を設定したときは、[再生間隔]は使用できません。

縦位置自動回転

▶ON／OFF

カメラを縦に構えて撮影した写真を自動で縦向きに表示します。

画像表示順

ファイル名／▶撮影日時

本機で画像を再生するときの表示順を設定します。

ファイル名: フォルダー名／ファイル名の順番で表示します。

撮影日時: 画像が撮影された日時の順番で表示します。

- 別のカードを入れたときは、すべてのデータを読み込むまで時間がかかるため、設定した順番で表示されない場合があります。

AF位置から拡大

ON／▶OFF

AFでピントの合った位置を表示します。画像を拡大するときにAFでピントの合った位置を中心に拡大します。

- ハイレゾモードで撮影したRAW画像や、ピントが合っていない場合は、画像の中央を拡大します。

LUTビューアシスト(モニター)

ON／▶OFF

[フォトスタイル]を[V-Log]に設定して記録した画像を再生するときに、LUTファイルを適用した映像をモニター／ファインダーに表示します。

- カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[Logビューアシスト]の[LUTビューアシスト(モニター)]と連動しています。
(→ [Logビューアシスト: 481](#))

HLGビューアシスト(モニター)

MODE1 / MODE2 / OFF

HLG動画を撮影、再生するときに、色域と明るさを変換して表示します。

- カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[HLGビューアシスト]の[モニター]と連動しています。
(⇒ [HLGビューアシスト:484](#))

アナモフィック デスクイーズ表示

2.0x / 1.8x / 1.5x / 1.33x / 1.30x / OFF

アナモフィックレンズの倍率に合わせてデスクイーズした映像を本機に表示します。

- カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[アナモフィック デスクイーズ表示]と連動しています。
(⇒ [アナモフィック デスクイーズ表示:487](#))

動画再生後の動作

▶再生終了 / 最終フレームで一時停止

動画の再生終了後の動作を設定できます。

再生終了: 動画再生を終了して画像選択画面に戻ります。

最終フレームで一時停止: 動画再生を終了せずに、最後のフレームで一時停止します。動画再生を終了するには▼を押してください。

再生メニュー(画像の加工)

RAW現像

RAW形式で撮影した写真をカメラで現像し、JPEG形式またはHEIF形式で保存します。

(→ [RAW現像: 556](#))

HEIF→JPEG変換

HEIF画像として保存した写真をJPEG画像に変換します。

(→ [HEIF→JPEG変換: 564](#))

インターバル動画作成

[インターバル撮影]で撮影したグループ画像から動画を作成します。

- 1 ◀▶で[インターバル撮影]のグループを選び、 または  を押す
- 2 動画の作成方法を選び、動画化する
(→ [インターバル／コマ撮りアニメの動画: 269](#))

• [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定したときは、[インターバル動画作成]は使用できません。

コマ撮りアニメ作成

[コマ撮りアニメ]で撮影したグループ画像から動画を作成します。

- 1 ◀▶でコマ撮りグループを選び、 または  を押す
- 2 動画の作成方法を選び、動画化する
(→ [インターバル／コマ撮りアニメの動画: 269](#))

• [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定したときは、[コマ撮りアニメ作成]は使用できません。

再生メニュー(情報の付与・削除)

プロテクト

1枚設定／複数設定／全解除

誤って消去することがないように、画像にプロテクトを設定できます。ただし、カードをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されます。

- 画像の選び方について(→ [再生メニューでの画像の選び方: 568](#))
- [プロテクト]設定は本機以外では無効になる場合があるためお気をつけください。

レーティング

1枚設定／複数設定／全解除

画像に5段階のレベルに分けたレーティングを設定すると、以下のことができます。

- レーティングを設定した画像以外を消去する。
- パソコンのファイル詳細表示などで、レーティングのレベルを確認する。

- 1 画像を選ぶ(→ [再生メニューでの画像の選び方: 568](#))
- 2 ◀▶ でレーティングのレベル(1～5)を選び、 または  を押す
 - [複数設定]を選択したときは、手順1、2を繰り返してください。
 - 設定を解除するには、レーティングのレベルを[OFF]にしてください。

再生メニュー(画像の編集)

▶: 初期設定

リサイズ(縮小)

1枚設定／複数設定

ホームページ用やメール添付で送信しやすいように、画像の容量(画像サイズ)を小さくして、別の画像として保存します。

- 画像の選び方について(→ [再生メニューでの画像の選び方: 568](#))
 - [1枚設定]選択時は、画像を選んだあとに、▲▼でサイズを選んで  または  を押してください。
 - [複数設定]選択時は、画像を選ぶ前に、▲▼でサイズを選んで  または  を押してください。
- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。
- リサイズ(縮小)すると画質が粗くなります。
- 以下の機能を使用して撮影した画像には、[リサイズ(縮小)]は使用できません。
 - 動画撮影
 - グループ画像
 - [画像横縦比]の[65:24]、[2:1]
 - [記録ファイル形式(写真)]の[RAW]
 - C4K動画から作成した写真
 - [画像サイズ]の[XS]

画像回転

画像を手動で90°ずつ回転させます。

-  : 時計回りに90°回転します。
-  : 反時計回りに90°回転します。

- 画像の選び方について(→ [再生メニューでの画像の選び方: 568](#))
- [縦位置自動回転]が[OFF]のときは、[画像回転]は使用できません。

動画分割

撮影した動画を2つに分割します。

(→ [動画分割: 545](#))

画像コピー

コピー方向	
画像選択コピー／フォルダー内全画像コピー／メディア内全画像コピー	
カード内の画像をもう一方のカードにコピーできます。 外付けSSDをUSB接続すると、カードとSSDの間で画像をコピーできます。(→ 外付けSSDを接続する: 529) * 外付けSSDを接続し、[USB-SSD]を[ON]に設定したときに表示されます。 (は非表示になります) - コピーするときは、新しいフォルダーを作成し保存します。 画像選択コピー：画像を選んでコピーします。 1 コピーする画像の入ったフォルダーを選ぶ 2 画像を選ぶ(→ 再生メニューでの画像の選び方: 568) フォルダー内全画像コピー：フォルダー内のすべての画像をコピーします。 1 コピーするフォルダーを選ぶ 2 コピーする画像を確認し、 または を押して実行する メディア内全画像コピー：メディア内のすべての画像をコピーします。	

Fn ボタンで画像をコピーする

1枚再生中に[画像コピー]を登録したFnボタンを押すと、再生中の画像をもう一方のカードにコピーします。(→[Fn ボタン: 580](#))

- 以下の選択肢からコピー先のフォルダーを選んでください。グループ画像の場合は[新規作成]が自動で選ばれます。

コピー元と同じフォルダー番号: コピーする画像と同じ名前のフォルダーにコピーします。

新規作成: フォルダー番号を繰り上げて新規フォルダーを作成し、コピーします。

フォルダー選択: 保存するフォルダーを選んでコピーします。

- [画像選択コピー]で一度に設定できるのは100枚までです。
- [プロテクト]の設定内容はコピーされません。
- コピーに時間がかかる場合があります。
- 以下のカードの組み合わせを使用すると、動画のコピーはできません。
 - CFexpressカードからSD／SDHCメモリーカードへのコピー

動画修復

▶スロット1(CFexpress)／スロット2(SD)

何らかの原因で記録が正常に終了しなかった動画ファイルを修復します。(→[動画修復: 565](#))

再生メニュー(その他)

▶: 初期設定

消去確認画面

「はい」がはじめ／▶「いいえ」がはじめ

画像消去時に表示される確認画面の選択肢として、[はい]／[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定します。

「はい」がはじめ: 最初に[はい]が選ばれます。

「いいえ」がはじめ: 最初に[いいえ]が選ばれます。

全画像消去

▶スロット1(CFexpress)／スロット2(SD)

カード内のすべての画像を消去します。

- 消去した画像は元に戻すことができません。十分に確認してから消去してください。
- [レーティング以外全消去]を選択すると、レーティング設定した画像以外のすべての画像を消去します。
- [全画像消去]は、[再生モード]を[通常再生]に設定しているときに使用できます。

カメラのカスタマイズ

本章では、カメラをお好みに合わせて設定できるカスタマイズ機能について説明します。

カメラの操作や画面表示の詳細な設定ができるカスタムメニューや、カメラの基本的な設定ができるセットアップメニューについても説明しています。

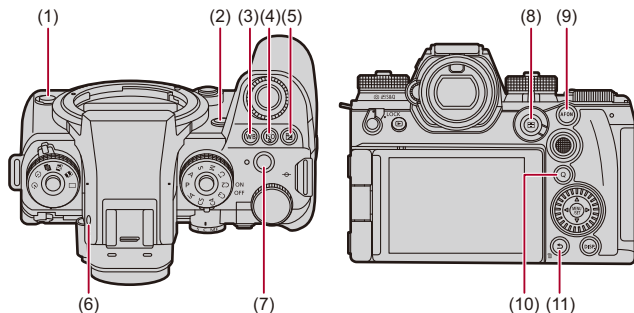
- [Fnボタン: 580](#)
- [ダイヤル動作切換: 595](#)
- [クイックメニューのカスタマイズ: 598](#)
- [カスタムモード: 605](#)
- [カスタムメニュー: 611](#)
- [セットアップメニュー: 650](#)
- [マイメニュー: 674](#)

Fnボタン

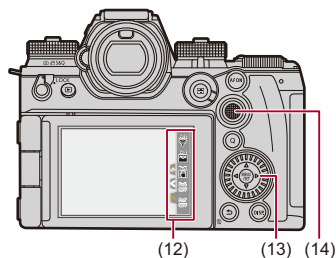
- [Fnボタンへの機能の登録: 583](#)
- [Fnボタンを使う: 594](#)

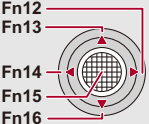
Fn(ファンクション)ボタンに機能を登録できます。また、[WB]ボタンなどの専用機能ボタンにも、Fnボタンと同じように、別の機能を登録できます。写真モード時、動画／S&Qモード時、再生モード時でそれぞれ異なる機能を設定できます。

❖ Fnボタンの初期設定



Fnボタン	写真モード時設定	動画/S&Qモード時設定	再生モード時設定
(1) サブ動画記録ボタン	動画撮影	写真モード時設定に連動	動画撮影
(2) Fn2	AFポイントスコープ	動画ライブビュー拡大表示	設定なし
(3) WB	ホワイトバランス	写真モード時設定に連動	設定なし
(4) ISO	ISO感度		設定なし
(5) 	露出補正		設定なし
(6) LVF	LVF/モニター切換		LVF/モニター切換
(7) 動画記録ボタン	動画撮影		動画撮影
(8) 	AFモード		スロット切換
(9) AF ON	AF-ON		レーティング★3
(10) Q	Q.MENU		スマートフォンに画像を送る
(11) Fn1 /  / 	水準器表示		再生時はFnボタンとして使用できません。



Fnボタン		写真モード時設定	動画/S&Qモード時設定	再生モード時設定
(12)	Fn3	Wi-Fi	写真モード時設定に連動	●再生時はFnボタンとして使用できません。
	Fn4	ヒストグラム表示	WFM/ベクトルスコープ表示	
	Fn5	手ブレ補正	手ブレ補正ブースト(動画)	
	Fn6	設定なし(長押し無効)	写真モード時設定に連動	
	Fn7			
(13)		ズーム操作(クロップズーム(写真)使用時)	ズーム操作(クロップズーム(動画)使用時)	
(14)		設定なし	写真モード時設定に連動	

Fn ボタンへの機能の登録



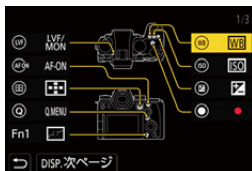
- 初期設定ではジョイスティックの[Fn12]～[Fn16]が使用できません。機能を使用する場合は、カスタムメニュー(操作)の[ジョイスティック設定]を[Fn]に設定してください。(→ [ジョイスティック設定: 629](#))

1 [Fn ボタン設定]を選ぶ

- [設定] → [ジョイスティック設定] → [Fn ボタン設定] → [写真モード時設定] / [動画/S&Qモード時設定] / [再生モード時設定]

2 ボタンを選ぶ

- ▲▼でボタンを選び、 または を押します。
- または を回しても選択できます。
- ページを切り換えるには、[DISP.]ボタンを押してください。



3 登録する機能を探す

-  を回して、登録する機能が分類されているサブタブ(→ [設定項目\(Fnボタン設定／写真モード時設定／動画/S&Qモード時設定\):585](#)、[設定項目\(Fnボタン設定／再生モード時設定\):592](#))を選び、 または  を押します。
- ◀を押してサブタブの選択状態にしてから ▲▼を押す、または  を回し、▶を押しても選択できます。
- [Q]ボタンを押すと、[1]～[3]のタブが切り換わります。



4 機能を登録する

- ▲▼で機能を選び、 または  を押します。
-  または  を回しても選択できます。
- [>]の付いた項目は、もう一度項目を選んでください。
- ボタンによっては、登録できない機能があります。



- コントロールパネル(→ [コントロールパネル\(写真モード\):796](#))で[Fn1]をタッチしても、手順2の画面を表示できます。
- Fnボタンの長押し(2秒)でも、手順4の画面を表示できます。(登録した機能やボタンの種類によっては表示されません)



- 交換レンズのフォーカスボタンに機能を登録できます：
(→ [レンズFnボタン設定:647](#))

❖ 設定項目(Fnボタン設定／写真モード時設定／動画/S&Qモード時設定)

[1]タブ

🔍 画質

- 露出補正 (→ [露出補正: 325](#))
- Dual Native ISO設定 (→ [Dual Native ISO設定: 337](#))
- ISO感度 (→ [ISO感度: 333](#))
- ホワイトバランス (→ [ホワイトバランス\(WB\): 341](#))
- フォトスタイル (→ [フォトスタイル: 349](#))
- LUT適用
 - [リアルタイムLUT]または[MY PHOTO STYLE]の[LUT]で設定したLUTファイルを適用します。(→ [画質調整: 354](#))
- リアルタイムLUT (→ [リアルタイムLUT: 367](#))
- 測光モード (→ [測光モード: 306](#))
- 画像横縦比 (→ [画像横縦比: 125](#))
- 記録ファイル形式(写真) (→ [記録ファイル形式\(写真\): 129](#))
- JPEG/HEIF切換 (→ [JPEG/HEIF切換: 132](#))
- JPEG/HEIF写真画質 (→ [JPEG/HEIF写真画質: 134](#))
- HEIF形式 (→ [HLG撮影\(HEIF形式\): 374](#))
- 画像サイズ (→ [画像サイズ: 127](#))
- ワンショット スポット測光
 - 1回だけ測光モードを[測光モード: 306)
- 長秒ノイズ除去 (→ [長秒ノイズ除去: 291](#))
- 下限シャッター速度 (→ [下限シャッター速度: 294](#))
- ワンショット RAW+JPEG／ワンショット RAW+HEIF
 - 1回だけRAW画像とJPEG/HEIF画像を同時に撮影します。(→ [記録ファイル形式\(写真\): 129](#))
- iダイナミックレンジ (→ [iダイナミックレンジ: 328](#))
- カラーシェーディング補正 (→ [カラーシェーディング補正: 377](#))
- フィルター効果 (→ [フィルター設定: 362](#))
- ワンプッシュAE
 - 絞り値やシャッタースピードを、カメラが決めた標準露出に合う設定にします。(→ [露出補正: 325](#))

- タッチ AE (→ [タッチ AE: 119](#))
- AWB ロック (→ [AWB ロック設定: 614](#))
- 写真の露出設定 (→ [写真の露出設定: 616](#))
- 動画/S&Qの露出設定 (→ [動画/S&Qの露出設定: 616](#))
- シンクロスキャン(写真) (→ [シンクロスキャン\(写真\): 292](#))
- シンクロスキャン(動画) (→ [シンクロスキャン\(動画\): 489](#))

[AF] フォーカス/レリーズ

- AF モード (→ [AF モードの選択: 196](#))
- 自動認識設定 (→ [自動認識: 199](#))
- 自動認識の対象 (→ [自動認識: 199](#))
- AF カスタム設定(写真) (→ [AF カスタム設定\(写真\): 187](#))
- AF カスタム設定(動画) (→ [AF カスタム設定\(動画\): 405](#))
- フォーカスリミッター (→ [フォーカスリミッター: 189](#))
- フォーカスリミッター範囲設定 (→ [フォーカスリミッター: 189](#))
- ピーキング (→ [ピーキング: 228](#))
- ピーキング感度 (→ [ピーキング: 228](#))
- フォーカス枠の移動速度 (→ [フォーカス枠の移動速度: 192](#))
- フォーカスリングロック (→ [フォーカスリングロック: 619](#))
- AE LOCK (→ [ピントや露出の固定\(AF / AE ロック\): 331](#))
- AF LOCK (→ [ピントや露出の固定\(AF / AE ロック\): 331](#))
- AF/AE LOCK (→ [ピントや露出の固定\(AF / AE ロック\): 331](#))
- AF-ON (→ [\[AF ON\] ボタン: 183](#))
- AF-ON: 近側
 - 近くの被写体を優先して AF が働きます。(→ [AF を使う: 181](#))
- AF-ON: 遠側
 - 遠くの被写体を優先して AF が働きます。(→ [AF を使う: 181](#))
- AF ポイントスコープ (→ [AF ポイントスコープ: 185](#))
- フォーカスエリア選択
 - AF エリア / MF アシストの移動画面を表示します。(→ [AF エリアの操作: 214](#)、[MF アシスト画面での操作: 225](#))
- 動画ライブビュー拡大表示 (→ [動画ライブビュー拡大表示: 406](#))

フラッシュ

- フラッシュモード(→ [フラッシュモード: 386](#))
- フラッシュ光量調整(→ [フラッシュ光量調整: 391](#))
- ワイヤレスフラッシュ設定(→ [ワイヤレスフラッシュ撮影: 394](#))

[2] タブ

その他(写真)

- ドライブモード設定 (→ [ドライブモードの選択: 244](#))
- ブラケット (→ [ブラケット撮影: 274](#))
- サイレントモード (→ [サイレントモード: 285](#))
- 手ブレ補正 (→ [動作設定: 300](#))
- シャッター方式 (→ [シャッター方式: 287](#))
- ハイブリッドズーム(写真) (→ [ハイブリッドズーム\(写真\): 234](#))
- クロップズーム
 - [クロップズーム(写真)], [ズーム操作], [ズーム操作(T側)], [ズーム操作(W側)], [クロップズーム(ステップ)], [ズーム速度(写真)]に設定できます。(→ [クロップズーム\(写真\): 230](#))
- ライブビューコンポジット撮影 (→ [ライブビューコンポジット撮影: 281](#))

記録

- 記録ファイル形式(動画) (→ [記録ファイル形式\(動画\): 148](#))
- 動画画質 (→ [動画画質: 150](#))
- 動画画質(マイリスト) (→ [マイリストから設定する、消去する: 167](#))
- プロキシ記録 (→ [プロキシ記録: 171](#))
- スロー & クイック設定 (→ [スロー & クイック動画: 460](#))
- タイムコード表示 (→ [タイムコード: 433](#))

音

- オーディオ情報表示 (→ [オーディオ情報表示: 421](#))
- 録音レベル表示 (→ [録音レベル表示: 415](#))
- 音声入力ミュート (→ [音声入力ミュート: 415](#))
- 録音レベル設定 (→ [録音レベル設定: 417](#))
- 録音音質 (→ [録音音質: 418](#))
- 録音レベルリミッター (→ [録音レベルリミッター: 419](#))
- 4chオーディオ記録 (→ [4chオーディオ記録: 428](#))
- XLRマイクアダプター設定 (→ [XLRマイクロホンアダプター\(別売\): 425](#))
- 音声モニタチャンネル (→ [音声モニタチャンネル: 431](#))

その他(動画)

- 手ブレ補正 (→ [動作設定: 300](#))
- 電子手ブレ補正(動画) (→ [電子手ブレ補正\(動画\): 301](#))
- 手ブレ補正ブースト(動画) (→ [手ブレ補正ブースト\(動画\): 298](#))
- 動画撮影範囲 (→ [動画撮影範囲: 176](#))
- ハイブリッドズーム(動画) (→ [ハイブリッドズーム\(動画\): 240](#))
- クロップズーム
 - [クロップズーム(動画)], [ズーム操作], [ズーム操作(T側)], [ズーム操作(W側)], [クロップズーム(ステップ)], [ズーム速度(動画)]に設定できます。(→ [クロップズーム\(動画\): 237](#))
- フォーカストランジション (→ [フォーカストランジション: 468](#))
- ライブクロップ (→ [ライブクロップ: 472](#))
- ライブクロップ設定 (→ [ライブクロップ: 472](#))

操作

- Q.MENU (→ [クイックメニュー: 98](#))
- 撮影/再生切換
 - 再生画面に切り換えます。(→ [写真の再生: 536](#), [動画の再生: 538](#))
- 動画撮影 (→ [動画を撮る: 136](#))
- LVF/モニター切換 (→ [モニターとファインダーの切り換え: 92](#))
- ダイヤル動作切換 (→ [ダイヤルの動作を一時的に変更する: 597](#))

モニター/表示

- プレビュー (→ [プレビューモード: 323](#))
- プレビュー(絞りのみ)
 - Fnボタンを押している間、絞り効果を確認できます。(→ [プレビューモード: 323](#))
- 常時プレビュー (→ [常時プレビュー: 630](#))
- 水準器表示 (→ [水準器表示: 638](#))
- ヒストグラム表示 (→ [ヒストグラム表示: 631](#))
- スポット輝度メーター (→ [スポット輝度メーター: 449](#))
- フレーム表示 (→ [フレーム表示: 455](#))
- 写真グリッドライン表示 (→ [写真グリッドライン表示: 632](#))

[3] タブ

モニター/表示

- ライブビューブースト(→ [ライブビューブースト: 632](#))
- モノクロライブビュー(→ [モノクロライブビュー: 641](#))
- ナイトモード(→ [ナイトモード: 633](#))
- LVF/モニター表示設定
 - 表示しているモニターまたはファインダーの表示スタイルを切り換えます。
(→ [LVF/モニター表示設定: 634](#))
- モニター反転表示切替
 - モニターの画面を反転表示させる設定ができます。(→ [モニター左右反転表示: 635](#), [モニター上下反転表示: 635](#))
- ゼブラパターン表示(→ [ゼブラパターン表示: 450](#))
- LUTビューアシスト(モニター)(→ [LUTビューアシスト\(モニター\): 481](#))
- LUTビューアシスト(HDMI)(→ [LUTビューアシスト\(HDMI\): 481](#))
- LUT選択(LUTビューアシスト)(→ [Logビューアシスト: 481](#))
- HLGビューアシスト(モニター)(→ [HLGビューアシスト: 484](#))
- HLGビューアシスト(HDMI)(→ [HLGビューアシスト: 484](#))
- オーバーレイ表示(→ [オーバーレイ表示: 637](#))
- 手ブレ状態スコープ(→ [手ブレ状態スコープ: 638](#))
- フォルスカラー(→ [フォルスカラー: 452](#))
- WFM/ベクトルスコープ表示(→ [WFM/ベクトルスコープ表示: 446](#))
- アナモフィック デスクイーズ表示(→ [アナモフィック デスクイーズ表示: 487](#))
- カラーバー(→ [カラーバー/テストトーン: 457](#))

レンズ/その他

- フォーカスリング制御(→ [フォーカスリング制御: 648](#))
- AF微調整(→ [AF微調整: 193](#))
- レンズ情報(→ [レンズ情報: 303](#))

カード/ファイル

- 記録先スロット
 - 優先して記録するカードを変更します。[ダブルスロット機能](→ [ダブルスロット機能: 652](#))を[リレー記録]にすると使用できます。

IN/OUT

- ストリーミング(→ [ストリーミング機能: 739](#))
- Wi-Fi(→ [Wi-Fi / Bluetooth: 692](#))
- ファン動作モード(→ [ファン動作モード: 645](#))

設定

- カスタムモード登録(→ [インスタントカスタム登録: 606](#))

その他

- 設定なし
 - Fnボタンとして使用しないときに設定します。
- 設定なし(長押し無効)
 - Fnボタンとして動作しません。Fnボタンを長押し(2秒)しても、機能の登録画面を表示しません。
- 写真モード時設定に連動
 - [写真モード時設定]で設定したメニューと連動します。([動画/S&Qモード時設定]時のみ)
- デフォルトに戻す
 - Fnボタンを初期設定に戻します。(→ [Fnボタンの初期設定: 580](#))

❖ 設定項目(Fnボタン設定／再生モード時設定)

[1]タブ

表示方法

- AF位置から拡大(→[AF位置から拡大: 571](#))
- LUTビューアシスト(モニター)(→[LUTビューアシスト\(モニター\): 571](#))
- HLGビューアシスト(モニター)(→[HLGビューアシスト\(モニター\): 572](#))
- アナモフィック デスクイーズ表示(→[アナモフィック デスクイーズ表示: 487](#))

画像の加工

- RAW現像(→[RAW現像: 556](#))
- HEIF→JPEG変換(→[HEIF→JPEG変換: 564](#))

情報の付与・削除

- 1枚消去(→[画像の消去: 554](#))
- プロテクト(→[プロテクト: 574](#))
- レーティング★1(→[レーティング: 574](#))
- レーティング★2(→[レーティング: 574](#))
- レーティング★3(→[レーティング: 574](#))
- レーティング★4(→[レーティング: 574](#))
- レーティング★5(→[レーティング: 574](#))

画像の編集

- 画像コピー(→[画像コピー: 576](#))

操作

- 撮影/再生切換
 - 撮影画面に切り換えます。(→[写真を撮る: 122](#)、[動画を撮る: 136](#))
- LVF/モニター切換(→[モニターとファインダーの切り換え: 92](#))
- 動画撮影(→[動画を撮る: 136](#))

モニター/表示

- ナイトモード (→ [ナイトモード: 633](#))

カード/ファイル

- スロット切替 (→ [表示するカードの切り換え: 537](#))

IN/OUT

- 音声モニタチャンネル(再生時) (→ [音声モニタチャンネル\(再生時\): 661](#))
- Wi-Fi (→ [Wi-Fi / Bluetooth: 692](#))
- ファン動作モード (→ [ファン動作モード: 645](#))
- スマートフォンに画像を送る (→ [カメラ内の画像を簡単にスマートフォンに送る: 705](#))
- Frame.ioに画像を送る (→ [Frame.ioに画像を送る: 727](#))
- LUTビューアシスト(HDMI) (→ [Logビューアシスト: 481](#))
- HLGビューアシスト(HDMI) (→ [HLGビューアシスト: 484](#))

[2] タブ

その他

- 設定なし
 - Fnボタンとして使用しないときに設定します。
- 設定なし(長押し無効)
 - Fnボタンとして動作しません。Fnボタンを長押し(2秒)しても、機能の登録画面を表示しません。
- デフォルトに戻す
 - Fnボタンを初期設定に戻します。(→ [Fnボタンの初期設定: 580](#))

Fnボタンを使う

Fnボタンを押すと、それぞれの設定で登録した機能を使うことができます。

- [📷]モード時:[写真モード時設定]で登録した機能
- [📹]/[S&Q]モード時:[動画/S&Qモード時設定]で登録した機能
- 再生時:[再生モード時設定]で登録した機能

1 Fnボタンを押す

2 設定項目を選ぶ

- ◀▶ で設定項目を選び、**MENU/SET** または **👁** を押します。
- **🔍**、**🔍** または **🔄** を回しても選択できます。
- 設定項目の表示、選び方はメニュー項目によって異なります。

❖ [Fn3]～[Fn7]ボタンを使う(タッチアイコン)

撮影時は、タッチタブ内のFnボタンを使うことができます。



- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー(操作)の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ [タッチ設定: 623](#))

- 1 [Fn] をタッチする
- 2 [Fn3]～[Fn7]のいずれかをタッチする



ダイヤル動作切換

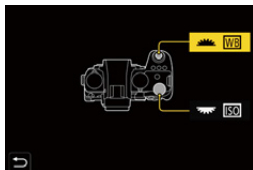
- [ダイヤルへの機能の登録: 595](#)
- [ダイヤルの動作を一時的に変更する: 597](#)

☀ (前ダイヤル)と ☹ (後ダイヤル)で動作する機能を一時的に変更します。

ダイヤルへの機能の登録

1 [ダイヤル動作切換設定]を選ぶ

-  ⇒  ⇒  ⇒ [ダイヤル設定] ⇒ [ダイヤル動作切換設定]
⇒  / 



2 機能を登録する

- ▲▼で機能を選び、 または  を押します。

❖ 登録できる機能

- 露出補正 (→ [露出補正: 325](#))
- ISO感度^{*1} (→ [ISO感度: 333](#))
- ホワイトバランス^{*2} (→ [ホワイトバランス\(WB\): 341](#))
- フォトスタイル (→ [フォトスタイル: 349](#))
- 画像横縦比 (→ [画像横縦比: 125](#))
- iダイナミックレンジ (→ [iダイナミックレンジ: 328](#))
- フィルター効果 (→ [フィルター設定: 362](#))
- AFモード (→ [AFモードの選択: 196](#))
- フラッシュモード (→ [フラッシュモード: 386](#))
- フラッシュ光量調整 (→ [フラッシュ光量調整: 391](#))

*1  の初期設定

*2  の初期設定

ダイヤルの動作を一時的に変更する

1 Fnボタンに[ダイヤル動作切換]を設定する

(→Fnボタン:580)

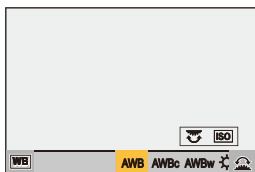
2 ダイヤルの動作を切り換える

- 手順1で設定したFnボタンを押します。
- とに登録した機能のガイドが表示されます。
- 何も操作をしないと、数秒後にガイドの表示が消えます。



3 登録した機能を設定する

- ガイドが表示されている間に、またはを回します。



4 決定する

- シャッターボタンを半押しします。

クイックメニューのカスタマイズ

●クイックメニューへの登録: 598

クイックメニューに表示する項目や順番を、お好みに合わせて配置できます。

クイックメニューの操作方法について(→ [クイックメニュー: 98](#))

クイックメニューへの登録

クイックメニューに表示させるメニューを変更します。

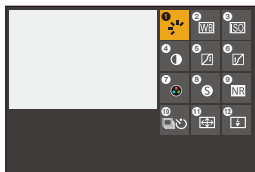
[]モードと[] / [S&Q]モードで別々に設定できます。

1 [Q.MENU設定]を選ぶ

- → [] → [] → [Q.MENU設定] → [表示項目カスタマイズ (写真モード)] / [表示項目カスタマイズ (動画/S&Qモード)]

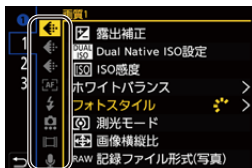
2 項目の位置(1～12)を選ぶ

- ▲▼◀▶ で位置を選び、 または を押します。
- を回しても選択できます。
- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも選択できます。



3 登録する機能を探す

- ☀️ を回して、登録する機能が分類されているサブタブ(→ [登録できるメニュー項目: 600](#))を選び、 または  を押します。
- ◀️ を押してサブタブの選択状態にしてから ▲▼ を押す、または  を回し、▶️ を押しても選択できます。
- [Q] ボタンを押すと、[1]～[3]のタブが切り換わります。



4 メニュー項目を登録する

- ▲▼ で項目を選び、 または  を押します。
- ☀️ または  を回しても選択できます。
- [>]の付いた項目は、もう一度項目を選んでください。

❖ 登録できるメニュー項目

[1]タブ

🔍 画質

- 露出補正 (→ [露出補正: 325](#))
- Dual Native ISO設定 (→ [Dual Native ISO設定: 337](#))
- ISO感度 (→ [ISO感度: 333](#))
- ホワイトバランス (→ [ホワイトバランス\(WB\): 341](#))
- フォトスタイル (→ [フォトスタイル: 349](#))
- 測光モード (→ [測光モード: 306](#))
- 画像横縦比 (→ [画像横縦比: 125](#))
- 記録ファイル形式(写真) (→ [記録ファイル形式\(写真\): 129](#))
- JPEG/HEIF切替 (→ [JPEG/HEIF切替: 132](#))
- JPEG/HEIF写真画質 (→ [JPEG/HEIF写真画質: 134](#))
- HEIF形式 (→ [HLG撮影\(HEIF形式\): 374](#))
- 画像サイズ (→ [画像サイズ: 127](#))
- 長秒ノイズ除去 (→ [長秒ノイズ除去: 291](#))
- 下限シャッター速度 (→ [下限シャッター速度: 294](#))
- iダイナミックレンジ (→ [iダイナミックレンジ: 328](#))
- カラーシェーディング補正 (→ [カラーシェーディング補正: 377](#))
- フィルター効果 (→ [フィルター設定: 362](#))
- 写真の露出設定 (→ [写真の露出設定: 616](#))
- 動画/S&Qの露出設定 (→ [動画/S&Qの露出設定: 616](#))
- シンクロスキャン(写真) (→ [シンクロスキャン\(写真\): 292](#))
- シンクロスキャン(動画) (→ [シンクロスキャン\(動画\): 489](#))

フォーカス/レリーズ

- AFモード(→[AFモードの選択: 196](#))
- 自動認識設定(→[自動認識: 199](#))
- 自動認識の対象(→[自動認識: 199](#))
- AFカスタム設定(写真)(→[AFカスタム設定\(写真\): 187](#))
- AFカスタム設定(動画)(→[AFカスタム設定\(動画\): 405](#))
- ピーキング(→[ピーキング: 228](#))
- ピーキング感度(→[ピーキング: 228](#))
- フォーカス枠の移動速度(→[フォーカス枠の移動速度: 192](#))

フラッシュ

- フラッシュモード(→[フラッシュモード: 386](#))
- フラッシュ光量調整(→[フラッシュ光量調整: 391](#))
- ワイヤレスフラッシュ設定(→[ワイヤレスフラッシュ撮影: 394](#))

その他(写真)

- ドライブモード設定(→[ドライブモードの選択: 244](#))
- ブラケット(→[ブラケット撮影: 274](#))
- サイレントモード(→[サイレントモード: 285](#))
- 手ブレ補正(→[動作設定: 300](#))
- シャッター方式(→[シャッター方式: 287](#))
- ハイブリッドズーム(写真)(→[ハイブリッドズーム\(写真\): 234](#))
- クロップズーム(写真)(→[クロップズーム\(写真\): 230](#))
- ズーム速度(写真)(→[ズーム速度\(写真\): 231](#))

記録

- 記録ファイル形式(動画)(→[記録ファイル形式\(動画\): 148](#))
- 動画画質(→[動画画質: 150](#))
- 動画画質(マイリスト)(→[マイリスト登録: 167](#))
- プロキシ記録(→[プロキシ記録: 171](#))
- スロー & クイック設定(→[スロー & クイック動画: 460](#))
- タイムコード表示(→[タイムコード: 433](#))



音

- オーディオ情報表示 (→ [オーディオ情報表示: 421](#))
- 録音レベル表示 (→ [録音レベル表示: 415](#))
- 録音レベル設定 (→ [録音レベル設定: 417](#))
- 録音音質 (→ [録音音質: 418](#))
- 録音レベルリミッター (→ [録音レベルリミッター: 419](#))
- 4chオーディオ記録 (→ [4chオーディオ記録: 428](#))
- XLRマイクアダプター設定 (→ [XLRマイクロホンアダプター\(別売\): 425](#))
- 音声モニタチャンネル (→ [音声モニタチャンネル: 431](#))

[2] タブ



その他(動画)

- 手ブレ補正 (→ [動作設定: 300](#))
- 電子手ブレ補正(動画) (→ [電子手ブレ補正\(動画\): 301](#))
- 手ブレ補正ブースト(動画) (→ [手ブレ補正ブースト\(動画\): 298](#))
- 動画撮影範囲 (→ [動画撮影範囲: 176](#))
- ハイブリッドズーム(動画) (→ [ハイブリッドズーム\(動画\): 240](#))
- クロップズーム(動画) (→ [クロップズーム\(動画\): 237](#))
- ズーム速度(動画) (→ [ズーム速度\(動画\): 237](#))
- フォーカストランジション (→ [フォーカストランジション: 468](#))
- ライブクロップ (→ [ライブクロップ: 472](#))
- ライブクロップ設定 (→ [ライブクロップ: 472](#))

モニター/表示

- 常時プレビュー (→ [常時プレビュー: 630](#))
- 水準器表示 (→ [水準器表示: 638](#))
- ヒストグラム表示 (→ [ヒストグラム表示: 631](#))
- スポット輝度メーター (→ [スポット輝度メーター: 449](#))
- フレーム表示 (→ [フレーム表示: 455](#))
- 写真グリッドライン表示 (→ [写真グリッドライン表示: 632](#))
- ライブビューブースト (→ [ライブビューブースト: 632](#))
- モノクロライブビュー (→ [モノクロライブビュー: 641](#))
- ナイトモード (→ [ナイトモード: 633](#))
- LVF/モニター表示設定 (→ [LVF/モニター表示設定: 634](#))
- ゼブラパターン表示 (→ [ゼブラパターン表示: 450](#))
- LUTビューアシスト(モニター) (→ [LUTビューアシスト\(モニター\): 481](#))
- LUTビューアシスト(HDMI) (→ [LUTビューアシスト\(HDMI\): 481](#))
- HLGビューアシスト(モニター) (→ [HLGビューアシスト: 484](#))
- HLGビューアシスト(HDMI) (→ [HLGビューアシスト: 484](#))
- オーバーレイ表示 (→ [オーバーレイ表示: 637](#))
- 手ブレ状態スコープ (→ [手ブレ状態スコープ: 638](#))
- フォルスカラー (→ [フォルスカラー: 452](#))
- WFM/ベクトルスコープ表示 (→ [WFM/ベクトルスコープ表示: 446](#))
- アナモフィック デスクイーズ表示 (→ [アナモフィック デスクイーズ表示: 487](#))
- カラーバー (→ [カラーバー/デストーション: 457](#))

レンズ/その他

- フォーカスリング制御 (→ [フォーカスリング制御: 648](#))
- レンズ情報 (→ [レンズ情報: 303](#))

カード/ファイル

- 記録先スロット (→ [表示するカードの切り換え: 537](#))

IN/OUT

- ストリーミング(→ [ストリーミング機能: 739](#))
- Wi-Fi(→ [Wi-Fi / Bluetooth: 692](#))
- ファン動作モード(→ [ファン動作モード: 645](#))

[3] タブ

その他

- 設定なし
 - 使用しないときに設定します。

❖ クイックメニューの詳細な設定

クイックメニューの見た目の変更や、メニュー表示中の  の動作の変更ができます。

 ⇒  ⇒  ⇒ [Q.MENU 設定] を選ぶ

表示スタイル

クイックメニューの見た目を変更します。

[MODE1]: ライブビューとメニューを同時に表示します。

[MODE2]: メニューを画面全体に表示します。

前ダイヤルの割当

クイックメニューでの  の動作を変更します。

[項目]: メニュー項目の選択をします。

[設定値]: 設定値の選択をします。

表示項目カスタマイズ(写真モード)

[] モード時に表示されるクイックメニューをカスタマイズします。

表示項目カスタマイズ(動画/S&Qモード)

[] / [S&Q] モード時に表示されるクイックメニューをカスタマイズします。

カスタムモード

- カスタムモードへの登録: 605
- カスタムモードを使う: 608
- 設定内容の呼び出し: 610



お好みに合わせた撮影モードやメニューの設定内容を、カスタムモードに登録できます。登録した設定はモードダイヤルの[C1]～[C5]モードに切り換えることで使用できます。

カスタムモードへの登録

現在のカメラの設定内容を登録できます。

設定内容は[] / [] / [S&Q] モードごとに登録できます。

お買い上げ時のすべてのカスタムモードには、[P]モードのメニューの初期設定が登録されています。

1 保存したい状態の撮影モードと、メニュー設定にする

- 写真/動画/S&Q切り換えスイッチを合わせます。(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))
- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 83](#))
- メニューを設定します。

2 [カスタムモード登録]を選ぶ

- → [] → [] → [カスタムモード登録(写真モード)] / [カスタムモード登録(動画モード)] / [カスタムモード登録(S&Qモード)]

3 登録する

- 登録先の番号を選び、 または  を押します。
- 確認画面が表示されます。[DISP.] ボタンを押すと、カスタムモードの名前を変更できます。
文字の入力方法(→ [文字の入力: 109](#))

❖ インスタントカスタム登録

撮影待機画面で、[カスタムモード登録] を登録した Fn ボタンを押すと、現在の撮影設定を素早くカスタムモードに登録できます。(→ [Fn ボタン: 580](#))



- 写真メニューと動画メニューで連動するメニュー項目でも、カスタムモードで登録したメニュー項目は  /  / [S&Q] モードごとに登録されるため連動しません。
例) [サイレントモード] を  モードで [ON] として [C1] に登録した場合でも、 / [S&Q] モードで [C1] に合わせると [サイレントモード] は [OFF] の設定になっています。
- [iA] モードはカスタムモードに登録できません。



- カスタムモードに登録できる設定の一覧(→ [初期設定 / カスタム保存 / 設定コピーの一覧: 858](#))

❖ カスタムモードの詳細な設定

カスタムモードのセット数を増やしたり、一時的に変更した設定内容をどのタイミングまで維持させるかを設定したりできます。



⇒ [] ⇒ [] ⇒ [カスタムモード設定] を選ぶ

カスタムモード表示の制限

[C5] に登録できるカスタムモードの数を設定します。

最大10セットを登録できますが、初期設定では3セットです。

名称変更

カスタムモードの名前を変更します。

[写真] / [動画] / [S&Q]: モードごとに名称変更できます。

入力できる文字数は最大22文字です。全角文字は2文字の扱いになります。

• 文字の入力方法 (⇒ [文字の入力: 109](#))

登録内容の呼出タイミング

カスタムモード使用中に一時的に変更した設定内容を、登録時の状態に復帰させるタイミングを設定します。

[撮影モードの変更時] / [スリープモード解除時] / [電源ON時]

カスタムモードの呼出範囲

[カスタムモード内容の呼出(写真モード)] / [カスタムモード内容の呼出(動画モード)] / [カスタムモード内容の呼出(S&Qモード)] で呼び出す設定内容の範囲を設定します。

[絞り値/SS/ISO感度]: 絞り値、シャッタースピード、ISO感度の設定内容を呼び出すことができます。

[ホワイトバランス]: ホワイトバランスの設定内容を呼び出すことができます。

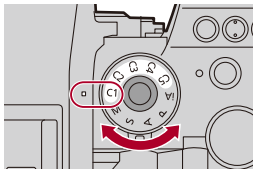
カスタムモードを使う

1 [Ⓢ]、[P]または[S&Q]モードにする

(→ 写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82)

2 撮影モードを[C1]～[C5]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ 撮影モードの選択: 83)
- [C5]の場合は、最後に使ったカスタムモードが呼び出されます。



❖ [C5]のカスタムモードの選択

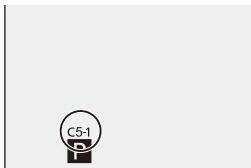
1 撮影モードを[C5]にする

2 を押す

- カスタムモードの選択メニューが表示されます。

3 ▲▼でカスタムモードを選び、 または を押す

- 選択中のカスタムモードアイコンが撮影画面に表示されます。



❖ 登録内容の変更

モードダイヤルを[C1]～[C5]に合わせた状態で一時的にカメラの設定内容を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、セットアップメニュー(設定)の[カスタムモード登録(写真モード)]／[カスタムモード登録(動画モード)]／[カスタムモード登録(S&Qモード)]で登録内容を上書きしてください。

設定内容の呼び出し

登録済みのカスタムモードの設定内容を、選択中の撮影モードに呼び出して、現在の設定に上書きします。

1 [Ⓜ]、[Ⓜ]または[S&Q]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 使用する撮影モードにする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 83](#))

3 [カスタムモード内容の呼出]を選ぶ

-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [カスタムモード内容の呼出(写真モード)]
／[カスタムモード内容の呼出(動画モード)]／[カスタムモード内容の呼出(S&Qモード)]

4 呼び出すカスタムモードを選ぶ

- カスタムモードを選び、 または  を押します。

⚙ カスタムメニュー

- [カスタムメニュー\(画質\): 612](#)
- [カスタムメニュー\(フォーカス/リリース\): 617](#)
- [カスタムメニュー\(操作\): 623](#)
- [カスタムメニュー\(モニター/表示\(写真\)\): 630](#)
- [カスタムメニュー\(モニター/表示\(動画\)\): 640](#)
- [カスタムメニュー\(IN/OUT\): 644](#)
- [カスタムメニュー\(レンズ/その他\): 646](#)

カスタムメニュー(画質)

▶: 初期設定

フォトスタイル設定

フォトスタイル表示の制限	ヴィヴィッド／ナチュラル／L.クラシックネオ／フラット／風景／人物／L.モノクローム／L.モノクロームD／L.モノクロームS／LEICAモノクローム／シネライク A2／シネライク D2／シネライク V2／709ライク／V-Log／リアルタイムLUT／2100ライク (HLG)／2100ライク (HLG) フルレンジ／MY PHOTO STYLE 1～MY PHOTO STYLE 10
メニューに表示するフォトスタイルの項目を設定します。	
マイフォトスタイル設定	調整項目の追加
	登録された設定の呼出
マイフォトスタイルの画質調整に関する詳細設定ができます。 調整項目の追加 : 画質調整で[ISO感度]や[ホワイトバランス]の設定を可能にします。 登録された設定の呼出 : マイフォトスタイルで変更した画質調整値を、登録時の状態に戻すタイミングを設定します。	
フォトスタイルのリセット	
[フォトスタイル]と[フォトスタイル設定]で変更した内容を、初期設定に戻します。	

LUTライブラリ

Vlog_709 / Sample LUT1 / Sample LUT2 / Sample LUT3 / Set4～Set39
LUTファイルをカメラに登録します。 (→ LUTライブラリ: 368)

ISO感度ステップ

▶1/3 EV / 1 EV
ISO感度の調整値の刻みを変更します。

拡張ISO感度

ON / ▶OFF
ISO感度の設定範囲を拡張します。

基準露出レベル調節

マルチ測光	-1 EV～+1 EV(▶±0 EV)
中央重点	-1 EV～+1 EV(▶±0 EV)
スポット	-1 EV～+1 EV(▶±0 EV)
ハイライト重点	-1 EV～+1 EV(▶±0 EV)
[測光モード]の設定項目ごとに、標準露出の基準となる露出レベルを調整します。露出補正値(→ 露出補正: 325)に本機能の調整値を加えて記録します。	
動画撮影の場合は、±3 EVの範囲を超えて調整値を加えることはできません。	

マルチ測光時の顔優先

▶ON / OFF

[測光モード]を[]に設定しているとき、自動露出の測光範囲を瞳・顔優先にします。

[OFF]に設定すると、[瞳・顔]の自動認識機能によって露出が変化することを防ぎます。

AWB ロック設定

シャッター操作時のロック動作	押している間 / 連写中 / ▶OFF
Fn ボタン操作時のロック維持	▶ON / OFF
ホワイトバランスがオート([AWB] / [AWBc] / [AWBw])のとき、シャッターボタンまたはFnボタンを押している間、ホワイトバランスを固定します。 シャッターボタン半押し中や連写中、動画撮影中に、意図せずホワイトバランスが変化することを防ぎます。 シャッター操作時のロック動作 [押している間]: シャッターボタンを押している間(半押し中、連写中も含む)、ホワイトバランスを固定します。 [連写中]: 連写している間、ホワイトバランスを固定します。 [OFF]: ホワイトバランスを固定しません。 Fn ボタン操作時のロック維持 [ON]: [AWBロック]を設定したFnボタンを押すと、ホワイトバランスを固定します。もう一度押すとロックを解除します。 [OFF]: [AWBロック]を設定したFnボタンを押している間、ホワイトバランスを固定します。 • ホワイトバランス固定中は、画面に[AWBL]が表示されます。 • [] / [S&Q]モード時は、[シャッター操作時のロック動作]は働きません。	

色空間

▶sRGB / AdobeRGB

撮影した画像をパソコンの画面やプリンターで再現する場合に、正しく色再現するための方式を設定します。

sRGB: パソコンを中心とした機器で広く使われています。

AdobeRGB: AdobeRGB色空間はsRGB色空間よりも色再現の範囲が広いいため、主に商用印刷などの業務用途で使われています。

- AdobeRGBについての専門的な知識がない方は、sRGBに設定してください。
- 以下の機能を使用中は、[sRGB]に固定されます。
 - [HEIF形式]の[SDR]
 - 動画撮影
 - [フォトスタイル]の[709ライク]、[V-Log]、[リアルタイムLUT]（ベースフォトスタイルが[V-Log]）
 - [フィルター設定]
- [HEIF形式]を[HDR(HLG)]に設定したときは、[色空間]は使用できません。

露出補正リセット

ON / ▶OFF

撮影モード変更時および電源OFF時に露出補正值をリセットします。

写真モードの動画露出自動制御

▶ON / OFF

[]モード時に、モードダイヤルを[P] / [A] / [S] / [M]に合わせて動画を撮影するときの絞り値、シャッタースピード、ISO感度の設定方法を選びます。

ON:カメラが自動で設定した値で撮影します。

OFF:手動で設定した値で撮影します。

P/A/S/M時の露出設定

写真の露出設定	▶モードダイヤル / P / A / S / M
動画/S&Qの露出設定	▶モードダイヤル / P / A / S / M
モードダイヤルを[P] / [A] / [S] / [M]に合わせたときの写真または動画 / S&Qの露出設定を、任意の露出モードに固定できます。	
モードダイヤル :モードダイヤルに合わせて、[P] / [A] / [S] / [M]モードを切り換えます。	
P / A / S / M :モードダイヤルにかかわらず、設定したモードで撮影します。	

写真・動画/S&Q独立設定

絞り値/SS/ISO/露出補正	▶独立 / 共通
ホワイトバランス	▶独立 / 共通
フォトスタイル	▶独立 / 共通
測光モード	▶独立 / 共通
AFモード	▶独立 / 共通
[]モードで設定した内容と、[] / [S&Q]モードで設定した内容を分けることができます。	
(→ 写真・動画/S&Q独立設定: 402)	

カスタムメニュー(フォーカス/リリース)

▶: 初期設定

フォーカス/リリース優先

AFS	▶フォーカス/バランス/リリース
AFC	フォーカス/▶バランス/リリース
AF時に、ピントを合わせることを優先するか、シャッターを切ることを優先するかを設定します。	
フォーカス: ピントが合っていないときは撮影できません。	
バランス: ピント合わせとリリースタイミングのバランスをとり撮影します。	
リリース: ピントが合っていないくても撮影できます。	

縦/横位置フォーカス切換

ON / ▶OFF
カメラを縦位置で構えたときと、横位置で構えたときのAFエリアの位置(MF時はMFアシストの位置)を別々に記憶します。 (→ 縦/横位置フォーカス切換: 222)

AF/AEロック維持

ON / ▶OFF
AF / AEロック時のボタン動作を設定します。[ON]にすると、ボタンを離したあと、もう一度押すまでロックを維持します。

AF+MF

ON / ▶OFF
フォーカスモードを[AFS] / [AFC]にしたとき、AFロック中に手動でピントを微調整できます。 - シャッターボタンを半押ししたとき [AF ON]ボタンを押したとき - Fnボタンの[AF LOCK]または[AF/AE LOCK]でロックしたとき 動画撮影中に、フォーカスリングを回すとMFモードになり、フォーカスリングを止めるとAFモードになります。 [動画時のAF動作]を[常時]に設定しているときは、撮影待機中も手動でピントを調整できます。

MFアシスト

フォーカスリング (フォーカスリングがある交換レンズ装着時)	▶ON / OFF
AFモード	▶ON / OFF
ジョイスティックを押す	ON / ▶OFF
MFアシスト表示	全画面 / ▶PIP
全画面拡大時の最大倍率	6倍 / ▶20倍

MFアシスト(拡大画面)の表示方法を設定します。

フォーカスリング: レンズでピント合わせをすると拡大表示されます。

AFモード: [] ボタンを押すと拡大表示されます。

ジョイスティックを押す: ジョイスティックを押すと拡大表示されます。([ジョイスティック設定]を[ダイレクトフォーカス]に設定したとき)(➡[ジョイスティック設定: 629](#))

MFアシスト表示: MFアシスト(拡大画面)の表示方法(画面全体 / 画面の一部)を設定します。

全画面拡大時の最大倍率: 拡大表示([全画面])の最大倍率を設定します。[6倍]に設定すると、拡大できる範囲が広がります。

MFガイド

▶ m / ft / OFF
MF時に、撮影距離の目安を示すMFガイドを画面に表示します。表示単位をメートルとフィートから選択できます。

フォーカスリングロック

ON / ▶OFF
MF中のフォーカスリング操作を無効にし、ピントを固定します。
フォーカスリングのロック中は、撮影画面に[MFL]が表示されます。

AFモード表示の制限

追尾	▶ON / OFF
フルエリア	▶ON / OFF
ゾーン(横・縦)	▶ON / OFF
ゾーン	▶ON / OFF
1点+補助	▶ON / OFF
ピンポイント	▶ON / OFF
AFモードの選択画面に表示するAFモードの項目を設定します。	

ピンポイントAF設定

ピンポイントAF時間	LONG / ▶MID / SHORT
ピンポイントAF表示	全画面 / ▶PIP
AFモードが[+]の場合に表示される、拡大画面の設定を変更します。	
ピンポイントAF時間 : シャッターボタンを半押ししたときに、拡大画面が表示される時間を設定します。	
ピンポイントAF表示 : 拡大画面の表示方法(画面全体/画面の一部)を設定します。	

AF ポイントスコープ設定

拡大表示維持	ON / ▶OFF
PIP表示	全画面 / ▶PIP
AF ポイントスコープ(→AF ポイントスコープ: 185)の拡大表示の設定を変更します。 拡大表示維持: [ON]に設定すると、Fn ボタンを押したあと、もう一度押すまで拡大表示を維持します。 PIP表示: 拡大画面の表示方法(画面全体^{*1} / 画面の一部^{*2})を設定します。 ^{*1} 約3倍～10倍に拡大できます。 ^{*2} 約3倍～6倍に拡大できます。 • [ハイブリッドズーム(写真)]または[クロップズーム(写真)]が[ON]のとき、AF ポイントスコープの拡大倍率は約3倍～6倍になります。	

シャッター半押しAF

▶ON / OFF
シャッターボタン半押し時に、自動でピントを合わせます。

合焦時の人物瞳認識表示

▶ON / OFF
[OFF]にすると、シャッターボタンを半押ししたときなどの合焦時に、人物の瞳の十字線を非表示にできます。

シャッター半押しリリース

ON / ▶OFF
シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。

シャッター全押し動画記録

▶ON / OFF

[] / [S&Q]モード時、動画記録の開始／終了操作にシャッターボタンを使用します。

[OFF]にすると、シャッターボタンを使用した記録開始／終了操作を無効にできません。

クイックAF

ON / ▶OFF

カメラのブレが小さくなると、カメラが自動でピントを合わせます。シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。

- バッテリーの消費が早くなる場合があります。
- 以下の場合、[クイックAF]は働きません。
 - プレビューモード時
 - 低照度時

アイセンサーAF

ON / ▶OFF

ファインダーをのぞいてアイセンサーが動作したとき、AFが働きます。

- 低照度時は、[アイセンサーAF]が働かない場合があります。

フォーカス枠のループ移動

ON / ▶OFF

AFエリアやMFアシスト、動画ライブビュー拡大表示移動時に、画面の端から逆の端にループできるようにします。

動画ライブビュー拡大表示設定

拡大表示維持	▶ON / OFF
PIP表示	全画面 / ▶PIP
動画ライブビュー拡大表示機能(→ 動画ライブビュー拡大表示: 406)の動作を設定します。 拡大表示維持 [ON]: Fn ボタンを離したあと、もう一度押すまで拡大表示を維持します。 [OFF]: Fn ボタンを押している間だけ拡大表示します。 PIP表示 拡大画面の表示方法(画面全体 / 画面の一部)を設定します。	

動画時のAFS動作

AFS / ▶AFC
[] / [S&Q] モード時に、フォーカスモードレバーを[AFS]に合わせている場合の動作を設定します。 AFS: 写真のAFSと同じ動作をします。AFは連続動作しません。 AFC: AFが連続動作します。

カスタムメニュー(操作)

▶: 初期設定

Q.MENU 設定

表示スタイル	▶MODE1 / MODE2
前ダイヤルの割当	項目 / ▶設定値
表示項目カスタマイズ(写真モード)	
表示項目カスタマイズ(動画/S&Qモード)	
クイックメニューのカスタマイズができます。 (→ クイックメニューのカスタマイズ: 598)	

タッチ設定

タッチパネル	▶ON / OFF
タッチタブ	ON / ▶OFF
タッチAF	▶AF / AF+AE
タッチパッドAF	絶対位置 / 相対位置1～相対位置7 / ▶OFF
モニター画面のタッチ操作を有効にします。 タッチパネル: すべてのタッチ操作。 タッチタブ: 画面右に表示される[<]などのタブ操作。 タッチAF: タッチした被写体にピントを合わせる操作([AF])。またはピントと明るさを合わせる操作([AF+AE])。(→ タッチした位置にピントと明るさを合わせる([AF+AE]): 219) タッチパッドAF: ファインダー表示中のタッチパッド操作。(→ タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作: 220)	

ロックレバー設定

[AF ON] ボタン	 / 
ジョイスティック	 / 
[Q] ボタン	 / 
カーソルボタン / [MENU/SET] ボタン	 / 
コントロールダイヤル	 / 
[](AFモード) ボタン	 / 
[](再生) ボタン	 / 
タッチパネル	 / 
[](戻る) ボタン / [](消去) ボタン / Fn ボタン (Fn1)	 / 
[DISP.] ボタン	 / 
[ISO] ボタン	 / 
[](露出補正) ボタン	 / 
動画記録ボタン	 / 
後ダイヤル	 / 
[WB] ボタン	 / 
[LVF] ボタン	 / 
サブ動画記録ボタン	 / 
レンズ	 / 
シャッターボタン	 / 
前ダイヤル	 / 
AFポイントスコープボタン / 動画ライブ ビュー拡大表示ボタン / Fn ボタン (Fn2)	 / 

操作ロックレバーで操作を無効にする操作部を設定します。(撮影画面のみ)

-  を押すごとにロック／ロック解除が切り換わります。
- ページを切り換えるには[DISP.]ボタンを押してください。
- [Q]ボタンを押すと初期設定に戻ります。
- ロック中にロックされた操作部を操作すると、画面に[]が表示されます。
- 「レンズ」でロックされる操作部はレンズによって異なります。レンズのスイッチはロックされません。
- 「レンズ」のロック中にレンズを操作しても、画面に[]は表示されません。
「レンズ」のロック設定後は、実際に操作してロック状態を確認してください。

Fn ボタン設定

写真モード時設定

動画/S&Qモード時設定

再生モード時設定

Fn ボタンに機能を登録できます。

(→[Fn ボタンへの機能の登録: 583](#))

WB/ISO/露出補正ボタン

押している間／押した後1／▶押した後2

[WB](ホワイトバランス)ボタン、[ISO](ISO感度)ボタン、および[

押している間: ボタンを押している間、設定の変更ができます。ボタンを離すと、設定値を決定して撮影画面に戻ります。

押した後1: ボタンを押すと、設定の変更ができるようになります。再度ボタンを押すと、設定値を決定して撮影画面に戻ります。

押した後2: ボタンを押すと、設定の変更ができるようになります。ボタンを押すごとに設定値が切り換わります。(露出補正を除く)決定して撮影画面に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。

ISO感度画面の操作

前/後ダイヤルの割当

▶ ISO / ISO /  / ISO / OFF / ISO / ISO /
 / ISO / OFF

ISO感度の設定画面でのダイヤル動作を設定します。

[

露出補正画面の操作

上/下ボタンの割当	 / OFF
露出補正画面での ▼▲ ボタン動作を設定します。 [] を割り当てると、露出ブラケットの設定ができます。	
前/後ダイヤルの割当	▶  /  /  /  / OFF /  /  /  /  / OFF
露出補正画面でのダイヤル動作を設定します。 [] を割り当てると、フラッシュ発光量を調整できます。	

ダイヤル設定

F/SSダイヤルの割当

▶設定1／設定2／設定3／設定4／設定5

[P]／[A]／[S]／[M]モード時のダイヤルに割り当てる操作を設定します。

P:プログラムシフト、F:絞り値、SS:シャッタースピード

		P	A	S	M
設定1		P 	F	SS	F
		P 	F	SS	SS
設定2		—	F	—	F
		P 	—	SS	SS
設定3		—	—	SS	SS
		P 	F	—	F
設定4		—	—	—	F
		P 	F	SS	SS
設定5		P 	F	SS	F
		—	—	—	SS

F/SS ダイアルの回転	 
絞り値とシャッタースピードを操作する際のダイヤルの回転方向を変更します。	
コントロールダイヤルの割当	▶  (ヘッドホン音量) /  /  (露出補正 / 絞り) /  (露出補正) /  (ISO感度) /  (フォーカス枠サイズ)
撮影画面で  に割り当てる機能を設定します。  /  : [M] モード時は、絞り値を調整する操作を割り当てます。[M] モード以外の場合は、露出補正の操作を割り当てます。	
露出補正のダイヤル割当	 /  / ▶OFF
露出補正の操作を  または  に割り当てます。([M] モード時を除く) • [F/SS ダイアルの割当] の設定が優先されます。	
ダイヤル動作切替設定	
	
Fn ボタンの [ダイヤル動作切換] で、  または  に一時的に登録する機能を設定します。(→ ダイヤルへの機能の登録: 595)	
メニュー操作のダイヤル回転	  /   /   /  
メニューを操作する際のダイヤルの回転方向を変更します。	

ジョイスティック設定

▶ダイレクトフォーカス／Fn／MENU／OFF

撮影画面でのジョイスティックの動作を設定します。

ダイレクトフォーカス:AFエリアやMFアシストを移動します。(→[AFエリアの操作:214](#)、[MFで撮る:223](#))

Fn:Fnボタンとして動作します。

MENU:として動作します。傾ける操作は無効になります。

OFF:ジョイスティックの操作を無効にします。

シャッターリモコンの動画ボタン

シャッターリモコン(別売)の動画ボタンにお好みの機能を登録できます。

(→[シャッターリモコン\(別売\):784](#))

- 初期設定では、[動画撮影]が登録されています。

カスタムメニュー(モニター/表示(写真))

▶: 初期設定

オートレビュー

時間(写真)	ホールド / 5秒 ~ 0.5秒 / ▶OFF
再生操作優先	ON / ▶OFF

写真撮影後に撮影画像を表示します。

時間(写真): 写真撮影時のオートレビュー時間を設定します。

再生操作優先: [ON]に設定すると、オートレビュー中に再生画面の切り換えや消去などができます。

- [時間(写真)]を[ホールド]に設定した場合、シャッターボタン半押しまで画像を表示します。[再生操作優先]は[ON]に固定されます。

常時プレビュー

▶ON / OFF	
設定	効果
	MFアシスト中のプレビュー
	AF動作中のプレビュー

[A] / [M]モード時の撮影画面で、常に絞り効果を確認できます。[M]モード時は同時にシャッタースピードも確認できます。

- [効果]で絞り効果、シャッタースピード効果の組み合わせを設定できます。
- [MFアシスト中のプレビュー]を[ON]に設定すると、MFアシスト画面でもプレビューが働きます。
- [AF動作中のプレビュー]を[ON]に設定すると、AF動作中でもプレビューが働きます。

ヒストグラム表示

ON / ▶OFF

ヒストグラムを表示します。

[ON]にすると、ヒストグラムの移動画面が表示されます。▲▼◀▶で位置を設定できます。ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。

- 撮影画面上でヒストグラムをドラッグしても位置を移動できます。
- ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。グラフの分布を見ることによって、現在の露出状況を判断できます。



(A) ← → (B)

(A) 暗い

(B) 明るい

- 以下の条件で撮影画像とヒストグラムが一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。
 - 露出補正時
 - フラッシュが発光するとき
 - 低照度時など標準露出にならないとき
- 以下の機能を使用中は、[ヒストグラム表示]は働きません。
 - [WFM/ベクトルスコープ表示]
 - [プロキシ記録]の設定が[ON]のときに動画撮影
- 撮影時のヒストグラムは目安です。

写真グリッドライン表示

 /  /  / ▶OFF

撮影画面に表示するグリッドラインのパターンを設定します。

[]にすると、▲▼◀▶で位置を設定できます。ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。

- []は、撮影画面上でグリッドラインの[]をドラッグしても位置を移動できません。

ライブビューブースト

MODE1 / MODE2 / ▶OFF

設定

P/A/S/M / ▶M

暗い環境でも被写体や構図を確認しやすいように、画面を明るく表示します。

MODE1: 明るさ弱めで、滑らかに表示することを優先する設定です。

MODE2: 明るさ強めで、画像が見えることを優先する設定です。

- [ライブビューブースト]が働く撮影モードは、[設定]で変更できます。
- 記録される画像に影響はありません。
- 記録される画像よりノイズが目立つ場合があります。
- 以下の場合、[ライブビューブースト]は働きません。
 - 露出を合わせるとき(シャッターボタンを半押ししたときなど)
 - 動画撮影中
 - [フィルター設定]使用中
 - [常時プレビュー]のシャッタースピード効果を表示中

ナイトモード

モニター	ON / ▶OFF
LVF	ON / ▶OFF

モニターやファインダーの表示を赤色にします。暗い環境で、画面のまぶしさにより周囲が見えにくくなることを軽減します。赤色で表示するときの輝度の設定もできます。

- ▲▼◀▶でモニターまたはファインダー(LVF)の[ON]を選ぶ
- [DISP]ボタンを押し、輝度調整の画面を表示する
 - モニターを調整するときはモニターを、ファインダーを調整するときはファインダーを表示してください。
- ◀▶で輝度を調整し、 または  を押す

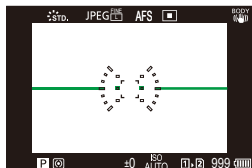
• HDMI出力する映像には、反映されません。

LVF/モニター表示設定

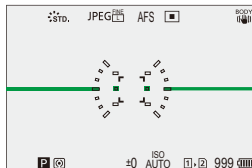
LVF 表示設定	
モニター表示設定	

ライブビューを情報表示と重ならないように表示するか、全画面に表示するかを選択できます。

: 適度な視野で像を表示し、画角全体を見渡せます。



: 画面いっぱいに像を表示し、画面の細部まで確認できます。



- 現在表示しているモニターまたはファインダーの表示スタイルを切り換える機能をFnボタンに登録できます。(→ [LVF/モニター表示設定: 590](#))

モニター左右反転表示	▶AUTO / ON / OFF
モニター上下反転表示	▶AUTO / ON / OFF

撮影時、モニターの向きや角度によって、画面が反転する／しないを設定できます。

モニター左右反転表示

[AUTO]: モニターの開閉角度に合わせて、自動で左右を反転して表示します。

[ON]: 常に左右を反転して表示します。

[OFF]: 反転表示を行いません。

モニター上下反転表示

[AUTO]: モニターの回転角度に合わせて、自動で上下を反転して表示します。

[ON]: 常に上下を反転して表示します。

[OFF]: 反転表示を行いません。

- 本機能の設定は、再生画面には反映されません。
- モニターの画面が表示させたい方向と異なる場合は、本機能をFnボタンに登録して任意の方向に反転させてください。(→ [モニター反転表示切替: 590](#))

露出メーター

ON / ▶OFF

露出メーターを表示します。

SS	125	60	30	15	8
F	2.8	4.0	5.6	8.0	11
 30 F5.6					

- [ON]に設定すると、プログラムシフト、絞り、またはシャッタースピード設定時に露出メーターが表示されます。
- 一定時間何も操作しないと露出メーターの表示が消えます。

焦点距離

▶ON / OFF

ズーム操作中に、撮影画面に焦点距離を表示します。

ハイライト表示

ON / ▶OFF

オートレビュー中、または画像を再生中に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。



- 再生画面で[DISP.]ボタンを押したときの表示に、ハイライトなし表示が追加されます。ハイライト表示を消したいときに使います。(→ [再生画面: 97](#))

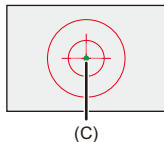
オーバーレイ表示

ON / OFF	
設定	透過度
	画像選択
	電源OFF時解除
	シャッター操作時の表示
撮影済みの写真、または動画から切り出した画像を撮影画面に重ねて表示します。 1 [画像選択]で表示する写真または動画を選ぶ • ◀▶ で写真または動画を選び、 または  を押して決定します。 2 (動画選択時)写真を切り出す位置で再生を一時停止する • ▲を押すと再生を一時停止します。 • 細かい位置調整には、◀▶ (コマ戻し、コマ送り)をお使いください。 3 (動画選択時)写真を設定する •  または  を押します。 • [シャッター操作時の表示]を[OFF]にすると、シャッターボタンを半押しまたは全押ししている間、[オーバーレイ表示]を解除します。 • 動画から切り出した写真は保存されます。 • 以下の機能を使用中は、[オーバーレイ表示]は動きません。 – 動画撮影 – コマ撮りアニメ – [Frame.io接続] – [自動画像転送]	

手ブレ状態スコープ

ON / OFF

手ブレ状態を確認できるように、撮影画面に目安となる基準点(C)を表示します。

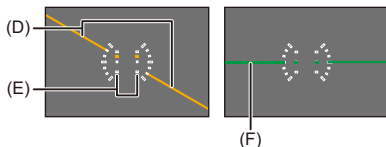


- 以下の場合は、[手ブレ状態スコープ]は働きません。
 - [手ブレ補正]の[動作設定]を[OFF]に設定時
 - レンズのO.I.S.スイッチが[OFF]のとき
- 以下の機能を使用中は、[手ブレ状態スコープ]は働きません。
 - 動画撮影
 - ハイレゾモード([手持ち撮影]を[OFF]に設定時)

水準器表示

ON / OFF

カメラの傾きを補正するときに便利な、水準器を表示します。



- (D) 水平方向
(E) 垂直方向
(F) 緑色(傾きなし)

- 傾きが補正された状態でも、 $\pm 1^\circ$ 程度の誤差が生じることがあります。
- カメラを大きく上や下に向けると、水準器が正しく表示できないことがあります。
- セットアップメニュー(モニター/表示)の[水準器調整]で、水準器の調整や、調整値のリセットができます。(→ [水準器調整: 659](#))

スポット輝度メーター

ON / ▶OFF
被写体の任意の位置を指定し、狭い範囲の輝度を測定します。 (→ スポット輝度メーター: 449)

ライブビュー境界線表示

ON / ▶OFF
ライブビューの境界線を表示します。

撮影画面の遷移(モニター)

コントロールパネル	▶ON / OFF
消灯画面	▶ON / OFF
[DISP] ボタンでの表示切り換え時に、コントロールパネルと消灯画面を表示します。 (→ 撮影画面: 95)	

カスタムメニュー(モニター/表示(動画))

▶: 初期設定

Logビューアシスト

LUT 選択 (V-Log)	
LUTビューアシスト(モニター)	ON / ▶OFF
LUTビューアシスト(HDMI)	ON / ▶OFF
LUT ファイルを適用した映像をモニター／ファインダーに表示したり、HDMI出力したりできます。 (→ Logビューアシスト: 481)	

HLGビューアシスト

モニター	MODE1 / ▶MODE2 / OFF
HDMI	▶AUTO / MODE1 / MODE2 / OFF
HLG 動画を撮影、再生するときに、色域と明るさを変換した映像を本機のモニター／ファインダーに表示したり、HDMI出力したりします。 (→ HLGビューアシスト: 484)	

アナモフィック デスクイーズ表示

2.0x / 1.8x / 1.5x / 1.33x / 1.30x / ▶OFF
アナモフィックレンズの倍率に合わせてデスクイーズした映像を本機に表示します。 (→ アナモフィック デスクイーズ表示: 487)

モノクロライブビュー

ON /  OFF
撮影画面を白黒で表示できます。 • 撮影時にHDMI出力する映像は、白黒表示になりません。 • [ナイトモード]使用中は、[モノクロライブビュー]は使用できません。

センターマーカ表示

 /  /  /  /  OFF
撮影画面の中心を示す[+]を表示します。マーカーの形状を変更できます。

セーフティーゾーンマーカ表示

／ [] ／ ▶ OFF		
設定	サイズ	95%
		▶90%
		80%
家庭用テレビで受像できる範囲の目安となる、セーフティーゾーンを撮影画面に表示します。		

フレーム表示

ON /  OFF	
設定	フレーム横縦比
	フレーム色
	フレームマスク
設定した横縦比のフレームを撮影画面に表示します。[フレーム横縦比]はカスタマイズもできます。 (→ フレーム表示: 455)	

ゼブラパターン表示

ゼブラ 1 / ゼブラ 2 / ゼブラ 1+2 / ▶OFF	
設定	ゼブラ 1
	ゼブラ 2
基準値より明るい部分をしま模様で表示します。 (→ ゼブラパターン表示: 450)	

フォルスカラー

開始 / フォルスカラーインデックス
撮影画面にフォルスカラーを適用します。 (→ フォルスカラー: 452)

WFM/ ベクトルスコープ表示

WAVE / VECTOR / ▶OFF
撮影画面にウェーブフォーム、ベクトルスコープを表示します。 (→ WFM/ ベクトルスコープ表示: 446)

カラーバー

SMPTE / EBU / ARIB
撮影画面にカラーバーを表示します。 (→ カラーバー/テストトーン: 457)

動画記録中の赤枠表示

ON / ▶OFF

撮影画面に、動画記録中であることを示す赤色の枠を表示します。

ストリーミングの青枠表示

ON / ▶OFF

ストリーミング中、画面に青色の枠を表示します。

カスタムメニュー(IN/OUT)

▶: 初期設定

撮影時HDMI出力

情報表示 (→ カメラの情報表示をHDMI出力する: 517)	▶ON / OFF
ダウンコンバート (→ HDMI出力の画質: 510)	▶AUTO / C4K/4K / 1080p / 1080i / OFF
HDMI記録制御 (→ 外部レコーダーに制御情報を出力する: 518)	ON / ▶OFF
HDMI音声出力 (→ 音声をHDMI出力する: 518)	▶ON / OFF
ライブビュー拡大表示 (→ HDMI出力時の動画ライブビュー拡大表示: 519)	MODE1 / MODE2 / ▶OFF
撮影中のHDMI出力を設定します。	

ファン動作モード

AUTO1 / ▶AUTO2 / 高速 / 標準 / 低速 / OFF
ファンの動作を設定します。
AUTO1 : カメラの温度に応じて、[低速] / [標準] を自動で切り換えます。カメラの温度上昇を抑えることを優先します。
AUTO2 : カメラの温度に応じて、[OFF] / [低速] / [標準] を自動で切り換えます。
高速 : 高速で、常にファンが動作します。
標準 : 標準的な速度で、常にファンが動作します。
低速 : 低速で、常にファンが動作します。
OFF : ファンが動作しません。
• [OFF] は [📷] モード時に設定できます。 • 以下の機能を使用中は、[低速] は設定できません。[低速] 設定中に以下の機能を使用した場合は、[AUTO1] に切り換わります。 – 解像度が C4K を超える [動画画質] – 記録フレームレートが 60.00p を超えるハイフレームレート動画用の [動画画質] – フレームレートが 60 fps を超える [スロー & クイック設定]

タリーランプ設定

フロントタリーランプ	▶H / L / OFF
リアタリーランプ	H / ▶L / OFF
リアカードアクセスランプ	H / ▶L / OFF
動画撮影時のタリーランプの点灯方法と明るさを設定します。 カードアクセス時のリアカードアクセスランプの動作も設定できます。	

カスタムメニュー(レンズ/その他)

▶: 初期設定

レンズ位置メモリー

ON / ▶OFF

電源を切ったときのピントの位置を記憶します。

レンズFnボタン設定

写真モード時設定	フォーカスストップ*1／画像横縦比／AFモード／自動認識設定／自動認識の対象／フォーカスリングロック／フォーカスリング制御／フォーカスリミッター／ピーキング／AE LOCK／AF LOCK／AF/AE LOCK／AF-ON／AF-ON:近側／AF-ON:遠側／AFポイントスコープ／フォーカスエリア選択／動画ライブビュー拡大表示／手ブレ補正／電子手ブレ補正(動画)／手ブレ補正ブースト(動画)／動画撮影範囲／ハイブリッドズーム(写真)／ハイブリッドズーム(動画)／クロップズーム(写真)／クロップズーム(動画)／ズーム操作／ズーム操作(T側)／ズーム操作(W側)／クロップズーム(ステップ)／動画撮影／プレビュー／プレビュー(絞りのみ)／設定なし／設定なし(長押し無効)／写真モード時設定に連動*2／デフォルトに戻る
動画/S&Qモード時設定	*1 [写真モード時設定]時の初期設定 *2 [動画/S&Qモード時設定]時の初期設定([動画/S&Qモード時設定]でのみ表示)

交換レンズのフォーカスボタンに機能を登録します。

- [フォーカスストップ]を設定したときは、フォーカスボタンを押している間、ピントを固定します。
- [写真モード時設定に連動]を設定したときは、[動画/S&Qモード時設定]を[写真モード時設定]で設定した機能の動作に合わせます。
- 手ブレ補正(通常/流し撮り)の切り換えスイッチがある交換レンズを使用しているときは、[レンズFnボタン設定]の[手ブレ補正]は使用できません。

AF時フォーカスリング設定

割り当て機能	前ダイヤル／後ダイヤル／絞り／シャッタースピード／クロップズーム／露出補正／ISO感度／ホワイトバランス／色温度／AFモード／フォトスタイル／ ▶設定なし
設定	リング回転方向／絞りステップ／リング回転角度

カメラがAF時にフォーカスリングに割り当てて機能を設定します。(対応レンズ使用時)

- [リング回転方向]で設定値を変更するときの回転方向を設定します。
- [絞りステップ]は[割り当て機能]を[絞り]に設定したときに表示されます。
- [リング回転角度]は[割り当て機能]を[クロップズーム]に設定したときに表示されます。

MF時フォーカスリング設定

フォーカスリング制御	▶ノンリニア／リニア／設定

カメラがMF時のフォーカスリングによるピントの移動量を設定します。(対応レンズ使用時)

ノンリニア：フォーカスリングの回転速度に応じて、加速度をつけてピントを移動します。

リニア：フォーカスリングの回転角度に応じた一定の量でピントを移動します。

- フォーカスクラッチ機構搭載のレンズ使用時は、レンズはAFに、カメラはMFに設定してください。

設定：[リニア]選択時、フォーカスリングの回転角度を設定します。

- 装着中のレンズで設定できない角度は表示されません。

リング回転方向	▶  ／ 

カメラがMF時のフォーカスリングによる回転方向を設定します。(対応レンズ使用時)

：リングを時計回しすると、近距離にピント位置を移動します。

：リングを時計回しすると、遠距離にピント位置を移動します。

AF微調整

全て／個別／▶OFF

位相差AFでピントを合わせるときのピント位置を微調整します。
(→ [AF微調整: 193](#))

レンズ情報

Lens1～Lens12 (▶Lens1)

本機との通信機能がないレンズを使用しているときに、レンズ情報を登録します。

- 写真メニュー(その他(写真))の[手ブレ補正]の[レンズ情報]と連動しています。
(→ [レンズ情報: 303](#))

レンズ情報確認表示

▶ON／OFF

本機との通信機能がないレンズを取り付けてカメラの電源を入れると、レンズ情報の確認メッセージを表示します。

動画の縦位置情報

▶ON／OFF

動画撮影時にカメラの縦位置情報を記録する／しないを設定できます。

ON: 縦位置情報を記録します。カメラを縦にして撮影した動画は、パソコンやスマートフォンなどで再生時に自動で縦向きに再生されます。

OFF: 縦位置情報を記録しません。

- カメラの再生画面では、サムネイル表示だけで縦向きに再生します。

✂ セットアップメニュー

- [セットアップメニュー\(カード/ファイル\): 651](#)
- [セットアップメニュー\(モニター/表示\): 657](#)
- [セットアップメニュー\(IN/OUT\): 660](#)
- [セットアップメニュー\(設定\): 667](#)
- [セットアップメニュー\(その他\): 670](#)

セットアップメニュー(カード/ファイル)

▶: 初期設定

フォーマット

スロット1(CFexpress) / スロット2(SD)

カードをフォーマット(初期化)します。使用する前に本機でカードをフォーマットしてください。

CFexpressカードの物理フォーマット

CFexpressカードのフォーマット時に、物理フォーマットを行うか選択できます。カードの書き込み速度が低下してきた場合は、物理フォーマットの実行をお勧めします。

- 1 [スロット1(CFexpress)]を選ぶ
- 2 [DISP.]ボタンを押して、[物理フォーマット]にチェックマークを入れる
- 3 [はい]を選ぶ

- フォーマットすると、カードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。必要なデータのバックアップを取ってからフォーマットしてください。
- フォーマット中は電源を切ったり、他の操作をしたりしないでください。
- フォーマット中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。
- カードに保存したカメラの設定情報を残してカードをフォーマットできます。
(→ [カメラ設定の保存/読み込み: 668](#))

ダブルスロット機能

記録方法	▶  /  / 
カードスロット1、カードスロット2への記録方法を設定します。  (リレー記録): 優先して記録するカードスロットを選択します。 [記録先スロット]: [1→2] / [2→1] カードの容量がいっぱいになったら、もう一方のカードスロットのカードに続けて記録します。 - 優先して記録するカードを変更する機能をFnボタンに登録できます。(→ 記録先スロット: 590)  (バックアップ記録): 2枚のカードに同じ画像を記録します。  (振り分け記録): 画像の種類ごとに、記録するカードスロットを指定できます。 [JPEG/HEIF記録先] / [RAW記録先] / [動画記録先] - 以下の機能を使用中は、[ダブルスロット機能]は働きません。 - SDカードに記録できない[記録ファイル形式(動画)]または[動画画質] [プロキシ記録] リレー記録について - 以下の動画は、別のカードに続けて記録できません。 [ループ記録(動画)] バックアップ記録について - 容量が同じカードを使用することをお勧めします。 - 動画撮影時にカードのスピードクラスや容量が不足した場合は、両方のカード記録が停止します。 - 以下の動画は、バックアップ記録ができません。1枚のカードにだけ記録されます。 [ループ記録(動画)] - 以下のカードの組み合わせを使用すると、動画のバックアップ記録はできません。 - SD / SDHC メモリーカードと CFexpress カード	

USB-SSD

ON / ▶OFF

[ON]にすると、USB端子に接続した市販の外付けSSDを使用できます。(→ [外付けSSD\(市販\)を使う: 527](#))

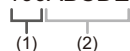
フォルダー/ファイル設定

フォルダー選択／新規フォルダー作成／ファイル名設定

画像を保存するフォルダーとファイル名を設定します。

フォルダー名

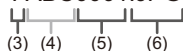
100ABCDE



- (1) フォルダー番号(3桁、100～999)
- (2) 任意の5桁

ファイル名

PABC0001.JPG



- (3) 色空間([P]:sRGB、[_]: AdobeRGB)
- (4) 任意の3桁
- (5) ファイル番号(4桁、0001～9999)
- (6) 拡張子

フォルダー選択:画像を保存するフォルダーを選択します。

- [ダブルスロット機能]を[振り分け記録]に設定しているときは、[スロット 1(CFexpress)]と[スロット 2(SD)]が表示されます。

新規フォルダー作成:フォルダー番号を繰り上げて、新規フォルダーを作成します。

- カード内に記録可能なフォルダーがない場合は、フォルダー番号のリセット画面が表示されます。

[OK]:

任意の5桁(上記(2))は変更せずに、フォルダー番号を繰り上げます。

[フォルダー名変更]:

任意の5桁(上記(2))を変更します。フォルダー番号も繰り上がります。

ファイル名設定

[フォルダー番号連動]:

任意の3桁(上記(4))をフォルダー番号(上記(1))にします。

[ユーザー設定]:

任意の3桁(上記(4))を変更します。

- 文字の入力画面が表示されたら、「**文字の入力**」の手順に従って文字入力してください。(→ **文字の入力: 109**)
設定可能な文字: 英字(大文字)、数字、[_]
- 1つのフォルダーに1000ファイルまで保存できます。
- ファイル番号は撮影順に0001～9999の連番で保存されます。保存するフォルダーを変更した場合、ファイル番号は前の番号の続きで保存されます。
- 以下の場合、次のファイルを保存するときに、フォルダー番号を繰り上げて新しいフォルダーを自動で作成します。
 - フォルダー内のファイル数が1000に達したとき
 - ファイル番号が9999に達したとき
- フォルダー番号が100～999のフォルダーがすべてある場合、新規でフォルダーを作成できません。データのバックアップを取り、カードをフォーマットすることをお勧めします。
- [ダブルスロット機能]の[バックアップ記録]を使用中は、[フォルダー選択]を設定できません。

ファイル番号リセット

スロット1(CFexpress)／スロット2(SD)
DCIMフォルダー内のフォルダー番号を更新し、ファイル番号を0001にリセットします。 • フォルダー番号が999になるとファイル番号リセットができなくなります。データのバックアップを取り、カードをフォーマットすることをお勧めします。 • フォルダー番号を100にリセットするには: 1 [フォーマット]を実行し、カードをフォーマットする(→ フォーマット: 651) 2 [ファイル番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットする 3 フォルダー番号のリセット画面で、[はい]を選ぶ

著作権情報

撮影者	ON / ▶OFF / 設定
著作権者	ON / ▶OFF / 設定
著作権情報の表示	
登録した撮影者、著作権者の名称を、画像のExif情報に記録します。 • [撮影者]、[著作権者]の[設定]から、それぞれの名称を登録できます。 文字の入力方法(→ 文字の入力: 109) • 入力できる文字数は最大63文字です。 • 登録した著作権情報は、[著作権情報の表示]で確認できます。	

セットアップメニュー(モニター/表示)

▶: 初期設定

エコモード

スリープモード	10分 / 5分 / 2分 / ▶1分 / OFF
スリープモード(Wi-Fi)	▶ON / OFF
LVF/モニター自動OFF	5分 / 2分 / ▶1分 / OFF
省電力ファインダー撮影	スリープするまでの時間
	動作する条件
動画時のAF動作	撮影中のみ / ▶常時
一定時間何も操作をしないと、カメラをスリープ(省電力)状態にしたり、ファインダー/モニターを消灯したりする機能です。 (→ エコモード: 63)	

動画撮影時の制限緩和

動画記録停止温度	高 / ▶標準
動画撮影時に、カメラが自動で撮影を停止する温度を設定します。[高]に設定すると、カメラの温度が上昇しても撮影を続けます。	
動画記録停止温度 高: カメラの温度上昇により、撮影を停止する温度を高く設定します。 - より長時間の撮影が可能になりますが、カメラ本体が熱くなります。長時間、直接触れていると低温やけどの原因になるため、三脚などをご使用ください。 標準: カメラの温度が上がると撮影を停止します。 - 手持ち撮影のときは、[標準]に設定してください。	

モニター表示速度

▶30fps／60fps

モニターのライブビュー表示速度を設定します。

30fps :電力消費を抑え、使用時間が長くなります。

60fps :動きを滑らかに表示できます。

- 以下の機能を使用中は、[モニター表示速度]は働きません。
- HDMI出力

LVF表示速度

▶60fps／120fps

写真撮影時におけるファインダーのライブビュー表示速度を設定します。

60fps :電力消費を抑え、使用時間が長くなります。

120fps :動きを滑らかに表示できます。

- [120fps]で表示中は、ファインダーに[LVF120]が表示されます。
- [120fps]に設定すると、[60fps]よりもファインダーの画質が劣りますが、記録される画像に影響はありません。
- 以下の機能を使用中は、[LVF表示速度]は働きません。
- HDMI出力
- Wi-Fi接続中
- カメラの温度が上がると、60 fpsになります。

モニター調整／LVF調整

明るさ／コントラスト／彩度／赤み／青み

モニター／ファインダーの明るさ、色合い、および赤みや青みなどの色味を調整します。

- 1 ▲▼で設定項目を選び、◀▶で調整する
- 2  または  を押して決定する

- モニター表示時はモニターを、ファインダー表示時はファインダーを調整します。

モニター輝度／LVF輝度

▶AUTO / -3 ~ +3
モニター／ファインダーの輝度を調整します。
AUTO : 周囲の明るさに応じて、自動で明るさを調整します。
• モニター表示時はモニターの、ファインダー表示時はファインダーの輝度を調整します。 • [AUTO] または調整値をプラス側に設定中は、使用時間が減少します。 • [ナイトモード] 使用中は、[モニター輝度]／[LVF輝度]は使用できません。

アイセンサー

感度	▶強 / 弱
アイセンサーの感度を設定します。	
LVF/モニター切換	▶LVF/MON AUTO (ファインダー/モニター自動切換) / LVF (ファインダー表示) / MON (モニター表示)
ファインダー表示／モニター表示の切り換えを設定します。	
• [LVF] ボタンで表示を切り換えると、[LVF/モニター切換] の設定も切り換わります。	

水準器調整

調整
カメラを水平な状態にし、  または  を押してください。水準器が調整されます。
調整値リセット
水準器の調整値を初期設定に戻します。

セットアップメニュー(IN/OUT)

▶: 初期設定

電子音

電子音音量	 (大) / ▶  (小) /  (OFF)
合焦音音量	 (大) / ▶  (小) /  (OFF)
合焦音音色	▶  ① (パターン1) /  ② (パターン2) /  ③ (パターン3)
電子シャッター音音量	 (大) / ▶  (小) /  (OFF)
電子シャッター音音色	▶  ① (パターン1) /  ② (パターン2) /  ③ (パターン3)
電子音や合焦音、電子シャッター音を設定します。	

ヘッドホン音量

0～LEVEL15 (▶LEVEL3)
ヘッドホンを接続したときの音量を調整します。 (→ ヘッドホンの音量の調整: 431) 動画メニュー(音)の[ヘッドホン音量]と連動します。

音声モニタチャンネル(再生時)

▶撮影連動 / CH1/CH2 / CH3/CH4 / CH1+CH2/CH3+CH4 /
CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH1+CH2 / CH3+CH4 / CH1+CH2+CH3+CH4

動画再生時に本体スピーカーやヘッドホンに出力する音声チャンネルを選択します。
出力される音声について(→ [音声モニタチャンネル: 431](#))

撮影連動: 動画メニュー(音)の[音声モニタチャンネル]と同じ設定で音声を出力します。

- 動画再生中は設定を変更できません。
- カメラのスピーカーからはLチャンネルとRチャンネルをミックスした音声を出力します。

ストリーミング

ストリーミング機能(→ ストリーミングの設定: 748)	ON / ▶OFF
接続方法(→ ストリーミングの設定: 748)	▶Wi-Fi / USB テザリング
ストリーミング設定(→ ストリーミングの設定: 748)	配信画質
	配信先のアドレス
	配信先の保存/読み込み
	Wi-Fi 接続先設定*

* [接続方法]を[Wi-Fi]に設定したときに表示されます。

有線LAN/Wi-Fi®

Wi-Fi 周波数帯
IP アドレス設定(有線LAN)
機器名称/パスワード
有線LAN/Wi-Fi 機能ロック
ネットワークアドレス表示(有線LAN)
ネットワークアドレス表示(Wi-Fi)
有線LANとWi-Fiの設定をします。(→ 有線LAN/Wi-Fiメニュー: 718)

Bluetooth®

Bluetooth 機能(→ スマートフォンとの接続(Bluetooth接続): 696)	
ペアリング	スマートフォン登録
	ATOMOS Wireless TC 登録
	ジンバル登録
	解除
スマートフォンに画像を送る(→ メニュー操作で簡単に転送する: 706)	
自動画像転送(→ 自動画像転送: 709)	
位置情報記録(→ 位置情報記録: 712)	

Frame.io

Frame.io 接続 (→ Frame.io との接続: 722)	
Frame.io に画像を送る (→ Frame.io に画像を送る: 727)	
接続設定	接続方法
	Wi-Fi 接続先設定
アップロード設定	自動アップロード予約
	アップロードファイル形式
	アップロード履歴削除
	アップロード状況確認
	アップロードキュー削除

USB

USBモード	接続時に選択 / PC(Storage) / PC(Tether) / PC(Webカメラ) / LUMIX Flow
USB接続ケーブル接続時の通信方式を設定します。 ● 接続時に選択 : 機器と接続したときにUSB通信方式を選びます。(→ USB端子: 757) PC(Storage) : パソコンに接続して画像を取り込む場合に設定します。(→ パソコンに画像を取り込む: 762) PC(Tether) : 「LUMIX Tether」をインストールしたパソコンでカメラを操作する場合に設定します。(→ テザー撮影: 771) PC(Webカメラ) : パソコン用のWebカメラとして使用する場合に設定します。(→ パソコン用のWebカメラとして使用する: 767) LUMIX Flow : 「LUMIX Flow」をインストールしたスマートフォンでカメラを操作する場合に設定します。(→ 「LUMIX Flow」と接続する: 731)	
USB給電	▶ON / OFF
USB接続ケーブルから給電します。 ● ACアダプターに接続したときは、[OFF]に設定していても給電されます。	
Tether接続(USBイーサネットアダプター)	ON / ▶OFF
有線LAN接続による「LUMIX Tether」への接続を有効にします。	
Webカメラ画質	4K/15p / 4K/12.5p / FHD/60p / FHD/50p / FHD/30p ^{*1} / FHD/25p ^{*2} / HD/30p / HD/25p ^{*1} [システム周波数]が[59.94Hz(NTSC)]時の初期設定 ^{*2} [システム周波数]が[50.00Hz(PAL)]時の初期設定
Webカメラとして使用する場合の画質を設定します。 ● [システム周波数]の設定により、選択できる項目が異なります。	

HDMI接続設定

出力解像度(再生時)	▶AUTO / C4K/120p / C4K/100p / C4K/60p / C4K/50p / C4K/30p / C4K/25p / C4K/24p / 4K/120p / 4K/100p / 4K/60p / 4K/50p / 4K/30p / 4K/25p / 4K/24p / 1080/120p / 1080/100p / 1080p / 1080i / 720p / 576p / 480p
再生時のHDMI出力解像度を設定します。	
AUTO: 接続した外部機器に合わせた解像度で出力します。写真再生時は最大8Kの解像度で出力します。 • [システム周波数]の設定により、選択できる項目が異なります。 • [AUTO]に設定して映像が外部機器に出ない場合は、外部機器が表示できる[AUTO]以外の設定に切り換えてください。(外部機器の取扱説明書もお読みください) • 接続する外部機器によっては、動画が再生できない場合があります。	
LUTビューアシスト(HDMI)	ON / ▶OFF
[フォトスタイル]を[V-Log]に設定して記録した動画を再生するときに、LUT(ルックアップテーブル)ファイルを適用した映像をHDMI出力します。 • カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[Logビューアシスト]の[LUTビューアシスト(HDMI)]と連動しています。 (→Logビューアシスト:481)	
HLGビューアシスト(HDMI)	▶AUTO / MODE1 / MODE2 / OFF
HLG動画を撮影、再生するときに、色域と明るさを変換して表示します。 • カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[HLGビューアシスト]の[HDMI]と連動しています。 (→HLGビューアシスト:484)	

ピエラリンク	ON / ▶OFF
HDMIケーブルを使ってカメラをピエラリンク対応機器に接続すると、機器側のリモコンで操作ができます。 (→ ピエラリンク(HDMI)を使う:760)	
画像背景色(再生時)	■ / ▶■
外部機器に出力する際に画像の上下や左右に付く帯の色を設定します。 • 出力先画面の焼き付き防止のため、[■]に設定することをお勧めします。	
写真出力輝度レベル	0-255 / ▶16-255
外部機器に写真を出力するときの輝度レベルを設定します。	

NETWORK接続ランプ

▶ON / OFF
NETWORK接続ランプを点灯します。

セットアップメニュー(設定)

カスタムモード登録(写真モード)／カスタムモード登録(動画モード)／カスタムモード登録(S&Qモード)

C1 / C2 / C3 / C4 / C5-1～C5-10

現在のカメラの設定内容を登録できます。

(→ [カスタムモードへの登録: 605](#))

カスタムモード内容の呼出(写真モード)／カスタムモード内容の呼出(動画モード)／カスタムモード内容の呼出(S&Qモード)

C1 / C2 / C3 / C4 / C5-1～C5-10

登録済みのカスタムモードの設定内容を、選択中の撮影モードに呼び出して、現在の設定に上書きします。

(→ [設定内容の呼び出し: 610](#))

カスタムモード設定

カスタムモード表示の制限

名称変更

登録内容の呼出タイミング

カスタムモードの呼出範囲

カスタムモードの使いやすさの設定をします。

(→ [カスタムモードの詳細な設定: 607](#))

カメラ設定の保存/読み込み

保存／読み込み／消去／カードフォーマット時に保持

カメラの設定情報をカードに保存します。保存した設定情報はカメラに読み込みできるため、複数のカメラを同じ設定にできます。

保存: カメラの設定情報をカードに保存します。

- 新規で保存する場合は[新規保存]を、既存のファイルに上書きする場合は既存のファイルを選んでください。
- [新規保存]を選択した場合は、保存するファイル名が画面に表示されます。

[OK]:

画面に表示されたファイル名で保存します。

[ファイル名変更]:

ファイル名を変更して保存します。

- 設定可能な文字: 英字(大文字)、数字、8文字まで
- 文字の入力方法(→ [文字の入力: 109](#))

読み込み: カード内の設定情報を読み込んで、カメラにコピーします。

消去: カード内の設定情報を消去します。

カードフォーマット時に保持: カードをフォーマットする際に、カードに保存したカメラの設定情報を残してフォーマットできます。

- 設定情報の読み込みは一部の当社製カメラ間で行うことができます。
機種によっては、一部の設定情報が読み込まれない場合もあります。
– 読み込み対応機種: DC-S1M2 / DC-S1M2ES / DC-S1RM2
- 読み込み後は、撮影する前に正しい設定になっているかご確認ください。
- 1枚のカードに保存できる設定情報は10件までです。
- 設定情報の保存が可能な機能の一覧(→ [初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧: 858](#))

設定リセット

カメラの設定を初期設定に戻します。(➡ [設定リセット: 108](#))

セットアップメニュー(その他)

▶: 初期設定

時計設定

日付や時刻を設定します。(→ [時計の設定 \(初めて電源を入れるとき\): 76](#))

タイムゾーン

タイムゾーンを設定します。

◀▶でタイムゾーンを選び、 または  を押して決定してください。



(A) 現在日時

(B) GMT(グリニッジ標準時)との時差

- サマータイム[] (夏時間)を採用している場合は、▲を押してください。(時計が1時間進みます)元に戻すには、もう一度▲を押してください。

システム周波数

▶59.94Hz(NTSC) / 50.00Hz(PAL) / 24.00Hz(CINEMA)

本機で撮影、再生する動画のシステム周波数を切り換えます。

(→ [システム周波数: 146](#))

ピクセルリフレッシュ

撮像素子と画像処理の最適化を行います。

- 撮像素子と画像処理は、初期設定で最適な状態になっています。被写体でない明るい点が記録される場合に、本機能をお使いください。
- 終了後は、電源を入れ直してください。

電源OFF時のシャッター動作

▶開く／閉じる

電源OFF時に、シャッターを閉じるように設定します。

- レンズ交換時にごみやほこりが撮像素子に付着することを抑えます。
- 電源OFF時にカメラを太陽光などの強い光源に向けたり、シャッターに触れたりすると破損する可能性があります。

センサークリーニング

撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。

- 特にごみが気になるときに、本機能をお使いください。
- 終了後は、電源を入れ直してください。

言語設定

▶[日本語]/[ENGLISH](英語)/[简体中文](簡体字中国語)/[繁體中文](繁体字中国語)/[한국어](韓国語)

画面表示の言語を設定します。

- 誤った言語に設定した場合は、[]のアイコンが付くメニューを選び、言語を設定し直してください。

バージョン表示

ファームウェアアップデート／ソフト情報

カメラ本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。ファームウェアアップデートの実行や、カメラのソフトウェア情報の表示もできます。

ファームウェアアップデート:アップデートを実行します。

- 1 「[カメラ／レンズのファームウェアについて](#)」のサイトからファームウェアをダウンロードする(→[カメラ／レンズのファームウェアについて:27](#))
- 2 カードのルートディレクトリー(パソコンでカードを開いたときのフォルダー)にファームウェアを保存し、カメラに挿入する
- 3 [ファームウェアアップデート]を選んで  または  を押し、[はい]を選んでアップデートを実行する

ソフト情報:カメラのソフトウェアに関する情報を表示します。

- XLRマイクロホンアダプターなどの対応別売品を装着中は、別売品のファームウェアバージョンも確認できます。

CLUB Panasonic 登録

URL表示／QRコード表示

CLUB Panasonicに登録するためのURLまたはQRコードを表示します。
(→[「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします:919](#))

認証情報

電波法に基づく工事設計認証番号を表示します。

ルート証明書

読み込み／消去／証明書情報

ネットワークに接続する際のルート証明書を登録します。

読み込み:カードに保存したルート証明書をカメラに登録します。(最大6ファイル)

- ルート証明書の取得方法は、接続先サービスの管理者にお問い合わせください。
- 新しく登録する証明書は、カードのルートディレクトリーに保存してください。
- ファイルの拡張子が「.pem」、「.cer」または「.crt」の証明書を登録できます。
- OpenSSLのコマンドで証明書と認識できないものは登録できません。

消去: [読み込み]で登録したルート証明書を選んで消去します。

証明書情報: [読み込み]で登録したルート証明書を選んで情報を表示します。

マイメニュー

- [マイメニューへの登録: 674](#)
- [マイメニューの編集: 675](#)

よく使うメニューをマイメニューとして登録します。最大で23項目登録できます。

登録したメニューは[]～[]から呼び出すことができます。

マイメニューへの登録

1 [登録]を選ぶ

-  → [] → [] → [登録]

2 登録する

- 登録するメニューを選び、 または  を押します。

❖ マイメニューの呼び出し

登録したマイメニューを呼び出します。

 → [] → [] / [] / [] → 登録したメニュー

マイメニューの編集

マイメニューの表示順を並べ換えたり、不要なメニューを消去したりできます。

 ➡  ➡  を選ぶ

登録

マイメニューに表示するメニューを選び、登録します。

並べ換え

マイメニューの順番を変更します。変更するメニューを選び、移動先を設定してください。

消去

マイメニューに登録したメニューを消去します。

[項目消去]:メニューを選び、消去します。

[全消去]:マイメニューに登録したメニューをすべて消去します。

マイメニューから表示

メニューを表示するとき、最初にマイメニューを表示します。

[ON]:マイメニューを表示します。

[OFF]:最後に使ったメニューを表示します。

メニュー一覧

本機では、さまざまな機能の設定や、カメラのカスタマイズをメニューから行います。本章では、メニューの全項目を一覧形式で紹介しています。



- メニューの操作方法について(→ [メニューの操作方法: 103](#))
- 以下の一覧資料は、「[資料](#)」の章をお読みください。
 - 初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧: 858
 - 各撮影モードで設定できる機能一覧: 885

- [写真メニュー: 677](#)
- [動画メニュー: 680](#)
- [カスタムメニュー: 683](#)
- [セットアップメニュー: 687](#)
- [マイメニュー: 689](#)
- [再生メニュー: 690](#)

写真メニュー

写真メニューは、[📷]モード時に表示されます。

- 写真/動画/S&Q切り換えスイッチを[📷]に合わせてください。

: 写真メニューと動画メニューに共通のメニュー項目です。設定は連動しています。

🔧 画質

- フォトスタイル(→ [フォトスタイル: 349](#)) 
- 測光モード(→ [測光モード: 306](#)) 
- 画像横縦比(→ [画像横縦比: 125](#))
- 記録ファイル形式(写真)(→ [記録ファイル形式\(写真\): 129](#))
- JPEG/HEIF切換(→ [JPEG/HEIF切換: 132](#))
- JPEG/HEIF写真画質(→ [JPEG/HEIF写真画質: 134](#))
- HEIF形式(→ [HLG撮影\(HEIF形式\): 374](#))
- 画像サイズ(→ [画像サイズ: 127](#))
- ハイレゾモード設定(→ [ハイレゾモード: 255](#))
- 長秒ノイズ除去(→ [長秒ノイズ除去: 291](#))
- Dual Native ISO設定(→ [Dual Native ISO設定: 337](#)) 
- ISO感度設定(写真)(→ [ISO感度設定\(写真\): 339](#))
- シンクロスキャン(写真)(→ [シンクロスキャン\(写真\): 292](#))
- 下限シャッター速度(→ [下限シャッター速度: 294](#))
- iダイナミックレンジ(→ [iダイナミックレンジ: 328](#)) 
- 周辺光量補正(→ [周辺光量補正: 376](#)) 
- カラーシェーディング補正(→ [カラーシェーディング補正: 377](#)) 
- 回折補正(→ [回折補正: 381](#)) 
- フィルター設定(→ [フィルター設定: 362](#)) 
- 動画撮影時のフリッカー軽減(→ [動画撮影時のフリッカー軽減: 441](#))

フォーカス

- 自動認識設定 (→ [自動認識: 199](#))  
- 自動認識の対象 (→ [自動認識: 199](#))  
- AFカスタム設定(写真) (→ [AFカスタム設定\(写真\): 187](#))
- フォーカスリミッター (→ [フォーカスリミッター: 189](#))  
- AF補助光 (→ [AF補助光: 191](#))  
- ピーキング (→ [ピーキング: 228](#))  
- フォーカス枠の移動速度 (→ [フォーカス枠の移動速度: 192](#))  

フラッシュ

- フラッシュモード (→ [フラッシュモード: 386](#))
- 発光モード (→ [発光モード、マニュアル発光量設定: 389](#))
- フラッシュ光量調整 (→ [フラッシュ光量調整: 391](#))
- フラッシュシンクロ (→ [フラッシュシンクロ: 392](#))
- マニュアル発光量設定 (→ [発光モード、マニュアル発光量設定: 389](#))
- 露出補正連動 (→ [露出補正連動: 393](#))
- ワイヤレスモード (→ [ワイヤレスフラッシュ撮影: 394](#))
- ワイヤレスチャンネル (→ [ワイヤレスフラッシュ撮影: 394](#))
- ワイヤレスFP (→ [ワイヤレスFP: 399](#))
- ワイヤレス通信光量 (→ [ワイヤレス通信光量: 399](#))
- ワイヤレス設定 (→ [設定項目\(ワイヤレス設定\): 398](#))

その他(写真)

- ブラケット (→ [ブラケット撮影: 274](#))
- サイレントモード (→ [サイレントモード: 285](#)) 
- ハイブリッドズーム(写真) (→ [ハイブリッドズーム\(写真\): 234](#))
- クロップズーム(写真) (→ [クロップズーム\(写真\): 230](#))
- 手ブレ補正 (→ [手ブレ補正: 296](#)) 
- 連写設定 (→ [連写する: 246](#))
- シャッター方式 (→ [シャッター方式: 287](#))
- シャッターディレイ (→ [シャッターディレイ: 295](#))
- インターバル/コマ撮り撮影 (→ [インターバル撮影: 260](#) / [コマ撮りアニメ撮影: 266](#))
- ライブビューコンポジット撮影 (→ [ライブビューコンポジット撮影: 281](#))
- セルフタイマー (→ [セルフタイマー撮影: 271](#)) 
- 多重露出 (→ [多重露出: 329](#))

👤 動画メニュー

動画メニューは、[📷] / [S&Q] モード時に表示されます。

- 写真/動画/S&Q切り換えスイッチを[📷]または[S&Q]に合わせてください。

: 写真メニューと動画メニューに共通のメニュー項目です。設定は連動しています。

🔧 画質

- フォトスタイル (→ [フォトスタイル: 349](#)) 
- 測光モード (→ [測光モード: 306](#)) 
- Dual Native ISO 設定 (→ [Dual Native ISO 設定: 337](#)) 
- ISO 感度設定 (動画) (→ [ISO 感度設定 \(動画\): 413](#))
- シンクロスキャン (動画) (→ [シンクロスキャン \(動画\): 489](#))
- シャッター速度リミッター (→ [シャッター速度リミッター: 444](#))
- マスターペダスタル (→ [マスターペダスタル: 410](#))
- SS/ゲイン操作 (→ [SS/ゲイン操作: 442](#))
- iダイナミックレンジ (→ [iダイナミックレンジ: 328](#)) 
- 周辺光量補正 (→ [周辺光量補正: 376](#)) 
- カラーシェーディング補正 (→ [カラーシェーディング補正: 377](#)) 
- 回折補正 (→ [回折補正: 381](#)) 
- フィルター設定 (→ [フィルター設定: 362](#)) 

記録

- 記録ファイル形式(動画) (→ [記録ファイル形式\(動画\): 148](#))
- 動画撮影範囲 (→ [動画撮影範囲: 176](#))
- 動画画質 (→ [動画画質: 150](#))
- 動画画質(マイリスト) (→ [マイリスト登録: 167](#))
- プロキシ記録設定 (→ [プロキシ記録: 171](#))
- スロー & クイック設定 (→ [スロー & クイック動画: 460](#))
- タイムコード設定 (→ [タイムコードを設定する: 433](#))
- 輝度レベル設定 (→ [輝度レベル設定: 408](#))
- HDMI RAW データ出力 (→ [動画RAWデータをHDMI出力する: 522](#))

フォーカス

- 自動認識設定 (→ [自動認識: 199](#))  
- 自動認識の対象 (→ [自動認識: 199](#))  
- AFカスタム設定(動画) (→ [AFカスタム設定\(動画\): 405](#))
- フォーカスリミッター (→ [フォーカスリミッター: 189](#))  
- AF補助光 (→ [AF補助光: 191](#))  
- ピーキング (→ [ピーキング: 228](#))  
- フォーカス枠の移動速度 (→ [フォーカス枠の移動速度: 192](#))  

音

- 録音レベル表示 (→ [録音レベル表示: 415](#))
- 音声入力ミュート (→ [音声入力ミュート: 415](#))
- 録音ゲイン切換 (→ [録音ゲイン切換: 416](#))
- 録音レベル設定 (→ [録音レベル設定: 417](#))
- 録音音質 (→ [録音音質: 418](#))
- 録音レベルリミッター (→ [録音レベルリミッター: 419](#))
- 風音キャンセラー (→ [風音キャンセラー: 420](#))
- 風音低減 (→ [風雑音の低減: 424](#))
- マイク端子 (→ [外部マイク \(別売\): 422](#))
- 専用マイク設定 (→ [收音範囲の設定 \(別売: DMW-MS2\): 424](#))
- 4chオーディオ記録 (→ [4chオーディオ記録: 428](#))
- XLRマイクアダプター設定 (→ [XLRマイクロホンアダプター \(別売\): 425](#))
- 音声モニタリング (→ [音声の出力方法の切り換え: 430](#))
- ヘッドホン音量 (→ [ヘッドホンの音量の調整: 431](#))
- 音声モニタチャンネル (→ [音声モニタチャンネル: 431](#))

その他(動画)

- サイレントモード (→ [サイレントモード: 285](#)) 
- ハイブリッドズーム(動画) (→ [ハイブリッドズーム\(動画\): 240](#))
- クロップズーム(動画) (→ [クロップズーム\(動画\): 237](#))
- 手ブレ補正 (→ [手ブレ補正: 296](#)) 
- セルフタイマー設定 (→ [セルフタイマー撮影: 271](#)) 
- フォーカストランジション (→ [フォーカストランジション: 468](#))
- ループ記録(動画) (→ [ループ記録\(動画\): 491](#))
- 動画分割記録 (→ [動画分割記録: 493](#))
- ライブクロップ (→ [ライブクロップ: 472](#))

⚙ カスタムメニュー

🔧 画質(→ [カスタムメニュー\(画質\): 612](#))

- フォトスタイル設定(→ [フォトスタイル設定: 612](#))
- LUTライブラリ(→ [LUTライブラリ: 368](#))
- ISO感度ステップ(→ [ISO感度ステップ: 613](#))
- 拡張ISO感度(→ [拡張ISO感度: 613](#))
- 基準露出レベル調節(→ [基準露出レベル調節: 613](#))
- マルチ測光時の顔優先(→ [マルチ測光時の顔優先: 614](#))
- AWBロック設定(→ [AWBロック設定: 614](#))
- 色空間(→ [色空間: 615](#))
- 露出補正リセット(→ [露出補正リセット: 615](#))
- 写真モードの動画露出自動制御(→ [写真モードの動画露出自動制御: 616](#))
- P/A/S/M時の露出設定(→ [P/A/S/M時の露出設定: 616](#))
- 写真・動画/S&Q独立設定(→ [写真・動画/S&Q独立設定: 616](#))

[AF] フォーカス/リリース(→ [カスタムメニュー\(フォーカス/リリース\): 617](#))

- フォーカス/リリース優先(→ [フォーカス/リリース優先: 617](#))
- 縦/横位置フォーカス切換(→ [縦/横位置フォーカス切換: 617](#))
- AF/AEロック維持(→ [AF/AEロック維持: 617](#))
- AF+MF(→ [AF+MF: 618](#))
- MFアシスト(→ [MFアシスト: 618](#))
- MFガイド(→ [MFガイド: 619](#))
- フォーカスリングロック(→ [フォーカスリングロック: 619](#))
- AFモード表示の制限(→ [AFモード表示の制限: 619](#))
- ピンポイントAF設定(→ [ピンポイントAF設定: 619](#))
- AFポイントスコープ設定(→ [AFポイントスコープ設定: 620](#))
- シャッター半押しAF(→ [シャッター半押しAF: 620](#))
- 合焦時の人物瞳認識表示(→ [合焦時の人物瞳認識表示: 620](#))
- シャッター半押しリリース(→ [シャッター半押しリリース: 620](#))
- シャッター全押し動画記録(→ [シャッター全押し動画記録: 621](#))
- クイックAF(→ [クイックAF: 621](#))
- アイセンサーAF(→ [アイセンサーAF: 621](#))
- フォーカス枠のループ移動(→ [フォーカス枠のループ移動: 621](#))
- 動画ライブビュー拡大表示設定(→ [動画ライブビュー拡大表示設定: 622](#))
- 動画時のAFS動作(→ [動画時のAFS動作: 622](#))

 操作(→カスタムメニュー(操作): 623)

- Q.MENU設定(→Q.MENU設定: 623)
- タッチ設定(→タッチ設定: 623)
- ロックレバー設定(→ロックレバー設定: 624)
- Fnボタン設定(→Fnボタン設定: 625)
- WB/ISO/露出補正ボタン(→WB/ISO/露出補正ボタン: 626)
- ISO感度画面の操作(→ISO感度画面の操作: 626)
- 露出補正画面の操作(→露出補正画面の操作: 627)
- ダイヤル設定(→ダイヤル設定: 627)
- ジョイスティック設定(→ジョイスティック設定: 629)
- シャッターリモコンの動画ボタン(→シャッターリモコンの動画ボタン: 629)

 モニター/表示(写真)(→カスタムメニュー(モニター/表示(写真)): 630)

- オートレビュー(→オートレビュー: 630)
- 常時プレビュー(→常時プレビュー: 630)
- ヒストグラム表示(→ヒストグラム表示: 631)
- 写真グリッドライン表示(→写真グリッドライン表示: 632)
- ライブビューブースト(→ライブビューブースト: 632)
- ナイトモード(→ナイトモード: 633)
- LVF/モニター表示設定(→LVF/モニター表示設定: 634)
- 露出メーター(→露出メーター: 636)
- 焦点距離(→焦点距離: 636)
- ハイライト表示(→ハイライト表示: 636)
- オーバーレイ表示(→オーバーレイ表示: 637)
- 手ブレ状態スコープ(→手ブレ状態スコープ: 638)
- 水準器表示(→水準器表示: 638)
- スポット輝度メーター(→スポット輝度メーター: 639)
- ライブビュー境界線表示(→ライブビュー境界線表示: 639)
- 撮影画面の遷移(モニター)(→撮影画面の遷移(モニター): 639)

モニター/表示(動画) (→ [カスタムメニュー\(モニター/表示\(動画\)\)](#)): **640**

- Logビューアシスト (→ [Logビューアシスト: 640](#))
- HLGビューアシスト (→ [HLGビューアシスト: 640](#))
- アナモフィック デスクイーズ表示 (→ [アナモフィック デスクイーズ表示: 640](#))
- モノクロライブビュー (→ [モノクロライブビュー: 641](#))
- センターマーカ表示 (→ [センターマーカ表示: 641](#))
- セーフティーゾーンマーカ表示 (→ [セーフティーゾーンマーカ表示: 641](#))
- フレーム表示 (→ [フレーム表示: 641](#))
- ゼブラパターン表示 (→ [ゼブラパターン表示: 642](#))
- フォルスカラー (→ [フォルスカラー: 642](#))
- WFM/ベクトルスコープ表示 (→ [WFM/ベクトルスコープ表示: 642](#))
- カラーバー (→ [カラーバー: 642](#))
- 動画記録中の赤枠表示 (→ [動画記録中の赤枠表示: 643](#))
- ストリーミングの青枠表示 (→ [ストリーミングの青枠表示: 643](#))

IN/OUT (→ [カスタムメニュー\(IN/OUT\)](#)): **644**

- 撮影時HDMI出力 (→ [撮影時HDMI出力: 644](#))
- ファン動作モード (→ [ファン動作モード: 645](#))
- タリーランプ設定 (→ [タリーランプ設定: 645](#))

レンズ/その他 (→ [カスタムメニュー\(レンズ/その他\)](#)): **646**

- レンズ位置メモリー (→ [レンズ位置メモリー: 646](#))
- レンズFnボタン設定 (→ [レンズFnボタン設定: 647](#))
- AF時フォーカスリング設定 (→ [AF時フォーカスリング設定: 648](#))
- MF時フォーカスリング設定 (→ [MF時フォーカスリング設定: 648](#))
- AF微調整 (→ [AF微調整: 193](#))
- レンズ情報 (→ [レンズ情報: 649](#))
- レンズ情報確認表示 (→ [レンズ情報確認表示: 649](#))
- 動画の縦位置情報 (→ [動画の縦位置情報: 649](#))

セットアップメニュー

カード/ファイル(→ [セットアップメニュー\(カード/ファイル\): 651](#))

- フォーマット(→ [フォーマット: 651](#))
- ダブルスロット機能(→ [ダブルスロット機能: 652](#))
- USB-SSD(→ [USB-SSD: 653](#))
- フォルダー/ファイル設定(→ [フォルダー/ファイル設定: 654](#))
- ファイル番号リセット(→ [ファイル番号リセット: 656](#))
- 著作権情報(→ [著作権情報: 656](#))

モニター/表示(→ [セットアップメニュー\(モニター/表示\): 657](#))

- エコモード(→ [エコモード: 657](#))
- 動画撮影時の制限緩和(→ [動画撮影時の制限緩和: 657](#))
- モニター表示速度(→ [モニター表示速度: 658](#))
- LVF表示速度(→ [LVF表示速度: 658](#))
- モニター調整/LVF調整(→ [モニター調整/LVF調整: 658](#))
- モニター輝度/LVF輝度(→ [モニター輝度/LVF輝度: 659](#))
- アイセンサー(→ [アイセンサー: 659](#))
- 水準器調整(→ [水準器調整: 659](#))

IN/OUT(→ [セットアップメニュー\(IN/OUT\): 660](#))

- 電子音(→ [電子音: 660](#))
- ヘッドホン音量(→ [ヘッドホン音量: 660](#))
- 音声モニタチャンネル(再生時)(→ [音声モニタチャンネル\(再生時\): 661](#))
- ストリーミング(→ [ストリーミング: 661](#))
- 有線LAN/Wi-Fi®(→ [有線LAN/Wi-Fi®: 662](#))
- Bluetooth®(→ [Bluetooth®: 662](#))
- Frame.io(→ [Frame.io: 663](#))
- USB(→ [USB: 664](#))
- HDMI接続設定(→ [HDMI接続設定: 665](#))
- NETWORK接続ランプ(→ [NETWORK接続ランプ: 666](#))

設定(→[セットアップメニュー\(設定\): 667](#))

- カスタムモード登録(写真モード)／カスタムモード登録(動画モード)／カスタムモード登録(S&Qモード)(→[カスタムモード登録\(写真モード\)／カスタムモード登録\(動画モード\)／カスタムモード登録\(S&Qモード\): 667](#))
- カスタムモード内容の呼出(写真モード)／カスタムモード内容の呼出(動画モード)／カスタムモード内容の呼出(S&Qモード)(→[カスタムモード内容の呼出\(写真モード\)／カスタムモード内容の呼出\(動画モード\)／カスタムモード内容の呼出\(S&Qモード\): 667](#))
- カスタムモード設定(→[カスタムモード設定: 667](#))
- カメラ設定の保存/読み込み(→[カメラ設定の保存/読み込み: 668](#))
- 設定リセット(→[設定リセット: 669](#))

その他(→[セットアップメニュー\(その他\): 670](#))

- 時計設定(→[時計設定: 670](#))
- タイムゾーン(→[タイムゾーン: 670](#))
- システム周波数(→[システム周波数: 670](#))
- ピクセルリフレッシュ(→[ピクセルリフレッシュ: 671](#))
- 電源OFF時のシャッター動作(→[電源OFF時のシャッター動作: 671](#))
- センサークリーニング(→[センサークリーニング: 671](#))
- 言語設定(→[言語設定: 671](#))
- バージョン表示(→[バージョン表示: 672](#))
- CLUB Panasonic登録(→[CLUB Panasonic登録: 672](#))
- 認証情報(→[認証情報: 672](#))
- ルート証明書(→[ルート証明書: 673](#))

マイメニュー

₁ ページ1 (→ [マイメニュー: 674](#))

₂ ページ2 (→ [マイメニュー: 674](#))

₃ ページ3 (→ [マイメニュー: 674](#))

 マイメニュー編集 (→ [マイメニューの編集: 675](#))

- 登録
- 並び換え
- 消去
- マイメニューから表示

▶ 再生メニュー

🖼 表示方法(→ [再生メニュー\(表示方法\): 570](#))

- 再生モード(→ [再生モード: 570](#))
- スライドショー(→ [スライドショー: 570](#))
- 縦位置自動回転(→ [縦位置自動回転: 571](#))
- 画像表示順(→ [画像表示順: 571](#))
- AF位置から拡大(→ [AF位置から拡大: 571](#))
- LUTビューアシスト(モニター)(→ [LUTビューアシスト\(モニター\): 571](#))
- HLGビューアシスト(モニター)(→ [HLGビューアシスト\(モニター\): 572](#))
- アナモフィック デスクイーズ表示(→ [アナモフィック デスクイーズ表示: 572](#))
- 動画再生後の動作(→ [動画再生後の動作: 572](#))

🔧 画像の加工(→ [再生メニュー\(画像の加工\): 573](#))

- RAW現像(→ [RAW現像: 573](#))
- HEIF→JPEG変換(→ [HEIF→JPEG変換: 573](#))
- インターバル動画作成(→ [インターバル動画作成: 573](#))
- コマ撮りアニメ作成(→ [コマ撮りアニメ作成: 573](#))

📄 情報の付与・削除(→ [再生メニュー\(情報の付与・削除\): 574](#))

- プロテクト(→ [プロテクト: 574](#))
- レーティング(→ [レーティング: 574](#))

✂ 画像の編集(→ [再生メニュー\(画像の編集\): 575](#))

- リサイズ(縮小)(→ [リサイズ\(縮小\): 575](#))
- 画像回転(→ [画像回転: 575](#))
- 動画分割(→ [動画分割: 576](#))
- 画像コピー(→ [画像コピー: 576](#))
- 動画修復(→ [動画修復: 577](#))

 その他(→再生メニュー(その他):578)

- 消去確認画面(→消去確認画面:578)
- 全画像消去(→全画像消去:578)

Wi-Fi / Bluetooth

本章では、「LUMIX Lab」とのBluetooth®接続方法や使用方法を説明します。

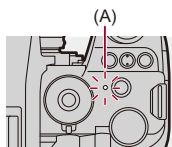
また、Wi-Fi®を使った接続や設定についても説明します。

• 本書ではスマートフォンとタブレットを併せてスマートフォンと表記します。

- [「LUMIX Lab」と接続する: 694](#)
- [「LUMIX Lab」を使う: 699](#)
- [Wi-Fi接続: 713](#)
- [有線LAN/Wi-Fiメニュー: 718](#)

❖ Wi-Fi / Bluetooth機能の動作確認

ランプ(青色)	モニター	動作
点灯		Wi-Fi機能を設定しているとき、または接続中
		Bluetooth機能を設定しているとき、または接続中
点滅		カメラ操作による画像データ送信時



(A) NETWORK接続ランプ



- 通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。
- 本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。
- 情報セキュリティのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- バッテリーの残量が少ない場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- 電波の状況によっては、送信が完了できないことがあります。また、画像送信中に通信が切断された場合、一部が表示できない画像が送信されることがあります。



- NETWORK接続ランプが点灯しないように設定できます：
(→ [NETWORK接続ランプ: 666](#))

「LUMIX Lab」と接続する

- [「LUMIX Lab」のインストール: 695](#)
- [スマートフォンとの接続\(Bluetooth接続\): 696](#)

スマートフォン用アプリ「Panasonic LUMIX Lab」(以降は「LUMIX Lab」と表記)をインストールしたスマートフォンと接続します。「LUMIX Lab」を使うと、[LUTライブラリ]の操作や画像の転送ができます。

「LUMIX Lab」のインストール

「LUMIX Lab」はパナソニックが提供するスマートフォン用アプリケーションです。



対応OS

Android™: Android 10以上

iOS: iOS 15以上

- 1 スマートフォンをネットワークに接続する
- 2 (Android)「Google Play™ストア」を選ぶ
(iOS)「App Store」を選ぶ
- 3 検索フィールドに「LUMIX」または「panasonic lumix lab」と入力する
- 4 「Panasonic LUMIX Lab」を選び、インストールする



- [リアルタイムLUT]で表示されるQRコードからダウンロードすることもできます。
- 最新のバージョンをお使いください。
- 対応OSは2025年5月現在のものです。対応OSは変更する場合があります。
- 操作方法などについて詳しくは、「LUMIX Lab」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。「LUMIX Lab」の情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/>

スマートフォンとの接続(Bluetooth接続)

簡単な接続設定(ペアリング)で、Bluetooth Low Energyに対応したスマートフォンと接続します。

- 初めて接続する場合は、ペアリング設定が必要です。
2回目以降の接続時は、カメラの[Bluetooth機能]を[スマートフォン]にすると自動で接続されます。



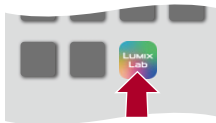
対応スマートフォン

Android™: Android 10以上で、Bluetooth 4.0以上を搭載(Bluetooth Low Energy非対応の一部の端末を除く)

iOS: iOS 15以上

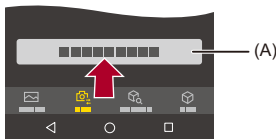
- あらかじめスマートフォンのBluetooth機能をオンにしてください。

1 スマートフォンで「LUMIX Lab」を起動する



2 表示されるガイドの内容を確認し、アプリの使用を開始する

3 [カメラ]画面に切り換え、「カメラをペアリング」を選ぶ



(A) カメラをペアリング

4 カメラを Bluetooth のペアリング待機状態にする

-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [Bluetooth機能] ⇒ [スマートフォン]
- カメラがペアリングの待機状態になります。
- ペアリング済みのスマートフォンがある場合は、接続待機状態になります。新規でスマートフォンとペアリングしたい場合は、以下の手順でペアリング待機状態にしてください。
 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [ペアリング] ⇒ [スマートフォン登録]

5 「LUMIX Lab」で接続するカメラを選ぶ

- 確認画面で[ペアリング]を選ぶと、ペアリングを実行します。



- ペアリング設定したスマートフォンはペアリング済み機器として登録されます。
- 複数のスマートフォンとペアリング設定していても、一度に接続できるスマートフォンは1つです。
- ペアリングに時間がかかるときは、スマートフォンとカメラ両方のペアリング設定を解除してから、もう一度設定すると正しく認識される場合があります。
- Bluetooth接続中は、撮影画面に[]が表示されます。Bluetooth機能が有効になっていても、スマートフォンと接続されていないときは、[]が半透明で表示されます。
- Bluetooth機器は16台まで登録できます。16台を超えて登録すると、古い登録情報から順に消去されます。
- 以下の機能を使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
– [Frame.io 接続]

❖ Bluetooth接続の終了

Bluetooth接続を終了するには、カメラのBluetooth機能をオフにしてください。

 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [Bluetooth機能] ⇒ [OFF]を選ぶ



- 接続を解除してもペアリング設定は解除されません。

❖ ペアリングの解除

- 1 カメラのペアリング設定を解除する

•  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [ペアリング] ⇒ [解除]

- 2 ペアリングを解除するスマートフォンを選ぶ



- スマートフォン側のペアリング設定も解除してください。
- セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットすると、登録済み機器の情報が消去されます。

「LUMIX Lab」を使う

- LUTライブラリ操作: 699
- リモート撮影: 701
- シャッターリモコン: 703
- カメラ内の画像を簡単にスマートフォンに送る: 705
- 画像・動画転送: 707
- 自動画像転送: 709
- 位置情報記録: 712

「LUMIX Lab」からカメラを操作する機能について説明します。

LUTライブラリ操作

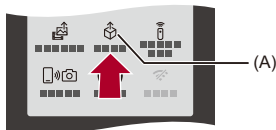
「LUMIX Lab」を操作して、カメラ内の[LUTライブラリ]を更新できます。

準備:

- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→ [スマートフォンとの接続 \(Bluetooth接続\): 696](#))
- スマートフォンで「LUMIX Lab」を起動する

1 [カメラ]画面で[LUT転送]を選ぶ

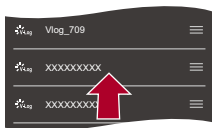
- カメラとWi-Fi接続を行います。[接続]を選んで接続を開始してください。



(A) LUT転送

2 [LUTライブラリ]画面でLUTファイルを選んで編集する

- LUTファイルの転送、名前の変更、削除、順番の変更ができます。
- [スマホ]には「LUMIX Lab」に保存されているLUTファイルが一覧表示されます。
- [カメラ]にはカメラに保存されているLUTファイルが一覧表示されます。



3 [スマホ]の中から転送するLUTファイルを選ぶ

4 [カメラに転送]を選び、カメラの[LUTライブラリ]を更新する



- 以下の機能を使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
– [Frame.io接続]

リモート撮影

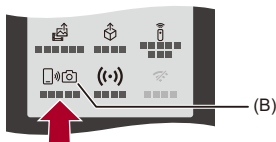
離れた場所のカメラのライブビュー映像を確認しながら、スマートフォンで撮影できます。

準備:

- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(➔ [スマートフォンとの接続 \(Bluetooth接続\): 696](#))
- スマートフォンで「LUMIX Lab」を起動する

1 [カメラ]画面で[リモート撮影]を選ぶ

- カメラとWi-Fi接続を行います。[接続]を選んで接続を開始してください。



(B) リモート撮影

2 撮影する

- 撮影した画像はカメラに保存されます。

○ : 写真撮影

● : 動画撮影開始／終了



- [自動画像転送]と組み合わせて使用すると、リモート撮影した画像をスマートフォンに自動で転送できます。(→ [自動画像転送: 709](#))
- リモート撮影の設定メニューで[自動画像転送]をONにした場合、リモート撮影画面からカメラ画面に戻ることによって機能が有効になります。



- 設定など一部利用できないものがあります。
- 以下の機能を使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
 - [Frame.io 接続]

❖ リモート撮影中の操作方法

リモート撮影中にカメラとスマートフォンのどちらの操作を優先するかを設定します。

「LUMIX Lab」のリモート撮影画面で[

- タッチするたびにアイコンが切り換わります。

(カメラ優先)

カメラとスマートフォンの両方で操作できます。

- 写真／動画／S&Qモードや撮影モードなどの設定をスマートフォンで変更できません。

(スマートフォン優先)

スマートフォンだけで操作できます。

- 写真／動画／S&Qモードや撮影モードなどの設定をスマートフォンで変更できます。
- リモート撮影を終了するには、カメラのいずれかのボタンを押して画面を表示し、[終了]を選んでください。

-
- 初期設定は[

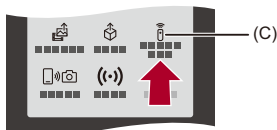
シャッターリモコン

スマートフォンをシャッターリモコンとして使うことができます。

準備:

- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(➔ [スマートフォンとの接続 \(Bluetooth接続\): 696](#))
- スマートフォンで「LUMIX Lab」を起動する

1 [カメラ]画面で[シャッターリモコン]を選ぶ



(C) シャッターリモコン

2 撮影する



動画撮影開始／終了



写真撮影

- [バルブ撮影: 704](#)

❖ バルブ撮影

撮影開始から終了までの間、シャッターを開けたままにできるため、星空や夜景の撮影に便利です。

準備:

- カメラを[M]モードにする(→ [マニュアル露出モード: 318](#))
- カメラのシャッタースピードをB(バルブ)に設定する(→ [B\(バルブ\): 322](#))

- 1 []をタッチして、撮影を開始する(タッチしたまま、指を離さない)
- 2 []から指を離して、撮影を終了する
 - []をLOCK方向にスライドすると、シャッターボタンを全押しした状態で固定して撮影できます。([]を元の方向に戻す、またはカメラのシャッターボタンを押すと、撮影を終了します)
 - B(バルブ)撮影中にBluetooth接続が切れた場合は、再度Bluetooth接続してスマートフォンで撮影終了の操作をしてください。



- [自動画像転送]を[ON]に設定しているときは、[シャッターリモコン]が使用できません。
- 以下の機能使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
 - [Frame.io 接続]

カメラ内の画像を簡単にスマートフォンに送る

再生時に[Q]ボタンを押すだけで、Bluetooth接続したスマートフォンに画像を転送できます。メニューから簡単に転送することもできます。

- [スマートフォンに画像を送る]を登録したFnボタンを押しても同じ操作ができます。(→ [Fnボタン: 580](#))

準備:

- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→ [スマートフォンとの接続 \(Bluetooth接続\): 696](#))
- カメラの[]ボタンを押して再生画面を表示する

写真を1枚送る

- 1 で画像を選ぶ
- 2 [Q]ボタンを押す
- 3 [1枚選択]を選ぶ
 - 画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(→ [画像の送信設定: 710](#))
- 4 スマートフォンで[OK]を選ぶ
 - Wi-Fi接続を自動で行います。

複数枚の写真を送る

- 1 [Q]ボタンを押す
- 2 [複数選択]を選ぶ
 - 画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(→ [画像の送信設定: 710](#))
- 3 画像を選び、転送する
 - : 画像の選択
 -  または  : 設定／解除
 - [DISP.]: 転送の実行
- 4 スマートフォンで[OK]を選ぶ
 - Wi-Fi接続を自動で行います。

❖ メニュー操作で簡単に転送する

 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [スマートフォンに画像を送る]

設定：[1枚選択]／[複数選択]

- [1枚選択]のときは、◀▶で画像を選び、 または  を押して実行します。
- [複数選択]のときは、「[複数枚の写真を送る](#)」の場合と同じ操作で実行できます。
(→ [複数枚の写真を送る：705](#))



- ファイルサイズが4 GBを超える画像は転送できません。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は転送できません。
 - [MOV]の動画、[Apple ProRes]の動画
- 撮影中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。
- 送信完了前に電源を切る、またはWi-Fi接続を終了した場合、送信は再開されません。
- 送信中はファイルの消去や、再生メニューの使用ができない場合があります。
- [自動画像転送]を[ON]に設定しているときは、[スマートフォンに画像を送る]が使用できません。
- 以下の機能使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
 - [Frame.io 接続]

画像・動画転送

「LUMIX Lab」を操作して、カメラからスマートフォンへ画像を転送します。

準備:

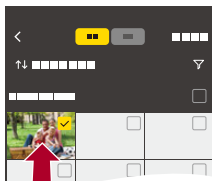
- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(➔ [スマートフォンとの接続 \(Bluetooth接続\): 696](#))
- スマートフォンで「LUMIX Lab」を起動する

1 [カメラ]画面で[画像・動画転送]を選ぶ

- カメラとWi-Fi接続を行います。[接続]を選んで接続を開始してください。

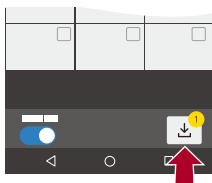
2 転送する画像を選ぶ

- チェックボックスをタッチして選びます。



3 画像を転送する

- [↓]を選びます。





- ファイルサイズが4 GBを超える画像は転送できません。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は転送できません。
 - [MOV]、[Apple ProRes]の動画
- 以下の機能使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
 - [Frame.io 接続]
- カメラの温度が上がると、転送速度が低下します。

自動画像転送

撮影するたびに、カメラからスマートフォンへ画像を自動転送します。

準備:

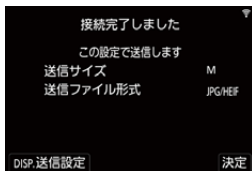
- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→ [スマートフォンとの接続 \(Bluetooth接続\): 696](#))

1 カメラの[自動画像転送]を有効にする

- **MENU/SET** ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [自動画像転送] ⇒ [ON]
- 「LUMIX Lab」で機能を有効にすることもできます。
- スマートフォンとWi-Fi接続を行います。

2 カメラで送信設定を確認し、**MENU/SET**を押す

- 画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(→ [画像の送信設定: 710](#))
- カメラの撮影画面に[]が表示されると、自動画像転送ができます。



3 カメラで撮影する

- ファイル送信中はカメラの撮影画面に[]が表示されます。

❖ 画像の送信設定

送信する画像のサイズやファイル形式を設定します。

- 1 送信設定の確認画面が表示されたら、[DISP.] ボタンを押す
- 2 送信設定を変更する

送信サイズ

送信する画像のサイズを変更します。

[元画像]／[変更]([L]、[M]、[S]、[XS]または[VGA])

送信ファイル形式

送信する画像のファイル形式を設定します。

[JPG/HEIF]／[RAW]

❖ 自動画像転送を終了する

 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [自動画像転送] ⇒ [OFF]を選ぶ

- Wi-Fi接続の終了確認画面が表示されます。



- カメラの[Bluetooth機能]を[スマートフォン]に設定し、[自動画像転送]を[ON]に設定しているときにカメラの電源を入れると、スマートフォンとWi-Fi／Bluetoothの接続を自動で行います。スマートフォンで「LUMIX Lab」を起動して、カメラと接続してください。



- 動画の撮影中や再生中は、自動画像転送が一時中断します。送信を再開すると、中断したファイルの先頭から転送を行います。
- 画像転送中にカメラの電源が切れてファイルの送信が中断された場合は、カメラの電源を入れ直すと送信を再開します。
 - 未送信のファイルの保存状況が変化すると送信できないことがあります。
 - 未送信のファイル数が多い場合、すべてのファイルを送信できないことがあります。
- 周囲の温度が高いところで自動画像転送を行うと、通信が切断される場合があります。カメラの温度が下がると、自動的に再接続され、自動画像転送が再開されます。自動画像転送が再開されない場合は、電源を入れ直して再接続してください。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は、自動画像転送ができません。
 - 動画撮影
- 以下の機能使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
 - [Frame.io 接続]

位置情報記録

スマートフォンの位置情報をBluetoothでカメラに送信し、位置情報を書き込みながら撮影します。

準備:

- スマートフォンのGPS機能を有効にする
- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→[スマートフォンとの接続 \(Bluetooth接続\): 696](#))

1 カメラの[位置情報記録]を有効にする

-  ⇒  ⇒  ⇒ [Bluetooth] ⇒ [位置情報記録] ⇒ [ON]
- 「LUMIX Lab」で機能を有効にすることもできます。
- 位置情報の記録ができる状態になり、カメラの撮影画面に[GPS]が表示されます。

2 カメラで撮影する

- 撮影した画像に位置情報が書き込まれます。



- 撮影画面の[GPS]が半透明で表示されるときは、位置情報が未取得のため書き込みができません。建物やかばんの中などでは、スマートフォンのGPSが測位できない場合があります。空を広く見渡せる場所など測位しやすい場所に移動してお試しください。スマートフォンの取扱説明書もお読みください。
- 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS]が表示されます。
- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。
- 位置情報の取得中はスマートフォンの電池の消費が早くなります。
- 以下の機能を使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
 - [Frame.io 接続]

Wi-Fi接続

- [新規接続: 713](#)
- [\[Wi-Fi\]を登録したFnボタン: 717](#)

[ストリーミング機能]や[Frame.io 接続]で[ON]を選んだときに、[新規接続]を選ぶとWi-Fi接続します。([ストリーミング]や[Frame.io]の[接続方法]を[Wi-Fi]に設定時)

新規接続

カメラと無線アクセスポイントをWi-Fiで接続します。



無線アクセスポイントとの接続方法を選ぶ

設定: [WPS (プッシュボタン)]／[WPS (PINコード)]／[一覧から選ぶ]
(→ [WPS \(プッシュボタン\): 714](#)、[WPS \(PINコード\): 714](#)、[一覧から選ぶ: 715](#))



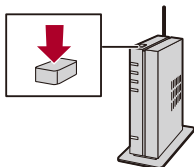
- 無線アクセスポイントの取扱説明書や設定をご確認ください。

❖ WPS（プッシュボタン）

無線アクセスポイントのWPSボタンを押して接続します。

無線アクセスポイントがWPSモードになるまで、無線アクセスポイントのWPSボタンを押す

（例）



❖ WPS（PINコード）

無線アクセスポイントにPINコードを入力して接続します。

- 1 カメラの画面で接続する無線アクセスポイントを選ぶ
- 2 カメラの画面に表示されているPINコードを無線アクセスポイントに入力する
- 3 カメラの  または  を押す

❖ 一覧から選ぶ

利用する無線アクセスポイントを検索して接続します。



• 無線アクセスポイントの「暗号化キー」を確認してください。

- 1 接続する無線アクセスポイントを選ぶ
 - [DISP] ボタンを押すと、無線アクセスポイントを再検索します。
 - 無線アクセスポイントが見つからない場合は「[マニュアル入力で接続する](#)」をお読みください。(→ [マニュアル入力で接続する: 716](#))
- 2 (ネットワーク認証が暗号化されている場合) 暗号化キーを入力する
 - 文字の入力方法(→ [文字の入力: 109](#))

❖ マニュアル入力で接続する



- お使いの無線アクセスポイントの「SSID」、「ネットワーク認証方式」、「暗号化方式」、「暗号化キー」を確認してください。

- 1 「[一覧から選ぶ](#)」手順1の画面で、[マニュアル入力]を選ぶ(→ [一覧から選ぶ: 715](#))
- 2 接続する無線アクセスポイントのSSIDを入力して[決定]を選ぶ
 - 文字の入力方法(→ [文字の入力: 109](#))
- 3 ネットワークの認証方式を選ぶ

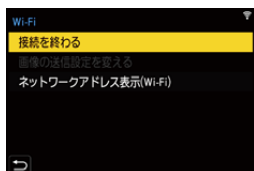
WPA3-SAE / WPA3/WPA2 / WPA2-PSK / WPA2/WPA-PSK

対応する暗号化方式: AES

- 4 暗号化キーを入力して[決定]を選ぶ

[Wi-Fi]を登録したFnボタン

Wi-Fi接続後に[Wi-Fi]を登録したFnボタンを押すと、以下の操作ができます。(→[Fnボタン: 580](#))



接続を終わる

Wi-Fi接続を終了します。

画像の送信設定を変える

画像を送信する際の画像のサイズやファイル形式などを設定します。(→[画像の送信設定: 710](#))

ネットワークアドレス表示(Wi-Fi)

本機のMACアドレスとIPアドレスを表示します。(→[ネットワークアドレス表示\(Wi-Fi\): 720](#))

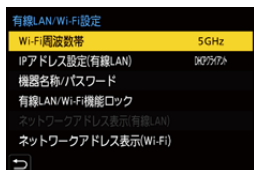
• お使いのWi-Fi機能や接続先によっては、一部の操作ができない場合があります。

有線LAN/Wi-Fiメニュー

有線LAN／Wi-Fi機能を使うために必要な各種設定ができます。有線LAN／Wi-Fi接続中は設定を変更できません。

有線LAN/Wi-Fiメニューを表示する

●  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [有線LAN/Wi-Fi]



Wi-Fi 周波数帯

スマートフォンと直接接続するときに使用する周波数帯を設定します。

2.4GHz: 2.4 GHzの周波数帯で接続します。

5GHz: 5 GHzの周波数帯で接続します。

- 5 GHzの周波数帯は電波法により屋外での使用を禁じられています。屋外で使用する場合は[2.4GHz]に設定してください。

IP アドレス設定(有線LAN)

有線LAN接続時のIPアドレスを設定します。

DHCPを使ってIPアドレスを自動で割り振るか、任意の固定IPアドレスを設定するかを選択できます。

DHCP サーバ:カメラをDHCPサーバとして接続するときに選択します。

DHCP クライアント:カメラをDHCPクライアントとして接続するときに選択します。
(初期設定)

固定IP:[固定IP アドレス設定]で設定したIPを使用して接続するときに選択します。

固定IP アドレス設定:[固定IP]で使用するIPアドレスを設定します。

IPアドレス:初期設定は<192.168.0.2>です。

サブネットマスク:初期設定は<255.255.255.0>です。

デフォルトゲートウェイ:初期設定は<192.168.0.1>です。

IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは正しい組み合わせで設定してください。

- DHCPの設定や固定IPアドレスの設定について、詳しくはご利用のネットワークの管理者にお問い合わせください。
 - [IP アドレス設定(有線LAN)]の設定を変更した場合は、カメラの電源を入れ直してください。
-

機器名称/パスワード

カメラの名前(SSID)とパスワードを変更できます。

- 機器名称、パスワードを変更するには、[DISP]ボタンを押してください。
- 入力できる文字数は、機器名称は最大32文字、パスワードは8文字から63文字です。

有線LAN/Wi-Fi 機能ロック

誤操作や、第三者による有線LAN／Wi-Fi機能の使用を防止し、カメラ内および撮影した画像に含まれる個人情報を保護するため、パスワードを設定できます。

[設定]: 数字4桁で任意のパスワードを設定します。

- パスワードを設定すると、[有線LAN/Wi-Fi]、[ストリーミング]を選択したときに、パスワードの入力が必要になります。

[解除]: パスワードを解除します。

ネットワークアドレス表示(有線LAN)

有線LAN接続時のカメラのMACアドレスとIPアドレスを表示します。

ネットワークアドレス表示(Wi-Fi)

Wi-Fi接続時のカメラのMACアドレスとIPアドレスを表示します。



- パスワードを忘れた場合、セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットすると、パスワードをリセットできます。



- 文字の入力方法(→ [文字の入力: 109](#))

Frame.io Camera to Cloud

本機は「Frame.io Camera to Cloud」に対応しており、カメラをWi-Fi経由でインターネットに接続することで、Frame.ioのプラットフォームへ静止画・プロキシ動画を直接アップロードできます。

* 「Frame.io Camera to Cloud」のすべての機能を保証するものではありません。

- [Frame.ioとの接続: 722](#)
- [Frame.ioに画像を送る: 727](#)
- [アップロード設定: 728](#)

Frame.io との接続

MENU/SET ➡ [] ➡ [] ➡ [Frame.io] ➡ [Frame.io 接続] ➡ [ON] を選ぶ



- 初回接続時は、[Wi-Fi 接続先設定]、および [ペアリング(Frame.io)] を行います。

Wi-Fi 接続先設定

[新規接続] を選び、アクセスポイントと Wi-Fi 接続してください。

ペアリング(Frame.io)

カメラにペアリングコードが表示されます。

パソコンなどからFrame.ioにログインし、デバイス登録画面でペアリングコードを入力してください。

- [Frame.io 接続] ➡ [設定] ➡ [ペアリング(Frame.io)] を選んで設定することもできます。
- [Frame.io] メニューの画面で、Frame.io との [接続状態] を確認できます。
 - [未接続]: Frame.io との接続を開始していない
 - [接続中]: Frame.io と接続中(未完了)
 - [接続済]: Frame.io と接続完了
 - [接続済(pausd)]: Frame.io サイト上でカメラを一時停止中
- 接続が完了すると、ユーザー名([User])とプロジェクト名([Project])がカメラに表示されます。



- Frame.ioとの接続に何度も失敗する(認証に失敗する)場合は、再度ペアリング設定してください。
- Frame.ioと接続できない場合は、接続方法を確認し、再度[Frame.io接続]を[ON]に設定してください。
- カメラの状態により、画像の転送に時間がかかる場合があります。



- 以下の機能使用中は、[Frame.io]は使用できません。
 - [Bluetooth]
 - [ストリーミング]
 - [USB]
 - テザー撮影

❖ 接続方法を変更する

 ➔  ➔  ➔ **[Frame.io]** ➔ **[接続設定]** ➔ **[接続方法]** を選ぶ

Wi-Fi

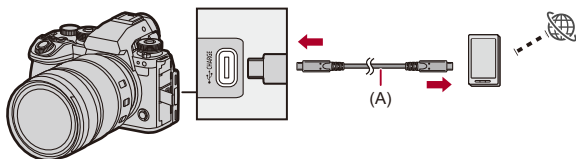
アクセスポイントとWi-Fiで接続します。

USBテザリング

スマートフォンのUSBテザリング機能を使用して接続します。

- スマートフォンを使用すると、モバイルデータ通信(4G／5Gなど)経由でカメラをインターネットに接続し、外出先などルーターがない場所でもFrame.ioに接続できます。

1 カメラとスマートフォンをUSB接続ケーブルで接続する



(A) USB接続ケーブル(市販)

2 スマートフォンのUSBテザリング機能を有効にする

- スマートフォンで**[USB テザリング]**(Android機器)、または**[インターネット共有]**(iOS機器)を選んでください。
 - スマートフォンの画面に、接続デバイスのアクセス許可を確認するメッセージが表示された場合は、許可してください。許可するまで、接続は完了しません。
 - スマートフォンの取扱説明書もお読みください。
-
- Frame.ioとの接続中に接続方法を変更するときは、Frame.ioとの接続を一時的に中断し、変更後に再接続します。



USBテザリング接続時のお知らせ

- スマートフォンのテザリング機能について、スマートフォンの取扱説明書や、携帯電話会社との契約内容をご確認ください。契約内容によってはテザリングに制限が設けられていたり、高額な追加料金が発生したりする場合があります。
- **Frame.ioとの接続を行わないときは、[Frame.io接続]を[OFF]にしてください。**
[ON]にしているときは、[接続方法]が[USB テザリング]に設定されている場合、本機のバッテリーから接続機器に給電されるため、バッテリーの消費が早くなります。
- **高温表示について**
カメラの温度が上がると、画面に[△]が点滅表示されます。そのままカメラを使用し続けると、画面に使用不可のメッセージが表示され、撮影やHDMI出力など、一部の機能が停止します。カメラの温度が下がって、使用可能のメッセージが表示されるまでお待ちください。使用可能のメッセージが表示されたら、電源を入れ直してください。
- USBテザリングでインターネットに接続しているときは、NETWORK接続ランプは点灯しません。
- USBテザリング接続をしたあとに、カメラ内のバッテリーを充電するときは、カメラの充電ランプが赤色に点灯することをご確認ください。充電ランプが点灯しない場合は、カメラの電源を切った状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。

❖ Wi-Fiの接続先を変更する

Frame.ioと接続中にアクセスポイントの変更などを行います。

 ⇒  ⇒  ⇒ **[Frame.io]** ⇒ **[接続設定]** ⇒ **[Wi-Fi 接続先設定]**を選ぶ

- [DISP.] ボタンを押し、接続先を選び直してください。

❖ Frame.ioとの接続を切断する

 ⇒  ⇒  ⇒ **[Frame.io]** ⇒ **[Frame.io接続]** ⇒ **[OFF]**を選ぶ

- Frame.ioとの接続(Wi-Fi)を切断しても、アップロードキューは削除されません。

❖ ペ어링(Frame.io)を解除する

 ⇒  ⇒  ⇒ **[Frame.io]** ⇒ **[Frame.io接続]** ⇒ **[設定]** ⇒ **[解除]**を選ぶ

- Frame.ioとのペアリング情報を削除し、Frame.ioとの接続(Wi-Fi)を切断します。
- アップロードキューは削除されます。

Frame.ioに画像を送る

[Frame.io 接続]が[ON]のときに、アップロードする画像を手動で予約します。

選ぶ
MENU/SET → [🔧] → [📶] → [Frame.io] → [Frame.ioに画像を送る]

- [Frame.ioに画像を送る]を登録したFnボタンを押しても画像選択の画面を表示できます。
- [アップロード設定]の[アップロードファイル形式]で絞り込んだ画像が表示されます。

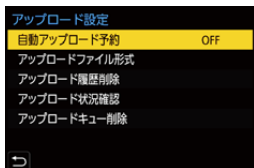


- ◀▶ で画像を選び、MENU/SET を押してチェックを付けてください。
- [DISP.]ボタンを押すとアップロードキューの最後に追加されます。
- 転送予約された画像には[📶↑]、転送済みの画像には[📶✓]が、再生時に表示されます。

アップロード設定

画像のアップロードに関する設定を行います。

 →  →  → **[Frame.io]** → **[アップロード設定]**を選ぶ



自動アップロード予約

[ON]に設定すると、撮影するたびにFrame.ioへのアップロードを予約します。

アップロードファイル形式

自動アップロードするファイルの形式を選択します。

[Frame.ioに画像を送る]の場合は、画像選択時に表示するファイルを絞り込みます。
プロキシ動画および写真(JPEG/RAW)をアップロードできます。

アップロード履歴削除

アップロード済みの画像からアップロード済みを表すアイコンを削除します。

アップロード状況確認

接続しているプロジェクトや残りのアップロードファイル数などを確認できます。
[DISP] ボタンを押すとさらに詳しい情報を確認できます。

アップロードキュー削除

Frame.ioへのアップロードキューを削除します。

アップロード予約中の画像から、アップロード予約中を表すアイコンを削除します。

- アップロード予約を解除された画像は、Frame.ioへアップロードされません。

❖ アップロードキュー(転送予約リスト)について

Frame.ioと接続済みの場合、アップロードキューの画像をFrame.ioへアップロードします。

- アップロードキューに画像が残っているときは、カメラの電源スイッチをOFFにしてもアップロードを継続し、完了後にカメラの電源を切ります。[終了]を選んで電源を切った場合は、次に電源を入れたときにアップロードを再開します。
- Frame.ioとの接続を切断するとアップロードを中止し、接続復帰後に再開します。
- アップロードキューは以下の場合に削除されます。
 - 「アップロードキュー削除」を実行する
 - Frame.ioとのペアリングを解除する
- カメラの電源を入れたままバッテリーを取り出さないでください。アップロードキューが正しく維持されません。

「LUMIX Flow」と連携する

映像制作支援アプリ「Panasonic LUMIX Flow」(以降は「LUMIX Flow」と表記)を使うと、カメラと連携することで映像制作ワークフローの効率化ができます。

- 「LUMIX Flow」と接続する: 731
- 「LUMIX Flow」を使う: 738

「LUMIX Flow」と接続する

- 「LUMIX Flow」のインストール: 732
- スマートフォンとの接続(Bluetooth接続): 733
- スマートフォンとの接続(USB接続): 737

スマートフォン用アプリ「LUMIX Flow」をインストールしたスマートフォンと接続します。

「LUMIX Flow」のインストール

「LUMIX Flow」はパナソニックが提供するスマートフォン用アプリケーションです。



対応OS

Android™: Android 11以上

iOS: iOS 15.4以上

- 1 スマートフォンをネットワークに接続する
- 2 (Android)「Google Play™ストア」を選ぶ
(iOS)「App Store」を選ぶ
- 3 検索フィールドに「LUMIX」または「panasonic lumix flow」と入力する
- 4 「Panasonic LUMIX Flow」を選び、インストールする



- 最新のバージョンをお使いください。
- 対応OSは2025年5月現在のものです。対応OSは変更する場合があります。
- 操作方法などについて詳しくは、「LUMIX Flow」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。「LUMIX Flow」の情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/>

スマートフォンとの接続(Bluetooth接続)

簡単な接続設定(ペアリング)で、Bluetooth Low Energyに対応したスマートフォンと接続します。

- 初めて接続する場合は、ペアリング設定が必要です。
2回目以降の接続時は、カメラの[Bluetooth機能]を[スマートフォン]にすると自動で接続されます。



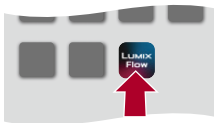
対応スマートフォン

Android™: Android 11以上で、Bluetooth 4.0以上を搭載(Bluetooth Low Energy非対応の一部の端末を除く)

iOS: iOS 15.4以上

- あらかじめスマートフォンのBluetooth機能をオンにしてください。

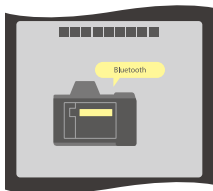
1 スマートフォンで「LUMIX Flow」を起動する



2 表示されるガイドの内容を確認し、アプリの使用を開始する

3 「LUMIX Flow」を操作して、ペアリングの待機状態にする

- [設定]を選んだあと、[カメラをペアリング]を選ぶ



4 カメラを Bluetooth のペアリング待機状態にする

- [MENU/SET] ⇒ [設定] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [Bluetooth機能] ⇒ [スマートフォン]
- カメラがペアリングの待機状態になります。
- ペアリング済みのスマートフォンがある場合は、接続待機状態になります。新規でスマートフォンとペアリングしたい場合は、以下の手順でペアリング待機状態にしてください。
[MENU/SET] ⇒ [設定] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [ペアリング] ⇒ [スマートフォン登録]

5 「LUMIX Flow」で接続するカメラを選ぶ

- 確認画面で[ペアリング]を選ぶと、ペアリングを実行します。
- 接続が完了すると、カメラの画面に[設定]が表示されます。



- ペアリング設定したスマートフォンはペアリング済み機器として登録されます。
- 複数のスマートフォンとペアリング設定していても、一度に接続できるスマートフォンは1つです。
- ペアリングに時間がかかるときは、スマートフォンとカメラ両方のペアリング設定を解除してから、もう一度設定すると正しく認識される場合があります。
- Bluetooth接続中は、撮影画面に[✖]が表示されます。Bluetooth機能が有効になっていても、スマートフォンと接続されていないときは、[✖]が半透明で表示されます。
- Bluetooth機器は16台まで登録できます。16台を超えて登録すると、古い登録情報から順に消去されます。
- 以下の機能を使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
 - [Frame.io 接続]

❖ Bluetooth接続の終了

Bluetooth接続を終了するには、カメラのBluetooth機能をオフにしてください。

 ➡ [] ➡ [] ➡ [Bluetooth] ➡ [Bluetooth機能] ➡ [OFF]を選ぶ



- 接続を解除してもペアリング設定は解除されません。

❖ ペアリングの解除

- 1 カメラのペアリング設定を解除する

•  ➡ [] ➡ [] ➡ [Bluetooth] ➡ [ペアリング] ➡ [解除]

- 2 ペアリングを解除するスマートフォンを選ぶ



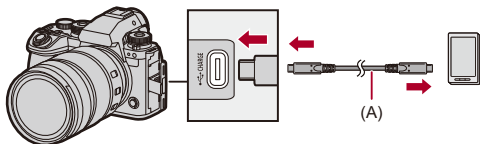
- スマートフォン側のペアリング設定も解除してください。
- セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットすると、登録済み機器の情報が消去されます。

スマートフォンとの接続(USB接続)

1 [📷]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:82)

2 USB接続ケーブル(市販)でカメラとスマートフォンをつなぐ



(A) USB接続ケーブル(市販)

3 ▲▼で[LUMIX Flow]を選び、またはを押す

- カメラの画面に[📷]が表示されます。
- スマートフォンの画面に、接続デバイスのアクセス許可を確認するメッセージが表示された場合は、許可してください。許可するまで、接続は完了しません。
- スマートフォンの取扱説明書もお読みください。

4 「LUMIX Flow」を使ってスマートフォンからカメラを操作する



- セットアップメニュー(IN/OUT)の[USBモード]を[LUMIX Flow]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、スマートフォンと接続します。(→[USBモード:664](#))

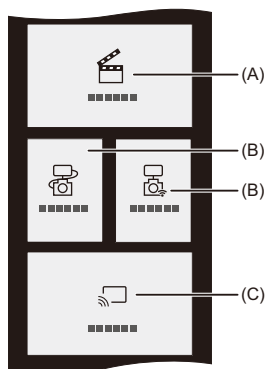
「LUMIX Flow」を使う

「LUMIX Flow」を使用して、映像制作のプロジェクトの作成や管理などができます。カメラのモニターとして使用することもできます。

準備:

- スマートフォンで「LUMIX Flow」を起動する

アプリの画面に従って操作する



(A) 映像制作ワークフロー

映像制作のプロジェクトの作成や管理などを行います。

(B) 外部モニター

スマートフォンをカメラのモニターとして使用できます。

(C) ミラーリング

外部モニターのライブビュー映像を、スマートフォンなどに転送して確認できます。

ストリーミング機能

カメラの映像と音声をインターネットでライブ配信します。
ストリーミングには、以下の接続方法があります。

ルーターやスマートフォンなどのアクセスポイントとのWi-Fi接続／スマートフォンとのUSBテザリング接続

- ストリーミングを開始するには、スマートフォンで操作する方法と、カメラで操作する方法があります。
- RTMP／RTMPS*に対応しています。これらの規格に対応した動画共有サイトに配信できます。
- スマートフォンを使用すると、モバイルデータ通信(4G／5Gなど)経由でカメラをインターネットに接続し、外出先などルーターがない場所でもライブ配信ができます。

* ストリーミング配信するための通信規格



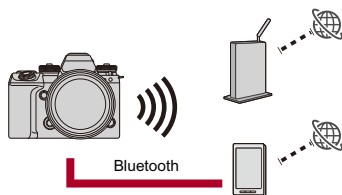
- ストリーミング機能使用中は、カードに動画を記録できません。
- スマートフォンのテザリング機能について、スマートフォンの取扱説明書や、携帯電話会社との契約内容をご確認ください。契約内容によってはテザリングに制限が設けられていたり、高額な追加料金が発生したりする場合があります。

- [スマートフォンを操作して配信する: 740](#)
- [カメラを操作して配信する: 743](#)
- [ストリーミングの設定: 748](#)
- [ストリーミング機能使用時のお知らせ: 753](#)

スマートフォンを操作して配信する



スマートフォン用アプリ「LUMIX Lab」を操作してストリーミングを開始します。(対応プロトコル:RTMP / RTMPS)



準備:

- スマートフォンに「LUMIX Lab」をインストールする(→[「LUMIX Lab」のインストール: 695](#))
- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→[スマートフォンとの接続 \(Bluetooth接続\): 696](#))
- (USBテザリング接続時)カメラとスマートフォンがUSB接続されていないことを確認する

1 [🎥]モードにする

(→[写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 スマートフォンでストリーミングの設定をする

- 1 「LUMIX Lab」を起動する
- 2 「LUMIX Lab」のホーム画面で[ライブ配信]を選ぶ
- 3 ライブ配信するプラットフォームを選択する
- 4 配信の詳細を設定する
 - 設定項目は、手順3の選択内容によって異なります。スマートフォンの画面に従って設定してください。

[接続方法]: [Wi-Fi]または[USB テザリング]を選ぶ

- [Wi-Fi]を選んだときは、ストリーミング時にカメラが接続する無線アクセスポイントを設定してください。

[配信画質]: 配信する画質を設定します。

[公開範囲]: 公開範囲を選択します。

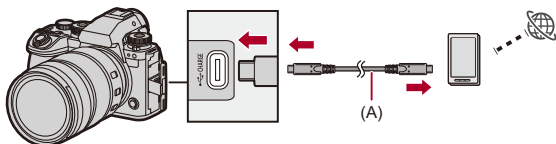
[ストリームURL]: 配信サービスから取得したストリームURLを入力します。

[ストリームキー]: 配信サービスから取得したストリームキーを入力します。

- 5 [カメラへ設定]を選ぶ
 - スマートフォンからカメラに設定内容が送信されます。
 - カメラの[ストリーミング機能]が[ON]になり、撮影画面に[▲]が表示されます。
 - (Wi-Fi接続時)カメラがアクセスポイントにWi-Fi接続します。

3 (USBテザリング接続時)USBテザリング接続の設定をする

1 カメラとスマートフォンをUSB接続ケーブルで接続する



(A) USB接続ケーブル(市販)

2 スマートフォンのUSBテザリング機能を有効にする

- スマートフォンで[USB テザリング](Android機器)、または[インターネット共有](iOS 機器)を選んでください。
- スマートフォンの画面に、接続デバイスのアクセス許可を確認するメッセージが表示された場合は、許可してください。許可するまで、接続は完了しません。
- スマートフォンの取扱説明書もお読みください。

4 ストリーミングを開始する

- 「LUMIX Lab」で[配信を開始]を選びます。
- カメラの撮影画面に[&[表示されます。

5 ストリーミングを停止する

- 「LUMIX Lab」で[配信を終了]を選びます。

6 ストリーミング機能を終了する

- 「LUMIX Lab」で[ストリーミング機能を終了]を選ぶと、カメラの[ストリーミング機能]が[OFF]になります。

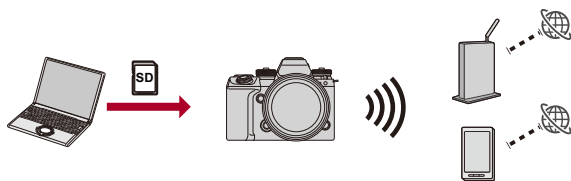


- ストリーミング中、画面に青色の枠を表示します：
(→ [ストリーミングの青枠表示: 643](#))
- カメラのシャッターボタンまたは動画記録ボタンを押して配信を開始すると、配信中の映像をHDMI接続した外部レコーダーに記録できます：
(→ [外部レコーダーに制御情報を出力する: 518](#))

カメラを操作して配信する



パソコンで配信先を設定してカードに保存します。カードをカメラに挿入し、カメラを操作してストリーミングを開始します。(対応プロトコル: RTMP / RTMPS)



準備:

- パソコンにソフトウェア「LUMIX Network Setting Software」をインストールする
<https://panasonic.jp/support/dsc/download/index3.html>

対応OS

Windows: Windows 10(22H2)、Windows 11(21H2～24H2)

Mac: macOS 12.0～12.7、13.0～13.7、14.0～14.7、15.0～15.1

- パソコンにカードを挿入する
- (USBテザリング接続時)カメラとスマートフォンがUSB接続されていないことを確認する

1 パソコンで配信先を設定する

- 1 「LUMIX Network Setting Software」を起動する
- 2 動画共有サイトにログインし、配信先(URL、ストリームキー)を取得する
- 3 「LUMIX Network Setting Software」に配信先(URL、ストリームキー)を入力し、[次へ]を選ぶ
- 4 出力先(カード)とファイル名を設定し、[保存]を選ぶ
 - [ファイル名]で設定可能な文字: 英字(大文字)、数字、8文字まで
 - 第三者による使用を防止するため、配信先をパスワードで保護することができます。
 - [パスワード]にチェックマークを入れてください。
 - パスワードを設定すると、配信先を読み込むときにパスワードの入力が必要になります。
 - 数字4桁で任意のパスワードを設定できます。
 - 手順3で設定した内容がカードに保存されます。

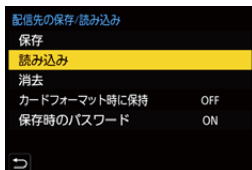
2 [⦿]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

3 手順1で配信先を保存したカードをカメラに入れる

4 カメラに配信先を読み込む

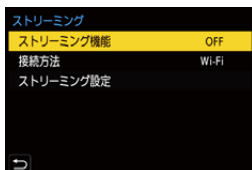
-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [ストリーミング] ⇒ [ストリーミング設定]
⇒ [配信先の保存/読み込み] ⇒ [読み込み]
- 手順1でパスワードを設定した場合は、パスワードを入力してください。



- 配信先のアドレスを表示/変更できます(→ [ストリーミング設定: 749](#))

5 カメラでストリーミングの設定をする

-  ⇒  ⇒  ⇒ [ストリーミング]



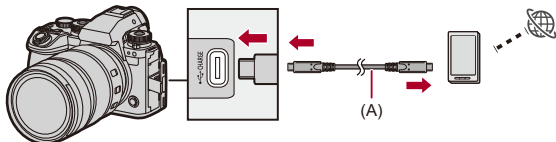
- 1 [接続方法]で[Wi-Fi]または[USB テザリング]を選ぶ
- 2 [ストリーミング設定]で[配信画質]を選ぶ(⇒ [ストリーミングの設定: 748](#))
- 3 (Wi-Fi接続時)[ストリーミング設定]で[Wi-Fi 接続先設定]を設定する(⇒ [ストリーミングの設定: 748](#))

6 カメラで[ストリーミング機能]を[ON]にする

-  ⇒  ⇒  ⇒ [ストリーミング] ⇒ [ストリーミング機能] ⇒ [ON]
- 撮影画面に[▲]が表示されます。
- (Wi-Fi接続時)カメラがアクセスポイントにWi-Fi接続します。

7 (USBテザリング接続時)USBテザリング接続の設定をする

1 カメラとスマートフォンをUSB接続ケーブルで接続する



(A) USB接続ケーブル(市販)

2 スマートフォンのUSBテザリング機能を有効にする

- スマートフォンで[USB テザリング](Android機器)、または[インターネット共有](iOS 機器)を選んでください。
- スマートフォンの画面に、接続デバイスのアクセス許可を確認するメッセージが表示された場合は、許可してください。許可するまで、接続は完了しません。
- スマートフォンの取扱説明書もお読みください。

8 ストリーミングを開始する

- シャッターボタンまたは動画記録ボタンを押します。
- 撮影画面に[📡]が表示されます。
- 動画共有サイト側で配信開始操作が必要な場合があります。

9 ストリーミングを停止する

- シャッターボタンまたは動画記録ボタンを押します。

10 ストリーミング機能を終了する

- **MENU/SET** ➡ **[🔧]** ➡ **[📡]** ➡ [ストリーミング] ➡ [ストリーミング機能] ➡ [OFF]



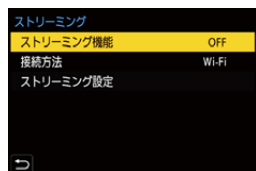
- ストリーミング中、画面に青色の枠を表示します：
(→ [ストリーミングの青枠表示: 643](#))
- カメラのシャッターボタンまたは動画記録ボタンを押して配信を開始すると、配信中の映像をHDMI接続した外部レコーダーに記録できます：
(→ [外部レコーダーに制御情報を出力する: 518](#))

ストリーミングの設定



ストリーミングの設定をします。

MENU/SET → **[]** → **[]** → **[ストリーミング]**を選ぶ



ストリーミング機能	ストリーミング機能の有効／無効を設定します。 - カメラにUSB機器が接続されているときは設定が反映されない場合があります。その場合、USB接続ケーブルを接続し直してください。 •[ON]にする前に、[接続方法]、[ストリーミング設定]を設定してください。
接続方法	Wi-Fi: スマートフォンなどのアクセスポイントとWi-Fiで接続します。 USB テザリング: スマートフォンのUSB テザリング機能を使用して接続します。
ストリーミング設定	ストリーミングの詳細を設定します。 (→ ストリーミング設定: 749)

❖ ストリーミング設定

配信画質	配信する画質を設定します。(→ 配信画質: 751)	
配信先のアドレス	現在の配信先アドレスを表示します。 配信先アドレスを変更するには、[DISP.] ボタンを押してから配信先アドレスを入力してください。	
配信先の保存/読み込み	保存	現在の配信先アドレスをカードに保存します。 - 新規で保存する場合は[新規保存]を、既存のファイルに上書きする場合は既存のファイルを選んでください。 [新規保存]を選択した場合は、保存するファイル名が画面に表示されます。 [OK]: 画面に表示されたファイル名で保存します。 [ファイル名変更]: ファイル名を変更して保存します。 - 設定可能な文字: 英字(大文字)、数字、8文字まで [保存時のパスワード]を設定しているときは、パスワード(数字4桁)の入力画面が表示されます。
	読み込み	カード内の配信先アドレスをカメラにコピーします。 配信先アドレスをカードに保存したときにパスワードを設定している場合、パスワードの入力画面が表示されます。
	消去	カード内の配信先アドレスを消去します。
	カードフォーマット時に保持	カードをフォーマットする際に、カードに保存した配信先アドレスを残してフォーマットできます。
	保存時のパスワード	配信先アドレスをカードに保存したときにパスワードを設定するかを選びます。

Wi-Fi 接続先設定*

ストリーミング時にカメラが接続する無線アクセスポイントを設定します。接続先を変更するには[DISP]ボタンを押してください。(→ [Wi-Fi接続: 713](#))

* [ストリーミング]の[接続方法]を[Wi-Fi]に設定したときに表示されます。



- 1枚のカードに保存できる配信先アドレスは10件までです。
- [Wi-Fi 接続先設定]は、[ストリーミング機能]を[ON]にする前に設定してください。
- パスワードを忘れたときは、新しいパスワードで保存し直してください。



- 文字の入力方法(→ [文字の入力: 109](#))

❖ 配信画質

- ビデオ圧縮方式
 - [H.264]の配信画質: H.264/MPEG-4 AVC
- 音声フォーマット: AAC(2ch)

- (A) フレームレート
 (B) ビットレート(Mbps)
 (C) Wi-Fi
 (D) USB テザリング

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]								
配信画質	動画撮影範囲			解像度	(A)	(B)	接続方法	
	FULL	APS-C	PIXEL PIXEL				(C)	(D)
4K/12.5M/30p	✓	✓	✓	3840×2160	29.97p	12.5	—	✓
FHD/16M/60p	✓	✓	✓	1920×1080	59.94p	16	✓*	✓
FHD/8M/60p	✓	✓	✓	1920×1080	59.94p	8	✓	✓
FHD/6M/30p	✓	✓	✓	1920×1080	29.97p	6	✓	✓
FHD/3M/30p	✓	✓	✓	1920×1080	29.97p	3	✓	✓
HD/6M/60p	✓	✓	✓	1280×720	59.94p	6	✓	✓
HD/4M/30p	✓	✓	✓	1280×720	29.97p	4	✓	✓

システム周波数:[50.00Hz(PAL)]								
配信画質	動画撮影範囲			解像度	(A)	(B)	接続方法	
	FULL	APS-C	PIXEL PIXEL				(C)	(D)
4K/12.5M/25p	✓	✓	✓	3840×2160	25.00p	12.5	—	✓
FHD/16M/50p	✓	✓	✓	1920×1080	50.00p	16	✓*	✓
FHD/8M/50p	✓	✓	✓	1920×1080	50.00p	8	✓	✓
FHD/6M/25p	✓	✓	✓	1920×1080	25.00p	6	✓	✓
FHD/3M/25p	✓	✓	✓	1920×1080	25.00p	3	✓	✓
HD/6M/50p	✓	✓	✓	1280×720	50.00p	6	✓	✓
HD/4M/25p	✓	✓	✓	1280×720	25.00p	4	✓	✓

* 配信先がRTMPのときに設定できます。(RTMPSのときは設定できません)



- インターネット回線の通信速度に応じて適切な配信画質(ビットレート)に設定してください。
- HDMI出力する映像は、[配信画質]に応じた解像度とフレームレートで出力します。
ただし、[配信画質]をHDにしているときは、FHD解像度で出力します。

ストリーミング機能使用時のお知らせ

●USBテザリング接続時のお知らせ: 754

- ストリーミング機能使用中は、以下の機能は使用できません。
 - [フォトスタイル]の[2100ライク(HLG)]／[2100ライク(HLG) フルレンジ]
 - [記録ファイル形式(動画)]
 - [動画画質]
 - [動画画質(マイリスト)]
 - [録音音質]
 - [4chオーディオ記録]
 - [ループ記録(動画)]
 - [動画分割記録]
 - [ライブクロップ]
 - [Bluetooth]のペアリング機能
 - [設定リセット]
- 以下の機能を使用中は、ストリーミング機能は使用できません。
 - [HDMI RAWデータ出力]
 - [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定時
 - USB接続中(パソコン)
 - [Frame.io接続]
 - テザー撮影(有線LAN接続時を除く)
- インターネット回線や端末によって通信速度が異なるため、事前に配信テストを行うことをお勧めします。
- ストリーミング機能を終了せずにカメラの電源を切ると、次回電源を入れたときに、自動で前回接続していた接続先に再接続します。
- ストリーミング配信中は、メニュー画面を表示できません。
- 配信される映像に、カメラの撮影情報は表示されません。
- 動画共有サイトによって、ストリーミング配信に必要な条件が異なります。詳細は動画共有サイトでご確認ください。

USBテザリング接続時のお知らせ

- ストリーミング機能を使用しないときは、[ストリーミング機能]を[OFF]にしてください。
[ON]にしているときは、[接続方法]が[USB テザリング]に設定されている場合、本機のバッテリーから接続機器に給電されるため、バッテリーの消費が早くなります。
- 高温表示について(→ [高温表示について: 145](#))
- USBテザリングでインターネットに接続しているときは、NETWORK接続ランプは点灯しません。
- USBテザリング接続をしたあとに、カメラ内のバッテリーを充電するときは、カメラの充電ランプが赤色に点灯することをご確認ください。充電ランプが点灯しない場合は、カメラの電源を切った状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。

他機器との接続

本章では、テレビなどのHDMI機器やパソコンなど、他機器との接続について説明します。

接続にはカメラのHDMI端子またはUSB端子を使用します。

- [接続する: 756](#)
- [テレビで見る: 758](#)
- [パソコンに画像を取り込む: 762](#)
- [パソコン用のWebカメラとして使用する: 767](#)
- [レコーダーにダビングする: 770](#)
- [テザー撮影: 771](#)

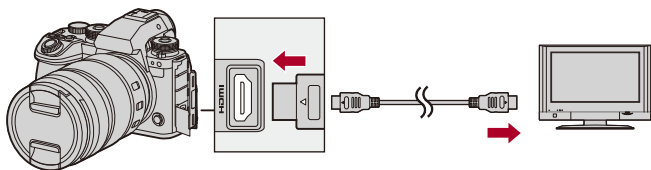
接続する



- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
- 誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

HDMI端子

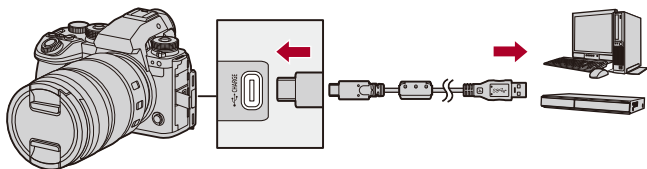
市販のHDMIケーブルでカメラとHDMI機器(テレビなど)をつなぐ



- ウルトラハイスピードHDMI ケーブル(Type A—Type Aプラグ、3 m未満)をお使いください。

USB 端子

USB接続ケーブル(市販)でカメラとパソコンまたはレコーダーをつなぐ



- USB接続ケーブルはUSB規格に準拠したケーブルをお使いください。

テレビで見る

カメラをテレビや外部モニターに接続して、撮影した写真や動画を見ることができます。

準備:

- カメラとテレビの電源を切る

1 市販のHDMIケーブルでカメラとテレビをつなぐ
(→[HDMI端子: 756](#))

2 テレビの電源を入れる

3 テレビの入力をHDMI入力に切り換える

4 カメラの電源を入れる

5 再生画面を表示する

-  ボタンを押します。
- 撮影した画像がカメラとテレビに表示されます。



- 初期設定では、接続したテレビに合わせて最適な解像度で出力されます。[出力解像度(再生時)]で出力解像度の変更もできます。(→ [出力解像度\(再生時\): 665](#))
- 画像の横縦比によっては、上下左右にグレーの帯が表示されることがあります。セットアップメニュー(IN/OUT)の[HDMI接続設定]の[画像背景色(再生時)]で帯の色を変更できます。(→ [画像背景色\(再生時\): 666](#))
- [USBモード]を[PC(Storage)]に設定しているときは、USB接続ケーブルと同時に接続すると、HDMI出力できません。
- [4chオーディオ記録]を[OFF]以外に設定して撮影した動画の音声は、HDMI接続した外部機器が、4チャンネルの音声やハイレゾ音声に対応していない場合は出力されません。
- 画像の上下が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。
- テレビの取扱説明書もお読みください。

❖ ビエラリンク(HDMI)を使う

비에라링크(HDMI) (HDAVI Control™)とは、カメラとHDMIケーブルを使って接続した비에라링크対応機器を自動で連動させて、비에라의リモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)



- 비에라링크(HDMI)を使うにはテレビ側でも設定が必要です。設定方法については、テレビの取扱説明書をお読みください。

- 1 市販のHDMIケーブルで、カメラと비에라링크(HDMI)に対応した当社製テレビ(비에라)をつなぐ(→[HDMI端子: 756](#))
- 2 カメラの電源を入れる
- 3 비에라링크をオンにする
 - ⇒ ⇒ ⇒ [HDMI接続設定] ⇒ [비에라링크] ⇒ [ON]
- 4 再生画面を表示する
 - ボタンを押します。
 - 撮影した画像がテレビに表示されます。(カメラのモニターやファインダーは消灯します)
- 5 テレビのリモコンで操作する

電源オフ連動

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、カメラの電源も連動して切れます。

自動入力切換

カメラの電源を入れ、 ボタンを押すと、テレビの入力が自動でカメラを接続した入力に切り換わります。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。(テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合)



- ビエラリンク(HDMI)はHDMI CEC (Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。
- 本機は、비에라링크(HDMI) Ver.5に対応しています。비에라링크(HDMI) Ver.5とは、従来の当社製비에라링크機器にも対応した当社基準です。
- 本機のボタンを使っでの操作は制限されます。

パソコンに画像を取り込む

- [パソコンに画像をコピーする: 763](#)
- [ソフトウェアのインストール: 766](#)

カメラをパソコンと接続すると、撮影した画像をパソコンにコピーできます。

パソコンで動画の再生や編集をするには、記録した動画形式に対応したソフトウェアをご使用ください。

また、RAW画像を現像、編集するためのソフトウェアをご利用いただけます。(→ [ソフトウェアのインストール: 766](#))

パソコンに画像をコピーする

パソコンに接続後、本機のファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップして、撮影した画像をコピーできます。



- マスストレージデバイス(大容量記憶装置)が認識可能な以下のパソコンに接続できます。

対応OS

Windows: Windows 10、Windows 11

Mac: macOS 12.0～12.7、13.0～13.7、14.0～14.7、15.0～15.1

- Mac:

「Final Cut Pro X」に対応しています。

「Final Cut Pro X」の詳細は、Appleにお問い合わせください。

準備:

- カメラとパソコンの電源を入れる

1 USB接続ケーブル(市販)でカメラとパソコンをつなぐ

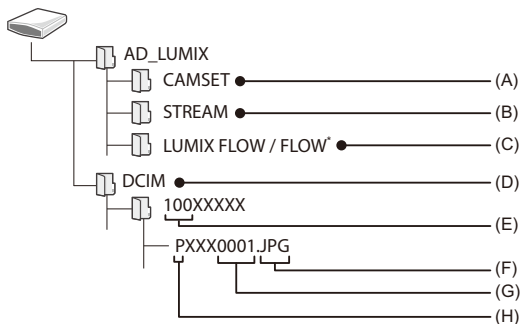
(→USB端子: 757)

2 ▲▼で[PC(Storage)]を選び、またはを押す

- Windows: 「PC」にドライブ(「LUMIX」)が表示されます。
- Mac: デスクトップ上にドライブ(「LUMIX」)が表示されます。

3 カメラのファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップする

❖ カード内のフォルダー構造



* フォルダー名は「LUMIX FLOW」または「FLOW」のどちらかになります。

(A) カメラの設定情報

(B) ストリーミング設定

(C) LUMIX FlowのXMLファイル

(D) 画像

(E) フォルダー番号

(F) JPG:JPEG形式の写真

HIF:HEIF形式の写真

RW2:RAW形式の写真

MP4:MP4動画

MOV:MOV動画／Apple ProRes動画

(G) ファイル番号

(H) 色空間

P:sRGB

_:AdobeRGB



- セットアップメニュー(IN/OUT)の[USBモード]を[PC(Storage)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動でパソコンと接続します。(→ [USBモード: 664](#))



- 画像の取り込み中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- 画像の取り込み後は、パソコンを操作してUSB接続ケーブルを安全に取り外してください。
- カメラからカードを取り出す前に、カメラの電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてください。撮影データが壊れるおそれがあります。

ソフトウェアのインストール

RAW画像を現像、編集するためのソフトウェアをインストールします。



- ソフトウェアをダウンロードするには、パソコンをインターネットに接続できる環境が必要です。
- 対応OSは2025年5月現在のものです。対応OSは変更する場合があります。

❖ SILKYPIX Developer Studio SE

RAW画像を現像、編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、TIFFなど)で保存できます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。

<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/>

動作環境

● 対応OS

Windows: Windows 10(64 bit)、Windows 11

Mac: macOS 10.13～10.15、11、12、13、14、15

- SILKYPIX Developer Studioの使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」またはアドワーズのサポートサイトをお読みください。

パソコン用のWebカメラとして使用する



カメラをパソコンとUSB接続すると、カメラをWebカメラとして使用できます。

- UVC(USB Video Class)の規格に対応しています。



- 以下のパソコンに接続できます。

対応OS

Windows: Windows 10、Windows 11

Mac: macOS 14.0～14.7、15.0～15.1

ご利用のパソコンの環境によっては正しく映像が出力されない場合があります。その場合は、Webカメラ画質の設定を変更するか、USB接続ポートを変更することで改善されることがあります。

準備:

- カメラとパソコンの電源を入れる

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 USB接続ケーブル(市販)でカメラとパソコンをつなぐ

(→ [USB端子: 757](#))

3 ▲▼で[PC(Webカメラ)]を選び、 または を押す

- カメラの画面に[]が表示されます。

❖ Webカメラ画質を設定する

 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [USB] ⇒ [Webカメラ画質] を選ぶ

Webカメラ 画質	システム周波 数	解像度	フレーム レート	接続端子	
				USB3.0	USB2.0
4K/15p	59.94Hz(NTSC)	3840×2160	14.99p	✓	—
FHD/60p		1920×1080	59.94p	✓	—
FHD/30p		1920×1080	29.97p	✓	—
HD/30p		1280×720	29.97p	✓	✓
4K/12.5p	50.00Hz(PAL)	3840×2160	12.50p	✓	—
FHD/50p		1920×1080	50.00p	✓	—
FHD/25p		1920×1080	25.00p	✓	—
HD/25p		1280×720	25.00p	✓	✓

- 映像フォーマット: MJPEG
- 音声フォーマット: LPCM(2ch、48 kHz/16 bit)



- セットアップメニュー(IN/OUT)の[USBモード]を[PC(Webカメラ)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動でパソコンと接続します。
(→ [USBモード: 664](#))



- 長時間使用すると、音声の遅延が発生する場合があります。
- Webカメラとして接続中は、メニュー画面を表示できません。
- [PC(Webカメラ)]でパソコンと接続しているときは、以下の機能は使用できません。
 - [ストリーミング]
 - [Bluetooth]
 - ファインダーの表示
 - HDMI出力
- 高温表示について(→ [高温表示について: 145](#))

レコーダーにダビングする

カメラを当社製ブルーレイディスクレコーダーまたはDVDレコーダーに接続すると、写真や動画をレコーダーに残すことができます。

準備:

- カメラとレコーダーの電源を入れる
- カードスロット1にカードを入れる

- 1 **USB接続ケーブル(市販)でカメラとレコーダーをつなぐ**
(→[USB端子: 757](#))
- 2 **▲▼で[PC(Storage)]を選び、またはを押す**
- 3 **レコーダーを操作してダビングする**



- セットアップメニュー(IN/OUT)の[USBモード]を[PC(Storage)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動でレコーダーと接続します。(→[USBモード: 664](#))



- ダビング中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- レコーダーによっては、4K動画などに対応していない場合があります。
- カメラからカードを取り出す前に、カメラの電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてください。撮影データが壊れるおそれがあります。
- ダビングや再生の方法について詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

テザー撮影

- ソフトウェアのインストール: 772
- パソコンからカメラを操作する: 773
- 有線 LAN 接続で「LUMIX Tether」を使う: 774
- 複数台のカメラのリモート操作: 776

パソコンにカメラ制御ソフトウェア「LUMIX Tether」をインストールすると、USB 接続したパソコンからカメラを制御し、パソコンの画面でライブビューを確認しながら撮影できます（テザー撮影）。また、テザー撮影中に別の外部モニターやテレビに HDMI 出力することもできます。

市販の USB イーサネットアダプターを使うと、カメラとパソコンを LAN ケーブルでつないでテザー撮影ができます。複数台のカメラのリモート操作も可能です。



- 動作確認済み USB イーサネットアダプターについての情報は、下記サポートサイトでご確認ください。（2025 年 5 月現在）

<https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html>

ソフトウェアのインストール

❖ LUMIX Tether

カメラをパソコンから制御するためのソフトウェアです。各種設定の変更やリモート撮影ができ、リモート撮影後に画像をパソコンに保存できます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。

https://panasonic.jp/support/software/lumixtether/download/d_lumixtether.html

動作環境

● 対応OS

Windows: Windows 10 (64 bit) (22H2)、Windows 11 (21H2～24H2)

Mac: macOS 12.0～12.7、13.0～13.7、14.0～14.7、15.0～15.1

● インターフェース

USB端子 (USB 3.1)



- 対応OSは2025年5月現在のものです。対応OSは変更する場合があります。
- 「LUMIX Tether」は最新のバージョンをお使いください。
- ソフトウェアをダウンロードするには、パソコンをインターネットに接続できる環境が必要です。
- 操作方法については、「LUMIX Tether」の「操作ガイド」をお読みください。

パソコンからカメラを操作する

準備:

- カメラとパソコンの電源を入れる
- パソコンに「LUMIX Tether」をインストールする

- 1 **USB接続ケーブル(市販)でカメラとパソコンをつなぐ**
(→USB端子: 757)
- 2 **▲▼で[PC(Tether)]を選び、またはを押す**
 - カメラの画面にが表示されます。
- 3 **「LUMIX Tether」を使ってパソコンからカメラを操作する**



- セットアップメニュー(IN/OUT)の[USBモード]を[PC(Tether)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動でパソコンと接続します。(→ [USBモード: 664](#))



- [PC(Tether)]でパソコンと接続しているときは、以下の機能は使用できません。
 - [ストリーミング]
 - [Bluetooth]
- 以下の機能使用中は、テザー撮影はできません。
 - [Frame.io接続]

有線LAN接続で「LUMIX Tether」を使う

準備:

- カメラとパソコンの電源を入れる
- パソコンに「LUMIX Tether」をインストールする

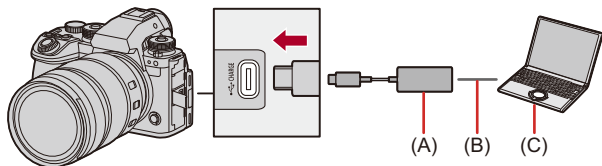
1 カメラをDHCPサーバに設定する

- **MENU/SET** ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [IP アドレス設定 (有線LAN)] ⇒ [DHCP サーバ]
- [IP アドレス設定 (有線LAN)]の設定を変更した場合は、カメラの電源を入れ直してください。

2 有線LANテザー接続の設定にする

- **MENU/SET** ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [USB] ⇒ [Tether接続 (USB イーサネットアダプター)] ⇒ [ON]

3 カメラに市販のUSBイーサネットアダプターを接続し、市販のLANケーブルでカメラとパソコンをつなぐ



- (A) USBイーサネットアダプター (市販)
- (B) LANケーブル (市販)
- (C) 「LUMIX Tether」をインストールしたパソコン

4 「LUMIX Tether」を操作して、カメラをリモート操作する

- (初回接続時)「LUMIX Tether」からカメラに接続するためのパスワードを設定してください。(8～31文字以内)
- カメラの画面の右上に[品名]が表示されます。
- 正しく動作しない場合は、USB接続ケーブルを接続し直してください。

複数台のカメラのリモート操作

「LUMIX Tether」を使って複数台のカメラをリモート操作します。

準備:

- カメラとパソコンの電源を入れる
- パソコンに「LUMIX Tether」をインストールする

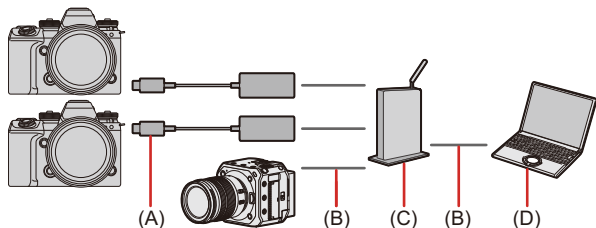
1 カメラをDHCPクライアントに設定する(初期設定)

-  ⇒  ⇒  ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [IP アドレス設定(有線LAN)] ⇒ [DHCP クライアント]
- LAN内にDHCPサーバがない場合は、カメラ1台を[DHCP サーバ]に、残りを[DHCP クライアント]に設定して接続することもできます。
- [IP アドレス設定(有線LAN)]の設定を変更した場合は、カメラの電源を入れ直してください。

2 「有線LAN接続で「LUMIX Tether」を使う」の手順2以降の操作をする

- カメラ、パソコン、ルーター(ハブ)は下図のように接続してください。

例) LAN内にDHCPサーバが存在し、カメラをDHCPクライアントとして接続する場合



- (A) USBイーサネットアダプター (市販)
- (B) LANケーブル(市販)
- (C) ルーター(またはハブ)
- (D) 「LUMIX Tether」をインストールしたパソコン

- 「LUMIX Tether」を操作して、任意の複数台のカメラをリモート操作できます。



- 有線LAN接続を使用しないときは、[Tether接続(USBイーサネットアダプター)]を[OFF]にしてください。
[ON]にしているときは、本機のバッテリーから接続機器に給電されるため、バッテリーの消費が早くなります。
- 有線LAN接続で「LUMIX Tether」を使用しているときは、以下の機能は使用できません。
 - [Bluetooth]
- 以下の機能を使用中は、テザー撮影はできません。
 - [Frame.io 接続]
- 複数台のカメラを使ってテザー撮影するときは、カメラごとに個別の機器名称を設定することをお勧めします：
[] ⇒ [] ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [機器名称/パスワード] ⇒ [機器名称/パスワード]

本章では、困ったときの対処方法や、参考となる仕様情報について説明しています。

- 別売品のご紹介: 780
- 別売品を使う: 782
- モニター／ファインダーの表示: 787
- メッセージ表示: 808
- Q&A 故障かな?と思ったら: 811
- 使用上のお願い: 824
- 無線機能(Wi-Fi／Bluetooth)使用上のお願い: 834
- バッテリーの撮影可能枚数、撮影可能時間: 837
- 記録メディアの写真撮影枚数、動画記録時間: 840
- 動画連続記録時間: 856
- 初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧: 858
- 各撮影モードで設定できる機能一覧: 885
- 仕様: 893
- 商標、ライセンス: 911
- 保証とアフターサービス(よくお読みください): 915

別売品のご紹介

(品番は2025年5月現在)

バッテリーパック	DMW-BLK22
バッテリーチャージャー	DMW-BTC15 ^{*1}
ACアダプター	DMW-AC11 ^{*2}
DCカプラー	DMW-DCC18 ^{*3}
バッテリーグリップ	DMW-BG2
LEDビデオライト	VW-LED1
ステレオガンマイクロホン	DMW-MS2
ステレオマイクロホン	VW-VMS10
XLRマイクロホンアダプター	DMW-XLR2
シャッターリモコン	DMW-RS2
トライポッドグリップ	DMW-SHGR2、DMW-SHGR1

*1 ACアダプター、電源コード、USB接続ケーブル付き(充電時間:約175分)

*2 電源コード、USB接続ケーブル付き

*3 別途、ACアダプターとUSB接続ケーブルが必要です。当社製のACアダプター(別売:DMW-AC11)の使用を推奨します。

- 別売品の最新情報は、カタログ／ホームページなどをご覧ください。
- レンズの最新情報やレンズに対応する別売品については、カタログ／ホームページをご覧ください。

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。

詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト

<https://ec-plus.panasonic.jp/>



別売品を使う

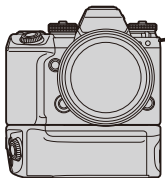
- バッテリーグリップ(別売): 782
- シャッターリモコン(別売): 784
- トライポッドグリップ(別売): 785
- DCカプラー(別売): 786

- 外部フラッシュについて(→外部フラッシュを使う: 383)
- 外部マイクについて(→外部マイク(別売): 422)
- XLRマイクロホンアダプターについて(→XLRマイクロホンアダプター(別売): 425)

バッテリーグリップ(別売)

バッテリーグリップ(別売:DMW-BG2)をカメラに装着すると、縦位置撮影の操作性やホールド感を向上できます。また、バッテリーグリップにバッテリーを装着することで、長時間の撮影でも安定して電源を供給できます。

- このバッテリーグリップは防じん防滴に対応しています。
- カメラとバッテリーグリップの両方にバッテリーを装着している場合、バッテリーグリップのバッテリーを先に使用します。
- カメラにバッテリーを装着している場合、カメラの電源がオンのときにバッテリーグリップのバッテリーを交換できます。



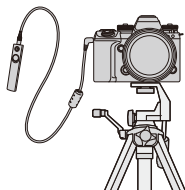


- バッテリーグリップにバッテリーを挿入しているときは、画面に[]が表示されます。(→ [電源に関する表示: 61](#))
- バッテリーグリップの[Fn] ボタンに、お好みの機能を登録できます。(→ [Fn ボタン: 580](#))
[WB] ボタン、[ISO] ボタン、[] ボタン、[AF ON] ボタン、ジョイスティックは、カメラ本体のボタンやジョイスティックと同じ働きをします。
- 詳しくは、バッテリーグリップの取扱説明書をお読みください。

シャッターリモコン(別売)

シャッターリモコン(別売:DMW-RS2)をカメラにつないで、以下の使い方ができます。

- シャッターボタン全押し時の手ブレを防止する
- バルブ撮影や連写時にシャッターボタンを固定する
- 動画撮影を開始／終了する
- シャッターリモコンの動画ボタンに登録した機能を使う



❖ 動画ボタンへの機能の登録

シャッターリモコンの動画ボタンにお好みの機能を登録できます。登録できる機能はFnボタンの撮影時設定(→ [設定項目\(Fnボタン設定／写真モード時設定／動画/S&Qモード時設定\): 585](#))と同じです。初期設定では、[動画撮影]が登録されています。

 →  →  → [シャッターリモコンの動画ボタン]を選ぶ

- [Fnボタン設定]と同じ操作で機能を登録します。(→ [Fnボタンへの機能の登録: 583](#))

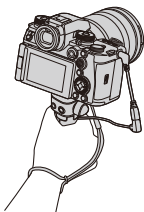


• 詳しくは、シャッターリモコンの取扱説明書をお読みください。

トライポッドグリップ(別売)

トライポッドグリップ(別売:DMW-SHGR2／DMW-SHGR1)を取り付けて、歩き撮り用のグリップや、三脚、シャッターリモコンとして使用できます。

- カメラの[REMOTE]端子にグリップのケーブルを差し込んでください。



- 使用するレンズやアクセサリーの組み合わせによっては、トライポッドグリップの積載質量を超える場合があります。積載質量については、トライポッドグリップの取説説明書をご確認ください。
- [シャッターリモコンの動画ボタン]メニューは、トライポッドグリップには働きません。
- カメラを取り付けた状態で、ハンドストラップだけを持って運ばないでください。
- 詳しくは、トライポッドグリップの取扱説明書をお読みください。

DCカプラー(別売)

DCカプラー(別売:DMW-DCC18)を使うと、外付けSSD使用時にもバッテリー残量を気にせずに使用できます。



- 別途、ACアダプターとUSB接続ケーブルが必要です。当社製のACアダプター(別売:DMW-AC11)の使用を推奨します。
- DCカプラー装着時、DCカプラー扉が開くため、防じん防滴構造ではなくなります。砂やほこり、水滴がカメラ内部に付着、侵入しないようにしてください。使用後は、DCカプラー扉に異物が付着していないことを確認し、しっかりと閉じてください。
- 詳しくは、ACアダプターおよびDCカプラーの取扱説明書をお読みください。



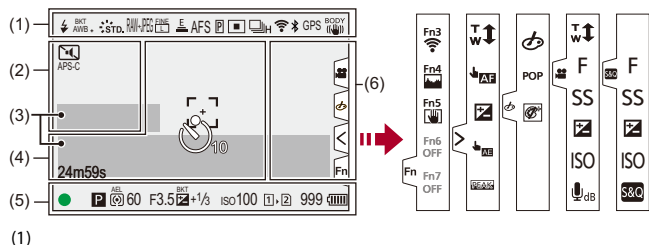
- DCカプラー装着時の画面表示(→ [電源に関する表示: 61](#))

モニター／ファインダーの表示

- 撮影画面: 787
- 再生画面: 803

●画面は[LVF/モニター表示設定]を[]にしたときのモニター表示の例です。

撮影画面



   	フラッシュモード(⇒ フラッシュモード: 386)
   	フラッシュ設定(⇒ フラッシュシンクロ: 392 、 ワイヤレスフラッシュ撮影: 394)
AWBc AWBw         2500K	ホワイトバランス(⇒ ホワイトバランス(WB): 341)／色温度(⇒ 色温度設定: 346)
BKT AWB	ホワイトバランスブラケット、ホワイトバランス(色温度)ブラケット(⇒ 詳細設定(ホワイトバランスブラケット): 280)
AWB + AWB -	ホワイトバランス調整(⇒ ホワイトバランスの調整: 347)
AWBL	AWBロック設定(⇒ AWBロック設定: 614)

 STD	フォトスタイル(→ フォトスタイル: 349)
* POP	フィルター設定(→ フィルター設定: 362)／ フィルター効果調整(→ フィルター効果の調整: 363)
MON LUT HDMI V-Log	LUTビューアシスト(→ Logビューアシスト: 481)
MON MODE2 HDMI HLG	HLGビューアシスト(→ HLGビューアシスト: 484)
RAW+ JPEG  JPEG  HEIF  HEIF 	記録ファイル形式(写真) (→ 記録ファイル形式(写真): 129)／ JPEG/HEIF 写真画質(→ JPEG/HEIF 写真画質: 134)／ 画像サイズ(→ 画像サイズ: 127)
  	ハイブリッドズーム(写真) (→ ハイブリッドズーム(写真): 234)
HyZ	ハイブリッドズーム(動画) (→ ハイブリッドズーム(動画): 240)
  	クロップズーム(写真) (→ クロップズーム(写真): 230)
CrZ	クロップズーム(動画) (→ クロップズーム(動画): 237)
	記録ファイル形式(動画) (→ 記録ファイル形式(動画): 148)／ 動画画質(→ 動画画質: 150)
MOV 4K 420/10-L	記録ファイル形式(動画) (→ 記録ファイル形式(動画): 148)／ 動画画質(→ 動画画質: 150)
59.94p 60/59.94p	記録フレームレート(→ 動画画質: 150)／ スロー & クイック設定(→ スロー & クイック動画: 460)
	電子シャッター(→ シャッター方式: 287)
AFS AFC MF	フォーカスモード(→ フォーカスモードの選択: 179 、MFで撮る: 223)
AFS  AFC 	フォーカスリミッター(→ フォーカスリミッター: 189)
BKT AFS	フォーカスブラケット(→ 詳細設定(フォーカスブラケット): 279)
AFL	AFロック(→ ピントや露出の固定(AF／AEロック): 331)
MFL	フォーカスリングロック(→ フォーカスリングロック: 619)

	ピーキング(→ ピーキング: 228)
FULL APS-C PIXEL PIXEL	動画撮影範囲(→ 動画撮影範囲: 176)
	AFモード(→ AFモードの選択: 196)
	自動認識設定(→ 自動認識: 199)
	ドライブモード(→ ドライブモードの選択: 244)
	Wi-Fi接続状態(→ Wi-Fi / Bluetooth機能の動作確認: 693)
	Bluetooth接続状態(→ スマートフォンとの接続(Bluetooth接続): 696)
GPS	位置情報記録(→ 位置情報記録: 712)
BODY  	手ブレ補正(→ 手ブレ補正: 296)
  	
	手ブレ警告(→ 手ブレ補正を使う: 297)

(2)

	セルフタイマー(→ セルフタイマー撮影: 271)
	多重露出(→ 多重露出: 329)
	サイレントモード(→ サイレントモード: 285)
	プロキシ記録(→ プロキシ記録: 171)
APS-C 	動画撮影範囲(→ 動画撮影範囲: 176)
	アナモフィック デスクイーズ表示(→ アナモフィック デスクイーズ表示: 487)
LC	ライブビューコンポジット撮影(→ ライブビューコンポジット撮影: 281)
	オーバーレイ表示(→ オーバーレイ表示: 637)
	LUTビューアシスト(→ Logビューアシスト: 481)
	ループ記録(→ ループ記録(動画): 491)
C.Shd.	カラーシェーディング補正(→ カラーシェーディング補正: 377)
	ストリーミング機能オン(→ ストリーミング機能: 739)
	ストリーミング中(→ ストリーミング機能: 739)

(3)

	内蔵マイク、外部マイク(→ 録音レベル表示: 415 、外部マイク(別売): 422)
96kHz/24bit 	録音音質／XLRマイクアダプター設定(→ 録音音質: 418 、XLRマイクロホンアダプター(別売): 425)
4ch/96kHz/24bit	4chオーディオ記録(→ 4chオーディオ記録: 428)
	録音レベルリミッター(→ 録音レベルリミッター: 419)
	ミュート(→ 音声入力ミュート: 415)
録音レベル(→ 録音レベル表示: 415)	
露出メーター(→ 露出メーター: 636)	

(4)

	ヒストグラム(→ ヒストグラム表示: 631)
	AFエリア(→ AFエリアの操作: 214)
+	スポット測光ターゲット(→ 測光モード: 306)
+	センターマーカー(→ センターマーカー表示: 641)
	セルフタイマー(→ セルフタイマー撮影: 271)
	ロックレバー(→ 操作ロックレバー: 90)
XXmXXs	記録経過時間(→ 動画を撮る: 136)
TC 00:00:00:00	タイムコード(→ タイムコード: 433)
	画像送信中(→ 自動画像転送: 709)

(5)

	フォーカス(緑点灯)(→ 写真を撮る: 122)／ 記録動作表示(赤点灯)(→ ハイレゾモード: 255 、動画を撮る: 136)
LOW 	フォーカス(低照度AF時)(→ 低照度AF: 183)
STAR 	フォーカス(星空AF時)(→ 星空AF: 183)
	フラッシュ光量調整(→ フラッシュ光量調整: 391)
	動画モード／S&Qモード(→ 写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82)
iA P A S M ^{C5-1} P	撮影モード(→ 撮影モードの選択: 83)
P	プログラムシフト(→ プログラムシフト: 310)
	測光モード(→ 測光モード: 306)
	測光モード(→ 測光モード: 306)
AEL	AEロック(→ ピントや露出の固定(AF / AEロック): 331)
60	シャッタースピード(→ 写真を撮る: 122)
F3.5	絞り値(→ 写真を撮る: 122)
^{BKT} F3.5	絞りブラケット(→ 詳細設定 (絞りブラケット): 278)
^{BKT} 	露出補正值(→ 露出補正: 325)
	露出ブラケット(→ 詳細設定 (露出ブラケット): 278)
	マニュアル露出アシスト(→ マニュアル露出アシスト: 319)
ISO100	ISO感度(→ ISO感度: 333)／Dual Native ISO設定(→ Dual Native ISO設定: 337)

	カード／外付けSSDアクセス表示(赤点灯)(→ 動画を撮る: 136、外付けSSD(市販)を使う: 527)
	カードスロット(→ カード(別売)の挿入: 65)／ ダブルスロット機能(→ ダブルスロット機能: 652)／ 外付けSSD(→ 外付けSSD(市販)を使う: 527)
	カード／外付けSSDなし
	カード／外付けSSD残量なし
999	写真撮影枚数(→ 記録メディアの写真撮影枚数、動画記録時間: 840)
r20	連続撮影可能枚数(→ 連続撮影可能枚数: 252)
XXmXXs	動画記録時間(→ 動画記録時間(h:時間、m:分、s:秒): 842)
	バッテリー残量(→ 電源に関する表示: 61)
	バッテリー残量(バッテリーグリップ)(→ 電源に関する表示: 61)
	給電(→ 電力を供給しながらカメラを使う(給電／充電): 60)

(6)

	カード高温警告アイコン(→ 撮影: 814)
	温度上昇警告アイコン(→ 撮影: 814)
	ファン異常アイコン(→ その他: 823)

タッチタブ(→ [タッチ設定: 623](#))

	
	Fn ボタン(→ [Fn3]～[Fn7] ボタンを使う(タッチアイコン): 594)
	
	クロップズーム(写真)(→ クロップズーム(写真): 230)／ クロップズーム(動画)(→ クロップズーム(動画): 237)
	タッチ AF、タッチシャッター(→ タッチ AF / タッチシャッター: 117)
	露出補正(→ 露出補正: 325)
	タッチ AE(→ タッチ AE: 119)
	ピーキング(→ ピーキング: 228)

 (→ タッチ操作でフィルターを設定する: 364) /  /  (→ 動画撮影中の操作: 138)	
	フィルター効果調整(→ フィルター効果の調整: 363)
	フィルターの入／切(→ タッチ操作でフィルターを設定する: 364)
POP	フィルター設定(→ フィルター設定: 362)
	クロップズーム(動画) (→ クロップズーム(動画): 237)
F	絞り値(→ 動画撮影中の操作: 138)
SS	シャッタースピード(→ 動画撮影中の操作: 138)
	露出補正(→ 動画撮影中の操作: 138)
ISO	ISO感度(→ 動画撮影中の操作: 138)
	録音レベル設定(→ 動画撮影中の操作: 138)
	スロー & クイック設定 (→ 動画撮影中の操作: 138)

❖ コントロールパネル(写真モード)



(1)

	撮影モード(→ 撮影モードの選択: 83)
1/60	シャッタースピード(→ 写真を撮る: 122)
F3.5	絞り値(→ 写真を撮る: 122)
	バッテリー残量(→ 電源に関する表示: 61)／ 給電(→ 電力を供給しながらカメラを使う(給電／充電): 60)
	バッテリー残量(バッテリーグリップ)(→ 電源に関する表示: 61)

(2)

	ISO感度(→ ISO感度: 333)／ Dual Native ISO設定(→ Dual Native ISO設定: 337)
	露出補正值(→ 露出補正: 325)／ マニュアル露出アシスト(→ マニュアル露出アシスト: 319)
	フラッシュ設定(→ フラッシュ光量調整: 391 、 フラッシュシンクロ: 392 、 ワイヤレスフラッシュ撮影: 394)／ フラッシュモード(→ フラッシュモード: 386)

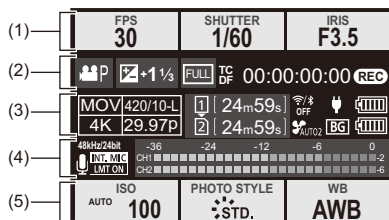
(3)

	ドライブモード(⇒ ドライブモードの選択: 244)
AFS	フォーカスモード(⇒ フォーカスモードの選択: 179 、MFで撮る: 223)
	AFモード(⇒ AFモードの選択: 196)
JPEG FINE	記録ファイル形式(写真)(⇒ 記録ファイル形式(写真): 129)／ JPEG/HEIF切替(⇒ JPEG/HEIF切替: 132)／JPEG/HEIF写真画質 (⇒ JPEG/HEIF写真画質: 134)
APS-C PIXEL PIXEL 	動画撮影範囲(⇒ 動画撮影範囲: 176)／ 記録ファイル形式(動画)(⇒ 記録ファイル形式(動画): 148)／ 動画画質(⇒ 動画画質: 150)
3:2 	画像サイズ／画像横縦比(⇒ 画像サイズ: 127)
	Wi-Fi／Bluetooth接続状態(⇒ Wi-Fi／Bluetooth機能の動作確認: 693)
Fn 	Fnボタン設定(⇒ Fnボタン: 580)

(4)

	フォトスタイル(→ フォトスタイル: 349)
AWB	ホワイトバランス(→ ホワイトバランス(WB): 341)
	iダイナミックレンジ(→ iダイナミックレンジ: 328)
	測光モード(→ 測光モード: 306)
 	カードスロット(→ カード(別売)の挿入: 65)／
 	ダブルスロット機能(→ ダブルスロット機能: 652)／
 	外付けSSD(→ 外付けSSD(市販)を使う: 527)
 	カード／外付けSSDなし
 	カード／外付けSSD残量なし
999	写真撮影枚数(→ 記録メディアの写真撮影枚数、動画記録時間: 840)
r20	連続撮影可能枚数(→ 連続撮影可能枚数: 252)
残XXmXXs	動画記録時間(→ 動画記録時間(h:時間、m:分、s:秒): 842)
----	カードなし

❖ コントロールパネル(動画モード／S&Qモード)



(1)

FPS 60	記録フレームレート(→ 動画画質: 150)／ スロー & クイック設定(→ スロー & クイック動画: 460)
SHUTTER 1/60	シャッタースピード(→ シャッター優先AEモード: 315)
IRIS F3.5	絞り値(→ 絞り優先AEモード: 312)

(2)

	動画/S&Qの露出設定(→ 動画/S&Qの露出設定: 616)
 	露出補正值(→ 露出補正: 325)／ マニュアル露出アシスト(→ マニュアル露出アシスト: 319)
FULL APS-C PIXEL	動画撮影範囲(→ 動画撮影範囲: 176)
TC DF 00:00:00:00	タイムコード(→ タイムコード: 433)
REC	記録動作表示(→ 動画の記録中は、記録動作表示(F)とカードアクセス表示(G)が赤く点灯します。: 138)

(3)

	記録ファイル形式(動画)(→ 記録ファイル形式(動画): 148)／ 動画画質(→ 動画画質: 150)
	カードスロット(→ カード(別売)の挿入: 65)／ ダブルスロット機能(→ ダブルスロット機能: 652)／ 外付けSSD(→ 外付けSSD(市販)を使う: 527)
24m59s	動画記録時間(→ 動画記録時間(h:時間、m:分、s:秒): 842)
	Wi-Fi／Bluetooth 接続状態(→ Wi-Fi／Bluetooth機能の動作確認: 693)
	ファン動作モード(→ ファン動作モード: 645)
	ストリーミング機能オン(→ ストリーミング機能: 739)
	ストリーミング中(→ ストリーミング機能: 739)
	バッテリー残量(→ 電源に関する表示: 61)／ 給電(→ 電力を供給しながらカメラを使う(給電／充電): 60)
	バッテリー残量(バッテリーグリップ)(→ 電源に関する表示: 61)

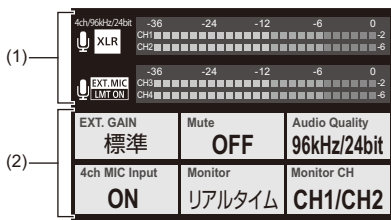
(4)

	内蔵マイク、外部マイク(→ 録音レベル表示: 415 、 外部マイク(別売): 422)
96kHz/24bit 	録音音質／XLRマイクアダプター設定(→ 録音音質: 418 、 XLR マイクロホンアダプター(別売): 425)
4ch/96kHz/24bit	4chオーディオ記録(→ 4ch オーディオ記録: 428)
	録音レベルリミッター(→ 録音レベルリミッター: 419)
	ミュート(→ 音声入力ミュート: 415)
録音レベル(→ 録音レベル表示: 415)	

(5)

ISO AUTO 100	ISO感度(→ISO 感度: 333)／ Dual Native ISO設定(→Dual Native ISO 設定: 337)
PHOTO STYLE STD. MON LUT HDMI V4.0g MON MODE2 HDMI HLG	フォトスタイル(→フォトスタイル: 349)／ LUTビューアシスト(→Logビューアシスト: 481)／ HLGビューアシスト(→HLGビューアシスト: 484)
WB AWB	ホワイトバランス(→ホワイトバランス(WB): 341)

❖ オーディオ情報表示



(1)

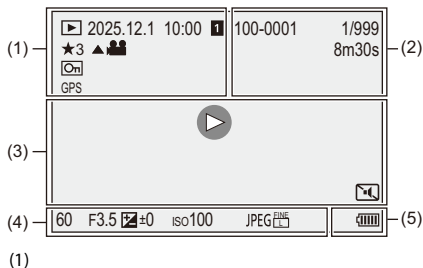
INT. MIC EXT. MIC	内蔵マイク、外部マイク(→ 録音レベル表示: 415 、外部マイク(別売): 422)
96kHz/24bit XLR	録音音質／XLRマイクアダプター設定(→ 録音音質: 418 、XLRマイクロホンアダプター(別売): 425)
4ch/96kHz/24bit	4chオーディオ記録(→ 4chオーディオ記録: 428)
LMT ON LMT OFF	録音レベルリミッター(→ 録音レベルリミッター: 419)
	ミュート(→ 音声入力ミュート: 415)

録音レベル(→ [録音レベル表示: 415](#))

(2)

EXT. GAIN 標準	録音ゲイン切替(→ 録音ゲイン切替: 416)
Mute OFF	音声入力ミュート(→ 音声入力ミュート: 415)
Audio Quality 96kHz/24bit	録音音質(→ 録音音質: 418)
4ch MIC Input ON	4chオーディオ記録(→ 4chオーディオ記録: 428)
Monitor リアルタイム	音声モニタリング(→ ヘッドホン: 430)
Monitor CH CH1/CH2	音声モニタチャンネル(→ 音声モニタチャンネル: 431)

再生画面



	再生モード(→ 再生モード: 570)
2025.12.1 10:00	撮影日時(→ 時計の設定 (初めて電源を入れるとき): 76)
	カードスロット(→ 表示するカードの切り換え: 537) / 外付けSSD(→ 外付けSSD(市販)を使う: 527)
★3	レーティング(→ レーティング: 574)
	動画再生(→ 動画の再生: 538)
	プロテクト(→ プロテクト: 574)
GPS	位置情報記録(→ 位置情報記録: 712)
	プロキシ記録(オリジナル動画／プロキシ動画)(→ プロキシ記録: 171)
	情報取得中

(2)

100-0001	フォルダー・ファイル番号(→ フォルダー/ファイル設定: 654)
1/999	画像番号／トータル枚数
9枚 9ファイル	グループ画像枚数／ ファイル数
XXmXXs	動画記録時間(→ 動画の再生: 538)
 XXmXXs  XXs	スロー & クイック動画(→ スロー & クイック動画: 460)
 XXmXXs	ループ記録(→ ループ記録(動画): 491)
	LUTビューアシスト(→ Logビューアシスト: 481)
	HLGビューアシスト(→ HLGビューアシスト: 484)

(3)

	再生(動画)(→ 動画の再生: 538)
    	グループ画像(→ グループ画像: 552)
TC 00:00:00:00	タイムコード(→ タイムコード: 433)
96kHz/24bit	録音音質(→ 録音音質: 418)
MOV 4K 420/10-L	記録ファイル形式(動画)(→ 記録ファイル形式(動画): 148) / 動画画質(→ 動画画質: 150)
59.94p 60/59.94p	記録フレームレート(→ 動画画質: 150) / スロー & クイック設定(→ スロー & クイック動画: 460)
FULL APS-C PIXEL PIXEL	動画撮影範囲(→ 動画撮影範囲: 176)
	Wi-Fi / Bluetooth 接続状態(→ Wi-Fi / Bluetooth 機能の動作確認: 693)
	サイレントモード(→ サイレントモード: 285)

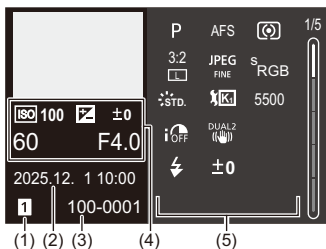
(4)

撮影情報

(5)

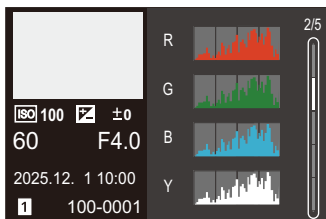
	バッテリー残量(→ 電源に関する表示: 61)
	バッテリー残量(バッテリーグリップ)(→ 電源に関する表示: 61)
	給電(→ 電力を供給しながらカメラを使う(給電／充電): 60)

詳細情報表示

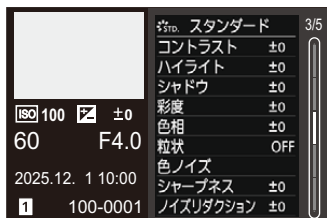


- (1) カードスロット(→ [カード\(別売\)の挿入: 65](#))／外付けSSD(→ [外付けSSD\(市販\)を使う: 527](#))
- (2) 撮影日時(→ [時計の設定\(初めて電源を入れるとき\): 76](#))
- (3) フォルダー・ファイル番号(→ [フォルダー/ファイル設定: 654](#))
- (4) 撮影情報(基本)
- (5) 撮影情報(詳細)

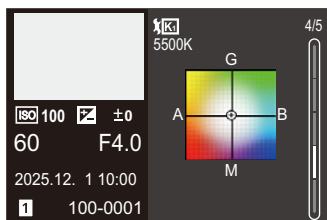
ヒストグラム表示



フォトスタイル表示



ホワイトバランス表示



レンズ情報表示



(6)

- (6) フルサイズ用レンズを使用し、[画像横縦比]を[3:2]に設定したときの画角に相当する焦点距離

メッセージ表示

カメラの画面に表示される主なメッセージの意味と対処法です。

❖ カード

メモリーカードエラー／フォーマットしますか？

- 本機では使用できないフォーマットです。別のカードをご使用いただくか、必要なデータをバックアップしてから本機でフォーマットしてください。(→ [フォーマット: 651](#))

メモリーカードエラー／このカードは使用できません

- 本機に対応したカードをお使いください。(→ [使用できるメモリーカード: 35](#))

カードを入れ直してください／別のカードでお試してください

- カードにアクセスできませんでした。カードを入れ直してください。
- 別のカードを入れてお試しください。

リードエラー／ライトエラー／カードを確認してください

- データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。カメラの電源を切り、カードを入れ直してから、もう一度、電源を入れてください。
- カードが壊れている可能性があります。
- 別のカードを入れてお試しください。

カードの書き込み速度不足のため記録を終了しました

- カードが撮影に必要な書き込み速度を満たしていません。動画画質によって使用できるカードが異なります。ご使用のカードが、撮影に必要な条件を満たしているか確認してください。(→ [本機で利用できるSDカード: 36](#))
 - * カードの仕様については、各カードメーカーにご確認ください。
- 撮影に必要な条件を満たしたカードを使用しても撮影が停止する場合は、カードの書き込み速度が低下している可能性があります。データのバックアップを取り、カードのフォーマット(SDカード)または物理フォーマット(CFexpressカード)を実行してください。(→ [フォーマット: 651](#))
- CFexpressカードをご使用の場合、カードの温度が上昇すると書き込み速度が低下することがあります。カードの温度が下がるまでお待ちください。

❖ レンズ

レンズが正しく装着されていません。レンズ装着時はレンズ取り外しボタンを押さないでください。

- レンズを一度取り外し、レンズ取り外しボタンを押さずに付け直してください。(→ [レンズの取り付け: 68](#))
電源を入れ直し、それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

レンズと通信できませんでした。レンズとの接点が汚れていないかご確認ください。

- レンズをカメラから取り外し、レンズとカメラ両方の接点を乾いた綿棒で軽くふいてください。それでもメッセージが表示される場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。

❖ バッテリー

このバッテリーは使えません

- パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- バッテリーの端子部が汚れている場合は、端子部のごみやほこりを取り除いてください。

バッテリーの寿命です。このバッテリーのご使用をお控えください。

- バッテリーが劣化しています。該当バッテリーのご使用はお控えください。

❖ その他

消去できない画像があります／この画像は消去できません

- DCF規格に準拠していない画像は消去できません。必要なデータをバックアップしてからカードをフォーマットしてください。(→ [フォーマット: 651](#))

フォルダーを作成できません

- 使用できるフォルダー番号の上限に達したため、新しいフォルダーを作成できません。カードをフォーマットしたあと、セットアップメニュー(カード/ファイル)の[ファイル番号リセット]を実行してください。(→ [ファイル番号リセット: 656](#))

電源を入れ直してください／システムエラー

- 電源を入れ直してください。数回繰り返してもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ファンが正常に動作していません。

- ファンが停止しています。カメラの電源を入れ直してください。電源を入れ直してもファンが動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ファンが停止したまま使用を続けると、カメラの温度が上昇します。長時間使用しないでください。

Q&A 故障かな？と思ったら

- 電源、バッテリー: 812
- 撮影: 814
- 動画: 818
- 再生: 818
- モニター／ファインダー: 819
- フラッシュ: 819
- Wi-Fi機能: 820
- テレビ、パソコン: 822
- その他: 823

故障かな？と思ったら、まず**1**の内容をお試ください。
それでも解決できない場合は、**2、3、4**の順にお試ください。

1 本項目(Q&A)の内容を試す

- 電源、バッテリー: 812
- 撮影: 814
- 動画: 818
- 再生: 818
- モニター／ファインダー: 819
- フラッシュ: 819
- Wi-Fi機能: 820
- テレビ、パソコン: 822
- その他: 823

2 カメラを初期設定に戻す

-  ⇒  ⇒  ⇒ [設定リセット]

3 パナソニックのサポートサイトを確認する

<https://panasonic.jp/support/dsc/>

- 最新のサポート情報を掲載しています。

4 ご相談窓口にお問い合わせ

- 本書の「保証とアフターサービス(よくお読みください)」をお読みください。
(→ [保証とアフターサービス\(よくお読みください\): 915](#))

電源、バッテリー

電源が勝手に切れる。

- [エコモード]が働いています。(→ [エコモード: 63](#))

バッテリーの消費が早い。

- Wi-Fi接続中はバッテリーの消費が早くなります。[エコモード](→ [エコモード: 63](#))を使うなどして、こまめに電源を切ってください。
- [動画時のAF動作]を[常時]に設定しているときは、バッテリーの消費が早くなります。[撮影中のみ]にするとバッテリーの消費を抑えられます。(→ [動画時のAF動作: 403](#))
- 以下の機能を使用しているときは、本機のバッテリーから接続機器に給電されるため、バッテリーの消費が早くなります。
 - [USB-SSD]
 - [ストリーミング]([ストリーミング]の[接続方法]が[USB テザリング]の場合)
 - [USB]の[Tether接続(USBイーサネットアダプター)]これらの機能を使用しないときは、設定を[OFF]にしてください。(→ [外付けSSD\(市販\)を使う: 527](#)、[ストリーミング機能: 739](#)、[テザー撮影: 771](#))

バッテリーの残量が急になくなる。

- 高画質の動画を記録しているときや、以下の機能を使用しているときは、バッテリーの消費が大きいため、バッテリーの状態によっては動画記録開始後すぐに動画記録を停止して電源をオフにする場合があります。
 - [USB-SSD]
 - [ストリーミング]([ストリーミング]の[接続方法]が[USB テザリング]の場合)
 - [USB]の[Tether接続(USBイーサネットアダプター)]
- 十分な容量のあるバッテリーを使用するか、バッテリーを充電してください。

撮影

撮影が途中で止まる。撮影できない。一部の機能が使用できない。

- 周囲の温度が高い場合や、高精細な動画撮影、HDMI出力などを連続して使用しているときは、カメラの温度が上昇しやすくなります。カメラの温度が上がると、画面に[△]が点滅表示されます。そのままカメラを使用し続けると、画面に使用不可のメッセージが表示され、撮影やHDMI出力など、一部の機能が停止します。カメラの温度が下がって、使用可能のメッセージが表示されるまでお待ちください。使用可能のメッセージが表示されたら、電源を入れ直してください。(→ [動画連続記録時間: 856](#))
 - * 三脚などに設置して撮影する場合、撮影を停止する温度を高め設定できます。(→ [動画撮影時の制限緩和: 657](#))
- 動画撮影などを連続して使用しているときは、カードの温度が上昇しやすくなります。カードの温度が上がると、画面に[△]が点滅表示されます。そのまま撮影を続けると、画面にメッセージが表示され、撮影などの一部の機能が停止します。温度が下がってメッセージが消えるまでお待ちください。

撮影できない。シャッターを押しても、すぐにシャッターが切れない。

- [フォーカス/リリース優先]が[フォーカス]に設定されている場合は、ピントが合うまで撮影できません。(→ [フォーカス/リリース優先: 617](#))

撮影した画像が白っぽい。

- レンズや撮像素子に指紋などの汚れが付くと、画像が白っぽくなる場合があります。レンズが汚れたときは、カメラの電源を切り、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
撮像素子のお手入れについて(→ [撮像素子のごみの付着について: 826](#))

撮影した画像が明るすぎる、暗すぎる。

- 不適切な状態でAEロックがかかっていないか確認してください。(→ [ピントや露出の固定\(AF/AEロック\): 331](#))

1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。

- ドライブモードを[**I**](連写1)または[**II**](連写2)に合わせているときは、シャッターボタンを押したままにすると連写されます。(→ [ドライブモードの選択: 244](#))
- [ブラケット]を設定しているときは、シャッターボタンを押すと自動で設定を変えて複数枚の画像を撮影します。(→ [ブラケット撮影: 274](#))

ピントが合わない。

- 以下の内容を確認してください。
 - ピントが合う範囲から外れていないか。
 - [シャッター半押しAF]が[OFF]になっていないか。(→ [シャッター半押しAF: 620](#))
 - [フォーカス/リリース優先]が[リリース]になっていないか。(→ [フォーカス/リリース優先: 617](#))
 - 不適切な状態でAFロック(→ [ピントや露出の固定\(AF/AEロック\): 331](#))がかかっていないか。
 - [フォーカスリミッター]が[ON]になっていないか。(→ [フォーカスリミッター: 189](#))
 - [AF微調整]が設定されていないか。(→ [AF微調整: 193](#))

レンズでピント合わせやズームができない。

- 以下の内容を確認してください。
 - [ロックレバー設定]の「レンズ」が[]になっていないか。(→ [ロックレバー設定: 624](#))
 - [フォーカスリングロック]が[ON]になっていないか。(→ [フォーカスリングロック: 619](#))

撮影した画像がブレている。手ブレ補正が効かない。

- 暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。このようなときは、三脚とセルフタイマーを使って撮影してください。

撮影した画像が粗い。ノイズが出る。

- 以下の内容をお試しく下さい。
 - ISO感度を低くする(→[ISO感度: 333](#))
 - [フォトスタイル]の[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整する(→[画質調整: 354](#))
 - [長秒ノイズ除去]を[ON]に設定する(→[長秒ノイズ除去: 291](#))
- カメラを連続して使用しているときは、カメラ内部の温度が上昇し、画質が低下する場合があります。撮影時以外はこまめに電源を切ることをお勧めします。

被写体が曲がって撮影される。

- 以下の機能を使用中は、動いている被写体を撮影すると被写体が曲がって撮影される場合があります。
 - 電子シャッター
 - 動画撮影
- これは、本機の撮像素子であるCMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。

蛍光灯やLEDなどの照明下でちらつきや横しماが出る。



- 本機の撮像素子であるCMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。
- 電子シャッター(→[シャッター方式: 287](#))使用時は、シャッタースピードを遅くすると横しماが軽減されることがあります。
- 動画撮影中にちらつきや横しماが目立つ場合は、シャッタースピードを固定することで軽減できます。[動画撮影時のフリッカー軽減](→[動画撮影時のフリッカー軽減: 441](#))を設定するか、[⌘] / [S&Q]モードでシャッタースピードを固定してください。
- [シンクロスキャン(写真)]または[シンクロスキャン(動画)]を使うと、シャッタースピードを細かく設定できます。([シンクロスキャン\(写真\): 292](#)、[シンクロスキャン\(動画\): 489](#))

ISO感度が高いとき、横しماが出る。

- ISO感度が高いとき、使用するレンズによっては横しماが撮影されることがあります。ISO感度を低くしてください。(→[ISO感度:333](#))

撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。

- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するもので、異常ではありません。
- 極端に明るい場所や、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横しماが現れたりすることがあります。

被写体でない明るい点が画像に記録される。

- 撮像素子の画素欠けの可能性があります。[ピクセルリフレッシュ](→[ピクセルリフレッシュ:671](#))を実行してください。

動画

動画が撮影できない。

- [システム周波数]を元の設定に戻すか、別のカードを入れてお試しください。
- 容量の大きなカードをお使いの場合は、電源を入れたあとしばらくの間撮影できないことがあります。
- SDカードには記録できない[記録ファイル形式(動画)]や[動画画質]があります。CFexpressカードを使用してください。(→ [使用できるメモリーカード: 35](#))

動画に「カチッ」、「ジー」などの異常音が記録される。記録される音声が非常に小さい。

- 撮影環境や使用するレンズによっては、絞りやフォーカスの動作音が動画に記録されることがあります。
- 動画撮影中にマイクの穴を塞がないでください。

動画に操作音が記録される。

- 撮影中の操作音が気になるときは、[] / [S&Q]モードに設定し、タッチ操作で撮影することをお勧めします。(→ [動画撮影中の操作: 138](#))

再生

再生できない。撮影した画像がない。

- パソコンでフォルダーや画像を加工すると、本機で再生できません。
- [再生モード]を設定すると、一部の画像が表示されません。[通常再生]に設定してください。(→ [再生モード: 570](#))
- [システム周波数]が異なる設定で記録した動画は再生できません。[システム周波数]を撮影したときの設定に戻してください。(→ [システム周波数: 146](#))

モニター／ファインダー

電源が入っているときに、モニター／ファインダーが消える。

- 設定した時間内に何も操作をしないと、[LVF/モニター自動OFF](→LVF/モニター自動OFF: 63)が働き、モニター／ファインダーが消灯します。
- アイセンサーの近くに手や物があることにより、モニター表示がファインダー表示に切り換わっていることがあります。

一瞬ちらつく、または一瞬画面の明るさが大きく変化することがある。

- シャッターボタンを半押ししたときや、被写体の明るさが変化したときにレンズの絞りが変化して発生する現象です。故障ではありません。

ファインダーに明るさや色のむらが現れる。

- 本機のファインダーは有機ELを使用しているため、長時間同じ画面を表示すると焼き付きが発生します。記録される画像に影響はありません。

フラッシュ

フラッシュが発光しない。

- 以下の機能使用中は、フラッシュは発光しません。
 - 動画撮影
 - 電子シャッター、[サイレントモード]
 - ハイレゾモード
 - [フィルター設定]

Wi-Fi機能

Wi-Fi接続できない。電波が途切れる。無線アクセスポイントが表示されない。

Wi-Fi接続全般について

- 接続する機器の通信圏内でご使用ください。
- 2.4 GHz帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで使用すると、電波が途切れることがあります。それらの機器から十分に離してご使用ください。
- バッテリーの残量が少ない場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- カメラを金属製のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくい場合があります。金属面から離してご使用ください。

無線アクセスポイントについて

- 接続する無線アクセスポイントが使用可能であることを確認してください。
- 無線アクセスポイントの電波状況を確認してください。
 - カメラと無線アクセスポイントを近づけてください。
 - 無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。
- 無線アクセスポイントの設定によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。
 - 無線アクセスポイントの電源を入れ直してください。
 - 無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で本機に対応したチャンネルに設定してください。
 - 無線アクセスポイントのSSIDが非通知に設定されていると、検出されない場合があります。SSIDを入力して接続してください。(➔ [マニュアル入力で接続する: 716](#))
- 無線アクセスポイントによっては、一定時間を経過すると自動で接続が切断されることがあります。接続し直してください。

無線アクセスポイントに接続できない。

- 本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化キーをご確認ください。(→ [マニュアル入力で接続する: 716](#))
- 他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できないことがあります。無線アクセスポイントに接続している他の機器や、他の無線機器の使用状況をご確認ください。

iOS 機器で Wi-Fi 接続に失敗する。

- 表示されるメッセージに従ってカメラとの接続を許可してください。それでも接続できない場合は、スマートフォンの Wi-Fi 設定画面でカメラの SSID を選択して接続してください。SSID が表示されない場合は、カメラの電源を入れ直してから、もう一度 Bluetooth 接続の設定をしてください。

スマートフォンと Wi-Fi 接続できない。

- スマートフォン側の Wi-Fi 設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。

動画・画像送信が途中で失敗する。送信できない動画・画像がある。

- 画像のサイズが大きすぎませんか？
 - [送信サイズ](→ [送信サイズ: 710](#))で画像サイズを小さくして送信してください。
 - [動画分割](→ [動画分割: 545](#))で動画を分割して送信してください。
- 送信する動画のファイル形式を設定してください。(→ [送信ファイル形式: 710](#))
- 動画・画像の送信に失敗する場合は、USB 接続ケーブルによる転送を推奨します。

Wi-Fi のパスワードを忘れた。

- セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットしてください。(→ [設定リセット: 108](#))ただし、[有線 LAN/Wi-Fi]や[Bluetooth]で設定した情報もすべてリセットされます。

テレビ、パソコン

テレビの画像にグレーの帯が付いて表示される。

- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右にグレーの帯が付いて表示されることがあります。セットアップメニュー(IN/OUT)の[HDMI接続設定]の[画像背景色(再生時)]で帯の色を変更できます。(→ [画像背景色\(再生時\): 666](#))

パソコンに接続しても画像を取り込むことができない。

- カメラの[USBモード]を[PC(Storage)]に設定してください。(→ [USBモード: 664](#))
- カメラの電源を入れ直してください。

その他

画面に[&#9201]が表示される。

- ファンが停止しています。カメラの電源を入れ直してください。電源を入れ直してもファンが動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ファンが停止したまま使用を続けると、カメラの温度が上昇します。長時間使用しないでください。

カメラを振ると「カタカタ」音がする。

- この音はボディ内手ブレ補正機構によるもので、故障ではありません。

カメラの電源を入/切したとき、またはカメラを振ったときに、レンズから「カタカタ」音がする。撮影するときに、レンズから音がする。

- これはレンズ移動や絞り動作の音です。故障ではありません。

カメラが熱くなる。

- ご使用中、カメラの表面やモニターの裏側が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

使用上のお願い

❖ 本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビ、スピーカーや大型モーターなど)からはできるだけ離れて使用してください。

- テレビの近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声がかかります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声がかかります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを取り出し、ACアダプターを一度抜いてから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線の近くでは、なるべく使用しないでください。

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

コード、ケーブルは延長しないでください。

殺虫剤や揮発性のものを本機にかけないでください。

- 外装ケースが変質したり塗装がはがれたりするおそれがあります。

ゴム製品やビニール製品を長期間接触したままにしないでください。

❖ 寒冷地や低温下でのご使用について

- 寒冷地(スキー場などの0℃以下の環境)で本機の金属部に長時間、直接触れていると皮膚に傷害を起こす原因になることがあります。長時間ご使用の場合は、手袋などをお使いください。
- -10℃～0℃の環境では、一時的にバッテリーの性能(撮影可能枚数/時間)が低下します。バッテリーを防寒具や衣服の内側に入れるなど、保温しながらお使いください。内部の温度が上がると性能が回復します。
- 0℃未満ではバッテリーを充電できません。充電できないときは、チャージャーまたはカメラ本体にエラー表示が出ます。
 - チャージャーで充電時:50%の充電ランプが速く点滅します。
 - カメラ本体で充電時:充電ランプが赤色で点滅します。
- 寒冷地で使用する場合、雪や水滴が付いたまま放置しないでください。放置すると、電源スイッチ、スピーカーやマイクの間隙などの雪や水滴が凍り、カメラの各部が動きにくくなったり、音が小さくなったりする場合があります。これは故障ではありません。

❖ お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出し、電源プラグをコンセントから抜いてから、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースやマウントなど、本機の表面が変質したり、塗装がはがれたりするおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾を使用する場合は、その注意書きに従ってください。

❖ 撮像素子のごみの付着について

レンズ交換の際に、マウント内部にごみが入り込むと、撮影条件によっては、撮像素子に付着したごみが写り込む場合があります。

本体の内部にごみやほこりが付着することを防ぐため、ほこりの多い場所でのレンズ交換は避けてください。本体を保管するときは、必ずボディキャップまたはレンズを付けてください。その際、ボディキャップに付着したごみは必ず取り除いてください。

電源OFF時のシャッター動作

本機は、電源OFF時にシャッターを閉じるように設定できます。レンズ交換時にごみやほこりが撮像素子に付着することを抑えます。(→ [電源OFF時のシャッター動作: 671](#))

- 電源OFF時にカメラを太陽光などの強い光源に向けたり、シャッターに触れたりすると破損する可能性があります。

ダストリダクション機能

本機は、撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクション機能を備えています。特にごみが気になる場合は、セットアップメニュー(その他)の[センサークリーニング]を実行してください。(→ [センサークリーニング: 671](#))

撮像素子のごみの除去

撮像素子は非常に精密で、傷つきやすいため、やむをえずご自身でクリーニングする場合は、以下のことを必ずお守りください。

- 市販のプロワーで撮像素子の表面のほこりを吹き飛ばします。強く吹きすぎないようにしてください。
- プロワーをレンズマウントより中に入れないでください。万一、プロワーが撮像素子に触れると傷がつきます。
- プロワー以外のものは使用しないでください。
- プロワーでもごみやほこりを除去できない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

❖ ファインダーのお手入れについて

ファインダーが汚れた場合は、市販のブロワーでファインダーの表面のごみを吹き飛ばしてから、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

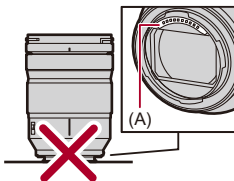
- アイカップは取り外しできません。お手入れの際はアイカップが外れないようお気をつけください。
- 万一、アイカップが外れた場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

❖ モニター／ファインダー

- モニターを強く押さえないでください。画面にむらが出ることや、故障の原因になることがあります。
- モニター／ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点や白い点が現れることや、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。モニター／ファインダーの画素については高精度管理をしておりますが、画素欠けするものがあります。また、これらの点は、カードの画像には記録されないためご安心ください。

❖ レンズ

- レンズを使用するときは、落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えたりしないようお願いを 부탁드립니다。レンズおよびデジタルカメラの故障や破損の原因になります。
- 太陽や強い光源にレンズを向けないでください。集光作用により、火災・故障の原因になることがあります。
- レーザー光などの強い光線を、直接、本機(レンズ)に照射しないでください。撮像素子が破損し、本機の故障の原因になることがあります。
- レンズ表面のほこり、ごみ、汚れ(水、油、指紋など)が画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前と撮影後に、ブロワーでレンズの表面に付いたほこりやごみを吹き飛ばしたあと、乾いた柔らかい布で汚れを軽くふいてください。
- ほこりやごみの付着、侵入を防ぐため、使用しないときは、レンズキャップ、レンズリアキャップを取り付けてください。
- レンズの接点(A)を保護するため、以下のことはしないでください。故障の原因になります。
 - レンズの接点に触れる
 - レンズの接点を汚す
 - レンズ取り付け部を下にして置く



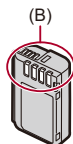
- 交換レンズ(S-R24105)は、防じん防滴性能の向上のため、マウント部にレンズマウントラバーを使用しています。
 - デジタルカメラのマウント部にレンズマウントラバーのすれ跡が付いても、性能には問題ありません。
 - レンズマウントラバーの交換については、修理ご相談窓口にお問い合わせください。

❖ バッテリー

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど性能への影響が大きくなります。

バッテリーの端子部(B)を汚さないでください。

- 汚れた場合は、乾いた布でふいてください。



使用後は、必ずバッテリーを取り出してください。

- 取り出したバッテリーはポリ袋などに入れ、金属類(クリップなど)から離して保管、持ち運びしてください。

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認してください。

- 端子部が変形したバッテリーをカメラに入れると、カメラを傷めます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ

<http://www.jbrc.com>



充電式

**リチウムイオン
電池使用**

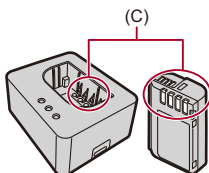
Li-ion 20

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

❖ チャージャー

- 充電時の環境によっては、静電気や電磁波の影響で充電ランプがちらつく場合がありますが、充電への影響はありません。
- チャージャーやバッテリーの端子部(C)を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。



❖ カード

カードを高温になるところや直射日光の当たるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しないでください。

カードを折り曲げたり、落としたりしないでください。

カードに強い振動を与えないでください。

- カードや撮影データが壊れるおそれがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カードの端子部にごみや水、異物を付着させないでください。また手などで触れないでください。

❖ 個人情報について

カメラ内および撮影した画像には個人情報が含まれます。個人情報の保護のため、有線LAN/Wi-Fi機能ロックを設定してセキュリティを強化することをお勧めします。(→ [有線LAN/Wi-Fiメニュー: 718](#))

- 画像には、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。
- 誕生日など第三者に推測されやすいパスワードの使用は避けるようにしてください。
- 他社サービスとは異なるパスワードの設定をお願いします。

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡／廃棄されるとき

- 個人情報の控えを取ったあと、カメラ内にお客様が登録または設定した無線LAN接続設定等の個人情報を含む情報を、[設定リセット](→ [設定リセット: 108](#))を実行して必ず消去してください。
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(→ [設定リセット: 108](#))
- カメラからカードを取り出してください。
- 修理をすると、カメラが初期設定状態に戻ることがあります。
- 故障の状態により、カメラの操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

カードを廃棄／譲渡するときのお願い

カメラやパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。

廃棄／譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトを使ってカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。

カード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

❖ 長期間使用しないときは

- バッテリーとカードは必ずカメラから取り出してください。バッテリーを入れたままにすると過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。(推奨温度: 15℃～25℃、推奨湿度: 40%RH～60%RH)
- 長期間保管する場合、1年に1回はバッテリーを充電し、カメラでバッテリーを使い切ってから、カメラから取り出して再保管することをお勧めします。
- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤(シリカゲル)と一緒に入れることをお勧めします。
- 長期間使用していないときは、撮影前に各部を点検してから使用してください。

❖ 画像データ

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

❖ 三脚

- カメラを取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚使用時は、バッテリーが取り出せないことがあります。
- ネジを締めすぎるとカメラに傷がつくことや、定格ラベルがはがれることがあるためお気をつけください。
- 三脚の取扱説明書もよくお読みください。

❖ ショルダーストラップ

- カメラに重いレンズを取り付けた場合は、ショルダーストラップだけを持ってつり下げないでください。カメラとレンズを持って持ち運んでください。

❖ Wi-Fi機能

本機は無線LAN機器としてお使いください。

無線LAN機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用の場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。

無線LAN機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

Wi-Fi機能は日本での利用を前提としています。

本機のWi-Fi機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください。

Wi-Fi使用時は、利用する権限のない無線ネットワーク (SSID) が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがあるため接続しないでください。

-
- 本製品に対応するソフトウェアを無断で営業目的として複製 (コピー) したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
 - 本製品の使用 (他社製品との組み合わせ使用含む)、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

無線機能(Wi-Fi / Bluetooth)使用上のお願い

■ 使用周波数帯

本機は2.4 GHz/5 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、[MENU] ボタン ➡  [セットアップ] ➡  [その他]の[認証情報]で確認できます。

本機の無線機能(2.4 GHz帯)が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4DS4/OF4/XX1

2.4: 2400 MHz帯を利用する無線設備を表します。

DS/OF/XX: 変調方式がDSSS、OFDM、その他の方式であることを示します。

1: 想定される与干渉距離が約10 mであることを示します。

4: 想定される与干渉距離が約40 mであることを示します。

無線機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、電波の使用を停止したうえ、下記の連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記の連絡先へお問い合わせください。

LUMIX (ルミックス) ・ムービーご相談窓口		
フリーダイヤル 	パナは ロクサンハチ 0120-878-638	受付時間 9:00～18:00 月～土曜日 (祝日・正月三が日を除く)
■ 上記電話番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187		■ FAX フリーダイヤル  0120-878-236

■ 5 GHz帯使用時の注意事項

5150 MHz～5350 MHzの周波数帯域は電波法により屋外での使用は禁じられています。

5 GHz帯を設定し、スマートフォンと直接接続しているときも屋外では使用できません。屋外でスマートフォンとWi-Fi接続する場合は、[有線LAN/Wi-Fi]メニューの[Wi-Fi周波数帯]を[2.4GHz]に設定してください。

5 GHz帯対応の無線アクセスポイントを屋外で使用する場合、無線アクセスポイントのチャンネル設定を確認してください。詳しくは、無線アクセスポイントの取扱説明書をお読みください。

■ 認証情報の表示方法

本機の認証情報は、メニュー画面で確認できます。

- 1  [セットアップ]メニューの  [その他]タブを選ぶ
- 2 [認証情報]を選んで決定する

■ 無線LAN接続について

本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。

バッテリーの撮影可能枚数、撮影可能時間

付属のバッテリーを使用して撮影できる枚数と時間は下記のとおりです。

- 写真の撮影可能枚数は、CIPA (カメラ映像機器工業会) 規格による。
- Nextorage 製 CFexpress Type B カード使用。
- Nextorage 製 SDXC メモリーカード使用。
- Samsung 製外付け SSD 使用。
- 記載している数値は目安です。

❖ 写真記録(モニター使用時)

交換レンズ S-R24105 使用時

記録メディア	撮影可能枚数(枚)
CFexpress カード	370
SDXC メモリーカード	380

❖ 写真記録(ファインダー使用時)

交換レンズ S-R24105 使用時

記録メディア	撮影可能枚数(枚)
CFexpress カード	330(1050)
SDXC メモリーカード	340(1200)

- () 内は[省電力ファインダー撮影]の[スリープするまでの時間]を[1秒]に設定し、[省電力ファインダー撮影]が働いた場合の数値です。(CIPA 規格をベースにした当社測定条件による)

❖ 動画撮影(モニター使用時)

• [動画撮影範囲]: [FULL]

(A) CFexpressカード使用時

(B) SDXCメモリーカード使用時

(C) 外付けSSD使用時

交換レンズS-R24105使用時

記録ファイル形式 (動画)	動画画質	記録メディア	連続撮影可能 時間(分)	実撮影可能時 間(分)
MP4	4K/10bit/100M/60p ^{*1}	(A)	90	45
	4K/10bit/100M/50p ^{*1}	(B)	100	50
	FHD/8bit/20M/30p	(A)	110	55
	FHD/8bit/20M/25p	(B)	120	60
MOV	6K/30p/420/10-L	(A)	90	45
	6K/25p/420/10-L	(B)	90	45
	Cs4K/60p/422/10-L	(A)	90	45
	Cs4K/50p/422/10-L	(B)	100	50
	C4K/60p/422/10-I(L) ^{*1}	(A)	90	45
	C4K/50p/422/10-I(L) ^{*1}	(B)	100	50
	FHD/30p/420/10-L	(A)	110	55
	FHD/25p/420/10-L	(B)	120	60
Apple ProRes	5.8K/30p/RAW HQ ^{*2}	(A)	80	40
	5.8K/25p/RAW HQ ^{*2}	(C)	50	25
	5.8K/30p/422 HQ	(A)	80	40
	5.8K/25p/422 HQ	(C)	50	25
	C4K/60p/RAW HQ ^{*2}	(A)	80	40
	C4K/50p/RAW HQ ^{*2}	(C)	50	25
	C4K/60p/422 HQ ^{*1}	(A)	80	40
	C4K/50p/422 HQ ^{*1}	(C)	50	25

*1 [動画撮影範囲]: [APS-C]

*2 [動画撮影範囲]: [PIXEL/PIXEL]

- 実撮影可能時間とは、電源の[ON]／[OFF]切り換え、撮影の開始／終了などを繰り返したときに撮影できる時間です。

❖ 再生(モニター使用時)

交換レンズ S-R24105 使用時

記録メディア	再生使用時間(分)
CFexpress カード	210
SDXC メモリーカード	240



- 撮影可能枚数と撮影可能時間は、周囲の環境や使用条件によって変わります。
例えば、以下の場合は減少します。
 - スキー場などの低温下
- 満充電してもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

記録メディアの写真撮影枚数、動画記録時間

記録メディアに記録できる写真の枚数と動画の時間は下記のとおりです。

- Nextorage製 CFexpress Type Bカード使用。
- Nextorage製 SDXCメモリーカード使用。
- Samsung製外付けSSD使用。

❖ 写真撮影枚数(枚)

- 記載している数値は最少撮影枚数の目安です。撮影する被写体によっては、変動する場合があります。

- 画像横縦比:[3:2]
- JPEG/HEIF写真画質:[FINE]

- 記録ファイル形式(写真):[JPEG]の場合

画像サイズ	CFexpressカードの容量		SDXCメモリーカードの容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
L(24M)	43400	87470	17190	33720	65760	131550
M(12M)	78660	158540	31050	60920	119200	238420
S(6M)	125860	253660	53480	104920	190710	381460
XS(2.5M)	209750	422730	87500	171670	317830	635720

- 記録ファイル形式(写真):[RAW+JPEG]の場合

画像サイズ	CFexpressカードの容量		SDXCメモリーカードの容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
L(24M)	8740	17610	3410	6690	13240	26490
M(12M)	9600	19360	3740	7340	14550	29120
S(6M)	10060	20290	3940	7730	15250	30510
XS(2.5M)	10400	20960	4060	7960	15760	31520

• 記録ファイル形式(写真):[HEIF]の場合

画像サイズ	CFexpressカードの容量		SDXCメモリーカードの容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
L(24M)	52440	105700	21390	41970	79470	158950
M(12M)	96820	195130	38500	75540	146710	293440
S(6M)	139840	281840	64170	125900	211900	423840
XS(2.5M)	251690	507260	106950	209810	381380	762830

• 記録ファイル形式(写真):[RAW+HEIF]の場合

画像サイズ	CFexpressカードの容量		SDXCメモリーカードの容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
L(24M)	9120	18380	3530	6940	13820	27640
M(12M)	9830	19810	3810	7490	14900	29800
S(6M)	10230	20620	3990	7830	15500	31010
XS(2.5M)	10480	21130	4070	8000	15890	31790

❖ 動画記録時間(h:時間、m:分、s:秒)

- 動画記録時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。
- 記載している数値は目安です。

• 記録ファイル形式(動画):[MP4]の場合

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]						
動画画質	CFexpressカード の容量		SDXCメモリーカード の容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
4K/10bit/100M/60p 4K/8bit/100M/30p 4K/8bit/100M/24p	14h35m	29h25m	5h30m	10h55m	22h05m	44h20m
4K/10bit/72M/30p 4K/10bit/72M/24p	20h15m	40h55m	7h45m	15h10m	30h45m	61h30m
FHD/8bit/28M/60p	51h15m	103h20m	19h45m	38h50m	77h40m	155h25m
FHD/8bit/20M/30p	68h10m	137h35m	26h20m	51h45m	103h25m	206h55m
FHD/8bit/24M/24p	59h45m	120h30m	23h00m	45h20m	90h35m	181h15m

システム周波数:[50.00Hz(PAL)]						
動画画質	CFexpressカード の容量		SDXCメモリーカード の容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
4K/10bit/100M/50p 4K/8bit/100M/25p	14h35m	29h25m	5h30m	10h55m	22h05m	44h20m
4K/10bit/72M/25p	20h15m	40h55m	7h45m	15h10m	30h45m	61h30m
FHD/8bit/28M/50p	51h15m	103h20m	19h45m	38h50m	77h40m	155h25m
FHD/8bit/20M/25p	68h10m	137h35m	26h20m	51h45m	103h25m	206h55m

• 記録ファイル形式(動画):[MOV]の場合

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]						
動画画質	CFexpressカード の容量		SDXCメモリーカー ドの容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
3.3K/48p/422/10-I(H) C4K/60p/422/10-I(H) C4K/48p/422/10-I(H) Cs4K/60p/422/10-I(H) Cs4K/48p/422/10-I(H) 4K/60p/422/10-I(H) 4K/48p/422/10-I(H)	1h45m	3h40m			2h45m	5h30m
3.3K/48p/422/10-I(L) C4K/60p/422/10-I(L) C4K/48p/422/10-I(L) Cs4K/60p/422/10-I(L) Cs4K/48p/422/10-I(L) 4K/60p/422/10-I(L) 4K/48p/422/10-I(L)	2h25m	4h50m	55m00s	1h45m	3h40m	7h20m
3.3K/30p/422/10-I 3.3K/24p/422/10-I C4K/30p/422/10-I C4K/24p/422/10-I Cs4K/30p/422/10-I Cs4K/24p/422/10-I 4K/30p/422/10-I 4K/24p/422/10-I FHD/120p/422/10-I	3h35m	7h20m	1h20m	2h40m	5h30m	11h00m
6K/60p/420/10-L 6K/48p/420/10-L	4h50m	9h45m	1h50m	3h35m	7h20m	14h40m

6K/30p/420/10-L (3:2) 6K/24p/420/10-L (3:2) 6K/30p/420/10-L (17:9) 6K/24p/420/10-L (17:9) 6K/30p/420/10-L (2.4:1) 6K/24p/420/10-L (2.4:1) 5.9K/30p/420/10-L 5.9K/24p/420/10-L 3.3K/48p/422/10-L 3.3K/48p/420/10-L C4K/60p/422/10-L C4K/60p/420/10-L C4K/48p/422/10-L C4K/48p/420/10-L Cs4K/60p/422/10-L Cs4K/60p/420/10-L Cs4K/48p/422/10-L Cs4K/48p/420/10-L 4K/60p/422/10-L 4K/60p/420/10-L 4K/48p/422/10-L 4K/48p/420/10-L FHD/60p/422/10-I FHD/48p/422/10-I FHD/30p/422/10-I FHD/24p/422/10-I	7h10m	14h35m	2h45m	5h25m	10h55m	21h55m

3.3K/30p/422/10-L 3.3K/30p/420/10-L 3.3K/24p/422/10-L 3.3K/24p/420/10-L C4K/60p/420/8-L C4K/30p/422/10-L C4K/30p/420/10-L C4K/24p/422/10-L C4K/24p/420/10-L Cs4K/60p/420/8-L Cs4K/30p/422/10-L Cs4K/30p/420/10-L Cs4K/24p/422/10-L Cs4K/24p/420/10-L 4K/60p/420/8-L 4K/30p/422/10-L 4K/30p/420/10-L 4K/24p/422/10-L 4K/24p/420/10-L FHD/120p/422/10-L FHD/120p/420/10-L	9h35m	19h20m	3h40m	7h10m	14h30m	29h05m
C4K/30p/420/8-L C4K/24p/420/8-L Cs4K/30p/420/8-L Cs4K/24p/420/8-L 4K/30p/420/8-L 4K/24p/420/8-L FHD/60p/422/10-L FHD/60p/420/10-L FHD/48p/422/10-L FHD/48p/420/10-L FHD/30p/422/10-L FHD/30p/420/10-L FHD/24p/422/10-L FHD/24p/420/10-L	14h15m	28h50m	5h25m	10h40m	21h40m	43h20m
FHD/60p/420/8-L	27h55m	56h25m	10h40m	20h55m	42h20m	84h50m
FHD/30p/420/8-L FHD/24p/420/8-L	53h30m	107h55m	20h25m	40h10m	81h05m	162h20m

システム周波数: [50.00Hz(PAL)]						
動画画質	CFexpressカード の容量		SDXCメモリーカード の容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
3.3K/50p/422/10-I(H) C4K/50p/422/10-I(H) Cs4K/50p/422/10-I(H) 4K/50p/422/10-I(H)	1h45m	3h40m			2h45m	5h30m
3.3K/50p/422/10-I(L) C4K/50p/422/10-I(L) Cs4K/50p/422/10-I(L) 4K/50p/422/10-I(L)	2h25m	4h50m	55m00s	1h45m	3h40m	7h20m
3.3K/25p/422/10-I C4K/25p/422/10-I Cs4K/25p/422/10-I 4K/25p/422/10-I FHD/100p/422/10-I	3h35m	7h20m	1h20m	2h40m	5h30m	11h00m
6K/50p/420/10-L	4h50m	9h45m	1h50m	3h35m	7h20m	14h40m
6K/25p/420/10-L (3:2) 6K/25p/420/10-L (17:9) 6K/25p/420/10-L (2.4:1) 5.9K/25p/420/10-L 3.3K/50p/422/10-L 3.3K/50p/420/10-L C4K/50p/422/10-L C4K/50p/420/10-L Cs4K/50p/422/10-L Cs4K/50p/420/10-L 4K/50p/422/10-L 4K/50p/420/10-L FHD/50p/422/10-I FHD/25p/422/10-I	7h10m	14h35m	2h45m	5h25m	10h55m	21h55m

3.3K/25p/422/10-L 3.3K/25p/420/10-L C4K/50p/420/8-L C4K/25p/422/10-L C4K/25p/420/10-L Cs4K/50p/420/8-L Cs4K/25p/422/10-L Cs4K/25p/420/10-L 4K/50p/420/8-L 4K/25p/422/10-L 4K/25p/420/10-L FHD/100p/422/10-L FHD/100p/420/10-L	9h35m	19h20m	3h40m	7h10m	14h30m	29h05m
C4K/25p/420/8-L Cs4K/25p/420/8-L 4K/25p/420/8-L FHD/50p/422/10-L FHD/50p/420/10-L FHD/25p/422/10-L FHD/25p/420/10-L	14h15m	28h50m	5h25m	10h40m	21h40m	43h20m
FHD/50p/420/8-L	27h55m	56h25m	10h40m	20h55m	42h20m	84h50m
FHD/25p/420/8-L	53h30m	107h55m	20h25m	40h10m	81h05m	162h20m

システム周波数:[24.00Hz(CINEMA)]						
動画画質	CFexpressカード の容量		SDXCメモリーカード の容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
3.3K/48p/422/10-I(H) C4K/48p/422/10-I(H) Cs4K/48p/422/10-I(H) 4K/48p/422/10-I(H)	1h45m	3h40m			2h45m	5h30m
3.3K/48p/422/10-I(L) C4K/48p/422/10-I(L) Cs4K/48p/422/10-I(L) 4K/48p/422/10-I(L)	2h25m	4h50m	55m00s	1h45m	3h40m	7h20m
3.3K/24p/422/10-I C4K/24p/422/10-I Cs4K/24p/422/10-I 4K/24p/422/10-I	3h35m	7h20m	1h20m	2h40m	5h30m	11h00m
6K/48p/420/10-L	4h50m	9h45m	1h50m	3h35m	7h20m	14h40m
6K/24p/420/10-L (3:2) 6K/24p/420/10-L (17:9) 6K/24p/420/10-L(2.4:1) 5.9K/24p/420/10-L 3.3K/48p/422/10-L 3.3K/48p/420/10-L C4K/48p/422/10-L C4K/48p/420/10-L Cs4K/48p/422/10-L Cs4K/48p/420/10-L 4K/48p/422/10-L 4K/48p/420/10-L FHD/48p/422/10-I FHD/24p/422/10-I	7h10m	14h35m	2h45m	5h25m	10h55m	21h55m
3.3K/24p/422/10-L 3.3K/24p/420/10-L C4K/24p/422/10-L C4K/24p/420/10-L Cs4K/24p/422/10-L Cs4K/24p/420/10-L 4K/24p/422/10-L 4K/24p/420/10-L	9h35m	19h20m	3h40m	7h10m	14h30m	29h05m

C4K/24p/420/8-L						
Cs4K/24p/420/8-L						
4K/24p/420/8-L						
FHD/48p/422/10-L	14h15m	28h50m	5h25m	10h40m	21h40m	43h20m
FHD/48p/420/10-L						
FHD/24p/422/10-L						
FHD/24p/420/10-L						
FHD/24p/420/8-L	53h30m	107h55m	20h25m	40h10m	81h05m	162h20m

• 記録ファイル形式(動画):[Apple ProRes]の場合

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]						
動画画質	CFexpressカード の容量		SDXCメモリーカー ドの容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
5.8K/30p/RAW HQ	*				*	
5.8K/30p/RAW						
5.8K/30p/422 HQ	45m00s	1h30m			1h05m	2h15m
5.8K/30p/422	1h05m	2h15m			1h40m	3h25m
5.8K/24p/RAW HQ	*				*	
5.8K/24p/RAW						
5.8K/24p/422 HQ	56m00s	1h50m			1h25m	2h50m
5.8K/24p/422	1h20m	2h50m			2h05m	4h15m
3.3K/30p/422 HQ	1h35m	3h10m			2h25m	4h50m
3.3K/30p/422	2h20m	4h45m			3h35m	7h15m
3.3K/24p/422 HQ	1h55m	4h00m			3h00m	6h00m
3.3K/24p/422	2h55m	6h00m			4h30m	9h00m
C4K/60p/RAW HQ	*				*	
C4K/60p/RAW						
C4K/60p/422 HQ	44m00s	1h30m			1h05m	2h15m
C4K/60p/422	1h05m	2h15m			1h40m	3h25m
C4K/30p/RAW HQ	*				*	
C4K/30p/RAW						
C4K/30p/422 HQ	1h25m	3h00m			2h15m	4h30m
C4K/30p/422	2h10m	4h30m			3h20m	6h45m
C4K/24p/RAW HQ	*				*	
C4K/24p/RAW						
C4K/24p/422 HQ	1h50m	3h45m			2h50m	5h40m
C4K/24p/422	2h45m	5h35m			4h15m	8h30m
Cs4K/60p/422 HQ	56m00s	1h50m			1h25m	2h50m
Cs4K/60p/422	1h20m	2h50m			2h05m	4h15m

Cs4K/30p/422 HQ	1h50m	3h45m			2h50m	5h40m
Cs4K/30p/422	2h45m	5h35m			4h15m	8h30m
Cs4K/24p/422 HQ	2h20m	4h40m			3h30m	7h05m
Cs4K/24p/422	3h30m	7h00m			5h15m	10h35m
4K/60p/422 HQ	47m00s	1h35m			1h10m	2h25m
4K/60p/422	1h10m	2h25m			1h45m	3h35m
4K/30p/422 HQ	1h35m	3h10m			2h25m	4h50m
4K/30p/422	2h20m	4h50m			3h35m	7h15m
4K/24p/422 HQ	1h55m	4h00m			3h00m	6h00m
4K/24p/422	2h55m	6h00m			4h30m	9h05m
FHD/60p/422 HQ	3h10m	6h25m	1h10m	2h20m	4h50m	9h40m
FHD/60p/422	4h45m	9h40m	1h50m	3h35m	7h15m	14h35m
FHD/30p/422 HQ	6h20m	12h50m	2h25m	4h45m	9h40m	19h20m
FHD/30p/422	9h30m	19h15m	3h35m	7h05m	14h25m	28h55m
FHD/24p/422 HQ	7h55m	16h05m	3h00m	5h55m	12h05m	24h10m
FHD/24p/422	11h50m	23h55m	4h30m	8h50m	17h55m	36h00m

システム周波数: [50.00Hz(PAL)]						
動画画質	CFexpressカード の容量		SDXCメモリーカード の容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
5.8K/25p/RAW HQ	*				*	
5.8K/25p/RAW						
5.8K/25p/422 HQ	54m00s	1h45m			1h20m	2h40m
5.8K/25p/422	1h20m	2h40m			2h00m	4h05m
3.3K/50p/422 HQ	56m00s	1h50m			1h25m	2h50m
3.3K/50p/422	1h25m	2h50m			2h10m	4h20m
3.3K/25p/422 HQ	1h50m	3h50m			2h50m	5h45m
3.3K/25p/422	2h50m	5h45m			4h20m	8h40m
C4K/50p/RAW HQ	*				*	
C4K/50p/RAW						
C4K/50p/422 HQ	53m00s	1h45m			1h20m	2h40m
C4K/50p/422	1h20m	2h40m			2h00m	4h05m
C4K/25p/RAW HQ	*				*	
C4K/25p/RAW						
C4K/25p/422 HQ	1h45m	3h35m			2h40m	5h25m
C4K/25p/422	2h40m	5h25m			4h05m	8h10m
Cs4K/50p/422 HQ	1h05m	2h15m			1h40m	3h20m
Cs4K/50p/422	1h40m	3h20m			2h30m	5h05m
Cs4K/25p/422 HQ	2h10m	4h30m			3h20m	6h45m
Cs4K/25p/422	3h20m	6h45m			5h05m	10h10m
4K/50p/422 HQ	57m00s	1h55m			1h25m	2h50m
4K/50p/422	1h25m	2h50m			2h10m	4h20m
4K/25p/422 HQ	1h55m	3h50m			2h50m	5h45m
4K/25p/422	2h50m	5h45m			4h20m	8h40m
FHD/50p/422 HQ	3h50m	7h45m	1h25m	2h50m	5h50m	11h40m
FHD/50p/422	5h45m	11h35m	2h10m	4h15m	8h40m	17h25m

FHD/25p/422 HQ	7h35m	15h25m	2h55m	5h40m	11h35m	23h10m
FHD/25p/422	11h20m	23h00m	4h20m	8h30m	17h15m	34h35m

システム周波数:[24.00Hz(CINEMA)]						
動画画質	CFexpressカード の容量		SDXCメモリーカード の容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
5.8K/24p/RAW HQ	*				*	
5.8K/24p/RAW						
5.8K/24p/422 HQ	56m00s	1h50m			1h25m	2h50m
5.8K/24p/422	1h20m	2h50m			2h05m	4h15m
3.3K/24p/422 HQ	1h55m	4h00m			3h00m	6h00m
3.3K/24p/422	2h55m	6h00m			4h30m	9h00m
C4K/24p/RAW HQ	*				*	
C4K/24p/RAW						
C4K/24p/422 HQ	1h50m	3h45m			2h50m	5h40m
C4K/24p/422	2h45m	5h35m			4h15m	8h30m
Cs4K/24p/422 HQ	2h20m	4h40m			3h30m	7h05m
Cs4K/24p/422	3h30m	7h00m			5h15m	10h35m
4K/24p/422 HQ	1h55m	4h00m			3h00m	6h00m
4K/24p/422	2h55m	6h00m			4h30m	9h00m
FHD/24p/422 HQ	7h55m	16h00m	3h00m	5h55m	12h00m	24h05m
FHD/24p/422	11h50m	23h55m	4h30m	8h50m	17h55m	36h00m

* 640 GB で記録を停止します。

640 GB での記録時間の目安

5.8K/30p/RAW HQ: 約20分



- 動画分割記録、ループ記録設定時、SDカードによっては記録可能時間が短くなります。
- 撮影条件、記録メディアの種類により写真撮影枚数、動画記録時間は変動します。
- 写真撮影枚数の残り枚数が10000枚以上の場合、撮影画面に[9999+]と表示されます。
- 動画記録時間の残り時間が100時間以上の場合、撮影画面に[99h59m]と表示されます。
- 画面には、連続して動画を記録できる時間が表示されます。

動画連続記録時間

動画撮影時、周囲の温度が高かったり連続で撮影を行った場合、カメラ内の温度が高温になると本機保護のため、自動で撮影が停止します。

- 動画連続記録時間については、下記サポートサイトもご確認ください。

https://panasonic.jp/support/dsc/info/s1m2es_rec.html

❖ コールドスタート^{*1}からの動画連続記録時間の目安

(A) SDXCメモリーカード

(B) SDXCメモリーカード+CFexpressカード

ファームウェアバージョン1.2以降

更新日: 2025年11月26日

動画記録設定			[動画撮影時の制限緩和]の[動画記録停止温度]			
			標準		高	
			(A)	(B)	(A)	(B)
6K 60p	420/10-L	FULL	約40分 ^{*2}	約30分 ^{*2}	無制限 ^{*3}	約60分 ^{*2}
C4K 60p	422/10-L	APS-C	無制限 ^{*3}	無制限 ^{*3}	無制限 ^{*3}	無制限 ^{*3}
C4K 30p	422/10-L	FULL	無制限 ^{*3}	無制限 ^{*3}	無制限 ^{*3}	無制限 ^{*3}
FHD 60p	422/10-L	FULL	無制限 ^{*3}	無制限 ^{*3}	無制限 ^{*3}	無制限 ^{*3}

- 当社測定条件による撮影時
 - 環境温度(カメラ周囲温度)23℃
 - お買い上げ時のカメラ設定
 - 外部機器接続なし、無線接続なし
 - Nextorage製SDXCメモリーカードおよびNextorage製CFexpress Type Bカード使用

^{*1} カメラの電源がオフ、カメラ内部・外部の温度が23℃の状態ではカメラの電源をオンにして、直ちに動画記録を開始する場合。

^{*2} 使用する環境や条件、カメラの使用状態、動画撮影前の使用状況によっては、表内の時間より短くなることがあります。

^{*3} カメラ内の温度が高温になると、撮影が停止します。

高温になりやすい条件

- 周囲の温度が高いところや直射日光下での使用
- 繰り返し動画を撮影する
- 電源オンの状態で長時間放置し、その後動画を撮影する
- 外部機器(HDMI、USB、Wi-Fi/Bluetooth)接続時
- 以下の機能を使用または設定しているとき
 - [クロップズーム(動画)]
 - [ハイブリッドズーム(動画)]
 - [電子手ブレ補正(動画)]:[強]
 - [フォルスカラー](ファームウェアバージョン1.2以降)

❖ カメラ内温度上昇による停止後の動画記録再開

カメラ内の温度上昇により動画記録が停止した場合、再度、動画記録を開始するには、カメラ内の温度を下げる必要があります。

- カメラの電源を切って、カメラ内の温度を下げることをお勧めします。
- 再開後の動画連続記録時間は、待機時間(カメラの電源を切っていた時間)によって異なります。

初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧

: [設定リセット]で、初期設定に戻る機能

: [カスタムモード登録(写真モード)]／[カスタムモード登録(動画モード)]／[カスタムモード登録(S&Qモード)]で、カスタムモードに設定内容を保存できる機能

: [カメラ設定の保存/読み込み]で、設定内容をコピーできる機能

メニュー		初期設定			
 写真:  画質					
フォトスタイル		 STD.	✓	✓	✓
測光モード			✓	✓	✓
画像横縦比		3:2	✓	✓	✓
記録ファイル形式(写真)		JPEG	✓	✓	✓
JPEG/HEIF切換		JPEG	✓	✓	✓
JPEG/HEIF写真画質		FINE	✓	✓	✓
HEIF形式		SDR	✓	✓	✓
画像サイズ		L	✓	✓	✓
ハイレゾモード設定	手持ち撮影	OFF	✓	✓	✓
	写真画質	連動	✓	✓	✓
	画像サイズ	XL	✓	✓	✓
	通常撮影同時記録	ON	✓	✓	✓
	シャッターディレイ	2秒	✓	✓	✓
	被写体ブレの処理	MODE1	✓	✓	✓
長秒ノイズ除去		ON	✓	✓	✓
Dual Native ISO設定		自動切換	✓	✓	✓
ISO感度設定(写真)	ISOオート下限設定	100	✓	✓	✓
	ISOオート上限設定	AUTO	✓	✓	✓
シンクロスキャン(写真)		OFF	✓	✓	✓
下限シャッター速度		AUTO	✓	✓	✓
iダイナミックレンジ		OFF	✓	✓	✓
周辺光量補正		ON	✓	✓	✓

カラーシェーディング補正		—	✓		✓
回折補正		OFF	✓	✓	✓
フィルター設定	フィルター効果	OFF	✓	✓	✓
	フィルターなし同時記録	OFF	✓	✓	✓
動画撮影時のフリッカー軽減		OFF	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 写真:  フォーカス					
自動認識設定		OFF	✓	✓	✓
自動認識の対象	認識する被写体	人物	✓	✓	✓
	認識モード(人物) 被写体の部位		✓	✓	✓
AFカスタム設定(写真)		設定 1	✓	✓	✓
フォーカスリミッター	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
AF補助光		ON	✓	✓	✓
ピーキング	ON / OFF	ON	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
フォーカス枠の移動速度		高速	✓	✓	✓

メニュー		初期設定				
 写真:  フラッシュ						
フラッシュモード		✓	✓	✓		
発光モード	TTL	✓	✓	✓		
フラッシュ光量調整	±0 EV	✓	✓	✓		
フラッシュシンクロ	先幕	✓	✓	✓		
マニュアル発光量設定	1/1	✓	✓	✓		
露出補正連動	OFF	✓	✓	✓		
ワイヤレスモード	OFF	✓	✓	✓		
ワイヤレスチャンネル	1CH	✓	✓	✓		
ワイヤレスFP	OFF	✓	✓	✓		
ワイヤレス通信光量	強	✓	✓	✓		
ワイヤレス設定	—	✓	✓	✓		

メニュー		初期設定			
 写真:  その他(写真)					
ブラケット	ブラケット種類	OFF	✓	✓	✓
	詳細設定	—	✓	✓	✓
サイレントモード		OFF	✓	✓	✓
ハイブリッドズーム(写真)	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
クロップズーム(写真)	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
手ブレ補正	動作設定		✓	✓	✓
	ボディ/レンズ選択	LENS 	✓	✓	✓
	動作開始設定	半押し	✓	✓	✓
	電子手ブレ補正(動画)	OFF	✓	✓	✓
	手ブレ補正ブースト(動画)	OFF	✓	✓	✓
	アナモフィック(動画)	OFF	✓	✓	✓
	レンズ情報	Lens1	✓		✓
連写設定	連写1設定	H	✓	✓	✓
	連写2設定	SH	✓	✓	✓
	H+/H連写時の動作	速度優先	✓	✓	✓
	SH連写プリ記録時間	0.5秒	✓	✓	✓
シャッター方式		メカシャッター	✓	✓	✓
シャッターディレイ		OFF	✓	✓	✓
インターバル/コマ撮り撮影	撮影方法	インターバル撮影	✓	✓	✓
	撮影間隔設定	ON	✓	✓	✓
	開始時刻	即時開始	✓	✓	✓
	撮影枚数	1	✓	✓	✓
	撮影間隔	1m00s	✓	✓	✓
	露出平滑化	OFF	✓	✓	✓
	撮影開始時のフォルダー作成	—	✓	✓	✓

ライブビューコン ポジット撮影	開始	—			
	シャッターディレイ	OFF	✓	✓	✓
セルフタイマー	 10 /  10 /  2 /  5 ~  10	 10	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
多重露出	開始	—			
	自動ゲイン補正	ON	✓	✓	✓
	再生画像と多重	OFF	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 動画:  画質					
フォトスタイル		 STD.	✓	✓	✓
測光モード			✓	✓	✓
Dual Native ISO 設定		自動切換	✓	✓	✓
ISO 感度設定 (動画)	ISO オート下限設定	100	✓	✓	✓
	ISO オート上限設定	AUTO	✓	✓	✓
シンクロスキャン (動画)		OFF	✓	✓	✓
シャッター速度リミッター		ON	✓	✓	✓
マスターベデスタル		0	✓	✓	✓
SS/ゲイン操作		秒/ISO	✓	✓	✓
iダイナミックレンジ		OFF	✓	✓	✓
周辺光量補正		ON	✓	✓	✓
カラーシェーディング補正		—	✓		✓
回折補正		OFF	✓	✓	✓
フィルター設定	フィルター効果	OFF	✓	✓	✓
	フィルターなし同時記録	OFF	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 動画:  記録					
記録ファイル形式(動画)		[システム周波数]を [59.94Hz(NTSC)]または [50.00Hz(PAL)]に設 定時: MP4	✓	✓	✓
		[システム周波数]を [24.00Hz(CINEMA)]に 設定時: MOV			
動画撮影範囲		FULL	✓	✓	✓
動画画質		[システム周波数]を [59.94Hz(NTSC)]に設 定時: 4K/8bit/100M/ 30p			
		[システム周波数]を [50.00Hz(PAL)]に設定 時: 4K/8bit/100M/25p	✓	✓	✓
		[システム周波数]を [24.00Hz(CINEMA)]に 設定時: 4K/24p/420/ 10-L			
動画画質(マイリスト)		—	✓	✓	✓
プロキシ記録設定	プロキシ記録	OFF	✓	✓	✓
	プロキシ画質	M	✓	✓	✓
	リアルタイムLUT(プロキシ)	OFF	✓	✓	✓
スロー & クイック設定		30fps	✓	✓	✓
タイムコード設定	タイムコード表示	OFF	✓	✓	✓
	カウントアップ方式	レックラン	✓	✓	✓
	タイムコード値設定	—			
	タイムコードモード	DF	✓	✓	✓
	HDMIタイムコード出力	OFF	✓	✓	✓
	外部タイムコード設定	—	✓	✓	✓
輝度レベル設定		16-235	✓	✓	✓
HDMI RAW データ出力		OFF	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 動画:  フォーカス					
自動認識設定		OFF	✓	✓	✓
自動認識の対象	認識する被写体	人物	✓	✓	✓
	認識モード(人物) 被写体の部位		✓	✓	✓
AF カスタム設定 (動画)	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
フォーカスリミッ ター	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
AF 補助光		ON	✓	✓	✓
ピーキング	ON / OFF	ON	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
フォーカス枠の移動速度		高速	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 動画:  音					
録音レベル表示	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
音声入力ミュート		OFF	✓	✓	✓
録音ゲイン切換		標準	✓	✓	✓
録音レベル設定		0dB	✓	✓	✓
録音音質		48kHz/24bit	✓	✓	✓
録音レベルリミッター		ON	✓	✓	✓
風音キャンセラー		標準	✓	✓	✓
風音低減		OFF	✓	✓	✓
マイク端子		MIC↓	✓	✓	✓
専用マイク設定		ステレオ	✓	✓	✓
4chオーディオ記録		OFF	✓	✓	✓
XLRマイクアダプター設定		ON	✓	✓	✓
音声モニタリング		リアルタイム	✓	✓	✓
ヘッドホン音量		LEVEL3	✓		✓
音声モニタチャンネル		CH1/CH2	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 動画:  その他(動画)					
サイレントモード		OFF	✓	✓	✓
ハイブリッドズーム(動画)	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
クロップズーム(動画)	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
手ブレ補正	動作設定		✓	✓	✓
	ボディ/レンズ選択	LENS 	✓	✓	✓
	動作開始設定	常時	✓	✓	✓
	電子手ブレ補正(動画)	OFF	✓	✓	✓
	手ブレ補正ブースト(動画)	OFF	✓	✓	✓
	アナモフィック(動画)	OFF	✓	✓	✓
	レンズ情報	Lens1	✓		✓
セルフタイマー設定	セルフタイマー	 10	✓	✓	✓
	動画時のセルフタイマー	OFF	✓	✓	✓
フォーカストランジション	フォーカス位置設定	—			
	フォーカストランジション速度	M	✓	✓	✓
	フォーカストランジションレック	OFF	✓	✓	✓
	フォーカストランジションウエイト	OFF	✓	✓	✓
ループ記録(動画)		OFF	✓	✓	✓
動画分割記録		OFF	✓	✓	✓
ライブクロップ		OFF	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 カスタム:  画質					
フォトスタイル設定	フォトスタイル表示の制限	—	✓	✓	✓
	マイフォトスタイル設定	—	✓	✓	✓
	フォトスタイルのリセット	—			
LUTライブラリ		—	✓		✓
ISO感度ステップ		1/3 EV	✓	✓	✓
拡張ISO感度		OFF	✓	✓	✓
基準露出レベル調節	マルチ測光	±0 EV	✓	✓	✓
	中央重点	±0 EV	✓	✓	✓
	スポット	±0 EV	✓	✓	✓
	ハイライト重点	±0 EV	✓	✓	✓
マルチ測光時の顔優先		ON	✓	✓	✓
AWBロック設定	シャッター操作時のロック動作	OFF	✓	✓	✓
	Fnボタン操作時のロック維持	ON	✓	✓	✓
色空間		sRGB	✓	✓	✓
露出補正リセット		OFF	✓		✓
写真モードの動画露出自動制御		ON	✓	✓	✓
P/A/S/M時の露出設定	写真の露出設定	モードダイヤル	✓	✓	✓
	動画/S&Qの露出設定	モードダイヤル	✓	✓	✓
写真・動画/S&Q独立設定	絞り値/SS/ISO/露出補正	独立	✓	✓	✓
	ホワイトバランス	独立	✓	✓	✓
	フォトスタイル	独立	✓	✓	✓
	測光モード	独立	✓	✓	✓
	AFモード	独立	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 カスタム:  フォーカス/リリース					
フォーカス/リリース優先	AFS	フォーカス	✓	✓	✓
	AFC	バランス	✓	✓	✓
縦/横位置フォーカス切換		OFF	✓	✓	✓
AF/AEロック維持		OFF	✓	✓	✓
AF+MF		OFF	✓	✓	✓
MFアシスト	フォーカスリング	ON	✓	✓	✓
	AFモード	ON	✓	✓	✓
	ジョイスティックを押す	OFF	✓	✓	✓
	MFアシスト表示	PIP	✓	✓	✓
	全画面拡大時の最大倍率	20倍	✓	✓	✓
MFガイド			✓	✓	✓
フォーカスリングロック		OFF	✓	✓	✓
AFモード表示の制限	追尾	ON	✓	✓	✓
	フルエリア	ON	✓	✓	✓
	ゾーン(横・縦)	ON	✓	✓	✓
	ゾーン	ON	✓	✓	✓
	1点+補助	ON	✓	✓	✓
	ピンポイント	ON	✓	✓	✓
ピンポイントAF設定	ピンポイントAF時間	MID	✓	✓	✓
	ピンポイントAF表示	PIP	✓	✓	✓
AFポイントスコープ設定	拡大表示維持	OFF	✓	✓	✓
	PIP表示	PIP	✓	✓	✓
シャッター半押しAF		ON	✓	✓	✓
合焦時の人物瞳認識表示		ON	✓	✓	✓
シャッター半押しリリース		OFF	✓	✓	✓
シャッター全押し動画記録		ON	✓	✓	✓
クイックAF		OFF	✓	✓	✓
アイセンサーAF		OFF	✓	✓	✓
フォーカス枠のループ移動		OFF	✓	✓	✓

動画ライブビュー	拡大表示維持	ON	✓	✓	✓
拡大表示設定	PIP表示	PIP	✓	✓	✓
動画時のAFS動作		AFC	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 カスタム:  操作					
Q.MENU設定	表示スタイル	MODE1	✓	✓	✓
	前ダイヤルの割当	設定値	✓	✓	✓
	表示項目カスタマイズ(写真モード)	—	✓	✓	✓
	表示項目カスタマイズ(動画/S&Qモード)	—	✓	✓	✓
タッチ設定	タッチパネル	ON	✓	✓	✓
	タッチタブ	OFF	✓	✓	✓
	タッチAF	AF	✓	✓	✓
	タッチパッドAF	OFF	✓	✓	✓

ロックレバー設定	[AF ON] ボタン		✓	✓	✓
	ジョイスティック		✓	✓	✓
	[Q] ボタン		✓	✓	✓
	カーソルボタン／ [MENU/SET] ボタン		✓	✓	✓
	コントロールダイヤル		✓	✓	✓
	[](AFモード) ボタン		✓	✓	✓
	[](再生) ボタン		✓	✓	✓
	タッチパネル		✓	✓	✓
	[](戻る) ボタン／[] (消去) ボタン／Fn ボタン (Fn1)		✓	✓	✓
	[DISP] ボタン		✓	✓	✓
	[ISO] ボタン		✓	✓	✓
	[](露出補正) ボタン		✓	✓	✓
	動画記録ボタン		✓	✓	✓
	後ダイヤル		✓	✓	✓
	[WB] ボタン		✓	✓	✓
	[LVF] ボタン		✓	✓	✓
	サブ動画記録ボタン		✓	✓	✓
	レンズ		✓	✓	✓
	シャッターボタン		✓	✓	✓
	前ダイヤル		✓	✓	✓
Fn ボタン設定	AF ポイントスコープボタ ン／動画ライブビュー拡 大表示ボタン／Fn ボタン (Fn2)		✓	✓	✓
	写真モード時設定	—	✓	✓	✓
	動画/S&Qモード時設定	—	✓	✓	✓
	再生モード時設定	—	✓	✓	✓
WB/ISO/露出補正ボタン		押した後2	✓	✓	✓
ISO感度画面の操作	前/後ダイヤルの割当	/ISO	✓	✓	✓

露出補正画面の操作	上/下ボタンの割当	OFF	✓	✓	✓
	前/後ダイヤルの割当	 / 	✓	✓	✓
ダイヤル設定	F/SSダイヤルの割当	設定1	✓	✓	✓
	F/SSダイヤルの回転	 	✓	✓	✓
	コントロールダイヤルの割当		✓	✓	✓
	露出補正のダイヤル割当	OFF	✓	✓	✓
	ダイヤル動作切換設定	—	✓	✓	✓
	メニュー操作のダイヤル回転	 	✓	✓	✓
ジョイスティック設定		ダイレクトフォーカス	✓	✓	✓
シャッターリモコンの動画ボタン		動画撮影	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 カスタム:  モニター/表示(写真)					
オートレビュー	時間(写真)	OFF	✓	✓	✓
	再生操作優先	OFF	✓	✓	✓
常時プレビュー	ON / OFF	ON	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
ヒストグラム表示		OFF	✓	✓	✓
写真グリッドライン表示		OFF	✓	✓	✓
ライブビューブースト	MODE1 / MODE2 / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	M	✓	✓	✓
ナイトモード	モニター	OFF	✓	✓	✓
	LVF	OFF	✓	✓	✓
LVF/モニター表示設定	LVF表示設定		✓	✓	✓
	モニター表示設定		✓	✓	✓
	モニター左右反転表示	AUTO	✓	✓	✓
	モニター上下反転表示	AUTO	✓	✓	✓
露出メーター		OFF	✓	✓	✓
焦点距離		ON	✓	✓	✓
ハイライト表示		OFF	✓	✓	✓
オーバーレイ表示	ON / OFF	OFF	✓		
	設定	—	✓		
手ブレ状態スコープ		OFF	✓	✓	✓
水準器表示		ON	✓	✓	✓
スポット輝度メーター		OFF	✓	✓	✓
ライブビュー境界線表示		OFF	✓	✓	✓
撮影画面の遷移(モニター)	コントロールパネル	ON	✓	✓	✓
	消灯画面	ON	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 カスタム:  モニター/表示(動画)					
Logビューアシスト	LUT選択(V-Log)	Vlog_709	✓	✓	✓
	LUTビューアシスト(モニター)	OFF	✓	✓	✓
	LUTビューアシスト(HDMI)	OFF	✓	✓	✓
HLGビューアシスト	モニター	MODE2	✓	✓	✓
	HDMI	AUTO	✓	✓	✓
アナモフィック デスクイーズ表示		OFF	✓	✓	✓
モノクロライブビュー		OFF	✓	✓	✓
センターマーカ表示		OFF	✓	✓	✓
セーフティーゾーンマーカ表示		OFF	✓	✓	✓
フレーム表示	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
ゼブラパターン表示	ゼブラ 1 / ゼブラ 2 / ゼブラ 1+2 / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
フォルスカラー	開始	—	✓	✓	✓
	フォルスカラーインデックス	—	✓	✓	✓
WFM/ ベクトルスコープ表示		OFF	✓	✓	✓
カラーバー		SMPTE	✓	✓	✓
動画記録中の赤枠表示		OFF	✓	✓	✓
ストリーミングの青枠表示		OFF	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 カスタム:  IN/OUT					
撮影時HDMI出力	情報表示	ON	✓	✓	✓
	ダウンコンバート	AUTO	✓	✓	✓
	HDMI記録制御	OFF	✓	✓	✓
	HDMI音声出力	ON	✓	✓	✓
	ライブビュー拡大表示	OFF	✓	✓	✓
ファン動作モード		AUTO2	✓	✓	✓
タリーランプ設定	フロントタリーランプ	H	✓	✓	✓
	リアタリーランプ	L	✓	✓	✓
	リアカードアクセスランプ	L	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 カスタム:  レンズ/その他					
レンズ位置メモリー		OFF	✓	✓	✓
レンズFnボタン設定	写真モード時設定	フォーカスストップ	✓	✓	✓
	動画/S&Qモード時設定	写真モード時設定に連動	✓	✓	✓
AF時フォーカスリング設定	割り当て機能	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
MF時フォーカスリング設定	フォーカスリング制御	ノンリニア	✓	✓	✓
	リング回転方向		✓	✓	✓
AF微調整		OFF	✓	✓ ^{*1}	✓ ^{*2}
レンズ情報		Lens1	✓		✓
レンズ情報確認表示		ON	✓	✓	✓
動画の縦位置情報		ON	✓	✓	✓

*1 ピント位置の調整値は登録できません。

*2 カメラ設定の保存を行ったカメラと異なるカメラでは設定情報の読み込みはできません。

メニュー		初期設定			
 セットアップ:  カード/ファイル					
フォーマット		—			
ダブルスロット機能	記録方法		✓		✓
	記録先スロット	1 → 2	✓		✓
USB-SSD		OFF	✓		
フォルダー/ファイル設定	フォルダー選択	—			
	新規フォルダー作成	—			
	ファイル名設定	フォルダー番号連動	✓		✓
ファイル番号リセット		—			
著作権情報	撮影者	OFF	✓		✓
	著作権者	OFF	✓		✓
	著作権情報の表示	—			

メニュー		初期設定			
 セットアップ:  モニター/表示					
エコモード	スリープモード	1分	✓		✓
	スリープモード(Wi-Fi)	ON	✓		✓
	LVF/モニター自動OFF	1分	✓		✓
	省電力ファインダー撮影	—	✓		✓
	動画時のAF動作	常時	✓		✓
動画撮影時の制限緩和	動画記録停止温度	標準	✓		✓
モニター表示速度		30fps	✓		✓
LVF表示速度		60fps	✓		✓
モニター調整／LVF調整		—	✓		
モニター輝度／LVF輝度		AUTO	✓		✓
アイセンサー	感度	強	✓		✓
	LVF/モニター切換	LVF/MON AUTO	✓		✓
水準器調整	調整	—	✓		
	調整値リセット	—			

メニュー		初期設定			
 セットアップ:  IN/OUT					
電子音	電子音音量		✓		✓
	合焦音音量		✓		✓
	合焦音音色		✓		✓
	電子シャッター音音量		✓		✓
	電子シャッター音音色		✓		✓
ヘッドホン音量		LEVEL3	✓		✓
音声モニタチャンネル(再生時)		撮影連動	✓	✓	✓
ストリーミング	ストリーミング機能	OFF			
	接続方法	Wi-Fi	✓		✓
	ストリーミング設定	—	✓		✓ ^{*3}
有線LAN/Wi-Fi		—	✓		✓ ^{*4}
Bluetooth		—	✓		
Frame.io	Frame.io接続	OFF	✓		
	Frame.ioに画像を送る	—			
	接続設定	—	✓		
	アップロード設定	—	✓		
USB	USBモード	 接続時に選択	✓		✓
	USB給電	ON	✓		✓
	Tether接続(USBイーサネットアダプター)	OFF	✓		✓
	Webカメラ画質	[システム周波数]を [59.94Hz(NTSC)]に設定時:FHD/30p	✓		✓
		[システム周波数]を [50.00Hz(PAL)]に設定時:FHD/25p	✓		✓

HDMI接続設定	出力解像度(再生時)	AUTO	✓		✓
	LUTビューアシスト(HDMI)	OFF	✓	✓	✓
	HLGビューアシスト(HDMI)	AUTO	✓	✓	✓
	ピエラリンク	OFF	✓		✓
	画像背景色(再生時)		✓		✓
	写真出力輝度レベル	16-255	✓		✓
NETWORK接続ランプ		ON	✓		✓

*3 [配信画質]の設定を保存します。

*4 [有線LAN/Wi-Fi]の[IP アドレス設定(有線LAN)]の設定を保存します。
ただし、[固定IP アドレス設定]で設定したIPアドレスは保存されません。

メニュー		初期設定			
 セットアップ:  設定					
カスタムモード登録(写真モード)／カスタムモード登録(動画モード)／カスタムモード登録(S&Qモード)		—	✓		✓
カスタムモード内容の呼出(写真モード)／カスタムモード内容の呼出(動画モード)／カスタムモード内容の呼出(S&Qモード)		—	✓		✓
カスタムモード設定	カスタムモード表示の制限	3	✓		✓
	名称変更	—	✓		✓
	登録内容の呼出タイミング	—	✓		✓
	カスタムモードの呼出範囲	—	✓		✓
カメラ設定の保存／読み込み	保存	—			
	読み込み	—			
	消去	—			
	カードフォーマット時に保持	OFF	✓		✓
設定リセット		—			

メニュー	初期設定			
 セットアップ:  その他				
時計設定	2025. 1. 1. 0:00:00			
タイムゾーン	GMT + 9:00			✓
システム周波数	59.94Hz(NTSC)	✓		✓
ピクセルリフレッシュ	—			
電源OFF時のシャッター動作	開く	✓		✓
センサークリーニング	—			
言語設定	日本語	✓		✓
バージョン表示	—			
CLUB Panasonic 登録	—			
認証情報	—			
ルート証明書	—			

メニュー	初期設定			
 マイメニュー:  マイメニュー編集				
登録	—	✓		✓
並べ換え	—			
消去	—			
マイメニューから表示	OFF	✓		✓

メニュー	初期設定			
 再生:  表示方法				
再生モード	通常再生	✓		✓
スライドショー	—	✓		✓
縦位置自動回転	ON	✓		✓
画像表示順	撮影日時	✓		✓
AF 位置から拡大	OFF	✓		✓
LUTビューアシスト(モニター)	OFF	✓	✓	✓
HLGビューアシスト(モニター)	MODE2	✓	✓	✓
アナモフィック デスクイーズ表示	OFF	✓	✓	✓
動画再生後の動作	再生終了	✓		✓

メニュー	初期設定			
 再生:  画像の加工				
RAW 現像	—			
HEIF→JPEG変換	—			
インターバル動画作成	—			
コマ撮りアニメ作成	—			

メニュー	初期設定			
 再生:  情報の付与・削除				
プロテクト	—			
レーティング	—			

メニュー	初期設定			
 再生:  画像の編集				
リサイズ(縮小)	—			
画像回転	—			
動画分割	—			
画像コピー	—			
動画修復	—			

メニュー	初期設定			
 再生:  その他				
消去確認画面	「いいえ」がはじめ	✓		✓
全画像消去	—			

各撮影モードで設定できる機能一覧

メニュー		iA	P	A	S	M
写真: 画質						
フォトスタイル		✓	✓	✓	✓	✓
測光モード			✓	✓	✓	✓
画像横縦比		✓	✓	✓	✓	✓
記録ファイル形式(写真)		✓	✓	✓	✓	✓
JPEG/HEIF 切換		✓	✓	✓	✓	✓
JPEG/HEIF 写真画質		✓	✓	✓	✓	✓
HEIF 形式			✓	✓	✓	✓
画像サイズ		✓	✓	✓	✓	✓
ハイレゾモード設定	手持ち撮影		✓	✓	✓	✓
	写真画質		✓	✓	✓	✓
	画像サイズ		✓	✓	✓	✓
	通常撮影同時記録		✓	✓	✓	✓
	シャッターディレイ		✓	✓	✓	✓
	被写体ブレの処理		✓	✓	✓	✓
長秒ノイズ除去			✓	✓	✓	✓
Dual Native ISO 設定			✓	✓	✓	✓
ISO 感度設定(写真)	ISO オート下限設定		✓	✓	✓	✓
	ISO オート上限設定		✓	✓	✓	✓
シンクロスキャン(写真)					✓	✓
下限シャッター速度			✓	✓		
iダイナミックレンジ			✓	✓	✓	✓
周辺光量補正			✓	✓	✓	✓
カラーシェーディング補正			✓	✓	✓	✓
回折補正			✓	✓	✓	✓
フィルター設定	フィルター効果		✓	✓	✓	✓
	フィルターなし同時記録		✓	✓	✓	✓
動画撮影時のフリッカー軽減			✓	✓	✓	✓

メニュー		iA	P	A	S	M
 写真:  フォーカス						
自動認識設定			✓	✓	✓	✓
自動認識の対象	認識する被写体		✓	✓	✓	✓
	認識モード(人物) 被写体の部位		✓	✓	✓	✓
AFカスタム設定(写真)			✓	✓	✓	✓
フォーカスリミッター		✓	✓	✓	✓	✓
AF補助光			✓	✓	✓	✓
ピーキング		✓	✓	✓	✓	✓
フォーカス枠の移動速度		✓	✓	✓	✓	✓

メニュー		iA	P	A	S	M
 写真:  フラッシュ						
フラッシュモード		✓	✓	✓	✓	✓
発光モード			✓	✓	✓	✓
フラッシュ光量調整			✓	✓	✓	✓
フラッシュシンクロ			✓	✓	✓	✓
マニュアル発光量設定			✓	✓	✓	✓
露出補正連動			✓	✓	✓	✓
ワイヤレスモード			✓	✓	✓	✓
ワイヤレスチャンネル			✓	✓	✓	✓
ワイヤレスFP			✓	✓	✓	✓
ワイヤレス通信光量			✓	✓	✓	✓
ワイヤレス設定			✓	✓	✓	✓

メニュー		iA	P	A	S	M
写真: その他(写真)						
ブラケット	ブラケット種類	✓	✓	✓	✓	✓
	詳細設定	✓	✓	✓	✓	✓
サイレントモード		✓	✓	✓	✓	✓
ハイブリッドズーム(写真)		✓	✓	✓	✓	✓
クロップズーム(写真)		✓	✓	✓	✓	✓
手ブレ補正	動作設定	✓	✓	✓	✓	✓
	ボディ/レンズ選択	✓	✓	✓	✓	✓
	動作開始設定	✓	✓	✓	✓	✓
	電子手ブレ補正(動画)	✓	✓	✓	✓	✓
	手ブレ補正ブースト(動画)	✓	✓	✓	✓	✓
	アナモフィック(動画)	✓	✓	✓	✓	✓
	レンズ情報	✓	✓	✓	✓	✓
連写設定	連写1設定	✓	✓	✓	✓	✓
	連写2設定	✓	✓	✓	✓	✓
	H+/H連写時の動作	✓	✓	✓	✓	✓
	SH連写プリ記録時間	✓	✓	✓	✓	✓
シャッター方式		✓	✓	✓	✓	✓
シャッターディレイ		✓	✓	✓	✓	✓
インターバル/コマ撮り撮影		✓	✓	✓	✓	✓
ライブビューコンポジション撮影	開始					✓
	シャッターディレイ					✓
セルフタイマー		✓	✓	✓	✓	✓
多重露出	開始		✓	✓	✓	✓
	自動ゲイン補正		✓	✓	✓	✓
	再生画像と多重		✓	✓	✓	✓

メニュー		iA	P	A	S	M
 動画:  画質						
フォトスタイル		✓	✓	✓	✓	✓
測光モード			✓	✓	✓	✓
Dual Native ISO 設定			✓	✓	✓	✓
ISO 感度設定 (動画)	ISO オート下限設定		✓	✓	✓	✓
	ISO オート上限設定		✓	✓	✓	✓
シンクロスキャン (動画)			✓	✓	✓	✓
シャッター速度リミッター		✓	✓	✓	✓	✓
マスターベデスタル			✓	✓	✓	✓
SS/ゲイン操作			✓	✓	✓	✓
iダイナミックレンジ			✓	✓	✓	✓
周辺光量補正			✓	✓	✓	✓
カラーシェーディング補正			✓	✓	✓	✓
回折補正			✓	✓	✓	✓
フィルター設定	フィルター効果		✓	✓	✓	✓
	フィルターなし同時記録		✓	✓	✓	✓

メニュー		iA	P	A	S	M
 動画:  記録						
記録ファイル形式(動画)		✓	✓	✓	✓	✓
動画撮影範囲		✓	✓	✓	✓	✓
動画画質		✓	✓	✓	✓	✓
動画画質(マイリスト)		✓	✓	✓	✓	✓
プロキシ記録設定	プロキシ記録	✓	✓	✓	✓	✓
	プロキシ画質	✓	✓	✓	✓	✓
	リアルタイムLUT(プロキシ)	✓	✓	✓	✓	✓
スロー & クイック設定		✓	✓	✓	✓	✓
タイムコード設定	タイムコード表示	✓	✓	✓	✓	✓
	カウントアップ方式	✓	✓	✓	✓	✓
	タイムコード値設定	✓	✓	✓	✓	✓
	タイムコードモード	✓	✓	✓	✓	✓
	HDMIタイムコード出力	✓	✓	✓	✓	✓
	外部タイムコード設定	✓	✓	✓	✓	✓
輝度レベル設定		✓	✓	✓	✓	✓
HDMI RAWデータ出力			✓	✓	✓	✓

メニュー		iA	P	A	S	M
 動画:  フォーカス						
自動認識設定			✓	✓	✓	✓
自動認識の対象	認識する被写体		✓	✓	✓	✓
	認識モード(人物)		✓	✓	✓	✓
	被写体の部位					
AFカスタム設定(動画)		✓	✓	✓	✓	✓
フォーカスリミッター		✓	✓	✓	✓	✓
AF補助光			✓	✓	✓	✓
ピーキング		✓	✓	✓	✓	✓
フォーカス枠の移動速度		✓	✓	✓	✓	✓

メニュー	iA	P	A	S	M
 動画:  音					
録音レベル表示	✓	✓	✓	✓	✓
音声入力ミュート	✓	✓	✓	✓	✓
録音ゲイン切換	✓	✓	✓	✓	✓
録音レベル設定	✓	✓	✓	✓	✓
録音音質	✓	✓	✓	✓	✓
録音レベルリミッター	✓	✓	✓	✓	✓
風音キャンセラー	✓	✓	✓	✓	✓
風音低減	✓	✓	✓	✓	✓
マイク端子	✓	✓	✓	✓	✓
専用マイク設定	✓	✓	✓	✓	✓
4chオーディオ記録	✓	✓	✓	✓	✓
XLRマイクアダプター設定	✓	✓	✓	✓	✓
音声モニタリング	✓	✓	✓	✓	✓
ヘッドホン音量	✓	✓	✓	✓	✓
音声モニタチャンネル	✓	✓	✓	✓	✓

メニュー		iA	P	A	S	M
 動画:  その他(動画)						
サイレントモード		✓	✓	✓	✓	✓
ハイブリッドズーム(動画)		✓	✓	✓	✓	✓
クロップズーム(動画)		✓	✓	✓	✓	✓
手ブレ補正	動作設定	✓	✓	✓	✓	✓
	ボディ/レンズ選択	✓	✓	✓	✓	✓
	動作開始設定	✓	✓	✓	✓	✓
	電子手ブレ補正(動画)	✓	✓	✓	✓	✓
	手ブレ補正ブースト(動画)	✓	✓	✓	✓	✓
	アナモフィック(動画)	✓	✓	✓	✓	✓
	レンズ情報	✓	✓	✓	✓	✓
セルフタイマー設定	セルフタイマー	✓	✓	✓	✓	✓
	動画時のセルフタイマー	✓	✓	✓	✓	✓
フォーカストランジション			✓	✓	✓	✓
ループ記録(動画)			✓	✓	✓	✓
動画分割記録		✓	✓	✓	✓	✓
ライブクロップ			✓	✓	✓	✓

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源

9.0 V===

消費電力

4.7 W(モニター撮影時)、3.8 W(モニター再生時)[交換レンズ(S-R24105)使用時]

型式

- 型式

レンズ交換式デジタル一眼カメラ

- レンズマウント

ライカカメラ社 L-Mount

- 記録メディア

カードスロット1: CFexpress Type Bカード

カードスロット2: SDメモリーカード／SDHCメモリーカード*1／SDXCメモリーカード*1

*1 UHS-I／UHS-II UHS Speed Class 3対応、UHS-II Video Speed Class 90対応
ダブルスロット記録機能あり

撮像素子

- 撮像素子

35 mmフルサイズ(35.6 mm×23.8 mm)CMOSセンサー、総画素数 約2530万画素、
原色カラーフィルター

- カメラ有効画素数

約2420万画素

ラチチュード

14+ストップ(V-Log)

静止画記録形式

● 静止画ファイル形式

JPEG (DCF 準拠、Exif 3.0 準拠) / HEIF / RAW

● 画像サイズ(画素)

画像横縦比 [4:3] 設定時

L: 5328×4000 (3536×2656)*²

M: 3792×2848 (2560×1920)*²

S: 2688×2016 (1840×1376)*²

XS: 1712×1280 (1712×1280)*²

ハイレゾモード(XL): 10656×8000

ハイレゾモード(LL): 7552×5664

画像横縦比 [3:2] 設定時

L: 6000×4000 (3984×2656)*²

M: 4272×2848 (2880×1920)*²

S: 3024×2016 (2064×1376)*²

XS: 1920×1280 (1920×1280)*²

ハイレゾモード(XL): 12000×8000

ハイレゾモード(LL): 8496×5664

画像横縦比 [16:9] 設定時

L: 6000×3368 (3984×2240)*²

M: 4272×2400 (2880×1624)*²

S: 3024×1704 (2064×1160)*²

XS: 1920×1080 (1920×1080)*²

ハイレゾモード(XL): 12000×6736

ハイレゾモード(LL): 8496×4784

画像横縦比 [1:1] 設定時

L: 4000×4000 (2656×2656)*²

M: 2848×2848 (1920×1920)*²

S: 2016×2016 (1376×1376)*²

XS: 1280×1280 (1280×1280)*²

ハイレゾモード(XL): 8000×8000

ハイレゾモード(LL): 5664×5664

画像横縦比[65:24]設定時

L:6000×2208

画像横縦比[2:1]設定時

L:6000×3000

*2 ()内はAPS-C用レンズ使用時

● **画像サイズ(画素)(HLG方式)**

画像横縦比[4:3]設定時

L:5328×4000

M:3792×2848

S:2688×2016

XS:1712×1280

画像横縦比[3:2]設定時

L:6000×4000

M:4272×2848

S:3024×2016

XS:1920×1280

画像横縦比[16:9]設定時

L:6000×3368

M:4272×2400

S:3024×1704

XS:1920×1080

画像横縦比[1:1]設定時

L:4000×4000

M:2848×2848

S:2016×2016

XS:1280×1280

画像横縦比[65:24]設定時

L:6000×2208

画像横縦比[2:1]設定時

L:6000×3000

- 写真画質

ファイン／スタンダード

動画記録形式

- 動画フォーマット

MP4 (H.264/MPEG-4 AVC、H.265/HEVC)

MOV (H.264/MPEG-4 AVC、H.265/HEVC、Apple ProRes、Apple ProRes RAW)

- 音声圧縮形式

4ch オーディオ記録「OFF」選択時

MP4 リニア形式: AAC (ステレオ 2ch 48 kHz/16 bit)

MOV リニア形式: LPCM (ステレオ 2ch 48 kHz/24 bit、96 kHz/24 bit)^{*3}

フロート形式: LPCM (ステレオ 2ch 48 kHz/32 bit、96 kHz/32 bit)^{*4}

4ch オーディオ記録「XLR」選択時

MOV リニア形式: LPCM (モノラル 4ch 48 kHz/24 bit)^{*4}

フロート形式: LPCM (モノラル 4ch 48 kHz/32 bit)^{*4}

4ch オーディオ記録「XLR+カメラ」選択時

MOV リニア形式: LPCM (モノラル 4ch 48 kHz/24 bit、96 kHz/24 bit)^{*3, 4}

^{*3} 内蔵マイク使用時は 48 kHz のみ対応

^{*4} XLR マイクロホンアダプター DMW-XLR2 装着時

- システム周波数

59.94 Hz / 50.00 Hz / 24.00 Hz

- 動画画質

解像度や記録フレームレートなど、動画画質については「[動画画質](#)」のページをお読みください。(→ [動画画質: 150](#))

- **S&Q(スロー & クイック)**

スロー&クイック動画を撮影できる動画画質や、フレームレートの組み合わせと再生速度については「[スロー & クイック動画](#)」のページをお読みください。(→ [スロー & クイック動画: 460](#))

ファインダー

- **形式**

アスペクト比 4:3、0.5型、約576万ドット、有機EL(OLED)ライブビューファインダー

- **視野率**

約100 %

- **倍率**

約0.78倍(−1.0 m^{−1} 50 mm無限遠時、画像横縦比[3:2]設定時)

- **アイポイント**

約21 mm(−1.0 m^{−1}時)

- **視度調整範囲**

−4.0〜+2.0 diopter

- **アイセンサー**

あり

モニター

- **形式**

アスペクト比 3:2、3.0型、約184万ドットモニター、静電容量方式タッチパネル

- **視野率**

約100 %

フォーカス

- **AF方式**

映像検出によるTTL方式(像面位相差AF/コントラストAF)

- **フォーカスモード**

AFS/AFC/MF

- **AFモード**

追尾^{*5}/フルエリア^{*5}/ゾーン(横・縦)^{*5}/ゾーン^{*5}/1点+補助^{*5}/1点^{*5}/ピンポイント

タッチおよびジョイスティックによるフォーカスエリア選択可能

^{*5} 自動認識(人物/動物/車/バイク・自転車/列車/飛行機)のON/OFF切り換え可能

- **AF微調整**

対応(全て/個別)

露出制御

- **測光方式、測光モード**

1728分割測光、マルチ測光/中央重点測光/スポット測光/ハイライト重点測光

- **測光範囲**

EV 0～EV 18(F2.0レンズ、ISO100換算)

- **露出**

プログラムAE(P)/絞り優先AE(A)/シャッター優先AE(S)/マニュアル露出(M)

- **露出補正**

1/3 EVステップ、±5 EV

- **静止画時ISO感度(標準出力感度)**

通常:オート/50^{*6}/100～51200/102400^{*6}/204800^{*6}

V-Log:オート/320^{*6}/640～51200

^{*6} [拡張ISO感度]設定時

• 1/3、1 EVステップ切り換え可能

● 動画時ISO感度(標準出力感度)

通常:オート/50^{*7}/100~51200/102400^{*7}/204800^{*7}

V-Log:オート/320^{*7}/640~51200

HLG:オート/400~51200/102400^{*7}/204800^{*7}

*7 [拡張ISO感度]設定時

- 1/3、1 EVステップ切り換え可能

● Dual Native ISO

通常:

[自動切換]:ベース感度 100 / 640(dB表示値は100を基準とする)

オート/50^{*8}/100~51200/102400^{*8}/204800^{*8}

[低感度]:ベース感度 100

オート/50^{*8}/100~800

[高感度]:ベース感度 640

オート/320^{*8}/640~51200/102400^{*8}/204800^{*8}

V-Log:

[自動切換]:ベース感度 640 / 4000 (dB表示値は640を基準とする)

オート / 320^{*8} / 640 ~ 51200

[低感度]:ベース感度 640

オート / 320^{*8} / 640 ~ 5000

[高感度]:ベース感度 4000

オート / 2000^{*8} / 4000 ~ 51200

HLG:

[自動切換]:ベース感度 400 / 2500 (dB表示値は400を基準とする)

オート / 400 ~ 51200 / 102400^{*8} / 204800^{*8}

[低感度]:ベース感度 400

オート / 400 ~ 3200

[高感度]:ベース感度 2500

オート / 2500 ~ 51200 / 102400^{*8} / 204800^{*8}

シネライク A2 / D2 / V2:

[自動切換]: ベース感度 200 / 1250 (dB表示値は200を基準とする)

オート / 100^{*8} / 200 ~ 51200 / 102400^{*8} / 204800^{*8}

[低感度]: ベース感度 200

オート / 100^{*8} / 200 ~ 1600

[高感度]: ベース感度 1250

オート / 640^{*8} / 1250 ~ 51200 / 102400^{*8} / 204800^{*8}

*8 [拡張ISO感度]設定時

手ブレ補正

- **手ブレ補正方式**

撮像素子シフト方式、5軸補正、Dual I.S.2対応

ホワイトバランス

- **ホワイトバランスモード**

AWB / AWBc / AWBw / 晴天 / 曇り / 日陰 / 白熱灯 / フラッシュ / セットモード

1・2・3・4 / 色温度 1・2・3・4

AWB ロック対応

シャッター

- **形式**

フォーカルプレーンシャッター

- **シャッター速度**

静止画:

メカシャッター: バルブ (最大約 30 分)、60 ~ 1/8000 秒

電子先幕: バルブ (最大約 30 分)、60 ~ 1/2000 秒

電子シャッター:

バルブ (最大約 60 秒)、60 ~ 1/8000 秒

動画:

1/25^{*9} ~ 1/16000 秒

*9 [シャッター速度リミッター]を[OFF]にして、動画モードで露出設定を[M]、フォーカスモードを[MF]に設定時は、1/2 秒まで設定可能

- **フラッシュ同調速度**

1/250 秒以下

連写撮影

● メカシャッター／電子先幕

H+: 7コマ/秒(AFC) ([H+/H連写時の動作]: [画質優先])

H+: 10コマ/秒(AFC) ([H+/H連写時の動作]: [速度優先])

H: 7コマ/秒(AFS、MF)／6コマ/秒(AFC) ([H+/H連写時の動作]: [画質優先])

H: 10コマ/秒(AFS、MF)／8コマ/秒(AFC) ([H+/H連写時の動作]: [速度優先])

M: 5コマ/秒(AFS、AFC、MF)

L: 2コマ/秒(AFS、AFC、MF)

● 電子シャッター

SH: 30コマ/秒(AFS、AFC、MF)

SH PRE: 30コマ/秒(AFS、AFC、MF)

H+: 7コマ/秒(AFC) ([H+/H連写時の動作]: [画質優先])

H+: 10コマ/秒(AFC) ([H+/H連写時の動作]: [速度優先])

H: 7コマ/秒(AFS、MF)／6コマ/秒(AFC) ([H+/H連写時の動作]: [画質優先])

H: 10コマ/秒(AFS、MF)／8コマ/秒(AFC) ([H+/H連写時の動作]: [速度優先])

M: 5コマ/秒(AFS、AFC、MF)

L: 2コマ/秒(AFS、AFC、MF)

● 最大撮影可能コマ数(SH連写)

JPEG連写／RAW+JPEG連写／RAW連写: 180コマ

HEIF連写／RAW+HEIF連写: 170コマ

● 最大撮影可能コマ数(H+、H、M、L)

JPEG連写: 300コマ以上^{*10}

RAW+JPEG連写／RAW連写: 200コマ以上^{*10}

HEIF連写: 180コマ以上^{*10}

RAW+HEIF連写: 160コマ以上^{*10}

^{*10} Nextorage製UHS-II UHS Speed Class 3対応SDXCメモリーカード使用時
(当社測定条件による撮影時)

ズーム

- **ハイブリッドズーム(写真)／クロップズーム(写真)**
最大 約3.1 倍(下限画像サイズ:[XS] 選択時)
- **ハイブリッドズーム(動画)／クロップズーム(動画)**
最大 約3.1 倍(動画画質:FHD 動画選択時)
最大 約2.1 倍(動画画質:FHD 動画選択時／APS-C 用レンズ使用時)

表示言語切り換え

[日本語]/[ENGLISH](英語)/[简体中文](簡体字中国語)/[繁體中文](繁体字中国語)/[한국어](韓国語)

マイク／スピーカー

- **マイク**
ステレオ
- **スピーカー**
モノラル

インターフェース

- **USB**

USB Type-C®、USB 10Gbps

USB Power Delivery対応(9.0 V / 3.0 A)

出力: DC 5 V、900 mA

- **HDMI**

HDMI Type A

- **[REMOTE]**

Ø2.5 mmジャック

- **[MIC]**

Ø3.5 mmステレオミニジャック

マイク入力 Plug-in Power / マイク入力 / ライン入力(メニューによる切り換え)

入力基準レベル: -55 dBV(マイク入力) / -10 dBV(ライン入力)

- **ヘッドホン**

Ø3.5 mmステレオミニジャック

防じん防滴

あり

HDMI動画RAWデータ出力

対応

外付けSSD記録

対応

ストリーミング

- 無線IPストリーミング

対応プロトコル:RTMP / RTMPS

- スマートデバイスとのUSBテザリング

対応プロトコル:RTMP / RTMPS

外形寸法／質量

- 外形寸法

約 幅 134.3 mm×高さ 102.3 mm×奥行き 91.8 mm (突起部除く)

- 質量

約 795 g (本体、バッテリー、SDメモリーカード1枚含む)

約 712 g (本体のみ)

動作環境

- 推奨使用温度

-10℃～40℃

- 低温(-10℃～0℃)では、一時的にバッテリーの性能が低下し、撮影可能枚数、撮影可能時間が減少します。

- 許容相対湿度

10%RH～80%RH

Wi-Fi

- 準拠規格

IEEE 802.11a/b/g/n/ac(無線LAN標準プロトコル)

- 使用周波数範囲(中心周波数)

2412 MHz～2472 MHz(1～13ch)

5180 MHz～5320 MHz(36 / 40 / 44 / 48 / 52 / 56 / 60 / 64ch)

5500 MHz～5720 MHz(100 / 104 / 108 / 112 / 116 / 120 / 124 / 128 / 132 / 136 / 140 / 144ch)

- 暗号化方式

WPA™ / WPA2™ / WPA3™、Wi-Fi準拠

- アクセス方式

インフラストラクチャーモード

Bluetooth

- 準拠規格

Bluetooth v5.0、Bluetooth Low Energy (BLE)

- 使用周波数範囲(中心周波数)

2402 MHz～2480 MHz

専用バッテリーチャージャー: DVLC1005Z

入力

9.0 V $\equiv$ 3.0 A

5.0 V $\equiv$ 1.8 A

出力

8.4 V $\equiv$ 1.2 A

8.4 V $\equiv$ 0.85 A

使用温度

0℃～40℃

リチウムイオンバッテリーパック: DMW-BLK22

電圧／容量

7.2 V／2200 mAh

本製品(付属品を含む)に表示の記号は以下を示しています。

$\equiv$ DC(直流)

 高温表面

35 mm フルサイズ用交換レンズ:S-R24105(LUMIX S 24-105mm F4 MACRO O.I.S.)

- マウント

ライカカメラ社 L-Mount

- 焦点距離

f=24 mm～105 mm

- レンズ構成

13群16枚(非球面EDレンズ2枚、非球面レンズ2枚、UEDレンズ1枚、EDレンズ2枚)

- 絞り形式

9枚羽根 円形虹彩絞り

- 開放絞り

F4.0

- 最小絞り値

F22

- 画角

84°(W端時)～23°(T端時)

- 撮影範囲

0.30 m～∞(撮像面から)

- 最大撮影倍率

0.5×

- 手ブレ補正

あり

- フィルター径

77 mm

- 最大径

Ø84 mm

- **全長**

約 118 mm (レンズ先端からレンズマウント基準面まで)

- **質量**

約 680 g

- **防じん防滴**

あり

- **推奨使用温度**

-10℃～40℃

- **許容相対湿度**

10 %RH～80 %RH

商標、ライセンス

- L-Mountはライカカメラ社の登録商標です。
- “Nextorage”はNextorage株式会社の登録商標または商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。



- USB Type-C® およびUSB-C® はUSB Implementers Forumの登録商標です。

- QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。



- HDAVI Control™は商標です。
- Adobeは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Frame.io、Frame.ioロゴおよびCamera to Cloudは、Adobeの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Final Cut Pro、Mac、macOS、ProResは、米国Apple Inc.の米国、および各国における商標、または登録商標です。
- App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- Google、Android、Google Play は Google LLC の商標です。

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニックホールディングス株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- “Wi-Fi®”は“Wi-Fi Alliance®”の登録商標です。
- “WPA™”、“WPA2™”、“WPA3™”は“Wi-Fi Alliance®”の商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- “ATOMOS”、“ATOMOS NINJA”、“SHOGUN”、“ATOMOS SHOGUN” および“ULTRASYNBLUE”は、Atomos Limitedの登録商標です。
- 「Blackmagic Design」は、Blackmagic Design Pty. Ltd.の登録商標です。
- Samsungは、Samsung Electronics Co., Ltd.の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。



本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニックが独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0(GPL V2.0)に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1)に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記(3)～(5)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、[MENU/SET]→[セットアップ]→[その他]→[バージョン表示]→[ソフト情報]で表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0またはLGPL V2.1に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口: oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<https://docs.connect.panasonic.com/oss/>

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。

詳細についてはMPEG LA, L.L.C. ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	(	)	—
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」(→メッセージ表示:808)「Q&A 故障かな?と思ったら」(→Q&A 故障かな?と思ったら:811)でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。付属品や別売品のアクセサリーと組み合わせての現象で修理を依頼される場合は、該当の付属品やアクセサリーも一緒に修理をご依頼ください。

製品名	デジタルカメラ／レンズキット／ボディ
品 番	☐ DC-S1M2ESM ☐ DC-S1M2ES  お買い上げの品番に記入してください。
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

保証書は日本国内においてのみ有効です。

The warranty is valid only in Japan.

保証書承諾内容, 仅限于产品在日本国内使用时有效。

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料:診断・修理・調整・点検などの費用

部品代:部品および補助材料代

出張料:技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間:8年

当社は、このデジタルカメラ／レンズキット／ボディの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

サポート総合窓口

<https://panasonic.jp/support>

LUMIX(ルミックス)・ムービー 使い方・お手入れなどのご相談窓口

フリーダイヤル	0120-878-638 受付時間 9:00 ～ 18:00 月～土曜日(祝日・正月三が日を除く) 上記電話番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187 FAX フリーダイヤル 0120-878-236
Help desk for foreign residents in Japan	Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00 – 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談窓口

フリーダイヤル	0120-878-554 上記電話番号がご利用いただけない場合 03-6633-6700
便利な修理サービスサイト	https://panasonic.jp/support/repair.html

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はおお客様のご負担となります。
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■ 愛情点検

長年ご使用のデジタルカメラの点検を！



こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音声が乱れたり出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体やチャージャー、ACアダプターが破損した
- その他の異常や故障がある



ご使用中止

故障や事故防止のため、本体の電源を切り、ACアダプター使用時はコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、登録商品のサポートも充実
詳しくはこちら

<https://club.panasonic.jp/aiyo/>

- カメラのモニターに表示される QR コードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます。

以下の操作をすると QR コードを表示できます。

- 1 [MENU] ボタンを押す
- 2  [セットアップ] の  [その他] から [CLUB Panasonic 登録] の [QR コード表示] を選ぶ

ファームウェアアップデート

- [ファームウェアバージョン1.1: F-3](#)
- [ファームウェアバージョン1.2: F-37](#)

本機の性能向上や機能追加のため、ファームウェアアップデートを実施しました。

以降では、ファームウェアアップデートの詳細について説明します。

- カメラのファームウェアのバージョンは、セットアップメニュー(その他)の[バージョン表示]でご確認ください。
- ファームウェアの最新情報やダウンロード、アップデート方法については、下記サポートサイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/download/index4.html>

アプリケーション／ソフトウェアについて

カメラのファームウェアをアップデートした場合は、スマートフォン用アプリケーションやパソコン用ソフトウェアは最新バージョンをご使用ください。

「LUMIX Lab」

- お使いのスマートフォンでインストール／アップデートしてください。

「LUMIX Flow」

- お使いのスマートフォンでインストール／アップデートしてください。

「LUMIX Tether」

- 下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。
https://panasonic.jp/support/software/lumixtether/download/d_lumixtether.html
-

ファームウェアバージョン1.1

- 深度合成の機能を追加: F-4
- フレーム表示機能の強化: F-7
- テザー撮影機能の強化: F-10
- Wi-Fi接続の変更: F-13
- アップグレードソフトウェアキーに対応: F-18
- 拡張機能: F-19
- その他の機能の追加／変更: F-27
- 追加メニュー: F-34

深度合成の機能を追加



ピント位置を自動的に変更しながら複数回撮影した画像を合成します。被写体を大きく映し、深度が深い写真を撮影するときや、風景の前景から後景までピントの合った写真を撮影するときに便利です。



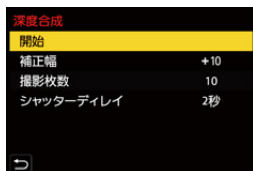
- カメラのブレを抑えるために、三脚を使用してください。
- 静止した被写体を撮影することをお勧めします。動いている被写体を撮影すると、正しく合成されない場合があります。
- 絞り値をF5.6～F11の範囲に設定して撮影することをお勧めします。
- 適切な[補正幅]は被写体により異なります。事前に試し撮りを行うことをお勧めします。

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [深度合成]を設定する

- → [📷] → [🔍] → [深度合成]



開始

深度合成での撮影を開始します。

補正幅

ピント合わせの幅を設定します。

- ピント位置をずらす距離は、開始時のピント位置に近い場合は短く、遠い場合は長くなります。

撮影枚数

撮影枚数を設定します。

シャッターディレイ

シャッターボタンを押してから、シャッターが切れるまでの時間を設定します。

3 深度合成を開始する

- [開始]を選び、 または  を押します。

4 撮影を開始する

- シャッターボタンを全押しします。
- 開始時のピント位置を基準に、前後にピント位置をずらして撮影します。
- 撮影後に合成を行います。撮影環境や撮影枚数によっては、画像の合成に時間がかかることがあります。

5 深度合成を終了する

- [Q]ボタンを押します。



- AFに対応したLマウントレンズを使用しているときに設定できます。
- 深度合成では、以下の設定で撮影されます。
 - シャッター方式:[電子シャッター]([長秒ノイズ除去]を[OFF]に設定時)／[電子シャッター+NR]([長秒ノイズ除去]を[ON]に設定時)
- 深度合成では、撮影画面にグレーの枠が表示されます。深度合成後の画像では、枠外部分はクロップされて記録されません。深度合成前の画像は、クロップされない状態で記録されます。
- 撮影を中止した場合、撮影した画像は保存されますが、画像の合成は行われません。
- 撮影される画像は、設定した撮影枚数より少なくなる場合があります。また、画像を合成するときに、撮影した画像をすべて使用しない場合があります。
- 撮影した画像の変化が大きい場合、合成に失敗することがあります。
- 深度合成した画像は以下のファイル形式で保存されます。
 - [記録ファイル形式(写真)]:[JPEG]／[RAW+JPEG]／[RAW]
JPEG形式で保存
 - [記録ファイル形式(写真)]:[HEIF]／[RAW+HEIF]
HEIF形式で保存
- 深度合成で撮影した画像は、グループ画像()として扱われます。(合成した画像を除く)(→ [グループ画像: 552](#))

フレーム表示機能の強化

フレームを最大3つまで表示できるようになりました。

各フレームで異なる横縦比、フレーム色、フレームの大きさや位置を設定できます。

- [\[設定\]メニューの構成を変更: F-7](#)
- [\[フレーム横縦比\]の\[カスタム\]の設定方法を変更: F-9](#)

[設定]メニューの構成を変更



⇒ ⇒ ⇒ **[フレーム表示]を選ぶ**

ON	撮影画面に枠を表示します。	
OFF	—	
設定	フレーム1	[フレーム1]／[フレーム2]／[フレーム3]の 設定 をお読みください。
	フレーム2	
	フレーム3	
	フレームマスク	枠の外側の不透明度を設定します。 [100%]／[75%]／[50%]／[25%]／[OFF]
	ライブビューの タッチ操作	[ON]に設定しているときは、撮影画面でフレームをタッチすると、[サイズ・位置設定]の設定画面が表示されます。 [ON]／[OFF]

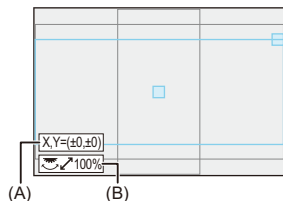
[フレーム1]／[フレーム2]／[フレーム3]の設定

フレーム横縦比	枠の横縦比を設定します。 [2.39:1]／[2.35:1]／[2.00:1]／[17:9]／ [1.85:1]／[16:9]／[3:2]／[4:3]／[5:4]／[7:6] ／[1:1]／[6:7]／[4:5]／[3:4]／[2:3]／[9:16] ／[9:17]／[カスタム]／[OFF]
フレーム色	枠の色を設定します。
サイズ・位置設定	フレームの大きさと位置を設定します。

❖ [サイズ・位置設定]を選択したとき

フレームの横縦比を維持したまま、フレームの大きさと位置を変更できます。

- [フレーム横縦比]で[カスタム]を選択した場合は、フレームの高さや幅と位置を変更できます。(→[\[フレーム横縦比\]の\[カスタム\]の設定方法を変更:F-9](#))
- ▲▼◀▶で中心の位置を移動します。
- [☀️]または[☂️]で大きさを設定します。
- 撮影画面上でフレーム内の中心の枠をドラッグすると位置を移動できます。フレームの右上の枠をドラッグすると大きさを変更できます。
- [Q] ボタンを押すと、変更するフレームを切り換えます。



(A) 中心の座標 (画面中央を0とする)

(B) フレームの大きさ

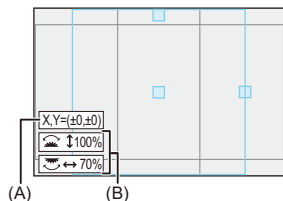
- フレームの大きさは20 %～100 %の範囲で設定できます。
- [DISP] ボタンを押すと、1回目はフレームの位置を中央に戻します。2回目はフレームの大きさを初期設定に戻します。

[フレーム横縦比]の[カスタム]の設定方法を変更

[フレーム横縦比]の[カスタム]の設定は、[サイズ・位置設定]で行います。

- 1 [フレーム表示]メニューで[設定]を選ぶ
- 2 [フレーム1]～[フレーム3]のいずれかを選び、[フレーム横縦比]で[カスタム]を選ぶ
- 3 [サイズ・位置設定]を選ぶ

- ▲▼◀▶ で中心の位置を移動します。
- [☀] でフレームの高さ、[☂] でフレームの幅を設定します。
- 撮影画面上でフレーム内の中心の枠をドラッグすると位置を移動できます。フレーム上部または右端の枠をドラッグすると高さや幅を変更できます。
- [Q] ボタンを押すと、変更するフレームを切り換えます。



- (A) 中心の座標 (画面中央を0とする)
 (B) フレームの高さと幅

- フレームの大きさは 20 %～100 % の範囲で設定できます。
- [DISP.] ボタンを押すと、1回目はフレームの位置を中央に戻します。2回目はフレームの大きさを初期設定に戻します。

テザー撮影機能の強化

Wi-Fi接続でテザーソフトを使用できるようになりました。
有線LANで「LUMIX Tether」を使う手順が変更されました。

- [Wi-Fi接続でテザーソフトを使う: F-10](#)
- [有線LAN接続で「LUMIX Tether」を使う手順の変更: F-11](#)

Wi-Fi接続でテザーソフトを使う

準備:

- カメラとパソコンの電源を入れる
- パソコンにテザーソフトをインストールする

1 カメラの接続方法の設定画面を表示する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi機能] ⇒ [新規に接続する] ⇒ [Tether]

ネットワーク経由で接続する

- 1 [ネットワーク経由]を選び、 または  を押す
 - 「[ネットワーク経由](#)」の接続方法に従ってカメラを無線アクセスポイントに接続してください。(⇒ [ネットワーク経由: F-14](#))
- 2 パソコンの設定メニューでWi-Fi機能をONにする
- 3 カメラが接続している無線アクセスポイントに、パソコンを接続する
- 4 パソコンを操作してテザーソフトとの接続操作を行う

直接接続で接続する

- 1 [直接接続]を選び、 または  を押す
 - 「[直接接続](#)」の接続方法に従って、カメラをパソコンに接続してください。(⇒ [直接接続: F-15](#))
- 2 パソコンを操作してテザーソフトとの接続操作を行う

2 テザーソフトを使ってパソコンからカメラを操作する

❖ Wi-Fi接続を終了する

カメラとパソコンのWi-Fi接続を終了するには、以下の操作をしてください。

- 1 シャッターボタンを半押しして、カメラを撮影モードにする
- 2 Wi-Fi接続を終了する
 -  ⇒  ⇒  ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi機能] ⇒ [はい]
 - [Wi-Fi]を登録したFnボタンを押しても同じ操作ができます。(→[Fnボタン: 580](#))

有線LAN接続で「LUMIX Tether」を使う手順の変更

[Tether接続(USBイーサネットアダプター)]が[USBイーサネットアダプター]に変更され、有線LAN接続で「LUMIX Tether」を使う手順が変更されました。

準備:

- カメラとパソコンの電源を入れる
- パソコンに「LUMIX Tether」をインストールする

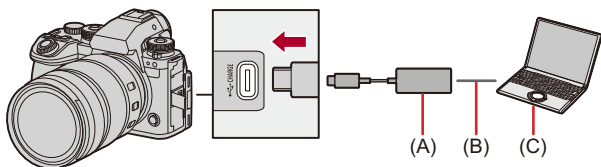
1 カメラをDHCPサーバに設定する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [有線LAN/Wi-Fi 設定] ⇒ [IP アドレス設定(有線LAN)] ⇒ [DHCP サーバ]
- [IP アドレス設定(有線LAN)]の設定を変更した場合は、カメラの電源を入れ直してください。

2 有線LANテザー接続の設定にする

-  ⇒  ⇒  ⇒ [USB] ⇒ [USBイーサネットアダプター] ⇒ [LUMIX Tether]

3 カメラに市販のUSBイーサネットアダプターを接続し、市販のLANケーブルでカメラとパソコンをつなぐ



- (A) USBイーサネットアダプター (市販)
- (B) LANケーブル(市販)
- (C) 「LUMIX Tether」をインストールしたパソコン

4 「LUMIX Tether」を操作して、カメラをリモート操作する

- (初回接続時)「LUMIX Tether」からカメラに接続するためのパスワードを設定してください。(8～31文字以内)
- カメラの画面の右上に[品名]が表示されます。
- 正しく動作しない場合は、USB接続ケーブルを接続し直してください。

Wi-Fi接続の変更

セットアップメニュー(IN/OUT)の[有線LAN/Wi-Fi]の構成が変更され、Wi-Fi接続方法が変更されました。(→[有線LAN/Wi-Fi]メニューの構成を変更: F-30)

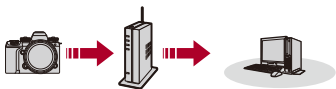
- ネットワーク経由: F-14
- 直接接続: F-15
- 以前と同じ設定でWi-Fi接続する: F-16

セットアップメニュー(IN/OUT)の[有線LAN/Wi-Fi]の[Wi-Fi機能]で[新規に接続する]を選んだ場合、接続方法を[ネットワーク経由]と[直接接続]から選んで接続します。

[履歴から接続する]または[お気に入りから接続する]の場合、以前と同じ設定で接続します。

ネットワーク経由

カメラと送信先機器を無線アクセスポイント経由で接続します。



無線アクセスポイントとの接続方法を選ぶ

設定: [WPS (プッシュボタン)] / [WPS (PINコード)] / [一覧から選ぶ]
(→ [WPS \(プッシュボタン\): 714](#)、[WPS \(PINコード\): 714](#)、[一覧から選ぶ: 715](#))



- 2回目以降に[ネットワーク経由]を選んだときは、前回接続した無線アクセスポイントに接続します。接続する無線アクセスポイントを変更する場合は、[DISP.] ボタンを押して、接続先を変更してください。
- 無線アクセスポイントの取扱説明書や設定をご確認ください。

直接接続

カメラと送信先機器を直接接続します。



送信先機器との接続方法を選ぶ

WPS接続

WPS (プッシュボタン):送信先機器のWPSボタンを押して接続します。

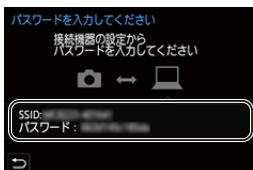
- カメラの[DISP.]ボタンを押すと、接続待ちの状態を延長できます。

WPS (PINコード):カメラにPINコードを入力して接続します。

手動接続

送信先機器でカメラを検索して接続します。

- 1 ネットワークの認証方式を選ぶ
[WPA3] / [WPA3/WPA2]
- 2 カメラに表示されているSSIDとパスワードを、機器に入力する



- 接続する機器の取扱説明書もお読みください。

以前と同じ設定でWi-Fi接続する

Wi-Fiの接続履歴を使って、以前と同じ設定で接続できます。

1 Wi-Fi接続の履歴を表示する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi機能] ⇒ [履歴から接続する] / [お気に入りから接続する]

2 接続する履歴を選ぶ

- [DISP] ボタンを押すと接続履歴の詳細を確認できます。

❖ お気に入り登録

Wi-Fiの接続履歴をお気に入りに登録できます。

1 Wi-Fi接続の履歴を表示する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi機能] ⇒ [履歴から接続する]

2 登録する履歴を選び、▶を押す

3 登録名を入力して[決定]を選ぶ

- 文字の入力方法(→ [文字の入力: 109](#))
- 入力できる文字数は最大30文字です。全角文字は2文字の扱いになります。

❖ お気に入り登録した項目の編集

1 お気に入り登録した履歴を表示する

-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi機能] ⇒ [お気に入りから接続する]

2 編集する履歴を選び、▶を押す

お気に入りを消す

お気に入りの順番を変える

移動先を選び、表示する順番を変更します。

登録名を変える

文字を入力し、登録名を変更します。

- 文字の入力方法(⇒ [文字の入力: 109](#))



- 履歴に保存される数には制限があります。よく使う接続設定はお気に入りに登録してください。
- セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットすると、履歴とお気に入り登録した内容が消去されます。
- PCなどの接続する機器が本機以外の無線アクセスポイントと接続されているときは、[直接接続]を使って本機と接続できません。接続する機器側のWi-Fi設定のアクセスポイントを本機に変更してください。または、[新規に接続する]で接続し直してください。
- 多くの機器が使用しているネットワークには接続しにくい場合があります。その場合は、[新規に接続する]で接続してください。
- 以下の機能を使用中は、[Wi-Fi機能]は使用できません。
 - [ストリーミング機能]
 - [自動画像転送]
 - [Frame.io 接続]
 - Webカメラとして接続中

アップグレードソフトウェアキーに対応

●[アクティベーション]を追加:F-18

アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU3A)に対応しました。
アップグレードソフトウェアキーを使って、本機をアクティベーションすると、拡張機能が使用できるようになります。

[アクティベーション]を追加

アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU3A)を使って、本機の拡張機能を使用可能にします。



⇒ [🔧] ⇒ [⚙️] ⇒ [アクティベーション]を選ぶ

シリアル番号出力

カメラの機器情報をカードに書き出します。

アクティベーションコード読込

カメラにアクティベーションコードを読み込み、拡張機能を有効にします。

アクティベーション済リスト

本機で使用可能になった拡張機能を表示します。



- 一度アクティベーションすると、セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]を実行しても、再度アクティベーションする必要はありません。
- アクティベーション方法については、アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU3A)に付属の導入ガイドをお読みください。

拡張機能

- フォトスタイルに[ARRI LogC3]を追加: F-19
- Log撮影する: F-21
- Logビューアシストに[LUT選択(ARRI LogC3)]を追加: F-26
- LUTライブラリに[ARRI 709]を追加: F-26

アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU3A)によって使用可能になる、拡張機能について説明します。

フォトスタイルに[ARRI LogC3]を追加

[フォトスタイル]から[ARRI LogC3]を選択できるようになりました。
[⌘]/[S&Q]モードで、[記録ファイル形式(動画)]を[MOV]または[Apple ProRes]に設定しているときだけ選択できます。

 ➡  ➡  ➡ [フォトスタイル]を選ぶ

ARRI LogC3

ARRI社が提供するLogC3規格のEI800ガンマカーブに準拠したログ動画の設定
(➡Log撮影する: F-21)

- ポストプロダクション処理により、階調豊かな映像に仕上げるすることができます。



- カスタムメニュー(画質)のフォトスタイル設定のフォトスタイル表示の制限に、[ARRI LogC3]を設定できます。
- [ARRI LogC3]設定時は、以下に機能が制限されます。
 - [MP4]の動画画質で撮影できません。
 - [MOV]の[420/8-L]の動画画質で撮影できません。
 - [Apple ProRes RAW HQ]／[Apple ProRes RAW]の動画画質で撮影できません。
 - ISO感度は、下限500、上限51200までに制限されます。
 - 輝度レベル設定は[64-940]に固定されます。
 - [プロキシ画質]の[L]は使用できません。
 - [マスターペダスタル]は使用できません。
 - [iダイナミックレンジ]は使用できません。
 - 画質調整は、[シャープネス]と[ノイズリダクション]だけ調整可能です。
- [ARRI LogC3]のベースフォトスタイル情報は以下になります。

#LUMIXPHOTOSTYLE LOGC3: ARRI LogC3

Log撮影する



S&Q

iA P A S M

[フォトスタイル]を[ARRI LogC3]に設定すると、Log撮影ができます。ポストプロダクション処理により、階調の豊かな映像に仕上げるができます。

1 [🎥]または[S&Q]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82](#))

2 [記録ファイル形式(動画)]を[MOV]または[Apple ProRes]に設定する

- ⇒ [👤] ⇒ [🎬] ⇒ [記録ファイル形式(動画)] ⇒ [MOV] / [Apple ProRes]

3 [ARRI LogC3]を使用できる動画画質を選ぶ

- ⇒ [👤] ⇒ [🎬] ⇒ [動画画質]

4 [ARRI LogC3]を選ぶ

- ⇒ [👤] ⇒ [🔍] ⇒ [フォトスタイル] ⇒ [ARRI LogC3]



- LUT (ルックアップテーブル) を使ってポストプロダクション処理ができます。
[ARRI LogC3] 用の LUT ファイルは、下記からダウンロードできます。

(1) ARRI Look Library (LogC3-to-Rec709)

ARRI Look File を適用した Rec.709 色空間用の LUT ファイルです。
87 種類の多様な Look File がご使用いただけます。(2025 年 6 月現在)

**[https://www.arri.com/resource/blob/365070/
de67ce8908d30b22d83526dc4c1c8732/
arri-look-library-logc3-to-rec709-3d-luts-data.zip](https://www.arri.com/resource/blob/365070/de67ce8908d30b22d83526dc4c1c8732/arri-look-library-logc3-to-rec709-3d-luts-data.zip)**

(2) ARRI Look Library (log-to-log)

豊富な色情報をもった Log 空間のまま Look を適用するための LUT ファイルです。

(1) と同様に 87 種類の多様な Look File がご使用いただけます。(2025 年 6 月現在)

**[https://www.arri.com/resource/blob/283984/
763aad4a2be5c301529704b1357513c/
arri-look-library-logc3-log-to-log-3d-luts-data.zip](https://www.arri.com/resource/blob/283984/763aad4a2be5c301529704b1357513c/arri-look-library-logc3-log-to-log-3d-luts-data.zip)**

(3) ARRI LogC3 LUT Package

ARRI LogC3 からさまざまな表示デバイスの色空間へ変換するための LUT ファイルです。

(2) の ARRI Look Library (log-to-log) を介すことで、目的の色空間に応じた Look に仕上げるすることができます。

**[https://www.arri.com/resource/blob/294620/
f4290b963ff83a4dde4fff795645bc26/
2022-09-arri-logc3-v1-2-lut-package-data.zip](https://www.arri.com/resource/blob/294620/f4290b963ff83a4dde4fff795645bc26/2022-09-arri-logc3-v1-2-lut-package-data.zip)**

ARRI Look File に関しては、下記サイトをご参照ください。

**[https://www.arri.com/en/learn-help/learn-help-camera-system/
image-science/look-files](https://www.arri.com/en/learn-help/learn-help-camera-system/image-science/look-files)**

❖ [ARRI LogC3]設定時のISO感度

使用できるISO感度の下限は500、上限は51200までになります。

- ISO感度が変化する場合は、必要に応じて露出を設定し直してください。

❖ [Dual Native ISO設定]設定時のISO感度

[自動切換]:ベース感度 500 / 3200 (dB表示値は500を基準とする)

オート / 500 ~ 51200

[低感度]:ベース感度 500

オート / 500 ~ 4000

[高感度]:ベース感度 3200

オート / 3200 ~ 51200

❖ [ARRI LogC3]設定時の露出

[ARRI LogC3]のログ特性は、ARRI社が公開している

「ARRI_ALEXA_LogC_Curve_in_VFX.pdf」で示す 800 ASA (EI 800) に準拠しています。本機[ARRI LogC3]のログ特性は、ISO感度の設定に依存しません。

ただし、800 ASA (EI 800) で定義されている Exposure Stops 値から、1.3 stops 相当のクリッピングが発生します。

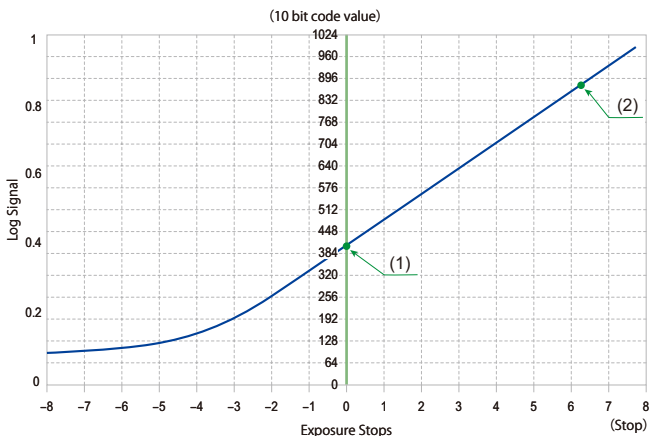
「ARRI_ALEXA_LogC_Curve_in_VFX.pdf」は下記をご参照ください。

[https://www.arri.com/resource/blob/31918/](https://www.arri.com/resource/blob/31918/66f56e6abb6e5b6553929edf9aa7483e/2017-03-alexa-logc-curve-in-vfx-data.pdf)

[66f56e6abb6e5b6553929edf9aa7483e/](https://www.arri.com/resource/blob/31918/66f56e6abb6e5b6553929edf9aa7483e/2017-03-alexa-logc-curve-in-vfx-data.pdf)

[2017-03-alexa-logc-curve-in-vfx-data.pdf](https://www.arri.com/resource/blob/31918/66f56e6abb6e5b6553929edf9aa7483e/2017-03-alexa-logc-curve-in-vfx-data.pdf)

本機[ARRI LogC3]のログ特性図



- (1) 18 % グレー
- (2) クリッピングレベル

[フォトスタイル]を[ARRI LogC3]に設定時							
	Exposure Stops (18 % グレー基 準)	フルレンジ			ビデオレンジ		
		IRE (%)	Code Value		IRE (%)	Code Value	
			10 bit	12 bit		10 bit	12 bit
黒レベル	—	3.5	95	380	9.2	145	580
(1)	0.0	38	400	1600	39	407	1628
(2)	6.3	93	877	3508	86	817	3268

- [フォトスタイル]を[ARRI LogC3]、[リアルタイムLUT](ベースフォトスタイルが[ARRI LogC3])に設定しているときは、[輝度レベル設定]が[64-940](ビデオレンジ)に固定されます。
- 撮影データはビデオレンジで記録されます。
- HDMI出力はビデオレンジで出力されます。
- ウェーブフォームやベクトルスコープはビデオレンジで表示されます。
- スポット輝度メーターでは、18 % グレーの出力レベルを0 Stopで表示します。

Logビューアシストに[LUT選択(ARRI LogC3)]を追加

[Logビューアシスト]で[LUT選択(ARRI LogC3)]を選択できるようになりました。

 ➡  ➡  ➡ **[Logビューアシスト]を選ぶ**

LUT選択(ARRI LogC3)

プリセットまたは[LUTライブラリ]に登録したLUTファイルから適用するLUTファイルを選びます。(➡ [LUTライブラリ:368](#))



- [フォトスタイル]が[ARRI LogC3]のとき、ベースフォトスタイルが[ARRI LogC3]以外のLUTファイルは適用できません。

LUTライブラリに[ARRI 709]を追加

[LUTライブラリ]のサンプルLUTに[ARRI 709]が追加されました。

 ➡  ➡  ➡ **[LUTライブラリ] ➡ [ARRI 709]を選ぶ**



- [ARRI 709]は、[並べ換え]、[消去]および[名称変更]はできません。

その他の機能の追加／変更

- [フォーカス枠色設定]の機能追加: F-28
- カスタムモードの機能変更: F-28
- [ピクセルリフレッシュ]の機能変更: F-29
- [有線LAN/Wi-Fi]メニューの構成を変更: F-30
- [USB]メニューの構成を変更: F-31
- [Fnボタン設定]の設定項目の追加／変更: F-32
- [Q.MENU設定]の設定項目の追加／変更: F-33

[フォーカス枠色設定]の機能追加

フォーカス枠の色を設定できるようになりました。

 ➡  /  ➡  ➡ [フォーカス枠色設定]を選ぶ
設定する色を選んでください。

カスタムモードの機能変更

カスタムモードのC5-1～C5-10に設定内容を登録する場合に、 /  / [S&Q]モードごとに登録できるように変更されました。

 ➡  ➡  ➡ [カスタムモード登録(写真モード)] /
[カスタムモード登録(動画モード)] / [カスタムモード登録
(S&Qモード)]を選ぶ

[ピクセルリフレッシュ]の機能変更

セットアップメニュー(その他)の[ピクセルリフレッシュ]に、一定期間経過後に自動的にピクセルリフレッシュを実行する機能が追加されました。

 →  →  → [ピクセルリフレッシュ]を選ぶ

ピクセルリフレッシュ

即時開始	
自動実行	▶ON / OFF
撮像素子と画像処理の最適化を行います。 即時開始:直ちにピクセルリフレッシュを開始します。終了後は、電源を入れ直してください。 自動実行:一定期間経過後、電源オフ時に自動的にピクセルリフレッシュを実行します。 - 撮像素子と画像処理は、初期設定で最適な状態になっています。被写体でない明るい点が記録される場合に、本機能をお使いください。 [サイレントモード]が[ON]のときは、[自動実行]でのピクセルリフレッシュは実行されません。	

[有線LAN/Wi-Fi]メニューの構成を変更

セットアップメニュー(IN/OUT)の[有線LAN/Wi-Fi]メニューの構成が変更されました。

有線LAN/Wi-Fi®

Wi-Fi 機能	新規に接続する
	履歴から接続する
	お気に入りから接続する
有線LAN/Wi-Fi 設定	Wi-Fi 周波数帯
	IP アドレス設定(有線LAN)
	機器名称/パスワード
	有線LAN/Wi-Fi 機能ロック
	ネットワークアドレス表示(有線LAN)
	ネットワークアドレス表示(Wi-Fi)
有線LANとWi-Fiの設定をします。	

[USB]メニューの構成を変更

セットアップメニュー(IN/OUT)の[USB]メニューの構成が変更されました。

USB

USBモード	接続時に選択／ PC(Storage)／ PC(Tether)／ PC(Webカメラ)／ LUMIX Flow
USB接続ケーブル接続時の通信方式を設定します。 ● 接続時に選択 ：機器と接続したときにUSB通信方式を選びます。 PC(Storage) ：パソコンに接続して画像を取り込む場合に設定します。 PC(Tether) ：「LUMIX Tether」をインストールしたパソコンでカメラを操作する場合に設定します。 PC(Webカメラ) ：パソコン用のWebカメラとして使用する場合に設定します。 LUMIX Flow ：「LUMIX Flow」をインストールしたスマートフォンでカメラを操作する場合に設定します。	
USB給電	▶ON／OFF
USB接続ケーブルから給電します。 ・ACアダプターに接続したときは、[OFF]に設定していても給電されます。	
USBイーサネットアダプター	LUMIX Tether／Tether／▶OFF
有線LAN接続によるTetherへの接続を有効にします。	
Webカメラ画質	4K/15p／4K/12.5p／FHD/60p／FHD/50p／FHD/30p ^{*1} ／FHD/25p ^{*2} ／HD/30p／HD/25p ^{*1} [システム周波数]が[59.94Hz(NTSC)]時の初期設定 ^{*2} [システム周波数]が[50.00Hz(PAL)]時の初期設定
Webカメラとして使用する場合は画質を設定します。 ・[システム周波数]の設定により、選択できる項目が異なります。	

[Fn ボタン設定]の設定項目の追加／変更

Fn ボタンに登録できる設定項目で、以下の項目が追加／変更されました。

[Fn ボタン設定]を選ぶ

-  ➡  ➡  ➡ [Fn ボタン設定] ➡ [写真モード時設定]／[動画／S&Qモード時設定]／[再生モード時設定]

❖ 設定項目(Fn ボタン設定／写真モード時設定／動画/S&Qモード時設定)

[1]タブ

 フォーカス/レリーズ

- フォーカス枠色設定

[Q.MENU設定]の設定項目の追加／変更

クイックメニューに登録できる設定項目で、以下の項目が追加／変更されました。

[Q.MENU設定]を選ぶ

-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Q.MENU設定] ⇒ [表示項目カスタマイズ(写真モード)]／[表示項目カスタマイズ(動画/S&Qモード)]

❖ 登録できるメニュー項目

[1]タブ

[AF] フォーカス/レリーズ

- フォーカス枠色設定

追加メニュー

ファームウェアアップデートによって追加されるメニューの仕様情報です。

❖ 初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧

: [設定リセット]で、初期設定に戻る機能

: [カスタムモード登録(写真モード)]／[カスタムモード登録(動画モード)]／[カスタムモード登録(S&Qモード)]で、カスタムモードに設定内容を保存できる機能

: [カメラ設定の保存/読み込み]で、設定内容をコピーできる機能

メニュー		初期設定			
 写真 :  フォーカス					
フォーカス枠色設定		☐	✓	✓	✓
 写真 :  その他(写真)					
深度合成	開始	—			
	補正幅	+10	✓	✓	✓
	撮影枚数	10	✓	✓	✓
	シャッターディレイ	2秒	✓	✓	✓
 動画 :  フォーカス					
フォーカス枠色設定		☐	✓	✓	✓
 カスタム :  モニター/表示(動画)					
Logビューアシスト	LUT選択(V-Log)	Vlog_709	✓	✓	✓
	LUT選択(ARRI LogC3)*	ARRI 709	✓	✓	✓
	LUTビューアシスト(モニター)	OFF	✓	✓	✓
	LUTビューアシスト(HDMI)	OFF	✓	✓	✓

<

* アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU3A)を使ってアクティベーションすると使用できます。

❖ 各撮影モードで設定できる機能一覧

メニュー		iA	P	A	S	M
 写真:  フォーカス						
フォーカス枠色設定		✓	✓	✓	✓	✓
 写真:  その他(写真)						
深度合成	開始	✓	✓	✓	✓	✓
	補正幅	✓	✓	✓	✓	✓
	撮影枚数	✓	✓	✓	✓	✓
	シャッターディレイ	✓	✓	✓	✓	✓
 動画:  フォーカス						
フォーカス枠色設定		✓	✓	✓	✓	✓

- ARRI は Arnold & Richter Cine Technik GmbH & Co. Betriebs KG の登録商標です。

ファームウェアバージョン1.2

- [記録ファイル形式(動画)]に[MP4(Lite)]を追加: F-38
- [ISO感度画面の操作]機能の強化: F-45
- その他の機能の追加／変更: F-46
- 追加メニュー: F-55

[記録ファイル形式(動画)]に[MP4(Lite)]を追加

動画の[記録ファイル形式(動画)]に[MP4(Lite)]を追加しました。

- 記録ファイル形式(動画): F-38
- [MP4(Lite)]で設定できる動画画質: F-41
- 特殊な動画を撮影できる動画画質一覧: F-42
- バッテリーの撮影可能時間: F-43
- 記録メディアの動画記録時間: F-44

記録ファイル形式(動画)



1 [動画]モードにする

(→ 写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 82)

2 [記録ファイル形式(動画)]を設定する

- → → → [記録ファイル形式(動画)]

MP4(Lite)

スマートフォンアプリでの編集に適したMP4のデータ形式です。



- [クロップズーム(動画)]や[ハイブリッドズーム(動画)]を[ON]にして[MP4(Lite)]で撮影するときの最大クロップ倍率は、以下になります。
 - 約1.6倍(フルサイズ用レンズ使用時)APS-C用レンズ使用時は、[クロップズーム(動画)]や[ハイブリッドズーム(動画)]は使用できません。
- [MP4(Lite)]での撮影や撮影動画に対する制限事項は、[MP4]の場合と同様です。
- [MP4(Lite)]で撮影した動画は、「LUMIX Lab」を使って以下の機能でスマートフォンに送信できます。
 - 画像・動画転送
 - [自動画像転送]
 - [スマートフォンに画像を送る]

❖ ファイル分割

連続記録時間、またはファイルサイズが以下の条件を超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。

- (A) SDHCメモリーカード使用時
- (B) SDXCメモリーカード使用時
- (C) 外付けSSD使用時
- (D) CFexpressカード使用時

記録ファイル形式 (動画)	解像度	ビットレート	記録メディア	ファイル分割	
				連続記録時間	ファイルサイズ
MP4(Lite)	すべて	すべて	(A)	30分	4 GB
			(B)	3時間4分	96 GB
			(C)		
			(D)		

[MP4(Lite)]で設定できる動画画質

1 [⦿]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:82)

2 [動画画質]を設定する

-  →  →  → [動画画質]

❖ 記録ファイル形式(動画):[MP4(Lite)]

- YUV、ビット数、映像圧縮:4:2:0、10 bit、Long GOP
- 音声フォーマット:AAC(2ch)

(A) 記録フレームレート

(B) ビットレート(Mbps)

(C) ビデオ圧縮方式(HEVC:H.265/HEVC)

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]

動画画質	動画撮影範囲			解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
	FULL	APS-C	PIXEL PIXEL					
3.8K/10bit/50M/30p	✓	✓	✓	3840×2560	3:2	29.97p	50	HEVC

システム周波数:[50.00Hz(PAL)]

動画画質	動画撮影範囲			解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
	FULL	APS-C	PIXEL PIXEL					
3.8K/10bit/50M/25p	✓	✓	✓	3840×2560	3:2	25.00p	50	HEVC

- 本書では、動画の解像度に応じて以下のように表記します。

– 3.8K(3840×2560)の動画:3.8K動画

特殊な動画を撮影できる動画画質一覧

S&Q : スロー & クイック動画を撮影できる動画画質

HFR : ハイフレームレート動画用の動画画質

Live Crop : [ライブクロップ]を使用できる動画画質

HLG : HLG動画を撮影できる動画画質

❖ 記録ファイル形式(動画) : [MP4(Lite)]

システム周波数 : 59.94Hz(NTSC)

動画画質	S&Q	HFR	Live Crop	HLG
3.8K/10bit/50M/30p				✓

システム周波数 : 50.00Hz(PAL)

動画画質	S&Q	HFR	Live Crop	HLG
3.8K/10bit/50M/25p				✓

バッテリーの撮影可能時間

付属のバッテリーを使用して撮影できる時間は下記のとおりです。

- Nextorage製CFexpress Type Bカード使用。
- Nextorage製SDXCメモリーカード使用。
- 記載している数値は目安です。

❖ 動画撮影(モニター使用時)

- [動画撮影範囲]: [FULL]

(A) CFexpressカード使用時

(B) SDXCメモリーカード使用時

交換レンズ S-R24105 使用時

記録ファイル形式(動画)	動画画質	記録メディア	連続撮影可能時間(分)	実撮影可能時間(分)
MP4(Lite)	3.8K/10bit/50M/30p	(A)	100	50
	3.8K/10bit/50M/25p	(B)	100	50

- 実撮影可能時間とは、電源の[ON]／[OFF]切り換え、撮影の開始／終了などを繰り返したときに撮影できる時間です。

記録メディアの動画記録時間

記録メディアに記録できる動画の時間は下記のとおりです。

- Nextorage製 CFexpress Type Bカード使用。
- Nextorage製 SDXCメモリーカード使用。
- Samsung製外付けSSD使用。

❖ 動画記録時間(h:時間、m:分、s:秒)

- 動画記録時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。
- 記載している数値は目安です。
- 記録ファイル形式(動画):[MP4(Lite)]の場合

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]						
動画画質	CFexpressカード の容量		SDXCメモリーカード の容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
3.8K/10bit/50M/30p	29h10m	58h50m	11h05m	21h50m	44h10m	88h30m

システム周波数:[50.00Hz(PAL)]						
動画画質	CFexpressカード の容量		SDXCメモリーカード の容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
3.8K/10bit/50M/25p	29h10m	58h50m	11h05m	21h50m	44h10m	88h30m

[ISO感度画面の操作]機能の強化

カスタムメニューの[ISO感度画面の操作]でISOオートを設定できるようになりました。

 →  →  → **[ISO感度画面の操作]**を選ぶ

ISO感度画面の操作

前/後ダイヤルの割当	▶ ISO / ISO / ISO LIMIT / ISO / ISO AUTO / ISO / OFF / ISO / ISO / ISO LIMIT / ISO / ISO AUTO / ISO / OFF
ISO感度の設定画面でのダイヤル動作を設定します。  を割り当てたダイヤルを操作するたびに、ISOオートの[ON]／[OFF]が切り換わります。([OFF]のときは、元のISO感度に戻ります)	



- ISOオートをFnボタンに登録できます：

撮影画面で登録したボタンを押すたびに、ISOオートの[ON]／[OFF]が切り換わります。([OFF]のときは、元のISO感度に戻ります)

(→ [\[Fnボタン設定\]](#)に[\[ISOオート\]](#)を追加: F-52)

その他の機能の追加／変更

- [自動認識枠の複数表示]の機能追加: F-46
- [人物瞳認識表示]の機能変更: F-47
- アナモフィック撮影機能の強化: F-48
- ISO感度設定画面の機能変更: F-49
- [Logビューアシスト]に[LUTビューアシスト(アプリ)]を追加: F-50
- [常時プレビュー]の機能変更: F-50
- [フォルスカラー]の機能変更: F-50
- Fnボタンの初期設定の変更: F-51
- [Fnボタン設定]に[ISOオート]を追加: F-52
- [Fnボタン設定]に[LUTビューアシスト(アプリ)]を追加: F-53
- [Q.MENU設定]に[LUTビューアシスト(アプリ)]を追加: F-54

[自動認識枠の複数表示]の機能追加

AF時に主要な被写体だけに自動認識枠を表示させる設定ができるようになりました。



⇒ [設定] ⇒ [AF] ⇒ [自動認識枠の複数表示]を選ぶ

ON

認識したすべての被写体に枠を表示します。

OFF

主要な被写体だけに枠を表示します。

- 別の被写体に枠を表示したいときは、タッチ操作やジョイスティック操作で被写体を切り換えてください。

[人物瞳認識表示]の機能変更

[合焦時の人物瞳認識表示]のメニュー名が[人物瞳認識表示]に変更されました。

AF時に人物の瞳を認識したときの表示方法を設定できるようになりました。

 →  →  → **[人物瞳認識表示]**を選ぶ

人物瞳認識表示

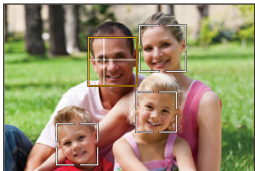
瞳の表示方法	▶ + / □
合焦時の十字線表示	▶ ON / OFF

人物の瞳を認識したときの表示方法を設定します。

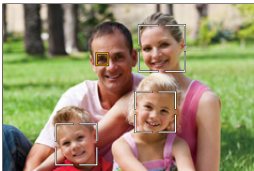
瞳の表示方法

【+】: 瞳の位置をAFエリア内に十字線で表示します。(A)

【□】: 瞳の位置を四角の枠で表示します。(B)



(A)



(B)

合焦時の十字線表示

【ON】: シャッターボタンを半押ししたときなどの合焦時に、瞳の十字線を表示したままにします。

【OFF】: シャッターボタンを半押ししたときなどの合焦時に、瞳の十字線を非表示にします。

アナモフィック撮影機能の強化

アナモフィックレンズの倍率に1.6倍が追加されました。

❖ アナモフィック(動画)

[手ブレ補正]の[アナモフィック(動画)]で[

写真:  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [手ブレ補正] ⇒ [アナモフィック(動画)]を選ぶ

動画:  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [手ブレ補正] ⇒ [アナモフィック(動画)]を選ぶ

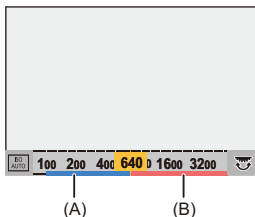
❖ アナモフィック デスクイーズ表示

[アナモフィック デスクイーズ表示]で[

 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [アナモフィック デスクイーズ表示]を選ぶ

ISO 感度設定画面の機能変更

[] / [S&Q] モードで [Dual Native ISO 設定] が [自動切換] のときに、ISO 感度の設定画面上で低感度領域と高感度領域が色分けして表示されるようになりました。



(A) 低感度領域(青色)

(B) 高感度領域(ピンク色)



- [コントロールダイヤルの割当] や [AF 時フォーカスリング設定] で **[ISO]** (ISO 感度) を設定し、コントロールダイヤルやフォーカスリングを使って ISO 感度をベース感度に変更したときに、ISO 感度の数値が色付きで表示されます。
 - 低感度時: 青色
 - 高感度時: ピンク色

[Logビューアシスト]に[LUTビューアシスト(アプリ)]を追加

カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[Logビューアシスト]に[LUTビューアシスト(アプリ)]を追加しました。

 ➡  ➡  ➡ **[Logビューアシスト]を選ぶ**

LUTビューアシスト(アプリ)

LUTファイルを適用した映像をスマートフォン用アプリケーション「LUMIX Lab」／「LUMIX Flow」で確認できます。



- 以下の場合は、[LUTビューアシスト(アプリ)]は働きません。
- [フォトスタイル]の画質調整で[LUT]を適用しているとき

[常時プレビュー]の機能変更

[常時プレビュー]を[OFF]に設定すると、[A]／[M]モード時の撮影画面でプレビュー効果の無効を示すアイコン()が表示されるようになりました。

 ➡  ➡  ➡ **[常時プレビュー]を選ぶ**

[フォルスカラー]の機能変更

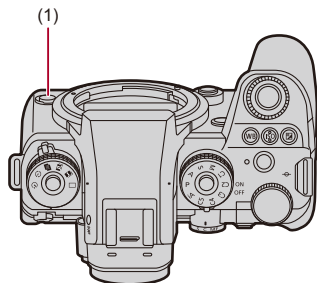
フォルスカラー適用時に、撮影待機中も動画撮影中と同じ画質で表示できるようになりました。

- フォルスカラー適用時は、消費電力が上がり、カメラの温度が上昇しやすくなります。

Fn ボタンの初期設定の変更

サブ動画記録ボタンの初期設定が変更されました。

❖ Fn ボタンの初期設定



Fn ボタン	写真モード時設定	動画/S&Qモード時設定	再生モード時設定
(1) サブ動画記録ボタン	設定なし	動画撮影	設定なし



• Fn ボタンの設定は、ファームウェアアップデート前の設定が引き継がれます。

[Fn ボタン設定]に[ISO オート]を追加

Fn ボタンに[ISO オート]を登録できます。

- 撮影画面で登録したボタンを押すたびに、ISO オートの[ON]／[OFF]が切り換わります。([OFF]のときは、元のISO感度に戻ります)

[Fn ボタン設定]を選ぶ

-  ➡  ➡  ➡ [Fn ボタン設定] ➡ [写真モード時設定]／[動画/S&Qモード時設定]

- ❖ 設定項目(Fn ボタン設定／写真モード時設定／動画/S&Qモード時設定)

[1]タブ

画質

- ISO オート

[Fnボタン設定]に[LUTビューアシスト(アプリ)]を追加

Fnボタンに[LUTビューアシスト(アプリ)]を登録できます。

[Fnボタン設定]を選ぶ

-  ➡  ➡  ➡ [Fnボタン設定] ➡ [写真モード時設定]／[動画/S&Qモード時設定]

❖ 設定項目(Fnボタン設定／写真モード時設定／動画/S&Qモード時設定)

[3]タブ

モニター/表示

- LUTビューアシスト(アプリ)

[Q.MENU設定]に[LUTビューアシスト(アプリ)]を追加

クイックメニューに[LUTビューアシスト(アプリ)]を登録できます。

[Q.MENU設定]を選ぶ

-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Q.MENU設定] ⇒ [表示項目カスタマイズ(写真モード)]／[表示項目カスタマイズ(動画/S&Qモード)]

[2]タブ

モニター/表示

- LUTビューアシスト(アプリ)

追加メニュー

ファームウェアアップデートによって追加されるメニューの仕様情報です。

❖ 初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧

: [設定リセット]で、初期設定に戻る機能

: [カスタムモード登録(写真モード)]／[カスタムモード登録(動画モード)]／[カスタムモード登録(S&Qモード)]で、カスタムモードに設定内容を保存できる機能

: [カメラ設定の保存/読み込み]で、設定内容をコピーできる機能

メニュー		初期設定			
 カスタム:  フォーカス/リリース					
自動認識枠の複数表示		ON	✓	✓	✓
人物瞳認識表示	瞳の表示方法	+	✓	✓	✓
	合焦時の十字線表示	ON	✓	✓	✓
 カスタム:  モニター/表示(動画)					
Logビューアシスト	LUT選択(V-Log)	Vlog_709	✓	✓	✓
	LUT選択(ARRI LogC3)	ARRI 709	✓	✓	✓
	LUTビューアシスト(モニター)	OFF	✓	✓	✓
	LUTビューアシスト(HDMI)	OFF	✓	✓	✓
	LUTビューアシスト(アプリ)	OFF	✓	✓	✓